

府中市公共施設マネジメント白書

平成 23 年3月
府 中 市

目次

第1章 府中市の概況の把握 ······	1
1. 市の概況・沿革	
2. 地区の特性	
3. 人口の状況等	
第2章 府中市の保有する施設の状況および有効活用の必要性 ······	17
1. 財政状況	
2. 職員数の推移	
3. 保有する施設の築年別整備状況	
4. 行政運営から行政経営へ	
第3章 用途別実態把握	
1. コスト情報とストック情報の的確な把握 ······	27
2. 主な施設の実態把握	
■地域対応施設	
2-1 文化センター（出張所・窓口、公民館、高齢者福祉館、児童館） ······	33
2-2 図書館 ······	76
2-3 出張所・窓口 ······	104
2-4 学校（小学校・中学校） ······	116
2-5 保育所、幼稚園 ······	139
2-6 学童クラブ ······	157
■広域対応施設	
2-7 文化系施設 ······	166
2-8 美術館・博物館 ······	183
2-9 体育館 ······	194
2-10 プール ······	206
2-11 その他産業施設など ······	217
2-12 福祉施設 ······	228
■その他の施設	
2-13 給食センター・教育センター ······	241
2-14 その他のスポーツ施設 ······	252
2-15 保健センター ······	263
2-16 子ども家庭支援センター「たっち」 ······	269
2-17 市営住宅 ······	275
2-18 都市施設（駐車場・自転車駐車場、宿泊施設） ······	285
2-19 環境・衛生施設 ······	300
2-20 市庁舎 ······	311
第4章 地域ごとの公共施設を通じた公共サービスの実態 ······	314
1. 第1地域	
2. 第2地域	
3. 第3地域	
4. 第4地域	

- 5. 第5地域
- 6. 第6地域
- 7. 第7地域
- 8. 第8地域

第5章 今後の公共施設のあり方 ······ 330

第1章 府中市の概況の把握

1. 市の概況・沿革

府中市は、東京都のほぼ中央に位置し、新宿から西方約22キロメートルの距離にあります。調布市、小金井市、国分寺市、国立市、多摩市、日野市、稲城市に接しており、市の面積は29.34km²、人口は24万4,834人（平成22年1月1日現在）です。

■地形条件

府中市は国分寺崖線及び府中崖線により武蔵野段丘、立川段丘、多摩川低地の三つの平らな土地に区分されており、市の南端には多摩川が流れています。

市の中心には府中駅があり大型商業施設が集積している一方、ケヤキ並木や大國魂神があるなど緑豊かな地域となっています。市内には複数の大規模な事業場や昔ながらの住宅地や団地があり、また武蔵野公園、浅間山公園、府中の森公園、崖線周辺などの緑地が広がっています。

■市の沿革

大化元年、大化の改新により武蔵国の国府が置かれたことに伴い道路網が放射状に整備され、府中は早くから政治、経済、文化の中心地でした。鎌倉時代末期は合戦の舞台となり、江戸時代には物流、交通の拠点として街道沿いに宿場町及び農村集落地が形成され甲州街道の宿場町として栄えました。そして明治以降は郡役所が置かれるなど、府中市は多摩地域の中心として歴史的役割を担っています。

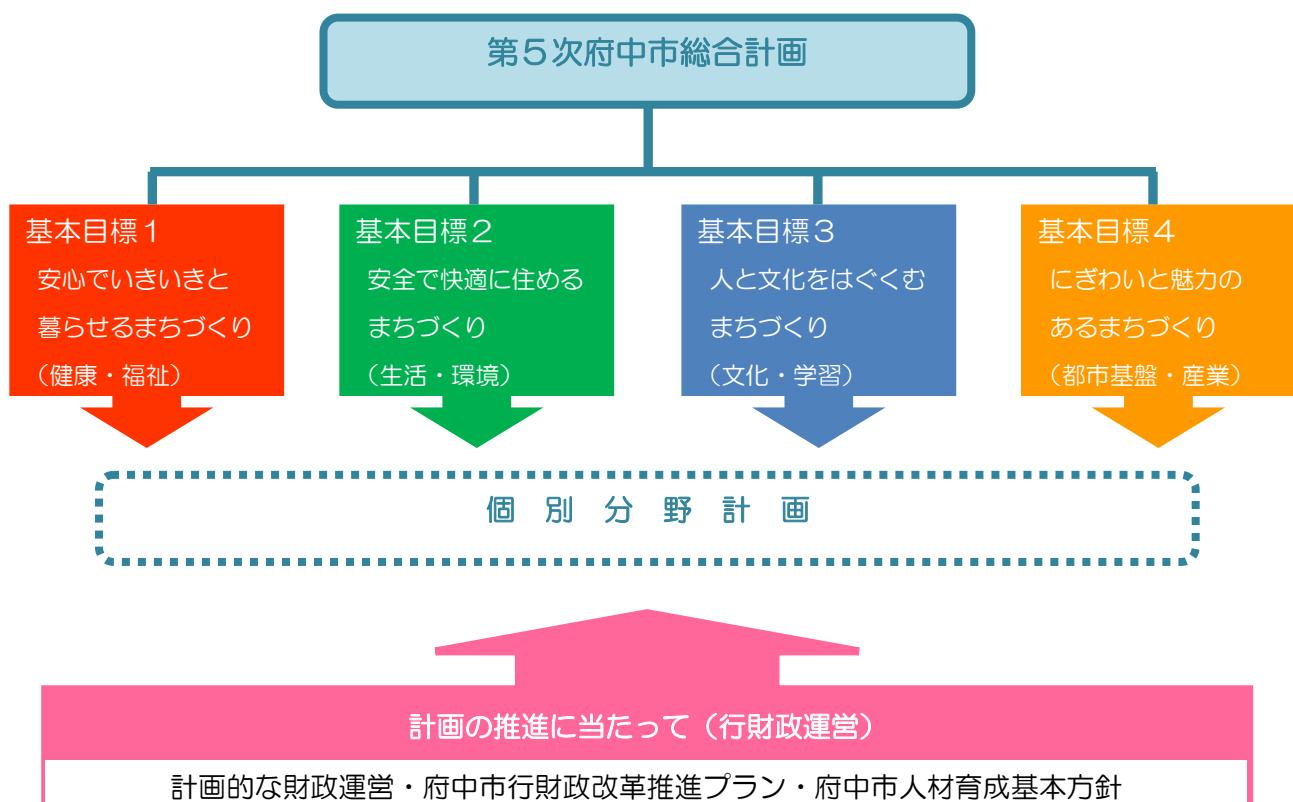
面 積	29.34 km ²	宅地	16.4 km ²
		田畠等	1.7 km ²
		雑種地	2.2 km ²
		その他	9.1 km ²
人 口	24万4,834人（H22.1.1時点）		
昼間人口	23万6,133人（H17.10.1時点） 昼間人口比率：96%		
転出入人口	転入人口：16,132人（H21年度） 転出人口：14,405人		
鉄 道	京王電鉄 7駅 武蔵野台駅 25,153人/日 多磨霊園駅 11,650人/日 東府中駅 19,870人/日 府中駅 87,639人/日 分倍河原駅 86,262人/日 中河原駅 25,401人/日 府中競馬正門前駅 3,379人/日 JR東日本 4駅 府中本町駅 17,304人/日 分倍河原駅 37,640人/日 西府駅 6,647人/日 北府中駅 13,086人/日 計 15駅 西武鉄道 4駅 多磨駅 12,830人/日 白糸台駅 5,371人/日 競艇場前駅 2,734人/日 是政駅 7,634人/日		

出所：平成17年度国勢調査、平成21年度住民基本台帳、鉄道各社HP。

■上位計画

平成 20 年度から平成 25 年度を計画期間とする「第 5 次府中市総合計画後期基本計画」では、①安心でいきいきと暮らせるまちづくり（健康・福祉）、②安全で快適に住めるまちづくり（生活・環境）、③人と文化をはぐくむまちづくり（文化・学習）、④にぎわいと魅力のあるまちづくり（都市基盤・産業）を基本目標としています。

これらの基本目標を実現するため、行政改革への取組という面においては、行政需要の増加や変化に対応するため、必要性、効果性、緊急性、公平性、代替性や効率性などの視点から常に見直し、その改廃について定期的な管理を行うものとしています。また、財政運営の効率化の面においては、経常経費や行政コストの低減に努めながら、事務事業の見直しと施策の優先順位に基づき、効果的・効率的な財源配分を進めるものとしています。



■府中市行財政改革推進プラン

府中市では、第 5 次府中市総合計画後期基本計画に基づき、計画的かつ着実に行財政改革を推進していくため、平成 19 年 12 月に、平成 20 年度から平成 25 年度までの 6 年間を計画期間とする府中市行財政改革推進プラン（以下、「行革プラン」といいます。）を策定しました。

平成 23 年度から平成 25 年度における行革プランの基本的な考え方は、社会保障経費が増大し続け、また公共施設の老朽化が進む現状に鑑み、財源不足を解消し、多様化する市民ニーズに的確かつ迅速に対応できるような、将来を見据えた持続可能で健全な行財政運営を確立することです。そのため、本市が取り組んでいく行財政改革に関する 64 の個別プランを具体的に示しています。

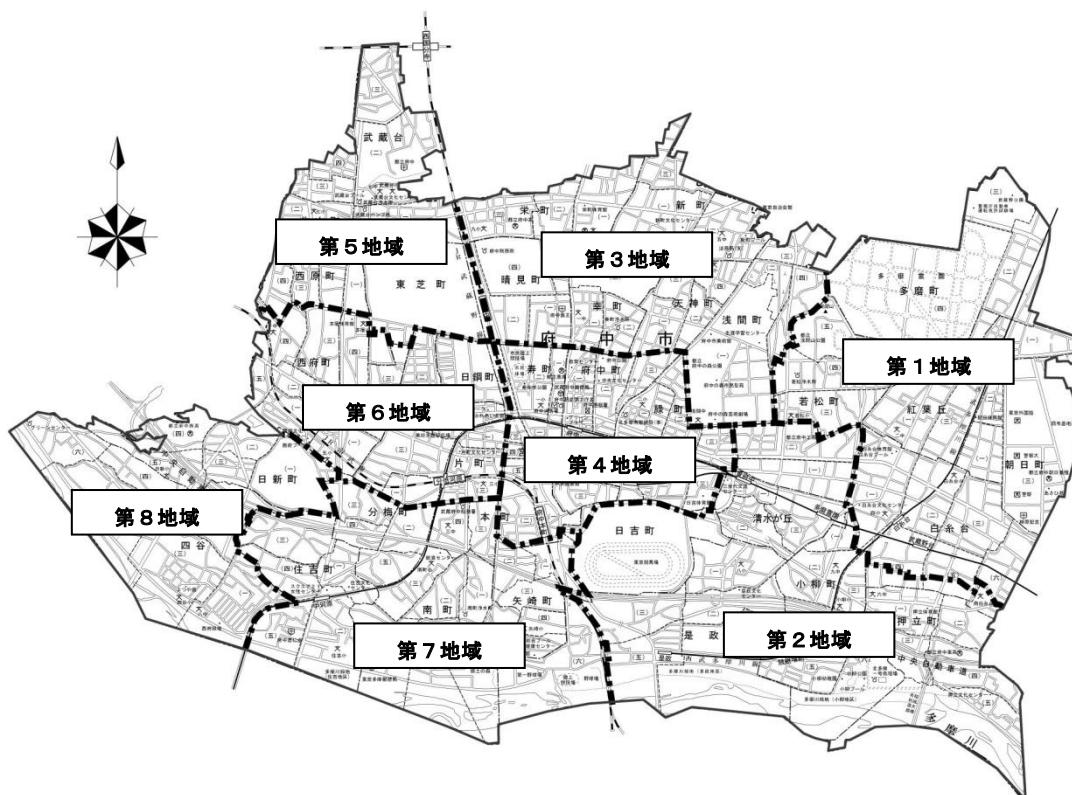
公共施設マネジメントは、平成 23 年度から平成 25 年度の行革プランのうち、「計画的な行財政の運営」（取組 5）の「公共施設の計画的な維持管理」プランとして位置づけられています。

2. 地区の特性

(1) 地域区分

府中市都市計画に関する基本的な方針(府中市都市計画マスタープラン)の地域別まちづくり方針(地域別構想)に基づく地域区分を用います。

地域別まちづくり方針の地域区分は、鉄道駅の駅勢圏、小中学校区、文化センター圏域等の市民の日常生活圏の状況や土地利用等の共通性を踏まえ、8つに分けられています。



地域区分	面積	地域範囲
第1地域	約 539ha	多磨町全域、朝日町全域、紅葉丘全域、白糸台1丁目～3丁目及び4丁目～6丁目の一部、若松町3丁目～5丁目
第2地域	約 594ha	白糸台4～6丁目の一部、押立町全域、小柳町全域、若松町1丁目及び2丁目、清水が丘全域、是政1～5丁目、日吉町全域
第3地域	約 394ha	浅間町全域、天神町全域、新町全域、幸町全域、晴見町全域、栄町全域
第4地域	約 227ha	府中町全域、緑町全域、宮町全域、八幡町全域、本町1丁目及び2丁目、宮西町全域、寿町全域
第5地域	約 244ha	武藏台1～3丁目、北山町1～4丁目、西原町1～4丁目、東芝町の一部
第6地域	約 248ha	片町1～3丁目、日鋼町、東芝町の一部、美好町1～3丁目、分梅町1丁目、本宿町1～4丁目、西府町1～5丁目
第7地域	約 413ha	矢崎町全域、南町全域、本町3丁目及び4丁目、分梅町2丁目～5丁目、住吉町全域、是政6丁目
第8地域	約 271ha	四谷全域、日新町全域

(2) 各地区の特性

第1地域は市の東側に位置し、多磨霊園、浅間山公園、武蔵野公園、武蔵野の森公園など緑が豊かな地域です。東京外国語大学や警察大学校などの公共公益施設、甲州街道沿いの業務・商業施設などの他は、低層住宅地になっています。

第2地域は市の南東部に位置し、府中崖線や多摩川など自然に恵まれた地域です。地域の北西部に中高層の住宅団地が立地しており、また、多摩川沿いの工場跡地では中高層集合住宅の建設が進行しています。築35年が経過している車返団地など、中高層集合住宅の建替えが予想されます。

第3地域は市北部に位置し、比較的早くから市街化された地域です。東京農工大学、府中刑務所、航空自衛隊府中基地などの公共公益施設や、府中の森公園などの緑地があり、その他は大部分が低層住宅地です。

第4地域は、府中市の中心部に位置し、甲州街道などの主要幹線道路や、府中、府中本町などの駅があります。商業地域や公共施設が集積している一方で、大國魂神社やけやき並木などの歴史的資源も豊富です。幹線道路沿いではマンション開発が進んでいます。

第5地域は市北西部に位置し、多摩総合医療センターなどの公共公益施設のほか、東芝府中工場など工場・事業所が多く立地しています。住宅地の大部分は低層住宅地です。

第6地域は市の西側に位置し、府中崖線付近に緑が残っています。分倍河原駅周辺や甲州街道沿いに業務・商業施設が立地しており、それ以外の区域では中低層の住宅地が広がっています。築44年が経過している府中日鋼団地もあり、建替えが予想されます。

第7地域は市の南部に位置し、多摩川緑地・是政緑地などの自然豊かな地域です。大規模事業所としては、サントリー武蔵野ビール工場があります。多摩川沿いでは、工場跡地から集合住宅へと土地利用転換が進んでおり、矢崎小学校付近でも工場跡地の中高層マンション開発が進んでいます。

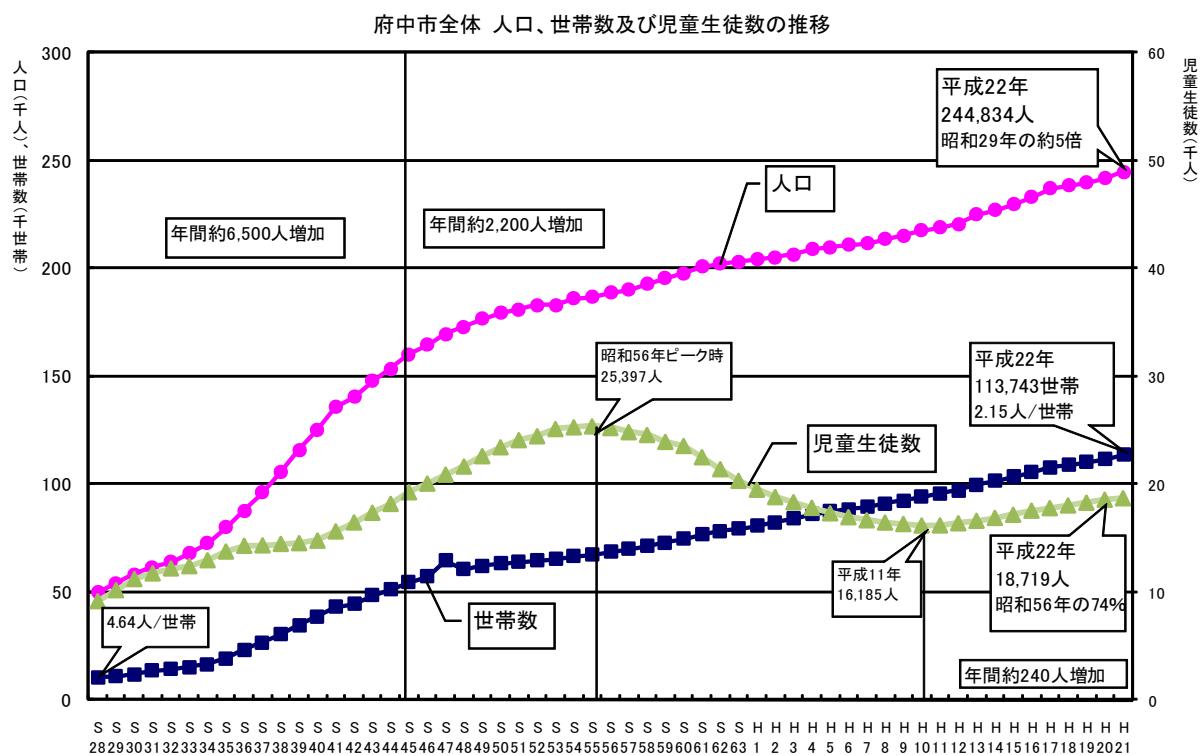
第8地域は市の南西部に位置し、多摩川沿いに緑地や公共施設が立地しています。大規模事業所としては、日本電気府中事業場があります。多摩川沿いでは工場から集合住宅などへの土地利用転換が進んでおり、他の地域でも農地から宅地への転用が進んでいます。

3. 人口の状況等

(1) 府中市全体の人口・世帯数の推移 ～人口が増加し続け、若い世代が多いまち～

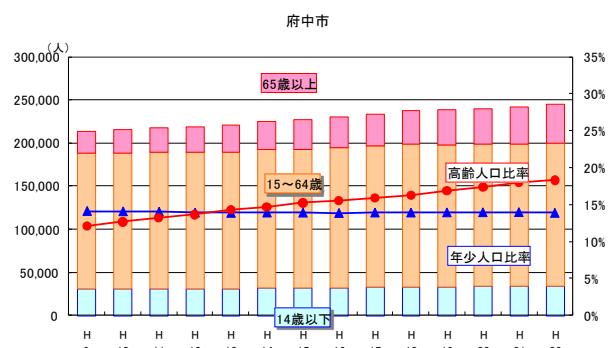
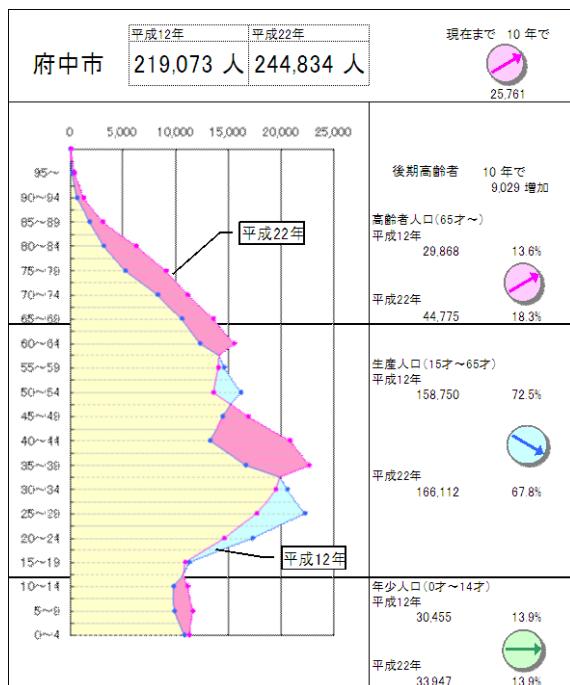
人口は、昭和 29 年以降一貫して増加を続けており、昭和 46 年までは年間約 6,500 人、昭和 47 年以降は年間約 2,200 人ずつ増加しています。平成 22 年の人口は約 24.5 万人で、昭和 29 年の約 5 倍になっています。

世帯数は、人口増加に伴い増加を続けており、平成22年には約11.4万世帯になっています。児童生徒数は、昭和56年をピークに減少していたものの、平成12年以降は増加に転じ、毎年約240人ずつ増加しています。平成22年には、ピーク時の73.7%の約1.9万人となっています。

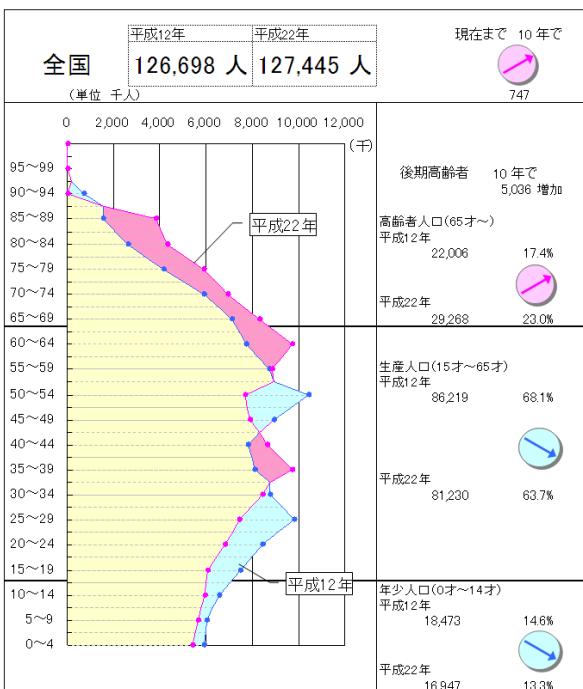


■府中市の現在の人口構成

平成 22 年の府中市総人口は約 24.5 万人で、23 区を除く東京都の市町村では八王子市、町田市に次ぐ 3 番目の規模です。団塊世代及び団塊ジュニア世代に 2 つの山を持ちますが、全国平均では 2 つの山はほぼ同じ高さ（団塊世代が約 973 万人、団塊ジュニア世代が約 972 万人）であるのに対し、府中市では団塊世代が約 1.6 万人、団塊ジュニア世代が約 2.3 万人と、団塊ジュニア世代が団塊世代の 1.5 倍の大きさになっています¹。



(参考)

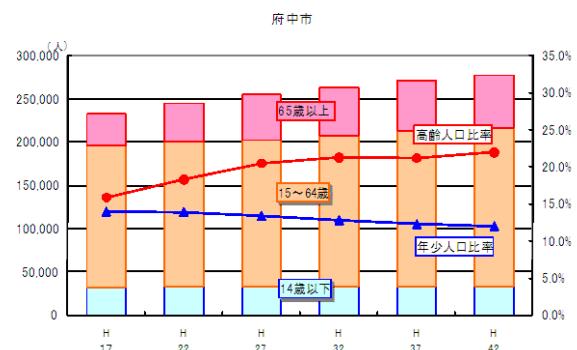
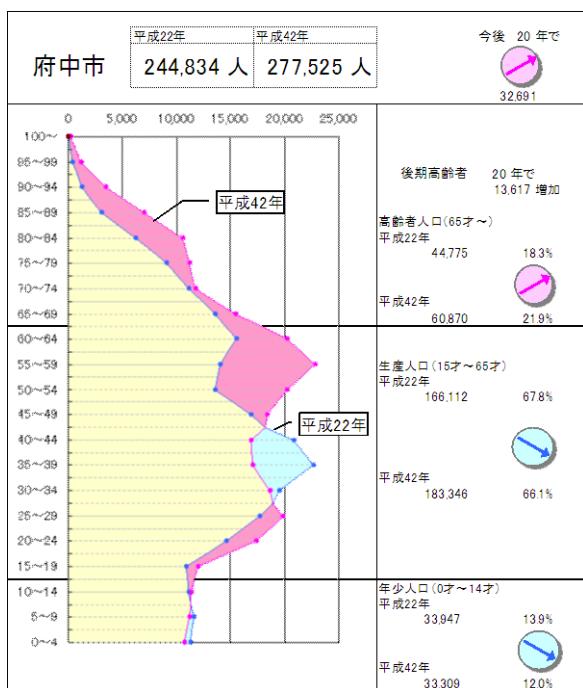


¹全国平均は、「人口推計」（総務省統計局）平成 22 年 4 月 1 日確定値を参照しました。

■府中市の将来の人口構成

平成 22 年から平成 42 年にかけて、府中市の人口は 244,834 人から 277,525 人に増加すると予想されます（13.3% 増）。高齢人口比率は 18.3% から 21.9% に上昇し、実数は 44,775 人から 60,870 人に増加します。それに対し、年少人口比率は 13.9% から 12.0% に低下、実数は 33,947 人から 33,309 人に減少すると見込まれます。

団塊世代と団塊ジュニア世代に加え、団塊ジュニア世代の子ども世代に新たな山ができています。これは、推計の基準としている平成 17 年から平成 22 年の間の純移動率（社会増を示す。）が、10～14 歳から 15～19 歳になる世代、15～19 歳から 20～24 歳になる世代で高いためです。



<参考：推計の前提>

- ・ 推計方法 コーホート変化率法
- ・ 基準人口 平成 22 年 1 月 1 日現在住民基本台帳人口
- ・ コーホート変化率 平成 17 年から平成 22 年のコーホートの変化率を採用
- ・ 推計期間 平成 22 年から 5 年毎平成 42 年までの 20 年間
- ・ 推計単位 8 地域別
- ・ 0～4 歳人口推計に用いたデータ

合計特殊出生率 1.31（出所：東京都「人口動態統計年報（平成 21 年）」）

0～4 歳性比 105.16（出所：国立社会保障・人口問題研究所「日本の市区町村別将来推計人口」（平成 20 年 12 月推計）における、市区町村別仮定値。）

(2) 地域別の特徴

①第2地域、第4地域

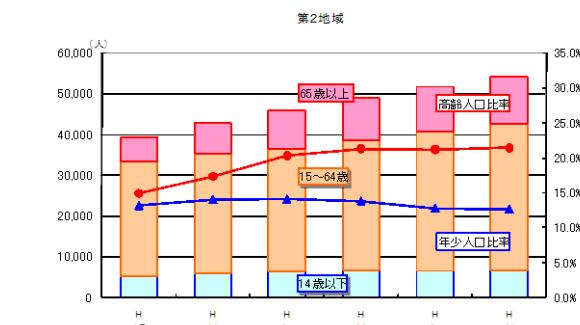
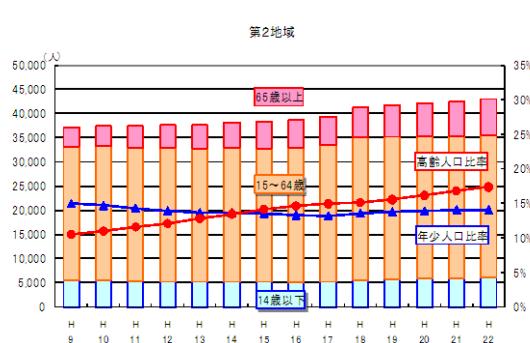
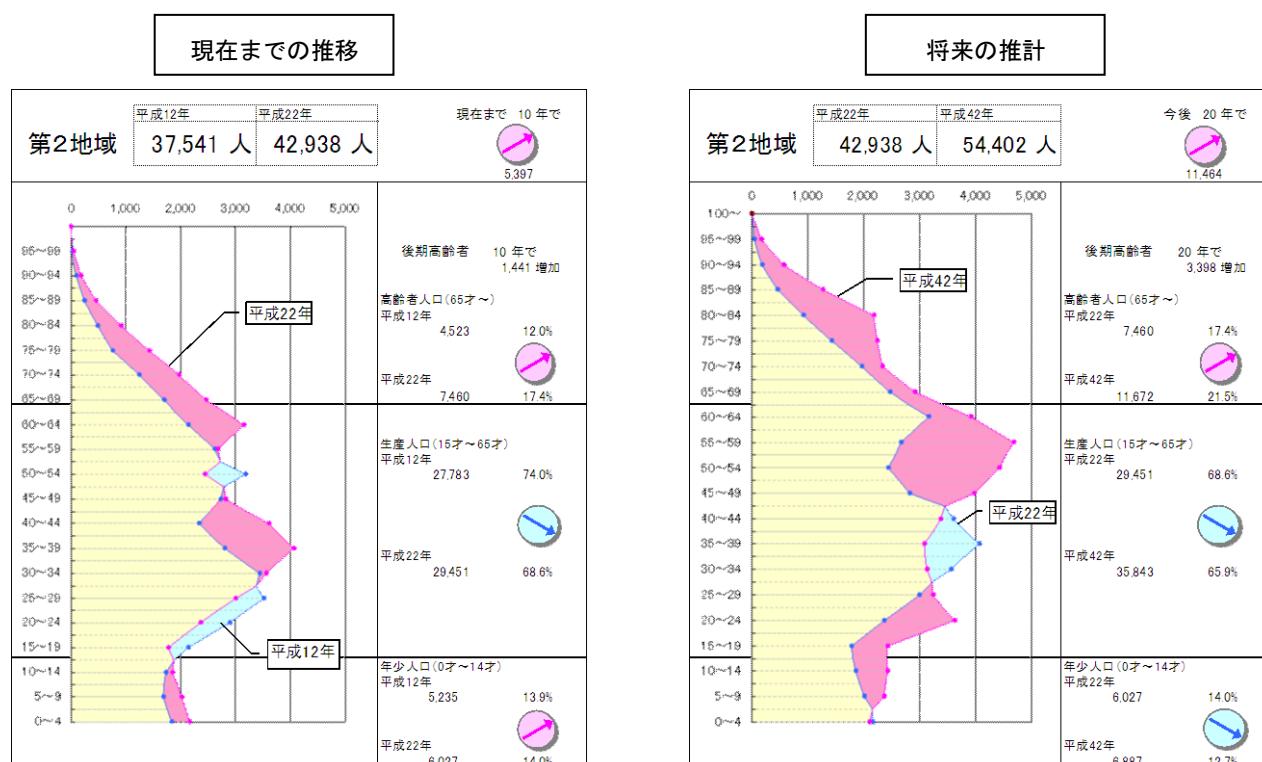
～今後20年間で約1万人増加、全階層で増加～



第2地域の総人口は約4.3万人で、8つの地域の中で最大規模です。

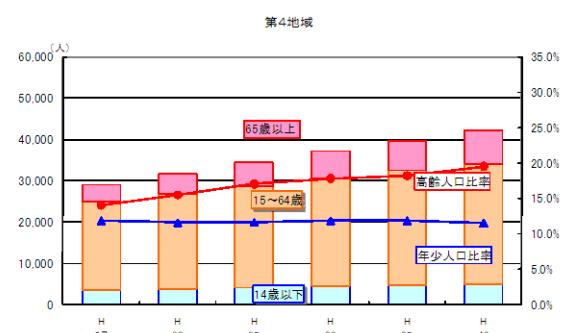
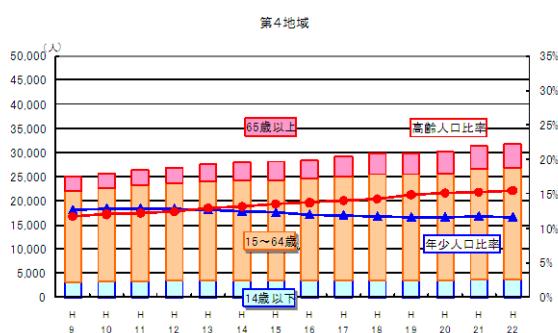
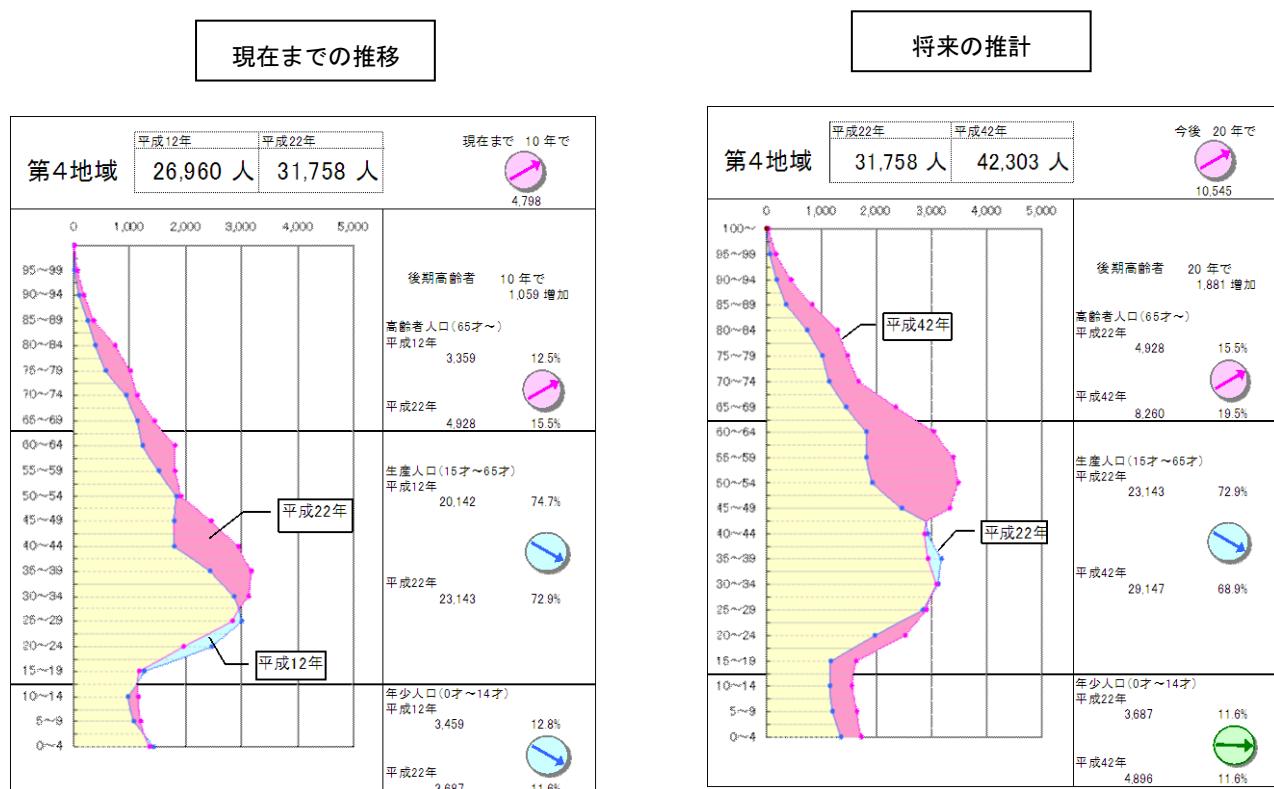
団塊世代は3,159人、団塊ジュニア世代は4,060人と、団塊ジュニア世代が団塊世代の約1.3倍の大きさになっており、府中市全体より差が小さくなっています。また、団塊ジュニア世代は10年間で3,521人から4,060人に増加しており、第2地域の大きな特徴となっています。

平成22年から平成42年にかけて、42,938人から54,402人に増加すると予想されます(26.7%増)。第2地域での特徴は、いずれの年齢層でも実数が増加することです。高齢人口比率は17.4%から21.5%に上昇し、高齢者的人口は実数で7,460人から11,672人に、4,200人増加します。年少人口比率は14.0%から12.7%に低下し、年少者的人口は実数で6,027人から6,887人に、860人増加します。



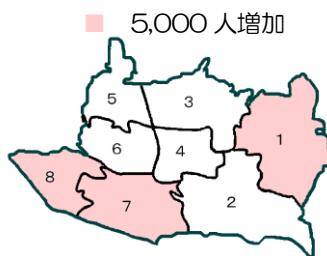
第4地域の総人口は約3.2万人で、8つの地域の中で4番目の規模です。第4地域には団塊世代の山がなく、これに対し団塊ジュニア及びその前後の世代で大きな山ができているのが特徴です。また、第4地域は、人口増加率の高さ、年少人口比率の小ささ、生産年齢人口比率の高さ、高齢人口比率の低さのすべての点において、8つの地域の中で一番であるという特徴を持っています。

平成22年から平成42年にかけて、31,758人から42,303人に増加(33.2%増)することが予想され、増加率は全地域のうち最大です。すべての年齢層で実数が増加します。高齢人口比率は15.5%から19.5%に上昇し、高齢者的人口は実数で4,928人から8,260人に、3,332人増加します。年少人口比率は11.6%を維持し、年少者的人口は実数で3,687人から4,896人に、1,209人増加します。



②第1地域、第7地域、第8地域

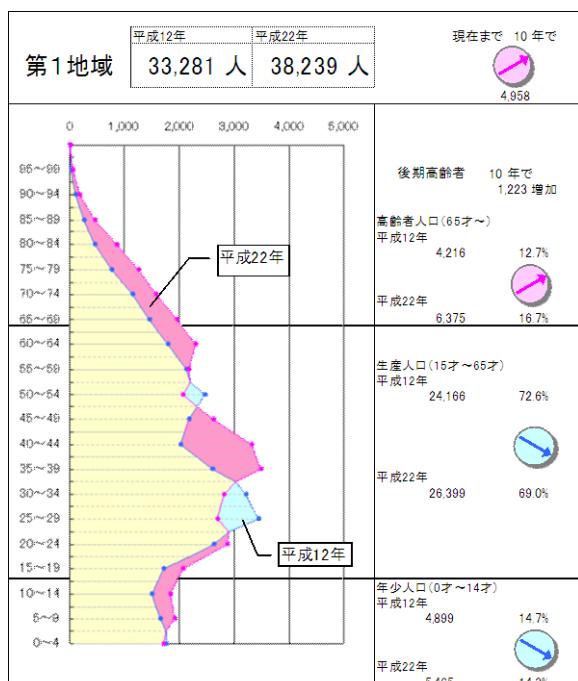
～今後20年間で人口が約5,000人増加、年少人口は減少～



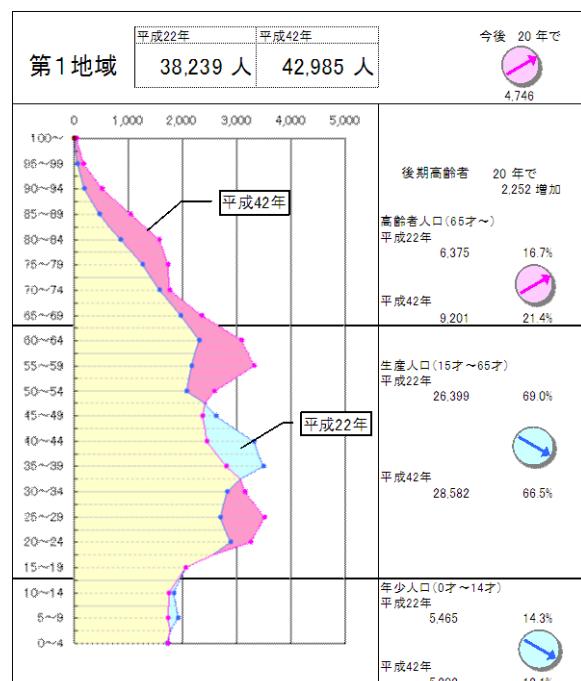
第1地域の総人口は約3.8万人で、8つの地域の中で3番目の人団塊世代は2,300人、団塊ジュニア世代は3,483人と、団塊ジュニア世代が団塊世代の約1.5倍の大きさになっており、府中市とほぼ同じ傾向を示しています。

平成22年から平成42年にかけて、38,239人から42,985人に増加すると予想されます(12.4%増)。高齢人口比率は16.7%から21.4%に上昇し、実数は6,375人から9,201人に増加します。年少人口比率は14.3%から12.1%に低下し、実数は5,465人から5,202人に減少します。

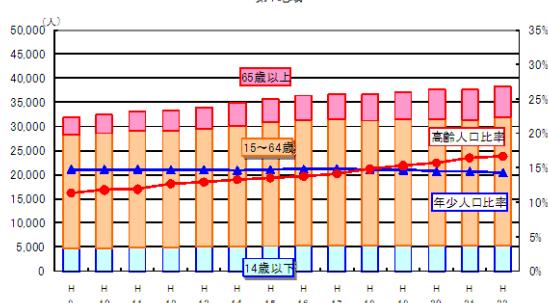
今までの推移



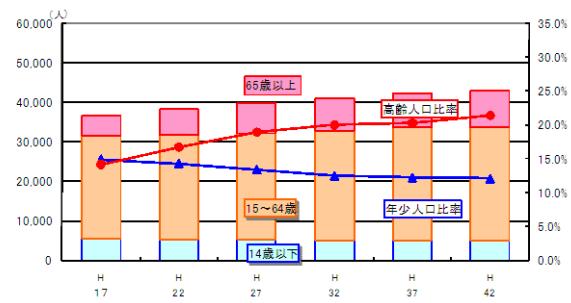
将来の推計



第1地域

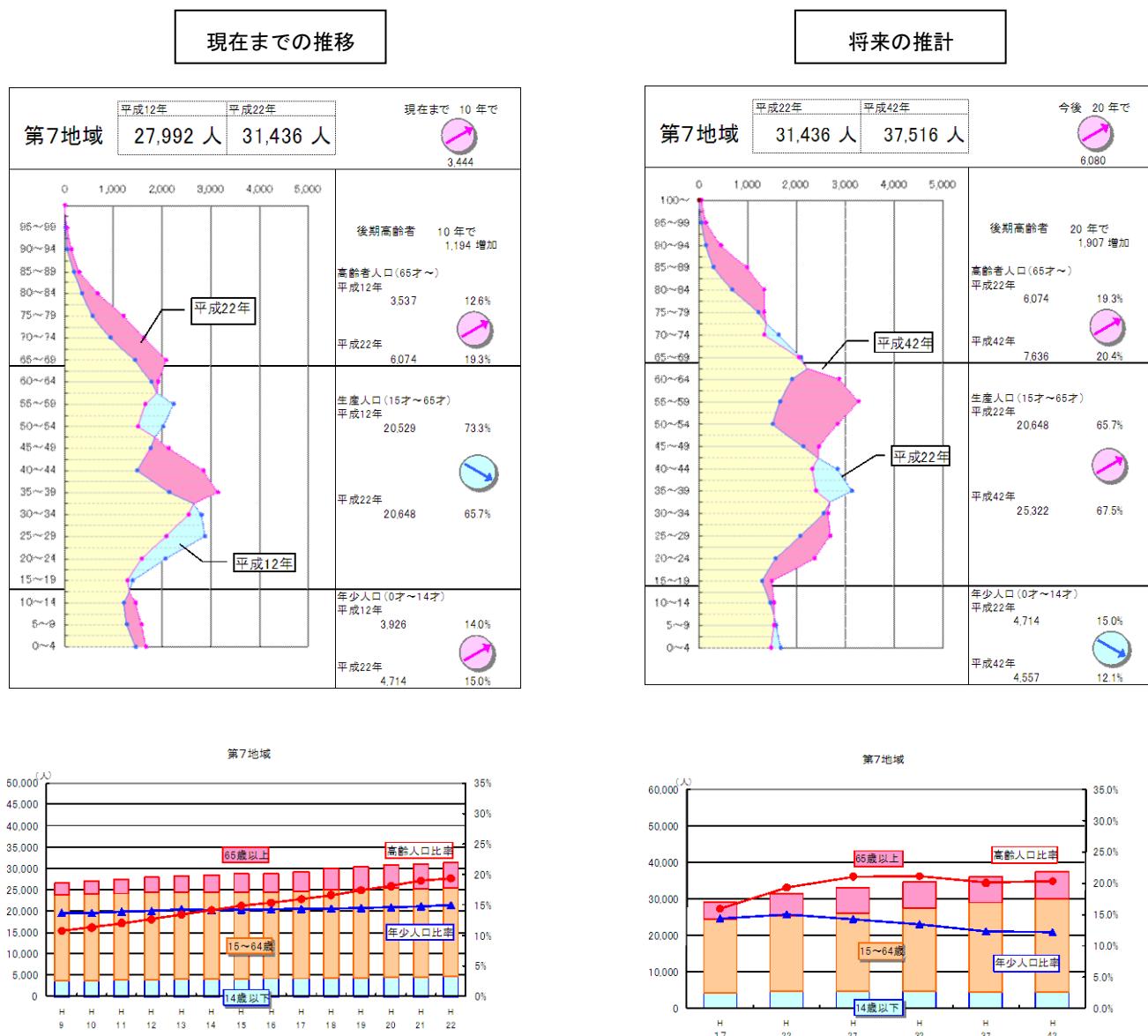


第1地域



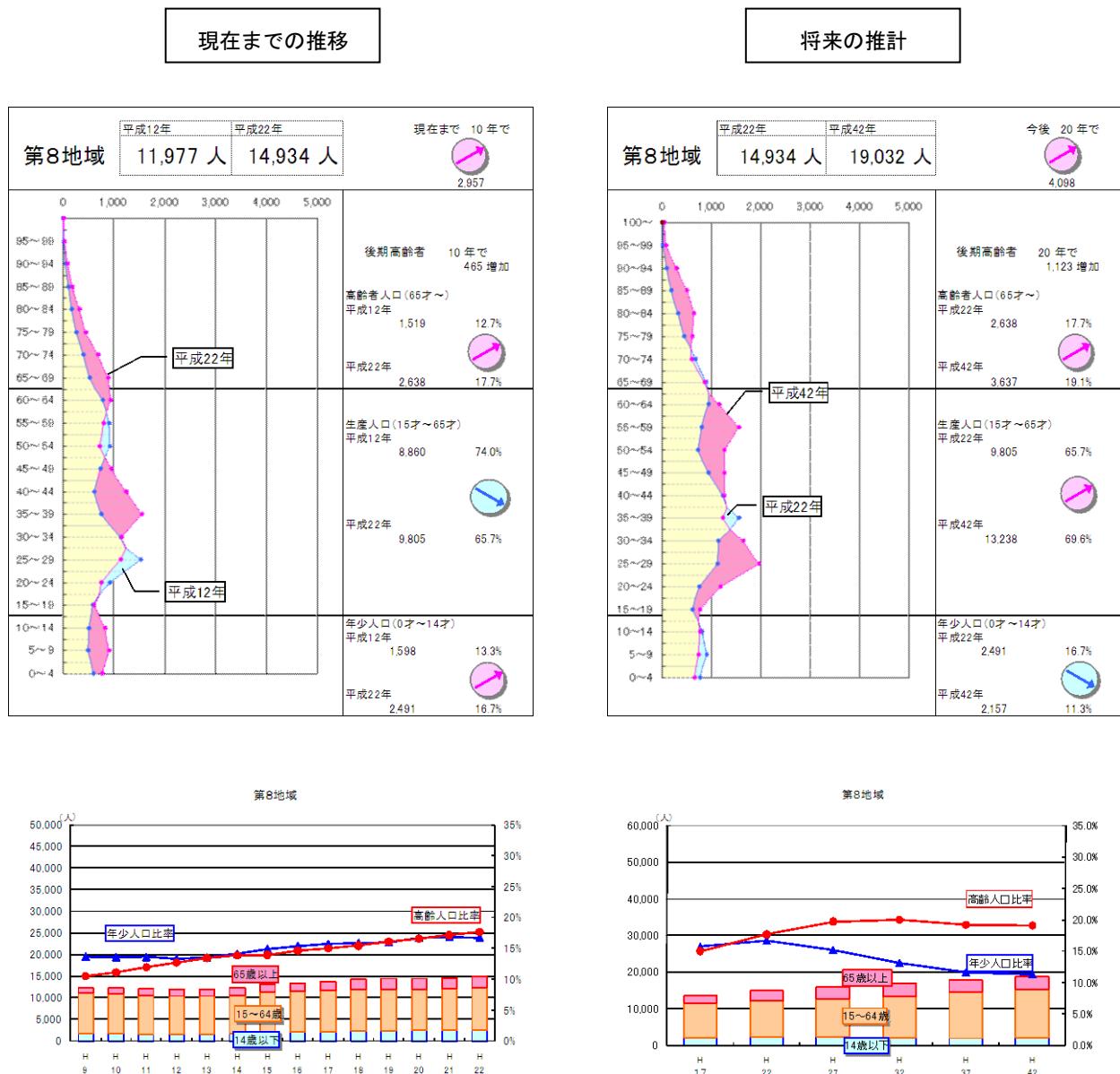
第7地域の総人口は約3.1万人で、8つの地域の中で5番目の規模です。第7地域では団塊世代が1,907人、団塊ジュニア世代は3,132人となっています。第7地域では団塊世代より少し上（昭和16年から昭和20年生まれ）の世代が多く、人数にして2,087人、団塊ジュニア世代の1.5倍の大きさになっています。

平成22年から平成42年にかけて、31,436人から37,516人に増加すると予想されます（19.3%増）。第7地域での特徴は、生産年齢人口が割合・実数ともに増加することです。高齢人口比率は19.3%から20.4%に上昇し、実数では6,074人から7,636人に増加します。年少人口比率は15.0%から12.1%に低下し、実数では4,714人から4,557人に減少します。



第8地域の総人口は約1.5万人で、8つの地域の中で最も小さい規模です。第8地域には団塊世代、団塊ジュニア世代、そして14歳以下の年少人口の3つ山があるのが特徴で、団塊世代が934人、団塊ジュニア世代が1,545人、5歳から9歳の世代が905人になっています。団塊ジュニア世代は団塊世代の約1.7倍であり、府中市全体より団塊ジュニア世代の方が多くなっています。

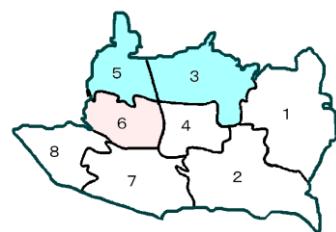
平成22年から平成42年にかけて、14,934人から19,032人に増加(27.4%増)すると予想されます。生産年齢人口で割合・実数ともに増加することが大きな特徴です。高齢人口比率は17.7%から19.1%に上昇し、実数では2,638人から3,637人に増加します。年少人口比率は16.7%から11.3%に低下し、実数では2,491人から2,157人に減少します。



③第3地域、第5地域、第6地域

～今後20年間で人口が微増または減少、年少人口・生産年齢人口が減少し高齢化が進行～

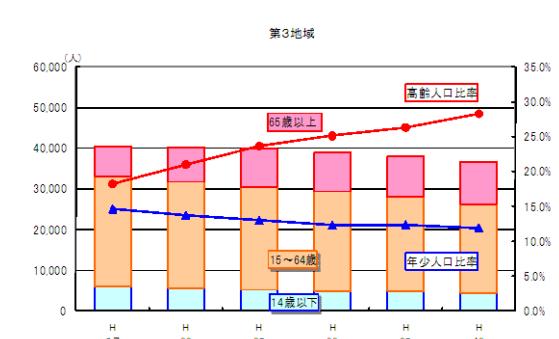
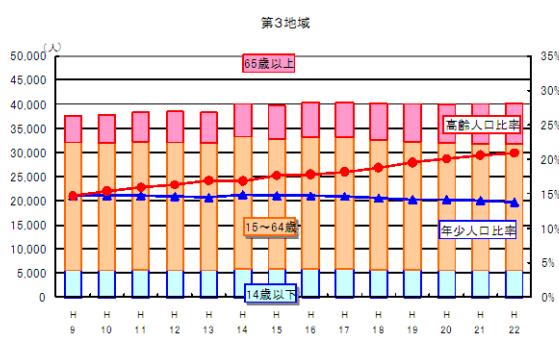
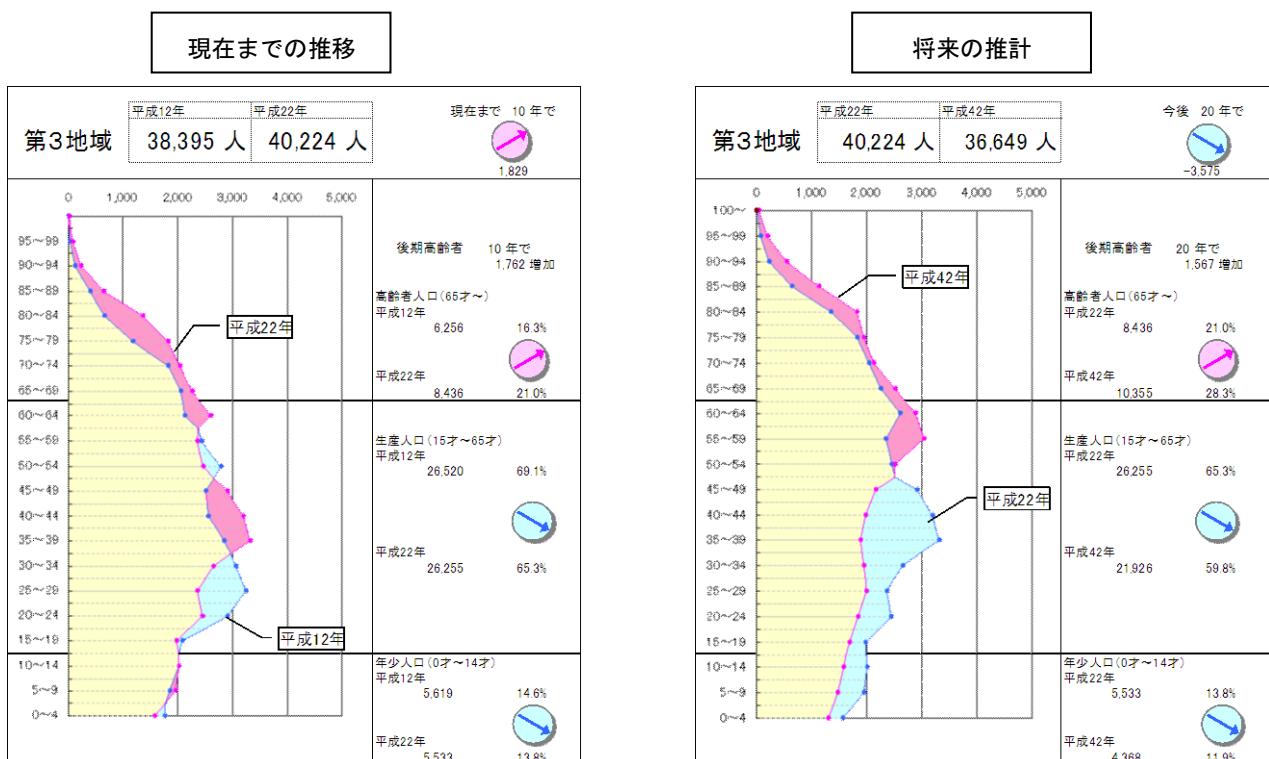
■ 微増 ■ 減少



第3地域の総人口は約4万人で、8つの地域の中で2番目の規模です。

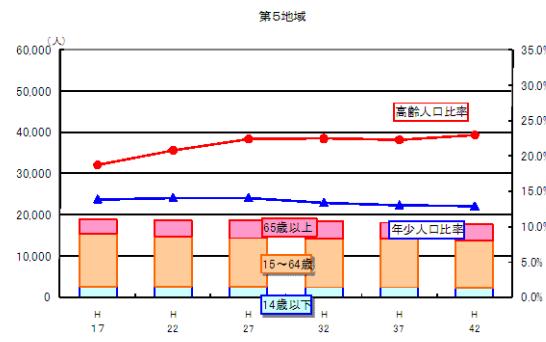
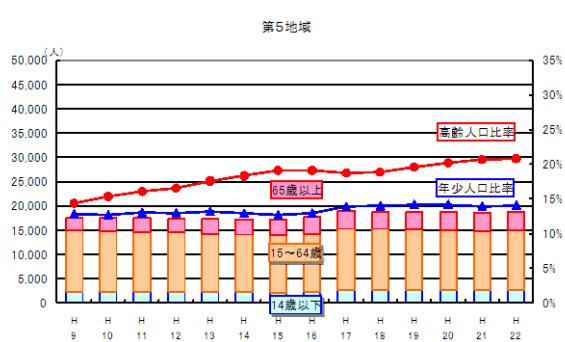
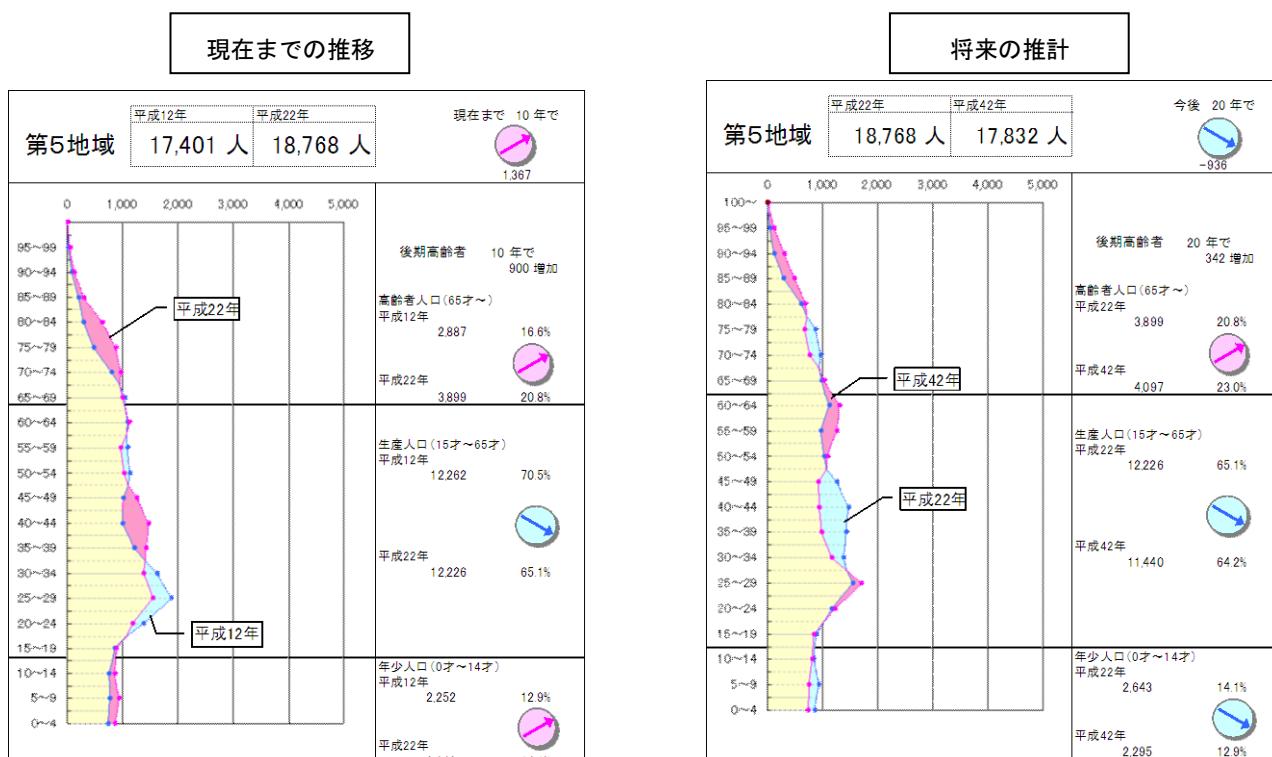
団塊世代は2,606人、団塊ジュニア世代は3,315人と、団塊ジュニア世代が団塊世代の1.3倍の大きさで、府中市全体より差が小さくなっています。65歳以上の高齢者人口の山が高く、特に75歳以上の後期高齢者の割合は府中市全体より大きく、10.3%を占めます。

平成22年から平成42年にかけて、40,224人から36,649人に減少すると予想されます(8.9%減)。第3地域全体の人口が減少する一方で、高齢者層のみ実数が増加します。高齢人口比率は21.0%から28.3%に上昇し、実数は8,436人から10,355人に増加します。年少人口比率は13.8%から11.9%に低下。実数は5,533人から4,368人に減少します。



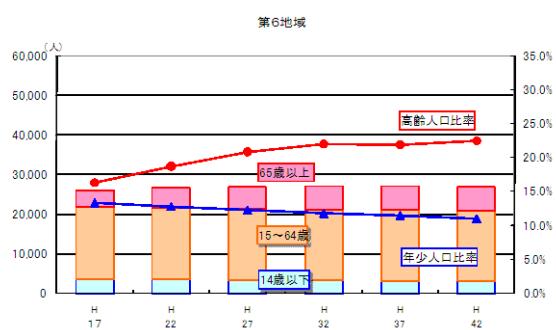
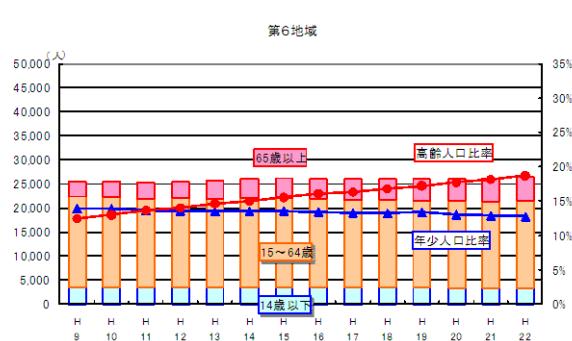
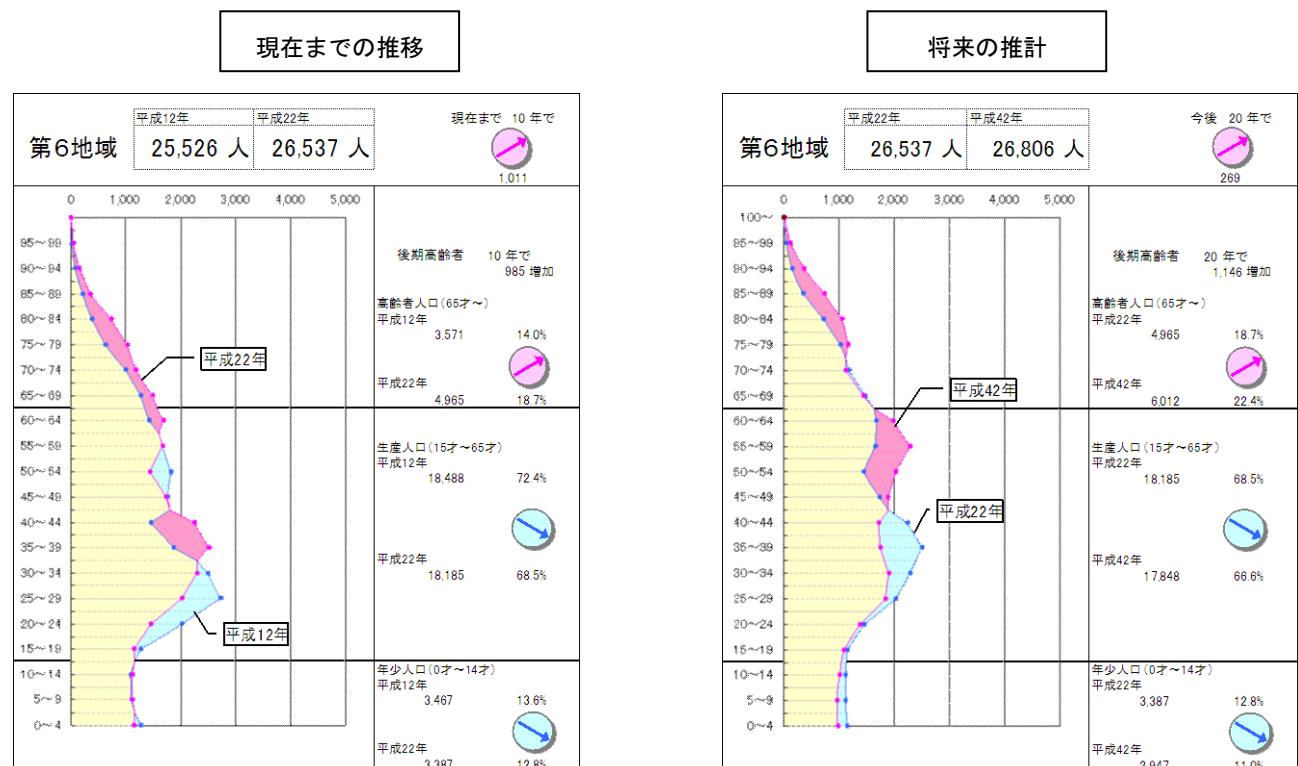
第5地域の総人口は約1.9万人で、8つの地域の中で7番目の規模です。第5地域では団塊世代および団塊ジュニア世代の山が小さく、全体的ななだらかな人口分布となっています。もっとも多い世代は25歳から29歳までの世代で、1,543人です。後期高齢者の割合も多く、10.4%を占めます。

平成22年から平成42年にかけて、18,768人から17,832人に減少すると予想されます(5.0%減)。第5地域全体の人口が減少する一方で、高齢者層のみ実数が増加します。高齢者人口比率は20.8%から23.0%に上昇し、実数では3,899人から4,097人に増加します。年少人口比率は14.1%から12.9%に低下し、実数では2,643人から2,295人に減少します。



第6地域の総人口は約2.7万人で、8つの地域の中で6番目の規模です。団塊世代は1,676人、団塊ジュニア世代は2,506人と、団塊ジュニア世代が団塊世代の約1.5倍の大きさになっており、府中市全体とほぼ同じ傾向を示しています。

平成22年から平成42年にかけて、26,537人から26,806人に増加すると予想されます(1.0%増)。実数は高齢者層でのみ増加する見通しです。高齢者人口比率は18.7%から22.4%に上昇、実数では4,965人から6,012人に増加します。年少人口比率は12.8%から11.0%に低下、実数では3,387人から2,947人に減少します。



■要旨

- ・全地域で高齢者人口が増加します。
- ・第2、第4地域では今後20年で約1万人増加します。また、全階層で人口が増加します。
- ・第1、第7、第8地域では今後20年で約5,000人増加します。ただし年少人口は減少します。
- ・第3、第5、第6地域では今後20年で微増または減少します。年少人口・生産年齢人口が減少します。

人口推計（平成22年→平成42年）（単位：人、赤：増加、青：減少）

地域	人口	0～14歳	15～64歳	65歳～
第1地域	38,239 →42,985 (+4,746人)	5,465→5,202 (-263人)	26,399→28,582 (+2,183人)	6,375→9,201 (+2,826人)
第2地域	42,938 →54,402 (+11,464人)	6,027→6,887 (+860人)	29,451→35,843 (+6,392人)	7,460→11,672 (+4,212人)
第3地域	40,224 →36,649 (-3,575人)	5,533→4,368 (-1,165人)	26,255→21,926 (-4,329人)	8,436→10,355 (+1,919人)
第4地域	31,758 →42,303 (+10,545人)	3,687→4,896 (+1,209人)	23,143→29,147 (+6,004人)	4,928→8,260 (+3,332人)
第5地域	18,768 →17,832 (-936人)	2,643→2,295 (-348人)	12,226→11,440 (-786人)	3,899→4,097 (+198人)
第6地域	26,537 →26,806 (+269人)	3,387→2,947 (-440人)	18,185→17,848 (-337人)	4,965→6,012 (+1,047人)
第7地域	31,436 →37,516 (+6,080人)	4,714→4,557 (-157人)	20,648→25,322 (+4,674人)	6,074→7,636 (+1,562人)
第8地域	14,934 →19,032 (+4,098人)	2,491→2,157 (-334人)	9,805→13,238 (+3,433人)	2,638→3,637 (+999人)

※四捨五入しているため、各階層の推計値の合計が地域の総人口と一致しない場合があります（第6地域、第7地域）。

平成42年の人口及び階層別割合

地域	人口（人）	0～14歳（%）	15～64歳（%）	65歳～（%）
第1地域	42,985	12.1	66.5	21.4
第2地域	54,402	12.7	65.9	21.5
第3地域	36,649	11.9	59.8	28.3
第4地域	42,303	11.6	68.9	19.5
第5地域	17,832	12.9	64.2	23.0
第6地域	26,806	11.0	66.6	22.4
第7地域	37,516	12.1	67.5	20.4
第8地域	19,032	11.3	69.6	19.1

※四捨五入しているため、各階層の割合の合計が100%にならない場合があります（第2地域、第5地域）。

第2章 府中市の保有する施設の状況および有効活用の必要性

1. 財政状況

(1) 歳入

■歳入の推移

府中市の歳入は平成 21 年度決算（普通会計ベース）で、約 887 億円です。

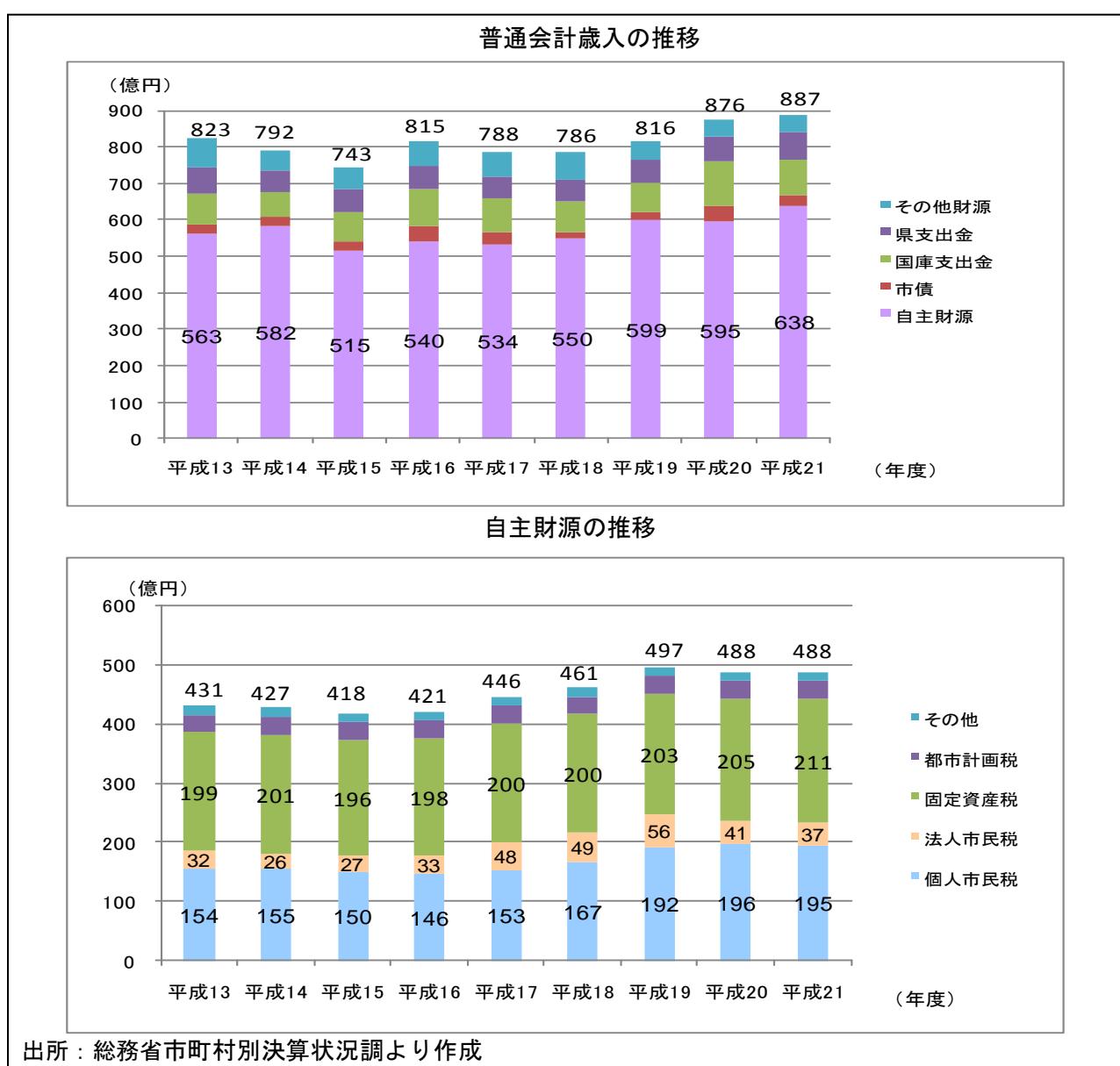
歳入の推移をみると、平成 15 年度までは減少傾向にありましたが、平成 16 年度から増収傾向に転じており、多少の増減はあるものの良好な状態にあります。

また、自主財源についても、平成 15 年度までは減少傾向にありましたが、市税収入の増加等により平成 21 年度は近年では最大の約 638 億円までに回復しています。

歳入の内訳は市税収入が歳入総額の 55.1% を占めており、特に、個人市民税・固定資産税は一時期の減少傾向を脱却し、近年は増加傾向にあり、安定した収支が確保されています。

しかし、平成 20 年の世界同時不況以降、個人市民税や法人市民税は減少傾向に入っています。

今後の経済状況や高齢化の進展などにより更なる減少傾向に入っていくことも推察されます。



(参考)類似団体との比較（平成21年度普通会計決算ベース）

本市の状況を人口及び産業構造が類似した都市と比較すると、財政力指数：1.34、経常収支比率：86.1、実質公債費比率：7.5であり、類似団体の中においては良好な水準です。しかし、扶助費の占める割合が大きく、人口1人当たり扶助費が約72万円と類似団体と比較しても高い水準となっています。

今後の高齢者人口の増加や経済状況の悪化による生活保護費の増大等が見込まれる中で、行政サービスの質を維持し続けるためには、更なる財政負担が予想されます。

財政力 (財政力指数)	
1位	浦安市
2位	調布市
3位	府中市
4位	三鷹市
5位	立川市
6位	鎌倉市
7位	市川市
8位	藤沢市
9位	町田市
10位	狹山市
12位	日野市
12位	小平市
14位	八王子市
14位	秦野市
15位	八千代市
17位	佐倉市
17位	上尾市
19位	新座市
19位	西東京市
21位	松戸市
21位	流山市
22位	習志野市
(単純平均)	
(類似団体平均)	

財政構造の弾力性 (経常収支比率)	
(単位: %)	
1位	浦安市
2位	府中市
3位	八王子市
4位	藤沢市
5位	三鷹市
6位	市川市
7位	町田市
8位	流山市
9位	立川市
10位	調布市
11位	西東京市
12位	日野市
13位	新座市
14位	鎌倉市
15位	上尾市
16位	松戸市
17位	秦野市
18位	狹山市
19位	佐倉市
20位	習志野市
21位	八千代市
22位	小平市
(単純平均)	
(類似団体平均)	

公債費負担の状況 (実質公債費比率)	
(単位: %)	
1位	日野市
2位	府中市
3位	市川市
4位	鎌倉市
5位	八王子市
6位	西東京市
7位	小平市
8位	三鷹市
9位	狹山市
10位	上尾市
11位	秦野市
12位	調布市
13位	立川市
14位	松戸市
15位	藤沢市
16位	佐倉市
17位	府中市
18位	流山市
19位	習志野市
20位	浦安市
21位	八千代市
22位	新座市
(単純平均)	
(類似団体平均)	

人口1人当たり扶助費決算額 (単位: 千円)	
1位	習志野市
2位	佐倉市
3位	浦安市
4位	流山市
5位	鎌倉市
6位	八千代市
7位	上尾市
8位	狹山市
9位	市川市
10位	秦野市
11位	松戸市
12位	藤沢市
13位	新座市
14位	調布市
15位	西東京市
16位	日野市
17位	小平市
18位	町田市
19位	三鷹市
20位	府中市
21位	八王子市
22位	立川市
(類似団体平均)	

出所：総務省市町村別決算状況調より作成

(2) 歳出

■歳出の推移

府中市の平成 21 年度普通会計歳出は、約 856 億円です。

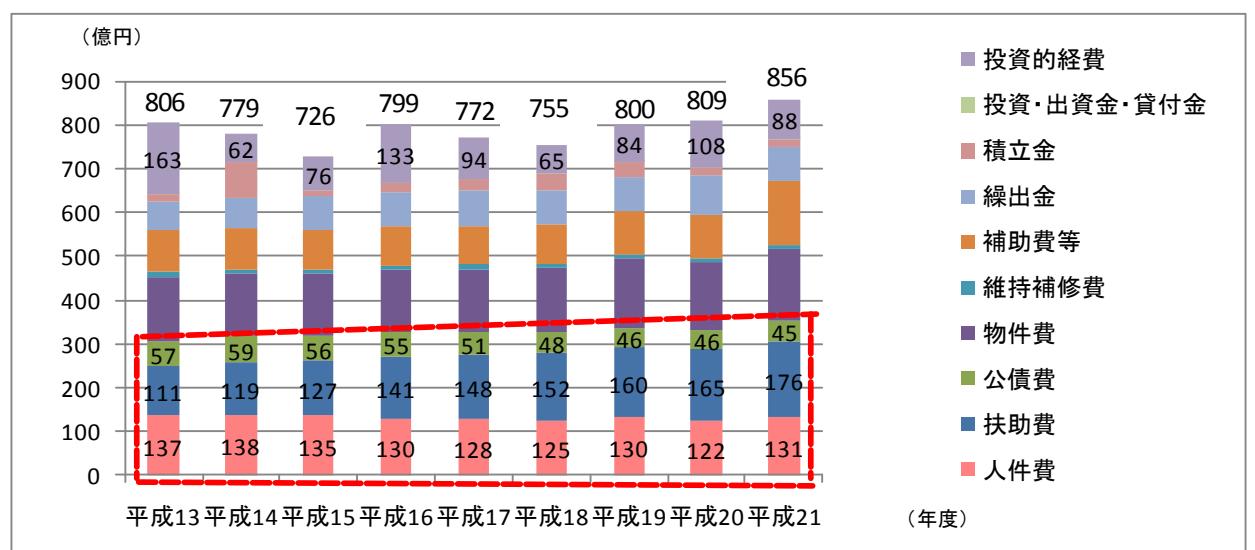
歳出の推移をみると、歳入同様に平成 15 年度までは減少傾向にありましたが、平成 16 年度以降は増加に転じています。

歳出のうち、義務的経費である、人件費・扶助費・公債費の合計が全体の 41.2% を占めています。そのなかでも、子ども医療費助成や生活保護費を中心とした扶助費が顕著な伸びを示しており、平成 13 年度から平成 21 年度までの間に約 65 億円増加しています。

職員の削減等、行財政改革により人件費や公債費は減少傾向にあり、扶助費の増加を一定程度吸収していますが、義務的経費総額は増加となっています。

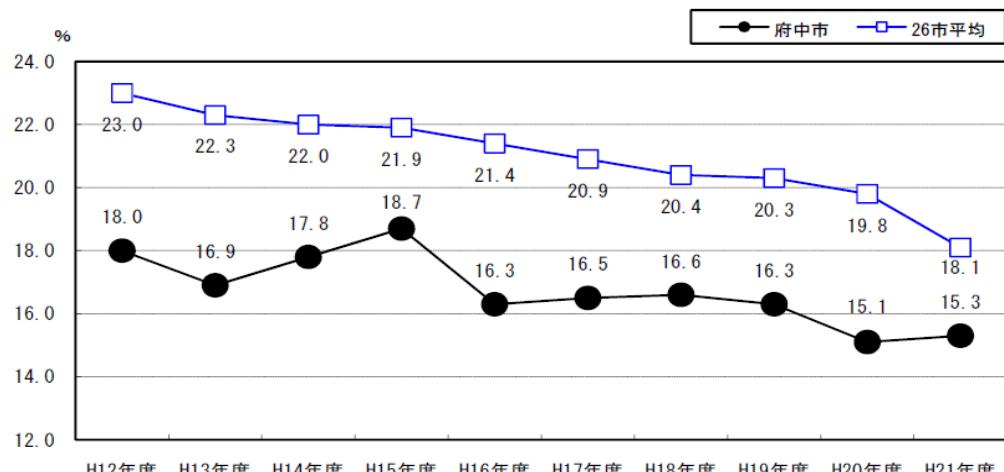
一方で、投資的経費の推移をみると、ピークであった平成 13 年度の 163 億円から平成 21 年度には約 88 億円まで低減しています。急激な増加を示す扶助費に対応するため、財源配分を投資的経費から扶助費へシフトせざるを得ない状況にあります。

歳出の最近の推移（普通会計）



出所：総務省市町村別決算状況調より作成

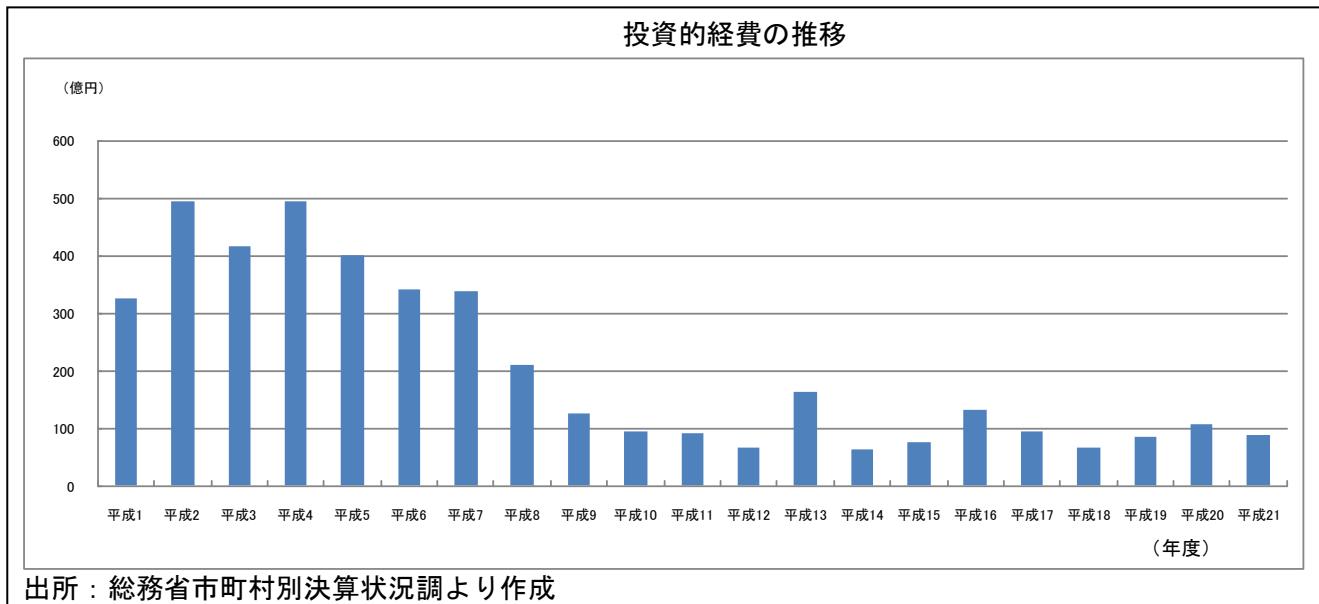
普通会計決算の歳出総額に占める人件費割合の推移



出所：府中市行財政改革推進プラン（H22.12）より作成

■投資的経費の推移

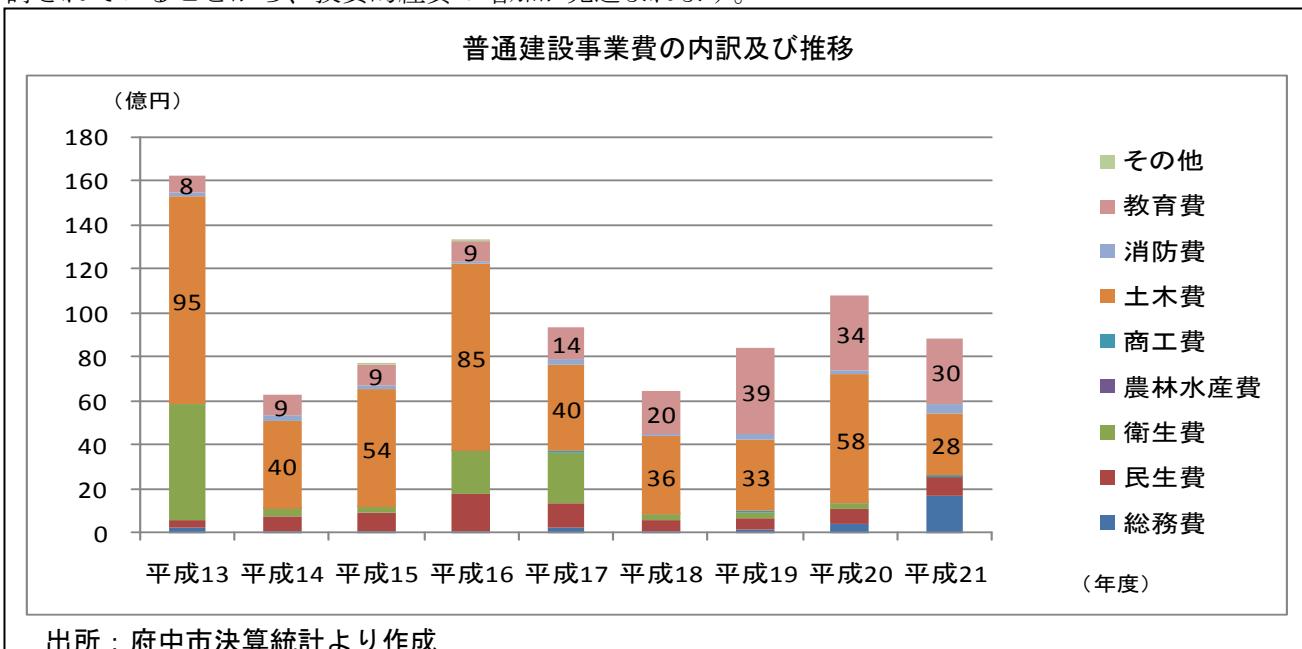
投資的経費は、平成2年度から平成5年度に年間400～500億円近くの多額の投資が集中しています。具体的には、府中の森芸術劇場、インテリジェントパーク、府中駅・中原駅の再開発等の都市基盤整備事業です。これらの資産は、整備の20年後以降には老朽化が始まるため、将来の維持更新・改修費用の増大が予想されます。



投資的経費から災害復旧事業費を除いた普通建設事業費の内訳の推移をみると、土木費が多くを占めています。

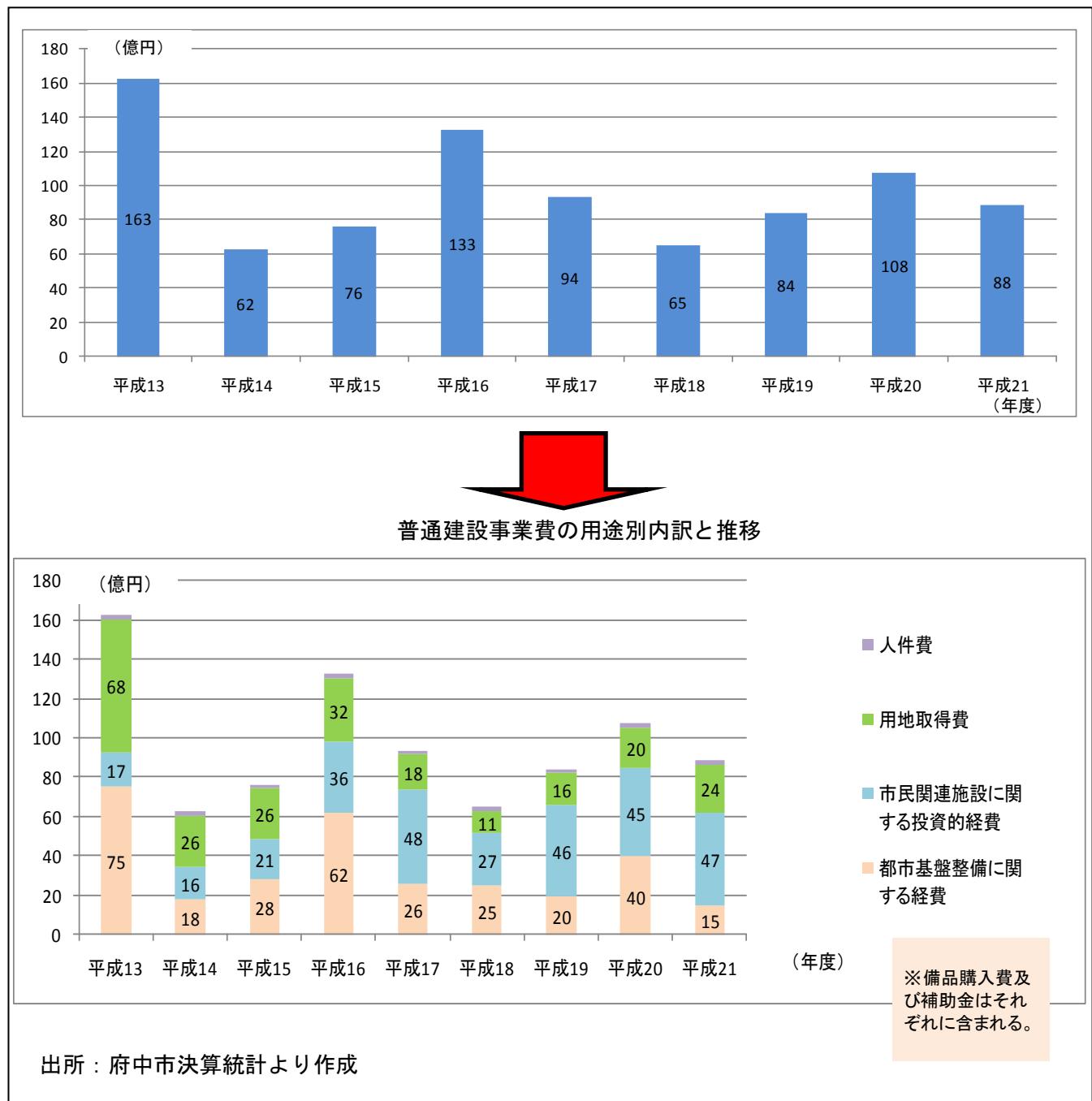
また、近年では、教育費の割合が増加しています。これは、幼稚園・小中学校の耐震化や小学校校庭の芝生化に関する費用だと推測されます。

府中市では、平成25年度末までに全ての小中学校の耐震化を終了する見込みとなっております。また、防災上重要な市公共建築物は、平成27年度末までに耐震化率を100%にする目標があることに加え、今後、府中駅南口再開発事業、新給食センター建設事業、市役所新庁舎建設など、新規の施設整備が検討されていることから、投資的経費の増加が見込まれます。



平成21年度普通会計における普通建設事業費の決算額は約88億円となっていますが、このうち、人件費が約2.3億円、用地取得費が約24億円となっています。さらに、そこから都市基盤整備に関する経費、約15億円を控除した約47億円が、府中市の市民関連施設に関する新設や維持改修等に使用している財源となります。この経費の最近の推移は約45～47億円ですが、平成14年度から平成21年度を平均すると35.75億円です。

※都市基盤整備費：普通建設事業費のうち、目的別歳出の土木費から人件費及び用地取得費を控除したもの

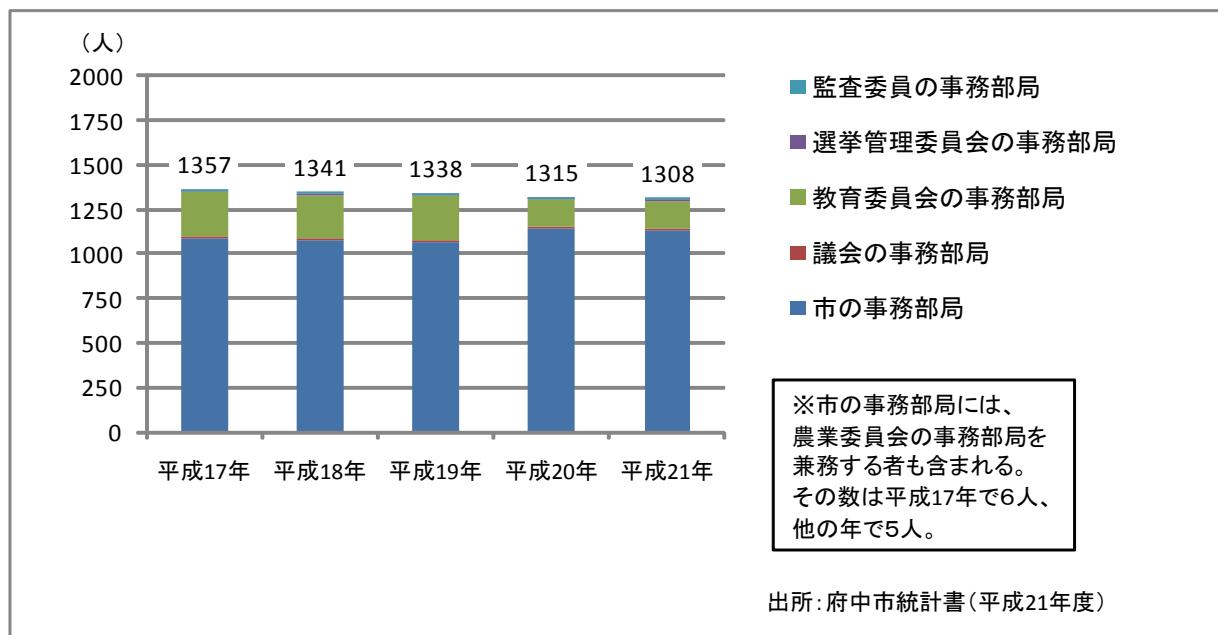


2. 職員数の推移

これまで、平成20年度を計画期間の初年度とする行革プランのもと、経常収支比率80%台、公債比率10%以下を目指し、事務事業の見直しや職員の定員管理及び給与の適正化、指定管理者制度の導入等による民間活力の活用等、行財政運営の効率化に取り組み、財政の健全化及び市民サービスの維持・向上に努めてきました。

職員数は、平成17年度は1,357人であったのに対し、平成21年は1,308人であり、4%減少しています。市の事務部局では1,085人から1,136人に微増していますが、平成20年度の組織改正により、文化・スポーツなどについての施策を総合的に推進するため、市の事務部局に文化スポーツ部を設置するとともに、教育委員会の事務部局にあった生涯学習部を廃止する事務移管を行ったため、教育委員会の事務部局の職員は250人から150人へと大幅に減少しています。

府中市の職員数



	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年
監査委員	4	4	4	4	4
選挙管理委員会	6	6	6	6	6
教育委員会	250	247	248	152	150
議会	12	12	12	12	12
市	1085	1072	1068	1141	1136
合計(人)	1357	1341	1338	1315	1308

3. 保有する施設の築年別整備状況

■築年別整備状況

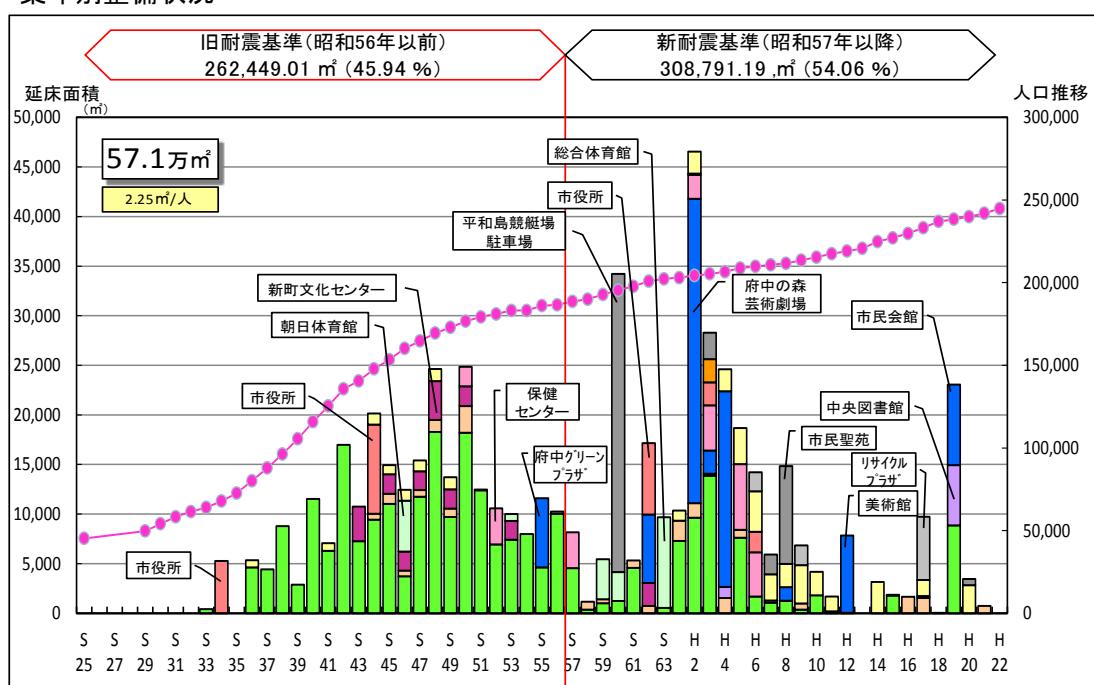
市が保有する建物約 57.1 万 m² のうち、旧耐震基準で建設された建物は約 26.2 万 m² (45.9%)、新耐震基準で建設された建物は約 30.9 万 m² (54.1%) です。

築年別にみると、築 20~39 年の施設が約 28 万 m² で 49% を占めています。さらに、老朽化対策が求められる築 30 年以上の建物は約 25.2 万 m² (44%) となっています。

建物用途別にみると、学校施設は公共施設の約半分を占めており、耐震安全性の確保については平成 25 年度までに完了する計画となっています。

学校を除く施設で、旧耐震基準により建設された建物は約 6.8 万 m² (12%) です。市が保有する施設は人口増加が急速に進んだ昭和 40~50 年代前半にかけて建設された施設が多く、建物の安全性の確保、大規模改修、建替え等に今後莫大なコストがかかることが予測されます。

図 築年別整備状況



用途	延床面積	構成比	用途	延床面積	構成比
学校教育系施設 小学校、中学校	26万2,297.07 m ²	45.92%	行政系施設 市役所、市政情報センター、女性センター、防災ステーション、防災センター	2万5,859.33 m ²	4.53%
子育て支援系施設 保育所、幼稚園、子ども家庭支援センター、学童クラブ	2万1,625.75 m ²	3.79%	スポーツ・レクリエーション	2万2,284.62 m ²	3.90%
文化センター	2万1,295.35 m ²	3.73%	産業系施設	2,336.80 m ²	0.41%
図書館 生涯学習センター図書館、中央図書館	7,182.53 m ²	1.26%	市営住宅	4万1,667.50 m ²	7.29%
市民文化系施設 グリーンプラザ、市民会館、生涯学習センター、博物館、国際交流サロン	8万3,915.84 m ²	14.69%	供給処理施設 リサイクルプラザ	1万0,300.00 m ²	1.80%
保健福祉系施設 老人ホーム、高齢者在宅サービスセンター、保健センター、ふれあい会館	2万7,267.47 m ²	4.77%	その他 駐車場、市民聖苑	4万5,207.94 m ²	7.91%

■今後 40 年間にかかるコスト試算シミュレーション

<共通試算条件>

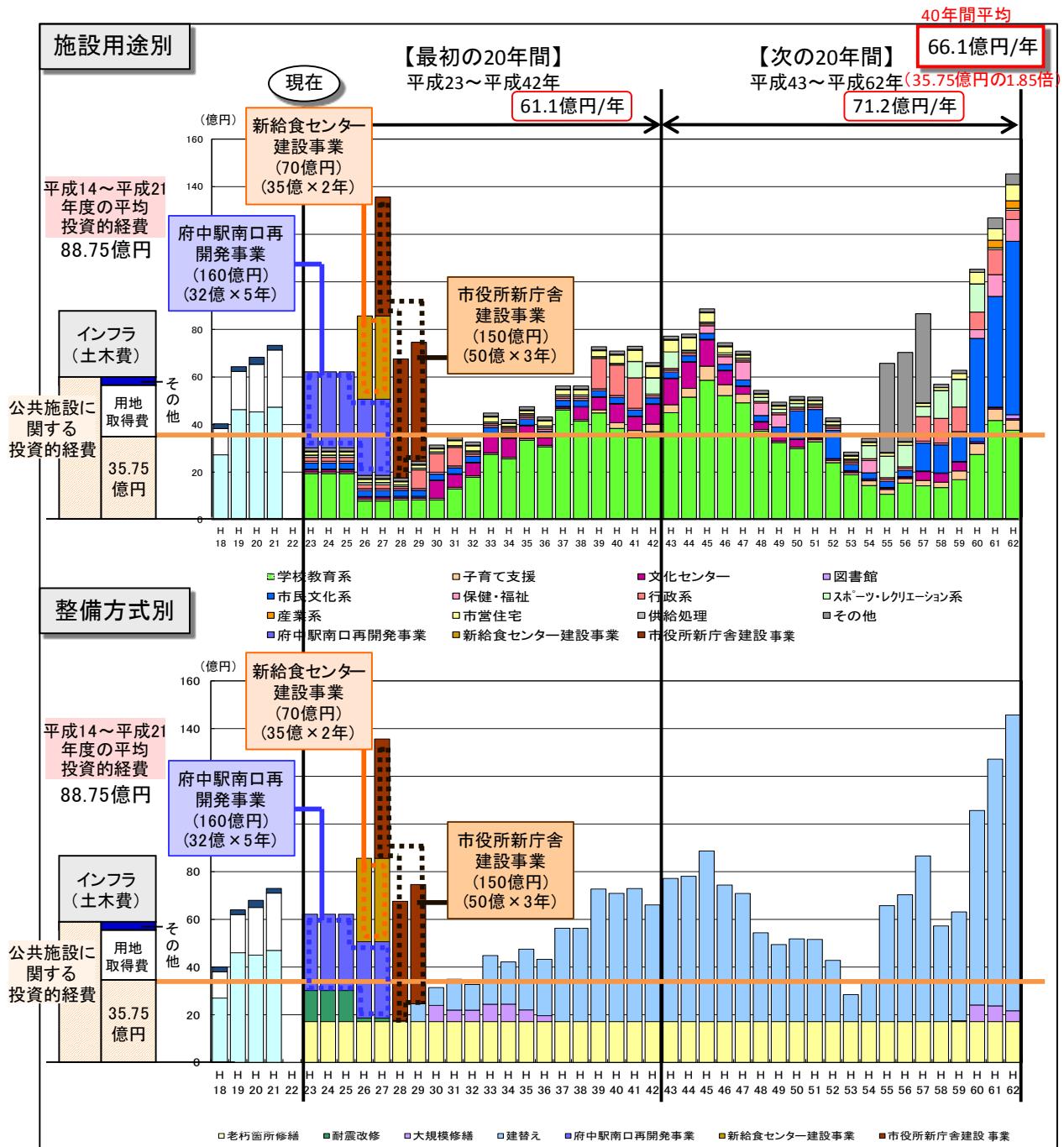
- 耐震安全性確保が未実施の施設は、最初の 5 年間（平成 23～平成 27 年）に実施する。
- 建替え及び大規模改修予算は、年度ごとのばらつきを軽減させるために、
 - 建替え : 3 年間
 - 大規模改修 : 2 年間 に振り分けて、予算計上する。
- 平成 23 年度以前に建替え・大規模改修時期を迎えている施設は、最初の 5 年間（平成 23～平成 27 年）に実施する。
- 現状施設を維持（52.9 m²）することを前提としている。（建替え時の面積増分は含まない）

<今後、建替え・改修にかかるコスト試算シミュレーション>

- 現存の施設（平成 22 年時点で建設済みの施設）
⇒全て建替え（60 年経過したものから）
- 建替えた施設（耐用年数 80 年と仮定）
⇒建替えた施設（耐用年数 80 年と仮定）は、30 年経過したら大規模改修、さらに 25 年経過したら 2 回目の大規模改修を実施、その後 25 年使う
- 全施設対象
⇒毎年 3,000 円 / m² 老朽箇所修繕を実施

<シミュレーション結果>

平成 23 年から平成 62 年の 40 年間では、年平均 66.1 億円のコストが必要になります。府中市の公共施設において、旧耐震基準施設は全体の 46% を占めていることや、府中駅南口再開発事業、新給食センター建設事業及び市役所新庁舎建設事業を控えていることから、平成 23 年から平成 42 年の最初の 20 年間では年平均 61.1 億円のコストがかかります。また、市民文化系施設の多くが建替えの時期を迎える次の 20 年間では、年平均 71.2 億円のコストがかかります



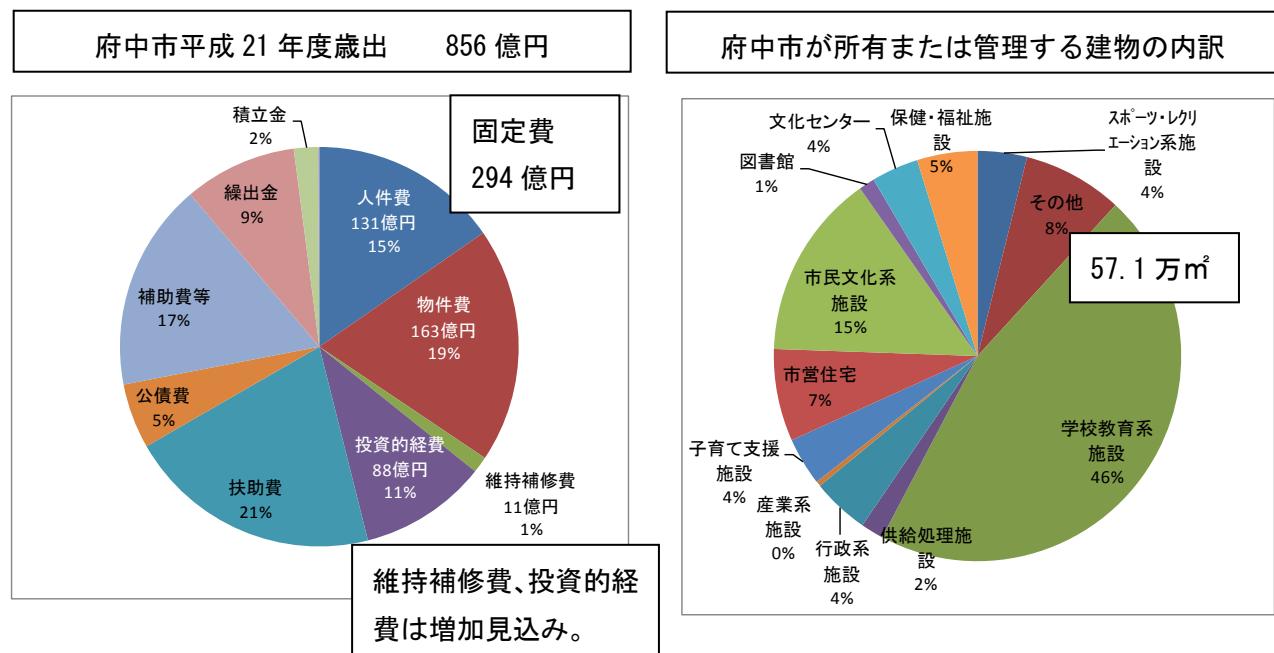
※新規建設分の投資的経費については、今後の見込みに基づいたものであり、それらは決定したものではありません。

4. 行政運営から行政経営へ

府中市では、行財政改革の一環として、行財政運営の効率化に取り組み、財政の健全化及び市民サービスの維持・向上に努めてきました。しかし、人件費や物件費などの固定費は歳出全体の34%の約294億円を占め、今後も同程度の歳出が予想されます。学校や文化センターなどの施設は老朽化しており、一定額の維持補修費が必要となります。さらに、府中駅南口再開発事業、新給食センター建設事業、市役所新庁舎建設事業など大規模な事業が検討されており、平成21年度で約88億円にのぼっている投資的経費の額はさらに増えるものと見込まれます。

第5次府中市総合計画後期基本計画における4つの基本目標を達成するためには様々な行政サービスを実施する必要がありますが、多くのサービスはそれらを実施する場所、すなわち公共施設と深いかかわりを持っています。限られた財源の中で「心ふれあう 緑ゆたかな 住みよいまち」を実現するためには、サービス提供の場である公共施設を計画的に管理し、社会状況やニーズにも柔軟に対応していくことが必要不可欠です。

公共施設を計画的に管理し、社会状況やニーズにも柔軟に対応していくためには、まず、現在の公共施設がどのような状態にあるかを知る必要があります。具体的には、市民の皆様がそれぞれの公共施設をどのように利用されているか（利用状況）、サービス提供者である市がどのように施設を運営しているか（運営状況）、建物の構造が適切か（建物状況）、経費が適切か（コスト状況）を把握する必要があります。公共施設マネジメント白書は、今後の公共施設のあり方を検討する前提として、まず現状を正確に把握することを目的としています。



第3章 用途別実態把握

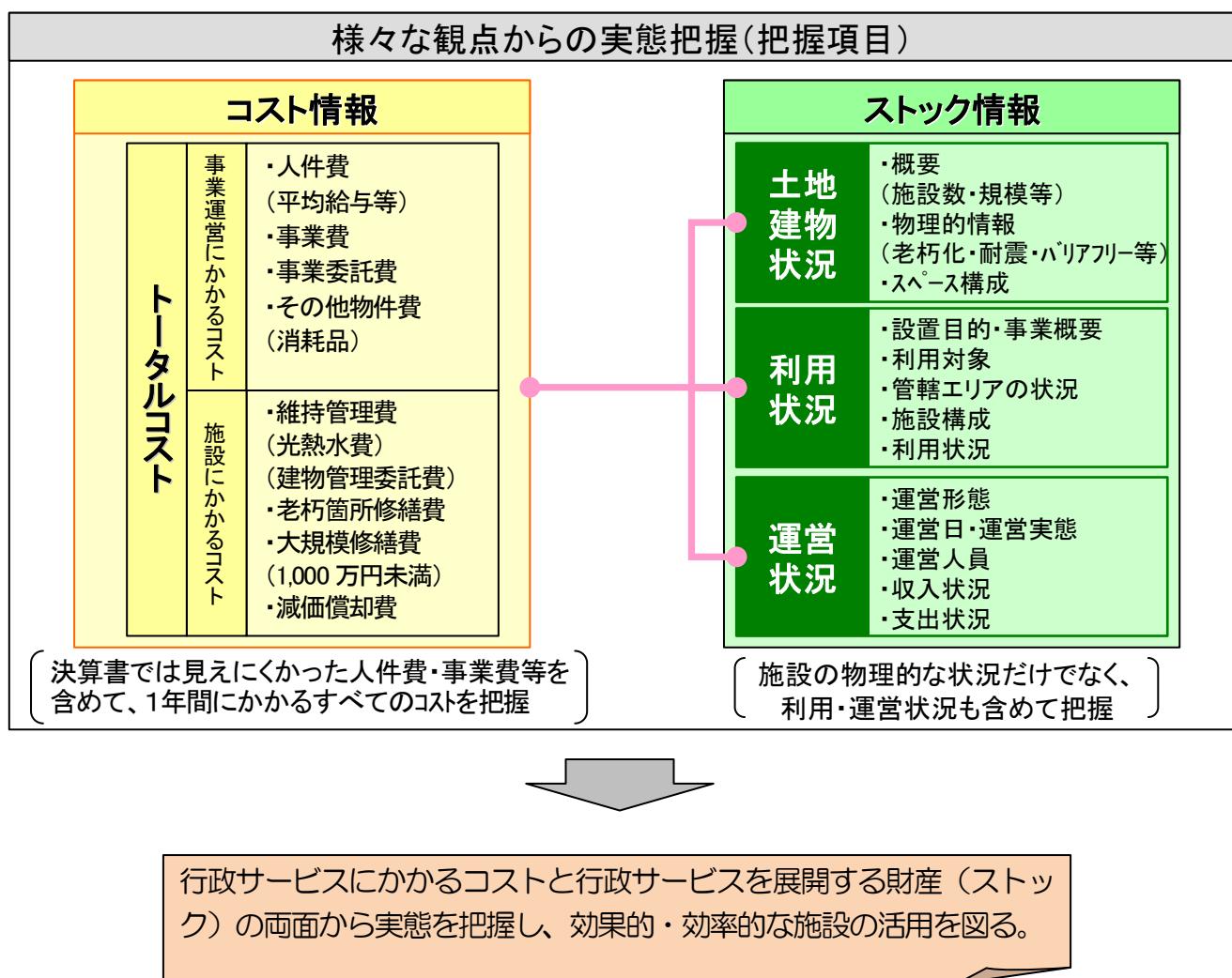
1. コスト情報とストック情報の的確な把握

(1) 用途別実態把握の内容

本章では、府中市が保有している施設を用途ごとに実態を整理します。今後の公共施設マネジメントの方向性を検討するには、的確な公共施設の現状把握が必要です。行政コストを削減しながら、必要なサービスを維持し、さらによりよいサービスを提供するには、建物の状況等の施設のストック情報だけでなく、コスト情報との両面から実態を整理・分析する必要があります。

コスト情報の面からは、行政コスト計算書等を活用し、その施設に要するコストの全体の額を把握するとともに、建物の管理やサービスの提供にかかる人件費や事業費など費用の構成を把握します。なお、収入については、施設利用者の負担分（受益者負担分）のみ対象とし、まとめています。一方、ストック情報の面では、保有している施設の量や建物の老朽化の状況、施設内のスペース構成等の建物状況に加え、サービスの内容、利用者数、稼働率等の利用状況、運営形態、運営日、運営人員等の運営状況を把握します。

このようにコスト情報、ストック情報の両面から公共施設の管理の状況とその施設で行われている行政サービスを把握することで、事業の問題点や課題を明確化し、今後、施設や事業の改善の方向性を検討する際に活用していきます。



(2) 府中市の公共施設の配置状況（概要）

主な公共施設の配置状況を8地域別に下図のようにまとめました。施設ごとに対象とする圏域の設定が異なりますが、地域対応施設の文化センター、学校、保育所・幼稚園は比較的まんべんなく配置されており、広域対応施設は、第4地域、第3地域、第7地域に多く配置されています。

第8地域

人口 : 14,800人
面積 : 271ha
人口密度 : 54.7人/ha

第6地域

人口 : 27,800人
面積 : 248ha
人口密度 : 112.3人/ha

第7地域

人口 : 31,100人
面積 : 413ha
人口密度 : 75.2人/ha

第5地域

人口 : 17,600人
面積 : 244ha
人口密度 : 71.1人/ha

第4地域

人口 : 31,600人
面積 : 227ha
人口密度 : 139.1人/ha

第3地域

人口 : 40,000人
面積 : 394ha
人口密度 : 101.3人/ha

第2地域

人口 : 44,400人
面積 : 594ha
人口密度 : 74.7人/ha

第1地域

人口 : 35,600人
面積 : 539ha
人口密度 : 66.0人/ha

市役所出張所

博物館

文化施設

スポーツ施設

地域体育館

産業・衛生施設

学習・交流施設

図書館

地区図書館(12)

公民館(11)

高齢者福祉館(11)

児童館(11)

中学校(11)

学校施設

小学校(22)

幼稚園(市)(3) 民(17)

保育所(市)(16) 民(21)

コミュニティ団体(11)

(3) 建物評価の方法

市の公共施設の建物を以下の6軸で評価します。

評価項目と指標

<6軸での評価>

- ①耐震安全性：耐震診断、耐震補強の実施状況
- ②老朽化状況：築年数
- ③バリアフリー対応状況：バリアフリー化の対応状況
- ④環境対応状況：環境負荷低減にかかる整備状況
- ⑤維持管理：光熱水費、各所修繕費、建物管理委託費
- ⑥吹付けアスベスト：アスベスト封じ込め、除去の実施状況

評価指標		3	2	1
① 耐震安全性	現行の耐震基準への適合	問題なし (新耐震基準以降又は、補強等を実施した建物)	対策中	対策が必要

評価指標		3	2	1
② 老朽化状況	築年数による評価	問題なし (築20年未満)	対策の検討が必要 (築20年以上30年未満)	対策が必要 (築30年以上)

評価指標		3	2	1
③ バリアフリー対応状況		対応済み (6項目全て実施)	一部未実施 (1項目～5項目実施)	バリアフリー対応が必要 (実施項目なし)

<以下の項目に対応しているか>

車いす用エレベータ、身障者用トイレ、道路から入口までの車いす用スロープ、自動ドア、手すり、点字誘導ブロックの6項目

※道路から入口までの車いす用スロープについては、スロープがない場合であっても、道路から入口までの間に段差がない場合は、対応済み（○）とします。

※自動ドアについては、施設の利用者が特定の者に限られ、施設の性質上、他の方法を用いて障害を解消する方が望ましいと考えられる場合は、評価不要（－）とします。

評価指標	3	2	1
④ 環境対応状況	妥当 (1 m ² 当たりの値が、平均値の1.4倍未満の建物)	一部改善の可能性あり	改善の可能性あり (1 m ² 当たりの値が、平均値の1.4倍以上の建物)

※年間一次エネルギー消費量（A）及びCO₂排出量（B）による評価。

「3」…（A）・（B）とも1 m²当たりの値が、平均値の1.4倍未満の場合

「2」…（A）・（B）いずれかで1 m²当たりの値が、平均値の1.4倍以上の場合

「1」…（A）・（B）とも1 m²当たりの値が、平均値の1.4倍以上の場合

※平均値とは、同一用途の施設間における平均値をいいます。

評価指標	3	2	1
⑤ 維持管理費の妥当性	妥当 (1 m ² 当たりの値が、平均値の1.4倍未満の建物)	—	改善の可能性あり (1 m ² 当たりの値が、平均値の1.4倍以上の建物)

※維持管理費とは、建物管理委託費（清掃費・警備費・機械保守費等）、光熱水費（電気・ガス・水道・燃料等）、各所修繕費（建物等の軽微な故障等に対する修繕）をいいます。

※平均値とは、同一用途の施設間における平均値をいいます。

評価指標	3	2	1
⑥ 吹付けアスベスト	対応済み 対応不要	対策中	対策が必要

2. 主な施設の実態把握

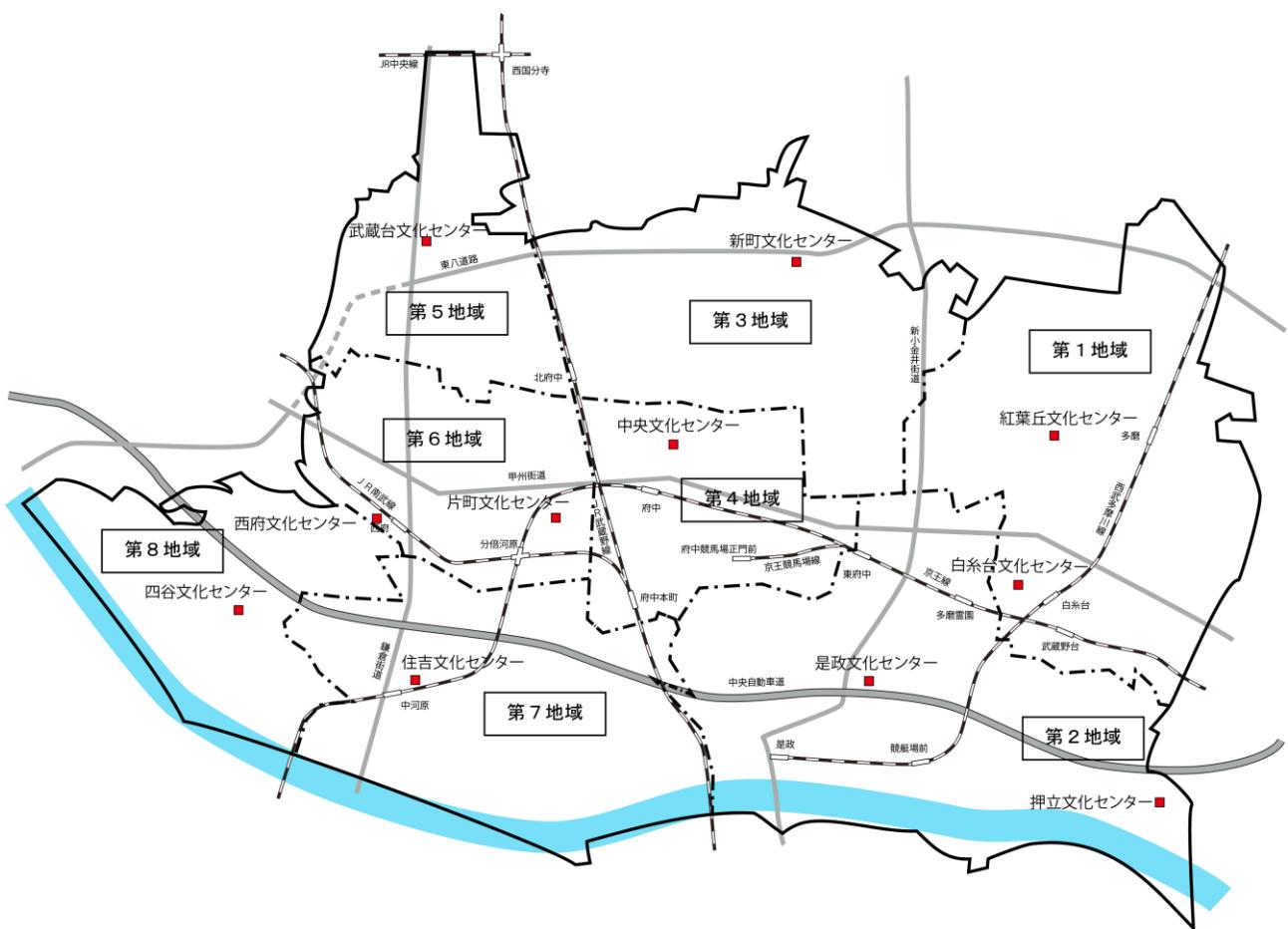
2-1 文化センター

(1) 概要

- 文化センターは、11のコミュニティ圏域ごとに、市役所出張所（窓口）、公民館、高齢者福祉館、児童館、図書館が併設された複合施設であり、個性的な地域文化を創造するコミュニティ施設です。
- 文化センターに設置されている「出張所」は、すべての文化センターの「窓口」で行っている戸籍・住民票の写し等の証明書発行業務、粗大ごみシールの販売や交通災害共済の受付等に加え、戸籍・住民登録に関する届出等の受付業務を行っています。なお、出張所は文化センター11施設のうち、東西の2施設に設置されています。
- 「公民館」は、社会教育法及び府中市立公民館条例に基づき、市民の生活文化の振興及び地域の生涯学習事業を推進するための施設として設置され、会議室や和室等があり、原則無料で使用することができます。なお、公民館は各文化センターに設置されており、計11施設あります。
- 「高齢者福祉館」は、府中市立福祉会館条例に基づき、市民の福祉の増進及び高齢者の健康増進や娯楽に関する事業を行う施設として設置され、浴場や健康コーナー等があり、原則無料で使用することができます。なお、高齢者福祉館は各文化センターに設置されており、計11施設あります。
- 「児童館」は、府中市立児童館条例に基づき、児童に健全な遊びを与え、健康を増進し、又は情操を豊かにするための施設として設置され、遊戯室や集会室等があり、原則無料で使用することができます。中央児童館には、発表会等に使用できる定員210名のひばりホールがあります。なお、児童館は各文化センターに設置されており、計11施設あります。

文化センター					
施設の種類・設置数	出張所・窓口	公民館	高齢者福祉館	児童館	図書館
設置目的・根拠法	計11施設 ・出張所(2) ・窓口(9)	計11施設	計11施設	計11施設	
市長の権限に属する事務を分掌させるため出張所を設ける。 【府中市役所出張所設置条例第1条】					
所管	市民生活部市民活動支援課				
サービス内容	納税、戸籍及び住民基本台帳、埋火葬許可、印鑑登録及び諸証明、使用料手数料その他等	一 定期講座を開設すること。 二 講論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催すること。 三 図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。 四 体育、レクリエーション等に関する集会を開催すること。 五 各種の団体、機関等の連絡を図ること。 六 その施設を住民の集会その他の公共的利用に供すること。 【社会教育法第22条】	高齢者の健康増進及び娯楽に関する事業を行う。 【府中市立福祉会館条例第3条】	・各種資料の収集又は展示に係ること ・各種講座の開設に係ること ・図書の閲覧に係ること ・児童の絵画、写真、当の展示及び健全なレクリエーション活動の指導に係ること。 【府中市立児童館条例第3条】	別途 とりまとめ
利用者の範囲		・市民以外も利用可能。		・市内居住の小中学校の児童・生徒 ・保護者が同伴する幼児 ・ひばりホール及び遊戯室、集会室、工作室の夜間使用はその限りでない。	
使用料	・証明書などの手数料	・社会教育登録団体は無料。 ・社会教育登録団体以外が利用する場合、有料。 ・市外居住者が使用する場合、有料(市民の2倍)。	・無料 ・17:30以降、日曜日9:00～17:00は有料(大広間、談話室)	・無料 ・ひばりホール並びに遊戯室、集会室及び工作室の夜間使用は有料。 ・市内の児童を対象とした催し等では免除の制度あり。	
配置の考え方	11のコミュニティ圏域に1施設づつ配置(中央文化センターには図書館なし)				

文化センター位置図



施設一覧

施設名	建築年度	延床面積 (m ²)	併設施設							
			出張所	窓口	公民館	高齢者 福祉館	児童館	図書館	その他	具体的内容
中央文化センター	S43	1968	3,489		●	●	●	●		● 振興会館
白糸台文化センター	S45	1970	1,951	●		●	●	●	●	
西府文化センター	S46	1971	1,923	●		●	●	●	●	
武蔵台文化センター	S47	1972	1,902		●	●	●	●	●	
新町文化センター	S48	1973	1,964		●	●	●	●	●	
住吉文化センター	S48	1973	1,962		●	●	●	●	●	
是政文化センター	S49	1974	1,937		●	●	●	●	●	
紅葉丘文化センター	S50	1975	1,975		●	●	●	●	●	
押立文化センター	S53	1978	638		●	●	●	●	●	
四谷文化センター	S53	1978	1,394		●	●	●	●	●	
片町文化センター	S62	1987	2,317		●	●	●	●	●	
計			21,449	2	9	11	11	11	10	1

※中央文化センターに併設されている振興会館は関連団体が入居している施設。

※四谷文化センターの延床面積は拡張工事後のもの。

出張所・窓口 業務一覧

		届出受付業務							証明書交付業務				他の業務			
		戸籍に 関する 届出	住民登 録に關 する届 出	印鑑登 録に關 する届 出	国民健 康保険 に關す る届出	母子手 帳の交 付	税金・ 料金の 支払い	犬の 登録	戸籍に 関する 証明書	住民登 録に關 する証 明書	印鑑登 録証明 書	その他 (外國人登 録に關す る事等)	共済の 申込み	粗大ご み処理 券の販 売	保養所 等の申 込み	サービ スコー ナー
出 張 所	東部出張所※1	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	西部出張所※2	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
窓 口	中央文化センター								●	●	●	●	●	●	●	●
	武蔵台文化センター								●	●	●	●	●	●	●	●
	新町文化センター								●	●	●	●	●	●	●	●
	住吉文化センター								●	●	●	●	●	●	●	●
	是政文化センター								●	●	●	●	●	●	●	●
	紅葉丘文化センター								●	●	●	●	●	●	●	●
	押立文化センター								●	●	●	●	●	●	●	●
	四谷文化センター								●	●	●	●	●	●	●	●
	片町文化センター								●	●	●	●	●	●	●	●

※1白糸台文化センター

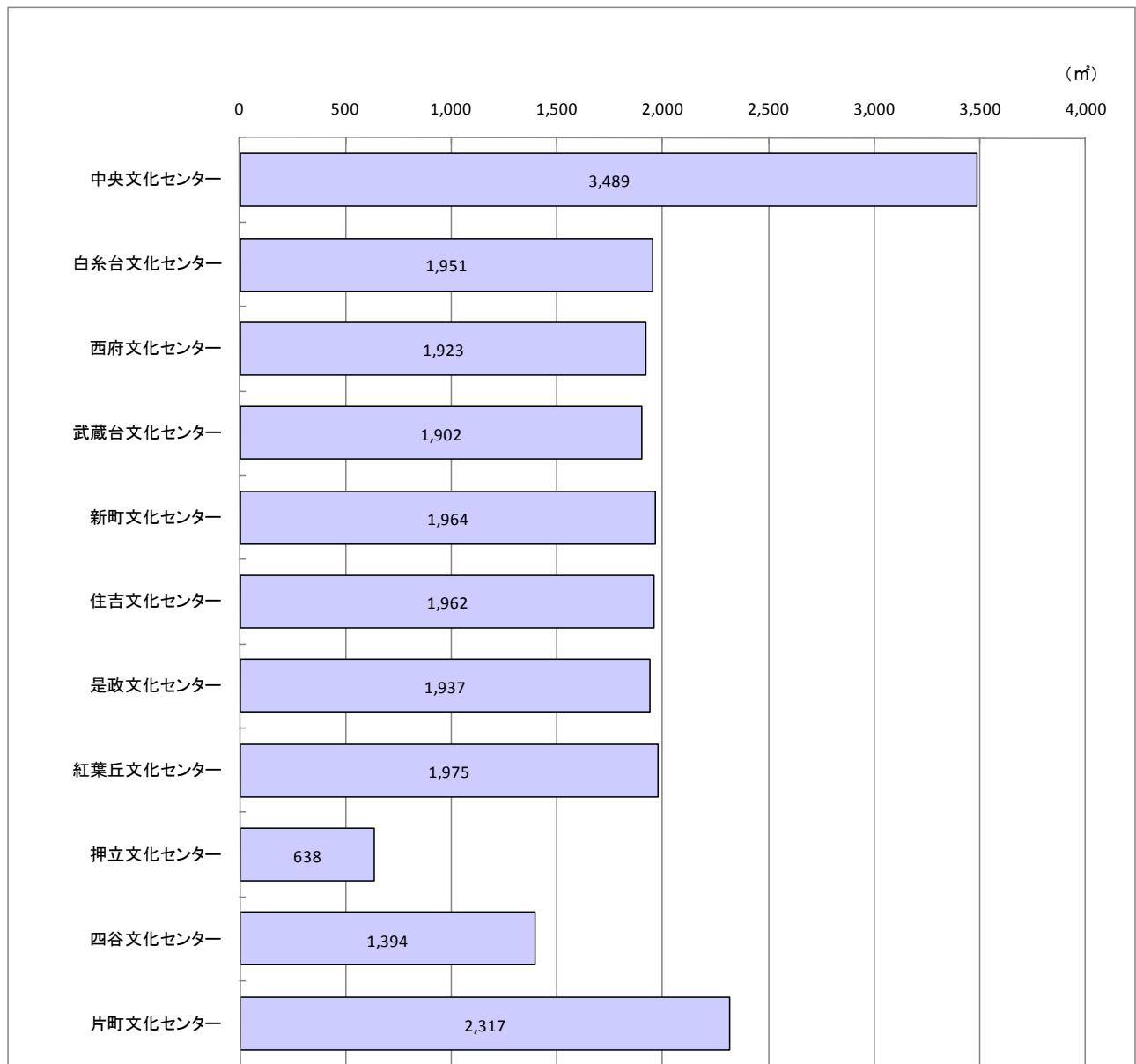
※2西府文化センター

(2) 施設状況

① 施設規模（延床面積）

- 中央文化センターが $3,489\text{ m}^2$ と最も大きく、昭和 45~50 年度に整備された白糸台、西府、武蔵台、新町、住吉、是政、紅葉丘の各文化センターについては、 $2,000\text{ m}^2$ 弱と同規模となっています。
- 一方、文化センターを補完する地域センターとして整備され、のちに文化センターに位置づけられた押立文化センターと四谷文化センターは他の施設と比較して小さく、押立が $1/3$ 、四谷が $2/3$ の規模となっています。四谷文化センターは拡張工事がなされており、押立文化センターは建替えが検討されています。

文化センターの延床面積



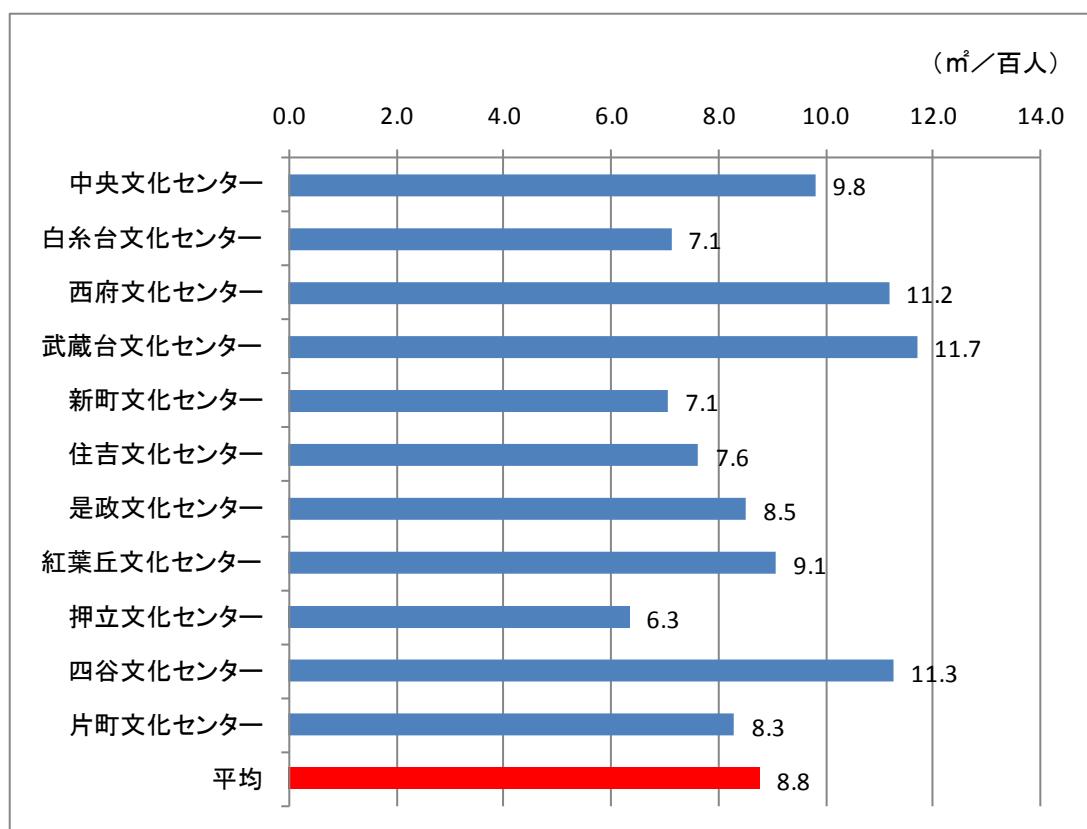
- 昭和 60 年に面積約 4 km²未満、人口 30,000 人未満という基準でコミュニティ圏域を設定し、文化センターは各コミュニティ圏域に 1 施設ずつ設置されていますが、地域により人口の規模に差が生じています。

コミュニティ圏域の人口・世帯（平成 22 年 1 月 1 日）

人口		中央	白糸台	西府	武蔵台	新町	住吉	是政	紅葉丘	押立	四谷	片町
総数		35,582	27,407	17,184	16,241	27,811	25,727	22,754	21,767	10,072	12,363	27,926
年少人口		4,288	3,730	2,741	2,050	3,961	3,873	3,363	3,135	1,406	2,113	3,287
生産年齢人口		24,838	19,324	11,831	10,427	18,245	16,758	15,348	14,804	6,913	7,901	19,723
高齢者人口		6,456	4,353	2,612	3,764	5,605	5,096	4,043	3,828	1,753	2,349	4,916
世帯		17,984	13,216	7,806	7,468	12,333	11,676	10,089	9,943	4,093	5,172	13,963

- 人口当たりの延床面積は、全市平均で 8.8 m²/百人です。地域別では、人口の少ない、武蔵台、西府、四谷の各文化センターの面積が大きくなっています。一方、人口当たりの床面積が小さいのは、人口規模、施設規模がともに小さい押立文化センター、人口規模が大きい白糸台、新町の各文化センターです。

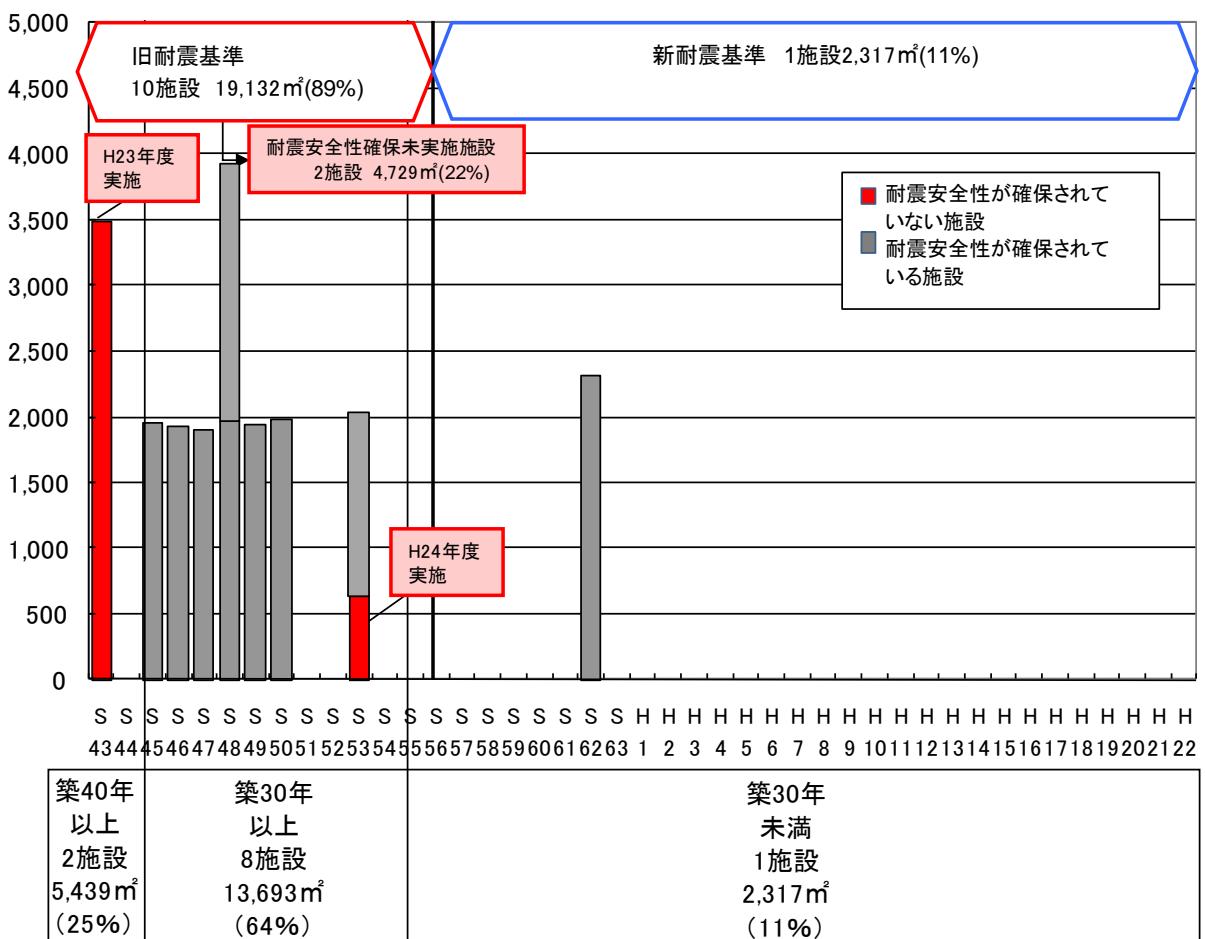
人口当たりの床面積（コミュニティ圏域別）



② 建築年度

- 文化センターは、築 30 年以上の施設がほとんどです。
- 昭和 56 年以前に建築された旧耐震基準の施設が $19,132 \text{ m}^2$ (10 施設)、昭和 57 年以降に建築された新耐震基準の施設が $2,317 \text{ m}^2$ (1 施設) であり、旧耐震基準の施設が 89% を占めます。

築年別整備状況（文化センター）



③ 運営日数、運営時間

- 年間の運営日数は、出張所、窓口は平日のみで、それぞれ 242 日、236 日です。公民館、高齢者福祉館、児童館は曜日に関係なく運営しており、計 339 日です。年間の運営日数は、四谷文化センターを除く全施設で同じです。
- 四谷文化センターは増改築工事が行われていたため、その間窓口を除き閉鎖していました。
- 出張所・窓口の運営時間は 8:30～17:00 となっています。
- 公民館の利用時間区分は午前と午後で、必要な場合は夜間も利用することができます。
- 高齢者福祉館の運営時間は 9:00～17:00 で、大広間や談話室は一般開放しています。また、夜間や日曜日に使用する場合は、部屋貸しとなります。
- 児童館の運営時間は 9:00～17:00（12:00～13:00 は休憩）で、府中市に居住する小・中学校の児童・生徒及び保護者が同伴する幼児は使用することができます。ただし、ひばりホール並びに遊戯室、集会室及び工作室の夜間の使用については、使用者の制限はなく、部屋貸しとなります。

運営日数

	平日	土日	計
出張所	242	0	242
窓口	236	0	236
公民館、高齢者福祉館、児童館	236	103	339
公民館、高齢者福祉館、児童館 (四谷)	189	81	270

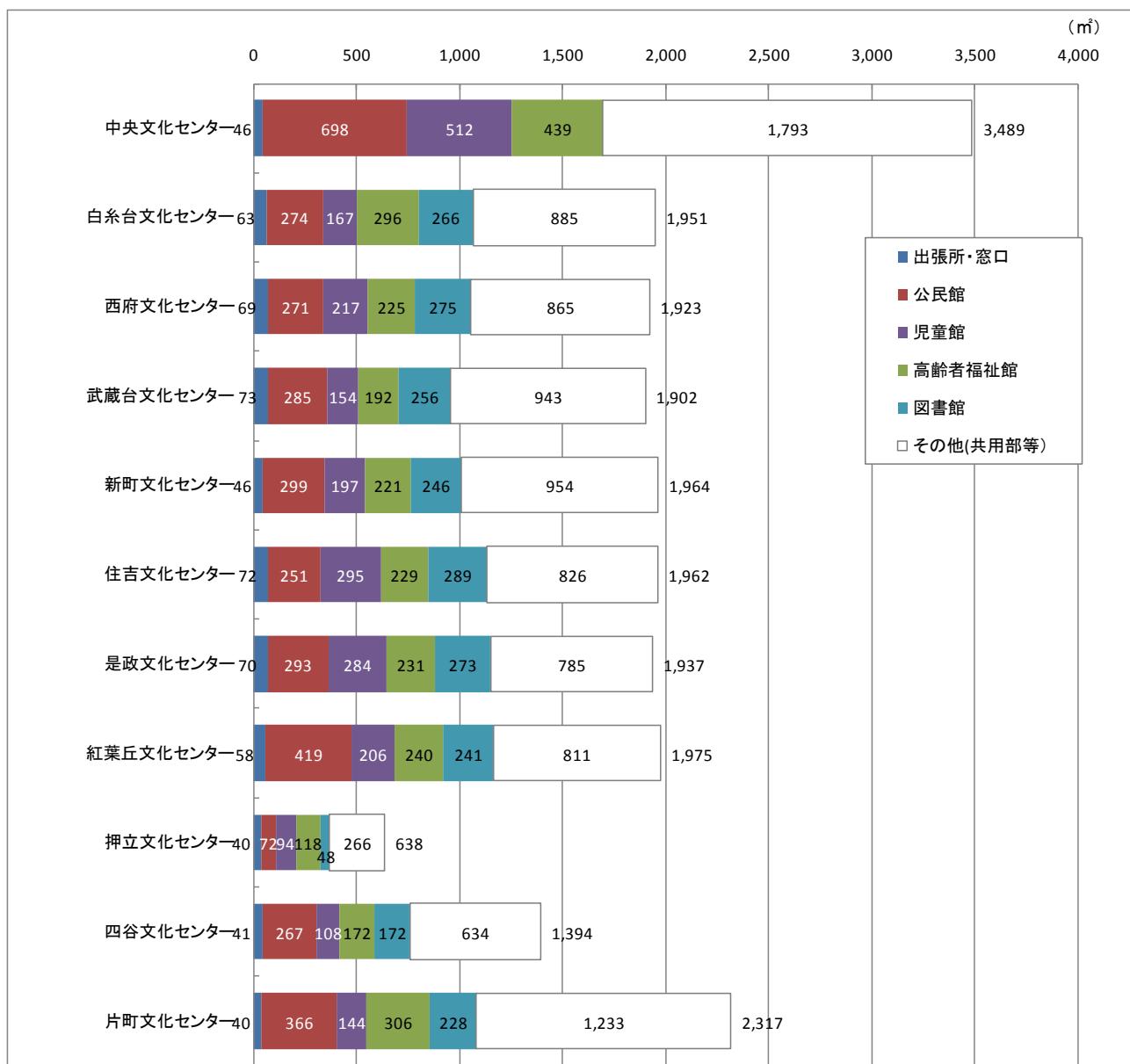
運営時間帯



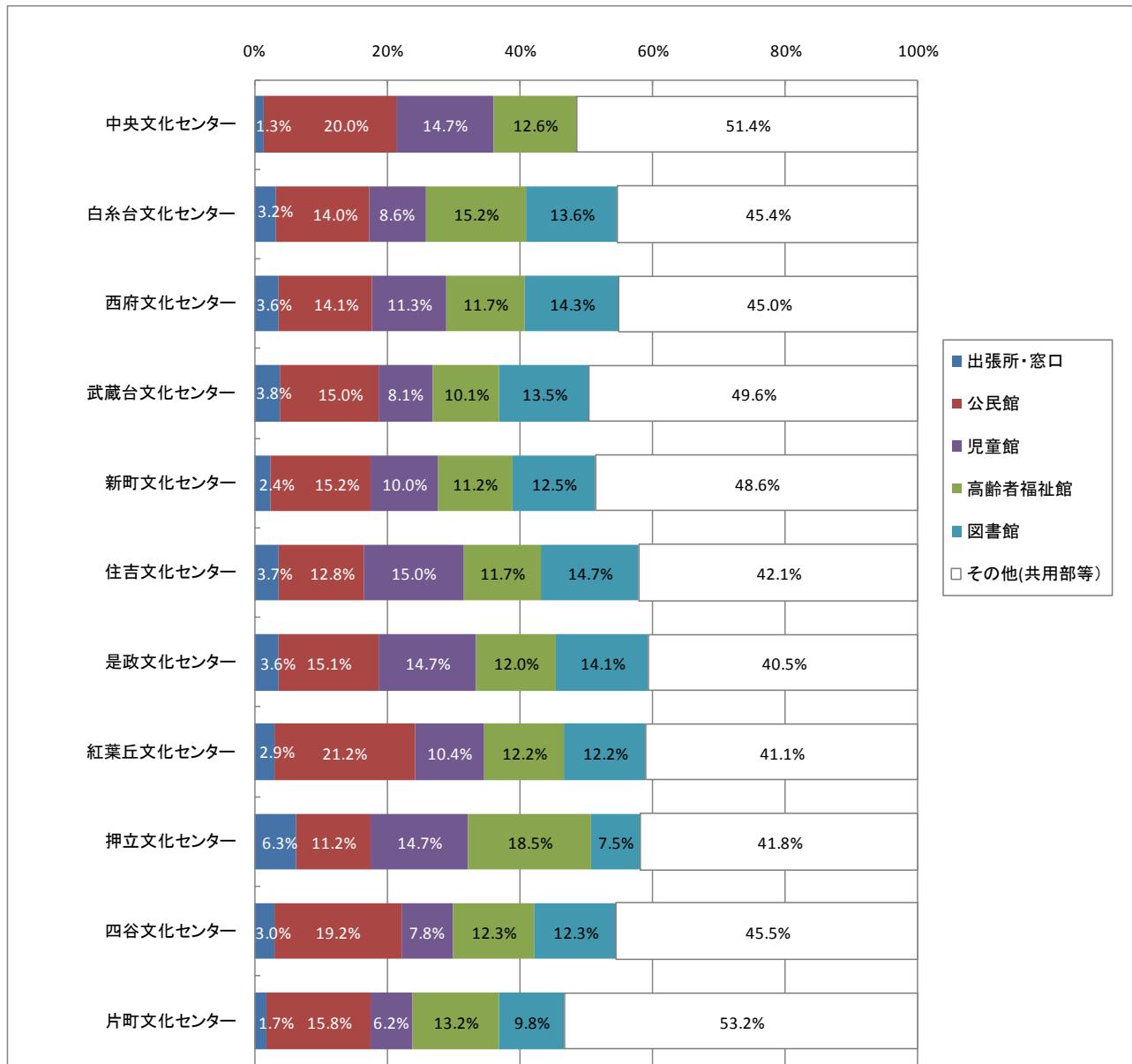
④ スペース構成（概要）

- 昭和43～50年に整備された白糸台、西府、武蔵台、新町、住吉、是政、紅葉丘までの7施設は、施設全体及び各用途もほぼ同規模です。全体の延床面積が2,000m²弱、公民館が300m²弱（紅葉丘は419m²）、児童館が154m²～284m²、高齢者福祉館が221～296m²、図書館が241～273m²です。
- 一方、中央文化センターは最も大きく、全体の延床面積は他の施設の約1.5倍の規模となっています。公民館、児童館、高齢者福祉館のいずれも1.5倍から2倍の規模となっています。なお、併設されている振興会館をその他に計上しているため、その他の割合が大きくなっています。
- 押立文化センターと四谷文化センターは他の施設と比較して小さく、押立が1/3、四谷が2/3の規模となっています。また、片町文化センターは各用途の面積はほぼ他の施設と同様ですが、他の面積が大きく、全体で2,317m²となっています。

スペース構成（文化センターにおける各用途の延床面積）



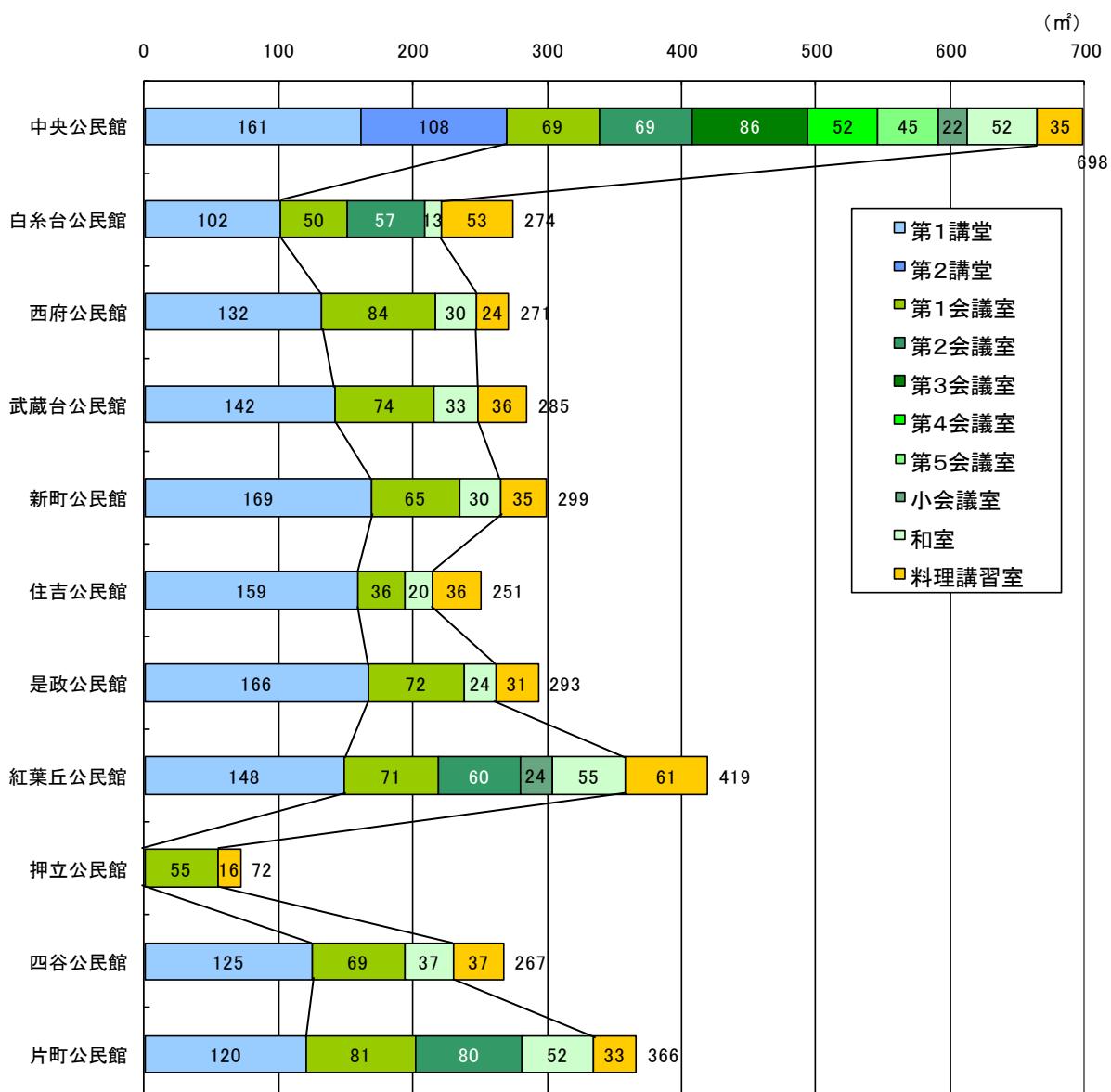
スペース構成比（文化センターにおける各用途の延床面積）



a) 公民館（詳細）

- ・公民館の諸室は、講堂、会議室、和室、料理講習室となっています。
- ・講堂は押立公民館を除くすべての公民館に設置されており、いずれも $100\text{ m}^2\sim200\text{ m}^2$ 弱の規模となっています。中央公民館に講堂が2つあるのは、近隣に中央図書館が新設されたことに伴い、図書室だった部屋を稼働率の高い講堂として活用しているためです。
- ・会議室はすべての公民館で設置されていますが、その数や名称は各公民館で異なり、 $60\sim80\text{ m}^2$ 程度の規模のものが多くなっています。
- ・和室は押立公民館を除くすべての公民館に1室設置されています。白糸台公民館、住吉公民館、是政公民館は $13\sim24\text{ m}^2$ の比較的小規模な和室となっており、その他は $30\sim52\text{ m}^2$ となっています。
- ・料理講習室はすべての公民館に設置されています。 30 m^2 前後が多いですが、紅葉丘公民館、白糸台公民館は 50 m^2 を超えています。一方、押立公民館は 16 m^2 と小規模なものになっています。

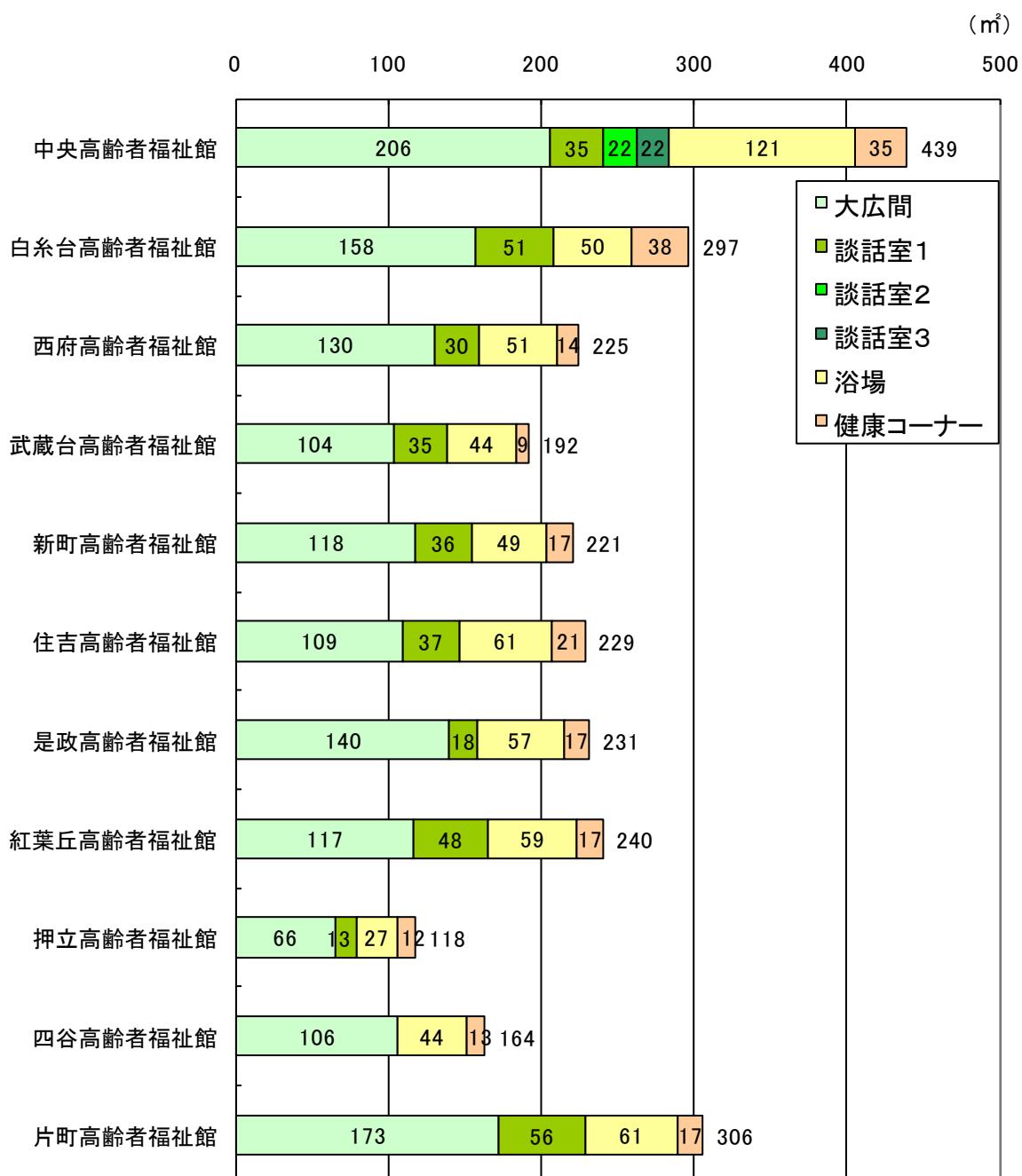
スペース構成（詳細・公民館）



b) 高齢者福祉館（詳細）

- 高齢者福祉館には、大広間、談話室、浴場、健康コーナーが設置されていますが、四谷高齢者福祉館のみ談話室がありません。
- 大広間や談話室は高齢者の憩いの場として無料開放されていますが、夜間と日曜は有料での貸し出しとなります。
- 浴場は事前に登録すれば、12：00～16：30 の間は無料で入浴できます。
- 健康コーナーは高齢者の健康保持に役立つ機器が設置されており、事前に登録すれば、無料で利用できます。

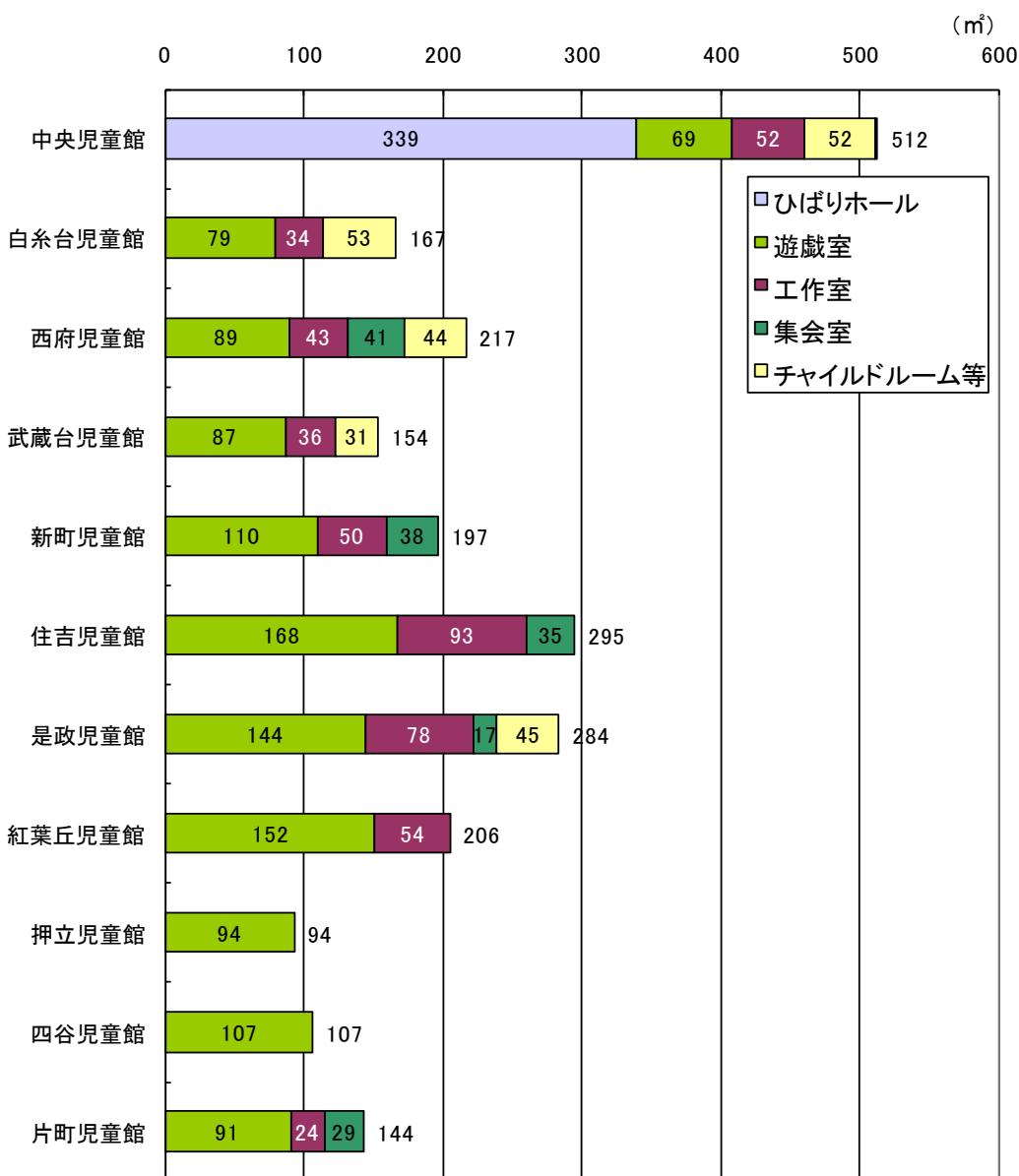
スペース構成（詳細・高齢者福祉館）



c) 児童館（詳細）

- ・ 児童館には、遊戯室、工作室等が設置されており、小・中学校の児童・生徒及び保護者が同伴する幼児に対して、無料で開放しています（ひばりホールは除く）。ただし、夜間は有料で貸し出しを行っています。
- ・ すべての施設に遊戯室が設置されており、卓球などの軽い運動から、机やいすに座っての遊びなどを行うことができます。四谷と押立の児童館は遊戯室のみとなっています。
- ・ 工作室は上記2施設を除くすべての施設に1室ずつ設置されており、工作サークル等の事業が行われるほか、陶芸等を行うこともできます。
- ・ チャイルドルーム等は、施設によって名称、設置の有無は異なりますが、保護者同伴で幼児を遊ばせることができる施設です。白糸台児童館は、「ようじのおへや」と「子どものへや」のように年齢層で分けて使用しています。また、遊戯室に隣接している施設の場合は、遊戯室と同様に使用しています。

スペース構成（詳細・児童館）



※新町、住吉、紅葉丘では遊戯室の一部がチャイルドルームとして使用されている。

(3) 建物状況

施設名	①耐震安全性		②老朽化状況				③バリアフリー対応							
	評価	評価内容		建築年度	評価内容		評価	評価内容						
		耐震診断	耐震補強		平成22	平成22		大規模改修	大改後の経過年	車いす用エレベーター	身障者トイレ	までのスロープ	道路から入口	
中央文化センター	2	○	予定	3	昭和43	42	平成4	18	3	○	○	○	○	○
白糸台文化センター	3	○	○	1	昭和45	40	未		3	○	○	○	○	○
西府文化センター	3	○	○	1	昭和46	39	未		3	○	○	○	○	○
武藏台文化センター	3	○	○	1	昭和47	38	未		3	○	○	○	○	○
新町文化センター	3	○	○	1	昭和48	37	未		3	○	○	○	○	○
住吉文化センター	3	○	○	1	昭和48	37	未		3	○	○	○	○	○
是政文化センター	3	○	○	1	昭和49	36	未		3	○	○	○	○	○
紅葉丘文化センター	3	○	○	1	昭和50	35	未		3	○	○	○	○	○
押立文化センター	2	○	予定	1	昭和53	32	未		3	○	○	○	○	○
四谷文化センター	3	○	不要	3	昭和53	32	平成21	1	3	○	○	○	○	○
片町文化センター	3	不要	-	2	昭和62	23	未		3	○	○	○	○	○

施設名	④環境対応状況						⑤維持管理						⑥吹付けアスベスト			
	評価	評価内容				評価	評価内容					評価内容	評価内容			
		環境指標		m ² 平均			延床面積(m ²)	維持管理費(千円)	m ² 平均(円)		各所修繕費	建物管理委託費				
延床面積(m ²)	伴う燃料等の使用量(MJ)	(t換算CO ₂ 排出量)	(kg換算CO ₂ 排出量)	伴う燃料等の使用量(Kg)	(kg換算CO ₂ 排出量)	評価	延床面積(m ²)	光熱水費	委託費	建物管理	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費		
中央文化センター	3	3,489	4,765.866	225	1,366,110	64	3	3,489	12,973	29,527	912	3,719	8,464	261	3 ○	
白糸台文化センター	3	1,951	2,298.136	103	1,178,078	53	3	1,951	6,011	17,359	1,634	3,081	8,898	838	3 ○	
西府文化センター	3	1,923	2,617.923	128	1,361,721	67	3	1,923	5,839	13,339	1,464	3,037	6,938	762	3 ○	
武藏台文化センター	3	1,902	2,214.890	108	1,164,561	57	3	1,902	5,515	14,196	1,096	2,899	7,464	576	3 ○	
新町文化センター	3	1,964	2,437.173	108	1,241,220	55	3	1,964	6,551	18,339	1,714	3,336	9,340	873	3 ○	
住吉文化センター	3	1,962	2,387.663	104	1,217,221	53	3	1,962	5,521	12,863	1,518	2,815	6,558	774	3 ○	
是政文化センター	3	1,937	2,303.241	95	1,189,371	49	3	1,937	5,543	16,522	793	2,862	8,532	410	3 ○	
紅葉丘文化センター	3	1,975	2,152.019	89	1,089,735	45	3	1,975	5,422	16,314	1,054	2,746	8,261	534	3 ○	
押立文化センター	3	638	995.686	44	1,561,224	69	1	638	2,569	10,337	1,964	4,028	16,208	3,080	3 ○	
四谷文化センター	3	1,394	1,296,062	56	929,623	40	1	1,394	3,209	11,505	3,080	2,302	8,252	2,209	3 ○	
片町文化センター	3	2,317	3,150,138	134	1,359,734	58	3	2,317	6,713	15,035	1,665	2,897	6,490	719	3 ○	
1m ² 当たりの平均値						1,241,033	56	1m ² 当たりの平均値						3,071	8,175	788
平均値の1.4倍(+40%)						1,737,446	78	平均値の1.4倍(+40%)						4,299	11,444	1,103

■評価結果「1」の施設

該当施設	2 老朽化状況					5 維持管理				
	<ul style="list-style-type: none"> ・白糸台文化センター ・西府文化センター ・武藏台文化センター ・新町文化センター ・住吉文化センター 					<ul style="list-style-type: none"> ・押立文化センター ・四谷文化センター 				
今後の対応等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、建替え又は大規模改修（四谷文化センターを除く）の検討が必要 ・建築年度が近接しており、更新時期が重なる。 					<ul style="list-style-type: none"> ・四谷文化センターは、増改築工事の影響を考慮する必要がある。 				

(4) 利用状況

① 文化センター全体の状況

a) 利用者数

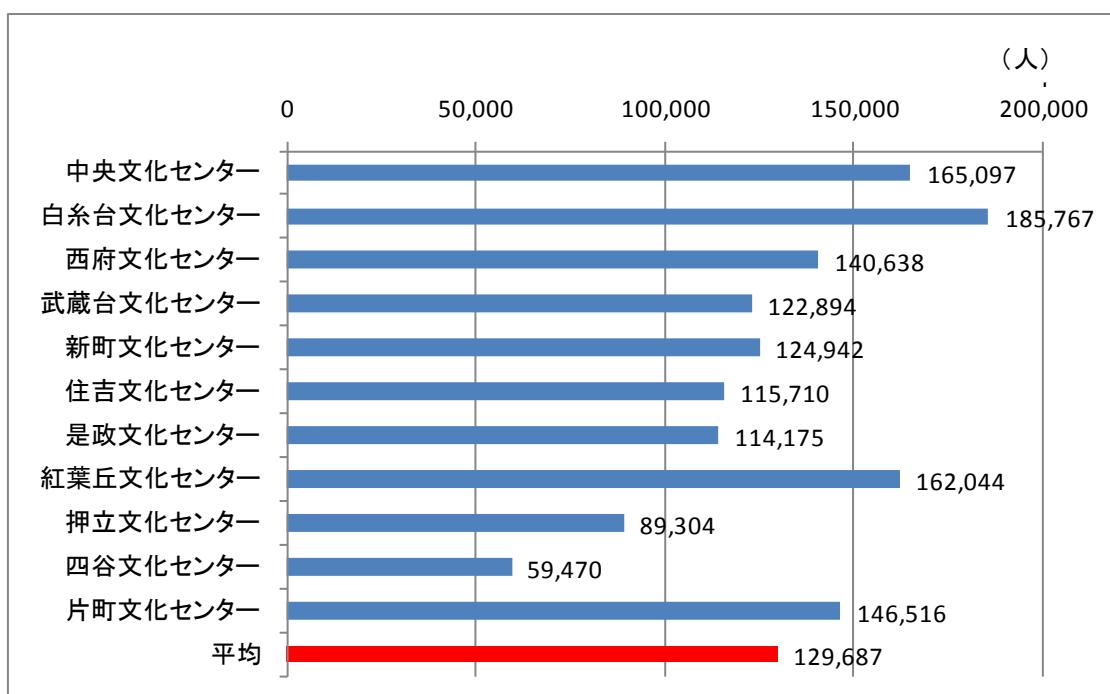
- 文化センターの利用者数は、平成 21 年度でのべ約 142 万人であり、市民 1 人当たりにすると年間で 6 回程度利用していることになります。施設別では、白糸台文化センターが 18.6 万人で最も多く、次いで中央文化センター 16.5 万人、紅葉丘文化センターが 16.2 万人となっています。

利用者数（文化センター全体）

平成21年度 (2009年度)	センター全体 利用者数	1日当たり 利用者数	市民1人 当たり 年間回数
中央文化センター	165,097	487.0	0.67
白糸台文化センター	185,767	548.0	0.76
西府文化センター	140,638	414.9	0.57
武蔵台文化センター	122,894	362.5	0.50
新町文化センター	124,942	368.6	0.51
住吉文化センター	115,710	341.3	0.47
是政文化センター	114,175	336.8	0.47
紅葉丘文化センター	162,044	478.0	0.66
押立文化センター	89,304	263.4	0.36
四谷文化センター	59,470	※一	0.24
片町文化センター	146,516	432.2	0.60
平均	129,687	382.6	0.53
合計	1,426,557	4,208	5.83

※四谷文化センターでは、平成 21 年度は増改築工事のため窓口以外は 270 日運営であった。

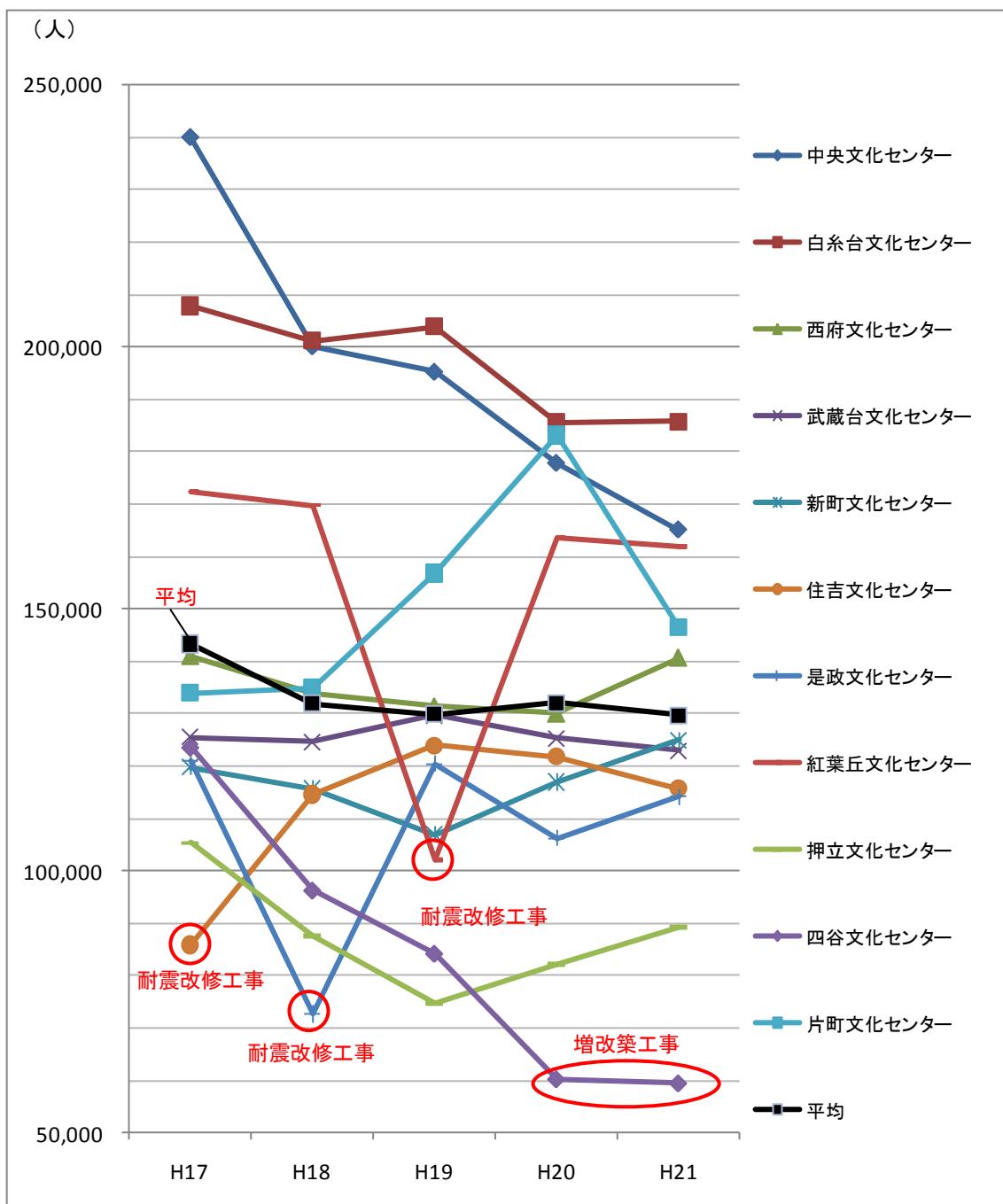
施設別文化センター利用者数



出所：「平成 21 年度コミュニティの記録」（府中市）

- 利用状況の推移については、文化センター施設全体では、利用者数は減少傾向にあります。特に減少しているのが、中央文化センター、白糸台文化センターです。住吉、是政、紅葉丘、四谷はこの間耐震改修工事や増改築工事などの影響があり、一時的に大きく利用者が減少しています。
- 逆に、新町、押立の各文化センターは、平成 19 年度を底に、近年は増加傾向にあります。
- 全センター平均の過去 5 年間の利用者数動向をみると、全体として平成 18、19 年度に減少し、平成 20 年度は増加に転じたものの、平成 21 年度はまた減少しています。

利用者合計の推移

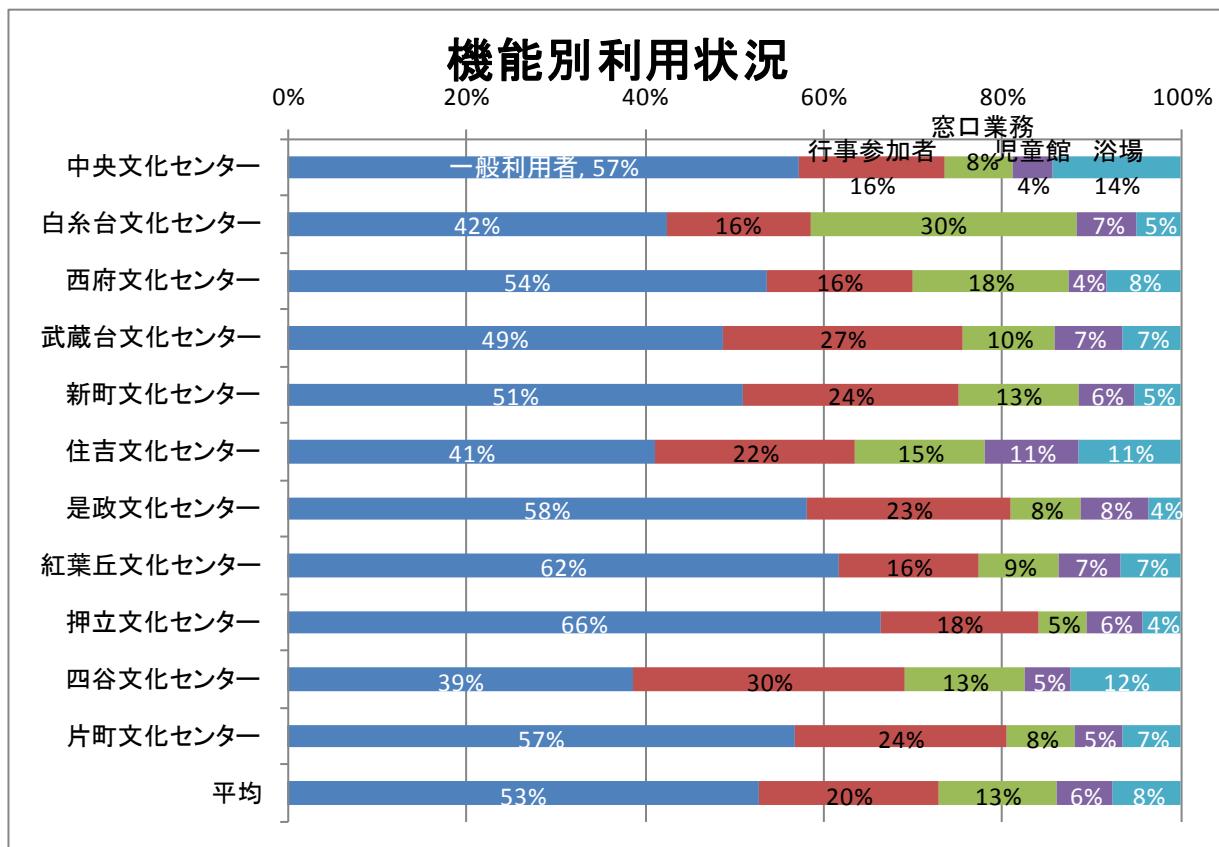


出所：「平成 21 年度コミュニティの記録」（府中市）

b) 機能別の利用状況

- 機能別の利用者数について、文化センター全体では、一般利用者が 53%と最も多くなっています。
- 施設ごとでは、構成が若干異なります。一般利用者の割合が大きいのが押立文化センター、行事参加者の割合が大きいのが四谷文化センター、窓口業務（証明書等発行）の割合が大きいのが白糸台文化センター、児童館の割合が大きいのが住吉文化センター、浴場の割合が大きいのが中央文化センターとなっています。

機能別利用状況

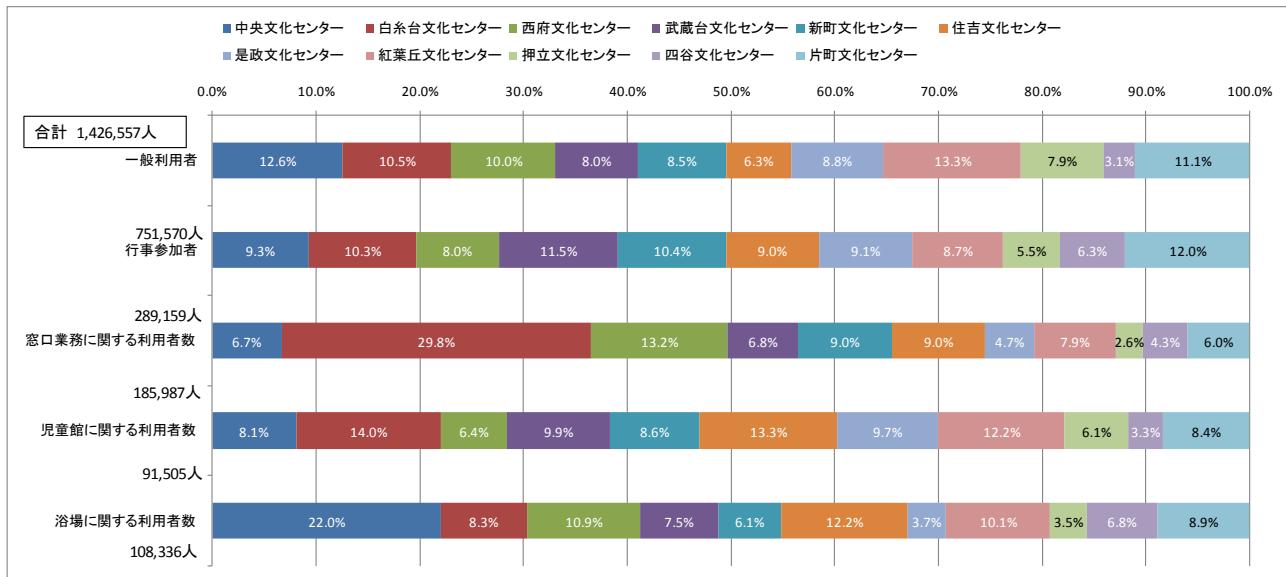


※一般利用者は入館時のチップの集計人数

出所：「平成 21 年度コミュニティの記録」（府中市）

- 施設別シェアについて、窓口業務に関する利用者数では、出張所機能を有する白糸台が高い割合となっており、戸籍等受付事務の件数の多さが窺えます。
- ほかに特徴としてみられるることは、浴場利用者について、中央文化センターの割合が大きくなっていることです。
- 一般利用者、行事参加者、児童館では、利用者数が突出しているセンターはみられず、バランス良く参加者を確保している様子が窺えます。

機能別利用状況（各センター割合）



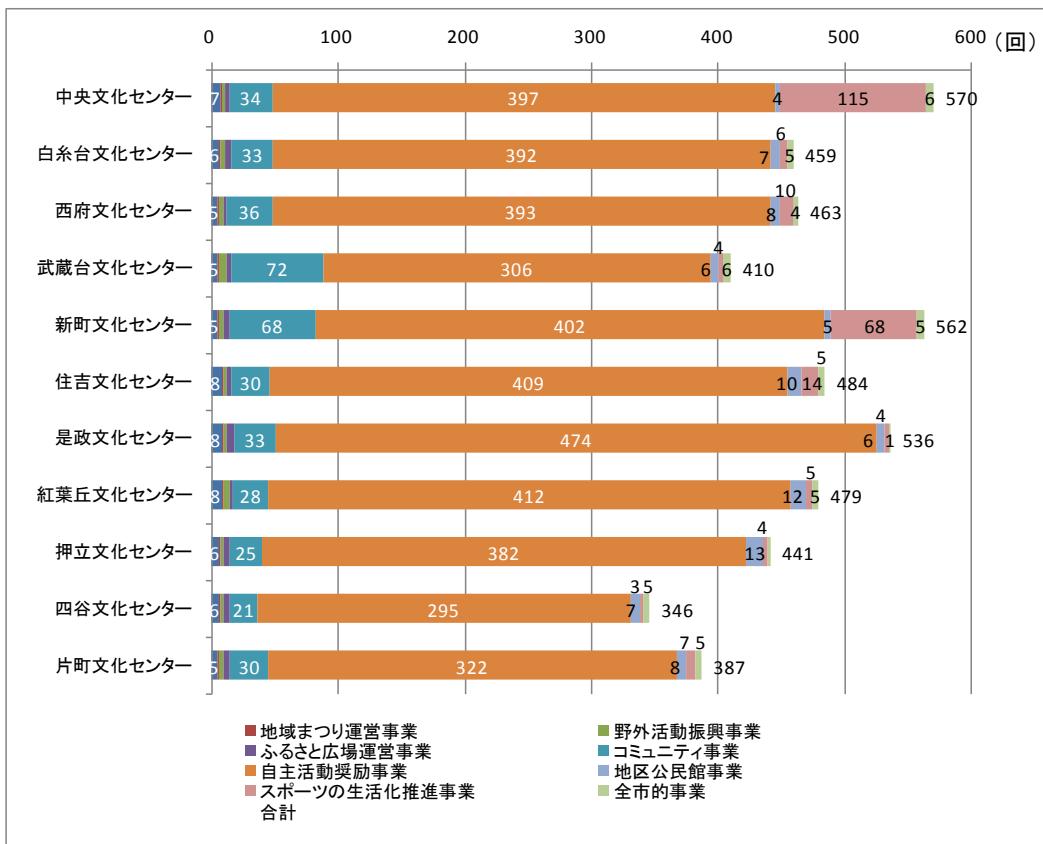
※一般利用者は入館時のチップの集計人数

出所：「平成 21 年度コミュニティの記録」（府中市）

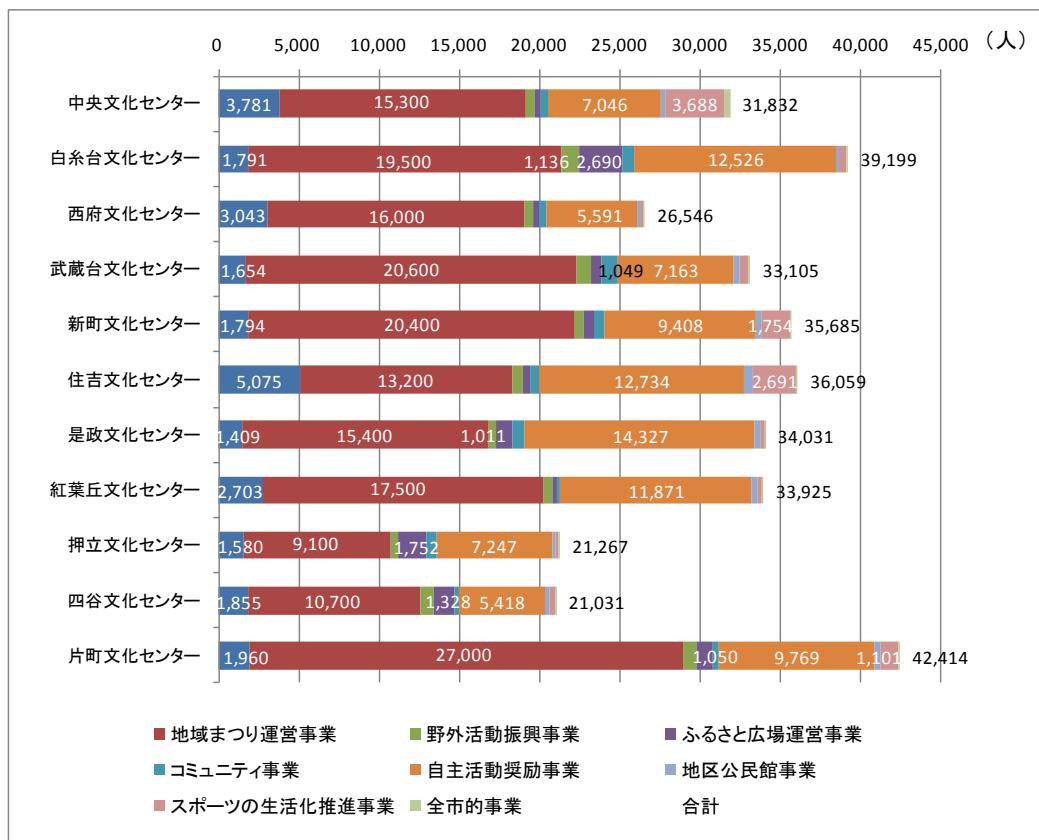
c) 主催事業の利用者数

- 各文化センターで様々な事業が実施されていますが、主催事業は、おおむね年 400～600 回開催されており、中央、新町、是政の各文化センターにおける開催件数が多くなっています。
- 内容をみると、各種サークルの結成や活動の推進を図る、自主活動推進事業が大半を占めています。
- 一方、参加者数をみると、3～4 万人となっており、片町文化センター、白糸台文化センターにおける参加者数が多くなっています。
- 内容をみると、地域まつりが多く、次いで自主活動推進事業となっています。

運営事業回数



運営事業参加者

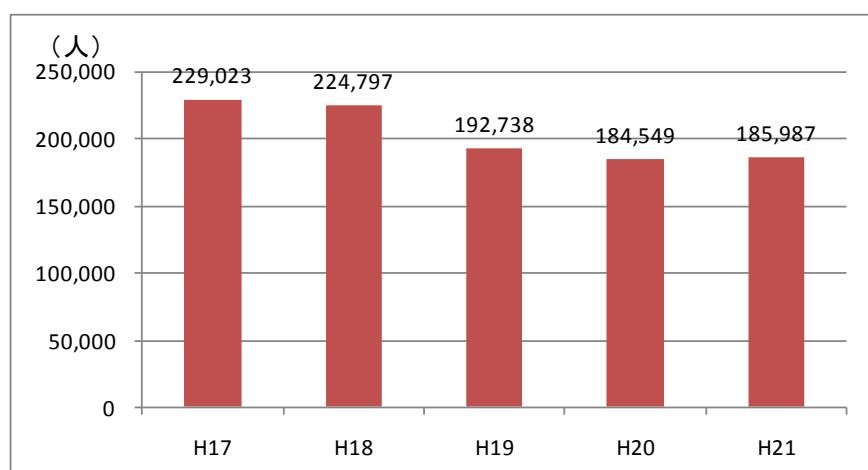


② 施設別の利用状況

a) 出張所・窓口

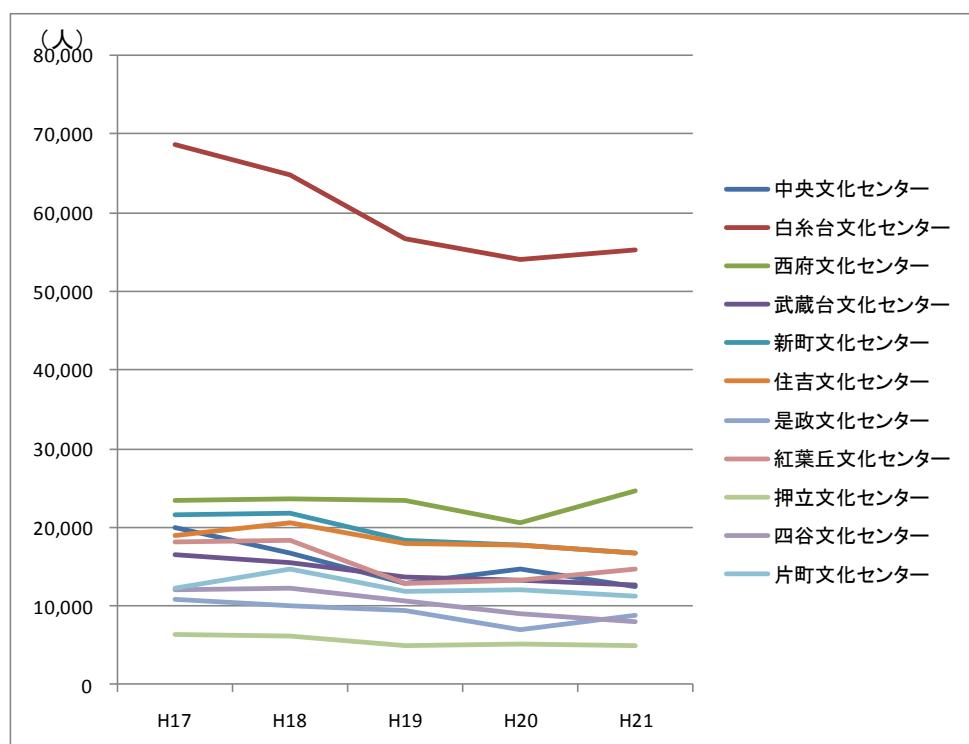
- 文化センターに設置されている出張所・窓口の平成 21 年度の年間利用者数は 185,987 人です。そのうち、最も利用者数の多い白糸台の利用者数は 55,373 人と全体の約 30%を占めています。
- 出張所でも白糸台（東部出張所）が西府（西部出張所）と比べ利用者数が多いのは、白糸台は住宅地にあり交通の便も良いのに対し、西府は市役所が近いため、出張所ではなく市役所を利用する人が多いことが要因と考えられます。
- 全体が減少傾向にある中で、平成 21 年度は、白糸台、西府、是政、紅葉丘の 4 つの出張所・窓口では僅かながら利用者数が増加しています。

出張所・窓口利用者数（全センター）



出所：「平成 21 年度コミュニティの記録」（府中市）より作成

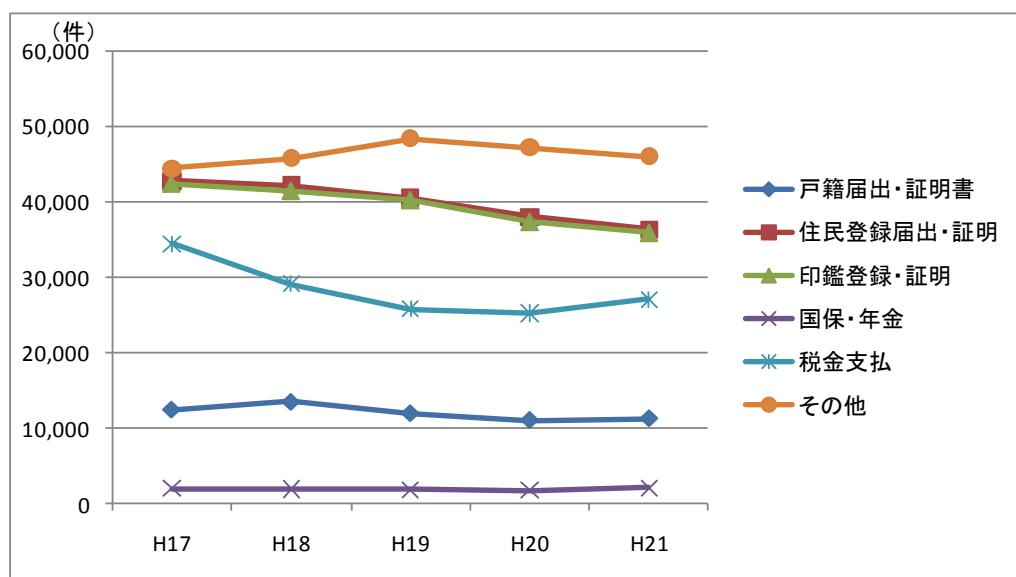
出張所・窓口利用者数（各センター別）



出所：「平成 21 年度コミュニティの記録」（府中市）より作成

- 窓口業務のうち過去5年間で減少傾向にないのは、その他及び国保・年金の届出のみです。それ以外は軒並み減少傾向にあります。特に利用件数の多い、住民登録関係及び印鑑登録関係は一貫して減少傾向にあります。

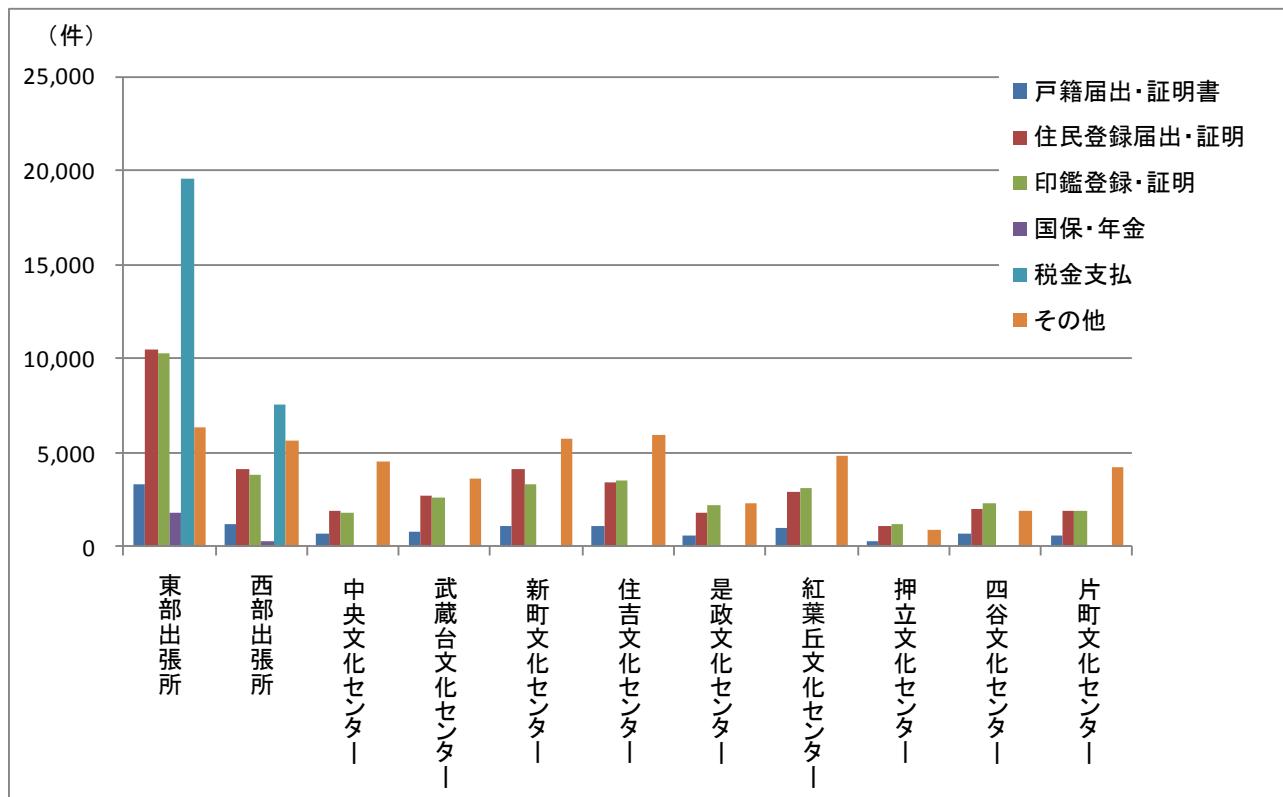
利用内容別利用件数の推移



※その他：母子手帳の交付、犬の登録、粗大ごみ処理券の販売、共済の申込み、保養所等の申込み、サービスセンター、外国人登録に関する事等

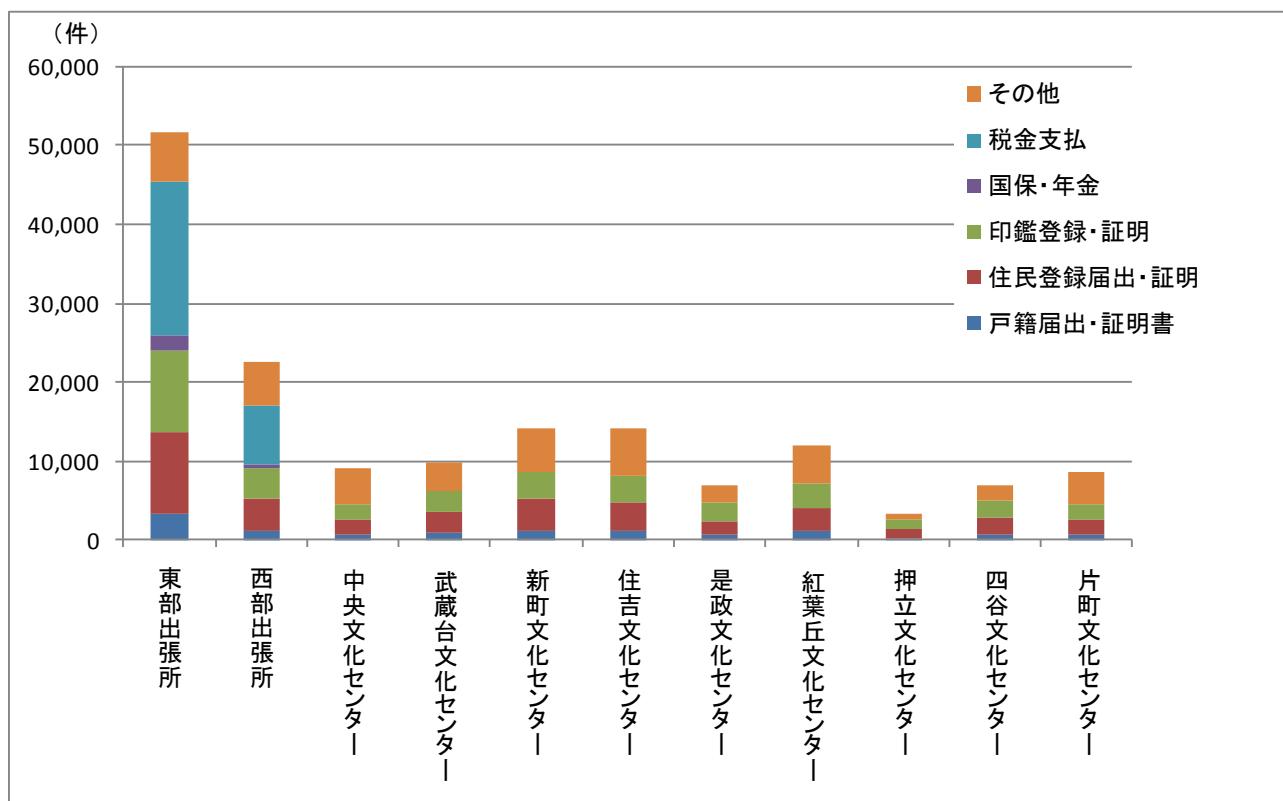
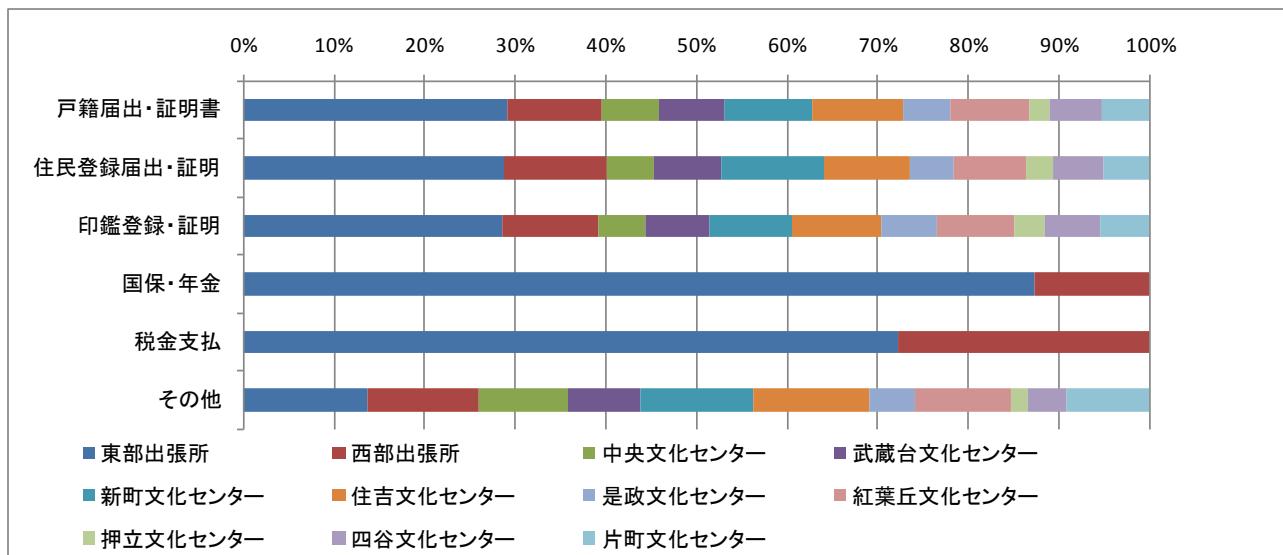
- 各出張所・窓口別の件数について、出張所では、税金の支払い件数が最も多い、次いで、住民登録関係、印鑑登録関係が多くなっています。窓口では、住民登録関係と印鑑登録関係がほぼ同数で多くなっています。

出張所・窓口別利用件数（平成21年度）



- 利用内容別シェアについて、出張所機能では、東部出張所が西部出張所よりも、取扱件数が2倍以上となっています。
- それ以外の手続き内容についても、東部出張所の取扱件数が多くなっています。
- また、大部分が粗大ごみ処理券の販売となっている「その他」は、各窓口で分散しています。

利用内容別出張所・窓口シェア（平成21年度）



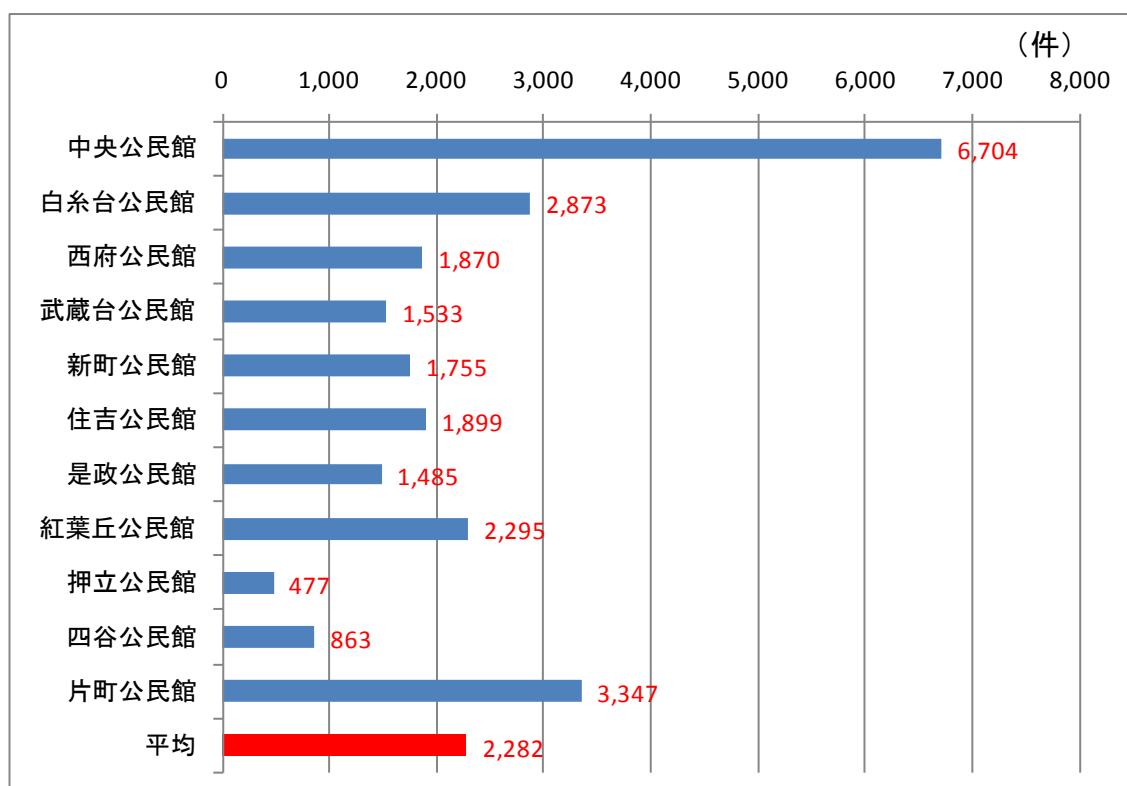
b) 公民館

- ・公民館 11 施設の平成 21 年度利用件数は、年間 2 万 5,101 件です。
- ・施設別の利用件数は、最少で 477 件（押立）、最多で 6,704 件（中央）となっています。
- ・公民館 11 施設の平成 21 年度の利用件数の平均は、2,282 件で、1 日当たり平均 6.7 件となっています。
- ・機能別利用件数は、各公民館の諸室の構成が利用件数に影響しています。講堂が 2 つ、会議室が 6 つある中央公民館は、それぞれの利用件数が他の公民館の利用件数を大きく上回っています。また、同じ施設内でも、講堂と会議室が 1 つずつある場合は、講堂の方が会議室よりも利用件数が多くなっています。

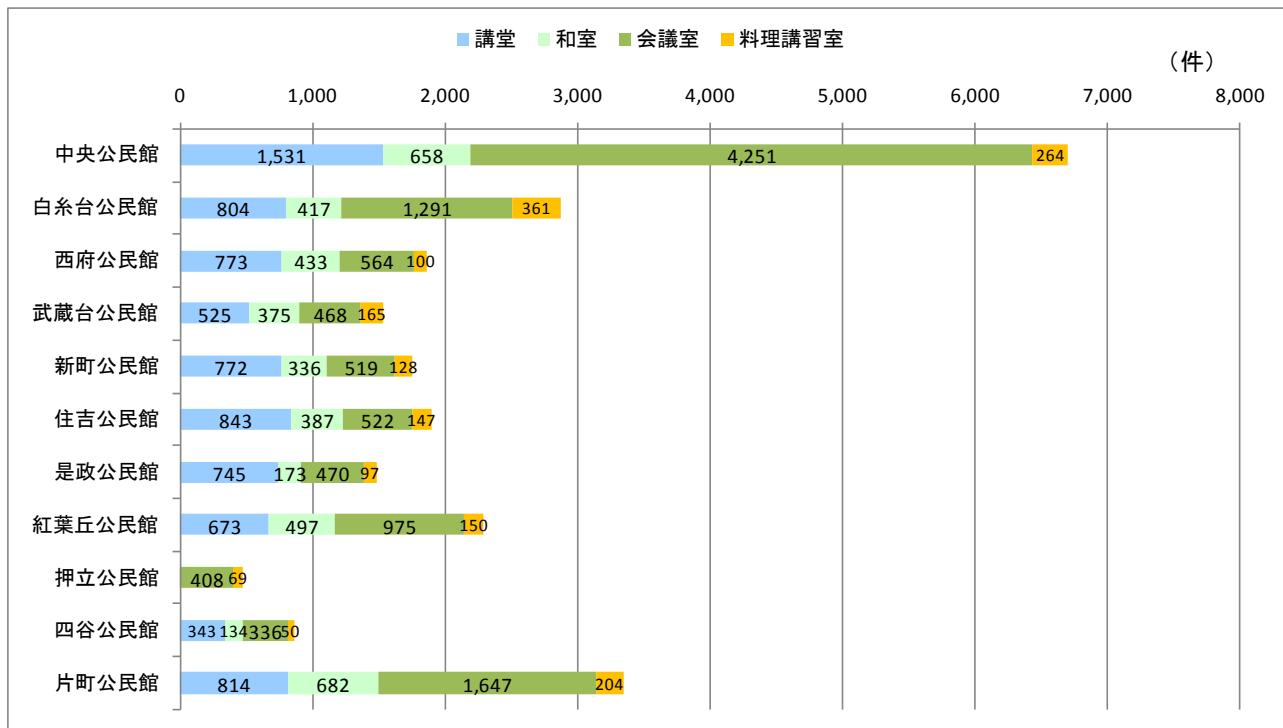
利用件数（公民館）

平成21年度(2009年度)	公民館 利用件数	1日当たり 利用件数	センター全体 利用者数	1日当たり 利用者数	市民1人 当たり 年間回数
中央公民館	6,704	19.8	165,097	487.0	0.67
白糸台公民館	2,873	8.5	185,767	548.0	0.76
西府公民館	1,870	5.5	140,638	414.9	0.57
武藏台公民館	1,533	4.5	122,894	362.5	0.50
新町公民館	1,755	5.2	124,942	368.6	0.51
住吉公民館	1,899	5.6	115,710	341.3	0.47
是政公民館	1,485	4.4	114,175	336.8	0.47
紅葉丘公民館	2,295	6.8	162,044	478.0	0.66
押立公民館	477	1.4	89,304	263.4	0.36
四谷公民館	863	3.2	59,470	—	0.24
片町公民館	3,347	9.9	146,516	432.2	0.60
平均	2,282	6.7	129,687	382.6	0.53
合計	25,101	74.0	1,426,557	4,208	5.83

※四谷文化センターでは、平成 21 年度は増改築工事のため窓口以外は 270 日運営であった。

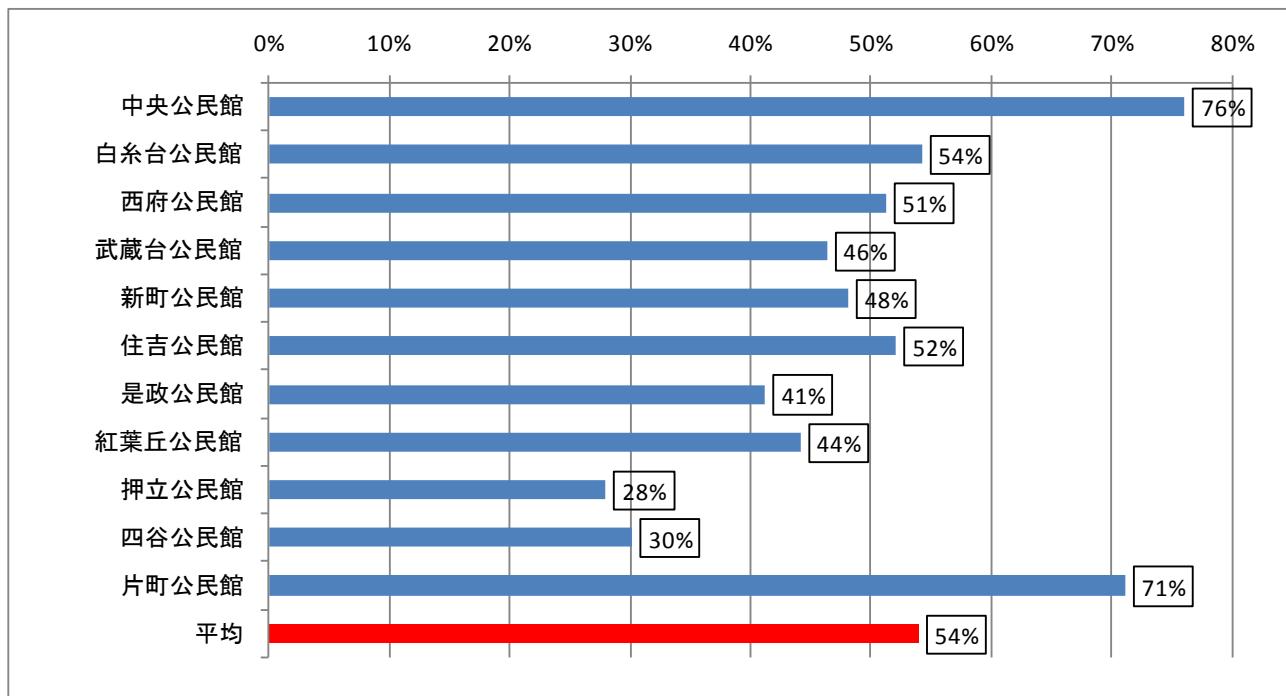


公民館機能別利用件数

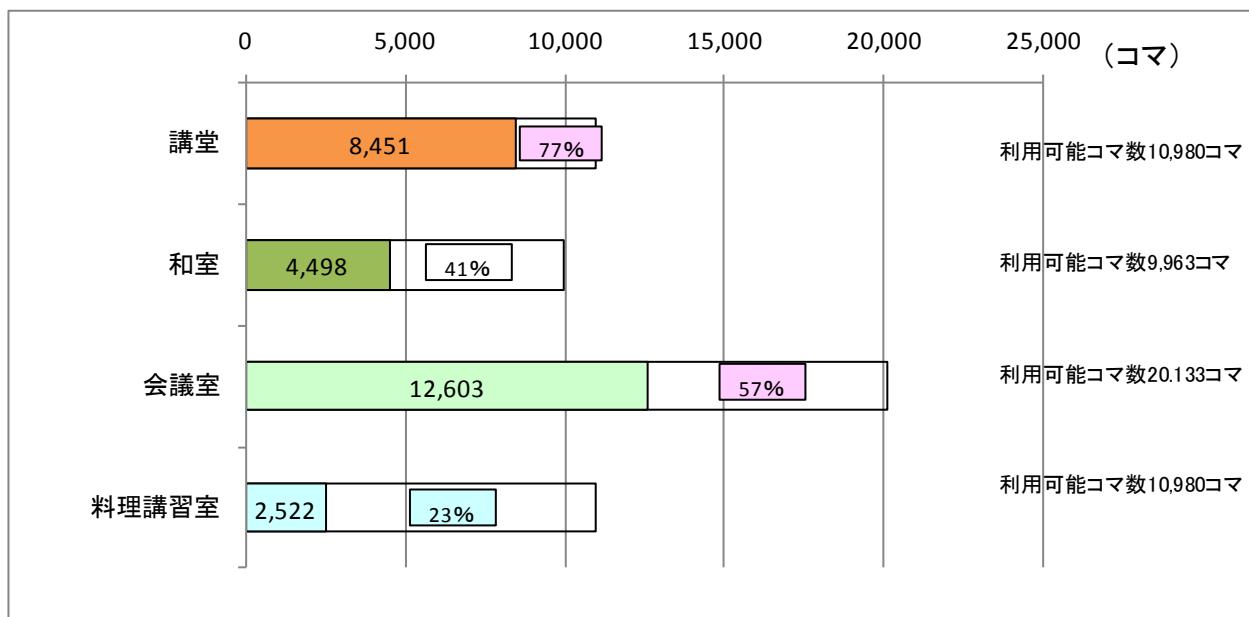


- ・公民館 11 施設の平均稼働率は 54% となっています。
- ・中央公民館と片町公民館の稼働率は 70% 台と高くなっていますが、押立公民館と四谷公民館の稼働率は 30% 程度となっています。
- ・11 の公民館を合計した機能別の利用状況では、講堂の稼働率が約 77% と最も高く、一方、料理講習室の稼働率は約 23% と最も低くなっています。
- ・会議室の稼働率も約 60% となっており、講堂及び会議室を使った会議、集会といった利用が、公民館利用の主な目的となっていることが窺えます。

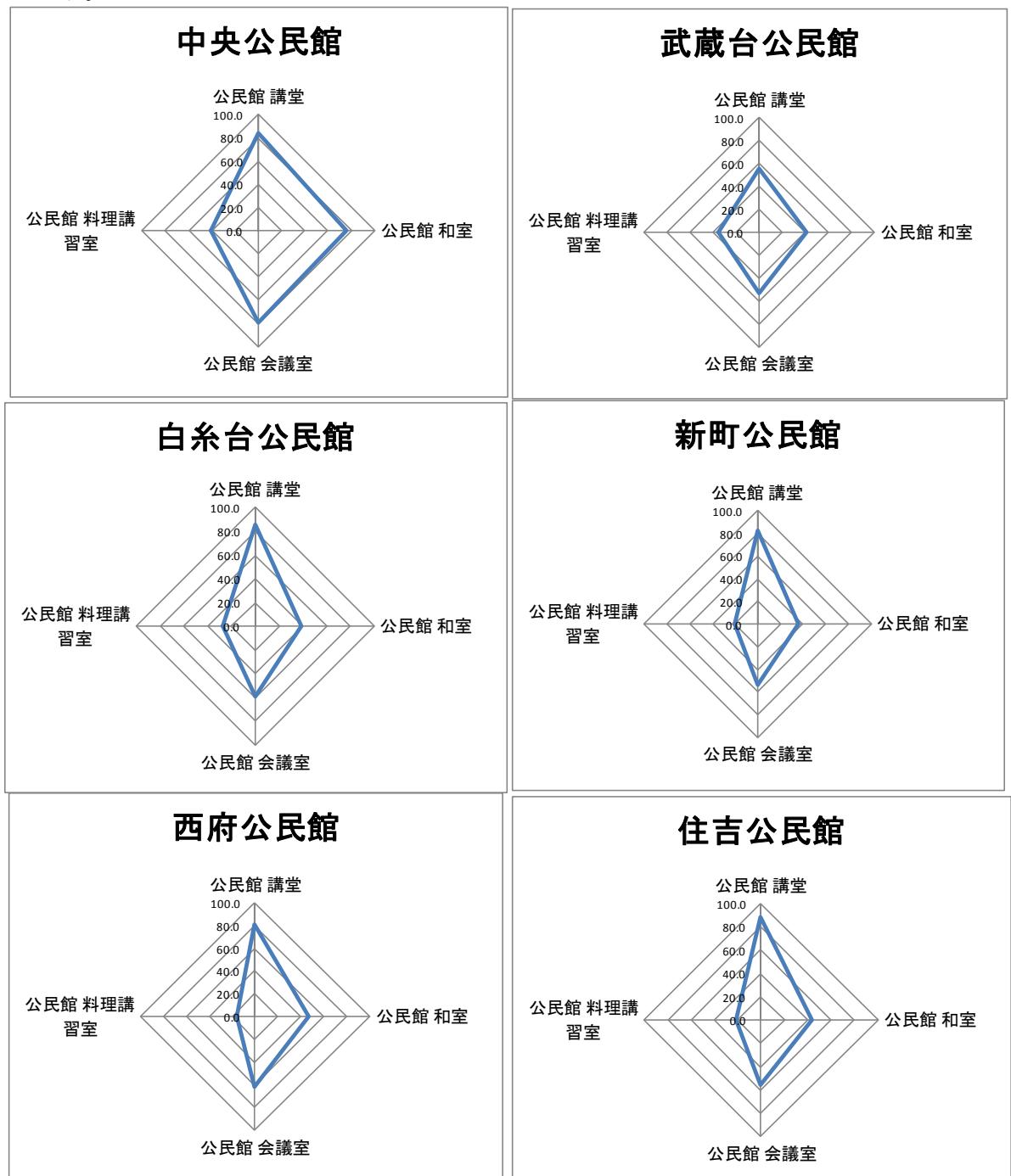
公民館稼働率



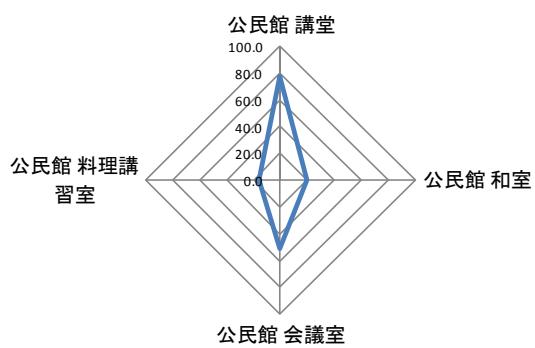
公民館機能別利用コマ数・稼働率



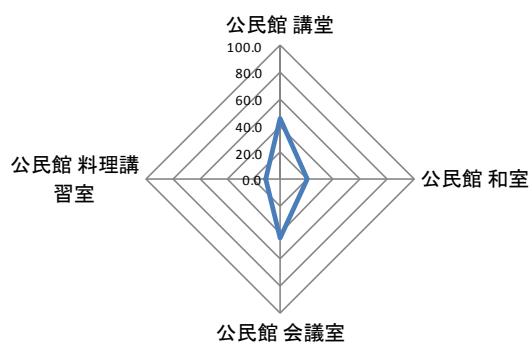
- ・ また、公民館の機能別稼働率については、各公民館とも講堂の稼働率が高くなっています。その中でも、住吉公民館と白糸台公民館の講堂は 90% 近い稼働率となっています。
- ・ 稼働率が低い機能としては料理講習室が挙げられますが、押立公民館と四谷公民館の料理講習室は 10% 程度と、特に低い稼働率となっています。
- ・ 会議室の稼働率は、各公民館で 50~60% 程度となっていますが、中央公民館と片町公民館の会議室は 80% 前後と、特に高い稼働率となっています。
- ・ 和室の稼働率は 40% 程度の公民館が多くなっていますが、中央公民館と片町公民館では 70% を超えたり、是政公民館と四谷公民館では 20% 程度と低くなっていたりと、施設によって一部異なります。



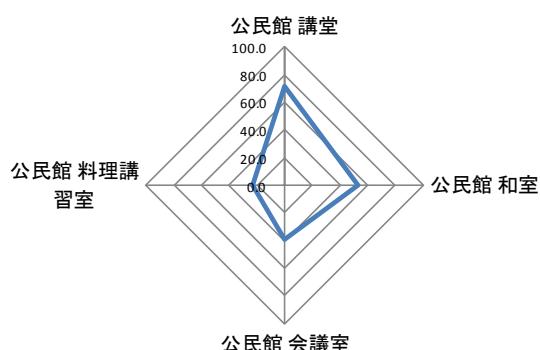
是政公民館



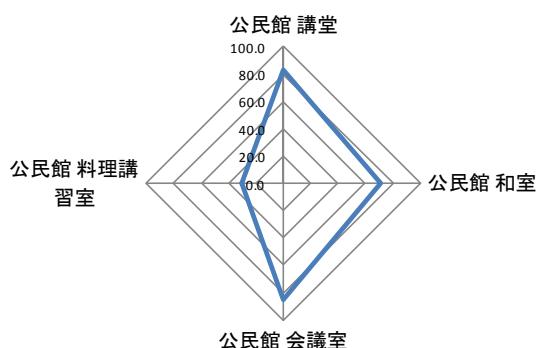
四谷公民館



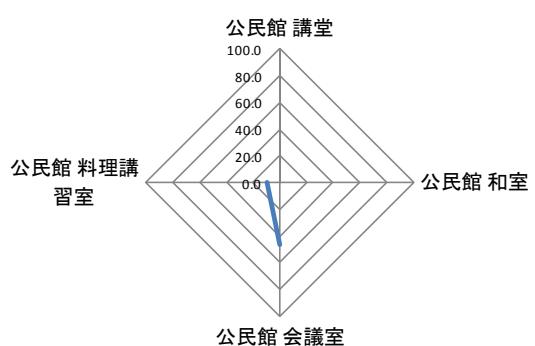
紅葉丘公民館



片町公民館



押立公民館



c) 高齢者福祉館

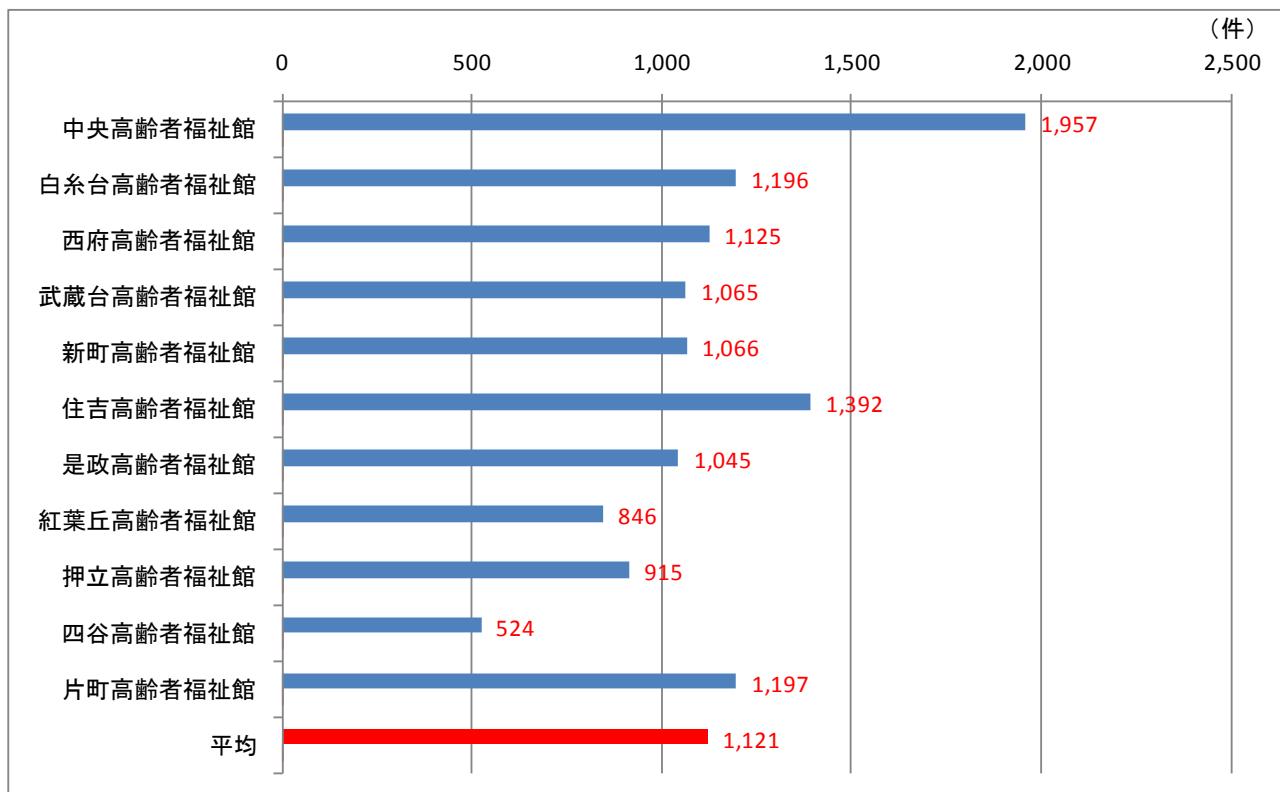
- ・高齢者福祉館 11 施設の、大広間と談話室（一般開放を除く）の平成 21 年度利用件数は、年間 12,328 件です。
- ・施設別の利用件数は、最少で 524 件（四谷）、最多で 1,957 件（中央）となっています。
- ・高齢者福祉館 11 施設の平成 21 年度の利用件数の平均は 1,121 件で、中央及び四谷を除き、差はありません。
- ・圏域内の高齢者人口当たりでは、押立高齢者福祉館の利用件数は多く、武蔵台高齢者福祉館や新町高齢者福祉館の利用件数が少なくなっています。また、浴場利用者については、地域によって差が大きくなっています。

利用件数（高齢者福祉館）

平成21年度(2009年度)	高齢者 福祉館 利用件数	1日当たり 利用件数	高齢者人 口1人当たり 年間利用 件数	高齢者人 口1人当たり 年間浴場 利用件数	圏域内高 齢者人口
中央高齢者福祉館	1,957	5.8	0.30	3.7	6,456
白糸台高齢者福祉館	1,196	3.5	0.27	2.07	4,353
西府高齢者福祉館	1,125	3.3	0.43	4.52	2,612
武蔵台高齢者福祉館	1,065	3.1	0.28	2.16	3,764
新町高齢者福祉館	1,066	3.1	0.19	1.17	5,605
住吉高齢者福祉館	1,392	4.1	0.27	2.59	5,096
是政高齢者福祉館	1,045	3.1	0.26	0.99	4,043
紅葉丘高齢者福祉館	846	2.5	0.22	2.85	3,828
押立高齢者福祉館	915	2.7	0.52	2.17	1,753
四谷高齢者福祉館	524	1.9	0.22	3.12	2,349
片町高齢者福祉館	1,197	3.5	0.24	1.97	4,916
平均	1,121	3.2	0.28	2.42	4,070
合計	12,328	34.7	—	—	44,775

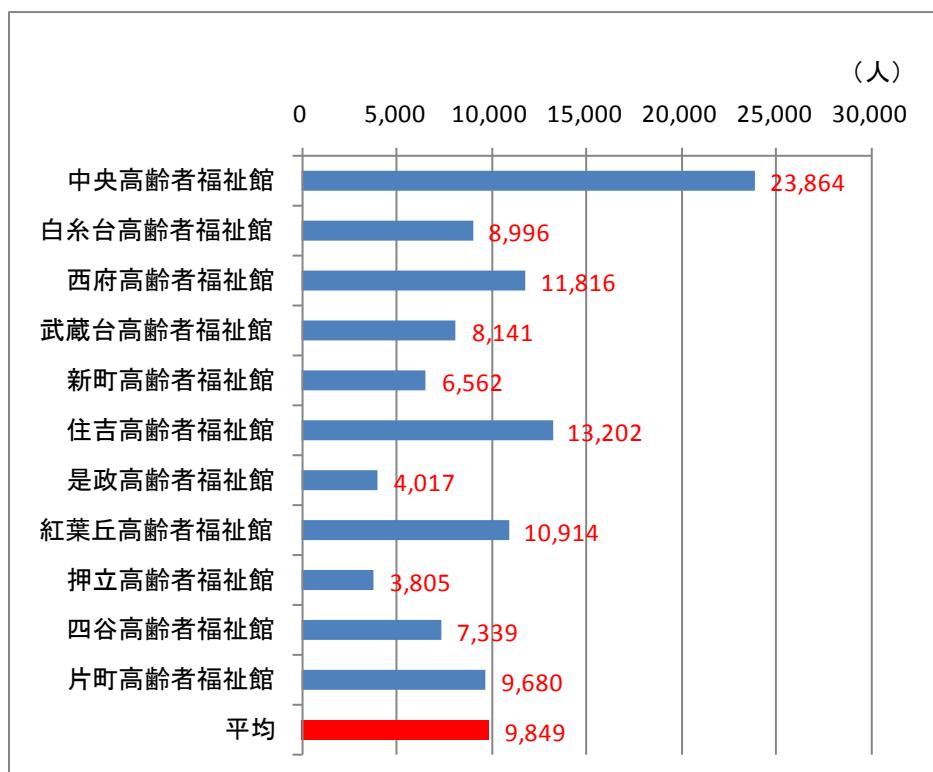
※四谷文化センターでは、平成 21 年度は増改築工事のため窓口以外は 270 日運営であった。

高齢者福祉館利用件数



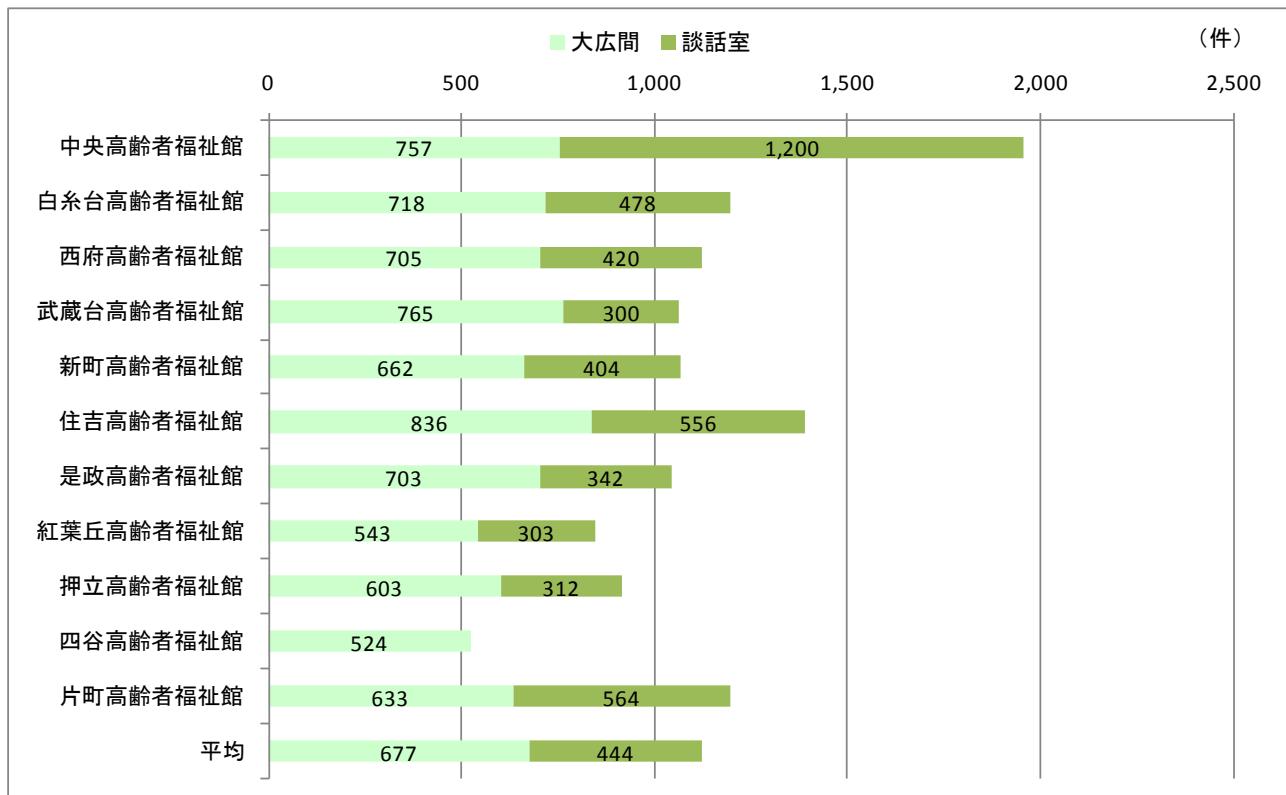
- 浴場の利用者数をみると、11 施設合計で年間 108, 000 人であり、施設により 4, 000 人～24, 000 人となっており、平均で 9, 800 人です。

浴場利用者数

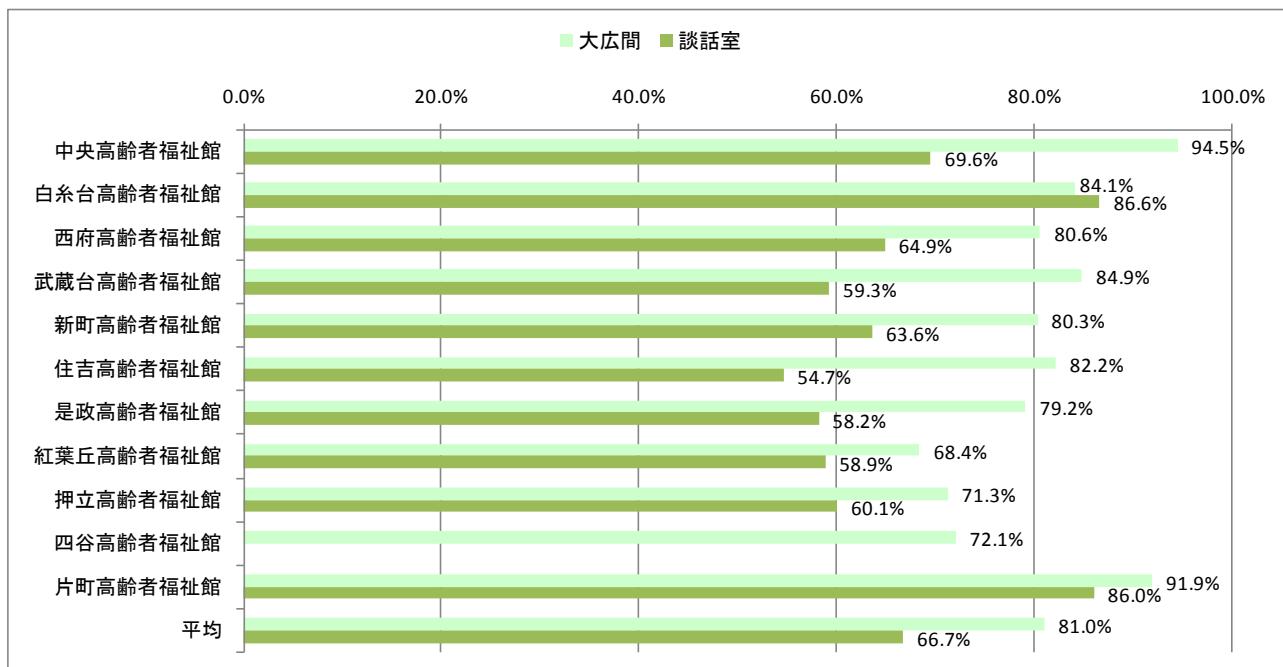


- 機能別の利用件数では、大広間の利用が 60~70%程度を占める高齢者福祉館が多くなっています。
- 中央高齢者福祉館については、談話室が 3 室あるため、利用件数が 1,200 件と突出して多く、他の高齢者福祉館と異なり、大広間の利用件数を上回っています。
- 稼働率については、大広間、談話室ともに高くなっていますが、大広間の稼働率は平均 81%と、より高くなっています。

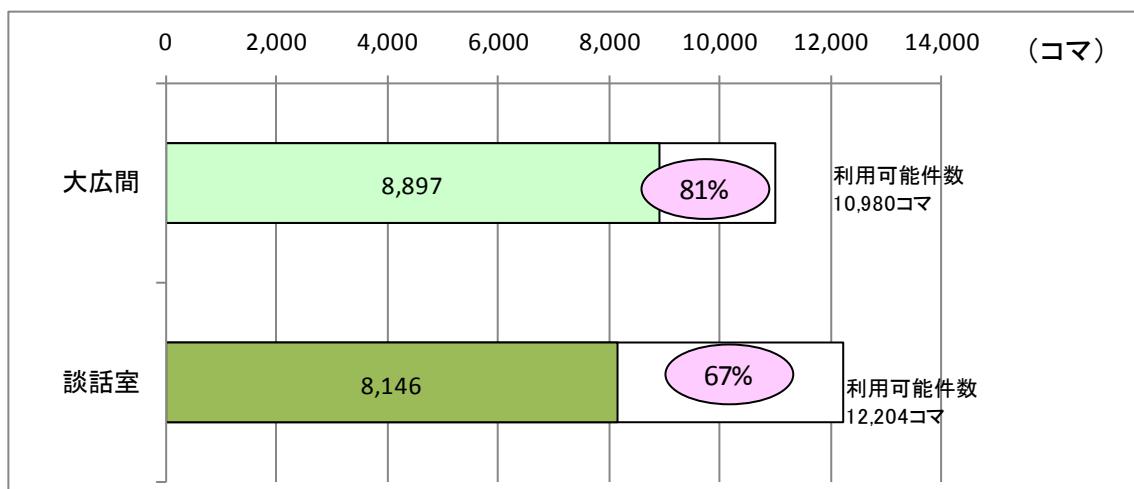
高齢者福祉館機能別利用件数



高齢者福祉館稼働率



高齢者福祉館機能別利用コマ数・稼働率



※稼働率は一般開放の時間帯を含めたコマ数で算出しました。

d) 児童館

- ・ 児童館 11 施設の平成 21 年度利用者数は、年間 91,505 人です。
- ・ 施設別の利用者数は、最少で 3,039 人（四谷）、最多で 12,798 人（白糸台）となっています。利用者数の平均は、1 施設当たり 8,319 人となっています。
- ・ 市全体での児童館の利用者数は、1 日当たりに換算すると 270 人となっています。
- ・ コミュニティ圏域の年少人口当たりの年間回数では、四谷の 1.4 回、中央の 1.7 回から武蔵台の 4.4 回まで幅があります。

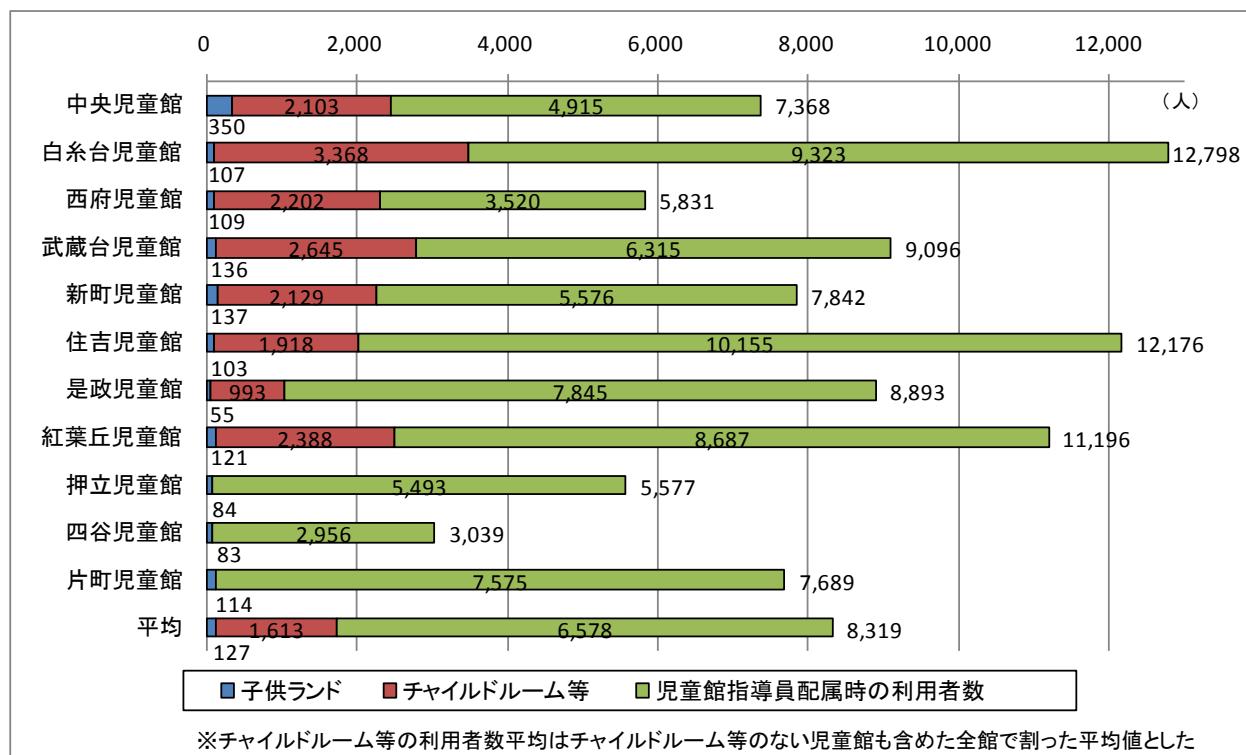
利用者数（児童館）

2009	児童館 利用者数	1日当たり 利用者数	圏域年少 人口1人 当たり年間 回数	圏域内 年少人口
中央児童館	7,368	21.7	1.7	4,288
白糸台児童館	12,798	37.8	3.4	3,730
西府児童館	5,831	17.2	2.1	2,741
武蔵台児童館	9,096	26.8	4.4	2,050
新町児童館	7,842	23.1	2.0	3,961
住吉児童館	12,176	35.9	3.1	3,873
是政児童館	8,893	26.2	2.6	3,363
紅葉丘児童館	11,196	33.0	3.6	3,135
押立児童館	5,577	16.5	4.0	1,406
四谷児童館	3,039	11.3	1.4	2,113
片町児童館	7,689	22.7	2.3	3,287
平均	8,319	24.5	2.7	3,086
合計	91,505	269.9	—	33,947

※四谷文化センターでは、平成 21 年度は増改築工事のため窓口以外は 270 日運営であった。

出所：「平成 21 年度コミュニティの記録」（府中市）

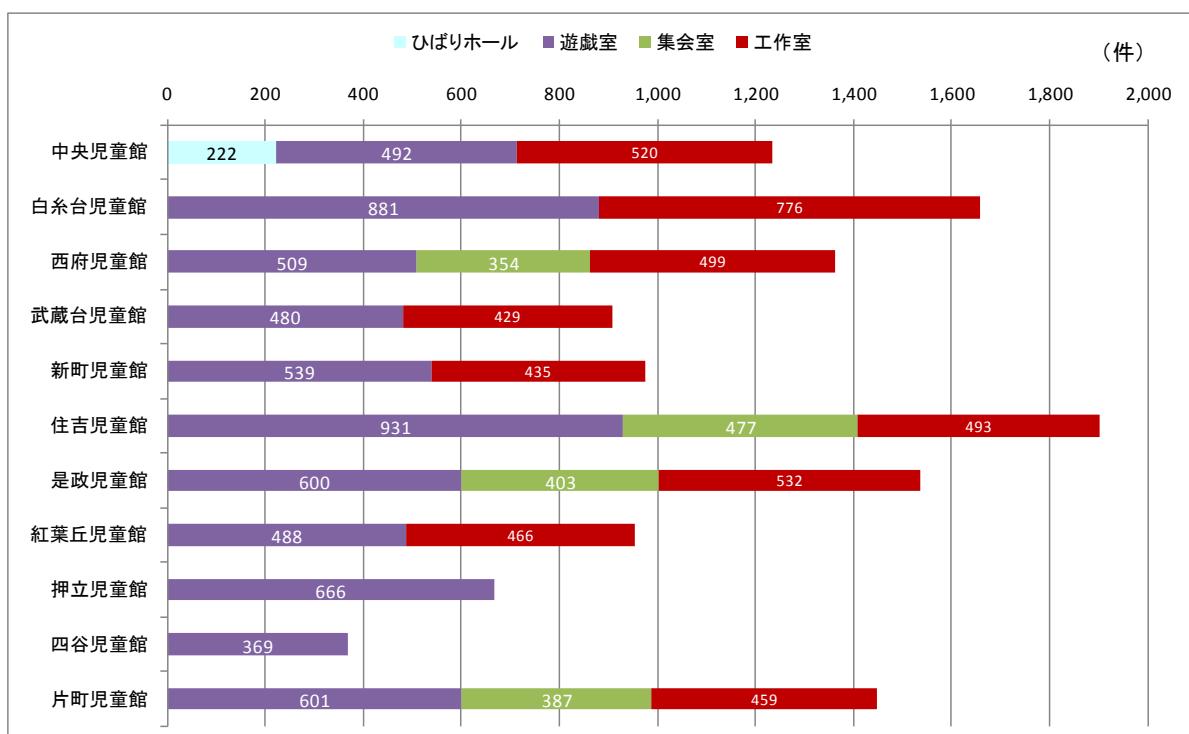
児童館利用者数



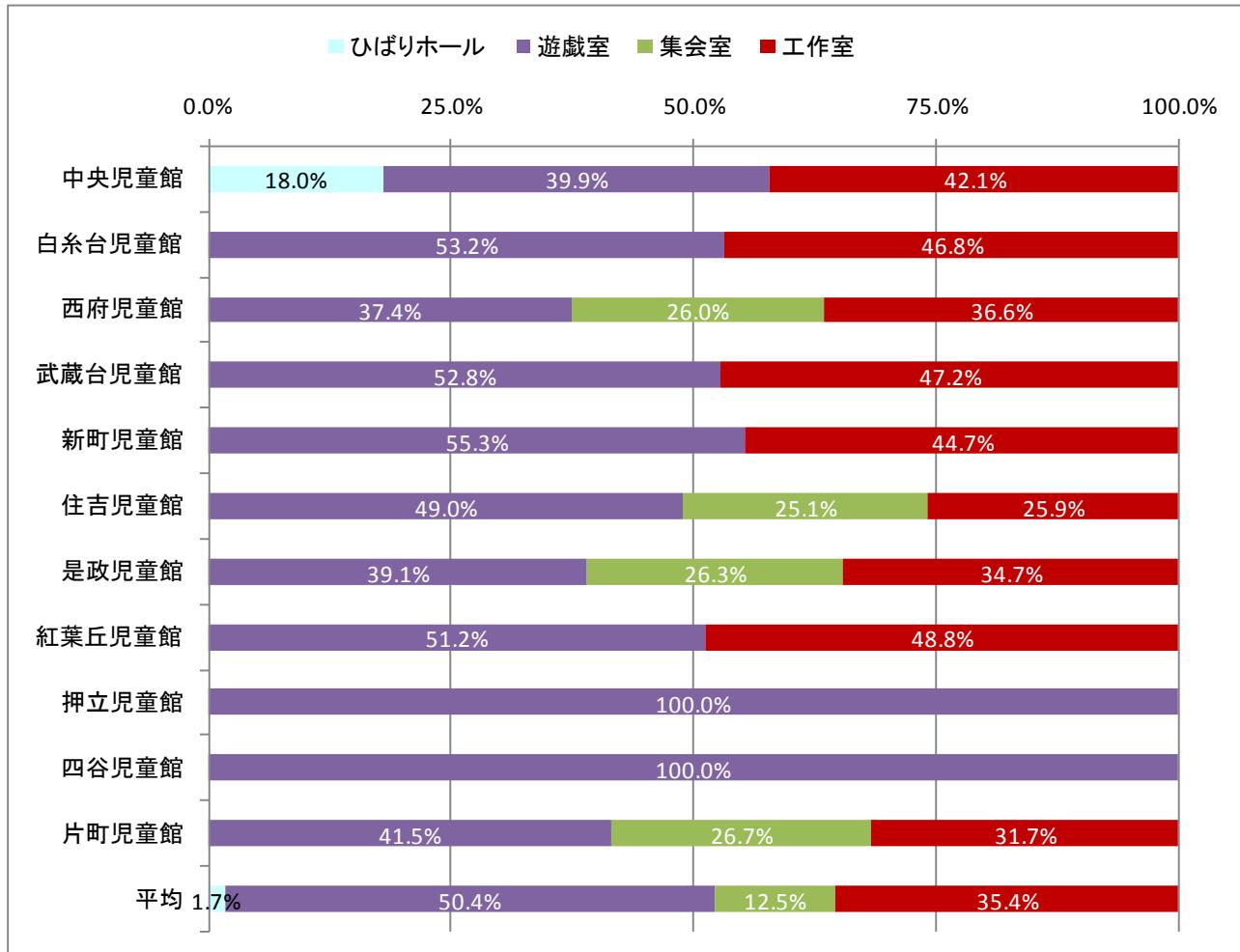
出所：「平成 21 年度コミュニティの記録」（府中市）

- 児童館 11 施設の機能別の利用状況をみると、すべての児童館に設置されている遊戯室の利用件数が最も多く（6,556 件）、全件数の 50.4% を占めています。
- 2 番目に利用件数が多いのは、11 施設中 9 施設に設置されている工作室（4,609 件）となって います。

児童館機能別利用件数

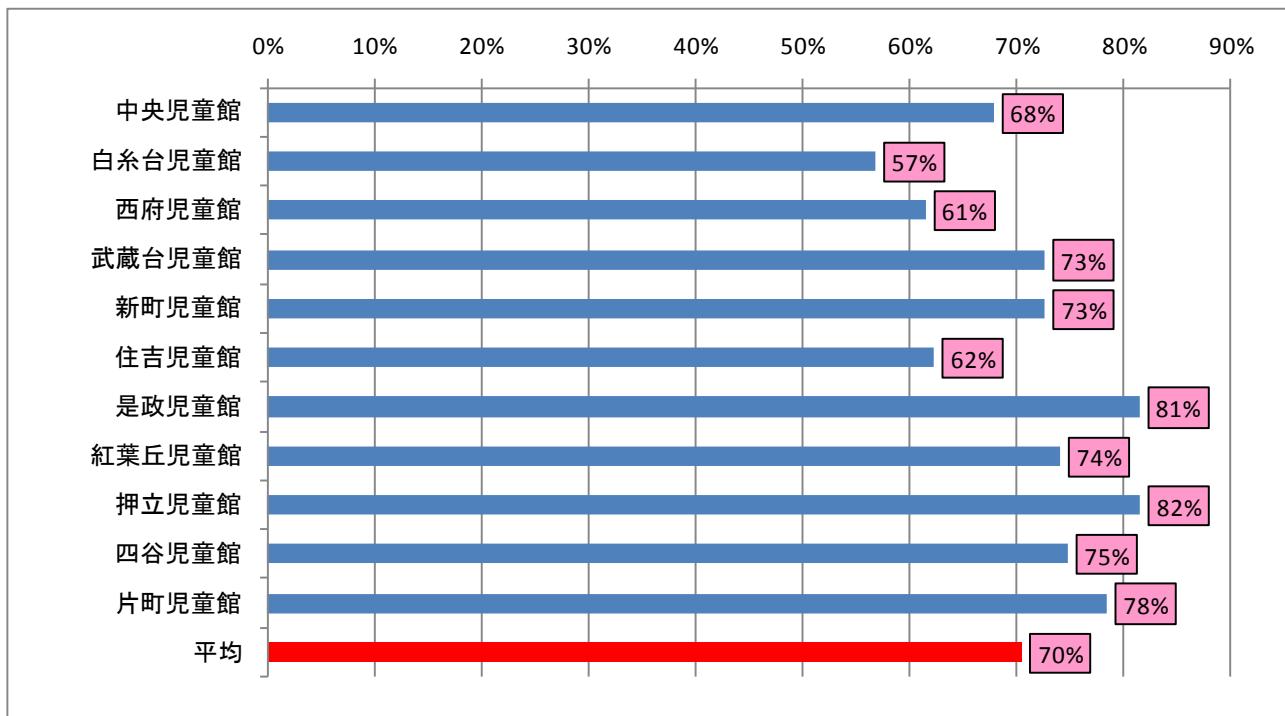


児童館機能別利用件数割合

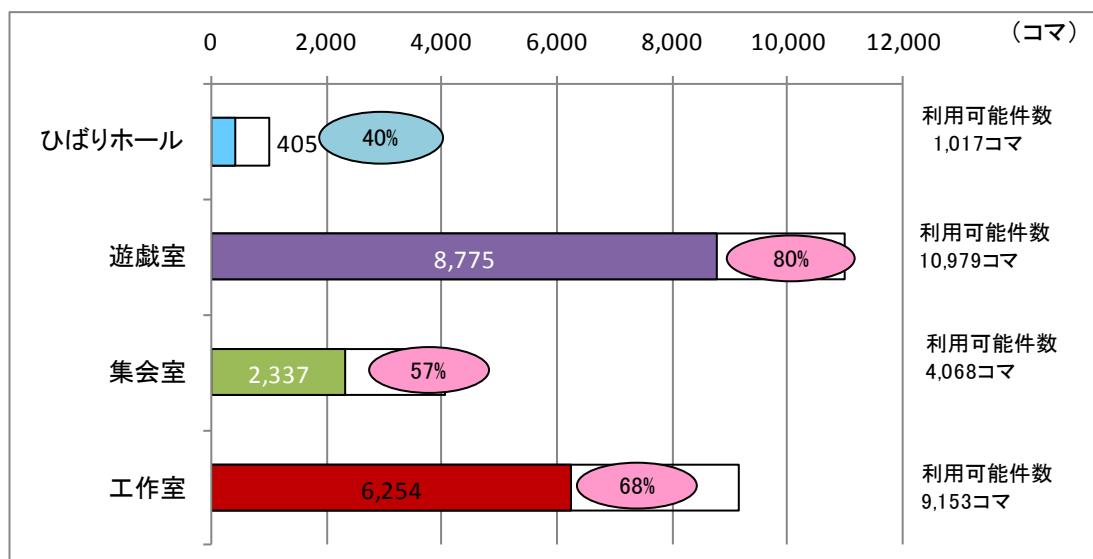


- ・ 児童館 11 施設の平均稼働率は 70% となっています。
- ・ 施設別の稼働率では、押立児童館（82%）が最も高く、白糸台児童館（57%）が最も低くなっています。
- ・ 機能別の稼働率では、すべての児童館に設置されている遊戯室が 80% と最も高く、次いで 11 施設中 9 施設に設置されている工作室が 68% となっています。

児童館稼働率



児童館機能別利用件数・稼働率



※稼働率は一般開放の時間帯を含めたコマ数で算出しました。

(5) 運営状況（文化センター全体）

① 運営形態

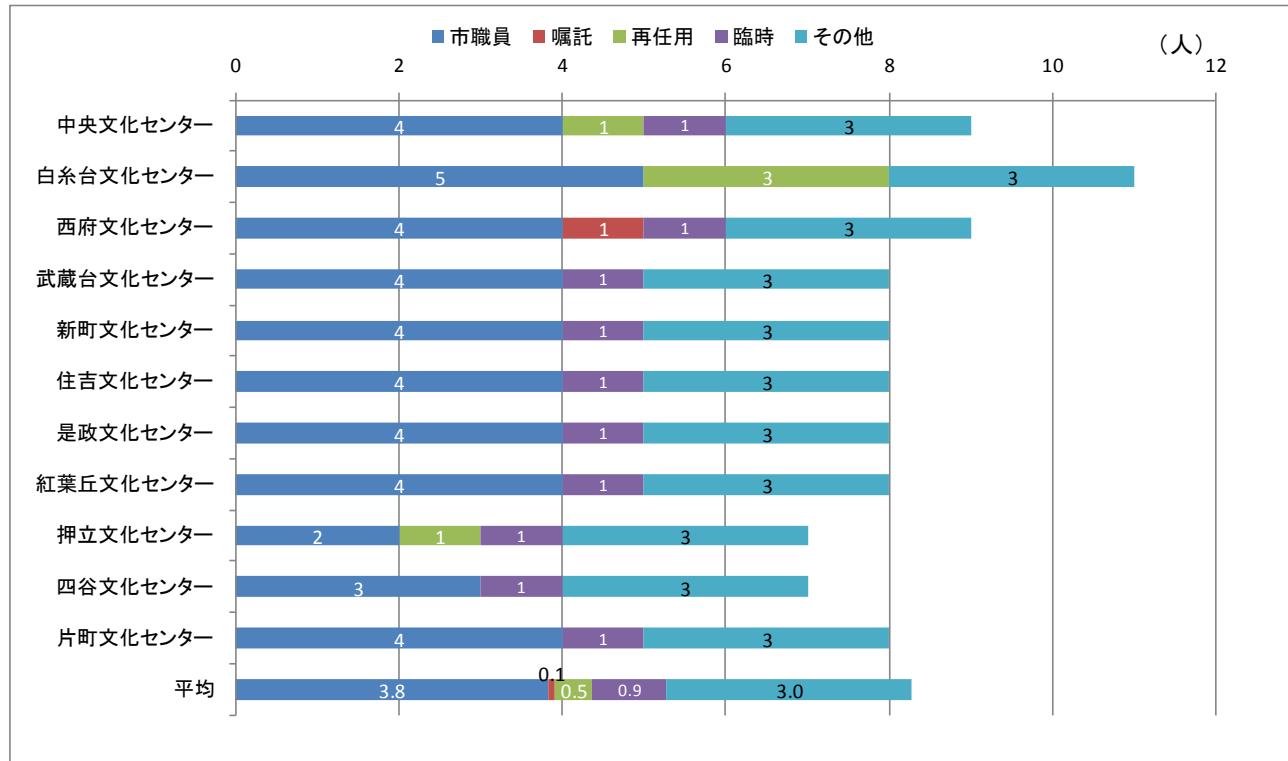
- ・ 文化センターは、児童館、公民館、高齢者福祉館、市役所出張所・窓口共に、市直営にて管理運営を行っています。
- ・ 清掃や警備等の管理業務は外部に委託しています。
- ・ 文化センターでは次のコミュニティ事業を実施しており、その運営はコミュニティ協議会に委託するなど、地域住民の参加が進んでいます。
- ・ コミュニティ協議会とは、地域の自治会、文化センターの登録団体、PTAなどを構成員とする協議会であり、文化センターからの委託を受けて、文化センターと協働して、地域のイベントの企画・運営を行っています。

(1) ふれあいの集い運営事業	地域文化祭、敬老の集い、地域交流の集い等
(2) 地域まつり運営事業	
(3) 野外活動振興事業	レクリエーション大会、いもほりの集い、防災訓練等
(4) ふるさと広場運営事業	七夕の集い、クリスマスの集い、節分の集い等
(5) コミュニティ事業	創作教室、民謡の集い等
(6) 自主活動奨励事業	児童サークル、児童館指導員と遊ぼう
(7) 地区公民館事業	
(8) スポーツの生活化推進事業	
(9) 全市の事業	コミュニティ文化祭、子供ランド事業等

② 運営人員

- ・ 文化センターという複合施設として運営体制をとらえる必要があり、公民館等施設別の人員体制・役割分担は行っていません。職員が複数の役割をこなすことにより、少ない人員体制ながらも多種多様な市民サービスを実現しています。
- ・ 文化センター1施設当たりの平均人員は8.3人で、そのうち3.8人が市の職員、0.1人が嘱託、0.5人が再任用、0.9人が臨時職員（週4日勤務）、3.0人がその他（児童館指導員1人及び業務員2人）となっています。
- ・ 運営人員の最も多いのは、出張所機能を有し利用者数も多い白糸台文化センター（11人）、最も少いのは、規模が小さく利用者数も少ない押立文化センター及び四谷文化センター（7人）となっています。
- ・ 平日夜間（17時以降）及び土日については業務員2名（登録者6名をローテーションにより2名体制）にて運営しており、シルバー人材センターに委託して、粗大ゴミのシール販売、夜間の貸館業務等を委託し効率化を図っています。

施設別の運営人員の内訳



③ 人員配置時間帯

- すべての文化センターにおいて、運営時間帯は、「8:30～17:00」と「17:00～21:00」（延長の場合のみ22:00まで）の2シフトとなっています。
- 平日夜間（「17:00～21:00」）及び土日（「8:30～17:00」、「17:00～21:00」）については業務員2名（登録者6名をローテーションにより2名体制）にて運営しています。
- 児童館指導員は14:00～17:00の勤務ですが、利用状況、イベント等により他の時間も勤務する場合があります。常時4～6名の登録をし、ローテーションで各日1名が対応しています。
- 臨時職員は「9:00～17:00」で、週4日間の勤務となっています。

人員配置時間帯(全センター共通)

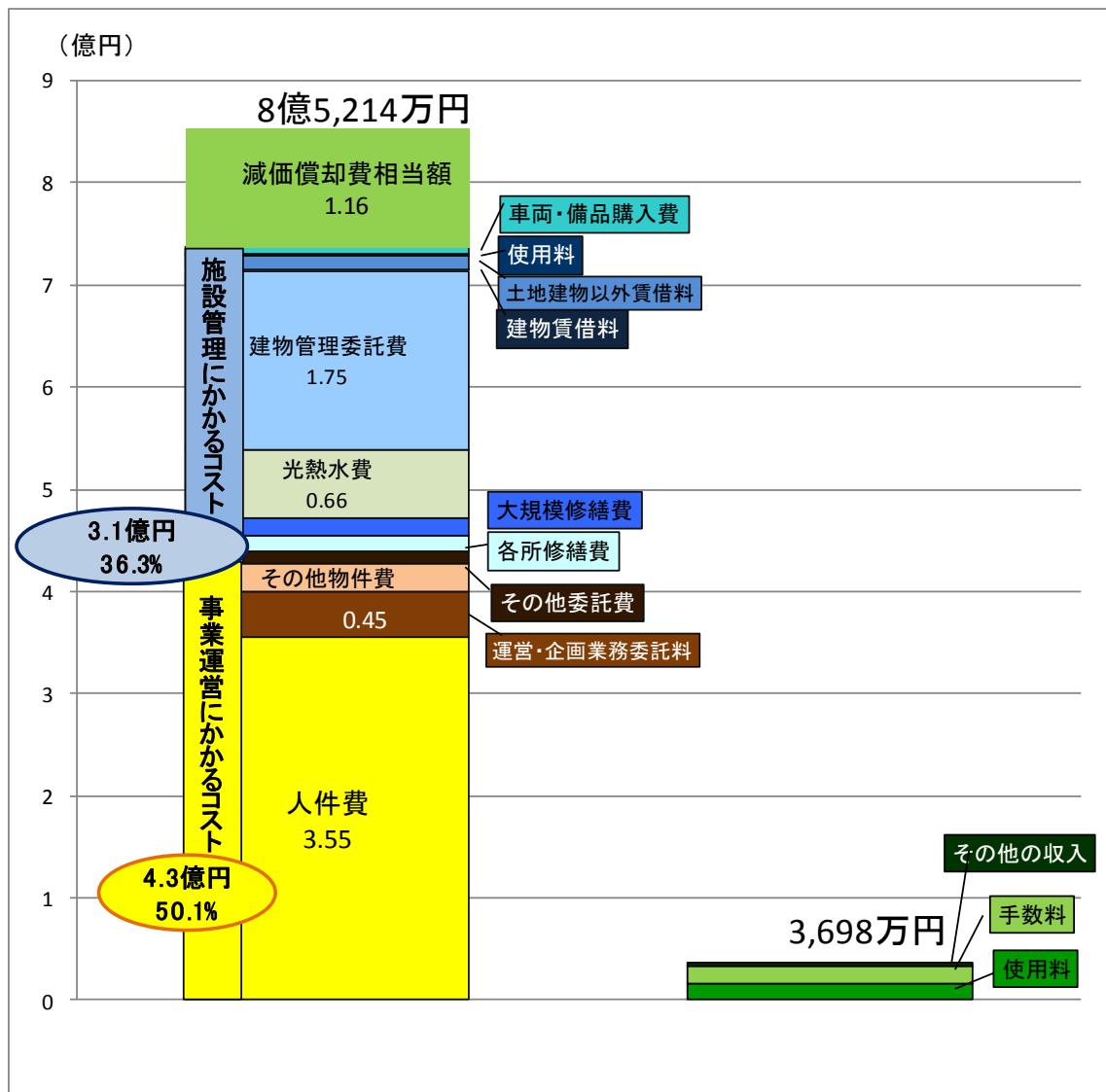


(6) コスト状況（文化センター全体）

①コスト及び収支状況

- 文化センター11施設の平成21年度1年間の支出は、8億5,214万円、1施設当たり平均は7,747万円です。
- 8億5,214万円のうち、施設管理にかかるコストは3億933万円（36.3%）、事業運営にかかるコスト（運営費・概算人件費）は4億2,712万円（50.1%）となっています。事業運営にかかるコストが、施設管理にかかるコストを上回っています。
- 11施設の年間の収入は、3,698万円（支出の4.3%相当）となっており、1施設当たり平均は336万円です。手数料・使用料等の収入は光熱水費の50%程度の水準にあります。
- 施設別の支出をみると、中央文化センター、白糸台文化センター、大規模修繕のあった四谷文化センター、規模の小さな押立文化センターを除くと、金額、内訳には大きな差はありません。

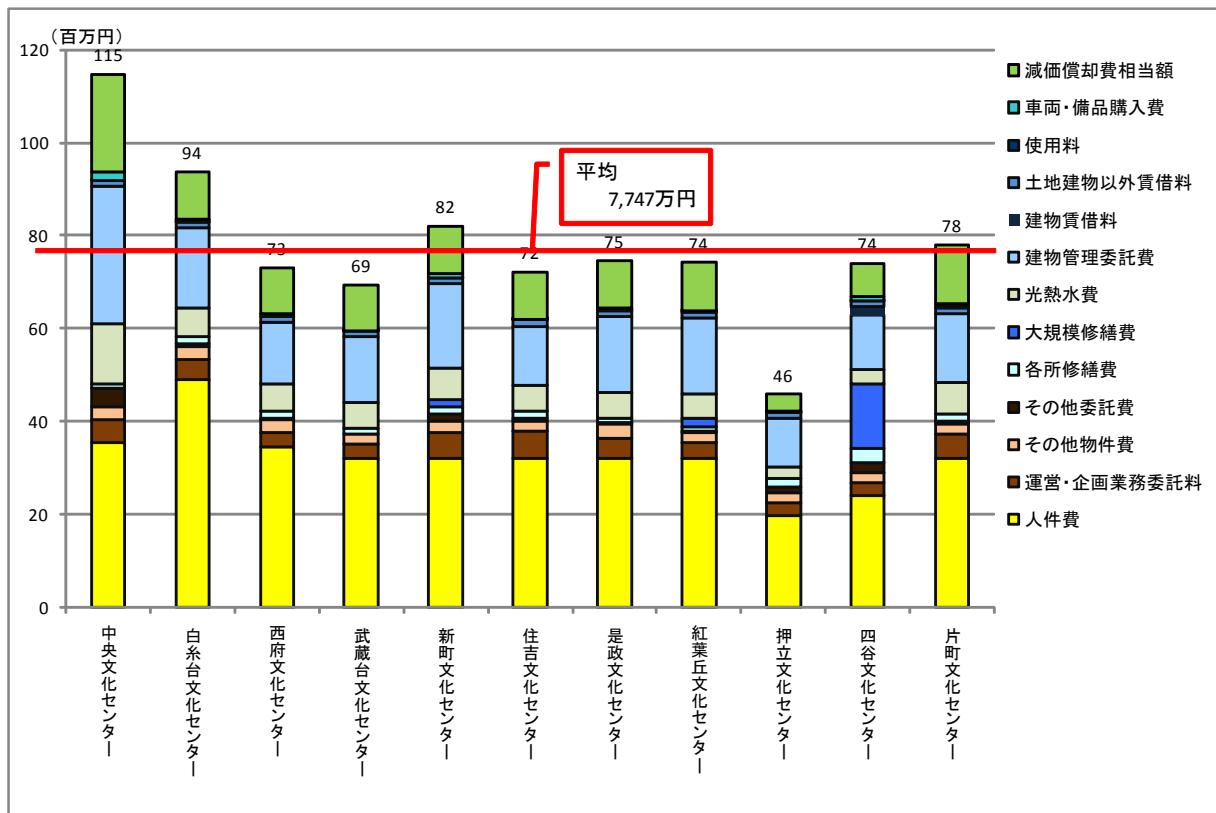
トータルコスト（文化センター、平成21年度）



注：減価償却費相当額の計算方法（以下、全用途共通）

白書作成に際して対象とした全ての公共施設取得価格（建築価格及び大規模修繕費用等の合計額）を全ての公共施設の延床面積で除した単価（千円／m²）に各施設又は複合施設であれば施設内の機能毎の延床面積を乗じて算出（耐用年数は一律60年を採用）。

施設別支出合計（文化センター、平成21年度）



施設別の行政コスト計算書（文化センター、平成 21 年度）

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】

コストの部		中央文化センター	白糸台文化センター	西府文化センター	武藏台文化センター	新町文化センター	住吉文化センター	是政文化センター	紅葉丘文化センター	押立文化センター	四谷文化センター	片町文化センター	文化センター合計
施設管理にかかるコスト	各所修繕費	912	1,634	1,464	1,096	1,714	1,518	793	1,054	1,964	3,080	1,665	16,894
	大規模修繕費	0	0	0	0	1,616	0	0	1,623	0	13,874	0	17,113
	光熱水費	12,973	6,011	5,839	5,515	6,551	5,521	5,543	5,422	2,569	3,209	6,713	65,866
	建物管理委託費	29,527	17,359	13,339	14,196	18,339	12,863	16,522	16,314	10,337	11,505	15,035	175,335
	建物賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,029	0	2,029
	土地建物以外賃借料	1,324	1,274	1,250	1,225	1,120	1,258	1,201	1,206	1,177	1,125	1,233	13,393
	使用料	95	45	0	66	85	197	84	125	90	40	130	958
	車両・備品購入費	1,760	507	507	30	815	85	599	152	295	815	727	6,291
	その他委託費	3,938	473	473	0	1,260	473	473	473	1,260	2,154	473	11,447
管理にかかるコスト 計		50,528	27,302	22,873	22,127	31,500	21,915	25,215	26,368	17,693	37,830	25,976	309,325
かかるコストに含まれる運営コスト	職員人件費	31,031	38,789	31,031	31,031	31,031	31,031	31,031	31,031	15,516	23,273	31,031	325,826
	嘱託職員人件費	0	0	2,361	0	0	0	0	0	0	0	0	2,361
	再任用職員人件費	3,379	10,137	0	0	0	0	0	0	3,379	0	0	16,895
	臨時職員人件費	1,033	0	1,010	998	947	944	914	1,019	918	866	983	9,632
	運営・企画業務委託料	4,778	4,326	3,104	3,234	5,653	5,802	4,498	3,259	2,616	2,721	5,130	45,121
	その他物件費	2,977	2,991	2,710	2,149	2,581	2,403	2,906	2,138	2,085	2,042	2,299	27,279
	運営にかかるコスト 計	43,198	56,244	40,217	37,411	40,211	40,180	39,350	37,446	24,514	28,902	39,443	427,115
現金収支を伴うコスト 計		93,726	83,545	63,089	59,539	71,711	62,095	64,565	63,814	42,207	66,732	65,418	736,440

【収益の部】

使用料	10,106	1,445	717	295	286	856	394	1,111	231	224	1,299	16,962
手数料	856	4,686	1,862	1,130	1,596	1,615	893	1,359	433	930	857	16,217
その他の収入	800	468	250	292	339	398	237	377	105	177	360	3,803
収益 計	11,761	6,600	2,829	1,716	2,222	2,869	1,524	2,847	769	1,331	2,516	36,982

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

減価償却費相当額	21,071	10,175	9,949	9,941	10,372	10,101	10,048	10,475	3,564	7,382	12,616	115,695
----------	--------	--------	-------	-------	--------	--------	--------	--------	-------	-------	--------	---------

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	114,797	93,720	73,038	69,480	82,083	72,196	74,613	74,289	45,770	74,114	78,034	852,135
収支差額	103,036	87,121	70,209	67,764	79,862	69,327	73,089	71,442	45,001	72,783	75,519	815,153

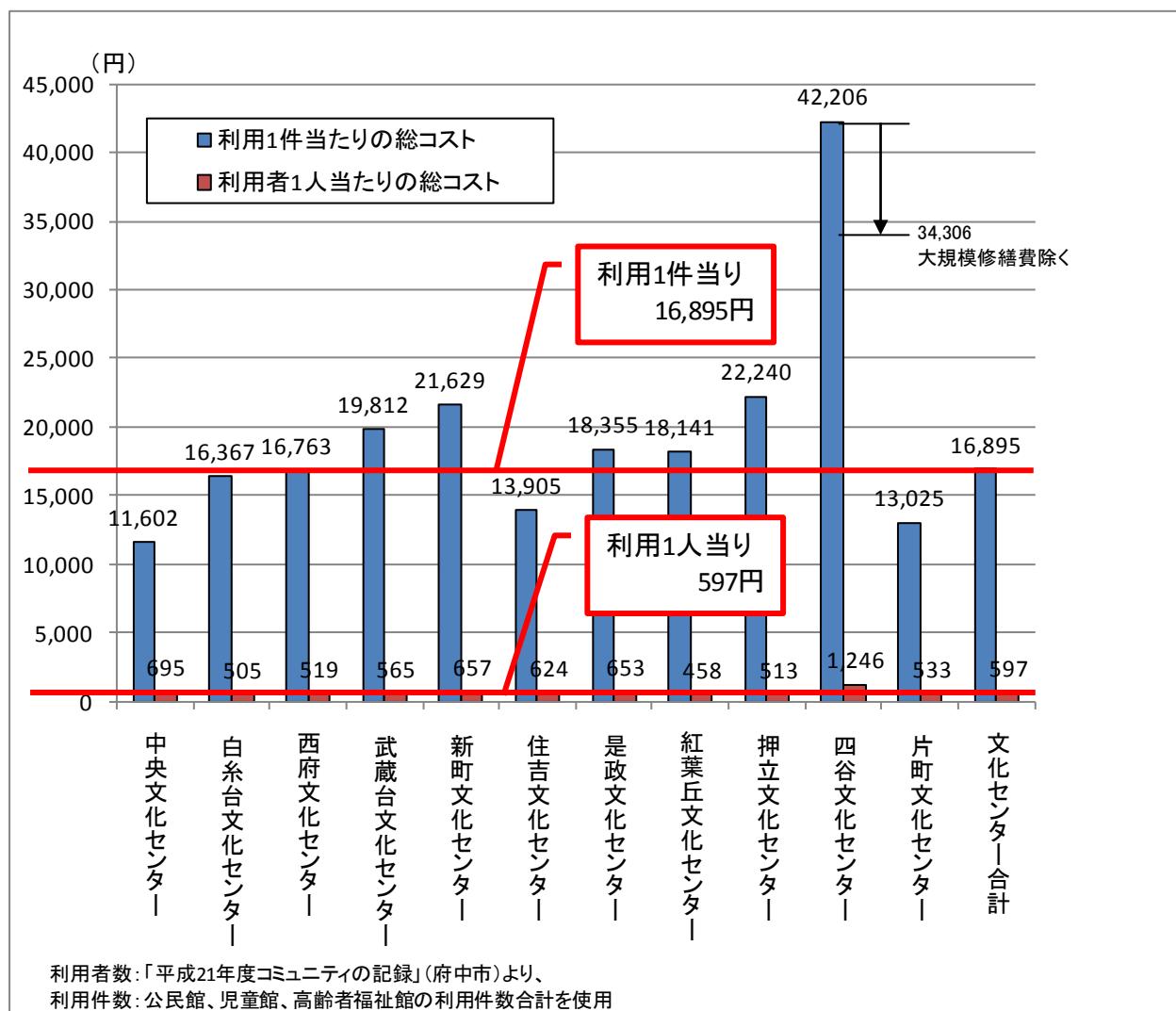
※文化センター内図書館の施設管理にかかるコスト（各所修繕費～建物管理委託費）は面積按分し除いている。

② 利用当たり総コスト／床面積当たり総コスト

a) 利用当たり総コスト

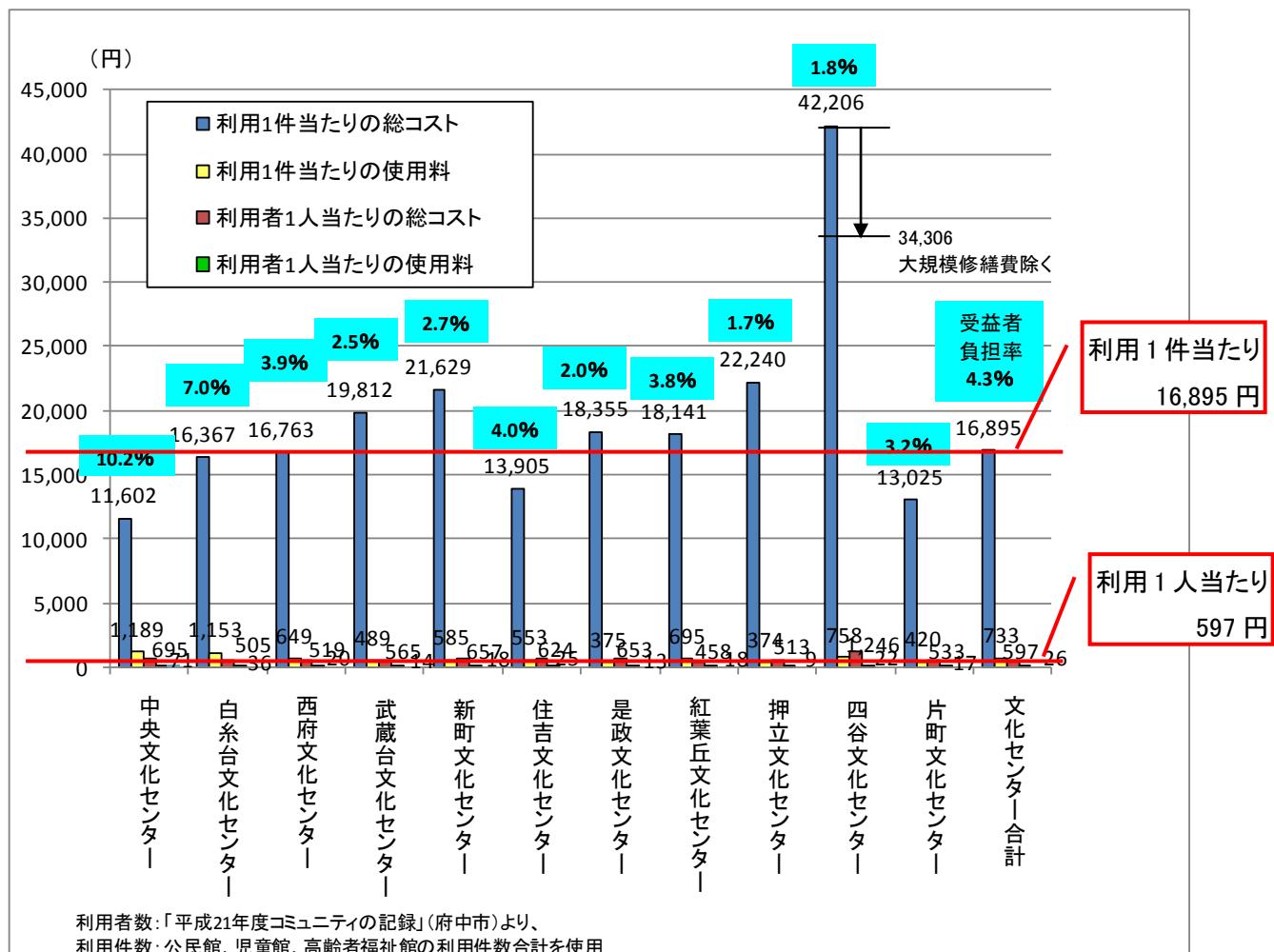
- 文化センター全体の利用 1 件当たりの総コストは 16,895 円、利用者 1 人当たりの総コストは 597 円です。
- 施設別の利用 1 件当たりの総コストでは、四谷文化センター（42,206 円、大規模修繕費分を除くと 34,306 円）が最も高く、次いで押立文化センター（22,240 円）、新町文化センター（21,629 円）となっています。利用 1 件当たりの総コストが最も低いのは中央文化センター（11,602 円）です。
- 施設別の利用者 1 人当たりの総コストでは、四谷文化センター（1,246 円）が最も高く、紅葉丘文化センター（458 円）が最も低くなっています。

利用当たり総コスト（文化センター、平成 21 年度）



- 利用当たりの総コストに占める収入の割合（受益者負担率）は、文化センター全体で4.3%となっています。
- 施設別にみると、使用料収入が最も多いのは中央文化センターとなっています。有料での稼働が多いひばりホールがあることや、振興会館を使用する団体からの使用料が含まれていることから、他の施設と比較し収入が多くなっているものと考えられます。

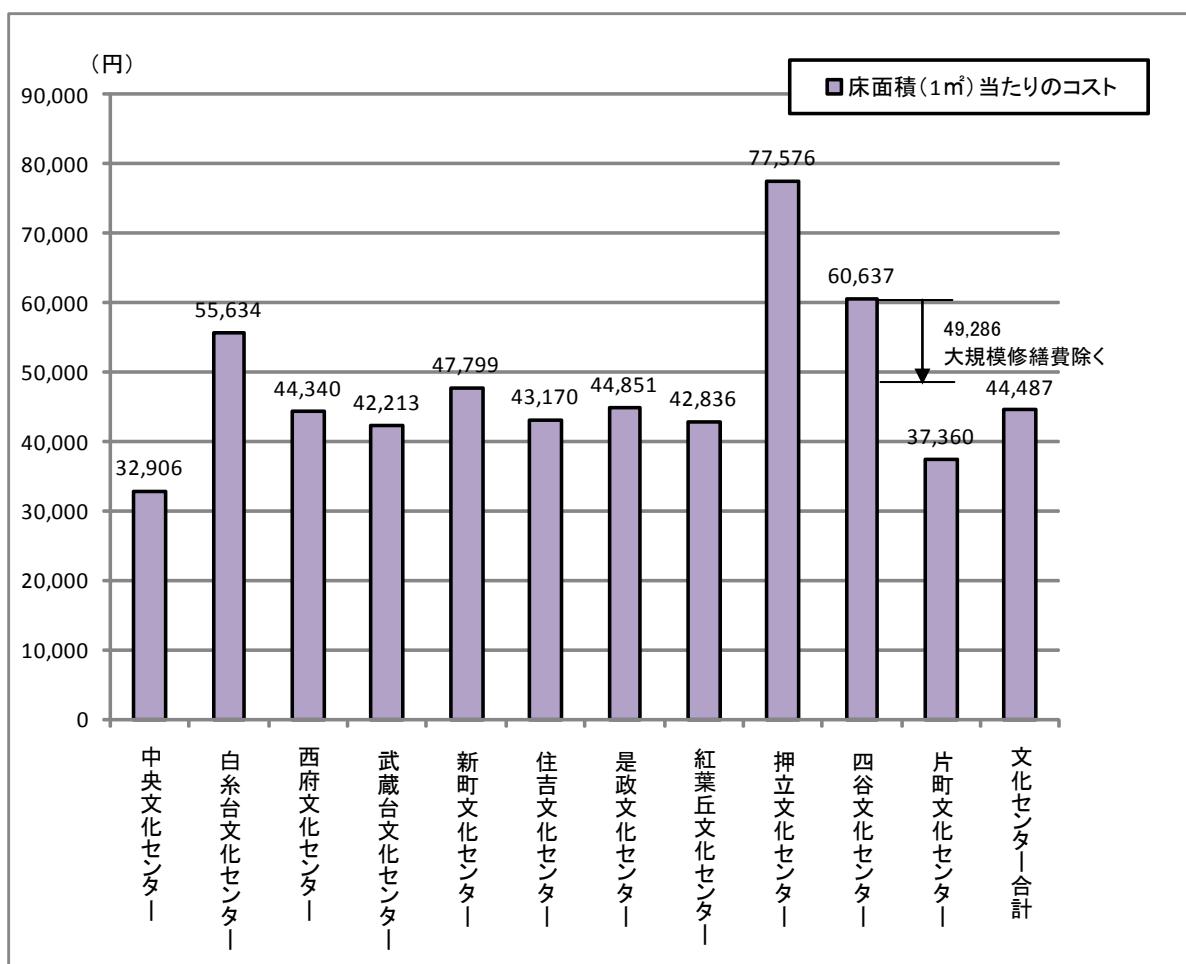
利用当たり総コストに占める使用料収入（文化センター、平成21年度）



b) 床面積（1m²）当たり総コスト

- 床面積（1m²）当たりのコストをみると、文化センター11施設の平均は44,487円です。
- 施設別では、押立文化センターの床面積（1m²）当たりのコストが最も高く（77,576円）、次いで白糸台文化センター（55,634円）、四谷文化センター（60,637円、うち大規模修繕費除くと49,286円）となっています。押立文化センターと四谷文化センターについては、他の施設と比較して施設規模が小さいことが要因と考えられます。また、白糸台文化センターについては、出張所機能を有し利用者数も多いことから、職員が他施設よりも多く配置されていることが要因と考えられます。床面積（1m²）当たりのコストが最も低いのは、施設規模の大きい中央文化センター（32,906円）です。

床面積（1m²）当たり総コスト（文化センター、平成21年度）



(7) 現状と課題

① 概要

- ・ 11 のコミュニティ圏域ごとに、出張所・窓口、公民館、高齢者福祉館、児童館、図書館が併設された複合施設であり、個性的な地域文化を創造するコミュニティ施設です。
- ・ 出張所・窓口では各種証明書の発行や、出張所では一部戸籍や住民票に関する届出を受け付けています。
- ・ 文化センター全体としては、施設の貸出（公民館、児童館（夜間）、高齢者福祉館（夜間・日曜日））、施設の一般開放（児童館各諸室、高齢者福祉館浴場等各諸室）、サークル活動等の推進を図る自主活動推進事業を中心とした主催事業の実施が主な業務となっています。

② 施設状況

- ・ 築 30 年以上の施設がほとんどで、今後施設の改修等が必要となってきます。
- ・ 昭和 45～50 年度に整備された白糸台、西府、武蔵台、新町、住吉、是政、紅葉丘の文化センター 7 施設と、昭和 62 年に整備された片町文化センターは、規模、諸室の構成がほぼ同じ施設です。残り 3 施設は他の目的から文化センターに移行したものであり、規模、諸室の構成が異なります。

③ 建物状況

- ・ 中央文化センターの耐震改修工事が、平成 23 年度に予定されています。
- ・ 今後、建替えまたは大規模改修の検討が必要な施設が 8 施設あります。
- ・ 規模が小さい押立文化センター、四谷文化センターでは床面積（1 m²）当たりの維持管理費が高くなっています。

④ 利用状況

- ・ 年間 142 万人が利用しており、利用者数は減少傾向にあります。
- ・ 利用者の年齢層は幅広く、就学前の子どもから高齢者まで利用しています。必ずしも高齢者が高齢者福祉館を、子どもが児童館を利用しているわけではありません。
- ・ 施設貸出利用や一般開放利用が含まれる一般利用者の利用が約半数で、利用目的が分かっているものでは、行事への参加者、窓口利用者が多くなっています。
- ・ 複合施設であるため、利用者数の統計が十分に整理しきれておらず、施設ごとの利用者数を把握することが難しくなっています。
- ・ 貸出施設については、一般開放分も稼働とみなされているため、比較的稼働率が高くなっていますが、調理実習室や和室は比較的低い水準となっています。

⑤ 運営状況

- ・ 文化センターに設置されている各施設は、清掃等の一部の外部委託を除き、すべて市直営にて管理運営を行っています。
- ・ 文化センターの所長は施設の管理を一元的に行っています。担当職員についても、施設ごとに役割が分かれているのではなく、複数業務を担当し、平均 8.3 人で運営しています。出張所機能を有し、利用者数が多い白糸台文化センターには 11 人配置されています。
- ・ 主催事業は地域のコミュニティ協議会に委託しており、運営への地域住民の参加が進んでいます。

⑥ コスト状況

- ・ 文化センターは全体で 8.52 億円となっており、1 施設平均 7,747 万円となっています。

- ・施設規模の小さな四谷文化センター、押立文化センターは利用当たりコストが高めとなっています。

⑦ 今後の方向性

- ・老朽化の状況を踏まえ、施設改修の時期を検討する必要があります。
- ・設置当初とは地域ごとの人口構成やニーズが変化してきており、施設改修については、人口構成の変化や公共サービスに対するニーズの変化等を踏まえ、施設のあり方を検討する必要があります。
- ・特に、高齢者及び子ども向けのサービスや窓口での相談等については、今後ニーズが増え、その対応やスペース等が求められることも考えられます。
- ・また、地域ごとの人口及び人口構成に違いが生じることが想定されるため、従来のように、同一規模の施設で同一のサービスを提供するだけでなく、地域ごとに必要なサービスの種類、量、それに応じた施設のあり方を検討することも必要だと考えられます。
- ・複合施設であることから、各施設が比較的小規模に設置されており、ニーズに十分対応できているかどうかを検証する必要があります。また、様々なニーズに対応するための方法として、各施設の拡張ではなく、他の施設との連携・再配置によって機能整備等を行うことも、1つの選択肢として考えられます。
- ・各施設には設置目的があり、利用者の想定もしていますが、実際は必要とする機能に応じた利用がなされています。これらの利用実態についても、施設のあり方を検討する際には考慮する必要があります。
- ・これらの検討を行うためにも、利用者の状況（年齢層、居住地、利用目的等）を把握する必要があります。
- ・指定管理者制度の導入、職員の配置等についても検討が必要です。

2-2 図書館¹

(1) 概要

① 概要

- 府中市には、1つの中央図書館と12の地区図書館があります（図書館法第10条及び府中市立図書館条例）。
- 中央図書館の延床面積及び蔵書数は、13館全体の6割を占めます。専門書も多く、開館時間も長くなっています。
- 地区図書館は、文化センター及び生涯学習センターに配置されています。地域に密着した小規模図書館ですが、図書館相互の取り寄せサービス（リクエストサービス）を通じ、利用者は地区図書館においても中央図書館所蔵の蔵書を借りることができます。
- 生涯学習センターは、多種多様な学習機会の提供と、「いつでも、誰もが学習できる環境づくり」を目指す、総合学習施設です。
- 中央図書館は地区図書館の書庫としての役割を果たしており、中央図書館を中心とした有機的ネットワークを構成して、全市域の住民に届く図書サービスを提供しています。
- 府中市立図書館の所蔵資料は、図書約131万冊、視聴覚資料約7.7万点、マイクロフィルム約4,000点、新聞・雑誌約1,400タイトルです。
- 市民1人あたり約5.3冊の図書を持っています²。府中市と同規模の人口20万人以上30万人未満の市では1人あたり平均約2.8冊であり、府中市はこれを大きく上回っています³。

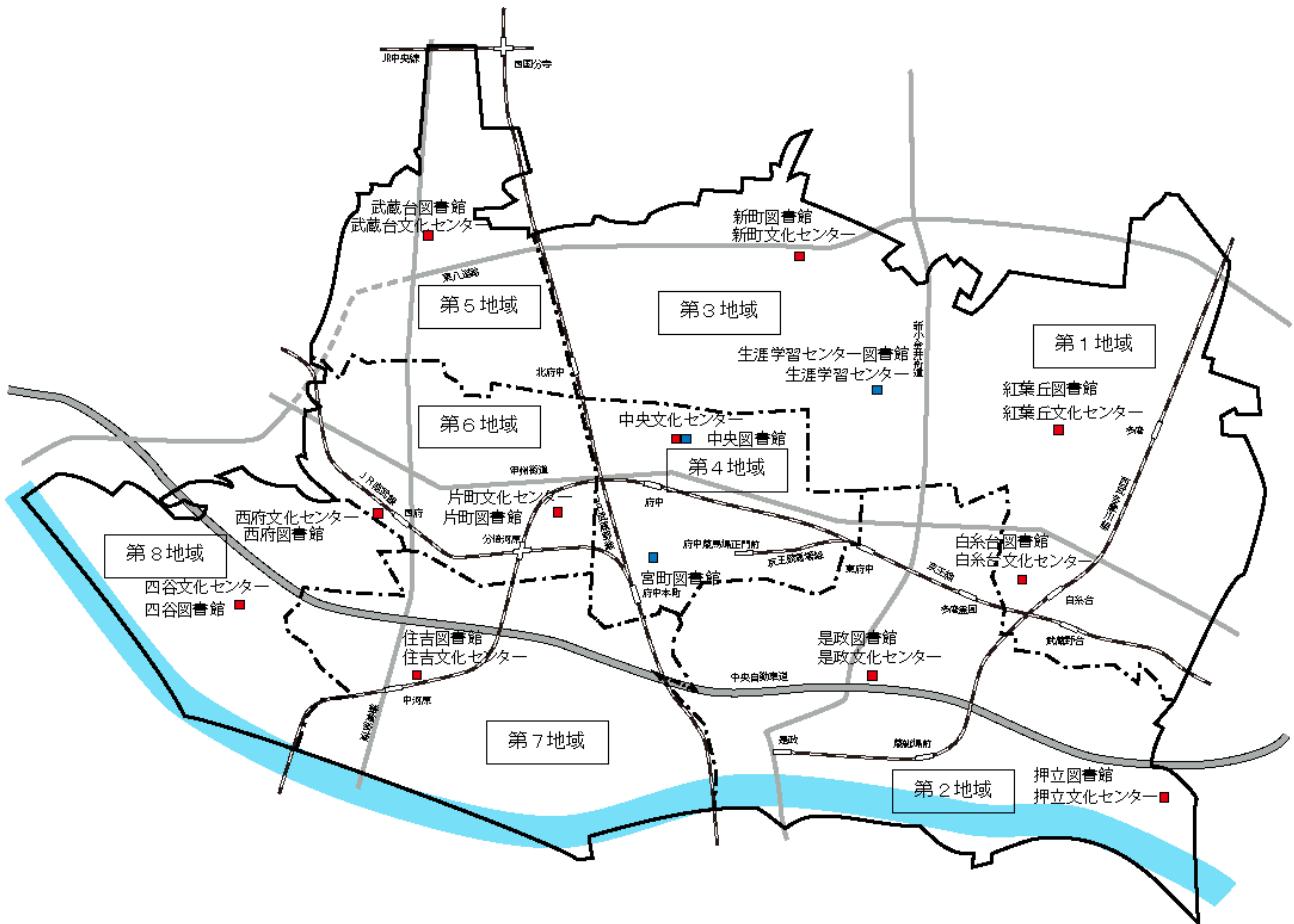
設置数	中央図書館1館、地区図書館12館
設置目的・根拠法	<ul style="list-style-type: none"> 図書館は「社会教育のための機関」（社会教育法第9条1項）であり、国民が自ら実際生活に即する文化的教養を高め得る場である（社会教育法第3条第1項）。 具体的には、「図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設」（図書館法第3条）である。 個別の図書館は府中市立図書館条例によって設置されている（図書館法第10条、府中市立図書館条例）。
所管	文化スポーツ部図書館
サービス内容	<ol style="list-style-type: none"> 図書、記録等の資料を収集し、一般公衆の利用に供すること。 図書館資料の分類配列を適切にし、及びその目録を整備すること。 図書館の職員が図書館の資料について十分な知識を持ち、その利用のための相談に応ずるようにすること。 他の図書館等と緊密に連絡し、協力し、図書館資料の相互貸借を行うこと。 分館等を設置し、及び自動車文庫等の巡回を行うこと。 読書会、研究会等を主宰し、及びこれらの開催を奨励すること。 時事に関する情報及び資料を紹介し、及び提供すること。 社会教育における学習の機会を利用して行った学習の成果を活用して行う教育活動その他の活動の機会を提供し、及びその提供を奨励すること。 学校、博物館、公民館、研究所等と緊密に連絡し、協力すること <p>（図書館法第3条各号参照）</p>
利用者の範囲	<ul style="list-style-type: none"> 府中市に居住・通勤・通学 相互利用（八王子市・府中市・調布市・町田市・日野市・多摩市・稲城市で京王線沿線7市図書館連携。その他、国分寺市、国立市、小金井市。）
配置の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館は市民会館建替えの際に同じ建物に設置。 各文化センターに1つ。 生涯学習センターにも設置。

¹ 宮町図書館は平成23年4月1日に開設されるふるさと府中歴史館（仮称）の2階に移転する予定であるため、調査票を配布していません。宮町図書館については、府中市立図書館発行「平成21年度 府中市立図書館事業概要」に掲載されている範囲でデータを転載しています。

² 平成22年1月1日現在の府中市の住民基本台帳上人口は244,834人参照。

³ 社団法人日本図書館協会『日本の図書館 統計と名簿 2009』（2010年）、27ページ。

図書館位置図



施設一覧

施設名	建築年度	延床面積 (m ²)	併設施設						
			出張所	窓口	公民館	高齢者 福祉館	児童館	その他	具体的内容
中央図書館	H19	2007	6,076					●	市民会館
白糸台図書館	S45	1970	266	●		●	●	●	
西府図書館	S46	1971	275	●		●	●	●	
武蔵台図書館	S47	1972	256		●	●	●	●	
新町図書館	S48	1973	246		●	●	●	●	
住吉図書館	S48	1973	289		●	●	●	●	
是政図書館	S49	1974	273		●	●	●	●	
紅葉丘図書館	S50	1975	241		●	●	●	●	
押立図書館	S53	1978	48		●	●	●	●	
四谷図書館	S53	1978	172		●	●	●	●	
片町図書館	S62	1987	228		●	●	●	●	
宮町図書館	S42	1967	597					●	改修中
生涯学習センター図書館	H5	1993	1,107					●	生涯学習センター
計			10,074	2	8	10	10	10	3

② 中央図書館

- 昭和 42 年に建設された旧中央図書館は、老朽化に伴う修繕費の増大や、スペースの問題から市民の様々なニーズに対応できないといった課題を抱えていました。
- 府中市中央図書館あり方検討協議会での検討等を経て、子どもから高齢者まで、すべての市民の生涯学習を支える図書館として、平成 19 年 12 月 1 日に新中央図書館が開館しました。
- 新中央図書館は、市民会館との複合施設として整備されました。

<新中央図書館の基本方針>

基本方針	①市民の生涯学習を支える図書館
	②子供の生きる力をはぐくみ、青少年にも魅力ある図書館
	③情報化社会に適応した市民の情報基地となる図書館
	④市民の誇りとなる図書館

<新中央図書館の機能>

機能	①センター館としての中枢的な機能
	②他の図書館とのネットワーク機能
	③市政への情報提供機能
	④情報拠点機能

出所：府中市立中央図書館運営方針 1 – 2 ページ

③ 運営方針

<「府中市民の知の拠点をつくる」平成 21 年 3 月、府中市立図書館市民懇談会>

提言	①従来の「図書館」イメージからの脱却を。
	②積極的なメッセージ発信を。
	③市民参加型図書館づくりを。
	④子供たちに対するサービスの充実を。
	⑤地区図書館を地域情報・コミュニティの拠点に。
	⑥市内の大学図書館との協力・協働を。
	⑦質の高いサービスの維持を。

<「第 2 期府中市子ども読書活動推進計画」平成 21 年度>

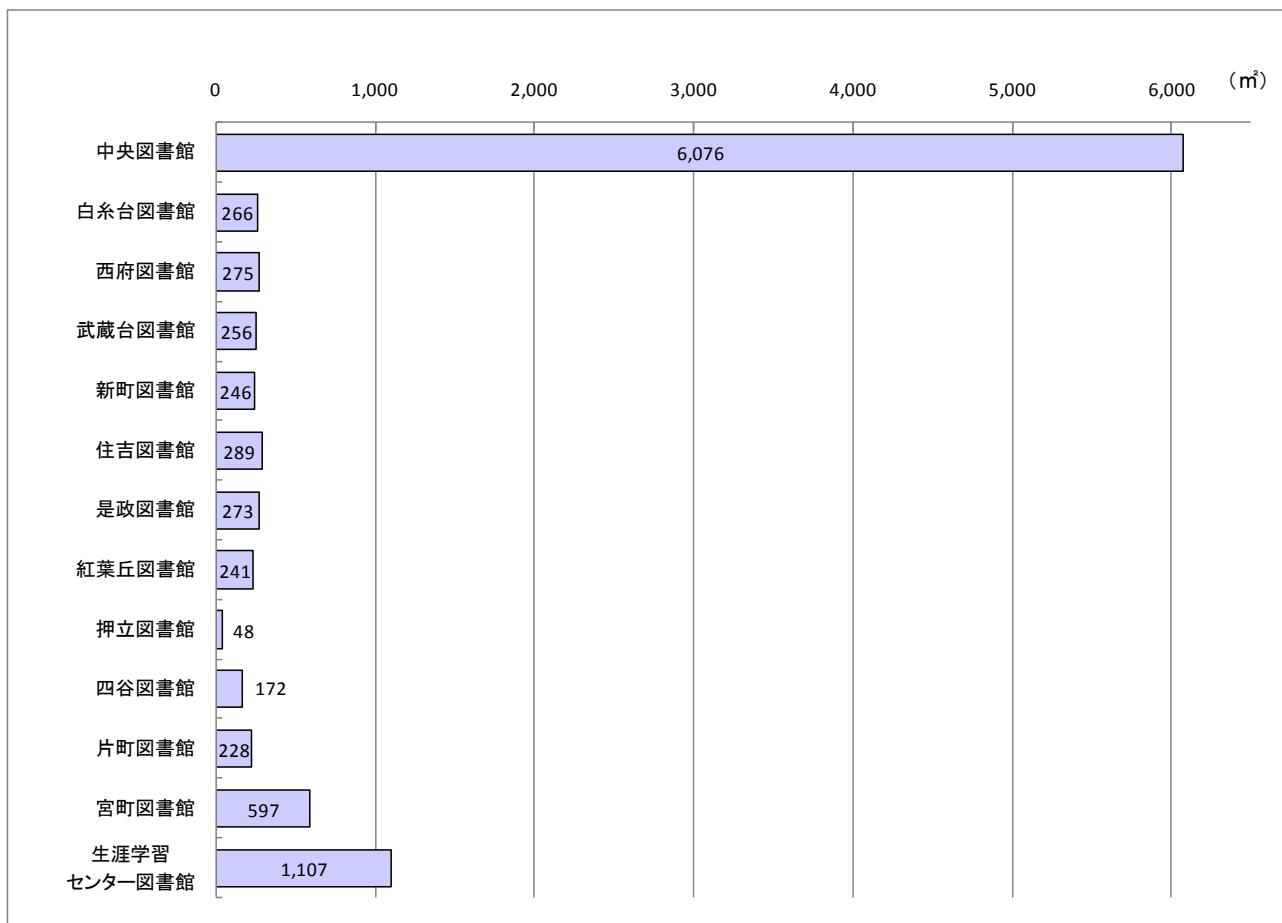
要旨	子どもの読書環境をより一層整備することにより、子どもが本を楽しみ、読書する力を身に付け、個性豊かで、健やかに成長し、人生をより豊かに生きることを目的とする。
----	--

(2) 施設状況

① 施設規模（延床面積）

- ・ 中央図書館の面積は 6,076 m²で、全図書館の延床面積の 60.3%を占めます。
- ・ 文化センター内の図書館は平均約 229 m²と小規模であり、特に押立図書館は 48 m²と小さくなっています。

図書館の延床面積

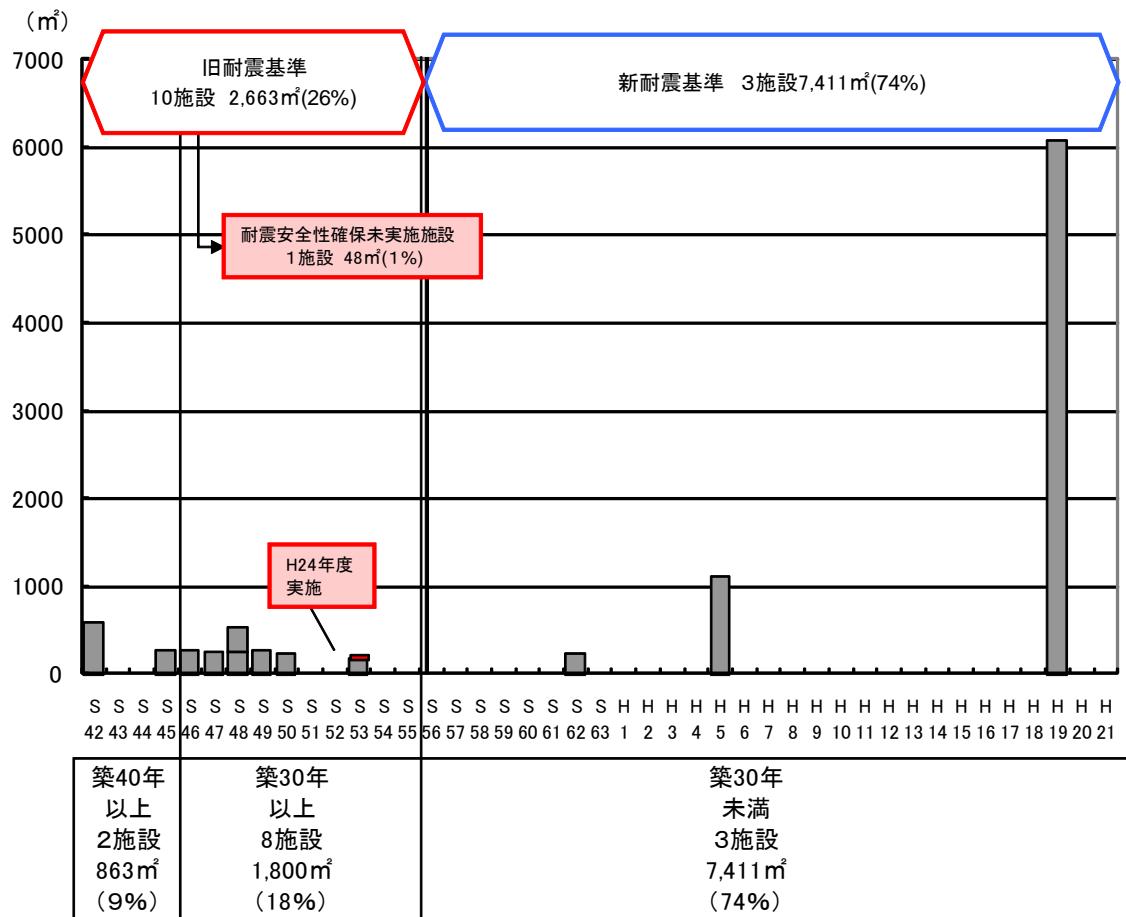


※宮町図書館の面積は平成 21 年度のもの。

② 建築年度

- 昭和 56 年以前に建築された旧耐震基準の施設は $2,663 \text{ m}^2$ (10 施設) です。
- 昭和 57 年以降に建築された新耐震基準の施設が $7,411 \text{ m}^2$ (3 施設) です。
- 旧耐震基準の施設が 26% を占めます。
- 地区図書館は、築 30 年を超える文化センター内に設置されています。

築年別整備状況（図書館）



※四捨五入をしているため、割合の合計が 100% になりません。

③ 運営日数、運営時間

- 中央図書館の開館日数は 323 日です。
- 地区図書館の開館日数は 320 日（平均。耐震改修工事のため長期臨時休館となった四谷及び宮町を除く。）です。
- 各図書館が一斉休館にならないように休館日が設定されています。

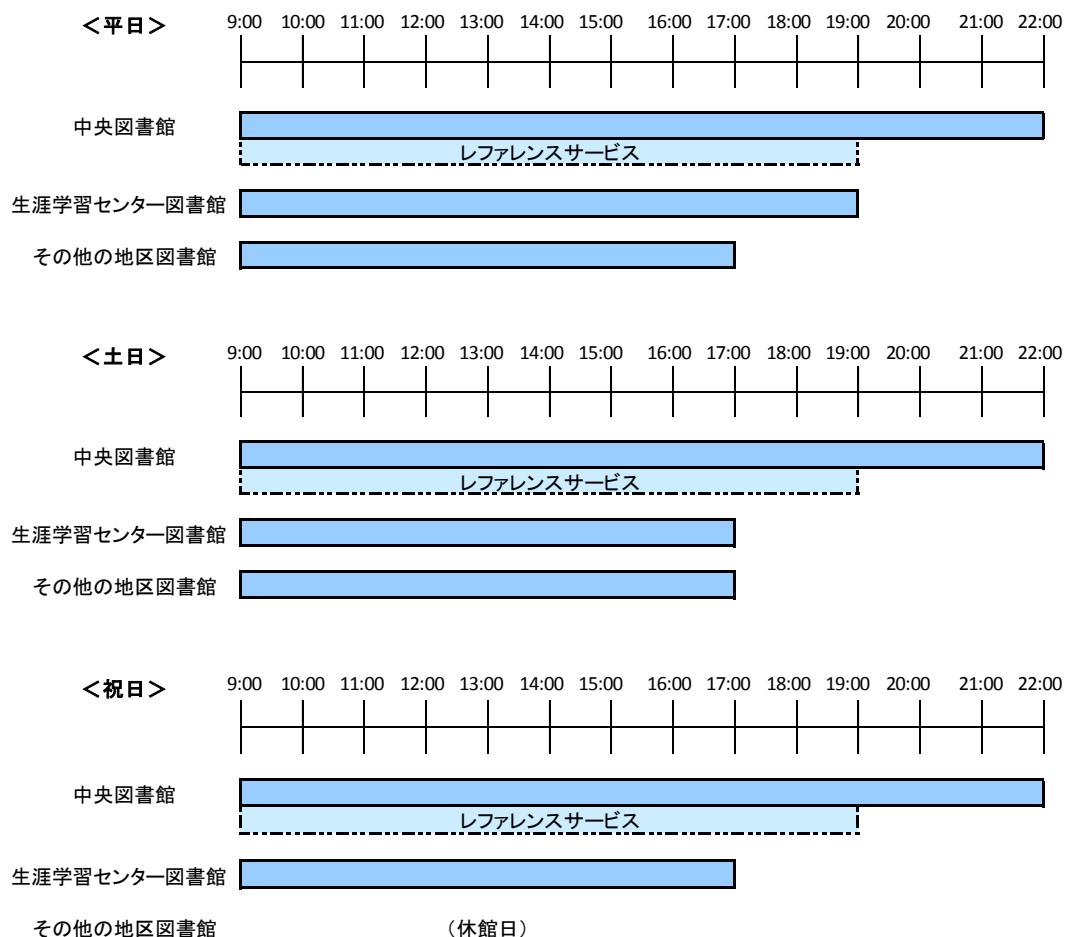
	中央	白糸台	西府	武蔵台	新町	住吉	是政	紅葉丘	押立	四谷	片町	宮町	生涯学習センター
開館日数	323	320	320	320	320	320	320	320	321	254	320	219	319

※平成20年11月1日～平成21年6月14日 四谷文化センター改修工事*

平成21年12月1日～平成23年3月31日 ふるさと府中歴史館（仮称）耐震改修工事

- ・ 中央図書館の利用時間帯は午前 9 時から午後 10 時です。平日・土日・祝日も午後 10 時まで開館しているため、会社員等を含む幅広い層による利用が可能です。
- ・ 地区図書館（生涯学習センター図書館を除く。）の利用時間帯は午前 9 時から午後 5 時です。祝日開館していないこと、また平日は午後 5 時に閉館してしまうことから、主に子ども、高齢者、主婦等を対象にしているといえます。
- ・ 生涯学習センター図書館の利用時間帯は、平日は午前 9 時から午後 7 時、土曜日・日曜日・祝日は午前 9 時から午後 5 時です。中央図書館と他の地区図書館の中間的な施設であると同時に、生涯学習センターを中心として行われる学習事業を補助する施設でもあります。

利用時間帯



④ スペース構成

- ・ 中央図書館はルミエール府中の3、4、5階にあります。
- ・ 3階には一般向け図書、児童書、ハンディキャップ資料などがあります。
- ・ 4階には一般向け図書、参考図書、地域・行政資料、視聴覚資料等があります。
- ・ 5階には学習室と事務室があります。
- ・ 利用者が多い一般向け図書や、ハンディキャップ資料・じどうしつなど円滑な移動が困難な人々のためのサービスは、低層階に用意されています。

中央図書館のスペース構成(階層別)

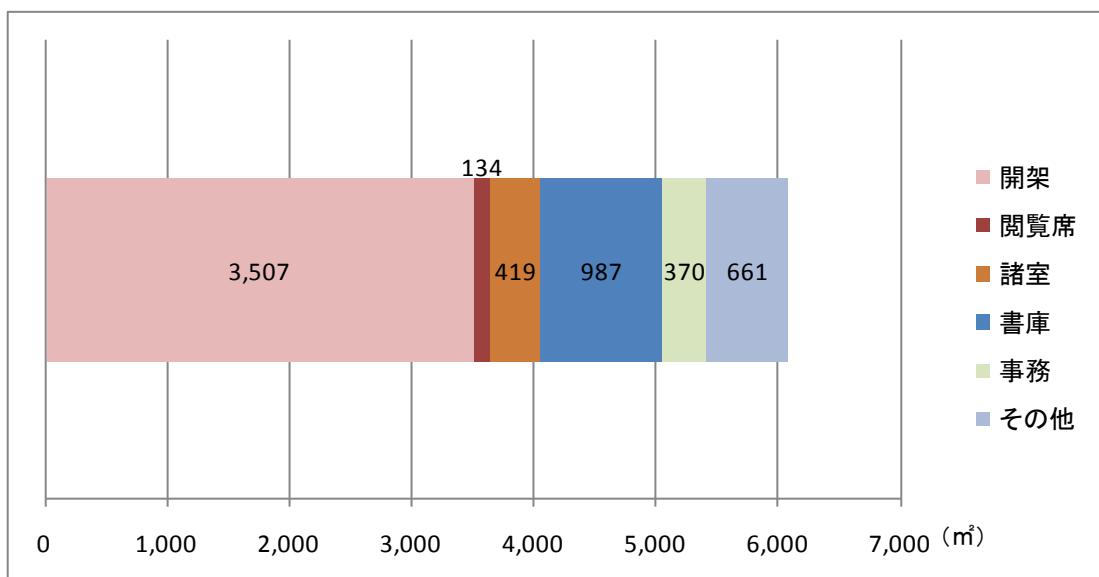
5階	学習室、事務室
4階	地域・行政資料、視聴覚室、YA(ヤングアダルト)、しごと情報資料、 ウィーンコーナー、特別文庫、外国語、参考図書
3階	総合受付カウンター、雑誌・新聞、読書室、予約本コーナー、 対面朗読室、じどうしつ、ハンディキャップ資料

- ・ 閉架書庫を自動化し地下に設置することで、少ないスペースで多くの蔵書スペースを確保しています。
- ・ なお、地区図書館では、事務スペースが閉架書庫、倉庫、打合せ場所等を兼ねており、用途別にスペースを分類することは困難となっています。

中央図書館のスペース構成(分類別)								(m ²)	
分類	場所	地下	1	3	4	5	合計	分類別合計	割合
開架	一般・視聴覚・郷土・参考・外国語コーナー、メディア通り				1,721		1,721	3,507	58%
	児童・はだし・一般コーナー、階段、メディア通り			1,708			1,708		
	ヤングアダルトコーナー				28		28		
	Wi-Fiコーナー				24		24		
	予約本e棚コーナー			20			20		
	マイクロフィルム保管庫				6		6		
閲覧席	静寂読書室			85			85	134	2%
	対面朗読室・録音室			13			13		
	お話の部屋			36			36		
諸室	学習室					307	307	419	7%
	多目的ルーム				38		38		
	ボランティア活動室			36			36		
	グループ研究室				16		16		
	研究個室				20		20		
	携帯ボックス			1			1		
書庫	自動出納書庫	582					582	987	16%
	固定書庫		67		110		177		
	巡回資料等整理室	222					222		
	返却本搬送設備		6				6		
事務	職員・事業者事務室					254	254	370	6%
	スタッフラウンジ					20	20		
	職員更衣室					21	21		
	会議室					38	38		
	印刷室					11	11		
	検品室					26	26		
その他	男子トイレ	4		18	18	21	61	661	11%
	女子トイレ	4		28	28	21	81		
	児童用トイレ			5			5		
	授乳室			7			7		
	機械室			53	53		107		
	階段・EV・EPS	48		71	90	54	263		
	倉庫			13	11	17	40		
	ファンルーム					11	11		
	電算室					20	20		
	前室	6		9	9		25		
合計		866	6	2,170	2,173	862	6,077	6,077	100%

※1階と2階は市民会館です。

スペース構成



(3) 建物状況

施設名	①耐震安全性			②老朽化状況				③バリアフリー対応						
	評価	評価内容		評価	評価内容			評価	評価内容					
		耐震診断	耐震補強		建築年度	経過年	大規模改修		エレベーター	車いす用	身障者トイレ	までのスロープ	道路から入口	自動ドア
中央図書館 (ルミエール府中)	3	不要	—	3	平成19	3	未	3	○	○	○	○	○	○
白糸台図書館 (白糸台文化センター)	3	○	○	1	昭和45	40	未		3	○	○	○	○	○
西府図書館 (西府文化センター)	3	○	○	1	昭和46	39	未		3	○	○	○	○	○
武蔵台図書館 (武蔵台文化センター)	3	○	○	1	昭和47	38	未		3	○	○	○	○	○
新町図書館 (新町文化センター)	3	○	○	1	昭和48	37	未		3	○	○	○	○	○
住吉図書館 (住吉文化センター)	3	○	○	1	昭和48	37	未		3	○	○	○	○	○
是政図書館 (是政文化センター)	3	○	○	1	昭和49	36	未		3	○	○	○	○	○
紅葉丘図書館 (紅葉丘文化センター)	3	○	○	1	昭和50	35	未		3	○	○	○	○	○
押立図書館 (押立文化センター)	2	○	予定	1	昭和53	32	未		2	○		○	○	○
四谷図書館 (四谷文化センター)	3	○	不要	3	昭和53	32	平成21	1	3	○	○	○	○	○
片町図書館 (片町文化センター)	3	不要	—	2	昭和62	23	未		3	○	○	○	○	○
生涯学習センター図書館 (生涯学習センター)	3	不要	—	3	平成5	17	未		3	—	—	—	—	—

施設名	④環境対応状況					⑤維持管理							⑥吹付けアスペクト	
	評価	評価内容				評価	評価内容				評価内容	評価内容		
		延床面積(m ²)	環境指標	m ² 平均	評価		延床面積(m ²)	維持管理費(千円)	m ² 平均(円)	評価内容		各所修繕費	建物管理委託費	各所修繕費
中央図書館 (ルミエール府中)	3	6,076	14,434,659	579	2,375,868	95	3	中央図書館は地域図書館と規模が大きく異なるため単独評価とした						
白糸台図書館 (白糸台文化センター)	3	266	611,962	27	2,299,314	101	3	266	950	2,742	258	3,568	10,303	970
西府図書館 (西府文化センター)	2	275	730,075	35	2,654,817	127	3	275	976	2,229	245	3,548	8,104	890
武蔵台図書館 (武蔵台文化センター)	3	256	642,830	31	2,511,252	121	3	256	858	2,208	170	3,350	8,624	666
新町図書館 (新町文化センター)	3	246	623,189	27	2,530,409	110	3	246	939	2,629	246	3,814	10,675	998
住吉図書館 (住吉文化センター)	3	289	651,853	27	2,253,987	93	3	289	955	2,224	262	3,301	7,690	907
是政図書館 (是政文化センター)	3	273	581,339	23	2,129,760	84	3	273	909	2,710	130	3,331	9,929	477
紅葉丘図書館 (紅葉丘文化センター)	3	241	468,263	19	1,946,634	79	3	241	752	2,263	146	3,126	9,406	607
押立図書館 (押立文化センター)	3	48	143,871	6	3,013,012	126	1	48	208	836	159	4,352	17,508	3,328
四谷図書館 (四谷文化センター)	3	172	310,788	13	1,806,905	76	1	172	507	1,818	487	2,948	10,570	2,830
片町図書館 (片町文化センター)	2	228	688,271	29	3,018,601	127	3	228	733	1,641	182	3,213	7,197	797
生涯学習センター図書館 (生涯学習センター)	3	1,107	910,202	42	822,224	38	3	1,107	4,206	8,076	606	3,799	7,296	547
1m ² 当たりの平均値					2,194,639	91	1m ² 当たりの平均値					12,585	36,216	1,081
平均値の1.4倍(+40%)					3,072,495	127	平均値の1.4倍(+40%)					17,619	50,702	1,513

■評価結果「1」の施設

	2 老朽化状況	5 維持管理
該当施設	<ul style="list-style-type: none"> ・白糸台図書館 ・西府図書館 ・武藏台図書館 ・新町図書館 ・住吉図書館 ・是政図書館 ・紅葉丘図書館 ・押立図書館 	<ul style="list-style-type: none"> ・押立図書館 ・四谷図書館
今後の対応等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、建替え又は大規模改修の検討が必要。 ・建築年度が近接しており、更新時期が重なる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・四谷図書館は、増改築工事の影響を考慮する必要がある。

(4) 利用状況

① 所蔵資料数

- 府中市立図書館は約 131 万冊の図書資料を持ち、そのうち中央図書館が 62%にあたる約 81 万冊を保有しています。このうち開架図書は約 30 万冊で、残りは書庫にあります。
- 中央図書館は自動書庫を備えているため人が通るスペースをとる必要がなく、多数の蔵書の保管が可能です。
- 地区図書館の所蔵図書資料は平均約 4.2 万冊です。半数近くが児童図書です。
- 押立図書館、四谷図書館はその面積が小さいため蔵書数が少なくなっています。

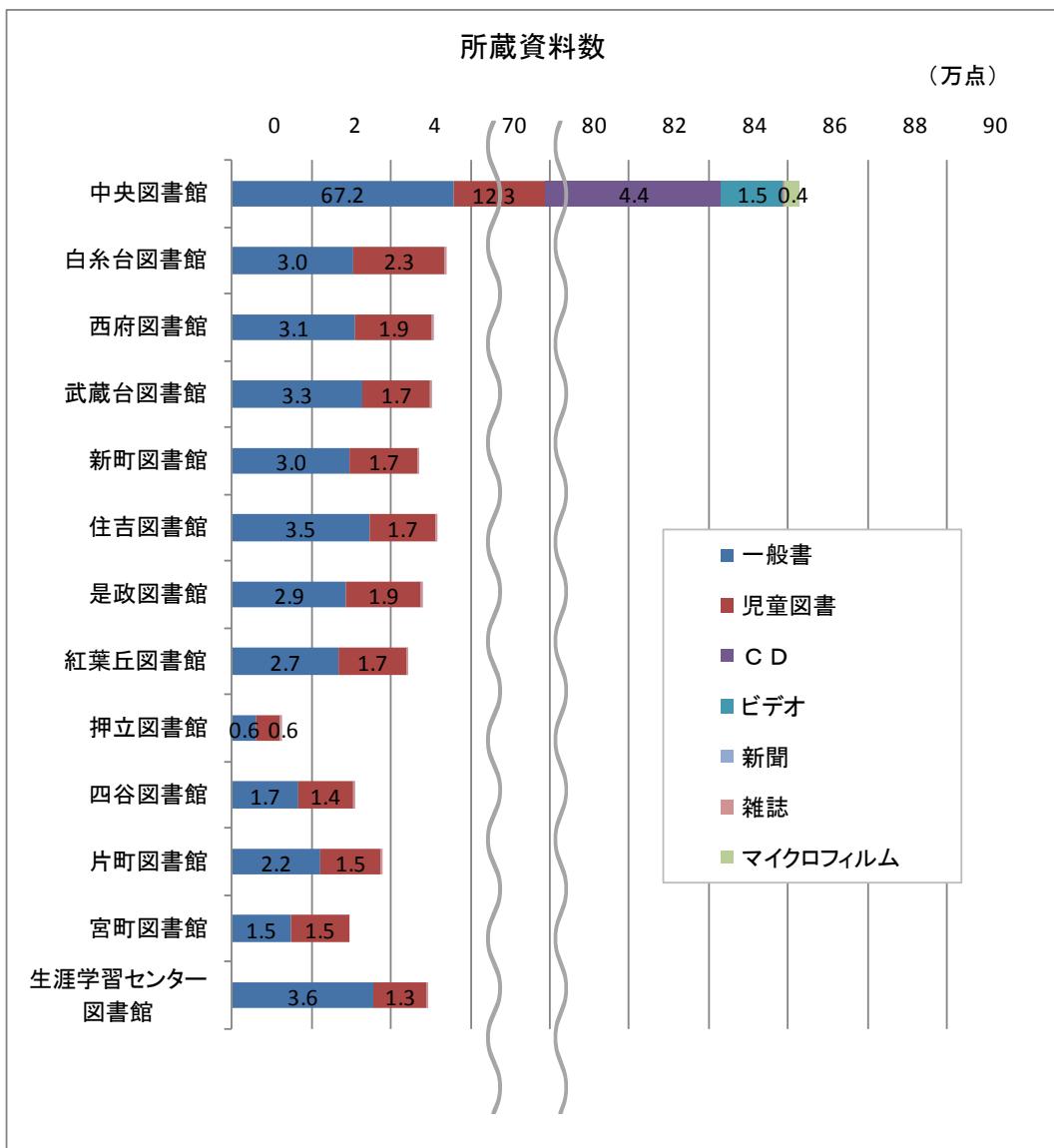
		中央	白糸台	西府	武藏台	新町	住吉	是政	紅葉丘	押立	四谷	片町	宮町	生涯学習センター	合計
図書資料	一般書	672,140	30,453	31,103	32,685	29,790	34,506	28,827	26,735	6,237	16,638	22,208	14,699	35,592	981,613
	児童図書	123,097	23,136	19,284	17,288	16,800	16,823	18,647	17,168	6,014	13,658	15,227	14,813	13,485	315,440
	外国語一般図書	7,418	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,418
	外国語児童図書	5,353	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,353
	(うち大活字本)	2,332	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,332
	(うち点字一般図書)	548	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	548
	(うち点字児童図書)	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
	図書資料 計	808,008	53,589	50,387	49,973	46,590	51,329	47,474	43,903	12,251	30,296	37,435	29,512	49,077	1,309,824

- 中央図書館のみ視聴覚資料を持ち、約 7.7 万点を所蔵しています。

		中央図書館	(点)
視聴覚資料	C D	44,118	
	ビデオ	15,368	
	カセット	8,559	
	D V D	5,306	
	レーザーディスク	3,219	
	録音図書	689	
	視聴覚資料 計	77,259	

- 中央図書館はマイクロフィルム 3,987 点を所蔵しています。
- 中央図書館は、所蔵する新聞、雑誌の種類も多くなっています。
- 地区図書館の新聞の種類はその規模に関わらずほぼ同じです。雑誌はその規模によって異なります（押立、四谷は少なくなっています。）。

		中央	白糸台	西府	武藏台	新町	住吉	是政	紅葉丘	押立	四谷	片町	宮町	生涯学習センター	合計
その他	新聞	36	7	8	7	7	7	7	7	6	6	8	7	8	121
	雑誌	500	69	74	71	68	70	75	70	32	32	73	56	91	1,281
	合計	536	76	82	78	75	77	82	77	38	38	81	63	99	1,402



② 登録者数

- 貸出登録者数（他市民含む。）は15万3,888人です。

	中央	白糸台	西府	武蔵台	新町	住吉	是政	紅葉丘	押立	四谷	片町	宮町	生涯学習センター	合計
貸出登録者数	88,221	8,344	3,917	5,383	3,958	6,467	4,615	4,815	1,914	3,738	4,729	5,462	12,325	153,888

③ 来館者数

- 中央図書館の来館者数は103万4,099人です。このうち貸出者数は54.4万人（後述）と、来館者数全体の約60%で、貸出以外の来館者も約40%います。

④ 貸出点数、貸出者数

- 全体の貸出点数は、269万7,230点であり、その60%を中央図書館が占めます。
- 全体の貸出者数は89万9,161人であり、61%を中央図書館が占めます。1人あたり約3冊借りていることになります。
- 中央図書館、武蔵台図書館、新町図書館、西府図書館は他市民の利用の割合が高くなっています（中央図書館（12%）、武蔵台図書館（9%）、新町図書館（8%）、西府図書館（6%））。
- 中央図書館の他市市民の利用の割合が高いのは、アクセスの良さや豊富な蔵書のためと考えられます。
- 武蔵台図書館、新町図書館、西府図書館の他市市民の利用の割合が高い要因は、他市に近い（武蔵台図書館は国分寺市、新町図書館は小金井市、西府図書館は国立市）、大きな事業所や大学が近いなどが考えられます。

貸出点数及び貸出者数

(点)

年間貸出点数	中央	白糸台	西府	武蔵台	新町	住吉	是政	紅葉丘	押立	四谷	片町	宮町	生涯学習センター	合計
府中市民	1,454,875	143,521	67,888	93,686	61,496	129,346	94,075	93,892	41,454	50,426	83,431	–	113,144	
(割合)	90%	99%	95%	91%	92%	98%	99%	99%	99%	98%	97%	–	97%	
他市民	170,221	955	3,526	8,898	5,502	2,560	509	865	469	945	2,382	–	3,843	
(割合)	10%	1%	5%	9%	8%	2%	1%	1%	1%	2%	3%	–	3%	
合計	1,625,096	144,476	71,414	102,584	66,998	131,906	94,584	94,757	41,923	51,371	85,813	69,321	116,987	2,697,230

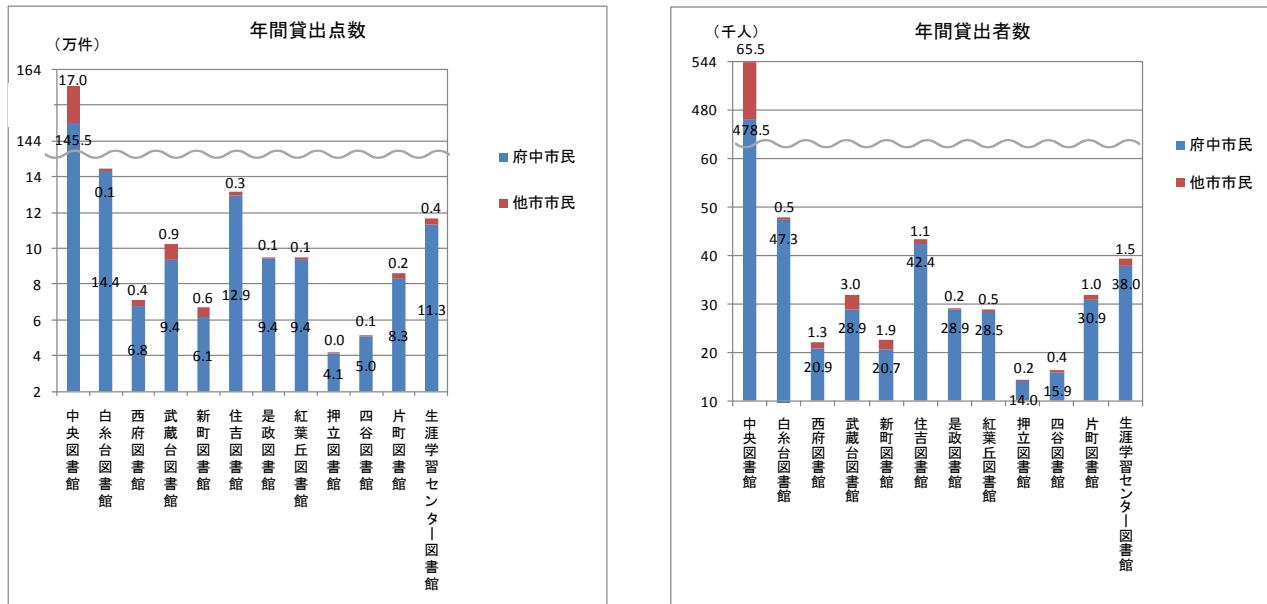
(人)

年間貸出者数	中央	白糸台	西府	武蔵台	新町	住吉	是政	紅葉丘	押立	四谷	片町	宮町	生涯学習センター	合計
府中市民	478,538	47,327	20,869	28,909	20,671	42,446	28,905	28,468	13,976	15,876	30,875	–	37,991	
(割合)	88%	99%	94%	91%	92%	98%	99%	98%	99%	97%	97%	–	96%	
他市民	65,477	473	1,325	2,968	1,879	1,058	244	463	187	428	1,003	–	1,460	
(割合)	12%	1%	6%	9%	8%	2%	1%	2%	1%	3%	3%	–	4%	
合計	544,015	47,800	22,194	31,877	22,550	43,504	29,149	28,931	14,163	16,304	31,878	27,345	39,451	899,161

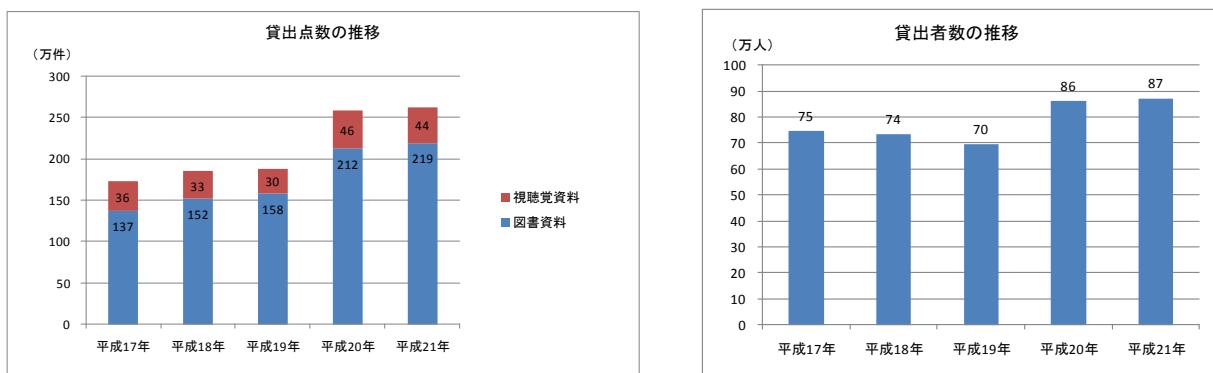
※他市市民には、7市相互（八王子市、府中市、調布市、町田市、日野市、多摩市、稲城市）、国分寺市、国立市、小金井市、及び府中市内に在勤・在学する他市の者が含まれる。

※平成21年度については、四谷図書館が4月1日～6月14日、宮町図書館が12月1日から22年3月31日まで耐震補強工事のため休館。
もっとも、平日午後はリクエスト資料の貸し出しをしている。

- 地区図書館では、貸出点数、貸出者数とともに、白糸台図書館が最も多く、住吉図書館、生涯学習センター図書館が続きます。



- 平成 20 年度から貸出点数・貸出者数ともに急増しています。平成 19 年 12 月に開館した新中央図書館の影響があると考えられます。



※平成 17 年 9 月 1 日～平成 18 年 2 月 28 日

平成 18 年 9 月 1 日～平成 19 年 2 月 28 日

平成 19 年 9 月 1 日～平成 19 年 11 月 30 日

平成 19 年 9 月 1 日～平成 20 年 2 月 29 日

平成 20 年 11 月 1 日～平成 21 年 6 月 14 日

平成 21 年 12 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日

住吉図書館休館

是政図書館休館（平日午後リクエスト資料の貸出は実施）

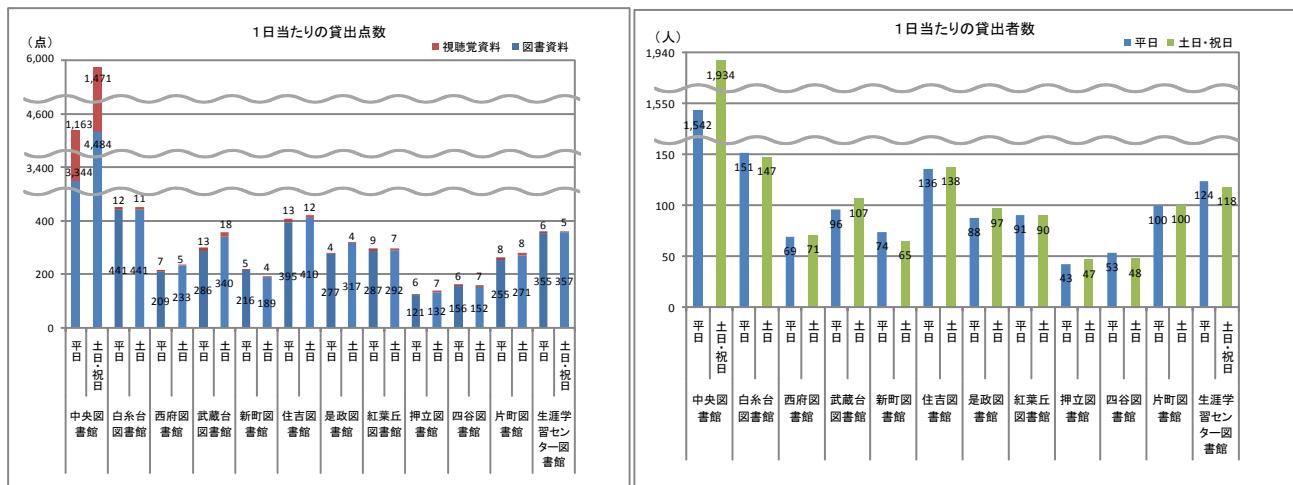
中央図書館休館

紅葉丘図書館休館（平日午後リクエスト資料の貸出は実施）

四谷図書館休館（平日午後リクエスト資料の貸出は実施）

宮町図書館休館（平日午後リクエスト資料の貸出は実施）

- 中央図書館は平日より土日・祝日の方が多く利用されており、貸出点数は 1.32 倍、貸出者数は 1.25 倍です。
- 地区図書館では、平日と土日・祝日であまり差がありません。



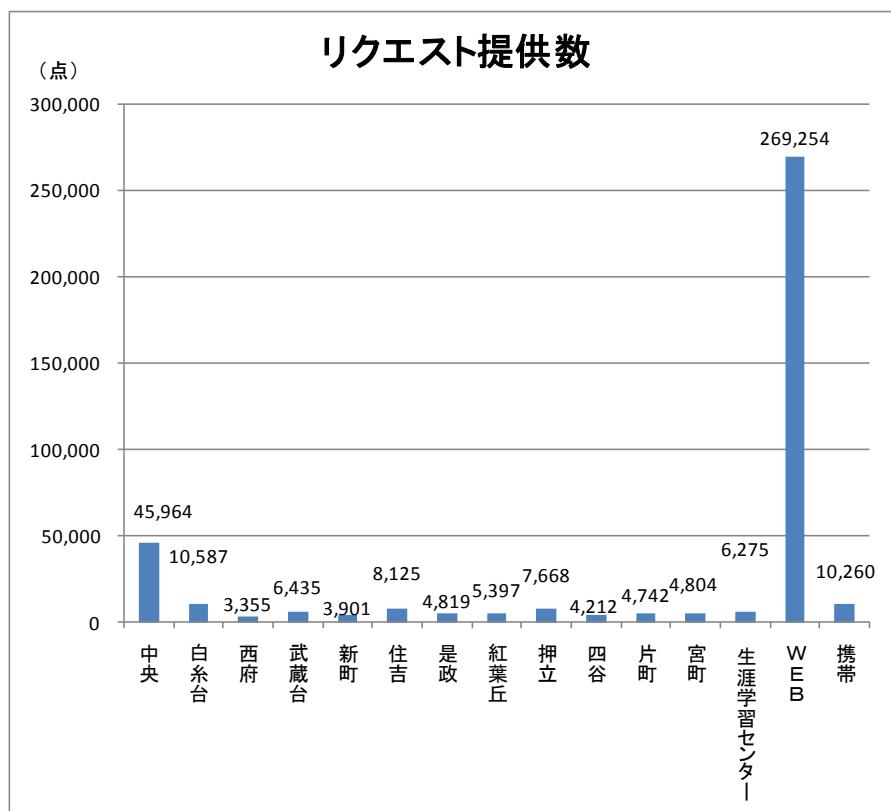
- 中央図書館は大人の利用者が多くなっています（16 歳～59 歳で 65%。）。
- 高齢化の進行した第 3 地域、第 5 地域にある新町図書館、生涯学習センター図書館、武蔵台図書館は 60 歳以上の利用が多くなっています。
- 子供の数が増加している第 8 地域にある四谷図書館では 15 歳以下の子どもの利用が多くなっています。
- これらのことから、地区図書館が地域に密着した図書館であることが分かります。

貸出者数の年齢構成と割合

		中央	白糸台	西府	武蔵台	新町	住吉	是政	紅葉丘	押立	四谷	片町	生涯学習センター
貸出者数 (人)	0～15歳	76,499	9,002	4,788	5,356	4,807	7,820	6,000	5,719	3,034	3,904	5,335	6,971
	16歳～59歳	353,539	26,107	12,102	16,374	10,814	23,402	14,823	16,159	7,316	8,790	19,198	20,666
	60歳以上	113,977	12,691	5,304	10,147	6,929	12,282	8,326	6,963	3,813	3,610	7,345	11,814
割合	0～15歳	14%	19%	22%	17%	21%	18%	21%	20%	21%	24%	17%	18%
	16歳～59歳	65%	55%	55%	51%	48%	54%	51%	56%	52%	54%	60%	52%
	60歳以上	21%	27%	24%	32%	31%	28%	29%	24%	27%	22%	23%	30%

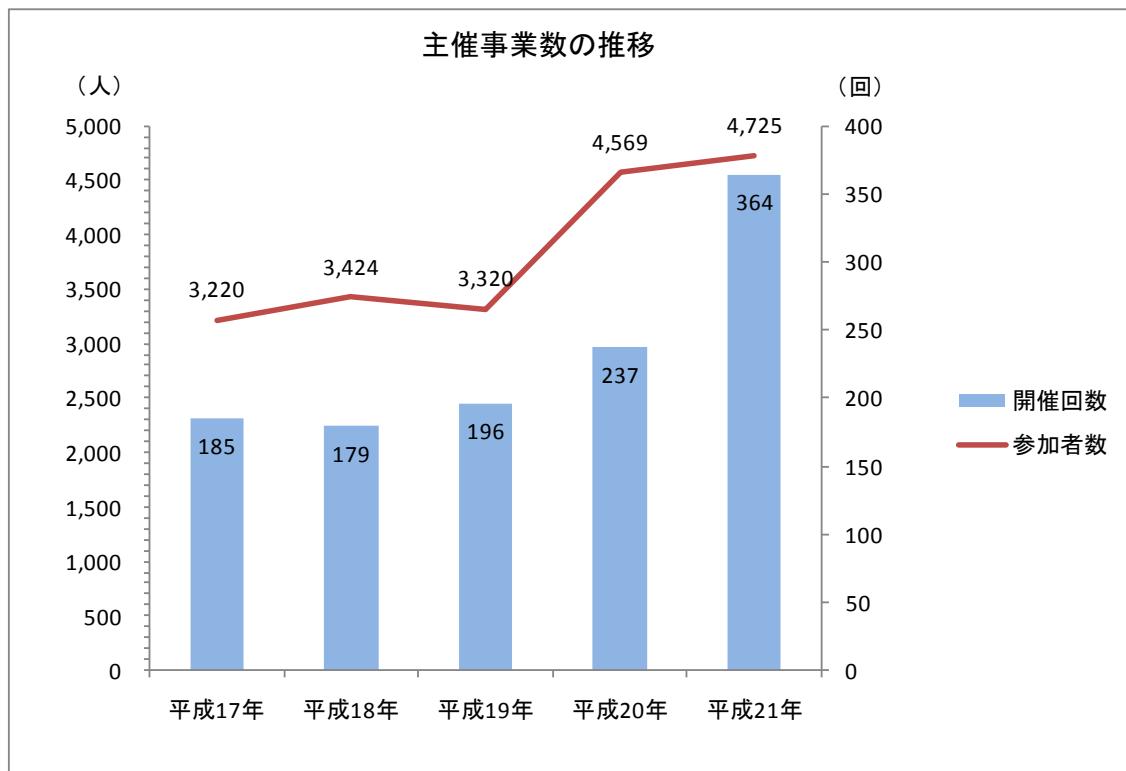
⑤ リクエスト数

- リクエスト提供数は窓口、WEB を含めて 39 万 5,898 件であり、その 68%が WEB によるものとなっています。
- 押立図書館のリクエスト提供数（7,668 件）は、生涯学習センター（6,275 件）を上回ります。リクエスト制度は地区図書館の蔵書数を補完する役割を果たしているといえます。



⑥ 主催事業数

- 中央図書館ではおはなし会、講座、講演会、講習会が開かれ、地区図書館ではおはなし会が開催されています。参加者数は平成 20 年度から急増し、平成 21 年度は主催事業数が大幅に増加しています。



- 主催事業のうちおはなし会に着目すると、中央図書館は平成 21 年度に開催数、参加人数ともに減少しているのに対し、地区図書館では開催数、参加人数ともに急増しています。

	おはなし会開催数 (回)											
	中央	白糸台	西府	武蔵台	新町	住吉	是政	紅葉丘	押立	四谷	片町	生涯学習センター
平成17年	113	6	6	6	6	4	6	6	6	6	6	6
平成18年	107	6	6	6	6	6	4	6	6	6	6	6
平成19年	104	7	7	7	7	7	5	6	7	7	7	7
平成20年	144	7	7	7	7	7	7	7	7	4	7	7
平成21年	89	24	24	24	24	20	24	20	22	18	24	21

	おはなし会参加人数 (人)											
	中央	白糸台	西府	武蔵台	新町	住吉	是政	紅葉丘	押立	四谷	片町	生涯学習センター
平成17年	2,050	97	108	91	68	62	86	88	97	72	73	137
平成18年	2,112	117	105	72	87	153	46	143	84	72	64	193
平成19年	1,596	117	144	65	80	95	53	47	83	85	60	126
平成20年	2,868	140	117	99	164	137	138	98	113	34	78	110
平成21年	1,326	311	223	177	257	266	300	205	340	215	220	221

(5) 運営状況

① 運営形態

- ・ 中央図書館は市が直接運営し、PFI 事業者が図書館の運営の一部及びルミエール府中全体の施設管理を一括して行っています。具体的には、市は、利用者登録、レファレンス事業、児童サービス、ハンディキャップサービス、購入資料の選定などを担当し、PFI 事業者は図書の貸出、返却、書架整理、146 席ある学習室の管理、地区図書館との連絡便の管理、施設管理、空調管理などを担当しています。なお、ルミエール府中内の市民会館は指定管理者制度が導入されており、別の事業者が運営しています。
- ・ 地区図書館は市が直接運営しています。

② サービス内容

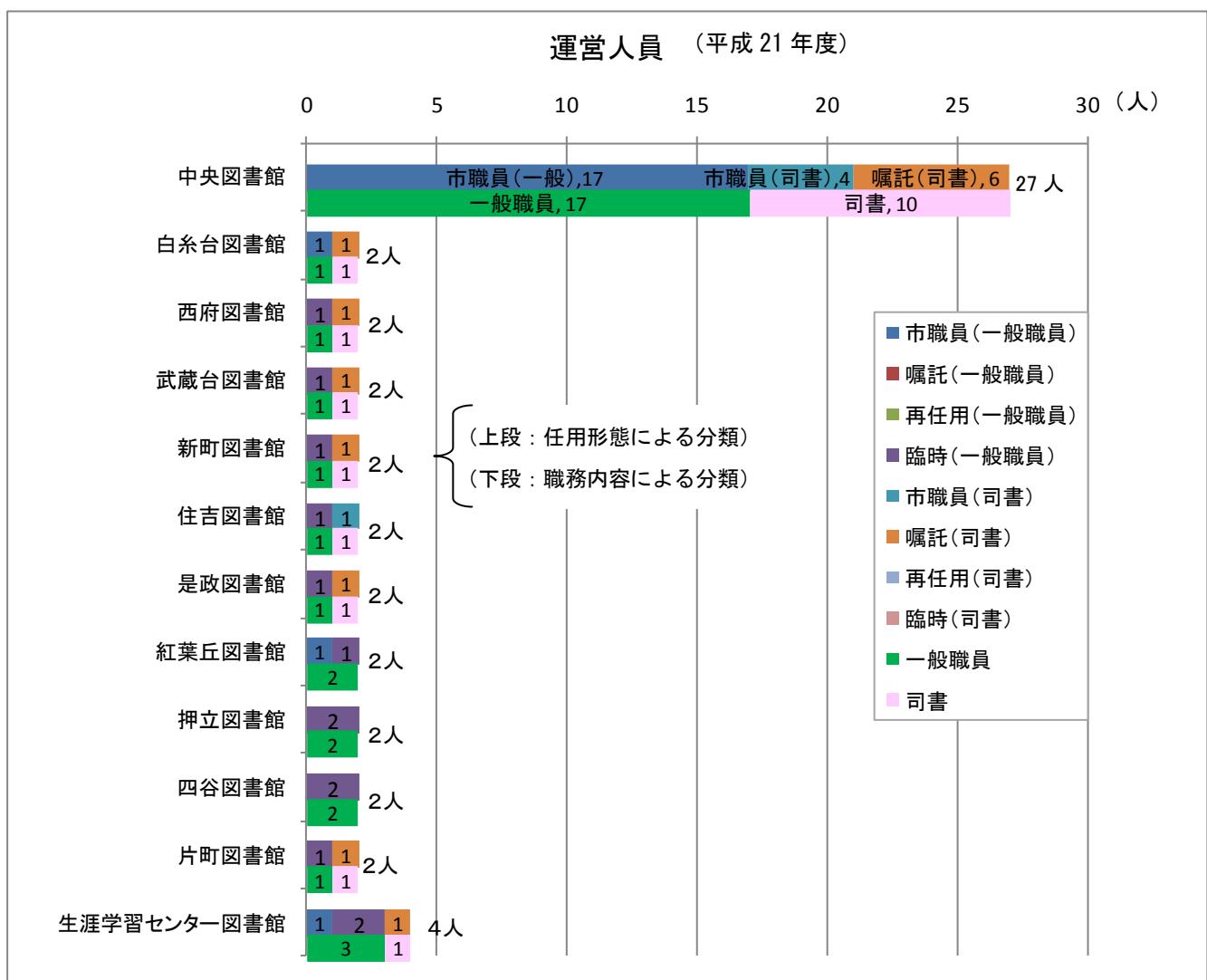
- ・ 中央図書館では以下の 14 のサービスが提供されています。

提供する サービス	①貸出・閲覧サービス
	②予約・リクエストサービス
	③レファレンスサービス（調査・相談業務）
	④地域情報の提供サービス
	⑤視聴覚サービス
	⑥情報発信サービス
	⑦児童サービス
	⑧青少年（ヤングアダルト）サービス
	⑨ビジネス支援サービス
	⑩ハンディキャップサービス
	⑪国際化社会に対応するサービス
	⑫学校支援サービス
	⑬ボランティア活動の推進
	⑭学習・文化活動の支援

- ・ ハンディキャップサービスには多くのボランティアが参加しており、視覚障害者への対面朗読、デイジー図書の作成などがなされています。宅配貸出、郵送貸出なども実施しています。

③ 運営人員

- 中央図書館には21人の正規職員と6人の嘱託職員の他、PFI関連会社の登録人員60名のうち35～40人が3交代制で勤務しています。
- 地区図書館の人員は平均2人です。原則として正規職員と嘱託職員のいずれか1名を配置しています。
- 正規職員と嘱託職員は、勤務時間は異なりますが、業務の内容は同じです。
- 利用者が多い白糸台と生涯学習センターには正規職員と嘱託職員の双方を配置し、規模の小さい押立と四谷には正規職員も嘱託職員のいずれも配置していません。

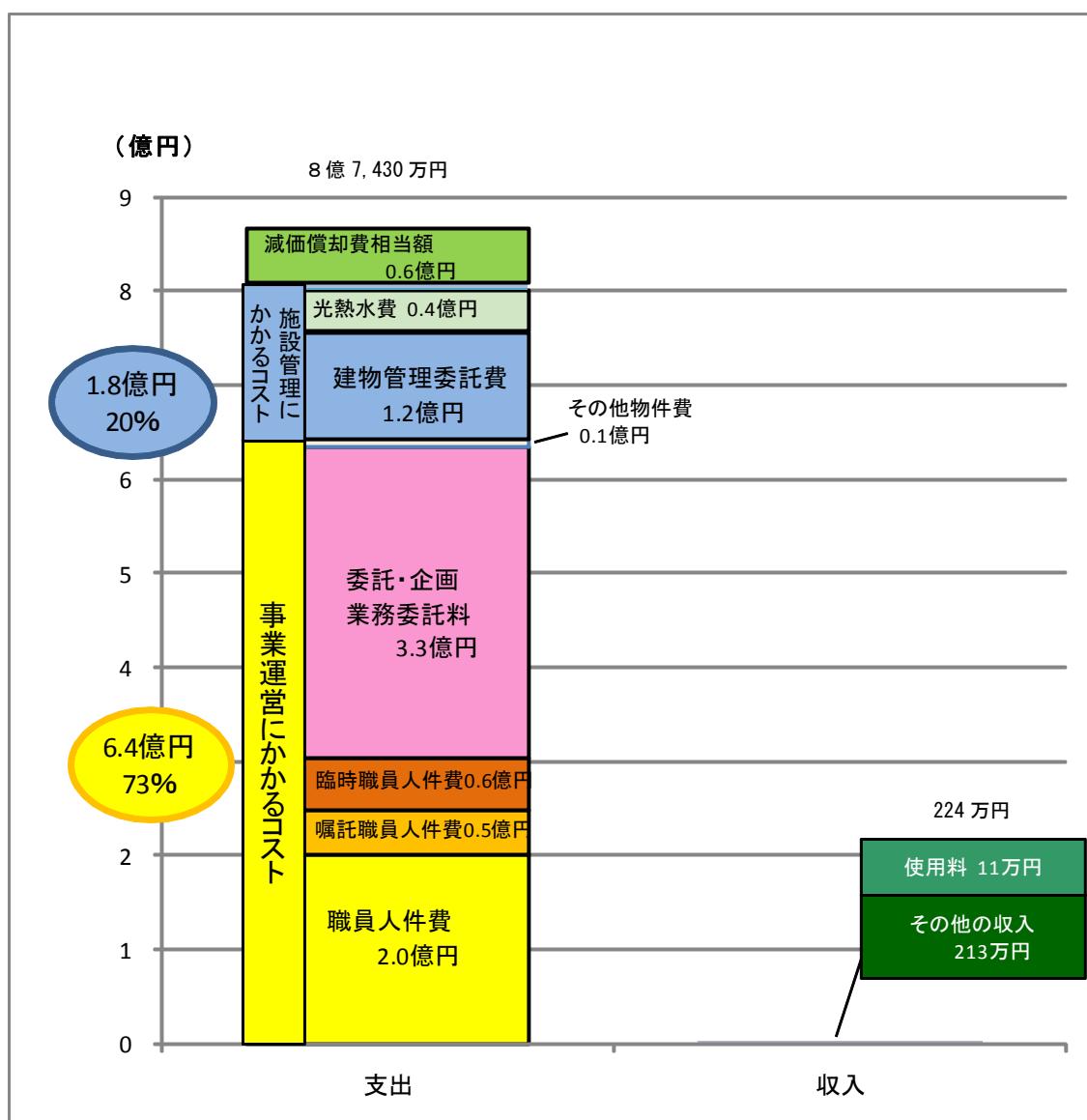


(6) コスト状況

① コスト及び収支状況

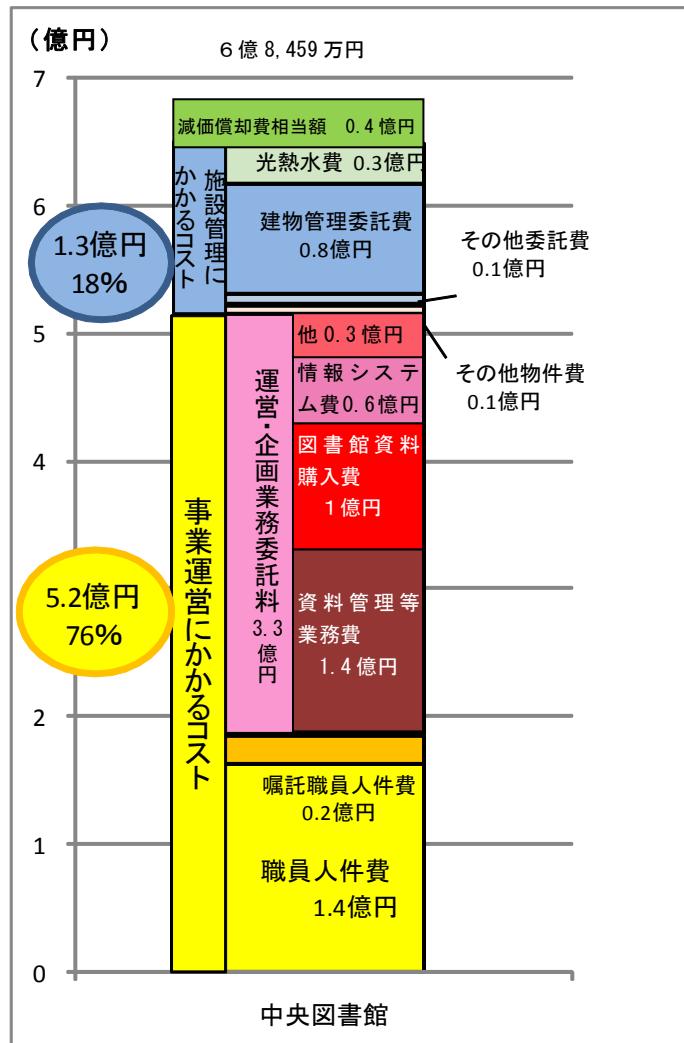
- 図書館にかかるコストの総額は、8億7,430万円です。
- 事業運営にかかるコストが6.4億円（73%）、施設管理にかかるコストが1.8億円（20%）です。
- 使用料及びその他の収入は224万円です。

トータルコスト（図書館、平成21年度）



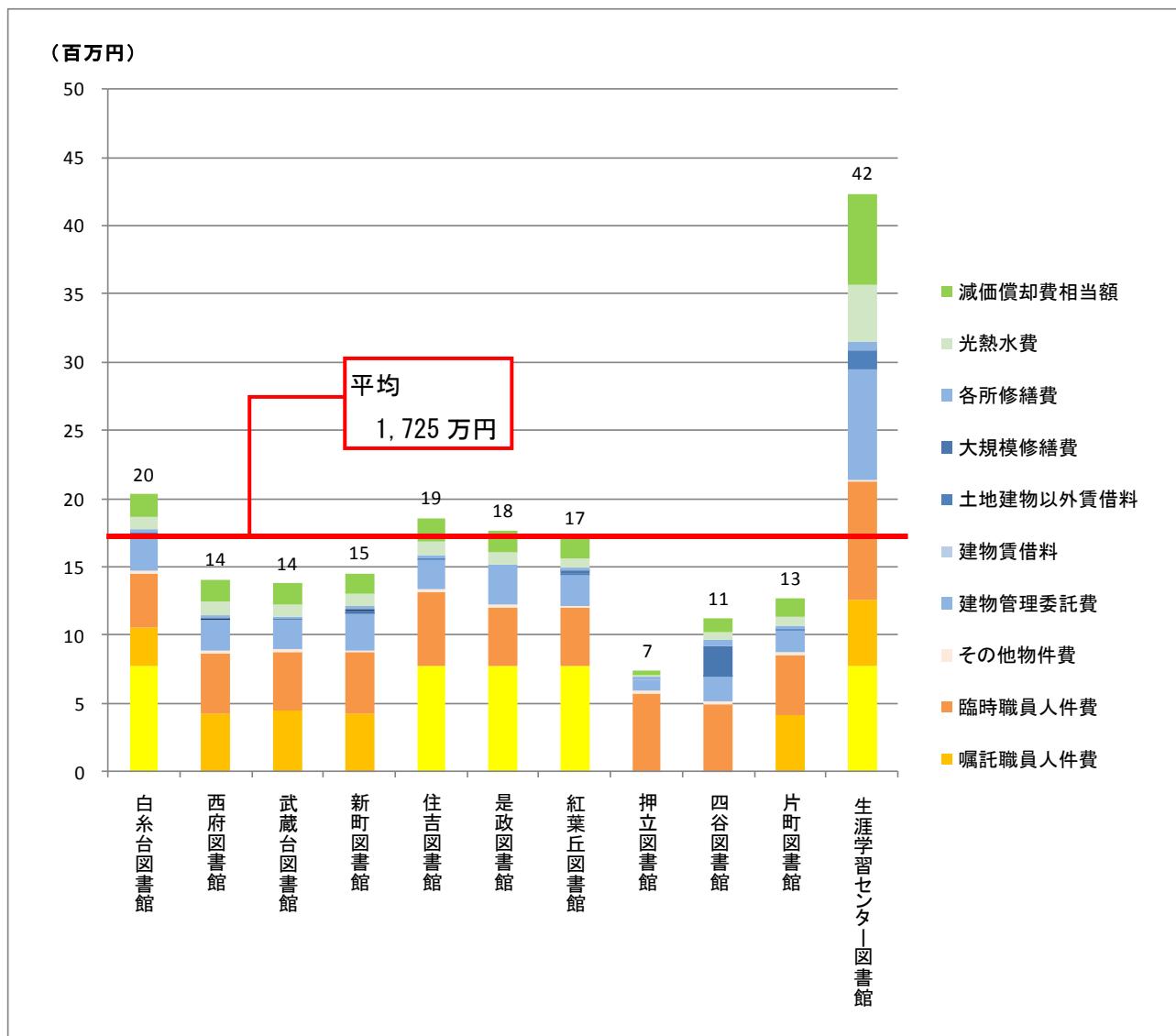
- ・ 中央図書館のコストは6億8,459万円であり、市全体の78%を占めます。
- ・ 図書購入費1億円は、全図書館の図書資料費として、地区図書館にも配分されています。
- ・ 録音図書はレファレンスサービス事業の中（その他物件費）で購入しています。
- ・ 中央図書館の支出の50%、3.3億円を占めるのは、PFI事業者への運営・業務企画委託料です。

施設別支出合計（中央図書館、平成21年度）



- ・ 地区図書館の総コストは1億8,972万円です。
- ・ 地区図書館の平均コストは1,725万円です。

施設別支出手合計（地区図書館、平成21年度）

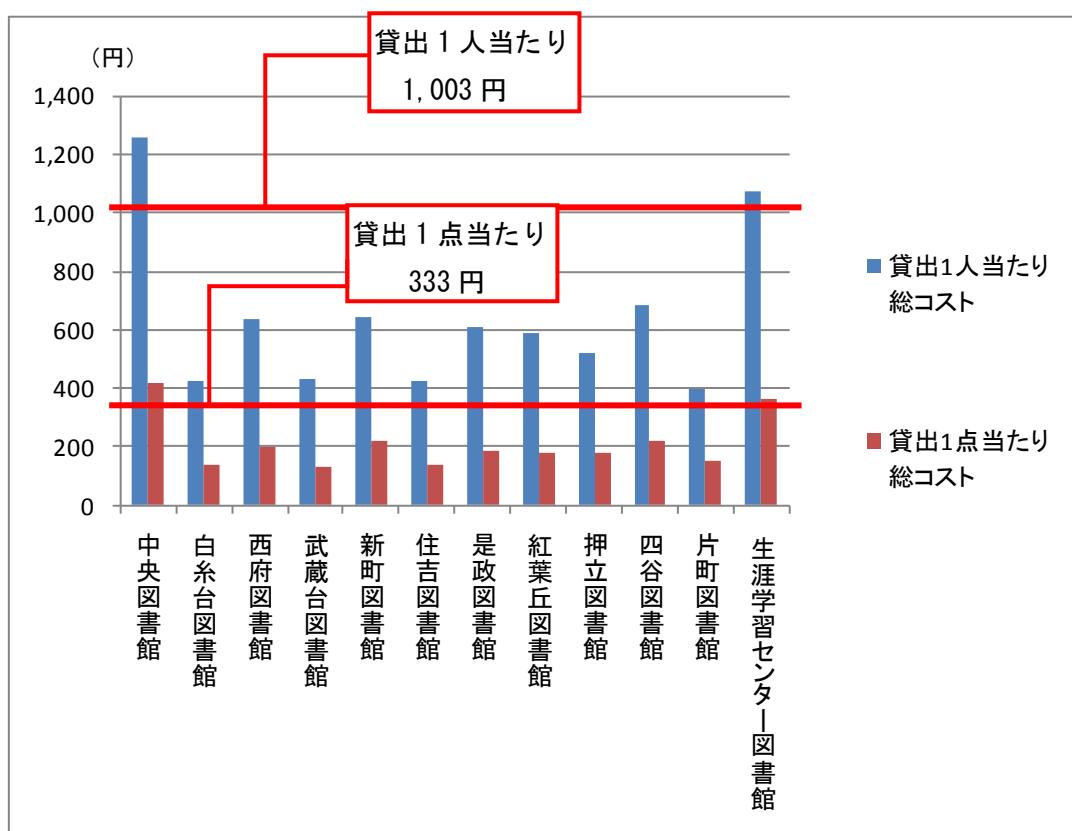


※ 文化センター、生涯学習センターに設置された図書館の施設管理費は、面積で按分しています。

② 利用当たり総コスト／床面積当たり総コスト

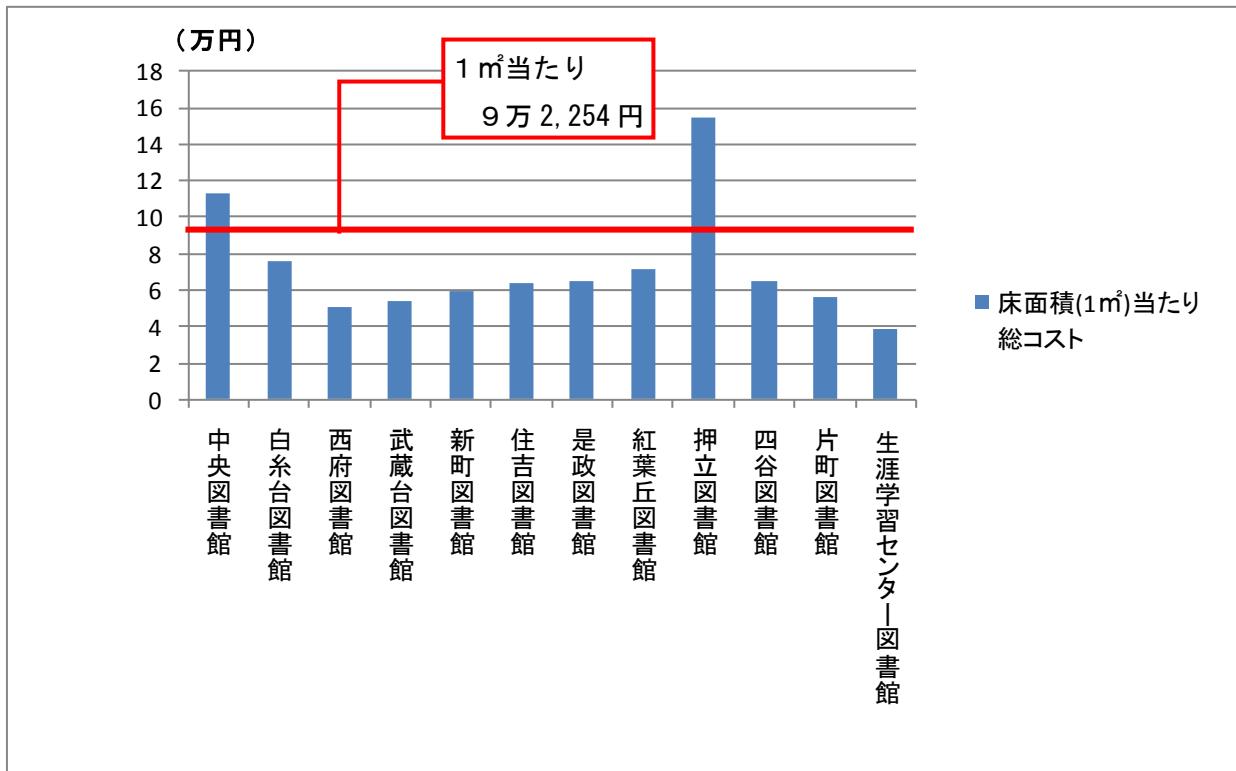
- ・ 中央図書館の貸出1人あたり総コストは1,258円、貸出1点当たりの総コストは421円です。
- ・ 地区図書館の貸出1人あたり総コストは平均586円、貸出1点当たり総コストは平均191円です。
- ・ 全館の貸出1人あたり総コストは1,003円、貸出1点当たり総コストは333円です。
- ・ 中央図書館は地区図書館の書庫としての役割を果たしていることから、単位当たりのコストが高くなっていると想定されます。

利用当たり総コスト（図書館、平成21年度）



- 中央図書館の床面積1m²当たり総コストは11万2,670円です。
- 地区図書館の床面積1m²当たり総コストは平均6万8,598円です。
- 全館の床面積1m²当たり総コストは平均9万2,254円です。

床面積当たり総コスト（図書館、平成21年度）



行政コスト計算書（図書館、平成21年度）

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】

コストの部	中央図書館	白糸台図書館	西府図書館	武蔵台図書館	新町図書館	住吉図書館	是政図書館	紅葉丘図書館	押立図書館	四谷図書館	片町図書館	生涯学習センター図書館	合計		
施設管理にかかるコスト	各所修繕費	785	258	245	170	246	262	130	146	159	487	182	606	3,676	
	大規模修繕費	0	0	0	0	232	0	0	225	0	2,192	0	0	2,649	
	光熱水賃	30,808	950	976	858	939	955	909	752	208	507	733	4,206	42,799	
	建物管理委託費	84,899	2,742	2,229	2,208	2,629	2,224	2,710	2,263	836	1,818	1,641	8,076	114,276	
	建物賃借料	128	3	3	0	3	2	2	2	2	2	2	8	154	
	土地建物以外賃借料	91	54	36	48	46	61	62	62	0	26	52	1,344	1,881	
事業運営にかかるコスト	公有財産購入費	667	0	92	0	57	0	0	56	0	0	0	54	926	
	その他委託費	8,890	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,890	
	管理にかかるコスト計	126,267	4,006	3,579	3,284	4,152	3,504	3,813	3,506	1,205	5,032	2,609	14,294	175,250	
	職員人件費	162,913	7,758	0	0	0	7,758	7,758	7,758	0	0	0	7,758	201,702	
	嘱託職員人件費	22,177	2,804	4,234	4,424	4,262	0	0	0	0	0	0	4,174	4,794	46,869
	臨時職員人件費	897	3,961	4,447	4,373	4,486	5,405	4,301	4,227	5,749	4,974	4,406	8,643	55,867	
コストにかかる運営にかかるコスト	運営・企画業務委託料	329,616	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	329,616	
	負担金補助及び交付金	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	32	
	その他の物件費	5,984	158	158	158	158	158	158	158	158	158	158	158	7,725	
	運営にかかるコスト計	521,619	14,681	8,839	8,955	8,906	13,321	12,217	12,143	5,907	5,132	8,738	21,353	641,811	
	現金収支を伴うコスト計	647,887	18,687	12,418	12,239	13,058	16,824	16,030	15,649	7,112	10,164	11,347	35,647	817,062	

【収益の部】

使用料	110	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	110
その他の収入	1,890	22	8	17	21	23	27	29	0	16	19	56	2,126
収益計	2,000	22	8	17	21	23	27	29	0	16	19	56	2,236

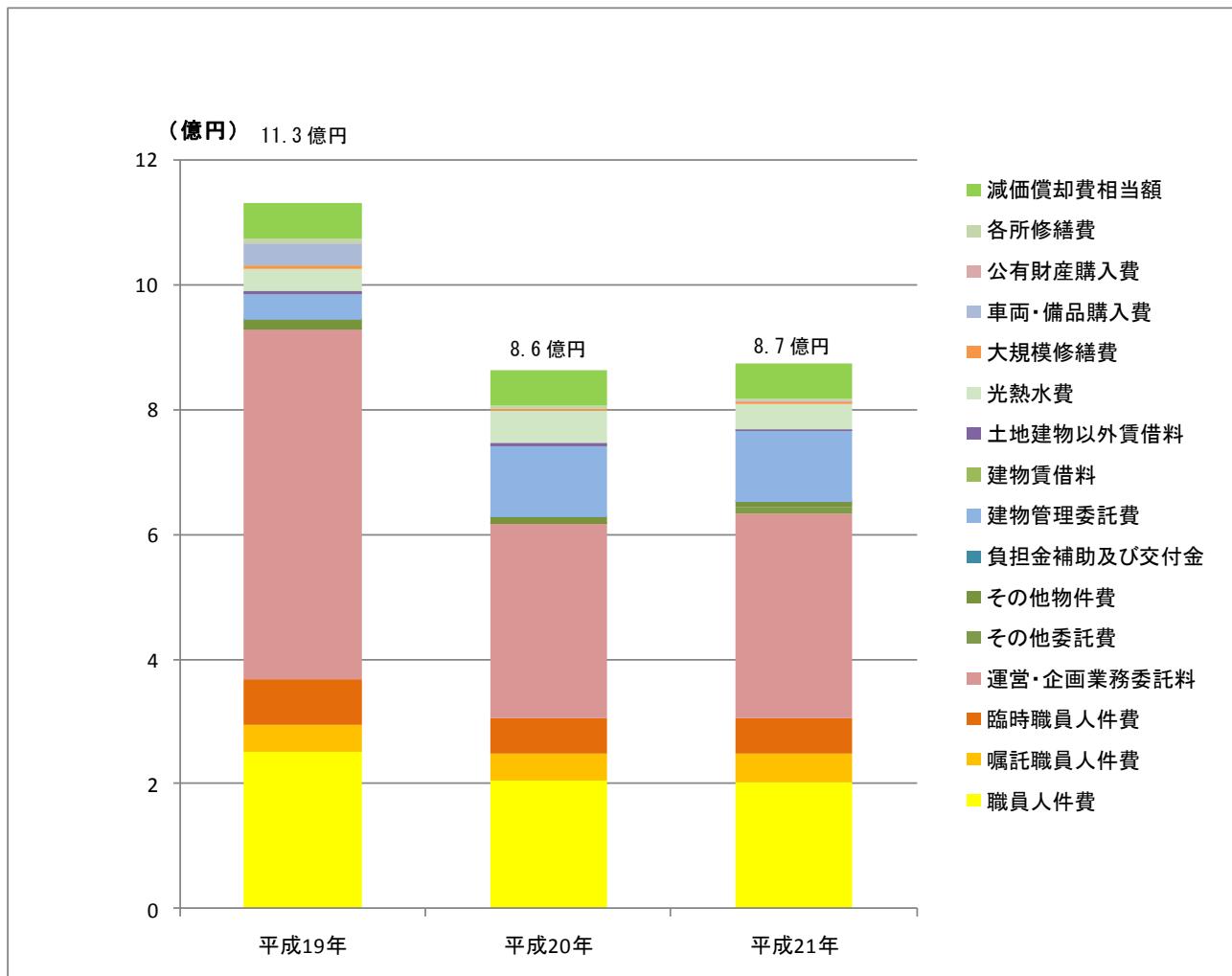
II. 現金収支を伴わないもの 【コストの部】

減価償却費相当額	36,699	1,608	1,663	1,546	1,488	1,747	1,649	1,453	288	1,038	1,377	6,686	57,242
III. 総括													
コストの部合計(トータルコスト)	684,586	20,294	14,081	13,785	14,545	18,571	17,679	17,102	7,401	11,202	12,724	42,334	874,303
収支差額	682,586	20,272	14,073	13,769	14,524	18,548	17,652	17,073	7,401	11,186	12,706	42,278	872,067

	中央図書館	白糸台図書館	西府図書館	武蔵台図書館	新町図書館	住吉図書館	是政図書館	紅葉丘図書館	押立図書館	四谷図書館	片町図書館	生涯学習センター図書館	合計
貸出1人当たり総コスト	1,258	425	634	432	645	427	606	591	523	687	399	1,073	1,003
貸出1点当たり総コスト	421	140	197	134	217	141	187	180	177	218	148	362	333
床面積(1m ²)当たり総コスト	112,670	76,251	51,151	53,853	59,059	64,216	64,767	71,094	154,986	65,158	55,806	38,242	92,254

- ・近時3年間のコストでは、平成19年度が多くなっています。中央図書館の開業準備業務費の支払いが含まれているためです。

平成19年度から平成21年度までのコストの推移



(7) 参考：他市との相互利用

- 府中市は八王子市、調布市、町田市、日野市、多摩市、稲城市の京王線沿線の市と相互に図書館の連携を行い、また、国分寺市、国立市、小金井市とも個別に提携して相互利用を実施しています。

相互利用図書館の概要

	府中市	八王子市	調布市	町田市	日野市	多摩市	稲城市	国分寺市	国立市	小金井市
所蔵図書冊数(万冊)	131.0	148.4	120.9	100.4	74.9	71.9	46.6	57.8	41.4	42.8
貸出点数(万点)	269.7	300.6	263.3	421.8	161.9	166.8	115.8	109.1	62.1	71.6
人口(万人)	24.5	55.2	21.7	41.7	17.4	14.6	8.2	11.6	7.3	11.1
1人あたり蔵書数(冊)	5.4	2.7	5.6	2.4	4.3	4.9	5.7	5.0	5.7	3.8
1人あたり貸出点数(点)	11.0	5.4	12.1	10.1	9.3	11.4	14.1	9.4	8.5	6.4

※人口は平成22年1月1日現在。府中市の図書館情報は平成21年度、他市ものは平成20年度を基準とする。

出所：府中市立図書館「平成21年度 府中市立図書館事業概要」

- 府中市立図書館を使う他市民の数は、他市の図書館を利用する府中市民より多くなっています（稲城市を除く。）。
- 府中市立図書館で他市民が借りる本の数は、他市の図書館で府中市民が借りる本の数より多くなっています（調布市、稲城市を除く。）。
- 人口の差を考慮しても、府中市の図書館は、府中市民のみならず他市民にも広く図書サービスを提供していると言えます。

相互利用図書館の登録者数及び貸出冊数（平成21年度）

登録者数(人)	府中市立	八王子市民	調布市民	町田市民	日野市民	多摩市民	稲城市民	国分寺市民	国立市民	小金井市民
	図書館	203	320	29	220	230	114	646	565	1,167
府中市民	八王子市	調布市	町田市	日野市	多摩市	稲城市	国分寺市	国立市	小金井市	
	34	249	7	36	146	393	81	133	44	

貸出冊数(冊)	府中市立	八王子市民	調布市民	町田市民	日野市民	多摩市民	稲城市民	国分寺市民	国立市民	小金井市民
	図書館	7,072	8,802	1,087	10,484	7,184	6,621	39,304	6,850	17,025
府中市民	八王子市	調布市	町田市	日野市	多摩市	稲城市	国分寺市	国立市	小金井市	
	1,942	11,630	156	671	6,504	53,449	14,354	1,697	3,110	

※上下を比較して、多い方を とした。

※相互利用を開始したのは、稲城市が平成14年6月、国分寺市が平成15年2月、

八王子市・調布市・町田市・日野市・多摩市が平成20年4月、国立市・小金井市が平成21年10月。

- 平成20年4月30日からは、府中市内にある東京外国語大学図書館との相互貸借サービスも開始しています。また、府中市在住、通勤・通学の利用登録者は、リクエストサービスを通じて、国会図書館、都立図書館、他自治体の図書館の資料を借りることができます。

(8) 現状と課題

① 概要

- ・府中市には、1つの中央図書館と12の地区図書館があります。
- ・中央図書館の延べ床面積及び蔵書数は、13館全体の6割を占めます。専門書も多く、開館時間も長くなっています。
- ・地区図書館は、文化センター及び生涯学習センターに配置されています。地域に密着した小規模図書館ですが、図書館相互の取り寄せサービス（リクエストサービス）を通じ、利用者は地区図書館においても中央図書館所蔵の蔵書を借りることができます。
- ・生涯学習センターは、多種多様な学習機会の提供と、「いつでも、誰もが学習できる環境づくり」を目指す、総合学習施設です。
- ・中央図書館は地区図書館の書庫としての役割を果たしており、中央図書館を中心とした有機的ネットワークを構成しています。

② 施設状況

- ・築30年以上の施設が多く、今後施設の改修等が必要となります。

③ 建物状況

- ・耐震安全性が確保されていない施設が1つあります。
- ・老朽化が進行している施設が8つあります。

④ 利用状況

- ・府中市立図書館は約131万冊の図書資料を持ち、そのうち中央図書館が62%にあたる約81万冊を持っています。
- ・中央図書館は自動書庫を備えているため、多数の蔵書の保管が可能です。
- ・地区図書館の所蔵図書資料は平均約4.2万冊で、半数近くは児童図書です。
- ・中央図書館の来館者数は103万4,099人であり、このうち貸出者数は65.5万人であり、貸出以外の来館者も4割弱います。
- ・全体の貸出点数は、269万7,230点であり、その60%を中央図書館が占めます。
- ・全体の貸出者数は89万9,161人であり、61%を中央図書館が占めます。1人あたり約3冊借りていることになります。
- ・中央図書館は大人の利用者が多くなっています（16歳～59歳で65%）。
- ・高齢化の進行した第3地域、第5地域にある新町図書館、生涯学習センター図書館、武藏台図書館は60歳以上の利用が多くなっています。
- ・子供の数が増加している第8地域にある四谷図書館では、15歳以下の子どもの利用が多くなっています。
- ・リクエスト提供数は窓口、WEBを含めて39万5,898件であり、その68%がWEBによるものとなっています。
- ・押立図書館のリクエスト提供数（7,668件）は、生涯学習センター（6,275件）を上回ります。リクエスト制度が蔵書数を補完する役割を果たしていると言えます。

⑤ 運営状況

- ・ 中央図書館は市が直接運営し、PFI 事業者が図書館の運営の一部及びルミエール府中全体の施設管理を一括して行っています。具体的には、市は、利用者登録、レファレンス事業、児童サービス、ハンディキャップサービス、購入資料の選定などを担当し、PFI 事業者は図書の貸出、返却、書架整理、146席ある学習室の管理、地区図書館との連絡便の管理、施設管理、空調管理などを担当しています。なお、ルミエール府中内の市民会館には別の事業者が指定管理者に指定されています。
- ・ 地区図書館は市が直接運営しています。

⑥ コスト状況

- ・ 図書館にかかるコストの合計は8億5,103万円です。
- ・ 中央図書館がその78%を占め、6億6,131万円です。このうち図書購入費1億円は、全図書館の図書資料費として、地区図書館にも配分されています。
- ・ 地区図書館の平均コストは1,725万円です。地区図書館のコストの差は人件費によるところが大きくなっています。

⑦ 今後の方向性

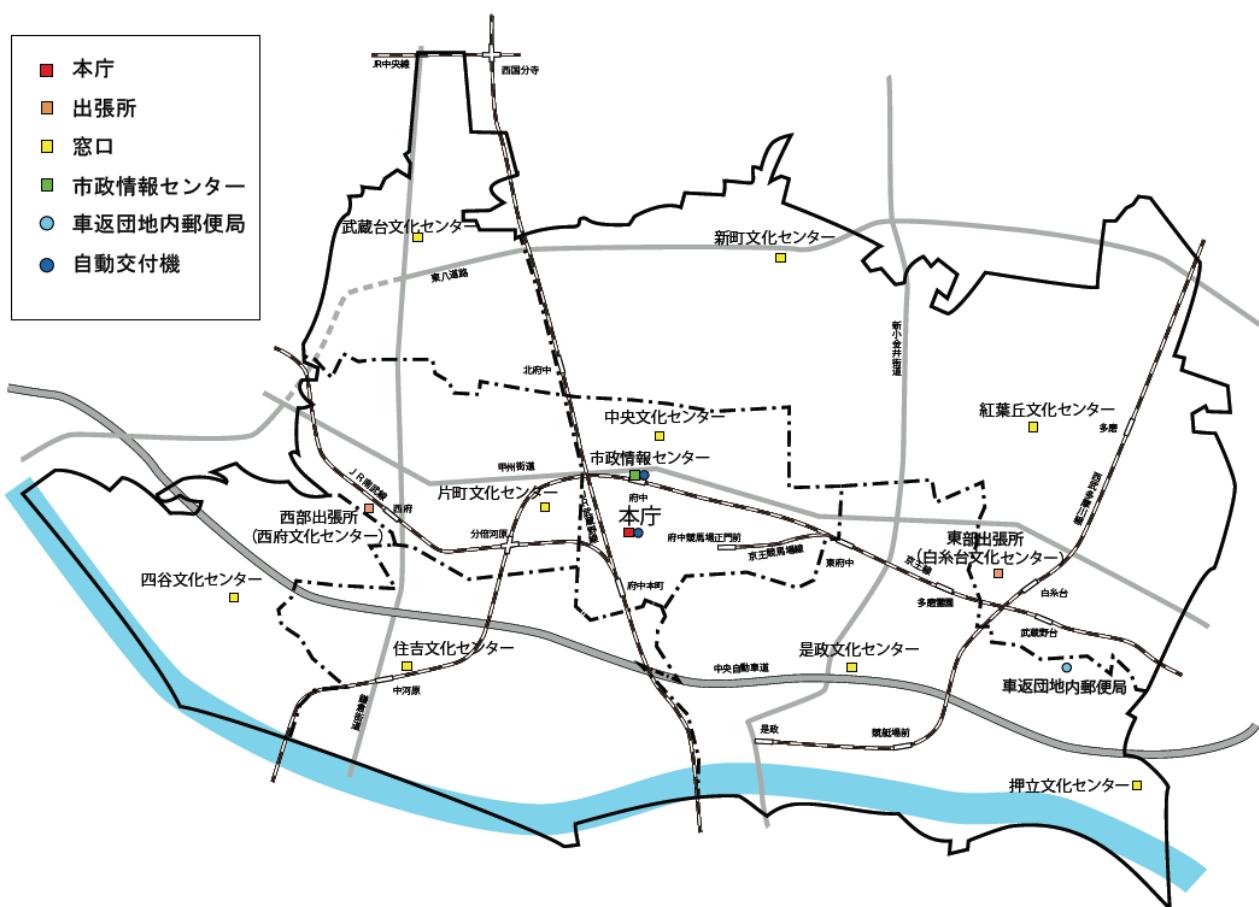
- ・ 中央図書館は開館後間もないため、今後の図書館のあり方を検討する際には、中央図書館を核としたサービスの提供体制を踏まえて進める必要があります。
- ・ リクエストサービスが地区図書館の所蔵資料の少なさを補完する役割を本当に果たしているかは、今回の調査では明らかになっていません。利用者の現実のニーズを把握するには、現在の地区図書館のあり方はどうか、リクエストサービスの有用性について、地区図書館利用者の意見を聞く必要があります。
- ・ 文化センターの老朽化に伴う改修工事の際には、現在の地区図書館におけるサービスにかかるコストも踏まえて、現状の規模を維持するかどうかといったことを検討するとともに、文化センターという複合施設における各施設のあり方という観点からも調整を行う必要があります。
- ・ 第5次府中市総合計画後期基本計画の目標達成のため、利用者数及び貸出数増加のための施策も考えていく必要があります。

2-3 出張所・窓口

(1) 概要

- 各種届出、証明書の発行等の手続きを行う施設は、本庁舎総合窓口課、文化センターに設置されている東部出張所、西部出張所、窓口9箇所に加え、府中駅にある市政情報センター、府中車返団地内郵便局があります。
- また、自動交付機は、本庁舎及び市政情報センターに設置されています。
- 本庁舎でなければできない手続きは、住民基本台帳カードの請求・交付などごく一部に限られており、届出は出張所、各種証明書の発行は文化センターに設置された窓口等で対応することができます。

出張所・窓口位置図



施設一覧

施設名	建築年度	延床面積 (m ²)	併設施設							
			出張所	窓口	公民館	高齢者福祉館	児童館	図書館	その他	具体的内容
本庁(総合窓口課)	S34	1959	—							
出張所	S45	1970	63	●		●	●	●	●	
西部出張所	S46	1971	69	●	●	●	●	●	●	
窓口	中央文化センター	S43	1968	46	●	●	●	●	●	● 振興会館
	武藏台文化センター	S47	1972	73	●	●	●	●	●	
	新町文化センター	S48	1973	46	●	●	●	●	●	
	住吉文化センター	S48	1973	72	●	●	●	●	●	
	是政文化センター	S49	1974	70	●	●	●	●	●	
	紅葉丘文化センター	S50	1975	58	●	●	●	●	●	
	押立文化センター	S53	1978	40	●	●	●	●	●	
	四谷文化センター	S53	1978	41	●	●	●	●	●	
	片町文化センター	S62	1987	40	●	●	●	●	●	
	市政情報センター	H6	1994	274						● 京王線府中駅
	計			893	2	9	11	11	10	2

出張所・窓口 業務一覧

	届出受付業務							証明書交付業務					その他の業務								
	戸籍に 関する届出	住民登 録に關 する届出	印鑑登 録に關 する届出	国民健 康保険に 關する届出	母子手 帳の交 付	税金・ 料金の 支払い	犬の登 録	住民基 本台帳 カードの 請求・交 付	戸籍に 登録する 証明書	外国人 登録	バイク の登録	戸籍に 登録する 証明書	住民登 録に關 する証 明書	印鑑登 録証明 書	市税の 課税・ 納税証 明書	その他 (外国人 登録に 關する事 等)	粗大ご み処理 申込み	共済の 申込み	粗大ご み処理 券の販 売	保養所 等の申 込み	サービ スロー ナー
本庁(総合窓口課)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
東部出張所※1	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
西部出張所※2	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
中央文化センター																					
武藏台文化センター																					
新町文化センター																					
住吉文化センター																					
是政文化センター																					
紅葉丘文化センター																					
押立文化センター																					
四谷文化センター																					
片町文化センター																					
市政情報センター																					
車返団地内郵便局										●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	
自動交付機																	●				

※1白糸台文化センター

※2西府文化センター

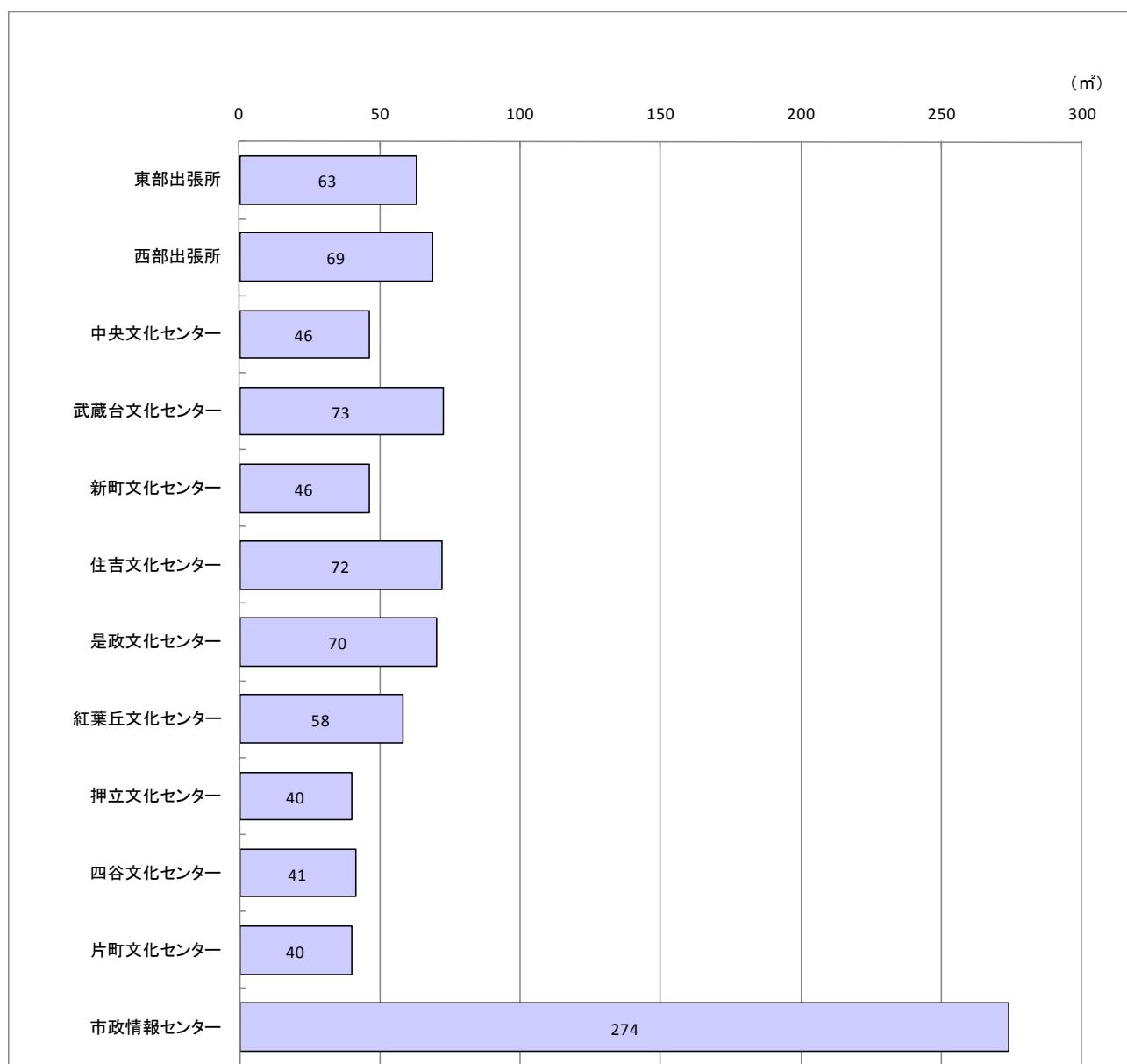
※平成 23 年度より、本庁における母子手帳の交付場所は子育て支援課に変更します。

出所：本庁（総合窓口課）、車返団地内郵便局、自動交付機は府中市「わたしの便利帳」、その他は調査票

(2) 施設状況

① 施設規模（延床面積）

- 文化センター内の出張所や窓口のスペースは40～70m²程度となっており、大きな差はありません。
- 市政情報センターは、証明書交付業務だけでなく、市の総合案内等も行っている施設のため、他の施設と規模が異なります。



② 運営日数、運営時間

- ・ 本庁は月曜日～金曜日と第2・4土曜日の午前中に窓口業務を行っています。
- ・ 各出張所、窓口等は月曜日～金曜日に窓口業務を行っています。市政情報センターについては、申請書を受け付け、時間をおいて交付しています※（土・日、祝日にも申請書を受け付けています）。
- ・ 運営時間については、本庁及び出張所・窓口は8：30～17：00となっています。京王線府中駅内にある市政情報センターは8：30～19：30となっていますが、申請書の受付箱は電車がある時間帯は利用可能となっています。

※市役所業務日の午前11時までの受付分→当日の午後4時半以降交付

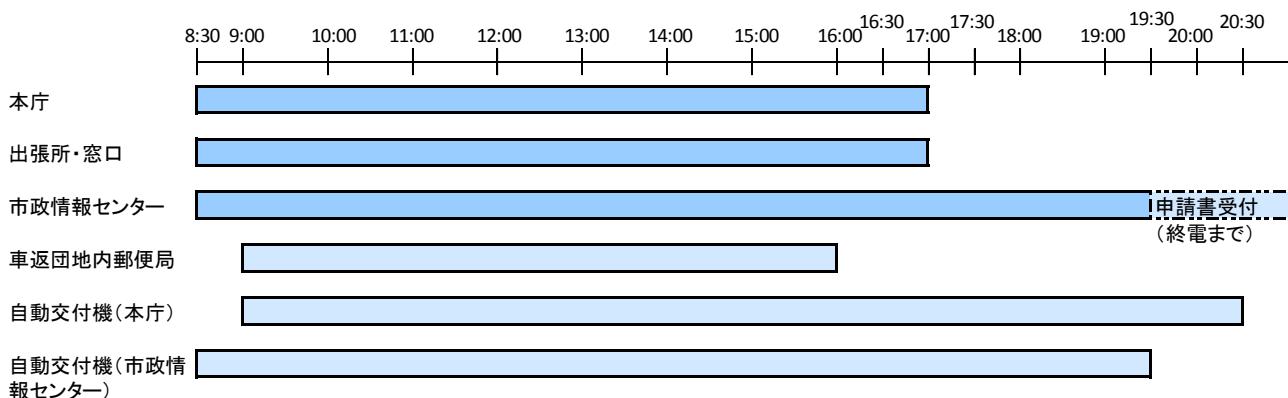
市役所業務日の午前11時以降の受付分→受付日以降の市役所業務日の午後4時半以降交付

土・日曜日、祝日 の受付分→ "

運営日数

	平日	土日	計
本庁	242	24	266
出張所	242	0	242
窓口	236	0	236
市政情報センター	256	103	359

運営時間帯



(3) 建物状況

施設名	①耐震安全性		②老朽化状況				③バリアフリー対応								
	評価	評価内容		評価内容				評価	評価内容						
		耐震診断	耐震補強	建築年度	平成22 経過年	大規模改修	平成22 大改後の経過年		エレベーター	車いす用	身障者トイレ	までのスロープ	道路から入口	自動ドア	手すり
市政情報センター	3	不要	一	3	平成6	16	未	3	—	—	—	—	○	—	—

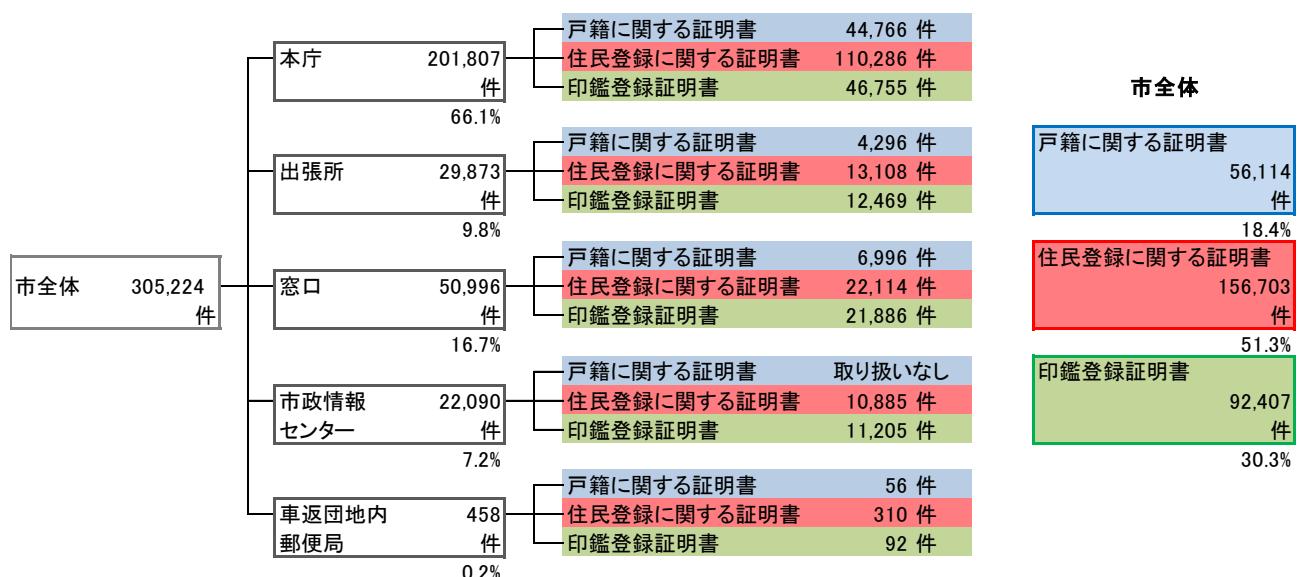
施設名	④環境対応状況							⑤維持管理							⑥吹付け アスベスト	
	評価	評価内容						評価	評価内容						評価内容	評価内容
		環境指標			m ² 平均				維持管理費(千円)			m ² 平均(円)				
市政情報センター	3	274	872,661	34	3,184,895	124	3	274	2,002	5,022	77	7,307	18,328	281	3	○

※出張所・窓口のうち、先に整理した文化センターに設置されている窓口等を除き、市政情報センターの状況を整理した。

(4) 利用状況

① 全体の利用件数

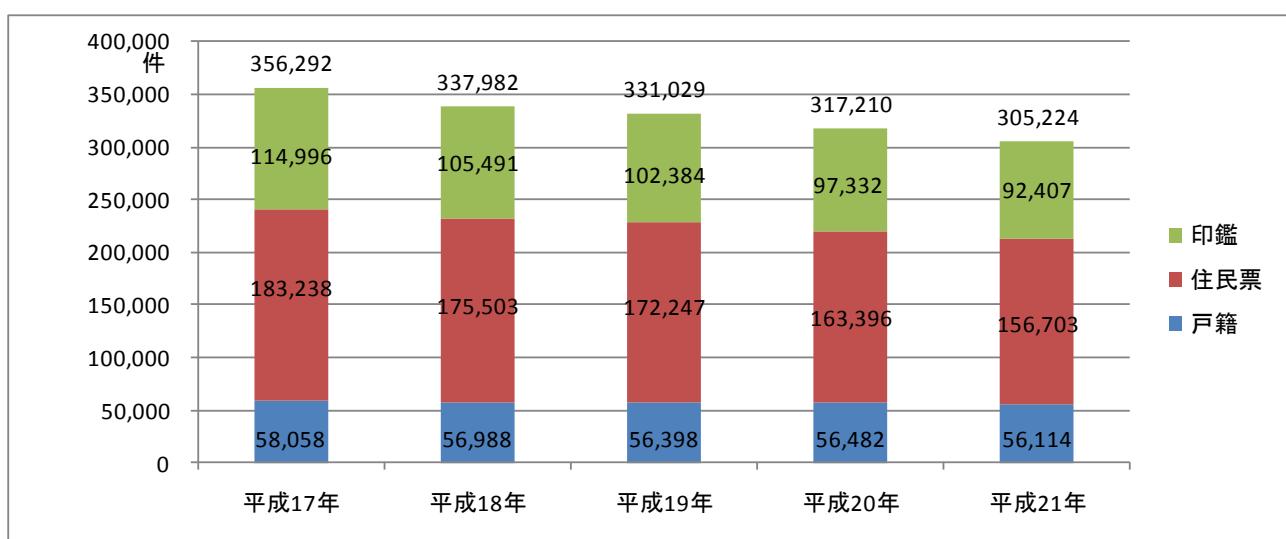
- 窓口での証明書等発行件数は平成 21 年度で 30.5 万件であり、うち、住民票が 15.7 万件、印鑑証明が 9.2 万件、戸籍が 5.6 万件となっています。
- 本庁での利用が全体の 66%、次いで窓口が 17%、出張所が 10% となっています。
- 内容別には住民票が半数を占めており、次いで印鑑証明書となっています。



② 利用の推移

- 推移をみると、5 年間で 14%、5.1 万件減少しています。住民票は 14%、2.7 万件減少、印鑑証明は 20%、2.3 万件減少、戸籍 3%、0.2 万件減少となっています。

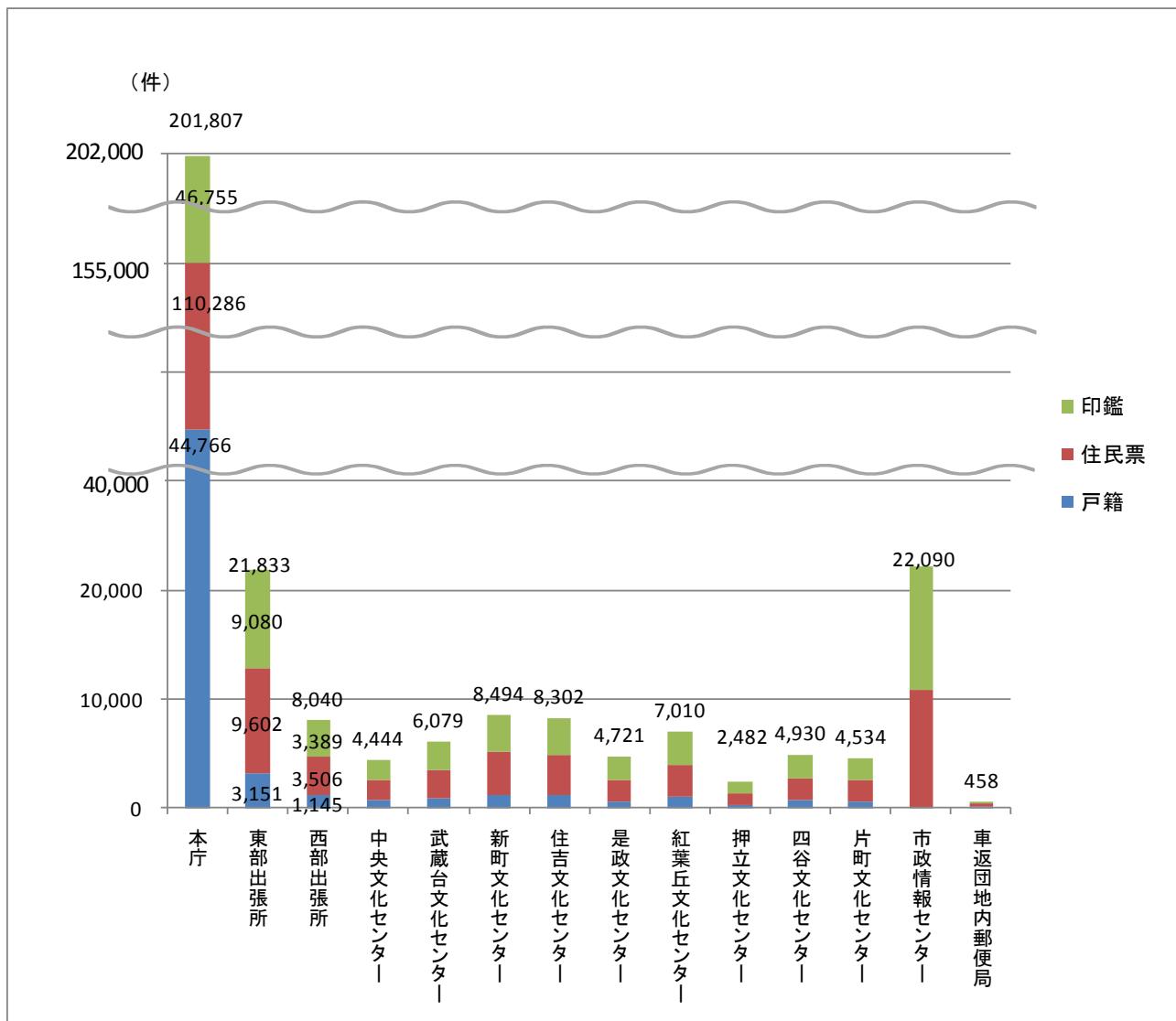
利用件数の推移



出所：窓口課データ

- 施設別の利用件数では、本庁の窓口が 20.2 万件と最も多く、次いで、市政情報センターと東部出張所が 2.2 万件です。その他は、西部出張所、新町文化センター、住吉文化センター、紅葉丘文化センターが 7~8 千件であり、その他は 4~5 千件です。郵便局での取り扱いは 458 件です。
- 市政情報センターの利用件数のうち、印鑑証明はすべて自動交付機によるもので、住民票もほとんど（10,186 件）は自動交付機による発行となっています。

施設別利用件数（平成 21 年度）

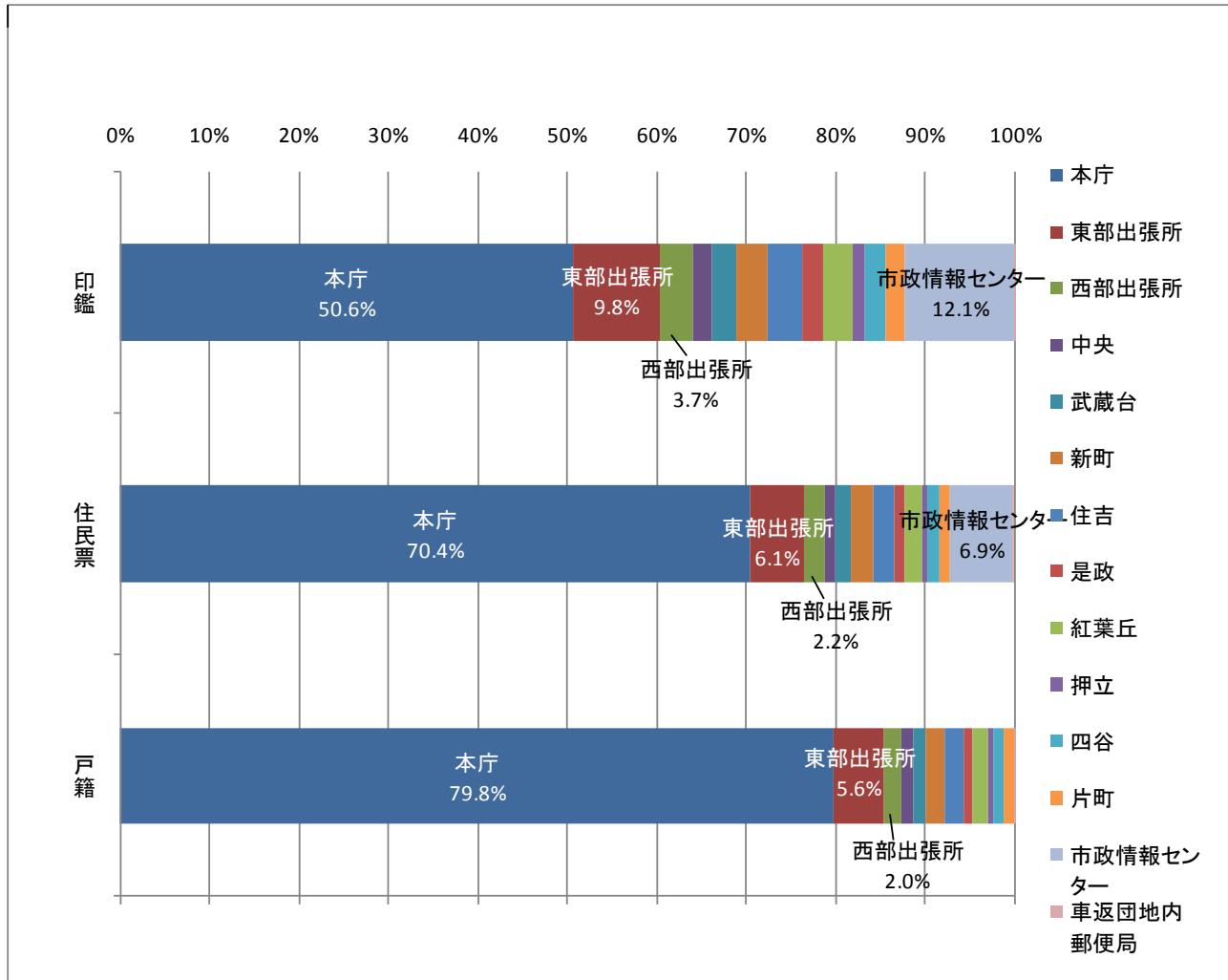


	本庁	東部 出張所	西部 出張所	中央	武藏台	新町	住吉	是政	紅葉丘	押立	四谷	片町	市政情報 センター	車返団地 内郵便局
戸籍	44,766	3,151	1,145	703	821	1,111	1,199	623	991	247	665	636	0	56
住民票	110,286	9,602	3,506	1,900	2,693	4,098	3,600	1,865	2,921	1,069	2,005	1,963	10,885	310
印鑑	46,755	9,080	3,389	1,841	2,565	3,285	3,503	2,233	3,098	1,166	2,260	1,935	11,205	92
合計	201,807	21,833	8,040	4,444	6,079	8,494	8,302	4,721	7,010	2,482	4,930	4,534	22,090	458

出所：窓口課データ

- 施設ごとのシェアでは、いずれも本庁のシェアが 50%以上ですが、中でも戸籍関連については 80%を占めています。
- 自動交付機を利用できる住民票や印鑑証明は、市政情報センターの割合が高く、次いで、東部出張所となっています。
- 印鑑証明は、比較的施設ごとに利用が分散しています。

交付種類施設シェア（平成 21 年度）



	本庁	東部 出張所	西部 出張所	中央	武藏台	新町	住吉	是政	紅葉丘	押立	四谷	片町	市政情報センタ	車返団地内郵便局
戸籍	80%	6%	2%	1%	1%	2%	2%	1%	2%	0%	1%	1%	0%	0%
住民票	70%	6%	2%	1%	2%	3%	2%	1%	2%	1%	1%	1%	7%	0%
印鑑	51%	10%	4%	2%	3%	4%	4%	2%	3%	1%	2%	2%	12%	0%

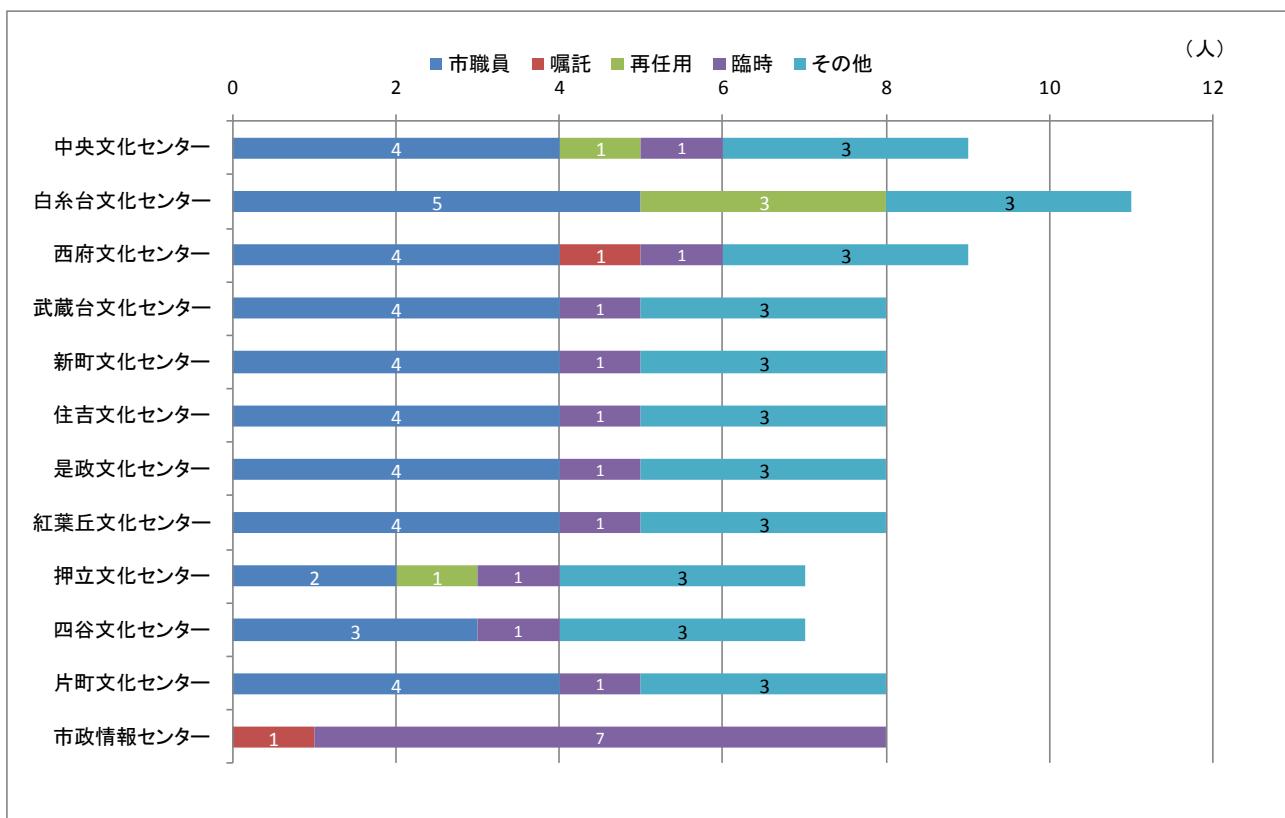
出所：窓口課データ

(5) 運営状況

① 運営人員

- 出張所・窓口が設置されている文化センターは、「文化センター」の実態把握でも触れたとおり、複合施設として運営体制をとらえる必要があることから、出張所・窓口という役割分担は行っていません。総人員の中で、出張所・窓口、公民館、高齢者福祉館、児童館を運営しています。
- 市政情報センターにおける人員についても、市の総合案内等の業務と窓口業務を行っており、これら合わせて、嘱託1名、臨時職員7名で対応しています。

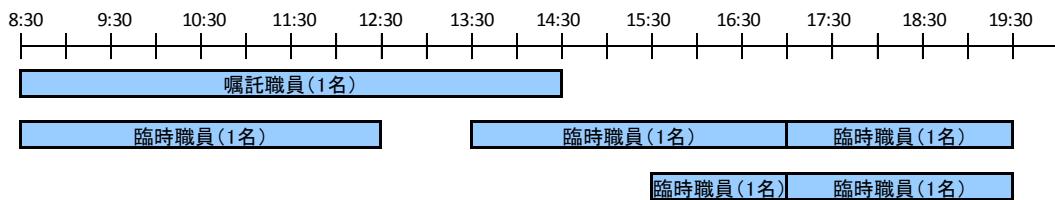
運営人員



② 人員配置時間帯

- 市政情報センターでは、時間帯により、2人体制と1人体制を組んでいます。

人員配置時間帯(市政情報センター)

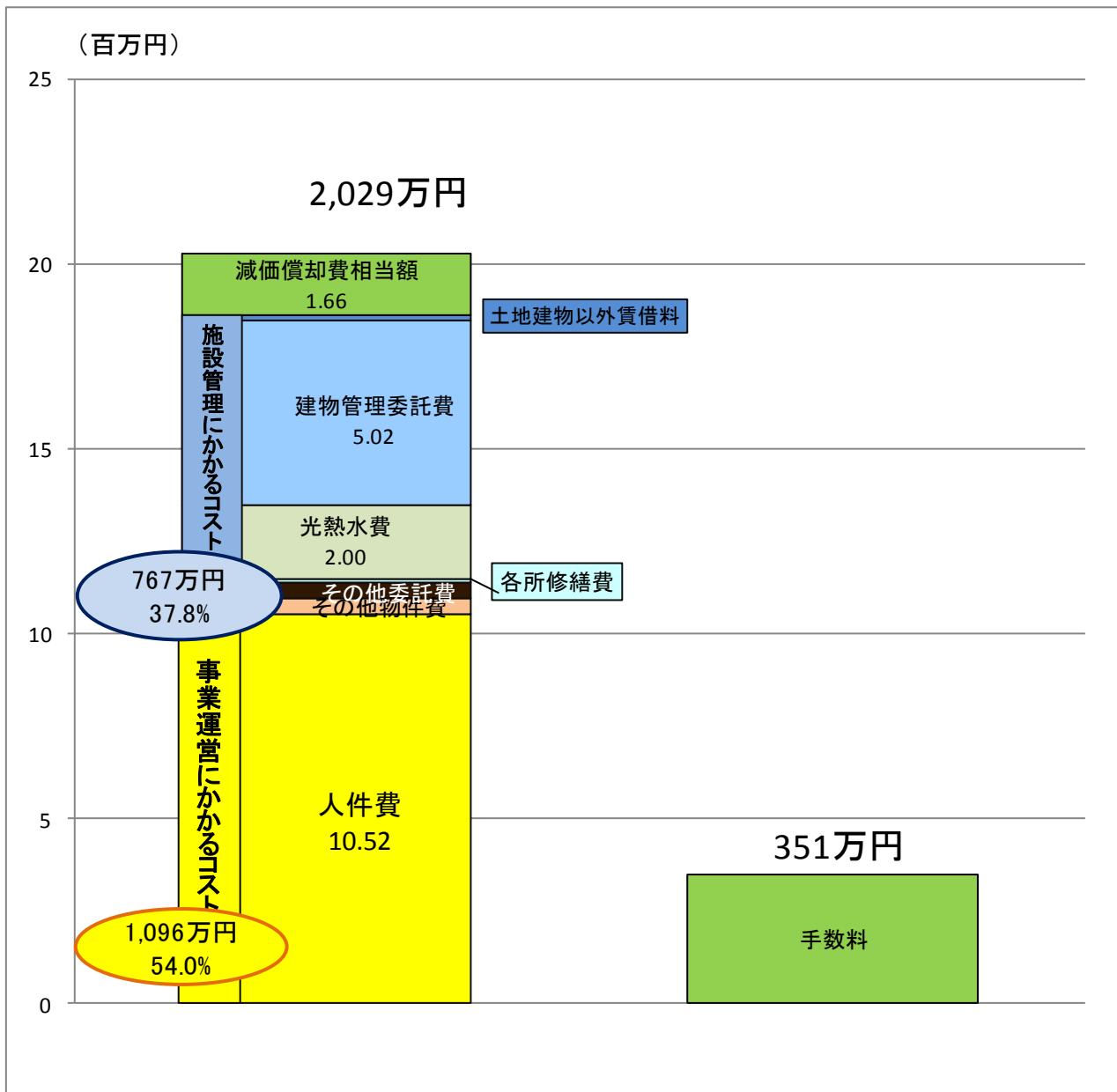


(6) コスト状況

① コスト及び収支状況

- ・ 出張所・窓口については、コストについても文化センター全体で管理されています。
- ・ ここでは、市政情報センターのコストを整理します。
- ・ 平成 21 年度の支出は 2,029 万円であり、このうち施設管理にかかるコストは 767 万円 (37.8%)、事業運営にかかるコストは 1,096 万円 (54.0%) です。ただし、ここには市の総合案内等にかかる費用も含まれています。
- ・ 一方、証明書発行等による手数料収入は 351 万円となっており、支出の 17.3% の水準となっています。

トータルコスト（市政情報センター、平成 21 年度）



行政コスト計算書（市政情報センター、平成 21 年度）

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】 (千円)

コストの部		市政情報セ ンター
施 設 る 管 理 コ ス ト に か か	各所修繕費	77
	光熱水費	2,002
	建物管理委託費	5,022
	土地建物以外賃借料	145
	その他委託費	427
	管理にかかるコスト 計	7,673
事 業 運 営 に か か	嘱託職員人件費	2,758
	臨時職員人件費	7,761
	その他物件費	442
	運営にかかるコスト 計	10,962
現金収支を伴うコスト 計		18,635

【収益の部】

手数料	3,511
収益 計	3,511

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

減価償却費相当額	1,655
III. 総括	
コストの部合計(トータルコスト)	20,290
収支差額	16,779

(7) 現状と課題

① 概要

- ・ 各種届出、証明書の発行等の手続きを行う施設は、本庁総合窓口課、文化センター内に設置されている出張所2施設・窓口9施設、市政情報センター、府中車返団地内郵便局があります。

② 施設状況

- ・ 出張所・窓口機能のスペースは40～70 m²程度となっています（本庁総合窓口課及び市政情報センター除く）。

③ 建物状況

- ・ 市政情報センターの建物は比較的新しく、老朽化に関する問題はありませんが、市の総合案内等を行うためのスペースが手狭な状態になっており、今後検討が必要になります。

④ 利用状況

- ・ 証明書等の発行件数は、約30万件であり、利用件数は減少傾向にあります。利用件数の内訳は、住民登録に関する証明書が約50%、印鑑登録証明書が約30%、戸籍に関する証明書が約20%となっています。
- ・ 戸籍に関する証明書では本庁の取り扱いが80%と高くなっていますが、印鑑登録証明については比較的利用が分散しており、市政情報センターの利用も多くなっています。

⑤ 運営状況・コスト状況

- ・ 文化センター内の出張所・窓口、市政情報センターともに窓口専任の担当者は配置されてなく、他の業務と兼務で対応しています。
- ・ コストについても、施設全体で管理されており、窓口業務だけでは管理されていません。

⑥ 今後の方向性

- ・ 出張所・窓口等でも同様の業務を扱っているにも関わらず、本庁舎（総合窓口）の利用件数が非常に多い結果となっている現状を分析するためには、利用者のニーズ等を把握する必要があります。
- ・ 様々なニーズに対応するため、自動交付機の設置等により、人員を証明書交付以外の業務に振り替えるなどの方法も考えられますが、費用対効果の面からの検討も必要となります。

2-4 学校（小学校 22 校、中学校 11 校）

(1) 概要

- 府中市は学校施設として、小学校 22 校、中学校 11 校の合計 33 校、延床面積 26 万 1,065 m²を保有しています。
- 施設規模は、小学校では 5,119 m²（矢崎小）～9,217 m²（第一小）、中学校では 8,757 m²（第十中）～13,343 m²（第三中）となっています。
- 小学校の児童数は計 13,404 人、学級数は 416 となっています。中学校の生徒数は 5,515 人、学級数は 163 となっています。
- 小学校においては、校庭や体育館は休日や夜間一般に開放されており、放課後子どもも教室としても教室、体育館、校庭が活用されています。
- 中学校では、体育館及び武道館が夜間一般に開放されており、一部の学校では校庭の夜間開放も行っています。
- また、学校施設はいずれも災害時の一次避難場所として設定されています。

小学校施設一覧

地域	施設名称	延床面積 (m ²)	建設年度 (年)	耐震化	児童数 (人)	学級数 (学級)	学校開放状況			学校用途以外 の活用状況
							校庭	体育館	その他	
第1地域	第四小	5,486	S38	未完了	551	20	○	●		◎
	第十小	5,276	S37	未完了	787	23	○	●		◎
	白糸台小	5,319	S45	改修済	593	18	○	●		◎
	若松小	5,778	S47	改修済	684	20	○	●		◎
第2地域	第八小	8,508	S39	改修済	821	23	○	●		◎
	小柳小	6,387	S48	未完了	669	22	○	●		◎
	南白糸台小	6,074	S48	未完了	562	18	○	●		◎
第3地域	第六小	6,469	S39	未完了	940	26	○	●		◎
	第九小	7,649	S41	改修済	455	16	○	●		◎
	新町小	5,223	S44	改修済	340	12	○	●		◎
第4地域	第一小	9,217	S53	未完了	743	22	○	●		◎
	第二小	8,182	H2	—	910	27	○	●		◎
第5地域	第七小	5,826	S38	改修済	429	13	○	●		◎
	武蔵台小	6,119	S42	改修済	309	11	○	●		◎
第6地域	第三小	8,059	S39	未完了	843	25	○	●		◎
	第五小	6,443	S38	未完了	534	19	○	●		◎
第7地域	本宿小	6,558	S45	改修済	782	22	○	●		◎
	住吉小	7,532	S43	未完了	490	16	○	●		◎
	矢崎小	5,119	S46	改修済	366	12	○	●		◎
第8地域	南町小	6,542	S50	改修済	517	19	○	●	家庭科室※	◎
	四谷小	6,602	S49	改修済	665	19	○	●		◎
	日新小	5,893	S53	改修済	414	13	○	●		◎
小学校合計		144,261	—		13,404	416	※平日14～17時 ◎:放課後 子ども教室			

・建設年度：一番古い校舎の年度を記載

・児童数：H22.5.1時点（心障学級含む）

・学級数：H22.5.1時点（心障学級含む）

未完了	耐震化が未完了	●	平日・休日の開放
改修済	耐震改修実施済みの施設	○	休日のみ開放
—	対象外施設（新耐震基準施設）	無印	開放なし

中学校施設一覧

地域	施設名称	延床面積 (m ²)	建設年度 (年)	耐震化	生徒数 (人)	学級数 (学級)	学校開放状況		
							校庭	体育館	武道館
第1地域	第二中	11,935	S42	未完了	610	19	●	●	●
第2地域	第六中	11,612	S41	改修済	584	16	●	●	●
	第九中	9,385	S52	改修済	396	12	●	●	●
第3地域	第一中	10,348	S39	未完了	528	19	●	●	●
	第五中	10,232	S37	未完了	495	14	●	●	●
	浅間中	9,113	S57	改修済	610	17	●	●	●
第5地域	第七中	9,974	S43	改修済	338	9	●	●	●
第6地域	第四中	12,483	S44	未完了	642	20	●	●	●
	第十中	8,757	S55	改修済	251	8	●	●	●
第7地域	第三中	13,343	H19	—	555	15	●	●	●
第8地域	第八中	9,621	S49	未完了	506	14	●	●	●
	中学校合計	116,803	—		5,515	163	※夜間のみ	※夜間のみ	※夜間のみ

・建設年度：一番古い校舎の年度を記載

・生徒数：H22.5.1時点(心障学級含む)

・学級数：H22.5.1時点(心障学級含む)

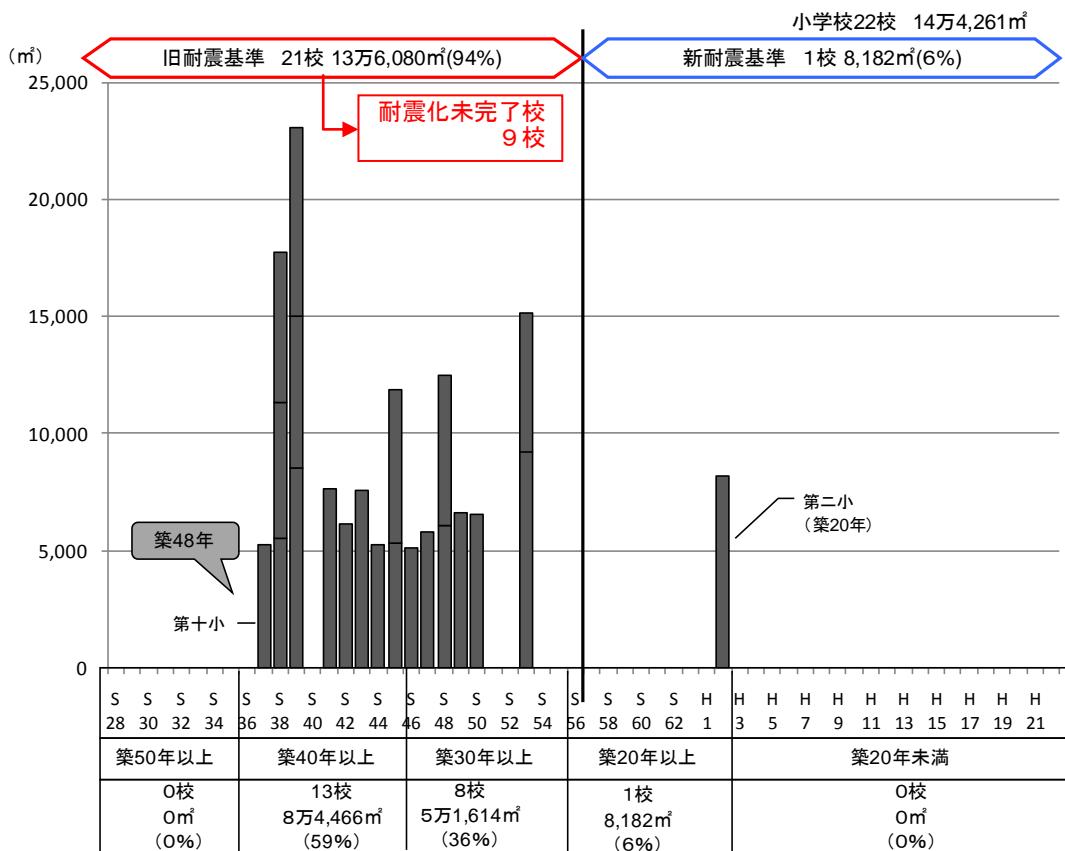
未完了	耐震化が未完了	●	平日・休日の開放
改修済	耐震改修実施済みの施設	○	休日のみ開放
—	対象外施設(新耐震基準施設)	無印	開放なし

(2) 施設状況

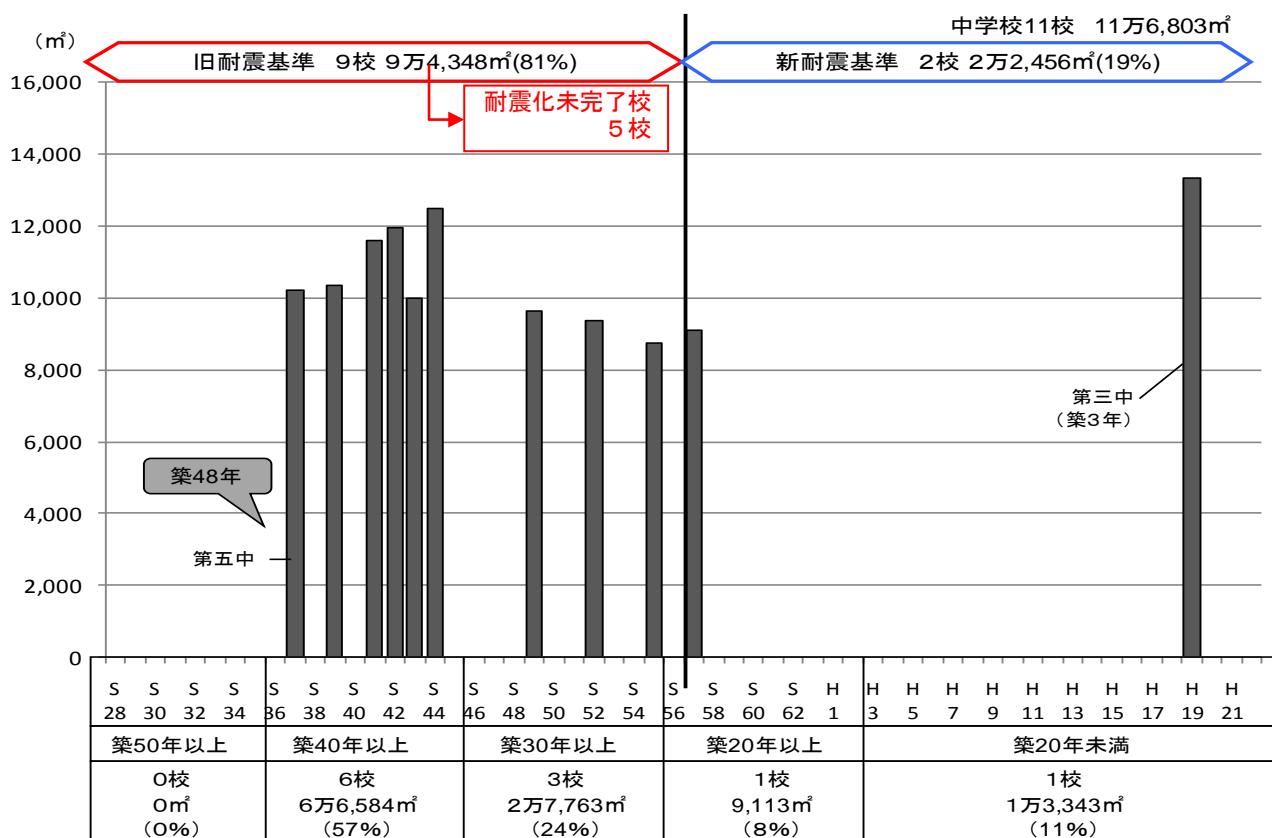
① 建築年度（築年別整備状況）

- 築30年以上を経過した建物がほとんどです。
- 小学校22校14万4,261m²のうち、旧耐震基準の建物は21校13万6,080m²（94%）、新耐震基準の建物は1校8,182m²（6%）です。旧耐震基準21校のうち、耐震化未完了校が9校となっています。中学校11校11万6,803m²のうち、旧耐震基準の建物は9校9万4,348m²（81%）、新耐震基準の建物は2校2万2,456m²（19%）となっています。旧耐震基準9校のうち、耐震化未完了校は5校となっています。
- なお、学校の建設年度を児童・生徒が使用する最も古い校舎の建設年度でまとめているため、一部の学校では新耐震基準で建てられた棟も含んだ延床面積となっています。
- 災害時の一次避難場所として活用される学校の体育館は、すべて耐震化が完了しています。

小学校 築年別整備状況



中学校 築年別整備状況



※四捨五入により合計と内訳が一致しない場合がある。

② これまでの取組状況

■最近の学校の状況

- 児童、生徒が安全に安心して学べるよう、学校施設の耐震化のための設計や工事が進められています。
- 教育内容の充実を図った ICT 教育や少人数指導に合わせ、パソコン教室や少人数指導用の教室の整備を行っています。
- 校務や授業の IT 化を推進し、学校教育ネットワークシステムの WAN 化を図り、校内 LAN 配線や PC などの機器を整備しました。また、地上デジタル放送化に対応するため、平成 21 年度に大型ディスプレイや電子黒板を整備しました。
- 平成 17 年度から全小学校に警備員を配置し、また、平成 18 年度から全中学校に防犯カメラを設置し、学校施設の防犯対策を図っています。
- 快適な教育環境となるよう、暑さ対策としての普通教室への扇風機の設置や、トイレの洋式化などの校内環境の改善を図りました。
- 放課後の子どもの居場所づくりを図った放課後子ども教室事業の実施にあたり、空調機を設置するなどの教室の整備を行いました。
- エコスクール化を目指し、小学校の校庭芝生化を進めています。また、緑のカーテンとしてゴーヤの栽培を全校で実施しています。
- マンション建設などによる、児童、生徒数の増加に対して、空き教室などの普通教室への改修や、仮設校舎の整備を行いました。
- 安心して水道水を飲用できる水飲み直結給水化モデル事業を行いました。

最近の学校整備等の状況

	小学校	中学校	耐震
H17	<ul style="list-style-type: none"> 学級増に伴う仮設校舎設置(六小、十小、本宿小、若松小) 普通教室へ扇風機設置(住吉小を除く全校) 	<ul style="list-style-type: none"> 三中校舎改築に伴う仮設校舎築造、旧校舎解体 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校 ・耐震改修設計(新町小、矢崎小、若松小、四谷小)
H18		<ul style="list-style-type: none"> 三中校舎改築工事着手 普通教室へ扇風機設置(三中を除く全校) 防犯カメラ設置(全校) 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校 ・耐震改修工事(四谷) ・耐震改修設計(新町小、本宿小、白糸台小) <ul style="list-style-type: none"> 中学校 ・耐震改修実施設計(十中、浅間中)
H19	<ul style="list-style-type: none"> トイレ便器改修、ウォシュレット設置、特殊洗浄による悪臭除去対策、光沢復元(三小、六小、七小、八小、十小、住吉小、本宿小、白糸台小、小柳小、四谷小) 学級増に伴う南町小オープンスペースの普通教室への改修 二小パソコンルーム改修工事 放課後子ども教室事業実施に伴う空調機設置(二小、五小、十小) 	<ul style="list-style-type: none"> 三中校舎改築工事竣工 トイレ便器改修、ウォシュレット設置、特殊洗浄による悪臭除去対策、光沢復元(一中、二中、五中、六中、七中) 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校 ・耐震改修工事(矢崎小、若松小) ・耐震改修に伴う仮設校舎設置(新町小) ・耐震改修設計(七小、本宿小、南町小) <ul style="list-style-type: none"> 中学校 ・耐震改修工事(十中、浅間中) ・耐震改修実施設計(五中、七中)
H20	<ul style="list-style-type: none"> 南町小給水直結化工事 トイレ便器改修、ウォシュレット設置、特殊洗浄による悪臭除去対策、光沢復元(一小、二小、四小、五小、九小、武蔵台小、南白糸台小、南町小、日新小) 放課後子ども教室事業実施に伴う空調機設置(二小、五小、十小、新町小を除く18校) 	<ul style="list-style-type: none"> 学級増に伴う仮設校舎設置(浅間中) トイレ便器改修、ウォシュレット設置、特殊洗浄による悪臭除去対策、光沢復元(四中、八中、九中、十中、浅間中) 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校 ・耐震改修工事(新町小、白糸台小、矢崎小、若松小) ・耐震改修に伴う仮設校舎設置(本宿小) ・耐震改修設計(六小、九小、武蔵台小、新町小、日新小) <ul style="list-style-type: none"> 中学校 ・耐震改修実施設計(一中、六中)
H21	<ul style="list-style-type: none"> 四小給水直結化工事 トイレ便器改修、ウォシュレット設置、特殊洗浄による悪臭除去対策、光沢復元(新町小、矢崎小、若松小) 本宿小校舎増築 西府区画整理事業に伴う五小プール改築工事 校庭芝生化整備(二小、五小) 白糸台小校庭芝生化整備事業設計 	<ul style="list-style-type: none"> 五中北校舎改築に伴う実施設計 浅間中だれでもトイレ改修 浅間中昇降機設置に伴う実施設計 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校 ・耐震改修工事(七小、武蔵台小、本宿小、南町小、日新小) ・耐震改修設計(三小、四小、八小、小柳小) <ul style="list-style-type: none"> 中学校 ・耐震改修工事(六中、七中)

■今後の将来計画

【現状】

- ・ 現在の鉄筋コンクリートの校舎は、そのほとんどが築30年を経過し、古いものでは築50年以上を経過しているため、老朽化への対策として、外壁や屋上の改修などを進めるとともに、必要に応じて校舎の建替えを進めています。
- ・ 安全性の向上を図り、新耐震基準への対応として校舎等の耐震化事業を進めています。
- ・ 快適な学習環境となるよう、衛生面の向上を図ったトイレの改修や夏季の暑さ対策として普通教室への扇風機設置などを行ってきましたが、近年の夏季の猛暑に対応するため、普通教室の冷房化を進めています。
- ・ 新学習指導要領など新しい教育に対応できるよう、施設や備品の整備を進めています。
- ・ 地域の中心としての役割が求められており、防災機能の充実や、地域の方々の活動の場となるよう施設・環境整備が必要となっています。
- ・ 環境に配慮した施設づくりが求められており、省エネルギー・新エネルギーの導入や施設利用者とともに校庭の芝生化などを進めています。

【今後の方針】

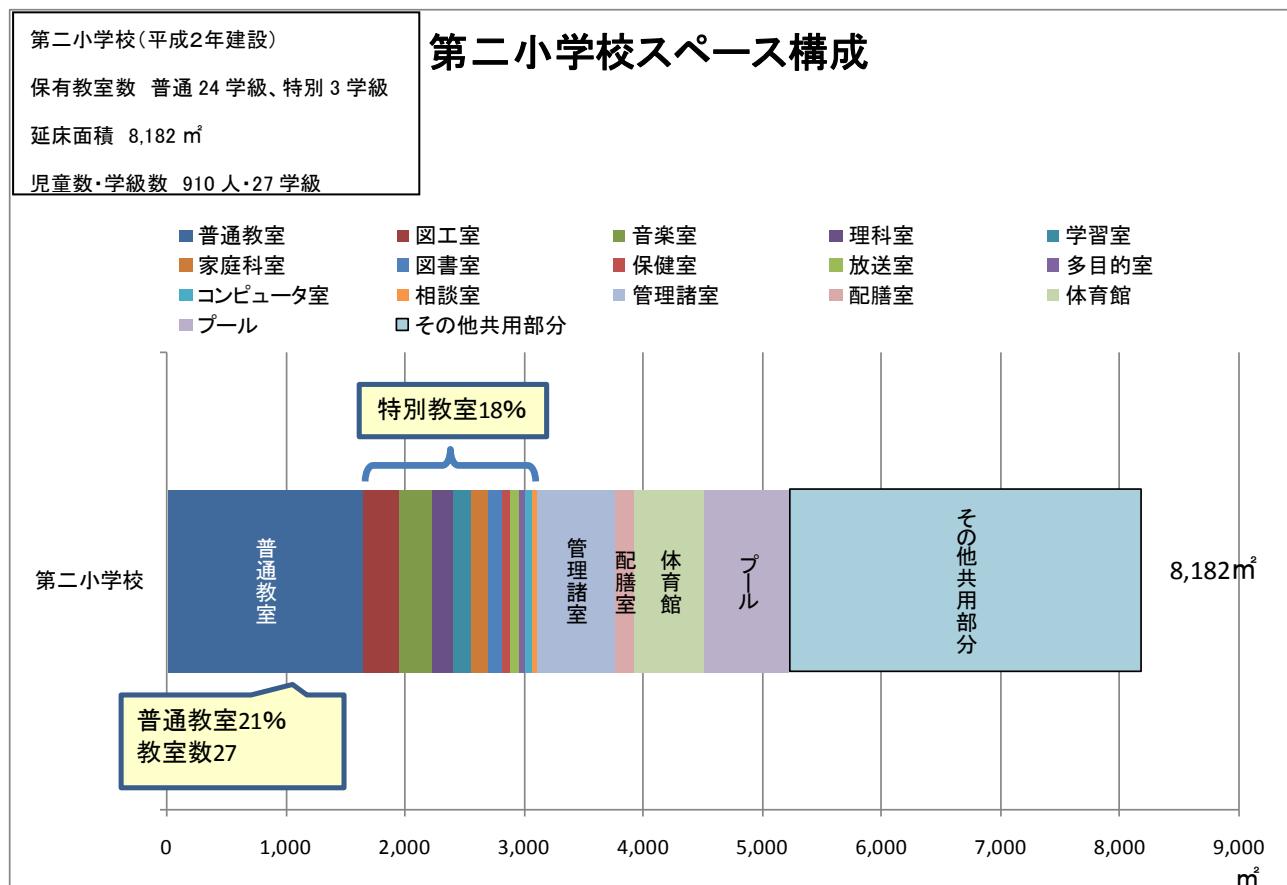
- ・ 市立図書館との連携を図り、学校図書館の整備・充実に向け検討します。
- ・ 校舎の老朽化対策として、外壁・屋上改修を引き続き進めます。
- ・ 平成25年度までにすべての学校の校舎耐震化が完了するよう耐震化事業を推進します。
- ・ 新学習指導要領の実施にあたり、各種教科備品のさらなる充実を図ります。
- ・ 学校事務の軽減や学校と事務局の連携を充実させる校務支援として、ネットワークシステムやICT機器のさらなる整備を進めます。
- ・ 食育の環境整備に向け、児童・生徒数の変動による教室の使用状況などを見すえながらランチルームの整備・活用計画を検討します。
- ・ 児童・生徒が授業に集中できるよう、都市化に伴うヒートアイランド現象による夏季の猛暑対策として、普通教室の冷房化を図り、空調設備の整備を進めます。
- ・ 環境対策、エコスクール化に向けた取組として、環境負荷が低減できるよう、学校緑化、小学校の校庭芝生化を継続して進めます。

③ スペース構成

- ・ 学校施設のスペースは、主に児童・生徒の学習活動・生活の中心である普通教室と特別教室、その他共用部（生活系空間）、教職員のための管理諸室、体育館、プールで構成されています。
- ・ 府中市の学校施設は、クラス数分の普通教室と複数の特別教室がそれを繋ぐ廊下によって直線的に配置されたプランが主流であり、従来の普通教室を中心とした学習形態には効率的なプランでした。
- ・ しかし、近年の総合的な学習の時間等様々な学習形態に対応するために、教室の多目的化等教育環境の向上が必要となっています。
- ・ 小中学校はいずれも直線的に配置されたプランになっていますが、最近改築された第三中学校では、交流ホールや吹き抜けを囲む形で教室が設置されています。従来型のプランに比べ、普通教室、特別教室の面積が大きくなり、特に、体育館・武道館の面積が増加しています。

<小学校>

- ・ 小学校は最も新しいものでも平成2年に改築された第二小学校です。
- ・ 普通教室はおおむね1教室当たり $62\sim65\text{ m}^2$ 程度となっています。

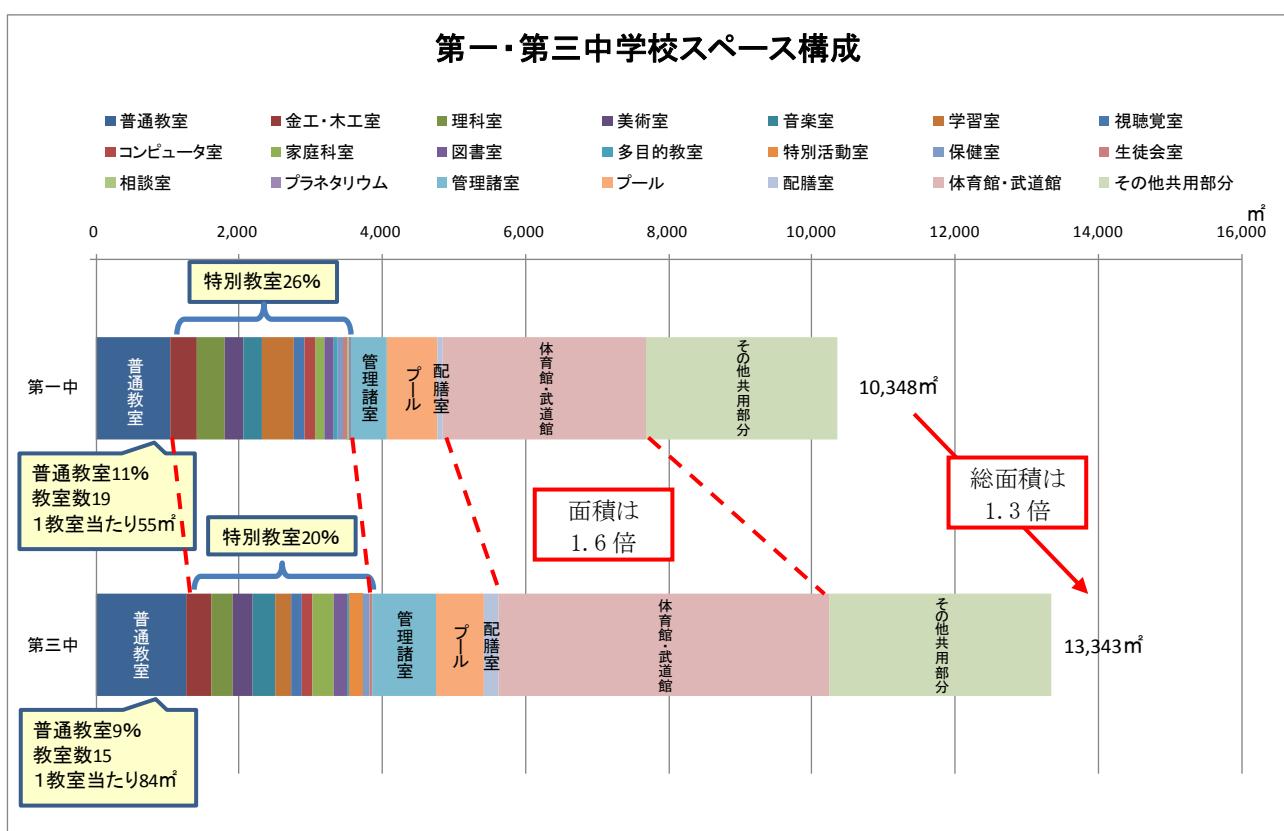


<中学校>

- ・ 中学校は最近改築された第三中学校と最も古い校舎を有する第一中学校で比較を行います。
- ・ 全体面積が 1.3 倍になっています。
- ・ 普通教室の 1 室あたりの面積が 55 m²から 84 m²へと拡大しています。
- ・ 特別教室も面積が増加しています。
- ・ 体育館・武道館は面積が 1.6 倍になっています。

第一中学校と第三中学校の比較

第一中学校 (昭和 39,40,43 年築)	第三中学校 (平成 19 年建設)
延床面積 10,348 m ²	延床面積 13,343 m ²
児童数・学級数 528 人・19 学級	生徒数・学級数 555 人・15 学級



(3) 建物状況

① 小学校

施設名	①耐震安全性		②老朽化状況				③バリアフリー対応						
	評価	評価内容		評価	評価内容			評価	評価内容				
		耐震診断	耐震補強		建築年度	平成22	経過年		大規模改修	車いす用エレベーター	身障者トイレ	までのスロープ	道路から入口
第一小学校	2	○	予定	1	昭和53	32	未	2		○	—	○	○
第二小学校	3	○	○	2	平成2	20	未	2		○	—	○	
第三小学校	2	○	予定	1	昭和39	46	未	2		○	—	○	
第四小学校	2	○	予定	1	昭和38	47	未	2		○	○	—	○
第五小学校	2	○	予定	1	昭和38	47	未	2		○	○	—	○
第六小学校	2	○	予定	1	昭和39	46	未	2		○	—	○	○
第七小学校	3	○	○	1	昭和38	47	未	2		○	—	○	
第八小学校	3	○	○	1	昭和39	46	未	2		○	—	○	
第九小学校	3	○	○	1	昭和41	44	未	2		○	—	○	
第十小学校	2	○	予定	1	昭和37	48	未	2		○	○	—	○
武藏台小学校	3	○	○	1	昭和42	43	未	2		○	—	○	
住吉小学校	2	○	予定	1	昭和43	42	未	2		○	—	○	
新町小学校	3	○	○	1	昭和44	41	未	2		○	—	○	
本宿小学校	3	○	○	1	昭和45	40	未	3	○	○	○	—	○
白糸台小学校	3	○	○	1	昭和45	40	未	2		○	○	—	○
矢崎小学校	3	○	○	1	昭和46	39	未	2		○	—	○	
若松小学校	3	○	○	1	昭和47	38	未	3	○	○	○	—	○
小柳小学校	2	○	予定	1	昭和48	37	未	2		○	—	○	
南白糸台小学校	2	○	予定	1	昭和48	37	未	2		○	—	○	
四谷小学校	3	○	○	1	昭和49	36	未	2		○	—	○	
南町小学校	3	○	○	1	昭和50	35	未	2		○	—	○	
日新小学校	3	○	○	1	昭和53	32	未	2		○	—	○	

施設名	④環境対応状況						⑤維持管理						(6)吹付け アスペスト			
	評価	評価内容					評価	評価内容					評価内容			
		環境指標		m ² 平均				延床面積 (m ²)		維持管理費(千円)						
		伴う 燃料 熱量等 の使 用に い (M J)	(t 換 算 2 CO 合 排 計 出 量)	伴う 燃料 熱量等 の使 用に い (K g 換 算 2 CO 合 排 計 出 量)	(kg 換 算 2 CO 合 排 計 出 量)					光 熱 水 費	建 物 管 理 委 託 費	各 所 修 繕 費				
第一小学校	3	9,217	3,203,000	213	347,510	23	3	9,217	8,990	4,780	4,300	975	519	467	3	○
第二小学校	3	8,182	2,337,000	113	285,627	14	3	8,182	8,780	3,680	4,520	1,073	450	552	3	○
第三小学校	3	8,059	2,378,000	157	295,074	19	3	8,059	8,940	4,540	4,590	1,109	563	570	3	○
第四小学校	3	5,486	2,156,000	104	393,000	19	1	5,486	10,350	3,210	4,410	1,887	585	804	3	○
第五小学校	3	6,443	1,623,000	81	251,901	13	3	6,443	9,330	3,430	5,370	1,448	532	833	3	○
第六小学校	2	6,469	2,809,000	203	434,225	31	3	6,469	9,020	4,010	3,500	1,394	620	541	3	○
第七小学校	3	5,826	1,583,000	77	271,713	13	3	5,826	6,440	3,250	3,240	1,105	558	556	3	○
第八小学校	3	8,508	2,274,000	111	267,278	13	3	8,508	8,010	4,110	5,500	941	483	646	3	○
第九小学校	3	7,649	2,043,000	135	267,094	18	3	7,649	6,940	4,350	2,820	907	569	369	3	○
第十小学校	3	5,276	1,871,000	92	354,625	17	3	5,276	6,660	3,770	3,580	1,262	715	679	3	○
武蔵台小学校	3	6,119	1,682,000	71	274,882	12	3	6,119	7,300	3,520	2,170	1,193	575	355	3	○
住吉小学校	3	7,532	2,173,000	93	288,502	12	3	7,532	10,250	4,020	6,660	1,361	534	884	3	○
新町小学校	3	5,223	1,647,000	70	315,336	13	3	5,223	6,290	3,470	4,190	1,204	664	802	3	○
本宿小学校	3	6,558	1,894,000	89	288,808	14	3	6,558	8,630	4,200	3,570	1,316	640	544	3	○
白糸台小学校	3	5,319	1,719,000	74	323,181	14	3	5,319	7,040	3,090	2,120	1,324	581	399	3	○
矢崎小学校	3	5,119	1,582,000	69	309,045	13	1	5,119	6,130	3,070	4,840	1,197	600	945	3	○
若松小学校	3	5,778	1,869,000	81	323,468	14	3	5,778	6,610	4,270	3,350	1,144	739	580	3	○
小柳小学校	3	6,387	2,005,000	87	313,919	14	3	6,387	7,760	3,460	3,620	1,215	542	567	3	○
南白糸台小学校	3	6,074	1,983,000	83	326,473	14	3	6,074	7,490	3,130	2,860	1,233	515	471	3	○
四谷小学校	3	6,602	1,831,000	92	277,340	14	3	6,602	6,920	3,410	3,740	1,048	517	566	3	○
南町小学校	3	6,542	1,745,000	89	266,738	14	1	6,542	6,130	3,660	9,970	937	559	1,524	3	○
日新小学校	3	5,893	1,864,000	84	316,307	14	3	5,893	7,190	3,370	2,400	1,220	572	407	3	○
1m ² 当たりの平均値						306,881	16	1m ² 当たりの平均値						1,187	567	633
平均値の1.4倍(+40%)						429,634	22	平均値の1.4倍(+40%)						1,661	794	886

■評価結果「1」の施設

	2 老朽化状況	5 維持管理
該当施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第一小学校 ・ 第三小学校 ・ 第四小学校 ・ 第五小学校 ・ 第六小学校 ・ 第十小学校 ・ 第七小学校 ・ 第八小学校 ・ 第九小学校 ・ 武蔵台小学校 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住吉小学校 ・ 新町小学校 ・ 本宿小学校 ・ 白糸台小学校 ・ 矢崎小学校 ・ 若松小学校 ・ 小柳小学校 ・ 南白糸台小学校 ・ 四谷小学校 ・ 南町小学校 ・ 日新小学校
今後の対応等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、建替え等の検討が必要。 ・ 建築年度が近接しており、更新時期が重なる 	

② 中学校

施設名	①耐震安全性		②老朽化状況				③バリアフリー対応											
	評価	耐震診断	耐震補強	評価内容		建築年度	経過年	大規模改修	評価内容		車いす用エレベータ	身障者トイレ	までのスロープ	道路から入口	自動ドア	手すり	点字誘導ブロック	
				平成22	平成22				評価	平成22								
第一中学校	2	○	予定	1	昭和39	46	未		2			○	—	○				
第二中学校	2	○	予定	1	昭和42	43	未		3	○	○	○	—	○	○			
第三中学校	3	○	不要	3	平成19	3	未		3	○	○	○	—	○	○			
第四中学校	2	○	予定	1	昭和44	41	未		2			○	—	○				
第五中学校	2	○	予定	1	昭和37	48	未		3	○	○	○	—	○	○			
第六中学校	3	○	○	1	昭和41	44	未		2	○	○	○	—	○				
第七中学校	3	○	○	1	昭和43	42	未		2	○	○	○	—	○				
第八中学校	2	○	予定	1	昭和49	36	未		2		○	○	—	○				
第九中学校	3	○	○	1	昭和52	33	未		2			○	—	○				
第十中学校	3	○	○	1	昭和55	30	未		2			○	—	○				
浅間中学校	3	○	○	2	昭和57	28	未		2	○	○	○	—	○				

施設名	④環境対応状況						⑤維持管理							⑥吹付けアスベスト		
	評価	評価内容					評価	評価内容						評価内容	評価内容	
		環境指標		m ² 平均				延床面積(m ²)	光熱水費	委託費	建物管理委託費	各所修繕費	各所修繕費			
延床面積(m ²)	伴う燃料等の(使用量)(MJ)	(t換算CO ₂ 排出量)	(kg換算CO ₂ 合計出量)	伴う燃料等の(使用量)(KJ)	(kg換算CO ₂ 合計出量)	評価	延床面積(m ²)	光熱水費	委託費	建物管理委託費	各所修繕費	各所修繕費	評価内容	評価内容		
第一中学校	2	10,348	3,070,000	148	296,676	14,294,45	3	10,348	9,100	4,170	2,420	879	403	234	3 ○	
第二中学校	2	11,935	3,535,000	167	296,188	14	3	11,935	8,530	4,740	4,030	715	397	338	3 ○	
第三中学校	2	13,343	4,839,000	213	362,662	15,934,12	1	13,343	14,510	13,240	2,680	1,087	992	201	3 ○	
第四中学校	2	12,483	4,045,000	248	324,041	19,843,07	3	12,483	10,440	5,200	4,690	836	417	376	3 ○	
第五中学校	2	10,232	2,856,000	138	279,124	13,489,54	3	10,232	8,580	4,240	3,510	839	414	343	3 ○	
第六中学校	2	11,612	3,626,000	175	312,263	15,039,36	3	11,612	9,430	5,660	3,380	812	487	291	3 ○	
第七中学校	2	9,974	3,171,000	155	317,927	15,547,22	3	9,974	8,470	4,660	4,580	849	467	459	3 ○	
第八中学校	2	9,621	2,385,000	123	247,895	12,746,7	1	9,621	7,070	3,940	6,140	735	410	638	3 ○	
第九中学校	2	9,385	2,153,000	81	229,409	8,623,655	3	9,385	5,780	3,830	2,350	616	408	250	3 ○	
第十中学校	2	8,757	1,959,000	106	223,707	12,135,89	3	8,757	6,410	3,970	1,700	732	453	194	3 ○	
浅間中学校	2	9,113	2,177,000	112	238,889	12,285,75	1	9,113	7,340	4,090	6,000	805	449	658	3 ○	
1m ² 当たりの平均値							289,513	14	1m ² 当たりの平均値							819 494 355
平均値の1.4倍(+40%)							405,318	20	平均値の1.4倍(+40%)							1,147 692 497

■評価結果「1」の施設

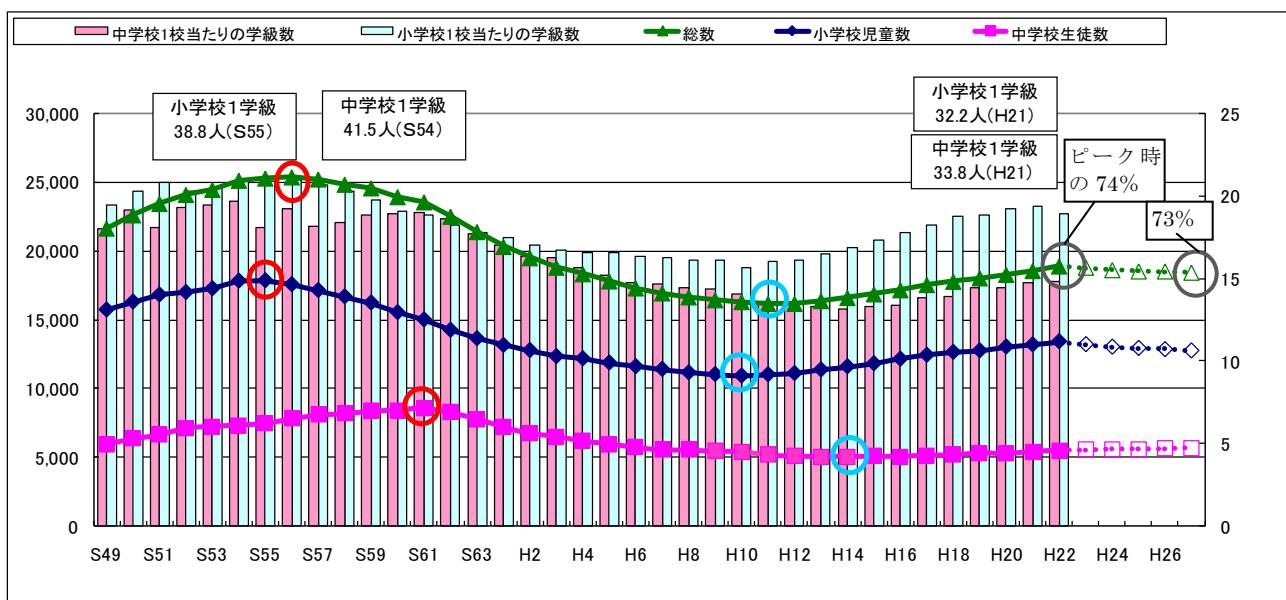
	2 老朽化状況					5 維持管理				
該当施設	第一中学校			第七中学校		第三中学校			第八中学校	
該当施設	・ 第一中学校			・ 第七中学校		・ 第三中学校			・ 第八中学校	
	・ 第二中学校			・ 第八中学校		・ 第八中学校			・ 浅間中学校	
今後の対応等	・ 今後、建替え等の検討が必要。			・ 建築年度が近接しており、更新時期が重なる						

(4) 利用状況

① 児童生徒数及び学級数の状況

- 府中市の児童生徒数は、昭和 56 年度にピーク（25,397 人）を迎え、その後減少して平成 11 年度に底となり、その後は微増して平成 22 年度には、18,918 人とピーク時の 74% の規模となっており、他の自治体と比較して、減少が小幅にとどまっています（都市町村部平均小学校 6 割、中学校 5 割：都教育委員会）。平成 23 年度から平成 27 年度については微減傾向になると予測されており、平成 27 年度は 18,446 人とピーク時の 73% の規模となる見通しです（都市町村部ピーク時の 6 割の予測：都教育委員会）。
- 児童数については、昭和 55 年度がピーク（17,840 人）で、その後、平成 10 年度 10,911 人を底に徐々に増加傾向にあります。平成 22 年度では、13,404 人とピーク時の 75% の規模となっています。平成 23 年度から平成 27 年度については微減傾向になると予測されており、平成 27 年度は 12,751 人とピーク時の 71% の規模となる見通しです。
- 生徒数についても、児童数のピークから 6 年後の昭和 61 年度に 8,587 人とピークを迎えます。一方、底は平成 14 年度 5,038 人を中心とした 3～4 年で、その後微増傾向にあります。平成 22 年度では、5,514 人とピーク時の 64% の規模であり、児童数と比較すると回復傾向が緩やかです。私立中学へ進学する児童が増加していることが考えられます。平成 23 年度から平成 27 年度についても微増傾向と推計されています。
- 1 校当たりの学級数をみると、ピーク時には小学校で昭和 56 年度に 21 学級、中学校で昭和 55 年度に 20 学級であったのに対し、平成 22 年度時点では、小学校が 19 学級で 1 校当たり 2 学級の減少、中学校が 15 学級で 1 校当たり 5 学級の減少となっています。
- 1 学級あたりの児童生徒数をみると、小学校ではピーク時 38.8 人だったのに対し、平成 22 年度時点では、32.2 人と 6.6 人減少し、中学校ではピーク時 41.5 人だったのに対し、平成 22 年度時点では、33.8 人と 7.7 人減少し、少人数化が進んでいます。

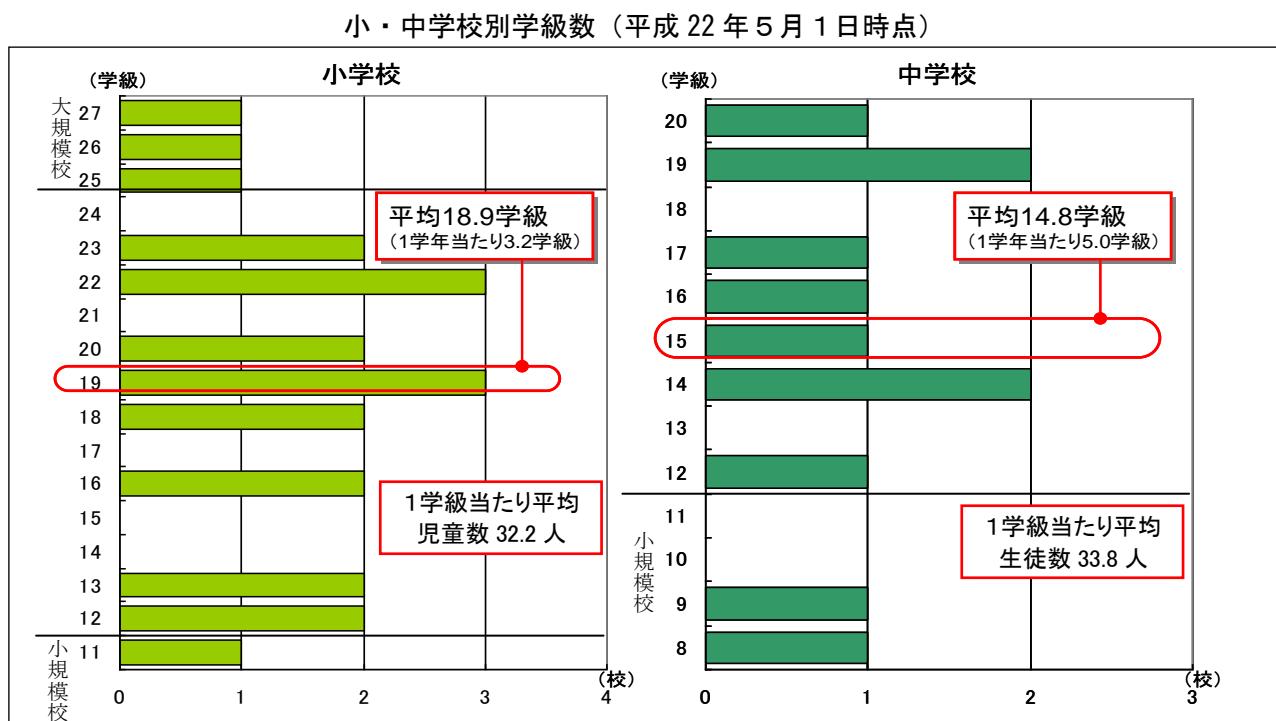
児童数・生徒数の推移



出所：府中市統計書

② 学級数の状況

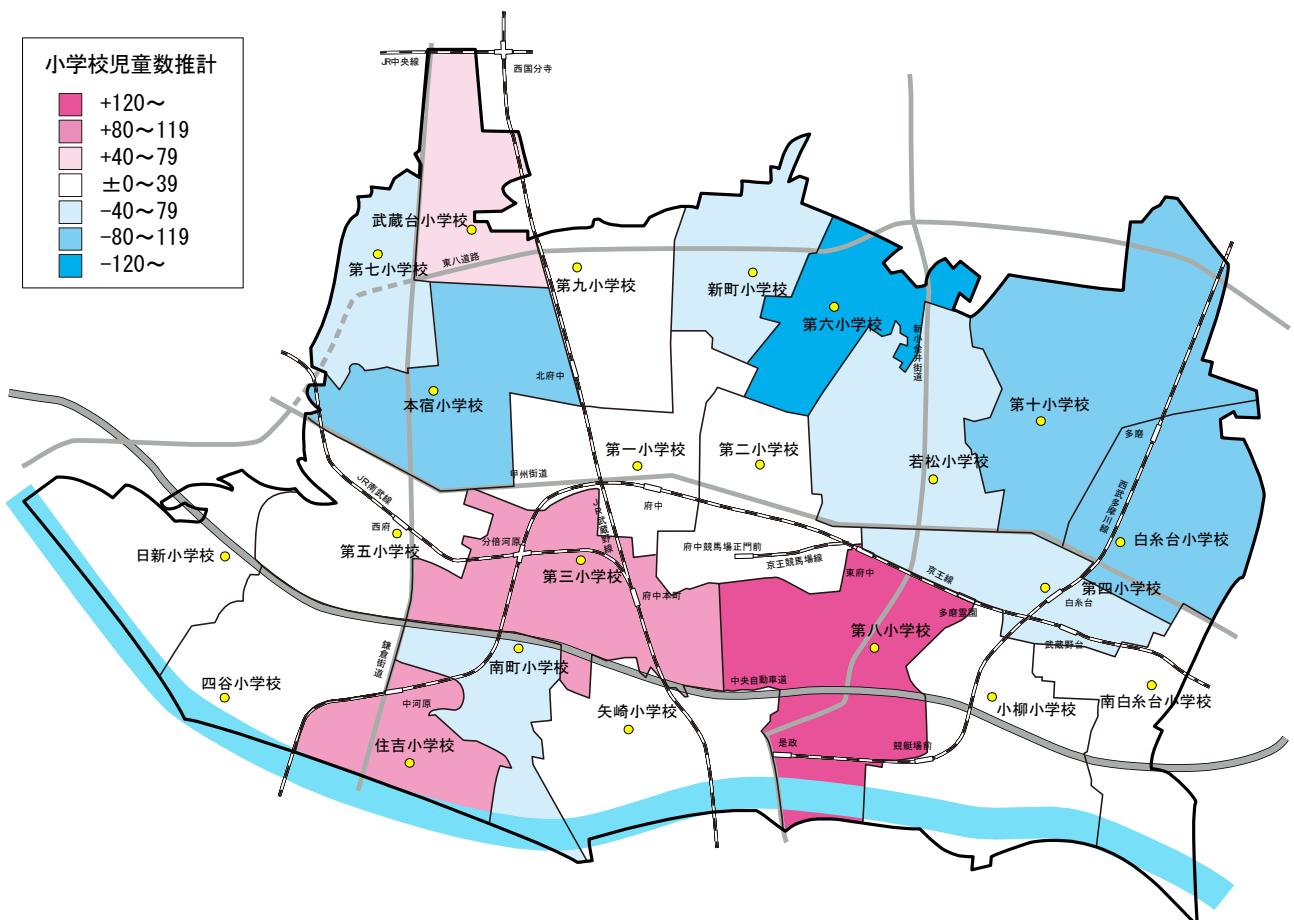
- ・ 小学校の学校別の学級数は、最小 11 学級から最大 27 学級と差があります。
- ・ 中学校も最小 8 学級から最大 20 学級と差があります。
- ・ 1 校当たりの学級数をみると、小学校は平均 18.9 学級、1 学年当たり 3.2 学級となっています。中学校は、平均 15 学級、1 学年当たり 5.0 学級となっています。
- ・ マンション等の建設により児童、生徒数が増加し、教室不足が生じ、平成 17 年度には小学校 4 校（第六小学校、第十小学校、本宿小学校、若松小学校）、平成 20 年度には中学校 1 校（浅間中学校）に仮設校舎を増設しています。
- ・ 1 学級当たりの児童・生徒数をみると、小学校平均では 32.2 人、中学校平均では 33.8 人となります。また、1 クラス当たり 20 人台の学校もあります。学校によって、児童・生徒数の増加している学校と減少している学校があります。



③ 今後の地域別児童生徒数の変化と配置

<小学校>

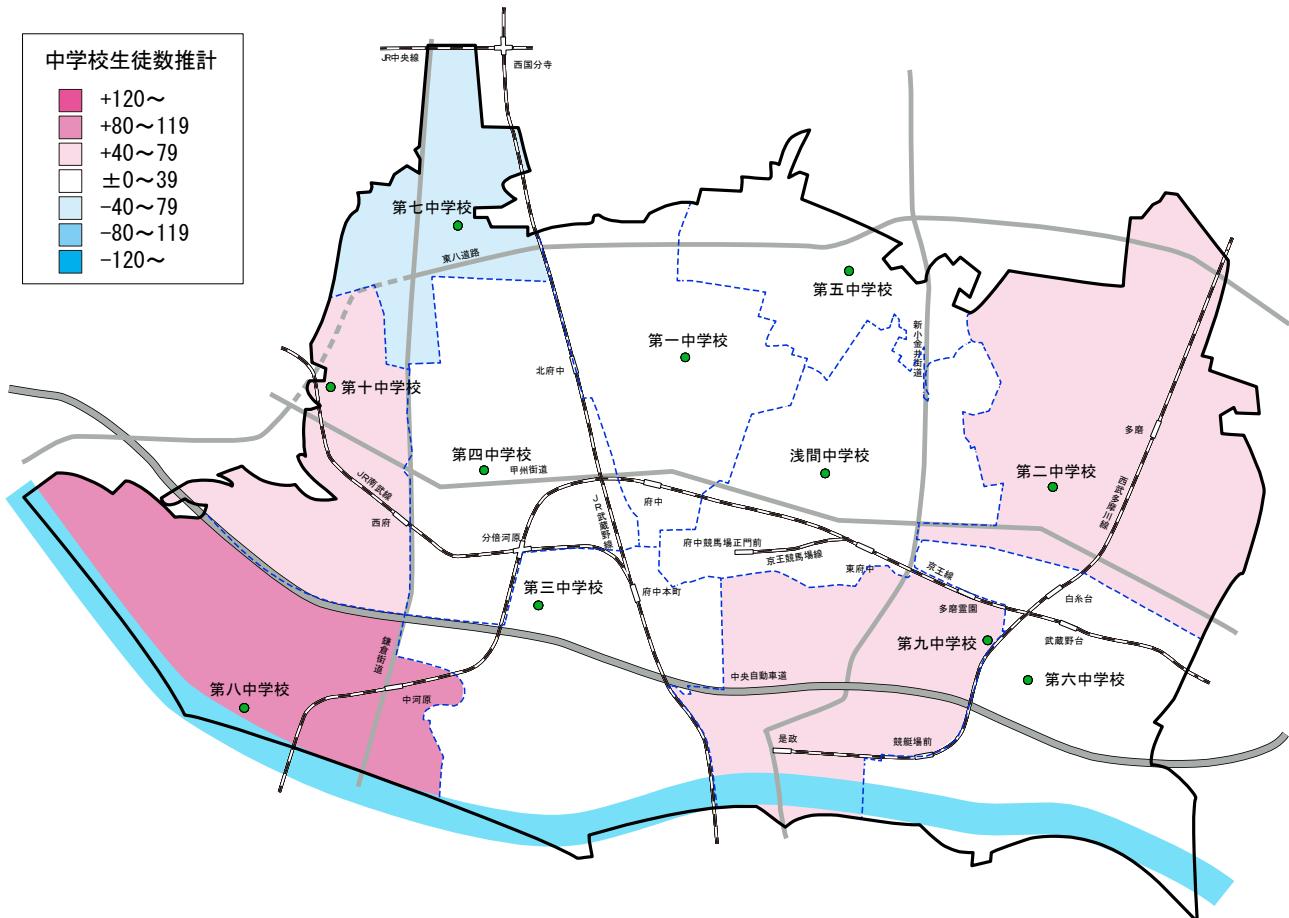
- 学区域別に平成 27 年度までの児童の将来推計をみると、全体としては、平成 22 年度 13,278 人から 12,751 人と 527 人、4 % の減少が見込まれます。
- 学校別にみると、第 3 地域や第 5 地域、第 1 地域といった市の北部に位置する学区において、児童数の減少が多く見込まれています。仮に 1 クラス 40 人とすると、3 クラス分減少するのが、第六小学校、2 クラス分減少するのが、本宿小学校、第十小学校、白糸台小学校です。このうち、近年のマンション等による児童の増加に対応して平成 17 年度に仮設校舎を増設したのは、第六小学校、第十小学校、本宿小学校です。これらの学校は今後児童が減少することが見込まれています。
- 一方、南部に位置する学区においては、増加または変化が少ないと見込まれる学校が多くなっています。児童が増加するのは、第八小学校、第三小学校、住吉小学校です。



※平成 22 年度から平成 27 年度の児童数の増減で色分け

<中学校>

- 学区域別に平成 27 年度までの生徒の将来推計をみると、全体としては、平成 22 年度 5,439 人から 5,695 人と 256 人、5 % の増加が見込まれます。
- 学校別にみると、南部の第八中学校が最も増加幅が大きく 2 クラス分の増加、1 クラス分増加するのが、第二中学校、第九中学校、第十中学校です。市の比較的周辺部で生徒数が増加する見込みです。
- 一方、減少幅が大きいと見込まれるのが第七中学校です。



※平成 22 年度から平成 27 年度の生徒数の増減で色分け

<小中学校全体>

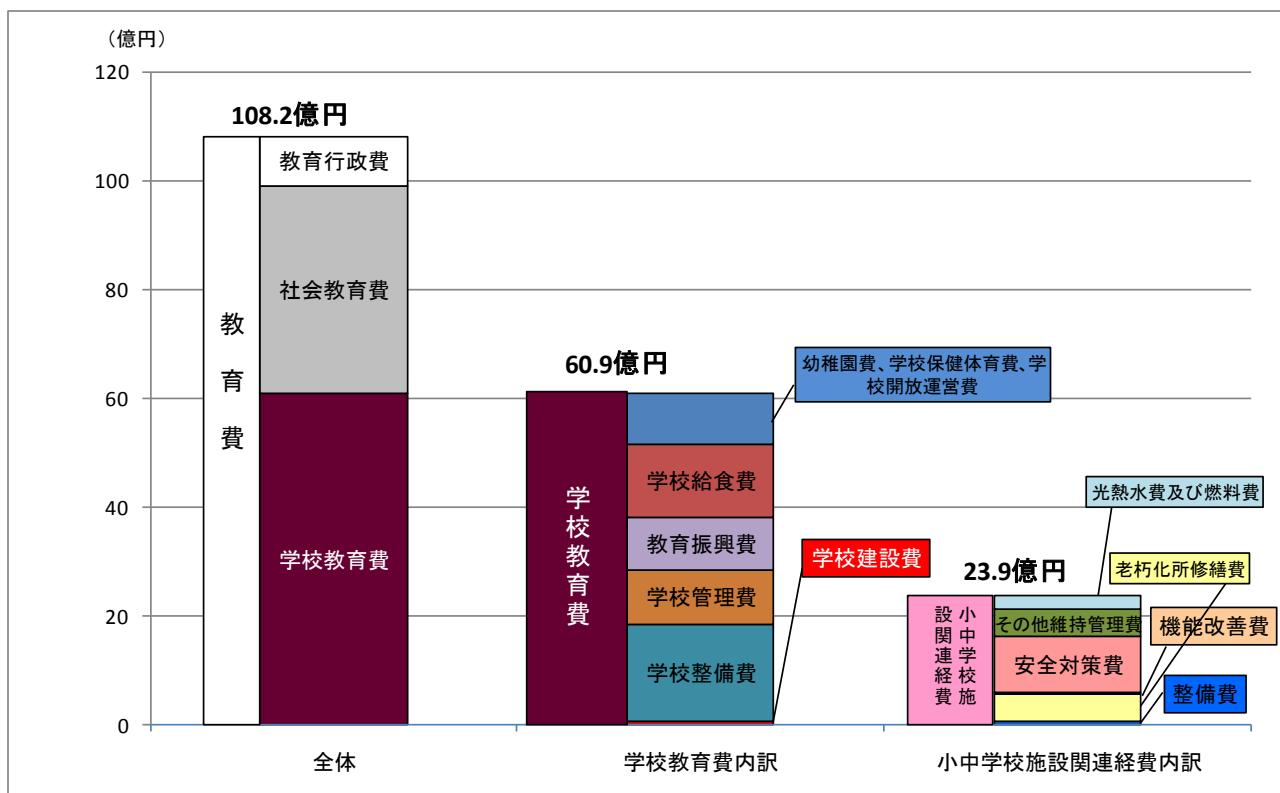
- 平成 24 年 4 月に学区域の変更が予定されています。
- 現在の学区域は、人口の増加に合わせて学校を設置してきたため、大小さまざまであり、通学に不便な地域も見受けられる状況です。
- 通学の利便性や適正な学級規模、地域性、将来的な人口増加が予想される地域に対する児童・生徒の分散化など、様々な問題を考慮して、合理性のある学区域とするため、新たな区域を決定しました。

(5) コスト状況

① 教育費全体

- 教育費は平成 21 年度で 108.2 億円となっています。そのうち学校教育費は 56.3%と半分強を占め、公民館や図書館、博物館、体育施設等の社会教育費が 35.1%、残りが総務費である教育行政費となっています。
- 学校教育費 60.9 億円の内訳をみると、最も多い学校整備費が約 3割を占め、次いで学校給食費が約 2割となっています。
- 施設関連費をみると、総額は 23.9 億円であり、このうち耐震補強等の安全対策費が 4割強と多くを占めています。

教育費（平成 21 年度）



教育費 (億円)	
学校教育費	60.9
社会教育費	38.0
教育行政費	9.3

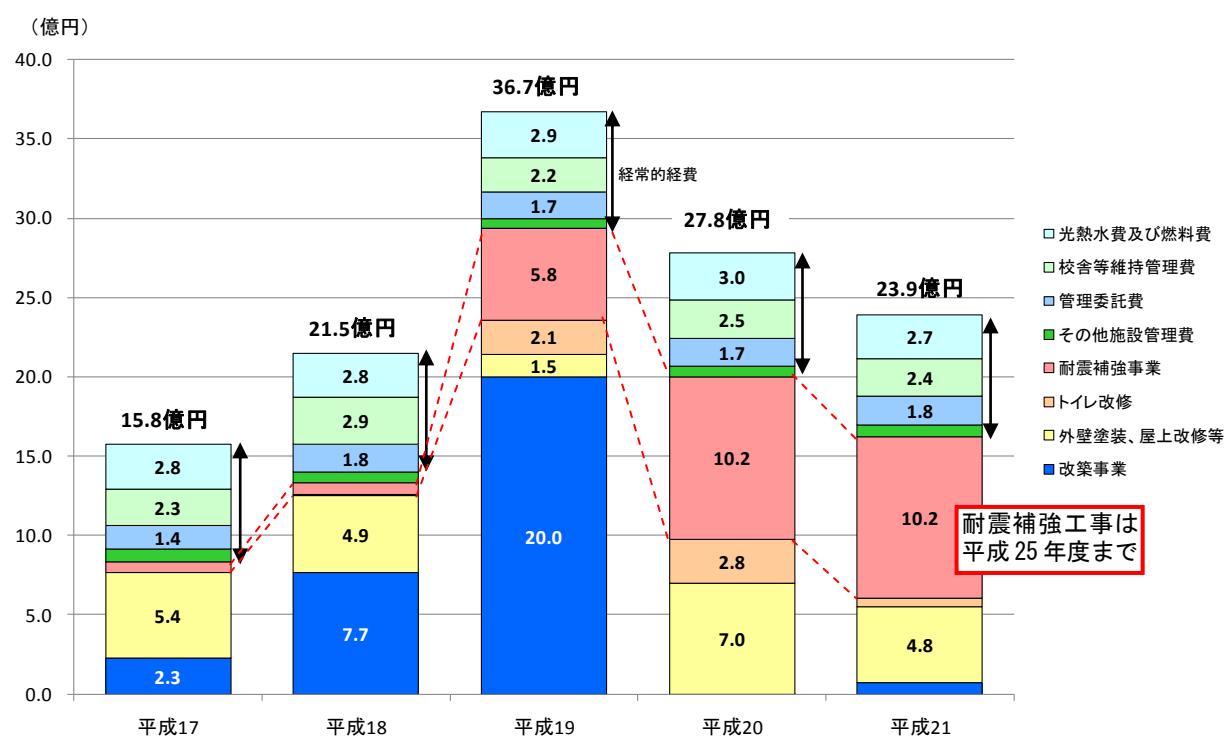
学校教育費	
学校建設費	0.7
学校整備費	17.8
学校管理費	10.0
教育振興費	9.7
学校給食費	13.2
幼稚園費、学校保健体育費、学校開放運営費	9.5

小中学校施設関連経費	
整備費	0.7
老朽化所修繕費	4.8
機能改善費	0.5
安全対策費	10.2
その他維持管理費	5.0
光熱水費及び燃料費	2.7

※その他維持管理費：管理委託費、その他施設管理費、校舎等維持管理費の合計

- 施設関連経費の推移をみると、光熱水費や維持管理費等の経常的経費は毎年7～8億円とほぼ変動がなく、その内訳もほぼ一定額となっています。
- それ以外の経費については、平成19年度までは改築事業を中心に行っていましたが、平成20年度からは改築事業が減少し、耐震補強事業や外壁塗装や屋上改修等の老朽箇所修繕に経費が投じられるようになっています。
- 耐震補強工事は、平成25年度までにすべての校舎の耐震化が終了するよう事業が進められています。
- また、老朽化が進む給食センターの建替えが検討されています。

施設関連経費の推移

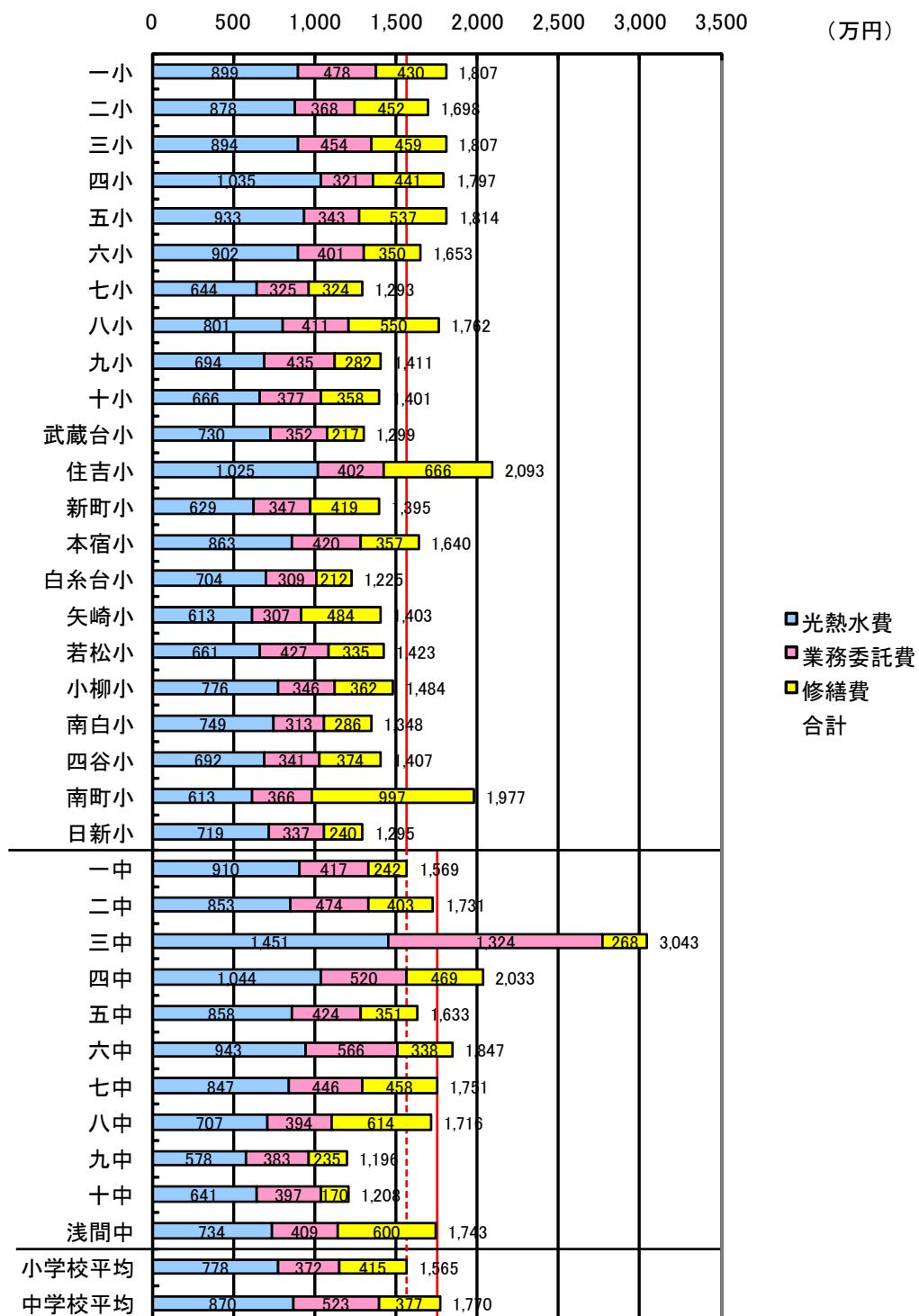


	平成17	平成18	平成19	平成20	平成21	(千円)
経常的経費	光熱水費及び燃料費	283,292	276,760	289,185	295,846	271,455
	管理委託費	143,964	176,049	167,334	171,400	184,711
	その他施設管理費	81,722	70,157	58,693	67,405	76,082
	校舎等維持管理費	234,060	294,841	217,598	245,092	235,496
安全対策費	耐震補強事業	64,712	71,678	579,492	1,024,235	1,015,882
機能改善費	トイレ改修	0	6,090	214,062	278,362	53,298
老朽化所修繕費	外壁塗装、屋上改修等	538,981	485,757	147,951	698,591	477,163
整備費	改築事業	229,950	767,524	1,996,261	596	73,373
施設関連経費 合計		1,576,681	2,148,856	3,670,578	2,781,527	2,387,460

② 維持管理費（詳細）

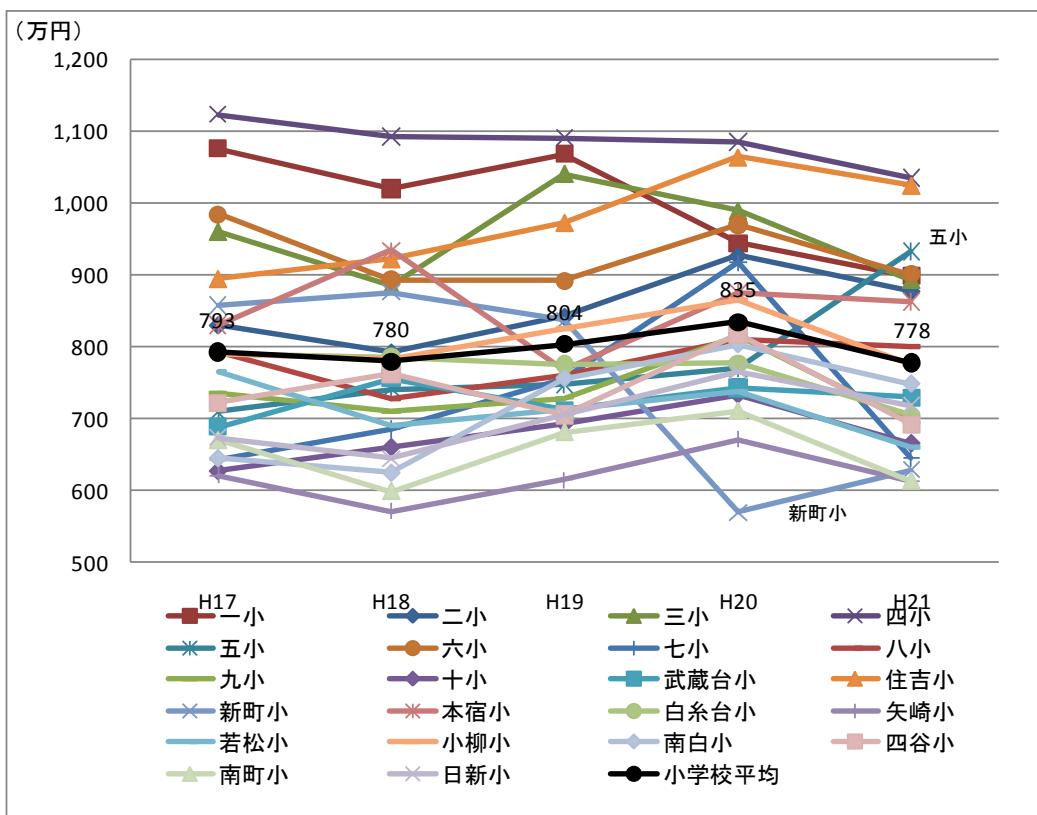
- 維持管理にかかる費用を各校別にみると、小学校では第七小学校の1,293万円～住吉小学校の2,093万円とほぼ2倍の差があります。
- 中学校では、第九中学校の1,196万円～第三中学校の3,043万円と2.5倍の差があります。
- 費目の内訳を小学校平均、中学校平均で比較すると、どちらも光熱水費は費用の半分を占めていますが、修繕費は古い学校が多い小学校の方が多い、中学校は業務委託費が多くなっています。各校別にみると、第三中学校は平均よりも業務委託費が多く、南町小学校は修繕費が多いなど、差がみられます。

各校別維持管理費（平成21年度）

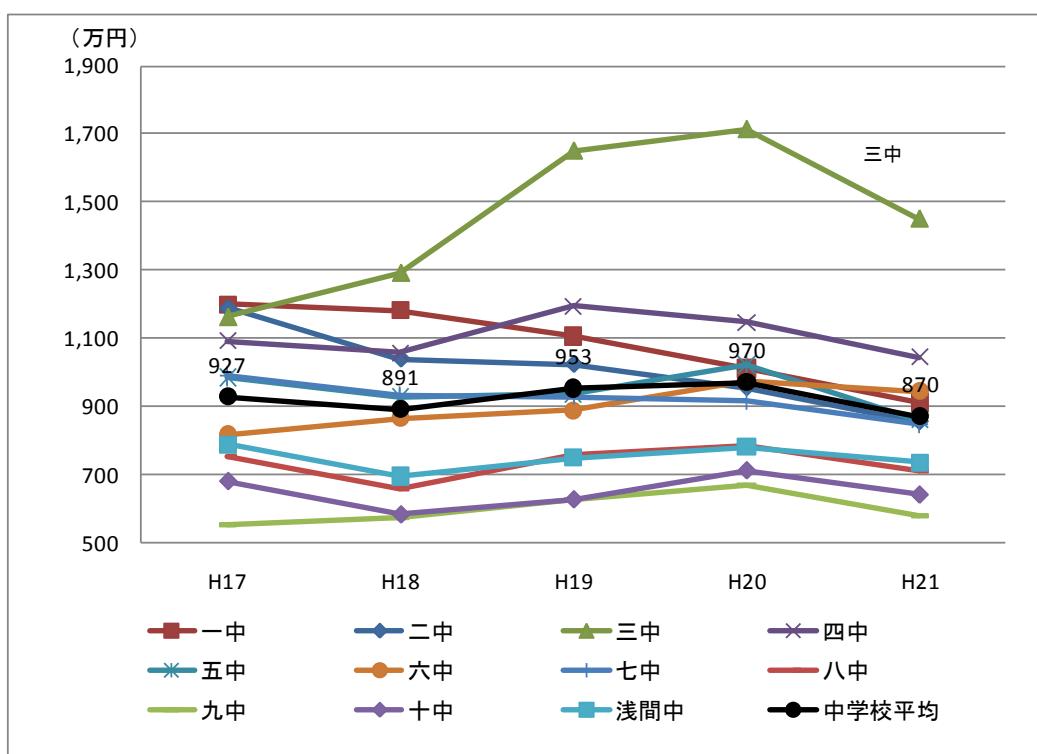


- 光熱水費は平成 21 年度で計 267 百万円となっており、最近 5 年間の推移を平均でみると、小学校は 7.8~8.4 百万円、中学校は 8.7~9.7 百万円で推移しており、大きな変動はありません。学校別にみると小学校では、新町小学校が減少、五小が増加傾向にあり、中学校では、平成 19 年に改築された三中が増加傾向にあります。

光熱水費（小学校）

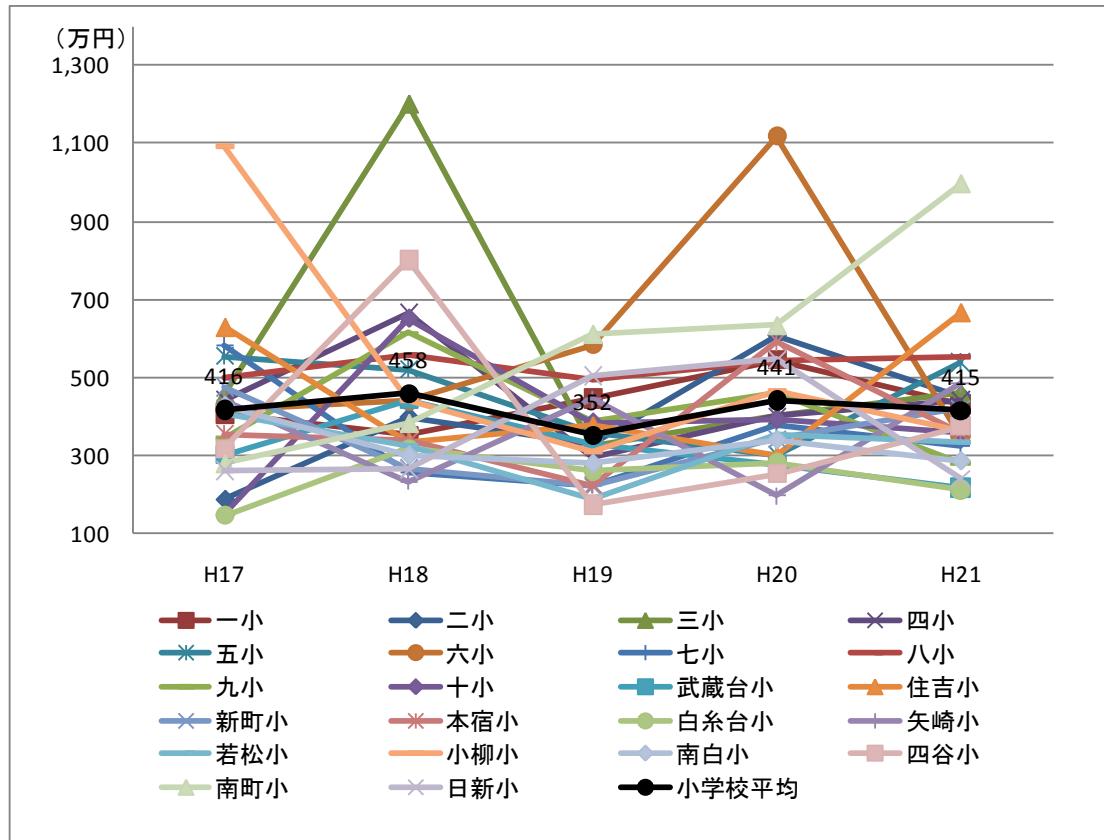


光熱水費（中学校）

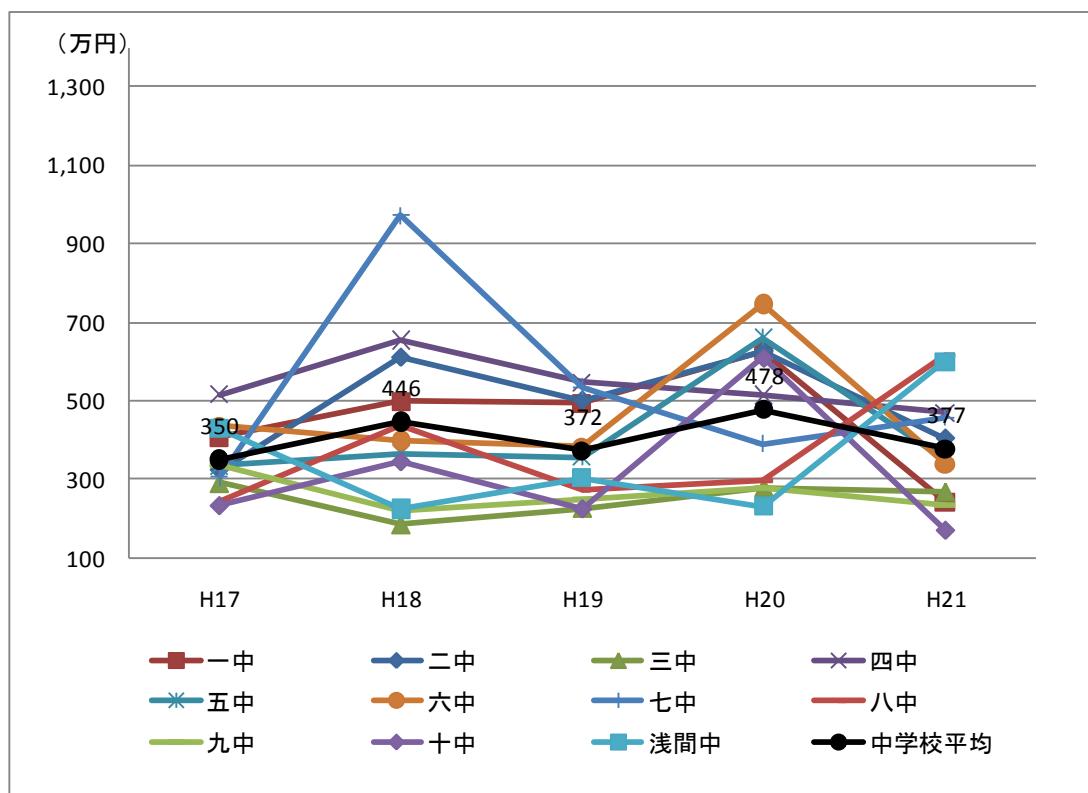


- 修繕費は平成 21 年度で計 133 百万円となっており、推移をみると、年度により一時的に修繕費が通常時の倍程度になっている学校もありますが、それ以外は、おおむね 3.5~4.6 百万円で推移しています。中学校も同様であり、3.5~4.8 百万円で推移しています。

施設修繕費（小学校）

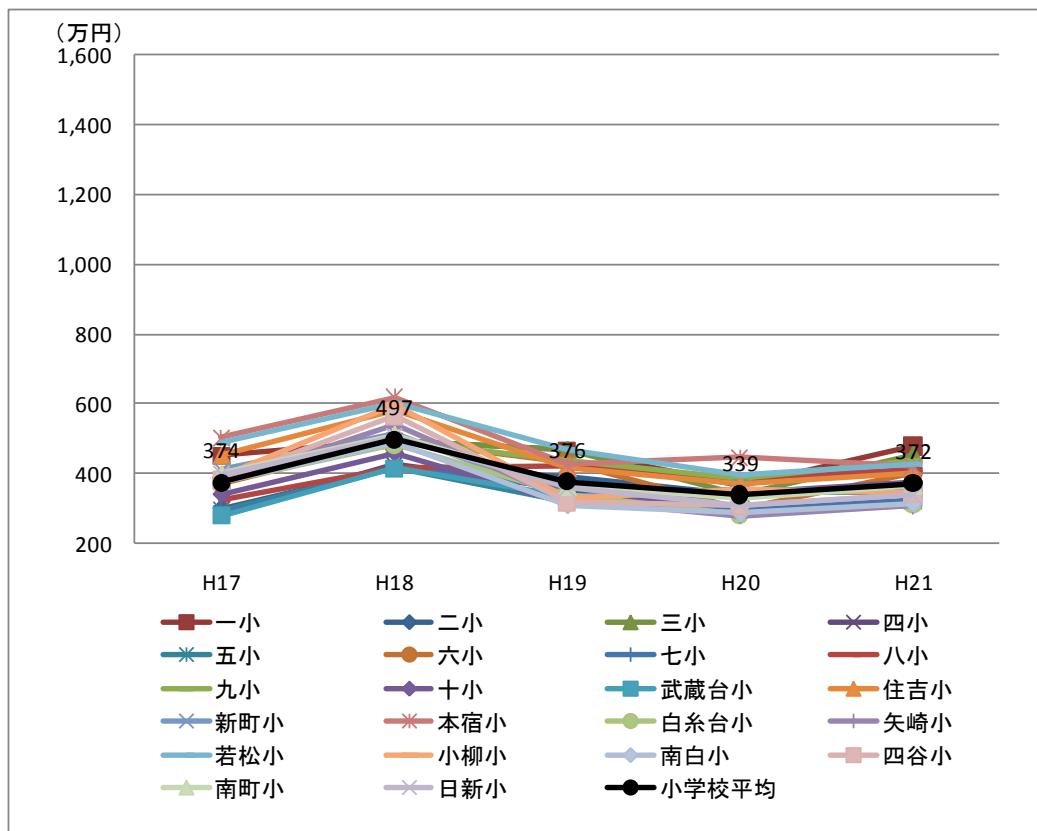


施設修繕費（中学校）

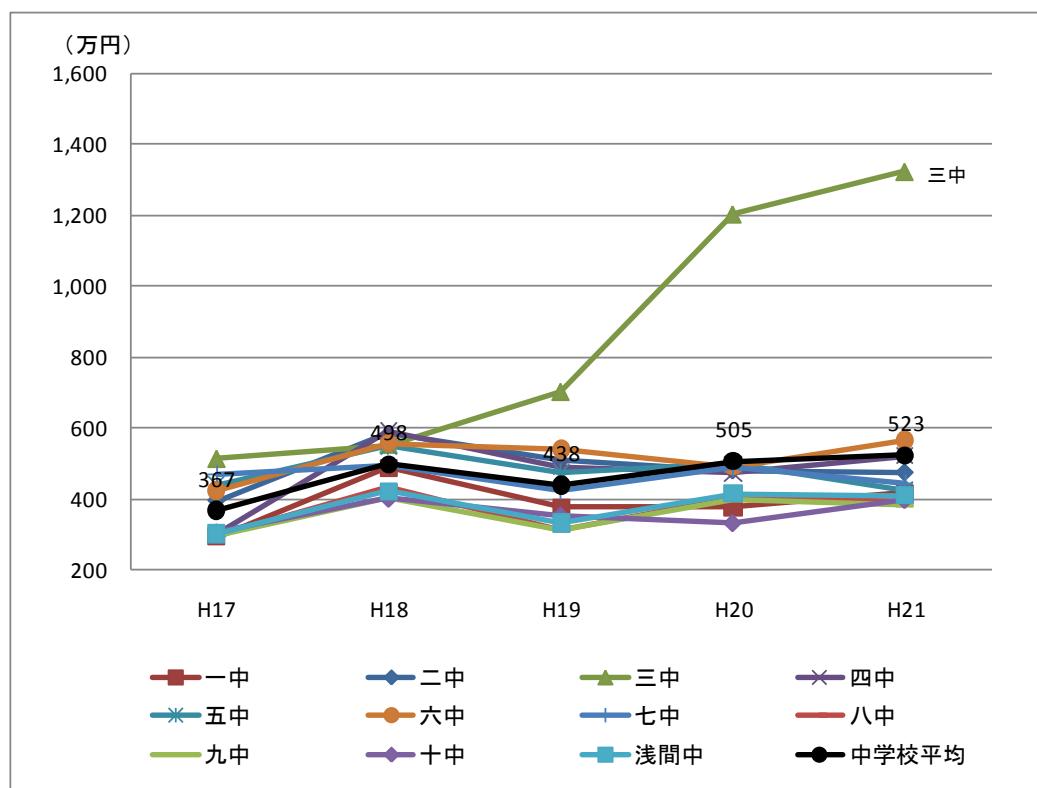


- 施設管理委託料は平成 21 年度で計 139 百万円となっており、推移をみると小学校においては、3 ~ 5 百万円で推移しています。中学校においては、第三中学校の委託費が平成 19 年度以降増加しており、従来の 2 倍以上となっています。

施設管理委託料（小学校）

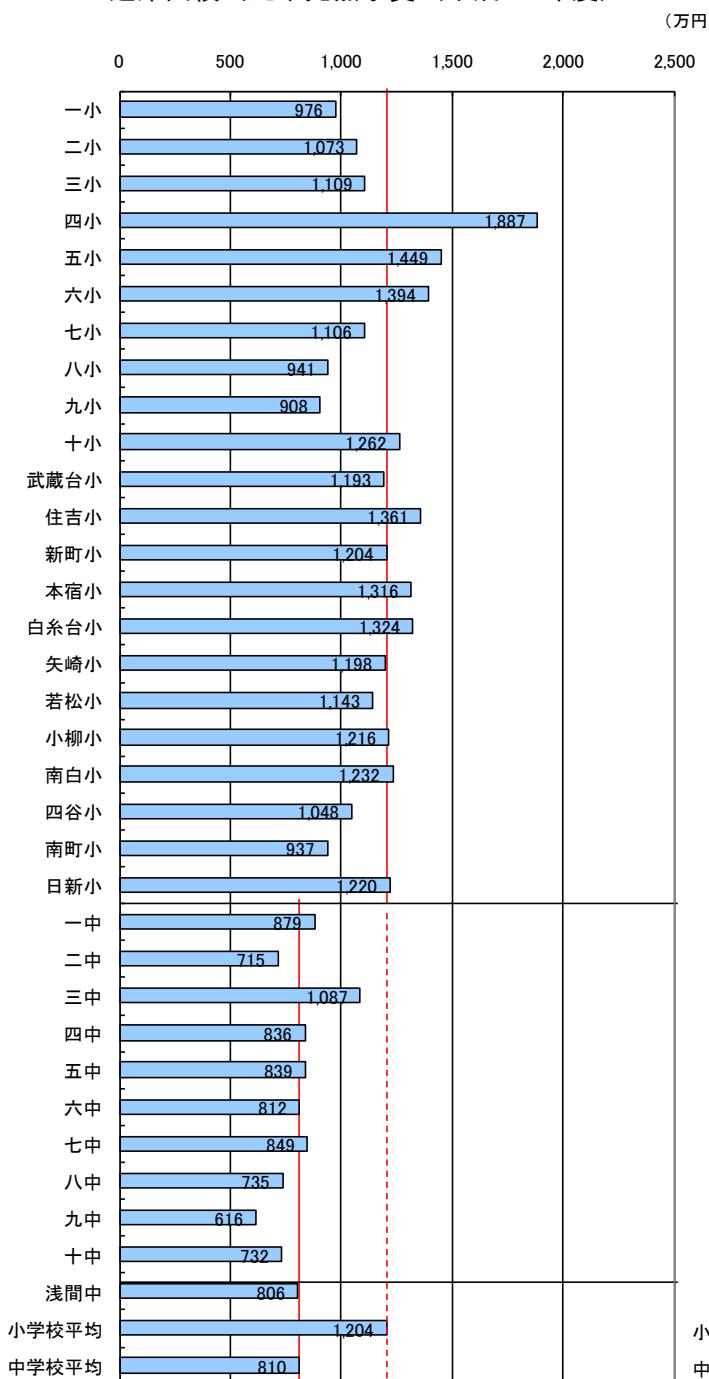


施設管理委託料（中学校）

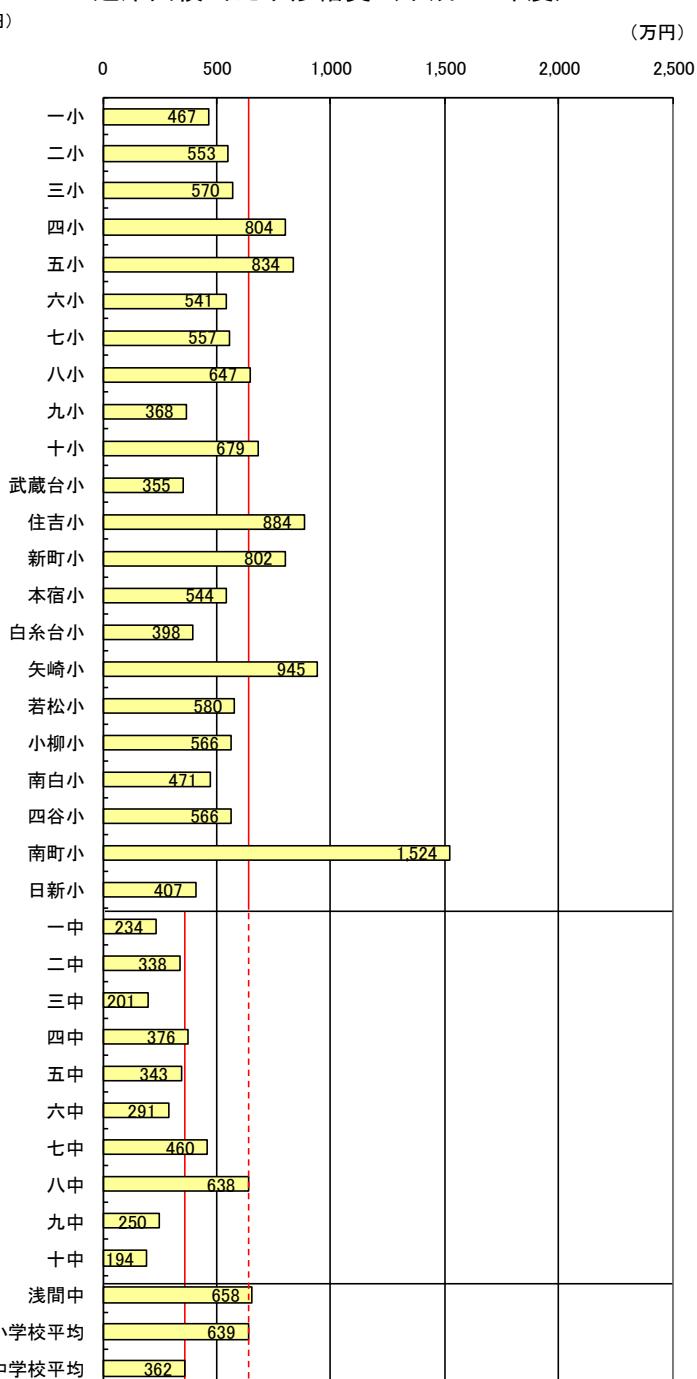


- ・ 次に面積当たりで費用を比較してみると、まず小学校の方が中学校よりも光熱水費が多くなっています。これは床面積に対して児童数が多いことが要因の一つとして考えられます。次に学校別にみると、第四小学校、第三中学校の光熱水費が多くなっています。第四小学校は、自校式で給食を提供しており、また特別教室が冷房化されていることなどが要因と考えられます。また第三中学校は平成19年度に改築され、規模が中学校で最も大きく、冷房化されていることが原因と考えられます。
- ・ 一方、学級増に伴いオープンスペースを普通教室にするための費用を修繕費で対応した南町小学校は、修繕費が平均の3倍程度となっています。

延床面積当たり光熱水費（平成21年度）



延床面積当たり修繕費（平成21年度）



(6) 現状と課題

① 概要

- ・ 小学校 22 校、中学校 11 校、計 26 万 m²となっています。
- ・ 児童数は 13.4 千人、生徒数は 5.5 千人となっています。

② 施設状況

- ・ 第二小、第三中、浅間中を除き、築 30 年以上の施設が多く、今後施設の改修等が必要となります。
- ・ 平成 25 年度までに全ての学校の耐震化を進め、平成 23 年度夏までに普通教室の冷房化を図ります。

③ 建物状況

- ・ 小学校・中学校ともに平成 25 年度までに耐震化を完了する予定です。
- ・ ほとんどの学校が築 30 年を超えており、今後建替え等の検討が必要になります。また建築年度が近接していることから更新時期が重なり、財政支出が増加する可能性があります。
- ・ 自校式で給食を提供しており、特別教室が冷房化されている第四小学校、改築により規模が大きく冷房化された第三中学校で光熱水費が高くなっています。
- ・ また、学級増とともに教室の修繕を行った南町小学校や、矢崎小学校、第八中学校、浅間中学校で修繕費が高くなっています。

④ 利用状況（児童生徒数及び学級数の状況）

- ・ 昭和 56 年のピーク時より減少してはいるが、ピーク時の 74% と他の自治体と比較して減少が小幅にとどまっています。
- ・ 学校により、学級数や 1 学級当たりの児童・生徒数に差が生じており、今後の児童・生徒数の将来予測等を踏まえ、学区が見直され、平成 24 年度より新学区に移行します。短期的には児童・生徒数が増加する地域がある一方、長期的には年少人口が減少する地域が多くなっています。

⑤ コスト状況

- ・ 学校施設に関連するコストは 23.9 億円であり、平成 19 年度までは改築事業に経費が充当され、平成 19 年以降は耐震補強に支出されています（平成 25 年度まで）。
- ・ 光熱水費や維持管理費等の経常的経費は 7 ~ 8 億円とほぼ一定しています。
- ・ 学校別には冷房化されている学校、給食が自校式となっている学校などで、光熱水費が高い傾向があります。

⑥ 今後の方向性

- ・ 冷房化の推進による光熱水費の増大をいかに抑制するかは喫緊の課題です。
- ・ 平成 25 年度に耐震補強工事が終了した後、老朽化の状況を踏まえ、施設改修の時期を検討し、教育環境の向上、多様な学習形態に対応しうる施設の方向性を検討する必要があります。
- ・ 地域・学校により今後の児童生徒数が異なることから、学区編成の見直しの結果の各学校の児童・生徒数の状況をみつつ、地域における学校施設の配置のあり方を中長期的に検討する必要があります。
- ・ その際には、学校施設を学校単独の機能として整備するか、長期的な視点から学校施設の有効活用を図り、コミュニティの一部を構成する施設として整備するか、文化センターの改修及び機能の見直しと並行して検討する必要があります。
- ・ 教育目的以外で施設を利用する場合には、管理区分や施設の配置等を工夫する必要があります。

2－5 保育所、幼稚園（市立保育所 16 施設・市立幼稚園 3 施設）

(1) 概要

- 府中市では、市立保育所が 16 施設 12,289 m²、市立幼稚園が 3 施設 2,176 m²あります（平成 22 年 4 月 1 日現在）。
- 保育所の数と定員については、市立 16 施設、定員 1,745 人、私立 21 施設、定員 2,166 人で、主に新設保育所等の 4～5 歳クラスに空きが出ているため、平成 22 年 4 月現在の入所率は全体で 99% となっています。
- 幼稚園の数と定員については、市立 3 園、定員 420 人、私立 17 園、定員 3,770 人、全体の入園率は 101% です（平成 22 年 5 月 1 日）。

	保育所	幼稚園
設置目的・根拠法	<p>保育に欠ける乳幼児及び児童のために、良い環境及び指導を与え、健全な心身の発育を促し、社会に適応するように育成し、その保護者とともに福祉を図ることを目的とします。</p> <p>(児童福祉法) 【府中市立保育所条例】</p>	<p>幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、児童を保育し、児童の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とします。</p> <p>(学校教育法) 【府中市立幼稚園条例】</p>
事業内容	<p>保育に欠ける児童の保育を行います。また、障害児保育、長時間の保育を必要とする児童を対象とした延長保育、在宅子育て家庭を対象としたひろば事業などを行っています。</p> <p>(児童福祉法) 【府中市立保育所条例】</p>	<p>市立幼稚園における教育・保育事業のほか、私立幼稚園に在籍する児童の保護者負担を軽減するため、就園奨励費補助金、保護者補助金、入園料補助金などの交付を行うとともに、児童教育に要する職員研修費、共同研修費などの補助事業を行っています。また、情緒障害や障害のある児童を市立幼稚園に受け入れる体制を整え、市立幼稚園児特別支援教育事業を実施するなど、広く児童教育の充実と振興に努めています。</p>
所管	子ども家庭部保育課	教育部学務保健課
保育料	有料	有料

施設一覧（市立保育所）

地域	施設名	建築年度		延床面積 (m ²)	入所児童数 (人)	定員 (人)	備考
第1	朝日保育所	S45	1970	525	91	92	
第2	東保育所	S49	1974	753	117	114	
第2	小柳保育所	S46	1971	626	98	99	
第3	北保育所	S58	1983	797	123	119	
第3	中央保育所	S62	1987	729	112	108	
第4	南保育所	H1	1989	692	66	67	
第4	八幡保育所	S48	1973	658	107	101	
第4	三本木保育所	S49	1974	1,185	142	148	
第5	北山保育所	H5	1993	800	111	112	
第6	西保育所	S61	1986	728	114	113	
第6	西府保育所	S50	1975	661	108	107	
第6	美好保育所	S50	1975	659	109	107	都営住宅1階部分
第7	住吉保育所	S45	1970	677	119	113	都営住宅1階部分
第7	本町保育所	S48	1973	563	104	101	
第7	高倉保育所	H17	2005	1,668	145	143	いきいきプラザ内 トワイライトステイ含む
第8	四谷保育所	S47	1972	568	97	101	
	合 計				1,763	1,745	入所率 101%

施設一覧（市立幼稚園）

地域	施設名	建築年度		延床面積 (m ²)	学級数	園児数 (人)	定員 (人)	備考
第2	小柳幼稚園	S50		704	4	111	140	
第4	みどり幼稚園	S50		698	4	117	140	
第7	矢崎幼稚園	S44		779	4	80	140	
	合 計				12	308	420	入園率 73%

施設一覧（参考：私立保育園）

地域	施設名	入所児童数 (人)	定員 (人)
第1	山手保育園	74	70
第1	さくらんぼ保育園	111	110
第1	わらしこ保育園	98	100
第1	キッズエイド武蔵保育園	61	60
第1	やまびこ保育園	54	60
第2	是政保育園	140	140
第2	押立保育園	151	151
第2	にじのいろ保育園	87	87
第2	押立第二保育園	61	61
第2	キッズルームこっこ保育園	45	50
第3	めぐみ第二保育園	42	50
第4	府中愛児園	304	301
第4	晴見保育園	84	80
第4	府中めぐみ保育園	36	36
第5	千春保育園	164	174
第6	高安寺保育園	171	170
第7	南分倍保育園	108	105
第7	府中保育園	136	147
第7	キッズランド府中保育園	41	54
第7	府中中河原雲母	36	60
第8	第2府中保育園	114	100
		2,118	2,166

施設一覧（参考：私立幼稚園）

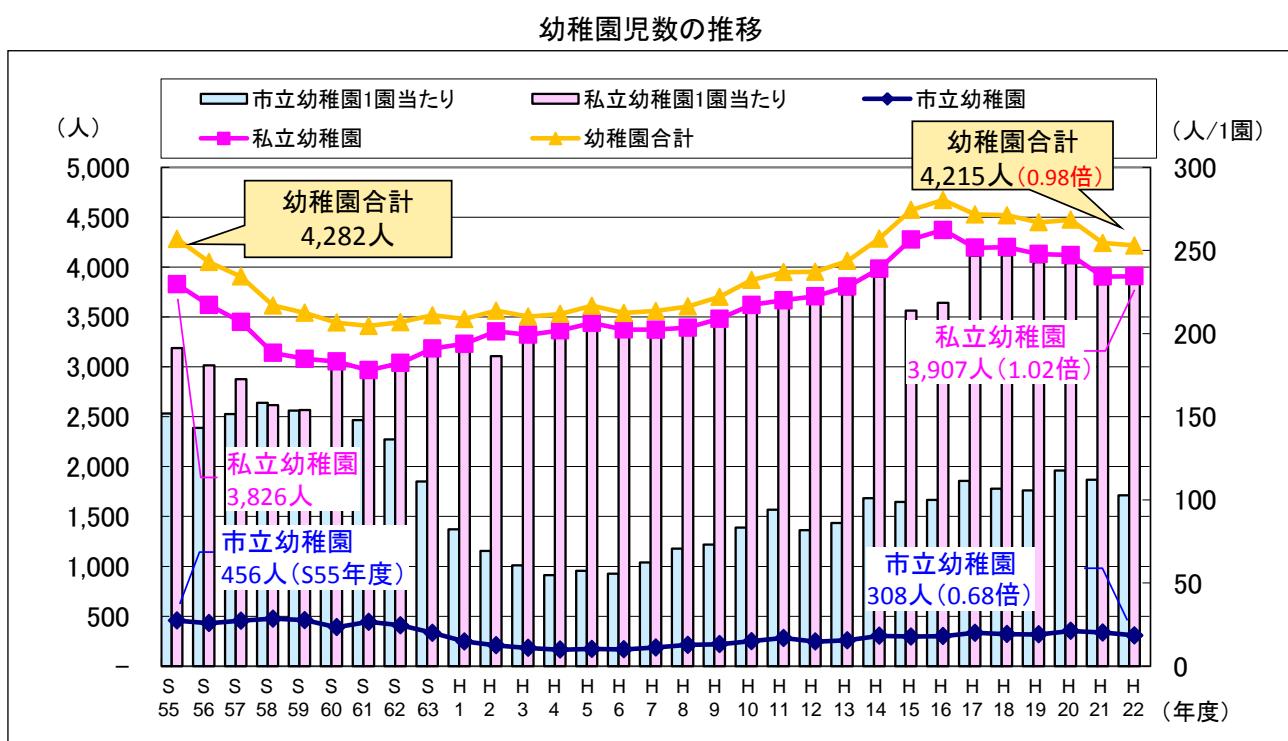
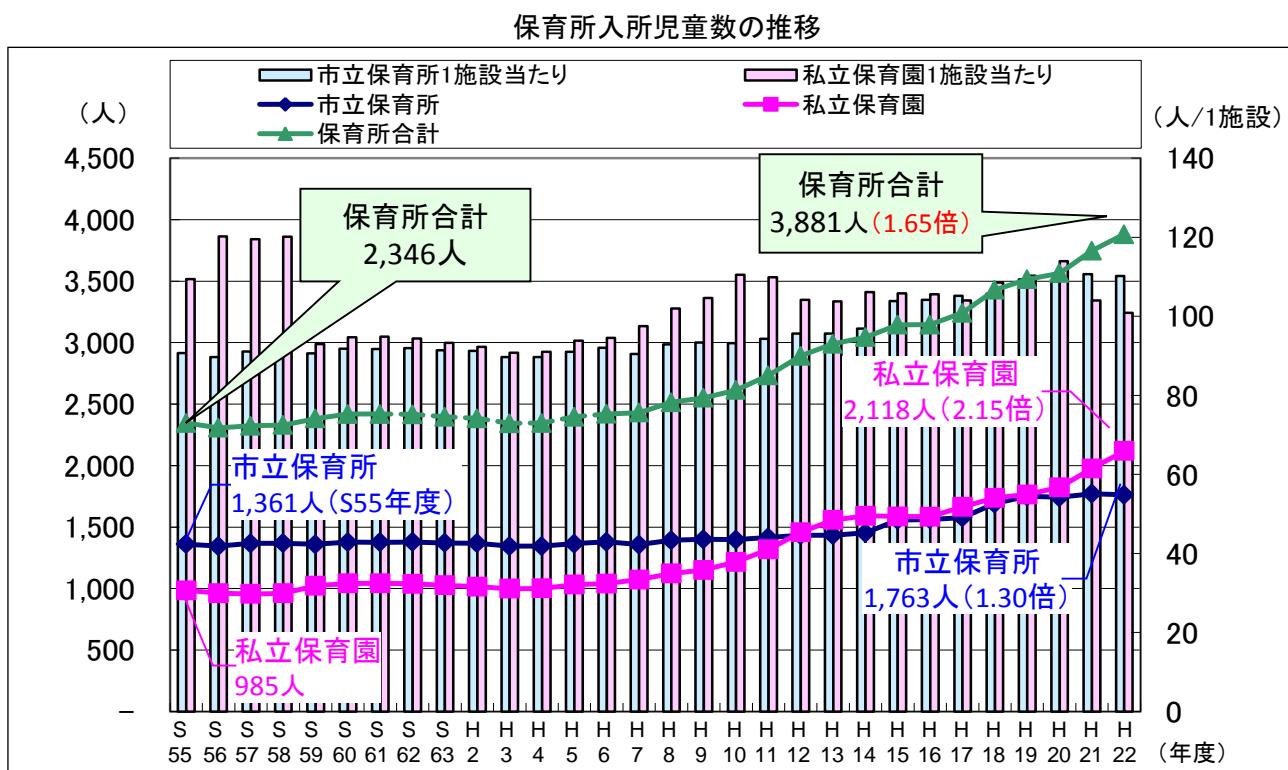
地域	施設名	園児数 (人)	定員 (人)
第1	府中つくし幼稚園	192	175
第1	府中白糸台幼稚園	457	420
第1	武蔵野学園ひまわり幼稚園	66	120
第1	府中伎成幼稚園	132	210
第2	府中白百合第二幼稚園	303	245
第3	明星幼稚園	266	310
第3	府中新町幼稚園	239	240
第3	三光幼稚園	134	160
第3	あおい第一幼稚園	187	120
第4	府中文化幼稚園	205	120
第4	府中天神町幼稚園	277	350
第5	北山幼稚園	235	160
第6	府中白百合幼稚園	177	140
第7	府中わかば幼稚園	337	400
第7	府中おともだち幼稚園	128	120
第8	府中ひばり幼稚園	398	280
第8	府中あおい幼稚園	174	200
		3,907	3,770

「出所：学務保健課作成資料
平成22年5月1日現在」

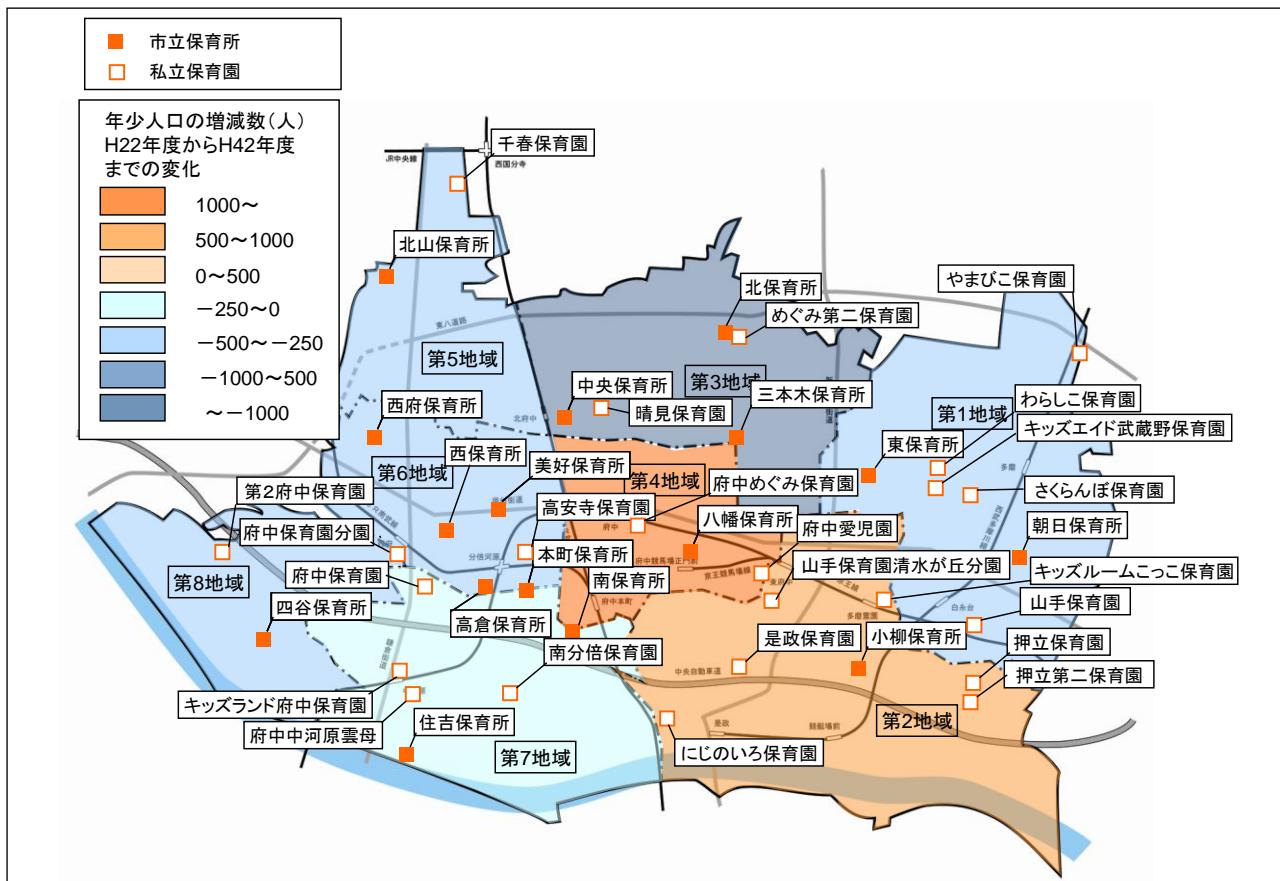
「出所：保育課作成資料
平成22年4月1日現在」

② 園児数の推移

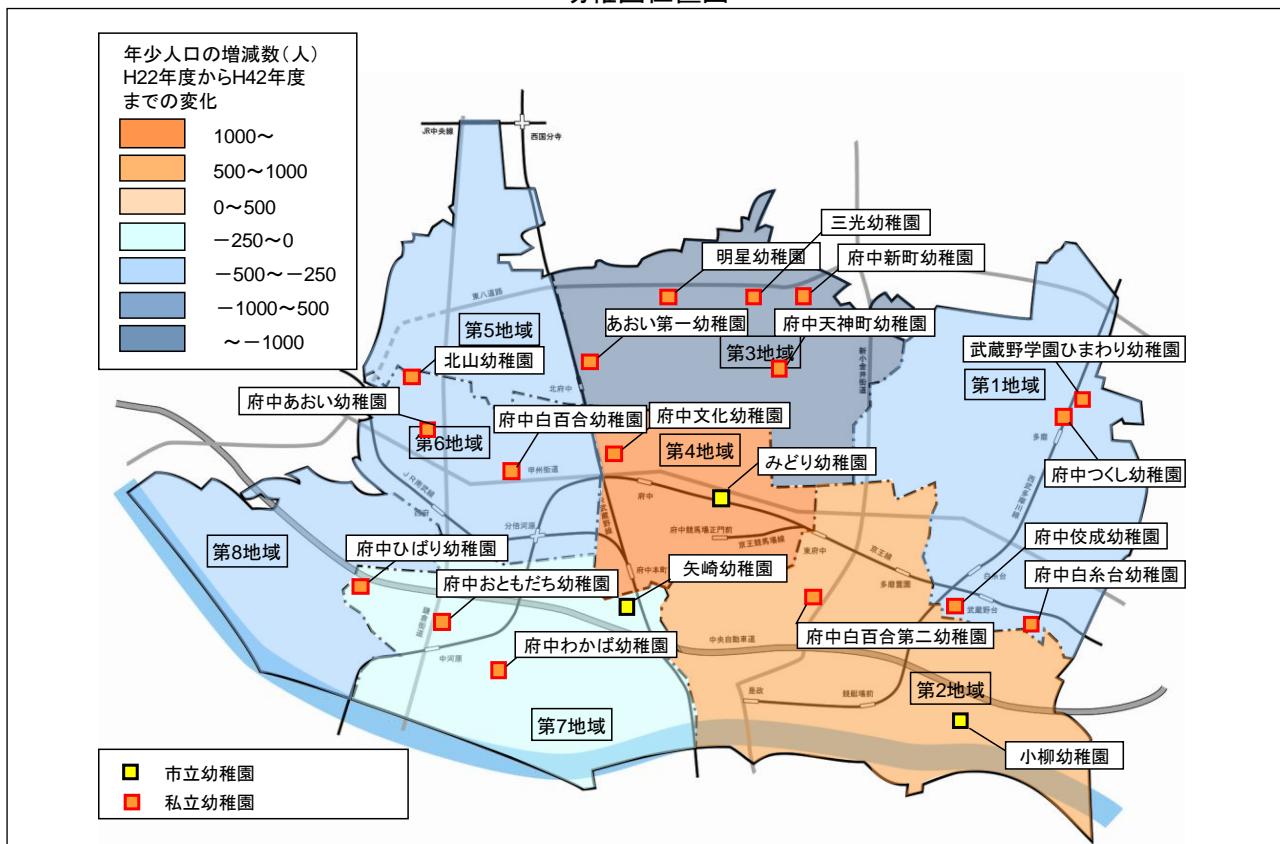
- 市内保育所の入所児童数は、昭和55年度の2,346人から増加傾向にあり、平成22年度には3,881人と1.65倍となっています。そのうち市立保育所は1,361人から1,763人と1.30倍、私立保育園は985人から2,118人と2.15倍となっています。
- 幼稚園の園児数は、近年減少傾向にあり、平成17年度が4,527人であったのに対し、平成22年度は4,215人と7%程度の減となっています。



保育所位置図



幼稚園位置図

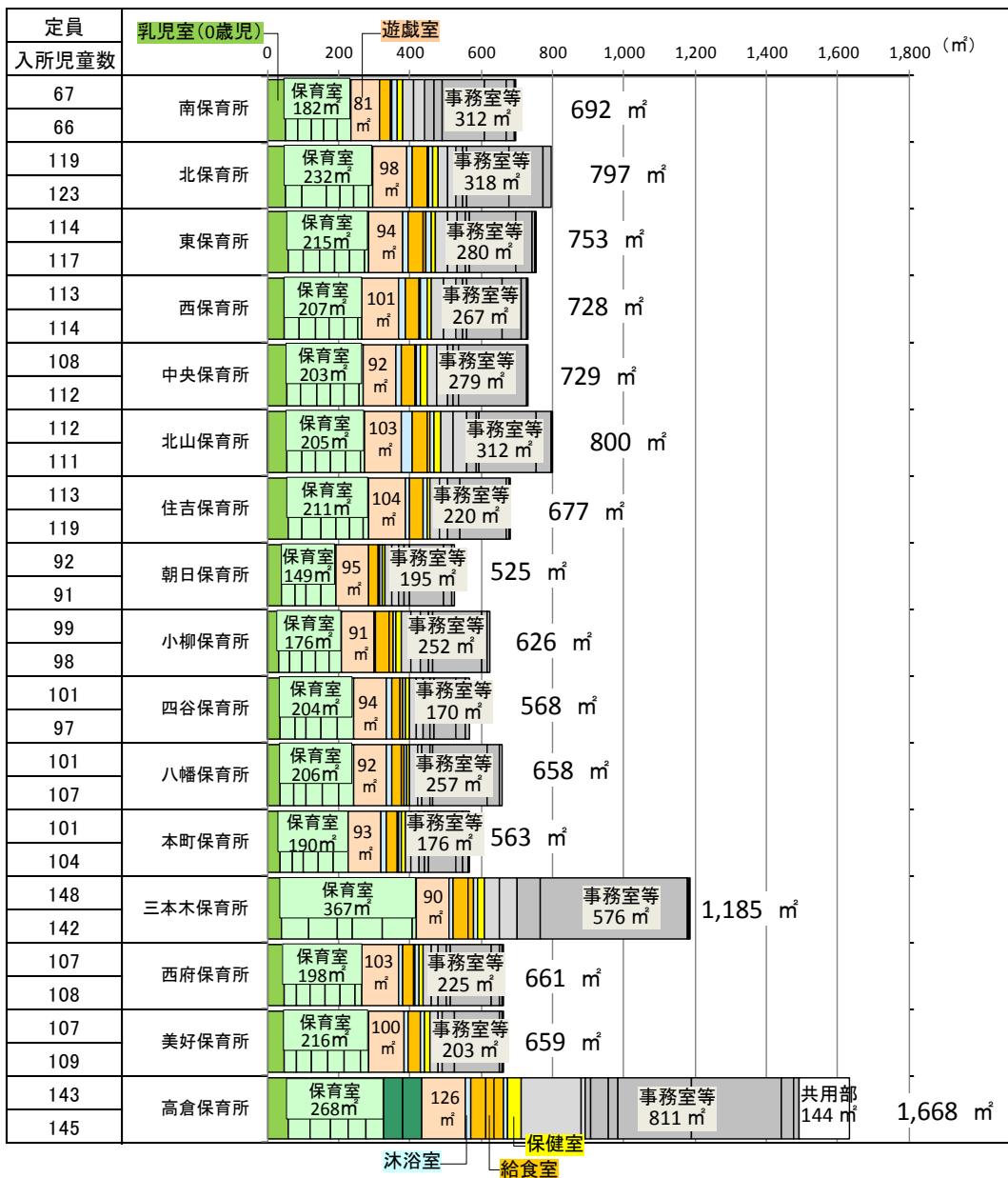


(2) 施設状況

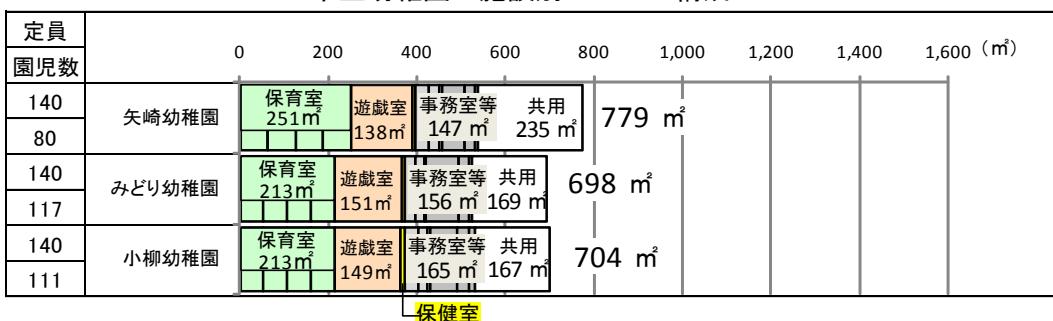
① 施設規模（延床面積）及びスペース構成

- 市立保育所 1 施設当たりの平均規模は約 768 m²で、スペース構成は乳児室（0歳児室）、保育室（1歳以上）、遊戯室、沐浴室、給食室等となっています。
- 市立幼稚園は 1 施設当たりの平均規模は 725 m²で、スペース構成は保育室、遊戯室、保健室等となっています。

市立保育所 施設別スペース構成



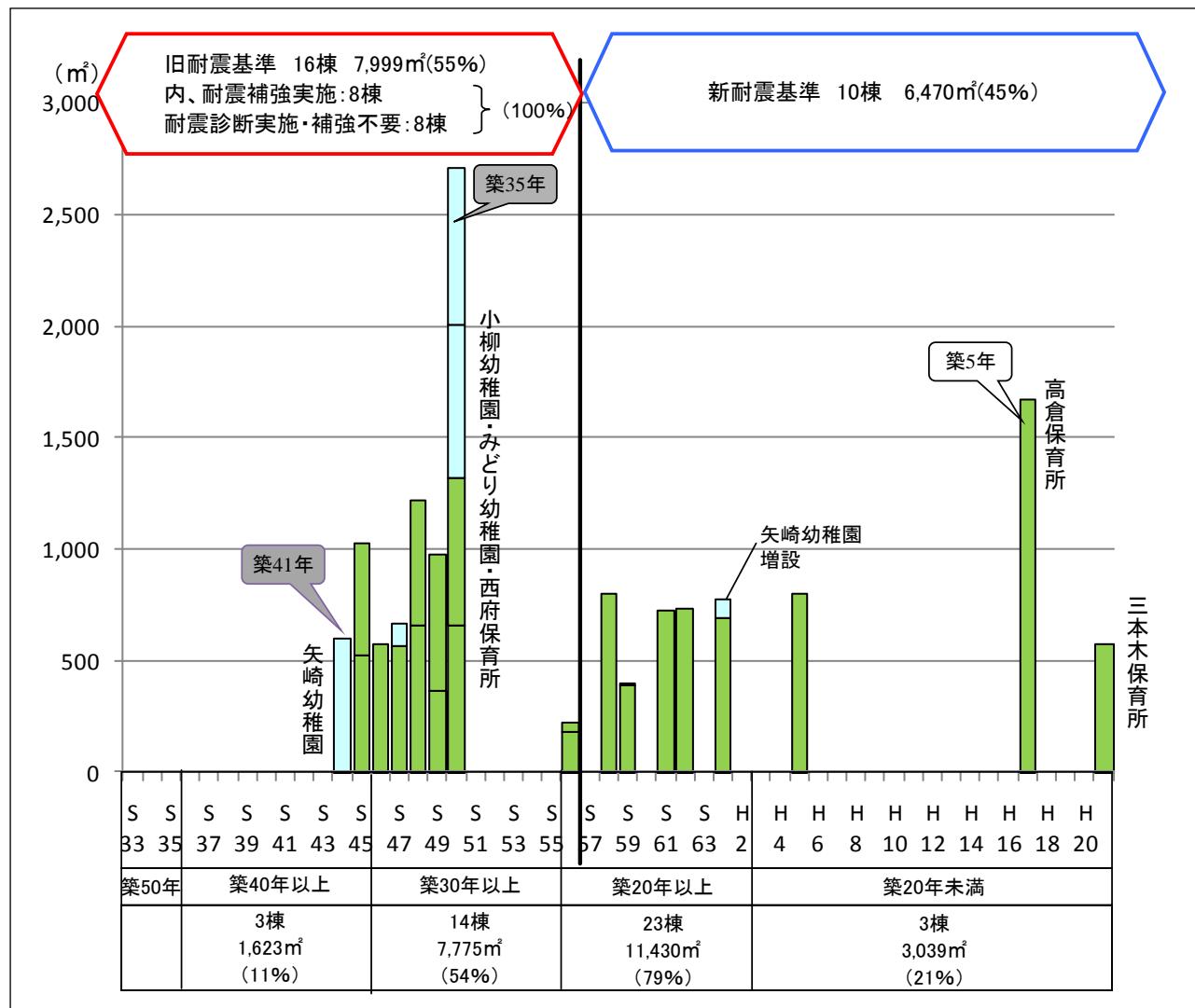
市立幼稚園 施設別スペース構成



② 建築年度

- 旧耐震基準で建てられた施設は市立保育所・市立幼稚園で全 26 棟中 16 棟 $7,999 \text{ m}^2$ (55%) あります、いずれも耐震補強実施済みまたは耐震診断で補強不要となっており、耐震化は完了しています。
- 一方、築年数は築 20 年以上の施設は 23 棟で全体の 79% を占め、築 30 年以上の施設が全体の半数近くになることからも、全体的に老朽化が進んでいることがわかります。

築年別整備状況



③ 運営日数、運営時間

- 年間の運営日数は、市立保育所で 293 日から 295 日、民営の高倉保育所では、ほぼ通園開所で 364 日となっています。市立幼稚園では 190 日前後となっています。
- 保育所の基本開所時間は市立・私立共通で、7 時から 18 時です。すべての保育所で延長保育を実施しており、多くは 19 時までの一時間延長となっています。20 時から 22 時まで延長を実施している施設もあります。

運営日数（市立保育所）

	平日	土日	計
南保育所	242	51	293
北保育所	242	51	293
東保育所	244	51	295
西保育所	242	51	293
中央保育所	242	51	293
北山保育所	244	51	295
住吉保育所	242	51	293
朝日保育所	242	51	293
小柳保育所	242	51	293
四谷保育所	244	51	295
八幡保育所	244	51	295
本町保育所	242	51	293
三本木保育所	242	51	293
西府保育所	242	51	293
美好保育所	242	51	293
高倉保育所	245	119	364

運営日数（市立幼稚園）

	平日	土日	計
矢崎幼稚園	189	4	193
みどり幼稚園	193	4	197
小柳幼稚園	182	3	185

運営時間帯

		7時	9時	14時	16時	18時	19時	20時22時
市立保育所（16施設） (平均規模: 768m ²)	12施設			保育			延長	
対象年齢 生後8週～5歳 (南保育所は2歳まで) (朝日保育所は生後3ヶ月～)				保育			延長保育	
開所日 月～土曜日				保育			延長保育	
高倉保育所 (日祝も開所)				保育			延長保育	
私立保育園（21施設）	14施設			保育			延長	
対象年齢 生後8週～5歳 (園によって異なる場合あり)				保育			延長保育	
開園日 月～土曜日 (日・祝保育実施園あり)	5施設			保育			延長保育	
	2施設			保育			延長保育	～21:00(1施設) ～22:00(1施設)
市立幼稚園（3園）	3施設			水曜日				
対象年齢 4歳～5歳			保育					
開園日 月～金曜日		8:50		11:30				
私立幼稚園（17園）	8施設			水曜日				
対象年齢 3歳～5歳 (園によって異なる場合あり)			保育		延長保育			
開園日 月～金曜日 (土曜保育実施園あり)				短縮		～17:00以前・水曜日なし(5園) ～17:30(2園) ～18:00(1園)		
3施設				水曜日				
8:30～40			保育		延長保育			
				短縮(2園)	14:00～15:00	～16:30(1園) ～17:00(1園)		
3施設				水曜日				
9:20～30			保育		延長保育			
				短縮(2園)	14:00～30	～17:00(2園)		
3施設				水曜日				
2施設			保育		延長保育			
				水曜日短縮なし		～17:30(1園) ～20:00(1園)		
1施設		8:00	保育		延長保育			
				13:45				

「出所：子育てのたまて箱（子ども家庭部子育て支援課 2010年9月現在）」

(3) 建物状況

① 保育所

施設名	①耐震安全性			②老朽化状況				③バリアフリー対応								
	評価	耐震診断	耐震補強	評価	評価内容			評価	評価内容			点字誘導ブロック				
					建築年度	経過年	大規模改修		平成22	平成22	エレベーター	車いす用	身障者トイレ	までのスロープ	自動ドア	手すり
南保育所	3	不要	—	2	平成1	21	未	—	2	—	—	—	○	—	○	—
北保育所	3	不要	—	2	昭和58	27	未	—	—	2	—	—	○	—	○	—
東保育所	3	不要	—	1	昭和49	36	未	—	—	2	—	—	○	—	○	—
西保育所	3	不要	—	2	昭和61	24	未	—	—	2	—	—	○	—	○	—
中央保育所	3	不要	—	2	昭和62	23	未	—	—	2	—	—	○	—	○	—
北山保育所	3	不要	—	3	平成5	17	未	—	—	2	—	—	○	—	○	—
住吉保育所	3	○	○	1	昭和45	40	未	—	—	1	—	—	—	—	—	—
朝日保育所	3	○	○	1	昭和45	40	未	—	—	2	—	—	○	—	○	—
小柳保育所	3	○	○	1	昭和46	39	未	—	—	2	—	—	○	—	○	—
四谷保育所	3	○	○	1	昭和47	38	未	—	—	2	—	—	○	—	○	—
八幡保育所	3	○	○	1	昭和48	37	未	—	—	2	—	—	○	—	○	—
本町保育所	3	○	○	1	昭和48	37	未	—	—	2	—	—	○	—	○	—
三本木保育所	3	○	○	3	昭和49	36	平成21	1	2	—	○	○	—	○	—	○
西府保育所	3	○	○	1	昭和50	35	未	—	—	2	—	—	○	—	○	—
美好保育所	3	○	○	1	昭和50	35	未	—	—	2	—	—	○	—	○	—
高倉保育所	3	不要	—	3	平成17	5	未	—	—	3	○	○	—	○	○	—

施設名	④環境対応状況						⑤維持管理						⑥吹付け アスベスト			
	評価	評価内容					評価	評価内容					評価内容	評価内容		
		延床面積 (m ²)	環境指標	m ² 平均		延床面積 (m ²)	維持管理費(千円)	m ² 平均(円)		各所修繕費	建物管理委託費	各所修繕費				
南保育所	3	692	837,884	38	1,210,116	55	3	692	4,031	345	1,199	5,822	498	1,732	3	○
北保育所	3	797	795,967	37	999,205	46	3	797	4,135	345	1,640	5,191	433	2,059	3	○
東保育所	3	753	855,382	40	1,135,966	53	1	753	4,681	571	1,496	6,216	758	1,987	3	○
西保育所	3	728	757,477	36	1,040,633	49	1	728	3,953	571	366	5,431	784	503	3	○
中央保育所	3	729	797,869	37	1,094,470	51	1	729	4,616	345	1,765	6,332	473	2,421	3	○
北山保育所	3	800	838,860	37	1,048,051	46	3	800	3,982	277	1,175	4,975	346	1,468	3	○
住吉保育所	3	677	886,700	41	1,308,976	61	1	677	3,964	560	1,147	5,852	827	1,693	3	○
朝日保育所	3	525	607,283	27	1,156,729	51	3	525	3,504	345	987	6,675	657	1,880	3	○
小柳保育所	3	626	481,105	21	768,538	34	3	626	4,212	345	995	6,729	551	1,589	3	○
四谷保育所	3	568	708,984	33	1,248,430	58	1	568	4,614	571	851	8,125	1,005	1,499	3	○
八幡保育所	3	658	605,121	28	920,057	43	3	658	4,659	345	1,383	7,084	525	2,103	3	○
本町保育所	3	563	397,037	18	705,216	32	1	563	3,951	345	2,325	7,018	613	4,130	3	○
西府保育所	3	661	723,139	33	1,094,339	50	3	661	3,602	345	1,279	5,451	522	1,936	3	○
美好保育所	3	659	788,805	38	1,197,518	58	1	659	3,869	560	1,668	5,874	850	2,532	3	○
高倉保育所	3	1,668	1,770,892	73	1,061,686	44	3	指定管理者制度						3	○	—

1m ² 当たりの平均値	1,067,428	48	1m ² 当たりの平均値	5,203	529	1,646
平均値の1.4倍(+40%)	1,494,399	68	平均値の1.4倍(+40%)	7,284	740	2,304

(参考)

施設名	④環境対応状況					⑤維持管理						⑥吹付け アスベスト				
	評価	評価内容				評価	評価内容					評価内容				
		環境指標		m ² 平均			維持管理費(千円)			m ² 平均(円)						
		延床面積(m ²)	(t換算) C _{CO₂合計出量}	伴う燃料等の (M _J に) C _{CO₂合計出量}	(kg換算) C _{CO₂合計出量}		延床面積(m ²)	光熱水費	委託費	建物管理	各所修繕費	建物管理委託費				
三本木保育所	3	1,185	1,063,797	46	897,719	39	3	1,185	4,110	453	923	3,468	382	779	3	○

※三本木保育所：平成21年11月までは仮園舎を使用し、12月から現施設の使用を開始したため

■評価結果「1」の施設

	2老朽化状況	3バリアフリー対応	5維持管理
該当施設	<ul style="list-style-type: none"> 東保育所 住吉保育所 朝日保育所 小柳保育所 四谷保育所 八幡保育所 本町保育所 西府保育所 美好保育所 	<ul style="list-style-type: none"> 住吉保育所 	<ul style="list-style-type: none"> 東保育所 西保育所 中央保育所 住吉保育所 四谷保育所 本町保育所 美好保育所
今後の対応等	<ul style="list-style-type: none"> 今後、建替え又は大規模改修の検討が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者が限定されていることから、必要に応じ職員が対応している。今後、ハード面については大規模改修の際に検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> 延床面積から維持管理にかかる経費を評価したが、次の点を考慮した更なる検討が必要である。 光熱水費：入所児童数の影響 建物管理委託費：施設ごとに定額としている。 各所修繕費：年度ごとに変動がある。

② 幼稚園

施設名	①耐震安全性		②老朽化状況				③バリアフリー対応								
	評価	評価内容		建築年度	評価内容		評価	評価内容							
		耐震診断	耐震補強		平成22	経過年		大規模改修	改後の経過年	工事レベータ	車いす用	身障者トイレ	までのスロープ	道路から入口	自動ドア
矢崎幼稚園	3	○	○	1	昭和44	41	未		2				—	○	
みどり幼稚園	3	○	○	1	昭和50	35	未		2				—	○	
小柳幼稚園	2	○	予定	1	昭和50	35	未		2				—	○	

施設名	④環境対応状況						⑤維持管理						評価内容				
	評価	評価内容					評価	評価内容									
		環境指標		m²平均				維持管理費(千円)		m²平均(円)							
延床面積 (m²)	伴う燃料等の使用量 (MJに)	(t換算CO2排出量)	(kg換算CO2排出量)	伴う燃料等の使用量 (kJに)	(kg換算CO2排出量)	延床面積 (m²)	光熱水費	委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	評価内容				
矢崎幼稚園	3	779	229,000	20	293,967	26	3	779	1,053	399	8	1,352	512	10	3	○	
みどり幼稚園	3	698	226,000	17	323,782	24	3	698	1,064	399	5	1,524	572	7	3	○	
小柳幼稚園	3	704	173,000	11	245,739	15	1	704	753	399	44	1,070	567	63	3	○	
1m²当たりの平均値							287,941	22	1m²当たりの平均値						1,316	549	26
平均値の1.4倍(+40%)							403,118	31	平均値の1.4倍(+40%)						1,842	768	37

■評価結果「1」の施設

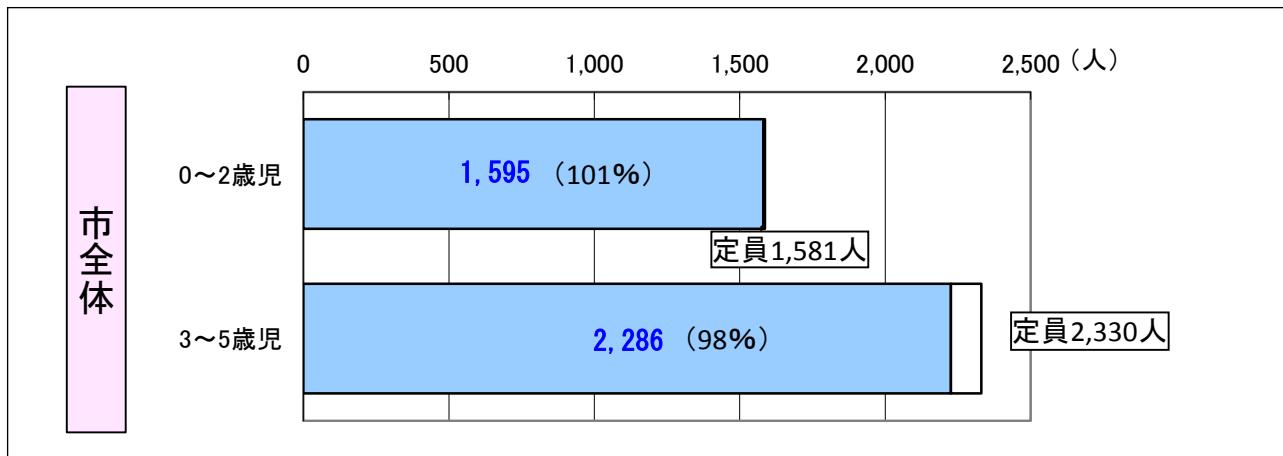
	2 老朽化状況	5 維持管理
該当施設	・矢崎幼稚園 ・みどり幼稚園 ・小柳幼稚園	・小柳幼稚園
今後の対応等	・今後、建替え又は大規模改修の検討が必要 ・建築年度が近接しており、更新時期が重なる。	

(4) 利用状況

① 年齢別の入所状況【保育所】

- 市全体で0～2歳児は定員1,581人に対して入所児童数1,595人、入所率101%、3～5歳児は定員2,330人に対して入所児童数2,286人、入所率98%となっています。特に0～2歳児に保育所の待機児童が多いいため、保育所の施設等による定員増を進めるとともに、基準の範囲内で受入枠を拡大して対応しています。また、主に新設保育所の4～5歳クラスに空きが出ているため、3～5歳児の入所率は、100%を下回っています。

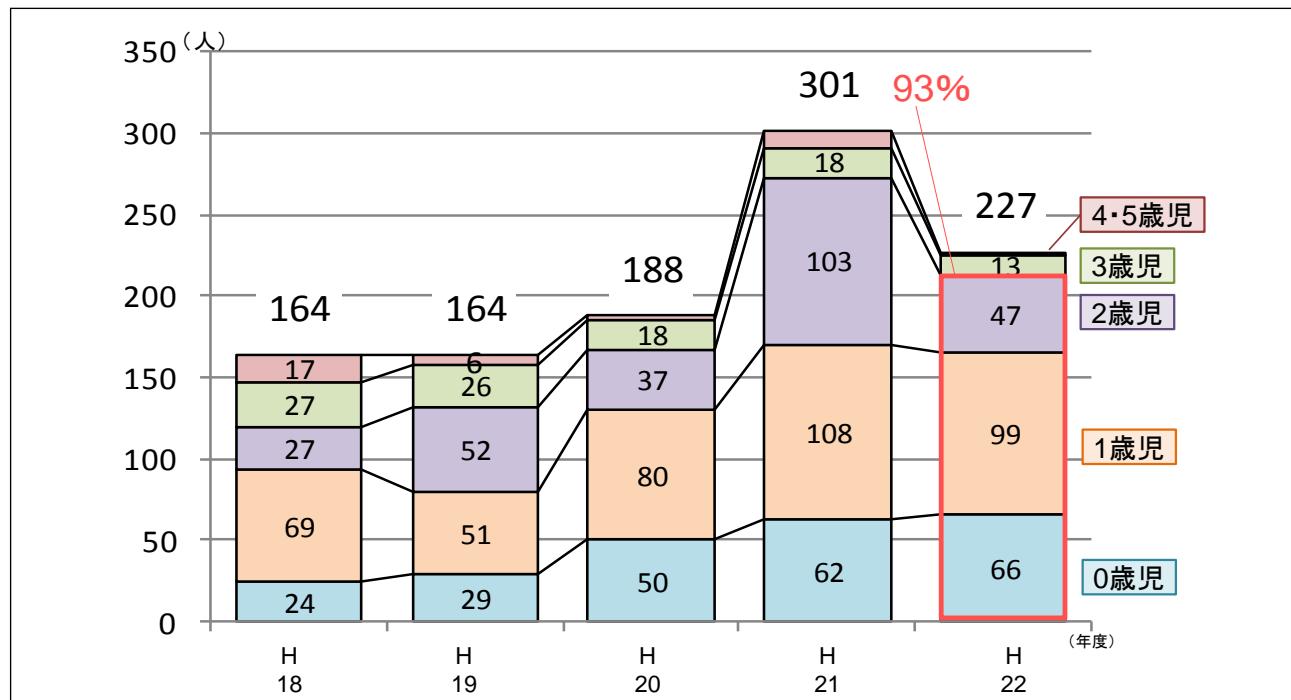
保育所定員及び入所児童数



② 待機児童数の推移

- 待機児童数は、平成 20 年度から増加に転じていましたが、保育所の新設等により、平成 22 年度には減少しています。待機児童の 93% を 0 ~ 2 歳児が占めています。
- 「府中市次世代育成支援行動計画」に基づき、認可保育所・認証保育所等の定員増を行い、平成 26 年度にはすべての保育所待機児童の解消を目指しています。

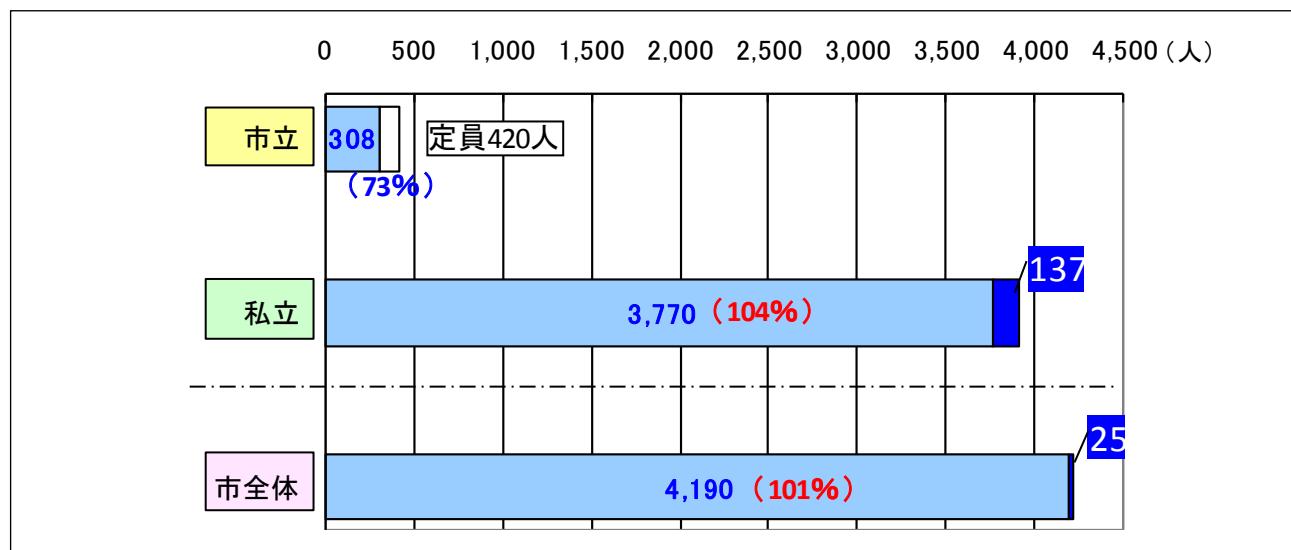
待機児童数の推移



③ 入園状況【幼稚園】

- 幼稚園の入園状況は、市立幼稚園 3 園の定員 420 人に対して園児数 308 人、入園率 73%、私立幼稚園 17 園の定員 3,770 人に対して園児数 3,907 人、入園率 104%、市全体では入園率 101% となっています。

幼稚園 定員及び園児数



(5) 運営状況

① 運営形態

- 市立保育所・市立幼稚園は基本的に直営ですが、高倉保育所は指定管理者が運営しています。

運営形態

	直営	指定管理者制度
市立保育所（下記以外）	●	—
市立高倉保育所	—	●
市立幼稚園	●	—

② 運営人員

- 高倉保育所は、指定管理者による運営で、休日保育や22時までの延長保育など、他の市立保育所では行っていないサービスを提供しているため、人員が多くなっています。
- 市立幼稚園は、各施設13人で運営しています。

市立保育所 運営人員

(人)

平成21年度		南保育所	北保育所	東保育所	西保育所	中央保育所	北山保育所	住吉保育所	朝日保育所	小柳保育所	四谷保育所	八幡保育所	本町保育所	三本木保育所	西府保育所	美好保育所	高倉保育所	合計
正規職員	所長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15
	保育士	17	16	14	14	12	13	14	11	12	12	12	12	19	12	12	202	
	看護師	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
	栄養士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15
	作業員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15
	その他																	
嘱託職員	所長																	
	保育士		1	1		1	1	1				1		1		1		8
	看護師																	
	栄養士																	
	作業員	2	2	1	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	2	2	1	22
	その他																	
再任用職員	所長																	
	保育士																	
	看護師																	
	栄養士																	
	作業員																	
	その他																	
臨時職員職員	所長																	
	保育士	1	2	4	3	4	6	4	3	4	4	4	5	3	3	6	5	57
	看護師																	
	栄養士																	
	作業員																	
	その他																	
パート職員	所長																	
	保育士	9	16	12	9	16	11	14	9	8	14	12	13	11	10	13	177	
	看護師																	
	栄養士																	
	作業員	1	3	1	1	2		2			1	1	1	1	1	1	1	15
	その他																	
指定管理者職員	所長																	
	保育士																	
	看護師																	
	栄養士																	
	作業員																	
	その他																	
合計	所長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16
	保育士	27	35	31	26	33	31	33	23	24	30	30	28	34	28	31	32	476
	看護師	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	17
	栄養士	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	17
	作業員	4	6	4	4	5	3	5	3	3	4	4	4	5	4	4	5	67
	その他																	29
総合計		34	44	38	33	41	37	41	29	30	37	37	35	42	35	38	71	622

市立幼稚園 運営人員

平成21年度		矢崎 幼稚園	みどり 幼稚園	小柳 幼稚園	合計
正規職員	園長/副園長				
	教員	5	5	5	15
	その他				
再任用職員	園長/副園長		1		1
	教員				
	その他				
臨時職員	園長/副園長				
	教員	4	4	4	12
	その他	2	2	2	6
その他	園長/副園長	2	1	2	5
	教員				
	その他				
合計	園長/副園長	2	2	2	6
	教員	9	9	9	27
	その他	2	2	2	6
総合計		13	13	13	39

(6) コスト状況

① コスト及び収支状況

- 市立保育所 16 施設の年間トータルコストは、31 億 5,799 万円、1 施設当たり平均 1 億 9,737 万円です。
- トータルコストのうち、施設にかかるコスト（光熱水費・建物管理委託費等）は 1 億 3,216 万円（4%）、事業運営にかかるコスト（人件費・その他物件費等）は 29 億 6,009 万円（94%）となっています。

市立保育所 施設別行政コスト計算書（平成 21 年度）

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		南保育所	北保育所	東保育所	西保育所	中央保育所	北山保育所	住吉保育所	朝日保育所	(千円)
		定員	67	119	114	113	108	112	113	92
施設 コストにかかる	各所修繕費	1,199	1,640	1,496	366	1,765	1,175	1,147	987	
	大規模修繕費	0	0	2,184	9,637	0	3,990	0	0	
	光熱水費	4,031	4,135	4,681	3,953	4,616	3,982	3,964	3,504	
	建物管理委託費	345	345	571	571	345	277	560	345	
	その他委託費	212	212	212	212	212	212	212	212	
	土地・建物以外賃借料	226	300	300	300	300	300	300	300	
	車両・備品購入費	467	584	324	1,354	647	452	1,045	688	
	施設にかかるコスト計	6,480	7,216	9,768	16,393	7,885	10,386	7,228	6,036	
事業 コストにかかる	職員人件費	155,155	155,155	139,640	139,640	124,124	131,882	139,640	116,366	
	嘱託職員等人件費	9,254	13,179	9,254	5,329	13,179	13,179	13,179	5,329	
	再任用職員人件費	3,490	0	0	0	0	0	0	0	
	臨時職員人件費	15,290	18,639	27,097	19,608	25,889	25,550	26,260	17,314	
	運営・企画業務委託料	703	703	703	4,034	703	703	1,044	1,042	
	指定管理料	0	0	0	0	0	0	0	0	
	負担金補助及び交付金	27	49	47	43	44	44	48	38	
	その他物件費	7,828	12,463	11,977	11,298	11,456	12,043	12,254	9,438	
事業運営にかかるコスト計		191,747	200,188	188,718	179,952	175,395	183,401	192,425	149,527	
現金収支を伴うコスト 計		198,227	207,404	198,486	196,345	183,280	193,789	199,653	155,563	

【収益の部】								
負担金(保育料)	20,583	26,019	26,554	21,045	24,021	22,848	25,906	19,439
その他の収入	1,918	3,345	2,376	2,000	3,042	4,905	4,820	2,072
現金収支を伴う収益 計	22,501	29,364	28,930	23,045	27,063	27,753	30,726	21,511

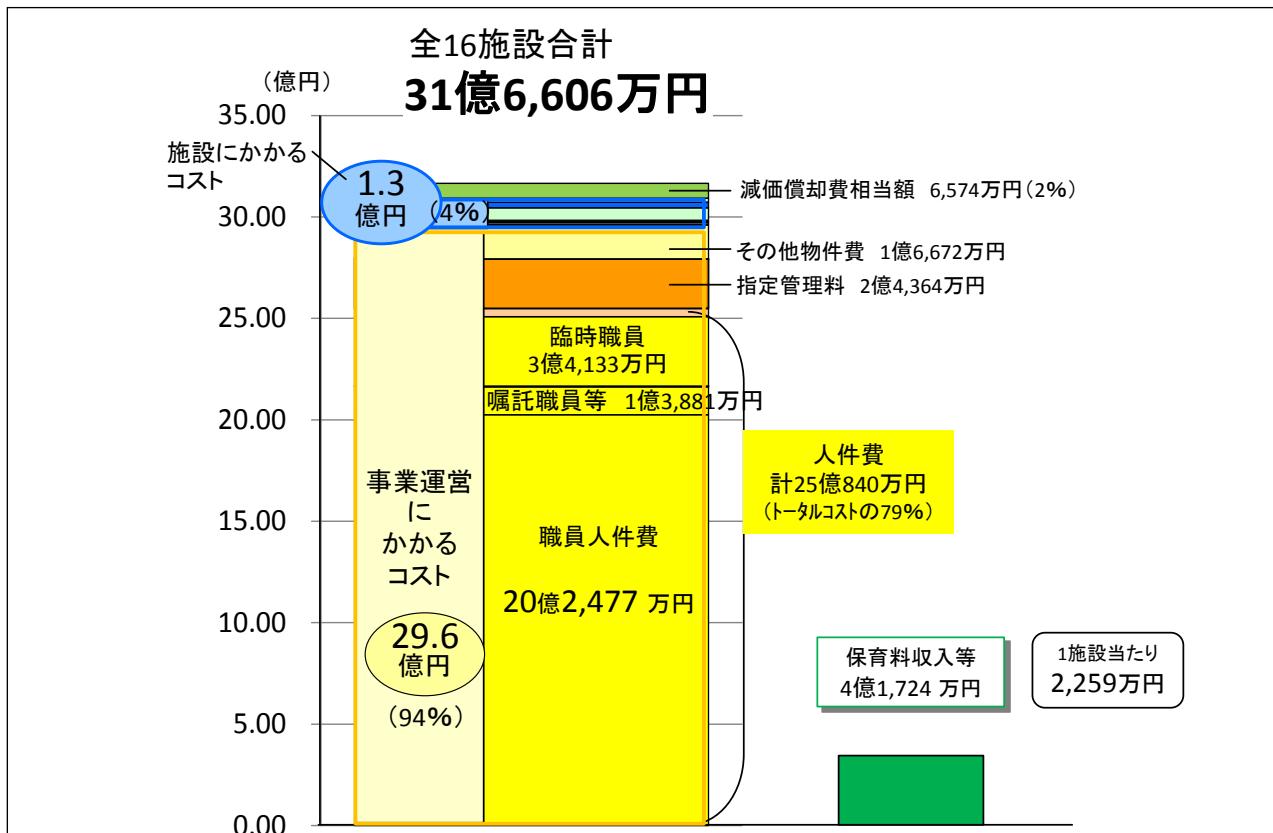
II. 現金収支を伴わないもの 【コストの部】								
減価償却費相当額	4,182	4,811	4,633	4,397	4,403	4,834	0	3,170

III. 総括										
コストの部合計(トータルコスト)	202,409	212,216	203,119	200,742	187,684	198,623	199,653	158,733		
収支差額	179,908	182,852	174,189	177,697	160,621	170,870	168,927	137,222		
I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】	小柳保育所	四谷保育所	八幡保育所	本町保育所	三本木 保育所	西府保育所	美好保育所	高倉保育所	合計	
	定員	99	101	101	101	148	107	107	143	
	各所修繕費	995	851	1,383	2,325	923	1,279	1,668	0	19,199
	大規模修繕費	6,510	5,123	0	0	0	0	0	0	27,444
	光熱水費	4,212	4,614	4,659	3,951	4,110	3,602	3,869	0	61,883
	建物管理委託費	345	571	345	345	453	345	560	0	6,323
	その他委託費	212	212	212	212	212	212	212	0	3,180
	土地・建物以外賃借料	300	300	300	300	625	300	300	0	4,751
事業 コストにかかる	車両・備品購入費	575	503	502	621	553	515	546	0	9,376
	施設にかかるコスト計	13,149	12,174	7,401	7,754	6,876	6,253	7,155	0	132,156
	職員人件費	124,124	124,124	124,124	124,124	178,428	124,124	124,124	0	2,024,774
	嘱託職員等人件費	5,329	5,329	9,254	5,329	13,179	9,254	9,254	0	138,810
	再任用職員人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	3,490
	臨時職員人件費	20,959	27,738	25,545	21,610	21,114	21,693	27,020	0	341,326
	運営・企画業務委託料	703	4,429	703	703	703	4,336	703	18,722	40,637
	指定管理料	0	0	0	0	0	0	0	243,636	243,636
II. 現金収支を伴わないもの 【コストの部】	負担金補助及び交付金	41	41	44	41	43	42	44	55	691
	その他物件費	10,126	10,442	11,219	10,585	12,737	11,409	11,448	0	166,723
	事業運営にかかるコスト計	161,282	172,103	170,889	162,392	226,204	170,858	172,593	262,413	2,960,087
	現金収支を伴うコスト 計	174,431	184,277	178,290	170,146	233,080	177,111	179,748	262,413	3,092,243

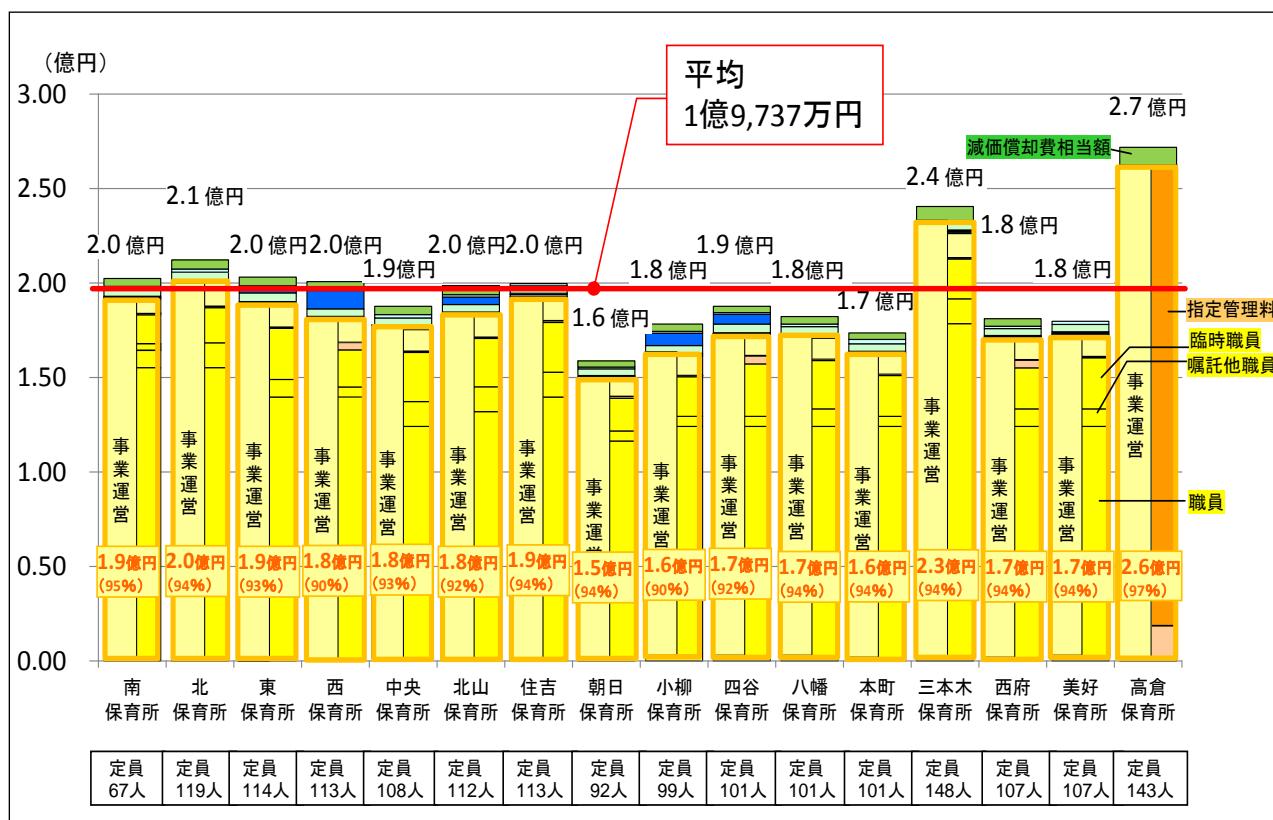
【収益の部】									
負担金(保育料)	15,218	19,039	23,747	22,376	23,812	20,947	21,384	28,447	361,385
その他の収入	3,659	2,145	2,462	1,993	2,303	4,090	2,893	11,827	55,850
現金収支を伴う収益 計	18,877	21,184	26,209	24,369	26,115	25,037	24,277	40,274	417,235

III. 総括									
コストの部合計(トータルコスト)	178,218	187,707	182,263	173,547	240,478	181,102	179,748	271,743	3,157,985
収支差額	159,341	166,523	156,054	149,178	214,363	156,065	155,471	231,469	2,740,750

市立保育所 トータルコスト（平成 21 年度）



市立保育所 施設別トータルコスト（平成 21 年度）



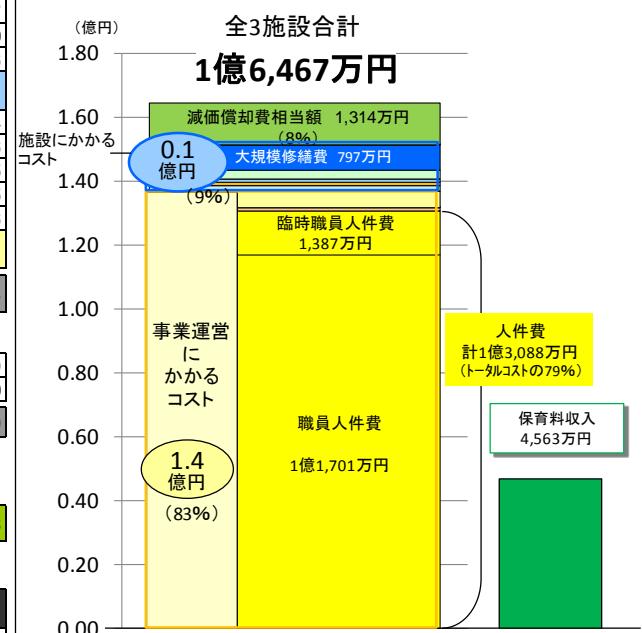
- 市立幼稚園3園の年間トータルコストは、1億6,467万円、1施設当たり平均5,489万円です。
- トータルコストのうち、施設にかかるコスト（光熱水費・建物管理委託費等）は1,471万円（9%）、事業運営にかかるコスト（人件費・その他物件費等）は1億3,682万円（83%）となっています。

市立幼稚園 施設別行政コスト計算書（平成21年度）

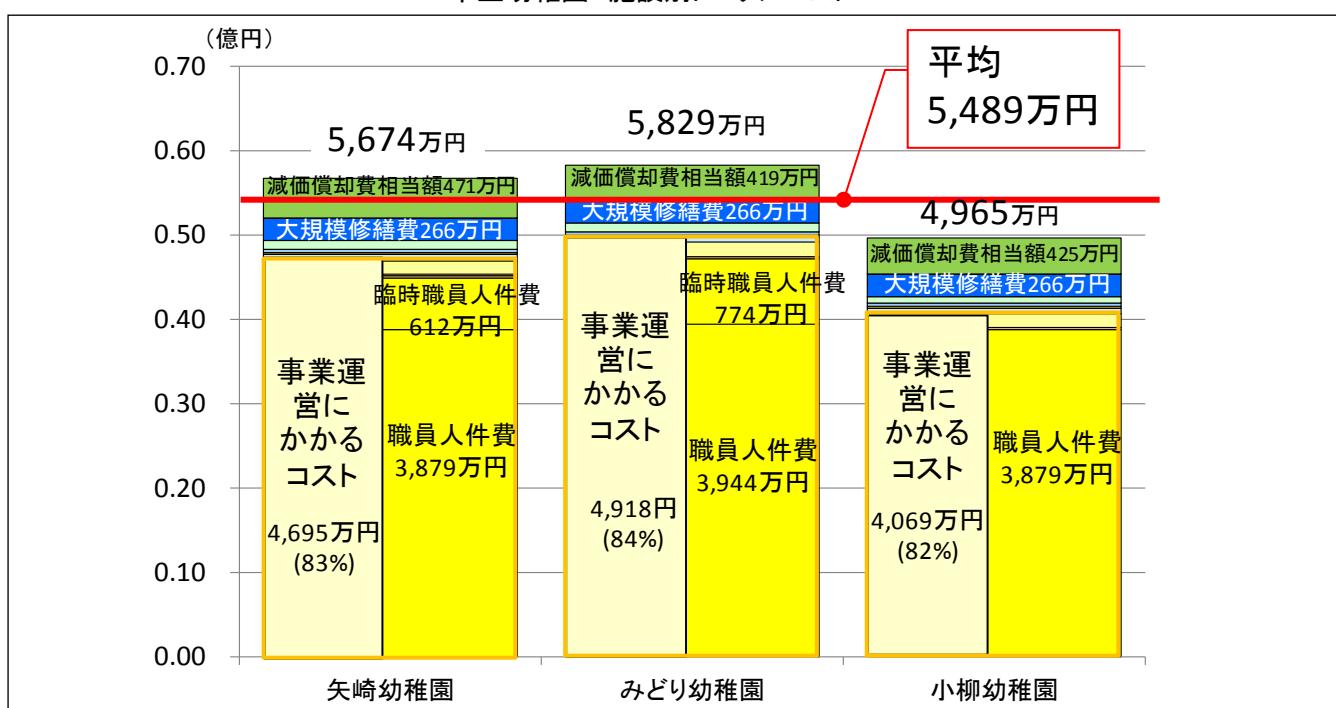
I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		矢崎幼稚園	みどり幼稚園	小柳幼稚園	合計
		定員	140	140	140
施設にかかるコスト	各所修繕費	8	5	44	58
	大規模修繕費	2,657	2,657	2,657	7,971
	光熱水費	1,053	1,064	753	2,870
	建物管理委託費	399	399	399	1,197
	その他委託費	210	210	210	630
	車両・備品購入費	757	584	644	1,986
	施設にかかるコスト計	5,084	4,919	4,707	14,711
事業運営にかかるコスト	職員人件費	38,789	39,437	38,789	117,014
	臨時職員人件費	6,124	7,742	0	13,866
	運営・企画業務委託料	265	265	265	795
	負担金補助及び交付金	175	0	0	175
	その他物件費	1,593	1,737	1,636	4,966
	事業運営にかかるコスト計	46,946	49,181	40,690	136,817
	現金収支を伴うコスト 計	52,031	54,100	45,397	151,528
【収益の部】					
使用料(保育料)		15,780	15,850	13,999	45,629
その他の収入		0	0	0	0
現金収支を伴う収益 計		15,780	15,850	13,999	45,629
II. 現金収支を伴わないもの 【コストの部】					
減価償却費相当額		4,705	4,186	4,252	13,143
III. 総括					
コストの部合計(トータルコスト)		56,736	58,286	49,649	164,671
収支差額		40,956	42,436	35,650	119,042

(千円)

市立幼稚園 トータルコスト



市立幼稚園 施設別トータルコスト



2－6 学童クラブ（22施設）

（1）概要

- 府中市には、学童クラブが22施設 $5,845\text{ m}^2$ あります。22施設中17施設は学校併設施設であり、残り5施設は単独施設となっています。
- 学童クラブ全体の在籍児童数は1,766人、1施設当たりの平均出席児童数は48.0人となっています（平成21年4月現在）。

学童クラブ	
設置目的	小学校低学年児童で保護者等が労働等により昼間家庭にいない児童の健全育成を図るために、府中市立学童クラブを設置する。 【府中市立学童クラブ条例】
事業内容	保護者が就労などのため、昼間家庭にいない小学1から3年生の児童（心身に障害のある児童は4年生まで、ただし市長が特に必要と認める場合は6年生まで）を放課後から午後6時まで預かる事業
所管	子ども家庭部児童青少年課
使用料	有料（育成料 5,000円、間食費 1,800円）
対象	保護者及び家族が、就労などのため、正午から午後6時までの間に4時間以上、かつ月に14日以上児童を監護することができない世帯で、安全に学童クラブに通え、集団での活動ができる小学校1年生～3年生

施設一覧（学童クラブ）

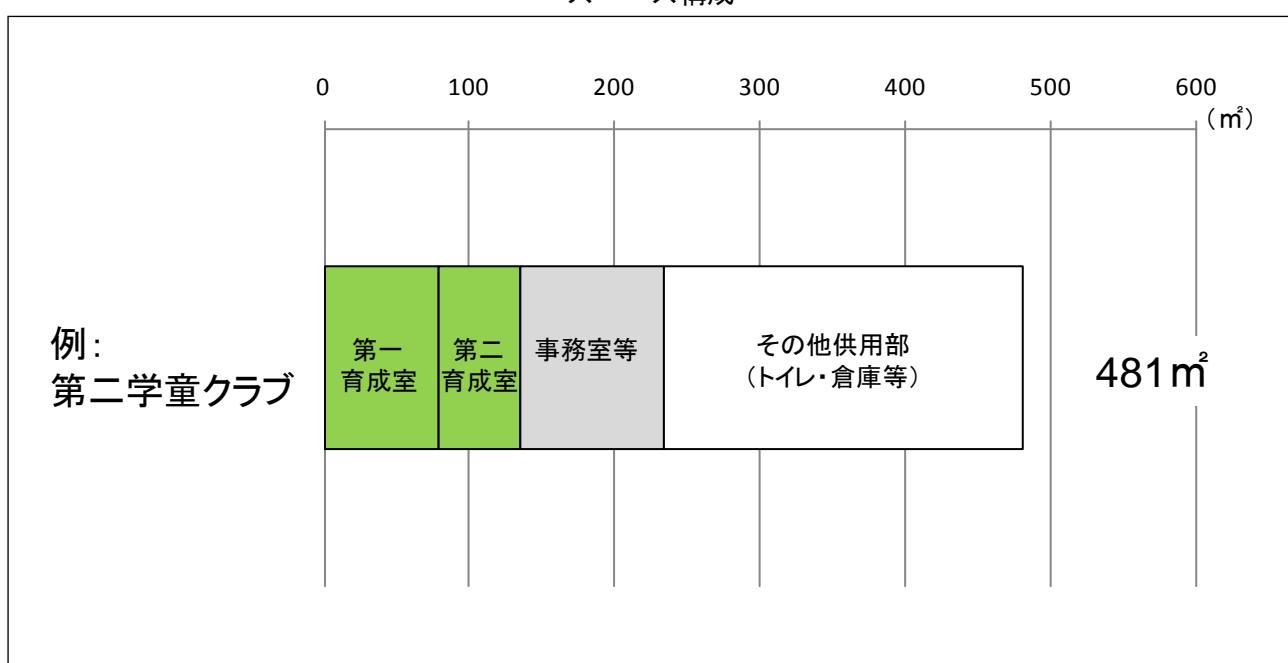
名 称	建築年度		延床面積 (m ²)	在籍 児童数 (人)	平均出席 児童数 (人)	併設 学校	対象学区域
1 第一学童クラブ	H1	1989	236	105	59.3	●	第一小
2 第二学童クラブ	H4	1992	481	111	62.2	●	第二小
3 第三学童クラブ	H1	1989	297	123	78.8	●	第三小
4 第四学童クラブ	H2	1990	243	67	33.3	●	第四小
5 第五学童クラブ	H2	1990	231	83	58.3	●	第五小
6 第六学童クラブ	H2	1990	183	104	63.5	—	第六小
7 第七学童クラブ	H9	1997	335	80	44.5	—	第七小
8 第八学童クラブ	H1	1989	384	118	72.4	●	第八小
9 第九学童クラブ	H7	1995	245	58	35.1	●	第九小
10 第十学童クラブ	H4	1992	308	99	60.6	—	第十小
11 武蔵台学童クラブ	H4	1992	256	48	27.0	●	武蔵台小
12 住吉学童クラブ	H9	1997	299	63	40.1	●	住吉小
13 新町学童クラブ	H4	1992	211	63	40.2	●	新町小
14 本宿学童クラブ	H1	1989	286	92	55.9	●	本宿小
15 白糸台学童クラブ	H2	1990	192	90	46.8	●	白糸台小
16 矢崎学童クラブ	H2	1990	172	47	32.5	●	矢崎小
17 若松学童クラブ	H3	1991	271	74	45.5	—	若松小
18 小柳学童クラブ	H1	1989	292	62	34.7	●	小柳小
19 南白糸台学童クラブ	H2	1990	293	66	37.7	—	南白糸台小
20 四谷学童クラブ	H1	1989	254	75	45.6	●	四谷小
21 南町学童クラブ	H3	1991	211	75	44.2	●	南町小
22 日新学童クラブ	H2	1990	165	63	38.7	●	日新小
合計	—	—	5,845	1,766	48.0	—	—

(2) 施設状況

① 施設規模（延床面積）及びスペース構成

- 学童クラブの施設規模は、1施設当たり $200\text{ m}^2\sim500\text{ m}^2$ 程度となっています。
- スペース構成は、ほぼすべての施設が同様であり、フローリングの育成室が2部屋、6畳の和室、湯沸し室、事務室等となっています。育成室は広めの第一育成室と、それよりも狭い第二育成室に分けられています。代表例として、以下に第二学童クラブのスペース構成を示します。
- 登録児童数の増加のため、従来の学童クラブの施設でスペースが足りない場合は、学校内の教室を借りて使用しています。第一、第三、第六、第九学童クラブは、学校校舎内教室を第二育成室として使用しています。

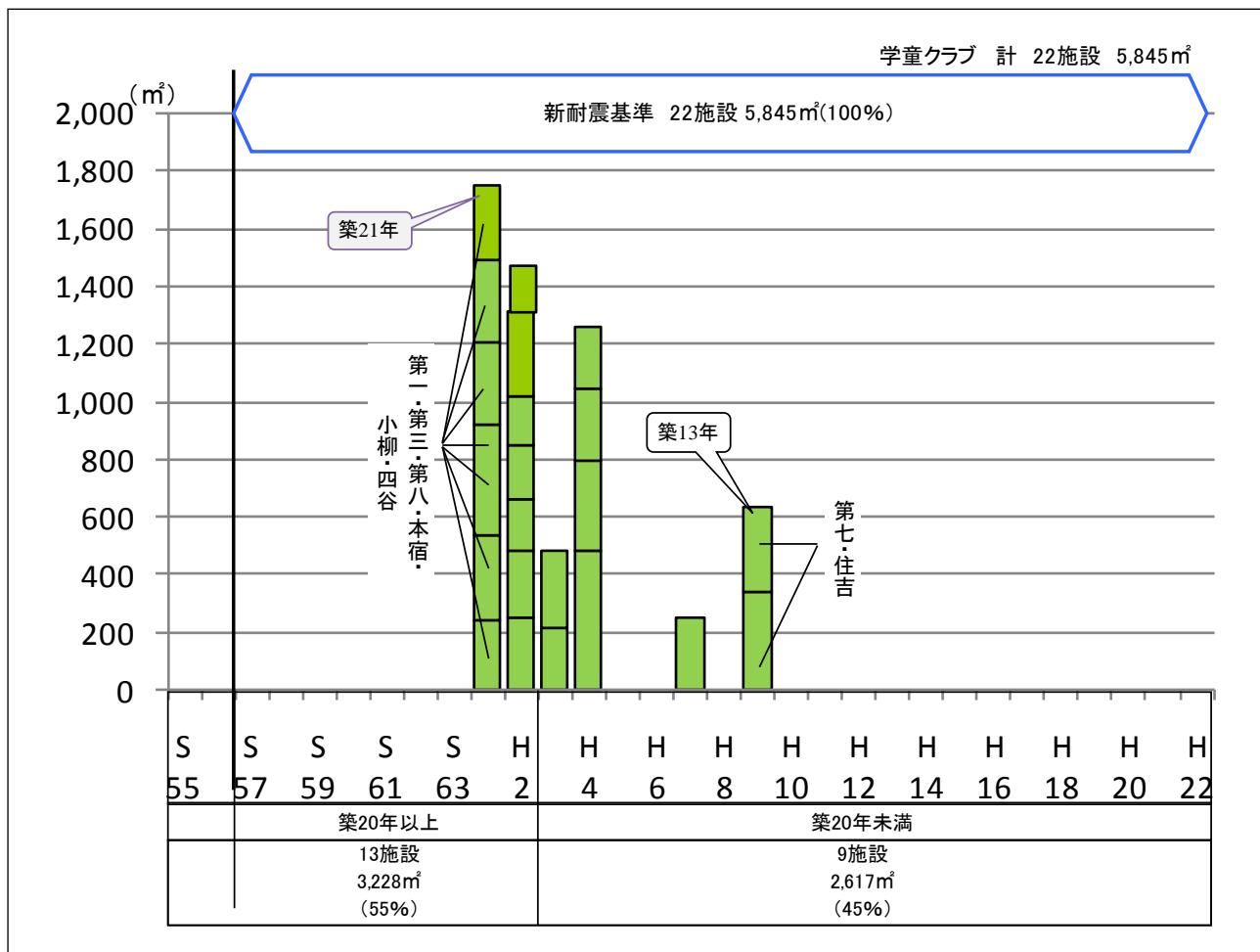
スペース構成



② 建築年度

- 学童クラブは、平成元年より設置されたため 22 施設すべて新耐震基準施設です。初めに設置された第一・第三・第八・本宿・小柳・四谷学童クラブは、設置から 21 年が経過しています。

築年別整備状況



③ 開所日数、育成時間

- 年間の運営日数は、全施設で 293 日となっています。
- 学童クラブの育成時間は、以下の 3 パターンに分類できます。
 - 月曜日から金曜日 : 下校時～18:00までの間
 - 学校休業日 : 8:30～18:00までの間
 - 土曜日 : 8:45～17:00までの間

(※月曜日から金曜日の 17:00 以降の利用及び土曜に利用には事前に届け出が必要)

(3) 建物状況

施設名	①耐震安全性		②老朽化状況				③バリアフリー対応											
	評価	評価内容		評価	評価内容			評価	評価内容			評価						
		耐震診断	耐震補強		建築年度	経過年	平成22		大規模改修	改後の大経過年	平成22	エレベーター	車いす用	身障者トイレ	までのスロープ	道路から入口	自動ドア	手すり
第一学童クラブ	3	不要	—	2	平成1	21	未	2				—	○					
第二学童クラブ	3	不要	—	3	平成4	18	未	2				—	○					
第三学童クラブ	3	不要	—	2	平成1	21	未	2				—	○					
第四学童クラブ	3	不要	—	2	平成2	20	未	2		○		—	○					
第五学童クラブ	3	不要	—	2	平成2	20	未	2		○		—	○					
第六学童クラブ	3	不要	—	2	平成2	20	未	2				—	○					
第七学童クラブ	3	不要	—	3	平成9	13	未	2				—	○					
第八学童クラブ	3	不要	—	2	平成1	21	未	2		○		—	○					
第九学童クラブ	3	不要	—	3	平成7	15	未	2				—	○					
第十学童クラブ	3	不要	—	3	平成4	18	未	2				—	○					
武蔵台学童クラブ	3	不要	—	3	平成4	18	未	2				—	○					
住吉学童クラブ	3	不要	—	3	平成9	13	未	2				—	○					
新町学童クラブ	3	不要	—	3	平成4	18	未	2				—	○					
本宿学童クラブ	3	不要	—	2	平成1	21	未	2		○	○	—	○					
白糸台学童クラブ	3	不要	—	2	平成2	20	未	2		○		—	○					
矢崎学童クラブ	3	不要	—	2	平成2	20	未	2		○		—	○					
若松学童クラブ	3	不要	—	3	平成3	19	未	2		○	○	—	○					
小柳学童クラブ	3	不要	—	2	平成1	21	未	2				—	○					
南白糸台学童クラブ	3	不要	—	2	平成2	20	未	2				—	○					
四谷学童クラブ	3	不要	—	2	平成1	21	未	2		○	○	—	○					
南町学童クラブ	3	不要	—	3	平成3	19	未	2				—	○					
日新学童クラブ	3	不要	—	2	平成2	20	未	2				—	○					

■評価結果「1」の施設

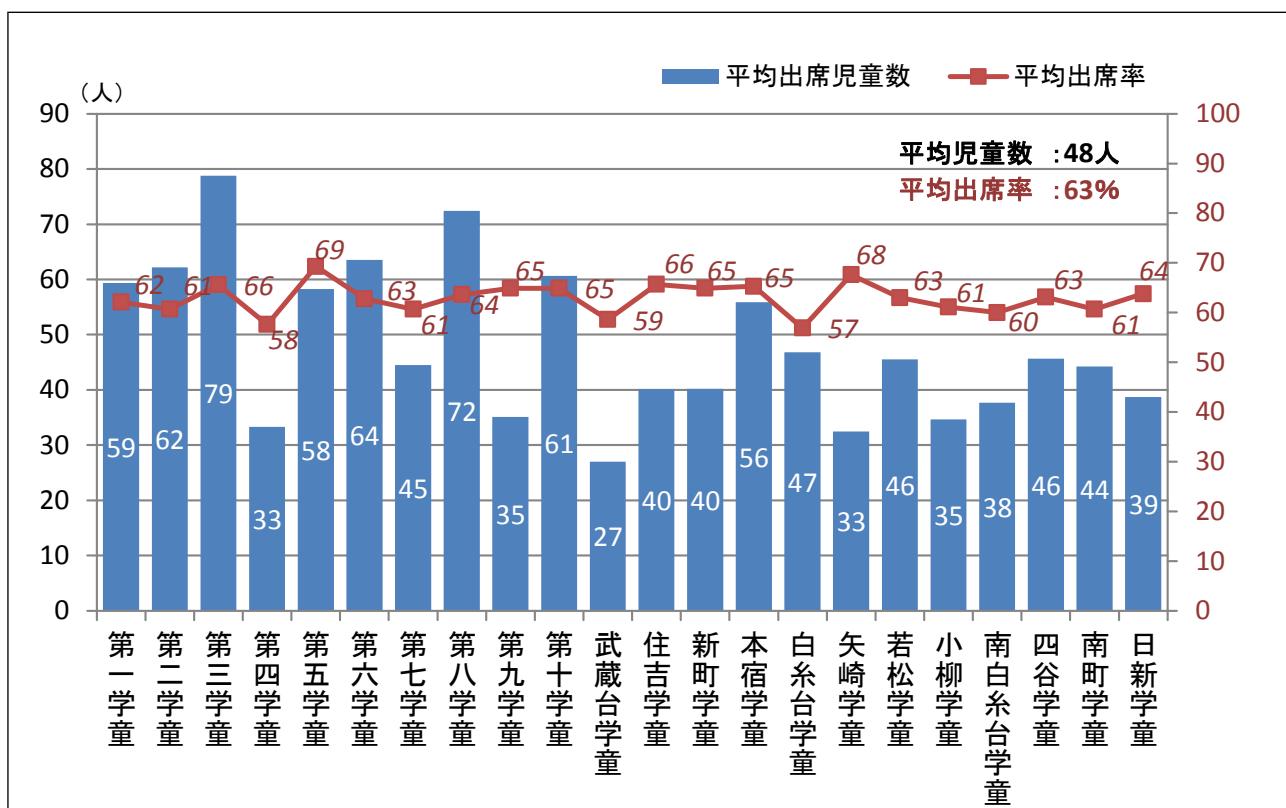
	4 環境対応状況	5 維持管理
該当施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第六学童クラブ ・ 新町学童クラブ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第六学童クラブ ・ 矢崎学童クラブ ・ 日新学童クラブ
今後の対応等		

(4) 利用状況

① 施設の利用状況

- 各施設の開所日数と延出席児童数より算出した平均出席児童数は、武藏台学童クラブの27人が最も少なく、第三学童クラブの79人が最も多くなっています。22施設平均では、48人となっています。
- 施設別の平均出席率は、白糸台学童クラブの57%が最も低く、第五学童クラブの69%が最も高い状況です。22施設平均では63%となっています。

施設別 平均出席児童数・平均出席率



※平均出席率は、年度途中での入会、退会も加味して算出しているため、平均出席児童数／在籍児童数（H21. 4）ではない。

(5) 運営状況

① 運営形態

- ・ 学童クラブは、22 施設全施設直営となっています。
- ・ 平成 16 年 2 月に「府中市立学童クラブ運営等検討協議会」から出された、「市民の参画によって子どもたちにより豊かな学童保育の実現を」という提言に基づき、学童クラブ相互間の連携を密にし、事業運営の効率化と保育環境の充実を図るため、7 ブロック制による事業運営を行っています。

② 運営人員

- ・ 府中市では、それぞれのブロックにおける事業の統括管理を行うため、各ブロックの学童クラブの中から基幹的な役割を果たす施設を選定しています。
- ・ 職員の配置としては、各ブロックに主任指導員（正規職員）を 1 名配置し、各学童クラブに主任指導員、専任指導員（嘱託職員）及び補助指導員を配置しています。

(6) コスト状況

① コスト及び収支状況

- 学童クラブ 22 施設の年間トータルコストは、4億9,447万円、1施設当たり平均2,248万円です。
- トータルコストのうち、施設にかかるコスト（光熱水費・建物管理委託費等）は4,086万円（8%）、事業運営にかかるコスト（人件費・その他物件費等）は4億1,830万円（85%）となっています。

学童クラブ 施設別行政コスト計算書（平成21年度）

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		第一学童 クラブ	第二学童 クラブ	第三学童 クラブ	第四学童 クラブ	第五学童 クラブ	第六学童 クラブ	第七学童 クラブ	第八学童 クラブ	第九学童 クラブ	第十学童 クラブ	(千円)
施設 コストに かかる	各所修繕費	305	305	305	305	305	305	305	305	305	305	305
	大規模修繕費	971	971	0	0	0	971	0	971	0	971	971
	光熱水費	345	430	383	358	343	347	515	386	415	489	489
	建物管理委託費	516	516	572	516	572	540	572	516	717	516	516
	その他委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	建物以外賃借料	182	250	251	319	319	116	113	94	113	258	258
	車両・備品購入費	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129
施設にかかるコスト計		2,448	2,602	1,640	1,626	1,667	2,408	1,634	2,401	1,679	2,668	
に事業 コストか かる運 営	職員人件費	0	7,758	7,758	0	7,758	0	7,758	7,758	0	7,758	7,758
	嘱託職員人件費	12,609	8,406	8,406	8,406	4,203	12,609	4,203	8,406	8,406	8,406	8,406
	臨時職員人件費	6,568	6,568	4,926	4,926	6,568	3,284	4,926	6,568	4,926	3,284	3,284
	運営・企画業務委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他委託料	45	2,171	2,160	34	2,171	2,149	2,160	45	34	2,149	2,149
	その他物件費	2,665	2,784	3,068	1,723	4,256	2,614	2,044	2,965	1,552	2,503	2,503
	事業運営にかかるコスト計	21,888	27,687	26,318	15,089	24,956	20,656	21,091	25,742	14,918	24,099	
現金収支を伴うコスト 計		24,335	30,289	27,958	16,716	26,623	23,064	22,724	28,143	16,597	26,768	

【収益の部】										
負担金(利用者の負担金)	6,333	7,579	8,740	4,073	5,783	7,106	5,281	8,497	3,551	6,690
現金収支を伴う収益 計	6,333	7,579	8,740	4,073	5,783	7,106	5,281	8,497	3,551	6,690

II. 現金収支を伴わないもの 【コストの部】										
減価償却費相当額	1,423	2,906	1,795	1,468	1,395	1,104	2,025	2,319	1,479	1,859

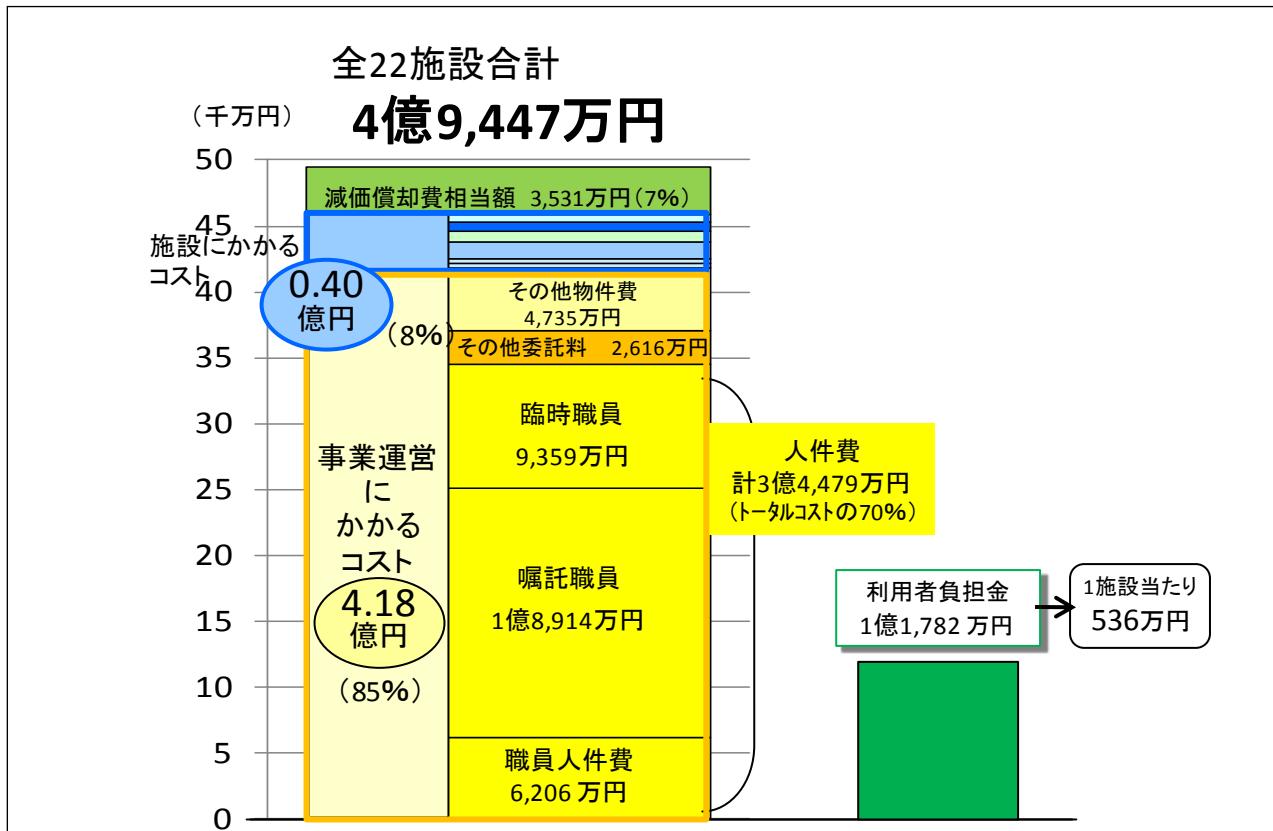
III. 総括										
コストの部合計(トータルコスト)	25,758	33,194	29,753	18,183	28,018	24,168	24,749	30,462	18,076	28,627
収支差額	19,426	25,616	21,012	14,111	22,235	17,062	19,469	21,965	14,525	21,937

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		武藏台学童 クラブ	住吉学童 クラブ	新町学童 クラブ	本宿学童 クラブ	白糸台学童 クラブ	矢崎学童 クラブ	若松学童 クラブ	小柳学童 クラブ	南白糸台学 童クラブ	四谷学童 クラブ	南町学童 クラブ	日新学童 クラブ	合計
施設 コストに かかる	各所修繕費	305	305	305	305	305	305	305	305	305	305	305	305	6,705
	大規模修繕費	971	0	0	0	971	0	0	0	0	0	0	0	6,799
	光熱水費	271	508	397	316	309	303	352	364	312	374	325	294	8,138
	建物管理委託費	516	572	614	572	516	572	572	572	572	572	572	572	12,347
	その他委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	建物以外賃借料	189	113	189	182	113	189	189	182	189	113	189	189	4,041
	車両・備品購入費	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	129	2,835
施設にかかるコスト計		2,381	1,627	1,634	1,504	2,343	1,498	1,547	1,552	1,507	1,493	1,519	1,488	40,864
に事業 コストか かる運 営	職員人件費	0	0	0	7,758	0	0	0	0	0	0	0	0	7,758
	嘱託職員人件費	8,406	8,406	8,406	8,406	12,609	8,406	8,406	8,406	8,406	8,406	8,406	8,406	62,062
	臨時職員人件費	1,642	1,642	3,284	4,926	1,642	1,642	6,568	3,284	3,284	3,284	3,284	3,284	189,140
	運営・企画業務委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他委託料	11	2,138	23	2,160	34	11	45	2,149	2,149	2,149	2,149	23	26,159
	その他物件費	1,297	1,636	1,642	2,363	2,278	1,255	1,899	1,604	1,712	1,933	1,923	1,633	47,350
	事業運営にかかるコスト計	11,356	13,822	13,355	25,613	19,847	11,314	16,918	15,443	15,551	15,772	15,762	21,104	418,301
現金収支を伴うコスト 計		13,737	15,449	14,989	27,117	22,189	12,812	18,465	16,995	17,058	17,264	17,281	22,593	459,165

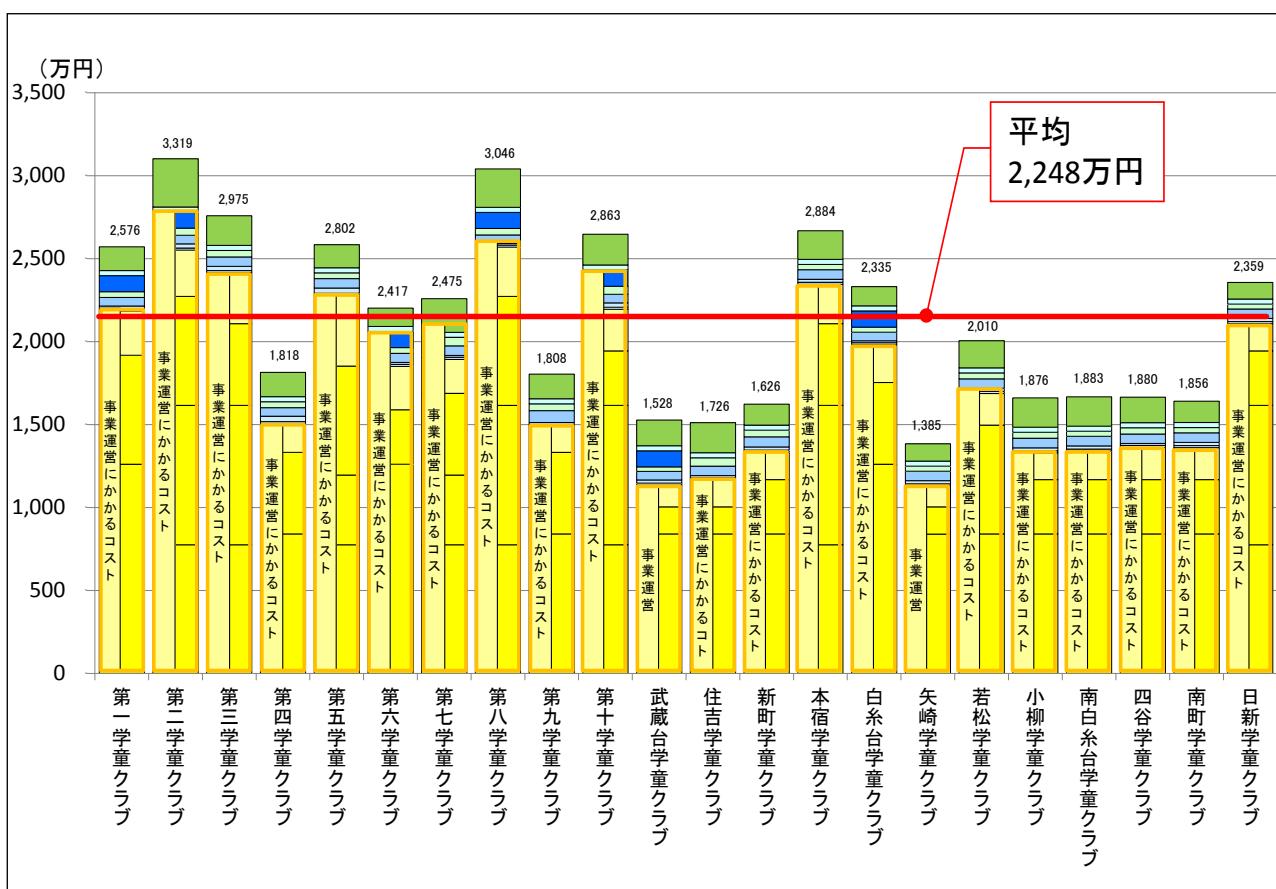
【収益の部】													
負担金(利用者の負担金)	2,892	4,281	3,590	6,455	5,617	3,401	5,174	4,195	4,374	5,251	4,664	4,289	117,815
現金収支を伴う収益 計	2,892	4,281	3,590	6,455	5,617	3,401	5,174	4,195	4,374	5,251	4,664	4,289	117,815

II. 現金収支を伴わないもの 【コストの部】		減価償却費相当額	1,546	1,806	1,272	1,727	1,160	1,039	1,637	1,765	1,770	1,534	1,276	999	35,305
コストの部合計(トータルコスト)	15,283	17,255	16,261	28,844	23,349	13,851	20,102	18,761	18,827	18,798	18,557	23,592	494,470		
収支差額	12,391	12,974	12,671	22,389	17,732	10,449	14,928	14,566	14,453	13,547	13,893	19,303	376,655		

学童クラブ トータルコスト（平成 21 年度）



学童クラブ 施設別トータルコスト（平成 21 年度）



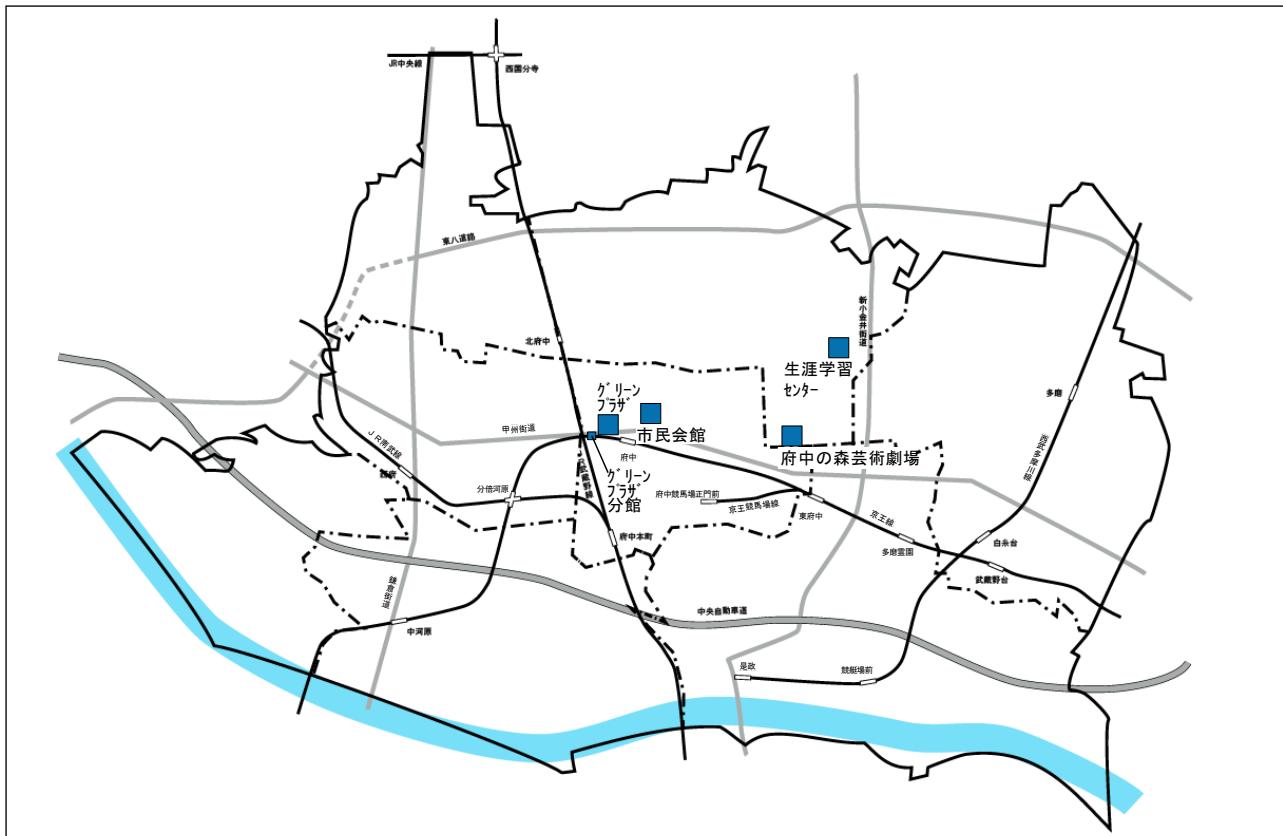
2-7 文化系施設（5施設）

(1) 概要

- 府中市には、文化系の広域対応施設として、市民会館、府中グリーンプラザ、府中グリーンプラザ分館、生涯学習センター、府中の森芸術劇場の5施設があります。
- 「市民会館」は、新たな文化・情報・コミュニティ推進の拠点を目指して、市民会館と中央図書館の複合施設として建設された「ルミエール府中」の1・2階です。
- 「府中グリーンプラザ」は、市民の文化・コミュニティ活動の場として設置された施設で、ホール・展示室・各種会議室などの施設は、発表会・展示会・懇親会等に利用できます。京王線府中駅前という抜群の立地にあり、スカイナードを通ってそのまま館内に入ることができます。
- 「府中グリーンプラザ分館」は、府中のリサイクル推進の拠点施設として、また福祉交流の場として、ギャラリー、リサちゃんショップけやき、ショップは～もにい、喫茶は～もにいからなる施設です。京王線高架下に位置し、けやき並木に面した施設となっています。
- 「生涯学習センター」は、多種多様な学習機会の提供と、「いつでも、だれもが学習できる環境づくり」を目指す総合学習施設です。音響・映像機器を備えた講堂や研修室などの様々な学習ニーズに対応できる学習室のほか、天井開閉式の温水プールやトレーニング室などの体育施設、宿泊施設を利用することができます。
- 「府中の森芸術劇場」は、収容人員2,000人を超える多目的ホールの「どりーむホール」、パイオルガンを備えたクラシック音楽の演奏と鑑賞を目的とした「ウィーンホール」、伝統芸能や演劇に適した「ふるさとホール」の3つのホールを持つ大規模施設で、主催事業や各種公演事業を開催しています。

	市民会館 (ルミエール府中)	府中グリーンプラザ	府中グリーンプラザ 分館	生涯学習センター	府中の森芸術劇場
設置目的 ・根拠法	市民の福祉を増進し、かつ、地域社会の文化の向上を図るため。 【府中市市民会館条例】	市民文化の向上を図るとともにコミュニティ活動を増進するための施設として設置する。 【府中市立府中グリーンプラザ条例】	市民文化の向上を図るとともにコミュニティ活動を増進するための施設として設置する。 【府中市立府中グリーンプラザ条例】	市民の生涯学習の振興を図り、市民生活の充実に寄与するため、生涯学習センターを設置する。 【府中市生涯学習センター条例】	市民の芸術文化活動の振興を図るため。 【府中市立府中の森芸術劇場条例】
事業内容	・主催事業の開催 (各種講座等の開催) ・貸館事業 (施設の貸出)	・貸館事業	・貸館事業 ・福祉事業 ・リサイクル推進事業	・生涯学習事業 (各種セミナー等の開催) ・貸館事業 (施設の貸出)	・主催事業の開催 ・各種公演事業の開催 ・貸館事業 (施設の貸出)
所管	文化スポーツ部 文化振興課	文化スポーツ部 文化振興課	文化スポーツ部 文化振興課	文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課	文化スポーツ部 文化振興課
使用料	・有料	・有料	・有料	・社会教育関係団体、自治会、老人クラブ、福祉団体、青少年団体は、3ヶ月に2単位まで免除	・有料

広域対応施設（文化系施設）位置図



施設一覧

施設名	建築年度	延床面積 (m ²)	併設施設			併設施設の具体的な内容
			図書館	スポーツ	その他	
市民会館(ルミエール府中)	H19	2007	2,864	●	—	中央図書館
府中グリーンプラザ	S55	1980	6,983	—	—	府中NPO・ボランティア活動センター
府中グリーンプラザ分館	H8	1996	1,350	—	—	
生涯学習センター	H4	1992	19,741	●	●	図書館、体育室、温水プール、宿泊施設
府中の森芸術劇場	H2	1990	31,088	—	—	

※市民会館の延床面積は、中央図書館との共有部分を除いたものです。

※府中グリーンプラザ及び生涯学習センターの延床面積は、文化系施設以外の施設（機能）も含めたものです。

※府中の森芸術劇場の延床面積は、改修工事後のものです。

保有機能一覧

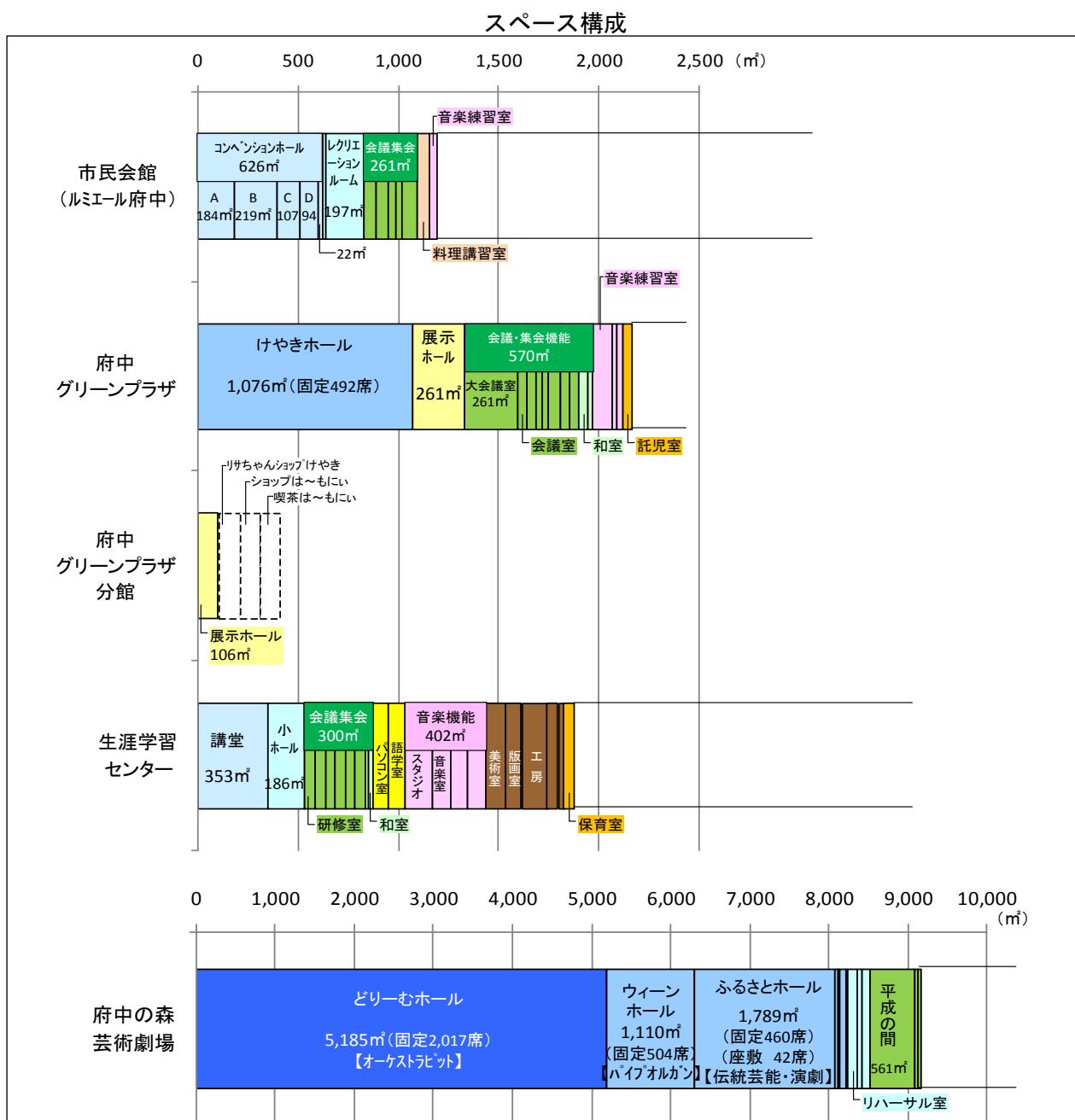
	ホール			練習室 ・リハ室	会議・集会機能			音楽室 (練習室含む)	調理室	PC室	美術・ 工作等	展示	保育室 託児室
	大	中	小		大会議室	研修室等	和室						
市民会館 (ルミエール府中)	—	—	●● ●●	●	—	●	—	●	●	—	—	—	—
府中グリーンプラザ	—	●	—	—	●	●	●	●	—	—	—	●	●
府中グリーンプラザ 分館	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—
生涯学習センター	—	—	●●	—	—	●	●	●	—	●	●	—	●
府中の森芸術劇場	●	●●	—	●	●	●	—	●	—	—	—	—	—

※市民会館のホール「コンベンションホール飛鳥」については、分割して最大4つのホールとして使用できることから、一覧では小ホールに記載しています。

(2) 施設状況

① 施設規模（延床面積）及びスペース構成

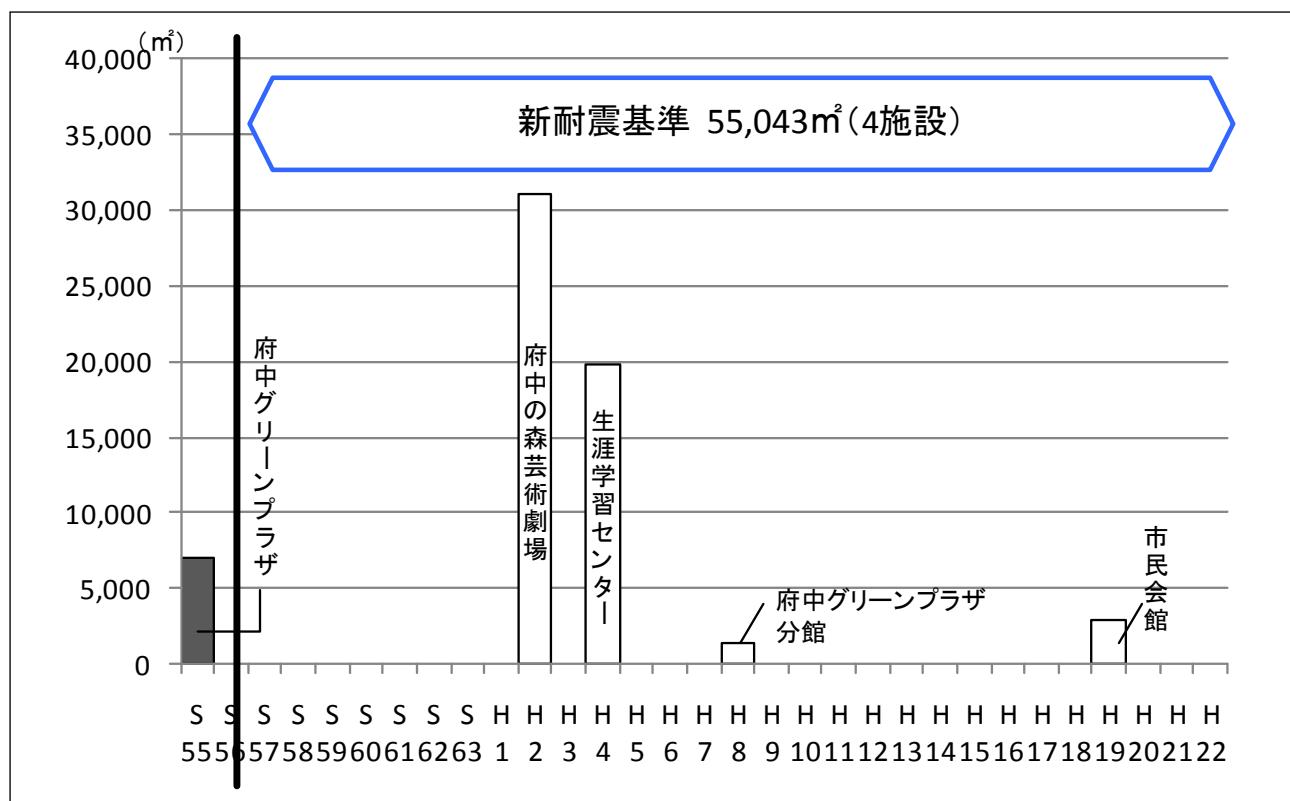
- 文化系広域対応施設 5 施設の施設規模は、府中グリーンプラザ分館の 1,350 m²から府中の森芸術劇場の 31,088 m²となっています。
- スペース構成は、最も規模の大きい府中の森芸術劇場は市内最大のホールである 2,017 席のホールと約 500 席の 2 ホールを中心とした構成となっています。次いで規模の大きい生涯学習センターは、“様々な学習ニーズに対応できる学習施設”であるため、講堂（多目的に活用可能）や研修室、音楽室のほか、他の施設にはないパソコン学習室や美術室・工房など、様々なニーズに対応できるスペース構成となっています。市民会館は、フレキシブルな活用が可能なコンベンションホール・レクリエーションルームを中心に会議室、料理講習室等で構成されています。府中グリーンプラザは、約 500 席のけやきホールと展示ホール、会議室を中心とした構成となっています。



② 建築年度

- 文化系広域対応施設は、昭和 56 年以前に建築された旧耐震基準の施設が $6,983 \text{ m}^2$ (1 施設)、昭和 57 年以降に建築された新耐震基準の施設が $55,043 \text{ m}^2$ (4 施設) であり、新耐震基準の施設が 90% を占めます。
- 旧耐震基準の府中グリーンプラザは、平成 22 年度に耐震診断調査を行いました。

築年別整備状況（文化系広域対応施設）



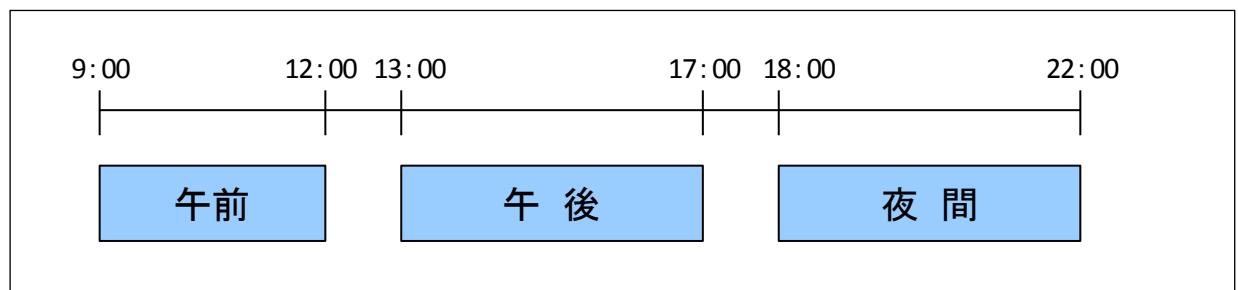
③ 運営日数、運営時間

- 年間の運営日数は、市民会館は323日、府中グリーンプラザ（分館含む）は337日、生涯学習センターは321日、府中の森芸術劇場は284日となっています。（府中の森芸術劇場は、平成22年3月1日から改修工事を実施）
- 運営時間については、全施設とも9:00～22:00となっています。基本的な利用時間区分は、午前、午後、夜間であり、午前+午後、午後+夜間、全日での利用も可能です。

運営日数

	平日	土日	計
市民会館	206	117	323
府中グリーンプラザ（分館含む）	221	116	337
生涯学習センター	206	115	321
府中の森芸術劇場	176	108	284

貸出施設の基本的な利用時間区分



(3) 建物状況

施設名	①耐震安全性			②老朽化状況				③バリアフリー対応						
	評価	評価内容		建築年度	評価内容			評価	評価内容					
		耐震診断	耐震補強		平成22 経過年	平成22 大規模改修	大改後の経過年		エレベーター	車いす用	身障者トイレ	までのスローラー	道路から入口	
ルミエール府中(市民会館)	3	不要	—	3	平成19	3	未	3	○	○	○	○	○	○
府中グリーンプラザ	2	○	—	1	昭和55	30	未	3	○	○	○	○	○	○
府中グリーンプラザ分館	3	不要	—	3	平成8	14	未	3	○	○	○	○	○	○
生涯学習センター	3	不要	—	3	平成4	18	未	3	○	○	○	○	○	○
府中の森芸術劇場	3	不要	—	3	平成2	20	平成22	0	3	○	○	○	○	○

施設名	④環境対応状況						⑤維持管理							⑥吹付けアスペスト		
	評価	評価内容					評価	評価内容						評価内容	評価内容	
		延床面積(m ²)	環境指標	m ² 平均	伴う熱量等の使用に(MJ)	(tCO ₂ 換算量)	伴う熱量等の使用に(KJ)	(kgCO ₂ 換算量)	維持管理費(千円)	m ² 平均(円)	光熱水費	委託管理費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
市民会館(ルミエール府中)	2	2,864	6,809,335	272	2,377,561	95	3	PFI方式及び指定管理者制度							3	○
府中グリーンプラザ	3	6,983	13,293,923	550	1,903,701	79	3	指定管理者制度							3	○
府中グリーンプラザ分館	3	1,350	2,532,176	105	1,876,033	78	3	指定管理者制度							3	○
生涯学習センター	3	19,741	36,569,352	1,731	1,852,468	88	3	指定管理者制度							578	3
府中の森芸術劇場	3	31,088	40,264,219	1,897	1,295,169	61	3	指定管理者制度							3	○

1m²当たりの平均値 1,603,671 73
平均値の1.4倍(+40%) 2,245,139 103

※市民会館（ルミエール府中）の光熱水費 13,133（千円）は、指定管理料に含めていませんでしたが、平成23年度より指定管理料に含める予定です。

※生涯学習センターの使用燃料や維持管理費は、文科系施設以外の施設（機能）も含めたものです。

■評価結果「1」の施設

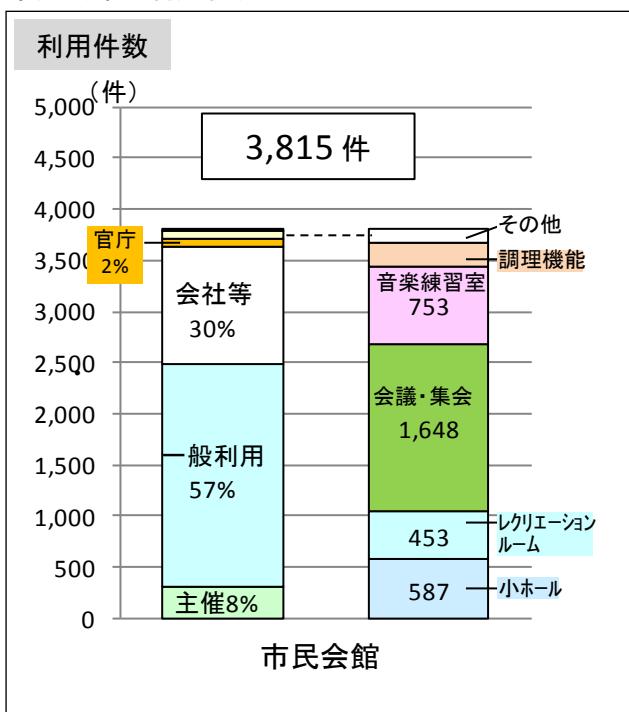
2 老朽化状況	
該当施設	・府中グリーンプラザ
今後の対応等	・今後、耐震診断の結果が出たら、それを踏まえた検討が必要

利用状況

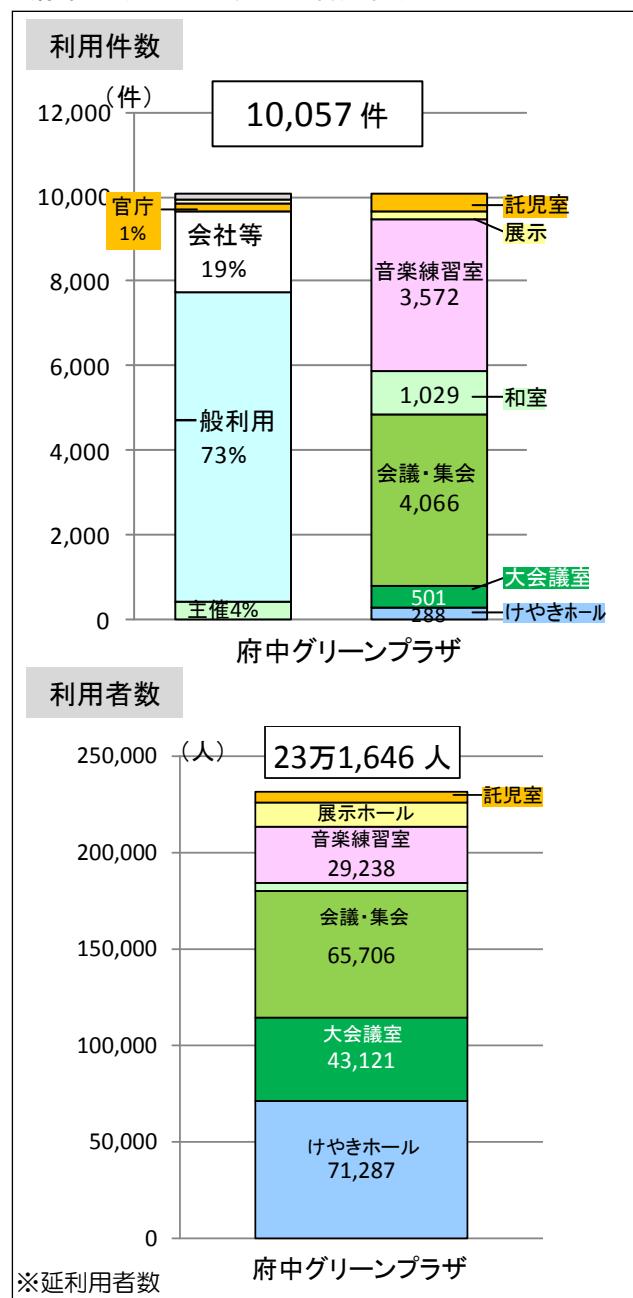
① 施設別の利用状況

- 市民会館の平成 21 年度の年間利用件数は 3,815 件です。利用機能別では、会議・集会機能の利用が 1,648 件 (43%)、音楽練習室が 753 件 (20%)、小ホール 587 件 (15%)、レクリエーションルーム 453 件 (12%) となっています。利用目的別では、一般のサークル利用等が 57%、主催事業の利用が 8%、会社等による利用が 30%、官庁利用が 2% となっています。
- 府中グリーンプラザの平成 21 年度の年間利用件数は 1 万 57 件です。利用機能別では、会議・集会機能の利用が 4,066 件 (40%)、音楽練習室が 3,572 件 (36%)、和室 1,029 件 (10%)、けやきホール 288 件 (3%) となっています。利用目的別では、一般のサークル利用等が 73%、主催事業の利用が 4%、会社等による利用が 19%、官庁利用が 1% となっています。利用者数は、年間 23 万 1,646 人です。

市民会館 利用状況

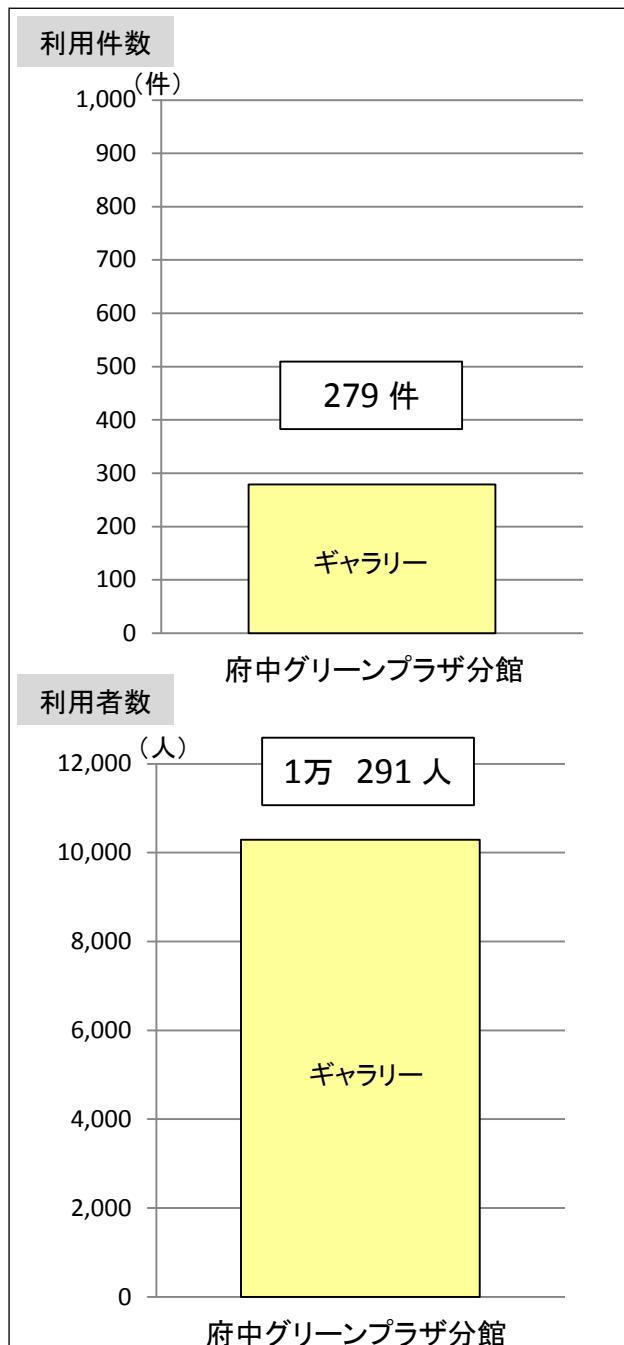


府中グリーンプラザ 利用状況

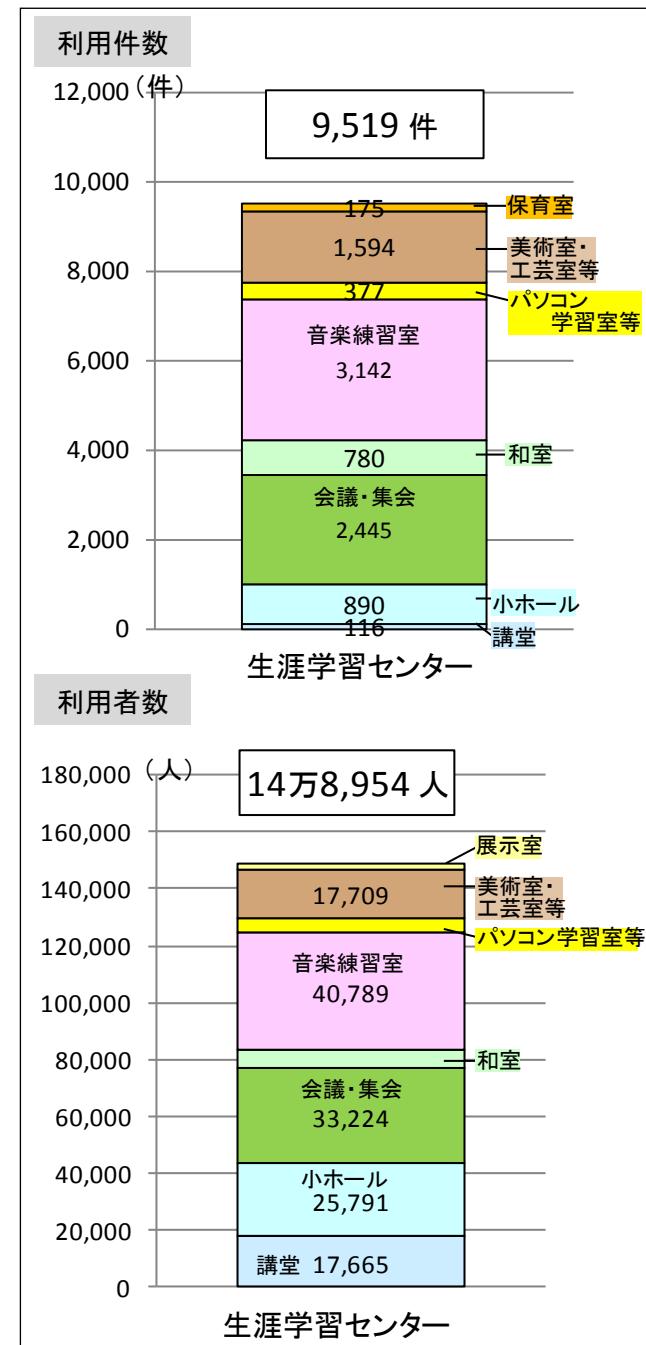


- 府中グリーンプラザ分館の平成 21 年度の年間利用件数は 279 件です。年間利用者数は 1 万 291 人となっています。
- 生涯学習センターの平成 21 年度の年間利用件数は 9,519 件です。利用機能別では、音楽練習室が 3,142 件 (33%)、研修室等の会議・集会機能の利用が 2,445 件 (26%)、美術室等が 1,594 件 (17%)、小ホール 890 件 (9%)、和室 780 件 (8%)、となっています。利用者数は、年間 14 万 8,954 人です。

府中グリーンプラザ分館 利用状況

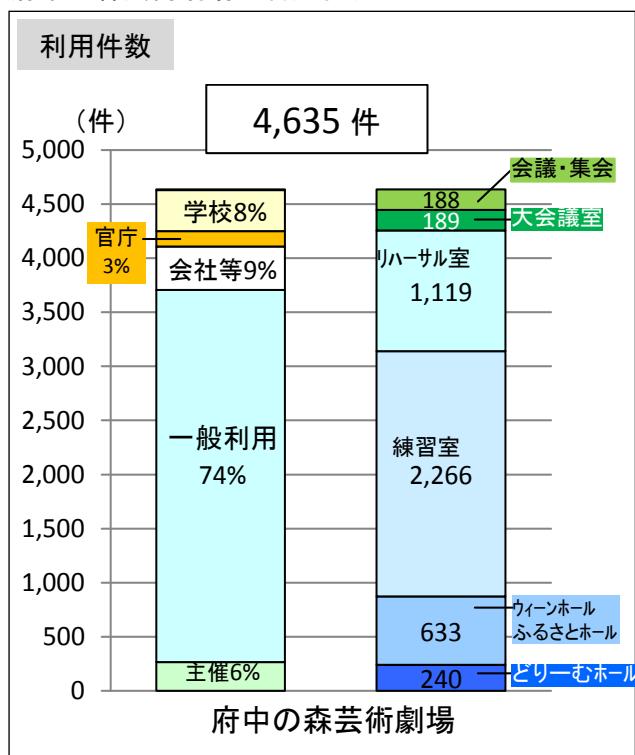


生涯学習センター 利用状況



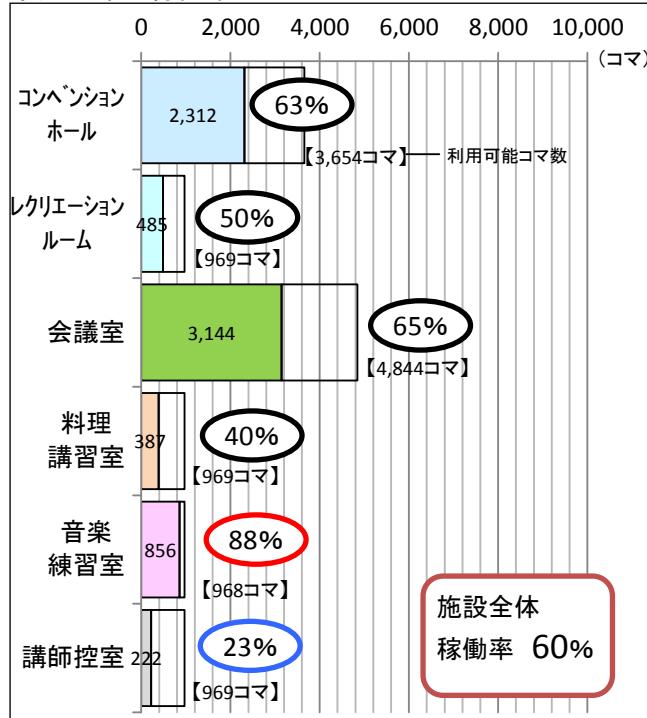
- 府中の森芸術劇場の平成 21 年度の年間利用件数は 4,635 件です。利用機能別では、練習室の利用が 2,266 件 (49%)、リハーサル室が 1,119 件 (24%)、ウィーンホール・ふるさとホールが 633 件 (14%)、どりーむホールが 240 件 (5 %) となっています。利用目的別では、一般的のサークル利用等が 74%、主催事業の利用が 6 %、会社等による利用が 9 %、官庁利用が 3 %、学校等利用が 8 % となっています。

府中の森芸術劇場 利用状況

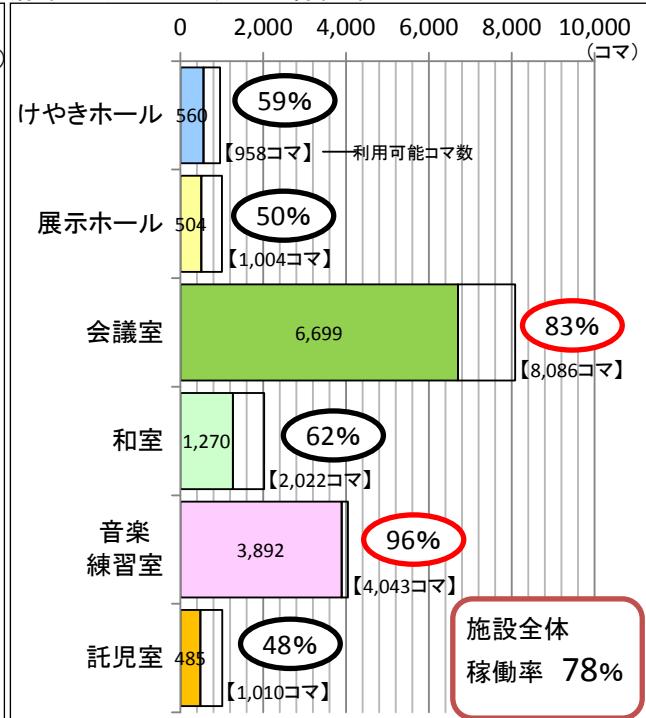


- また、機能別稼働率をみると、市民会館は音楽練習室の稼働率が80%以上と高くなっています。府中グリーンプラザは、会議室・音楽練習室の稼働率が83%・96%と高く、施設全体では78%です。生涯学習センターは、小ホールと音楽室等の稼働率が97%・86%と高くなっていますが、講堂やパソコン学習室等の稼働率が13%～22%と低いため、施設全体では52%です。府中の森芸術劇場は、ウィーンホール・練習室・リハーサル室等が80%以上と高くなっていますが、会議室は29%と低いため、施設全体では68%です。

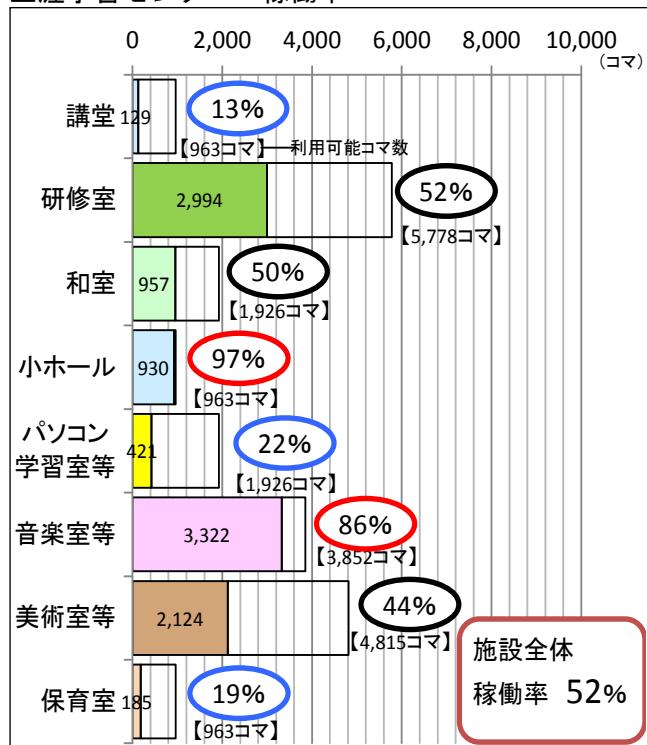
市民会館 稼働率



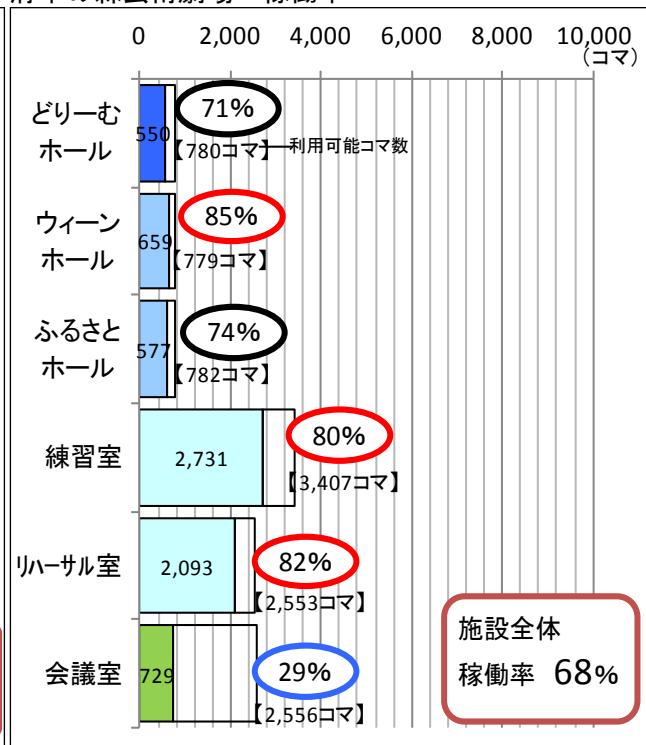
府中グリーンプラザ 稼働率



生涯学習センター 稼働率

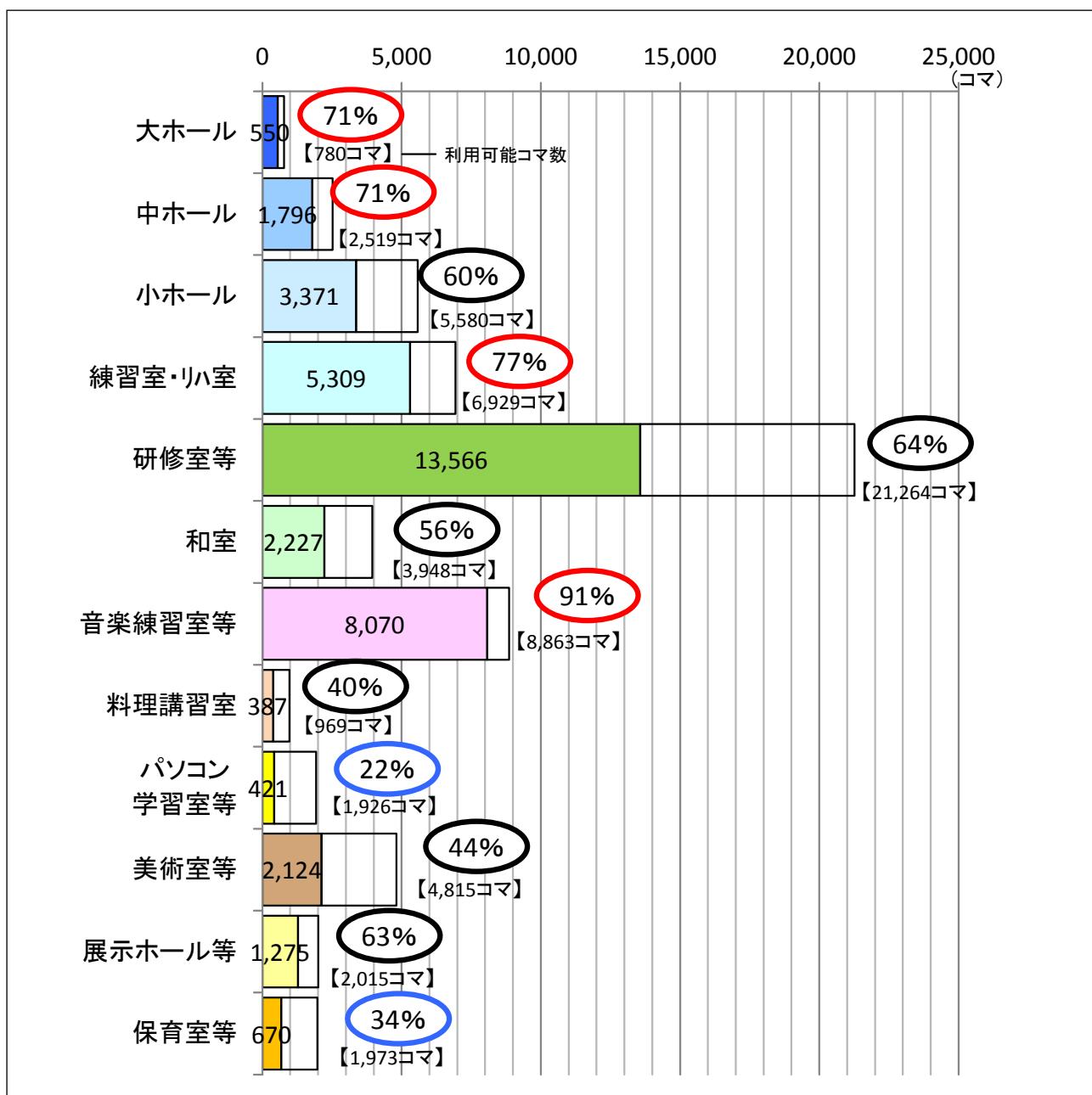


府中の森芸術劇場 稼働率



② 機能別の利用状況（文化系広域対応施設 5 施設合計）

- 文化系広域対応施設5施設を合わせた機能ごとの稼働率をみると、音楽練習室等の音楽機能の稼働率が91%と最も高く、多くの人に利用されています。次いで、大ホール（どりーむホール）、中ホール（ウィーン・ふるさと・けやきホール）、練習室・リハーサル室の稼働率が71～77%と高い状況です。
- 一方で、パソコン学習室や保育室等の特定用途の諸室稼働率は、22～34%と低くなっています。



(4) 運営状況

① 運営形態

- ・ 文化系広域対応施設のうち生涯学習センターは、市直営にて管理運営を行っています。
- ・ 市民会館は、維持管理等を PFI 事業者が、受付業務については財団法人府中文化振興財団が指定管理者として管理運営を行っています。
- ・ 府中グリーンプラザ、府中グリーンプラザ分館、府中の森芸術劇場は、財団法人府中文化振興財団が指定管理者として管理運営を行っています。

	直営	指定管理者
市民会館	—	財団法人府中文化振興財団
府中グリーンプラザ	—	財団法人府中文化振興財団
府中グリーンプラザ分館	—	財団法人府中文化振興財団
生涯学習センター	●	—
府中の森芸術劇場	—	財団法人府中文化振興財団

② 運営人員

- ・ 生涯学習センター以外の施設には、市の職員は運営人員として配置されていません。
- ・ 「その他」の欄には、指定管理者、PFI 事業者、委託業者等の人数の合計を記載しています。
- ・ 生涯学習センターの運営人員には、体育室や温水プール等の文化系施設以外の施設（機能）の管理運営に携わる人員や、生涯学習センターを中心として行う生涯学習事業の企画や運営を行う人員等も含めているため、他の施設よりも、人員数が多くなっています。

	市民会館	府中 グリーン プラザ	府中 グリーンプ ラザ分館	生涯学習 センター	府中の森 芸術劇場	(人)
市職員				15		
再任用				1		
臨時				2		
その他	6	7	1	27	23	
合計	6	7	1	45	23	

③ 人員配置時間帯

- 市民会館は、9：00～18：00まで6人で運営しています。土日祝日は4人で運営しています。18：00～22：00は1人で運営しています。
- 府中グリーンプラザは、8：30～18：00まで7人で運営しています。土日祝日は5人で運営しています。18：00～22：00までは1人で施設の貸出・受付業務を行っています。
- 府中グリーンプラザ分館は、平日・土日祝日ともに8：00～19：30まで1人で運営しています。19：30以降は、夜間まで貸出がある場合のみ1人で行っています。
- 生涯学習センターは、8：30～17：00まで、平日は市職員15人、再任用職員1人、臨時職員2人、委託業者24人で運営しています。なお、施設の管理運営業務については原則委託業者が行っています。土日祝日は、委託業者27人で運営しています。17：00～22：00までは委託業者17人で運営及び施設の管理・受付業務を行っています。また、宿泊施設としても利用できるため、22：00～翌8：30は委託業者3人で施設の管理を行っています。
- 府中の森芸術劇場は、9：00～18：45まで23人で運営しています。土日祝日は18人で運営しています。18：45～22：00までは5人で施設業務を行っています。

		9:00	17:00	18:00	22:00	8:30
市民会館	平日	6人		1人		
	土日祝日	4人		1人		
府中グリーンプラザ	平日	7人		1人		
	土日祝日	5人		1人		
府中グリーンプラザ分館	平日	8:00 1人		19:30 (夜間まである場合)		
	土日祝日	8:00 1人		19:30 (夜間まである場合)		
	平日	3人 委託業者 24人		17人	3人	
生涯学習センター	土日祝日	委託業者 27人		17人	3人	
	平日	23人		5人		
府中の森芸術劇場	土日祝日	18人		5人		
	平日		18:45			
				18:45		

(5) コスト状況

① コスト及び収支状況

- ・市民会館の平成 21 年度 1 年間の支出は、1 億 586 万円です。1 億 586 万円のうち、施設管理にかかるコストは 2,018 万円（19%）、事業運営にかかるコスト（指定管理料等）は 6,838 万円（66%）、減価償却費相当額は 1,730 万円（16%）となっています。年間の収入は、6,166 万円（支出の 58% 相当）となっています。
- ・府中グリーンプラザ（分館含む）の平成 21 年度 1 年間の支出は、2 億 6,014 万円です。2 億 6,014 万円のうち、施設管理にかかるコストは 1,875 万円（7%）、事業運営にかかるコスト（指定管理料等）は 1 億 9,922 万円（77%）、減価償却費相当額は 4,218 万円（16%）となっていますが、指定管理料の中にも施設の維持管理にかかるコストが含まれています。施設使用料を除く年間の収入は、842 万円となっています。
- ・生涯学習センターの平成 21 年度 1 年間の支出は、5 億 8,814 万円です。5 億 8,814 万円のうち、施設管理にかかるコストは 2 億 6,927 万円（46%）、事業運営にかかるコスト（概算人件費、運営等業務委託費等）は 1 億 9,964 万円（34%）、減価償却費相当額は 1 億 1,924 万円となっています。年間の収入は、7,955 万円で光熱水費とほぼ同程度となっています。
- ・府中の森芸術劇場の平成 21 年度 1 年間の支出は、6 億 2,369 万円です。6 億 2,369 万円のうち、施設管理にかかるコストは各所修繕費の 35 万円、事業運営にかかるコスト（指定管理料等）は 4 億 3,556 万円、減価償却費相当額は 1 億 8,777 万円となっており、指定管理料の中にも各所修繕費以外の施設の維持管理にかかるコストが含まれています。施設使用料を除く年間の収入は、17 万円となっています。

施設別行政コスト計算書（平成 21 年度）

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		市民会館	府中グリーンプラザ (分館含む)	生涯学習センター	府中の森芸術劇場	合計
施設にかかるコスト	各所修繕費	3,339	18,750	11,413	351	33,853
	光熱水費	13,133	0	79,206	0	92,339
	建物管理委託費	0	0	152,102	0	152,102
	その他委託費	3,706	0	2,174	0	5,881
	土地賃借料	0	0	6,500	0	6,500
	土地・建物以外賃借料	0	0	15,487	0	15,487
	車両・備品購入費	0	0	2,392	0	2,392
	施設にかかるコスト計	20,179	18,750	269,273	351	308,553
事業運営にかかるコスト	職員人件費	0	0	116,366	0	116,366
	嘱託職員人件費	0	0	3,148	0	3,148
	再任用職員人件費	0	0	1,461	0	1,461
	指定管理料	24,190	139,202	0	273,388	436,780
	負担金補助及び交付金	0	59,985	0	162,176	222,161
	運営・企画業務委託料	43,284	0	59,855	0	103,139
	その他物件費	907	28	18,804	0	19,739
	事業運営にかかるコスト計	68,381	199,215	199,635	435,564	902,795
現金収支を伴うコスト 計		88,560	217,965	468,908	435,916	1,211,348

【収益の部】

使用料	61,662	8,423	64,552	170	134,807
その他の収入	0	0	15,003	0	15,003
現金収支を伴う収益 計	61,662	8,423	79,554	170	149,809

II. 現金収支を伴わないもの

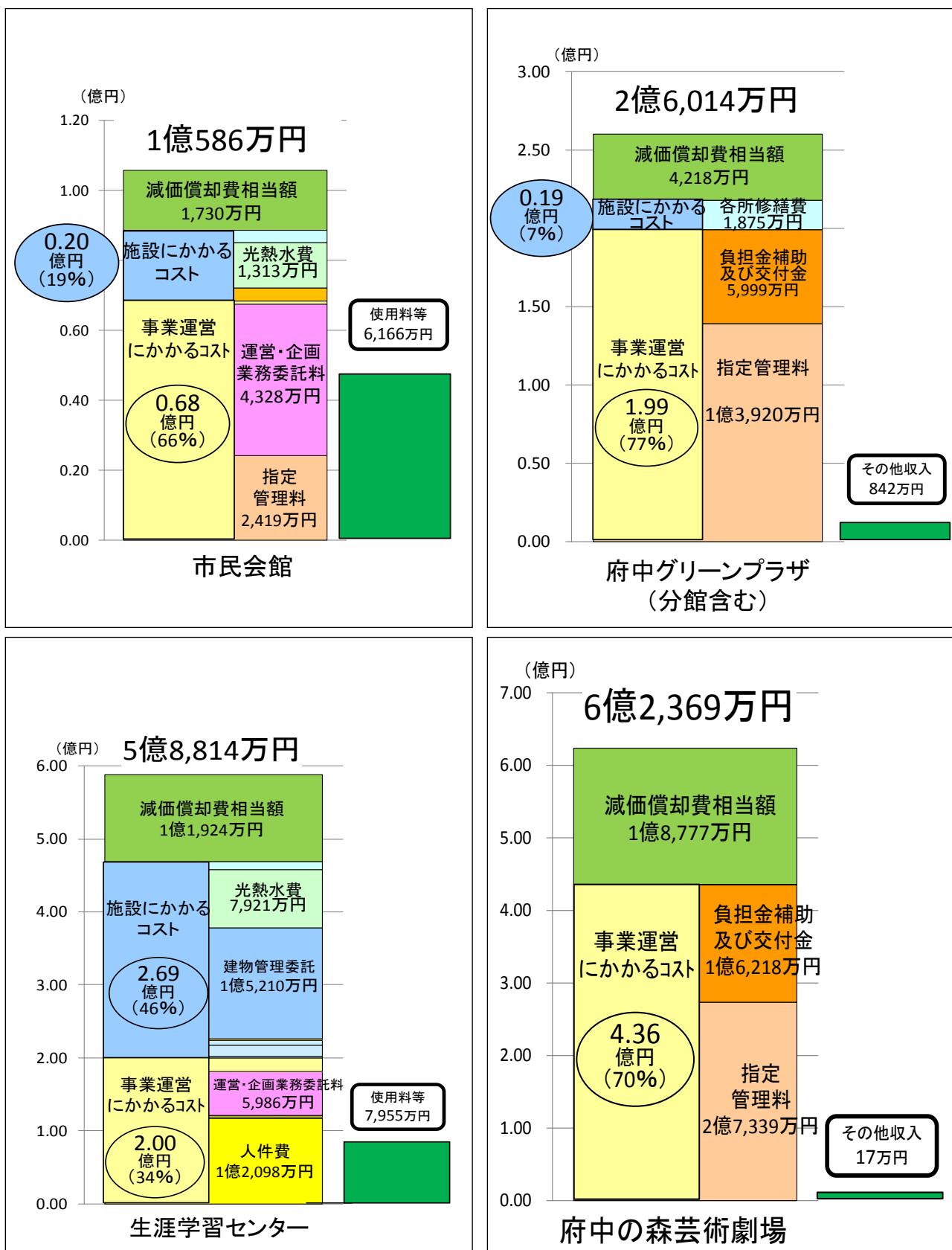
【コストの部】

減価償却費相当額	17,299	42,179	119,235	187,772	366,484
----------	--------	--------	---------	---------	---------

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	105,858	260,143	588,143	623,687	1,577,832
収支差額	44,197	251,720	508,589	623,517	1,428,022

施設別トータルコスト（平成 21 年度）



※指定管理者制度導入施設については、指定管理料の中に「光熱水費」、「建物管理委託費」等を含んでいます。

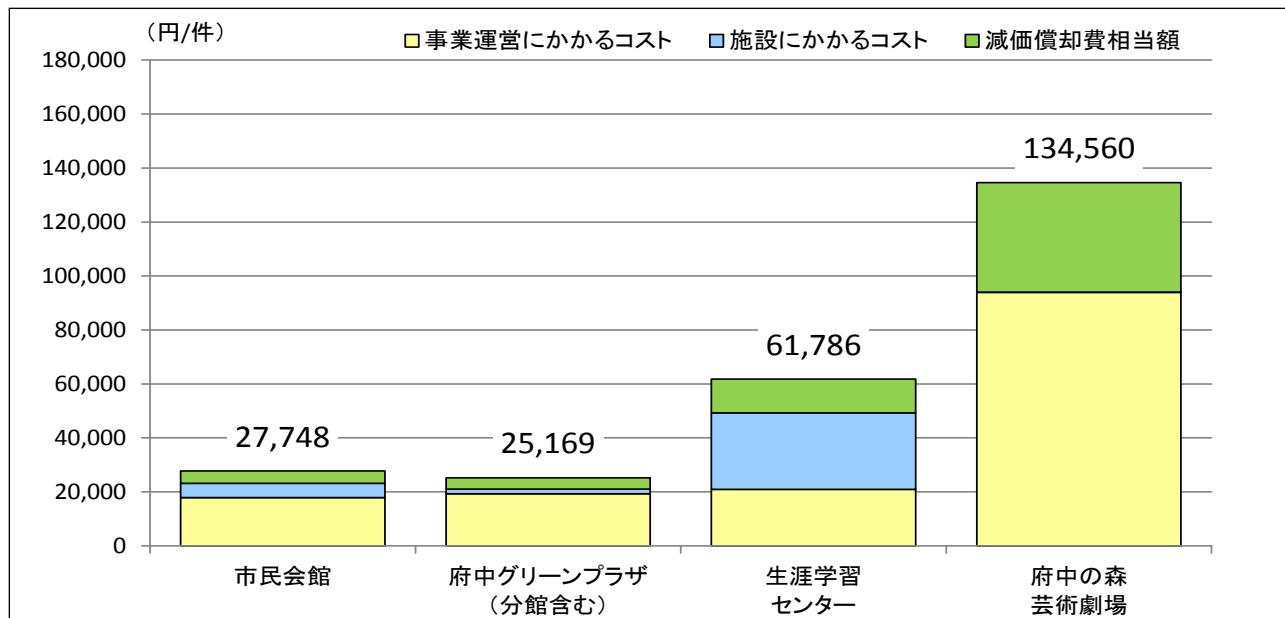
※府中グリーンプラザ（分館含む）、芸術劇場は、利用料金制のため、施設使用料は指定管理者の収入となっており、グラフに表れていません。

② 利用当たり総コスト／床面積当たり総コスト

a) 利用1件当たり総コスト

- 施設別に利用1件当たりの総コストをみると、市民会館は27,748円、府中グリーンプラザ（分館含む）は25,169円、府中の森芸術劇場は134,560円となっています。
- 生涯学習センターは複合施設のため、文化系施設（機能）についてかかるコストを抜き出すことは困難なことから、利用1件当たり総コストの分析からは除外します。

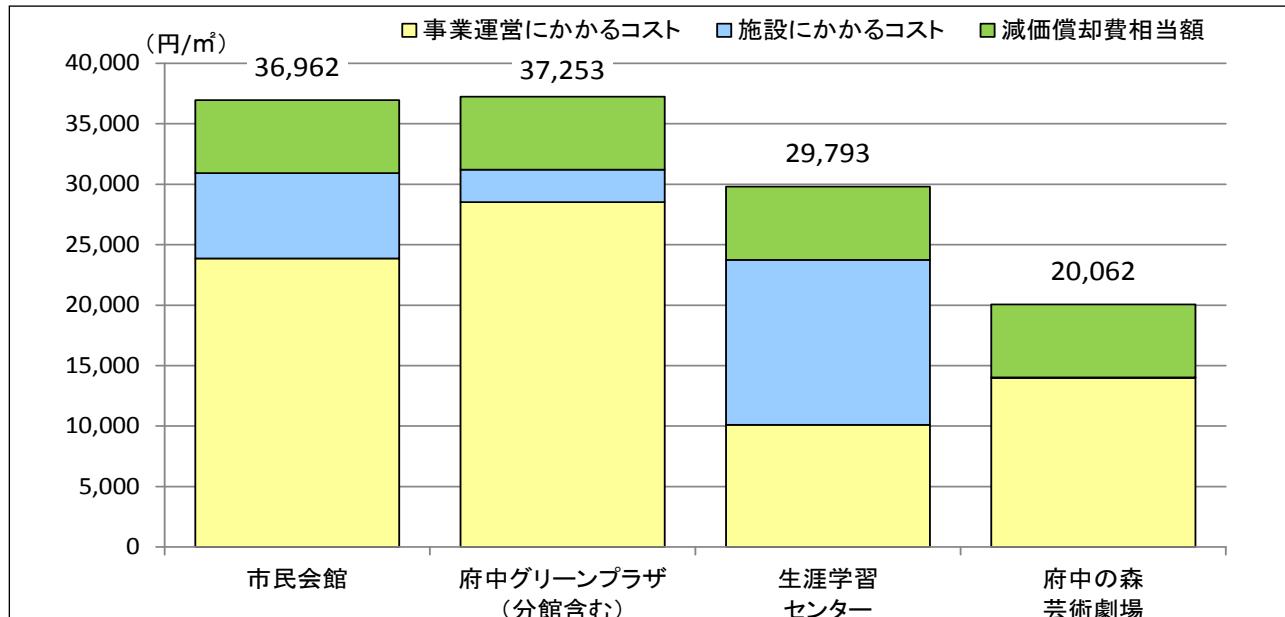
利用1件当たり総コスト（平成21年度）



b) 床面積（1m²）当たり総コスト

- 床面積（1m²）当たりのコストをみると、市民会館は36,962円、府中グリーンプラザ（分館含む）は37,253円、生涯学習センターは29,793円、府中の森芸術劇場は20,062円となっています。
- 生涯学習センターは、文化系施設（機能）以外も含めた総コスト及び延床面積から算出しているため、比較する際には注意が必要です。

床面積（1m²）当たり総コスト（平成21年度）



2-8 美術館・博物館

(1) 概要

- 「美術館」は、都立府中の森公園内にあり、平成12年10月に開館しました。常設・企画展示室や充実した展示内容で、武蔵野・多摩地域の公立美術館の中でも規模の大きい美術館となっています。企画展示室、常設展示室のほか、牛島憲之記念館、公開制作室、市民ギャラリーなどを保有しており、市内小中学校と協働で実施している美術鑑賞教室やティーンズスタジオなど、様々な教育普及活動を行っています。
- 「郷土の森博物館」は、約14万m²の敷地全体で府中の自然、地形、風土の特徴を表現し、その中に昔の農家や町屋、歴史的な建物などを配置することで、野外を含めた「森」全体を博物館として、ふるさと府中の自然と歴史を楽しむことができる施設です。郷土の森博物館は、郷土の森博物館は、博物館本館（展示室、プラネタリウム等）、復元建築物、公園で構成されています。

	美術館	郷土の森博物館
設置目的・根拠法	市民の心豊かな文化的な生活の享受に寄与するとともに、地域社会における美術教育・美術文化の振興を図るため。 【美術館条例】【博物館法】	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため。 【博物館法】 【郷土の森博物館条例】
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・美術作品及び美術に関する資料の収集、保管、展示 ・美術に関する調査及び研究 ・美術に関する講演会、講習会等の開催 ・美術に関する指導、助言及び相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・実物、標本、模写、模型、文献等の博物館資料を豊富に収集、保管、展示 ・博物館資料等に関する調査研究 ・博物館資料に関する案内書、解説書等の作成、配布 ・博物館資料に関する講演会、講習会、研究会等の主催及び開催 ・プラネタリウムの投影
所管	文化スポーツ部美術館	文化スポーツ部文化振興課 (平成23年度より文化スポーツ部ふるさと文化財課に変更)

施設一覧

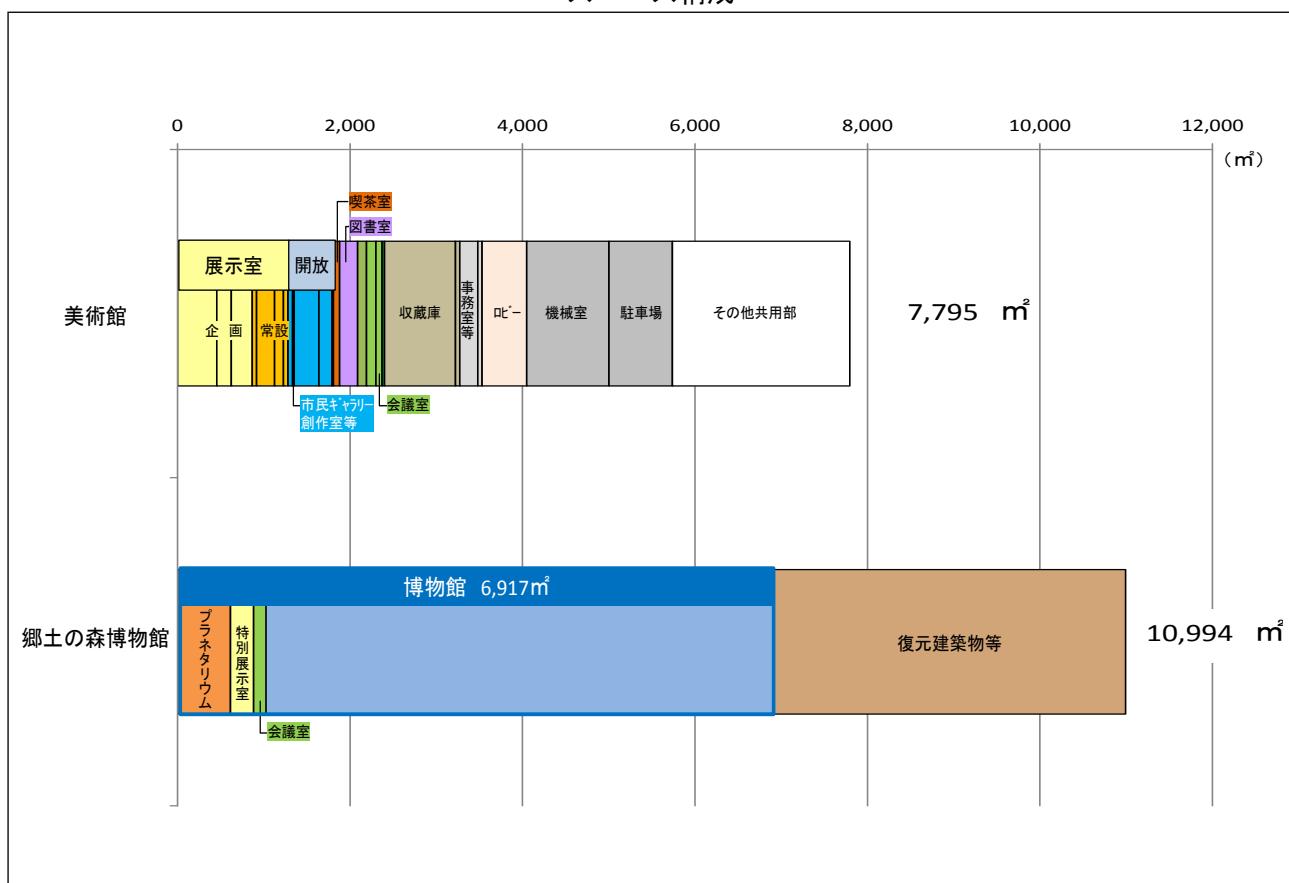
施設名	建築年度	延床面積 (m ²)	備考
美術館	H12	2000	7,795 都立府中の森公園内
郷土の森博物館	S62	1987	10,994

(2) 施設状況

① 施設規模（延床面積）及びスペース構成

- 施設規模は、美術館が 7,795 m²、郷土の森博物館が 10,994 m²となっています。
- 美術館には、企画展示室・常設展示室のほか、公開制作室、誰でも利用できる市民ギャラリー、創作室、近現代美術本・美術関連雑誌等約 4 万冊を所蔵している図書室、喫茶室等があります。
- 郷土の森博物館には、博物館本館や復元建築物等があります。
- 博物館本館には、平面床では国内最大級の規模を誇るプラネタリウムや、企画展、特別展の会場として利用される特別展示室のほか、会議や講演会・講習会に使用される大会議室があり、延床面積は 6,917 m²となっています。復元建築物としては、旧府中町立府中尋常高等小学校、旧府中町役場庁舎、貸出可能な和室を有する旧田中家住宅などがあります。他にも園内施設として、茶室や休憩所などがあります。

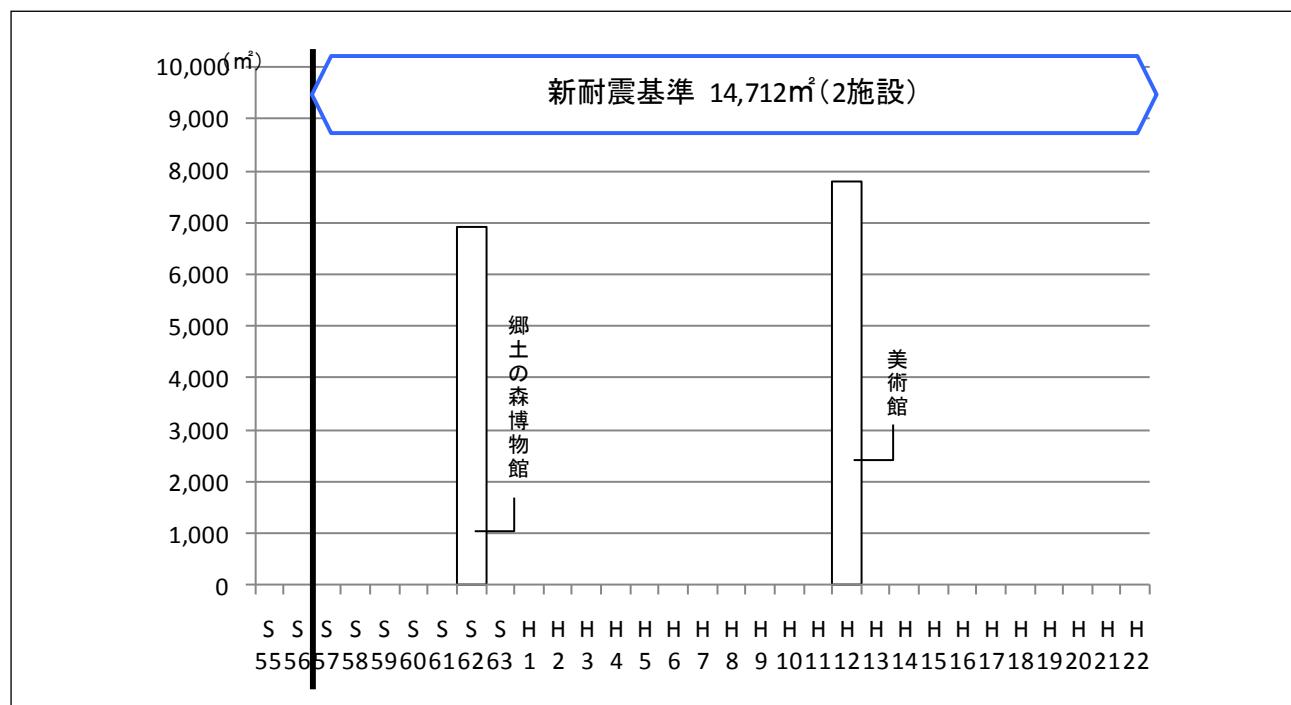
スペース構成



② 建築年度

- ・ 美術館、郷土の森博物館とも新耐震基準施設であり、郷土の森博物館は建築後 23 年経過しています。
- ・ 郷土の森博物館について分析・検討する際は、博物館本館と復元建築物ではその性格が異なることから、博物館本館のみを対象とします。

築年別整備状況（美術館・博物館）



③ 運営日数、運営時間

- 年間の運営日数（平成 21 年度）は、美術館は平日 132 日、土日 108 日で計 240 日、郷土の森博物館は平日 190 日、土日 117 日で計 307 日となっています。
- 美術館は、
運営時間 10：00～17：00
休館日 月曜日、国民の祝日の翌日など、年末年始、展示替えの時期など
- 郷土の森博物館は、
運営時間 9：00～17：00
休館日 月曜日、年末年始

運営日数

	平日	土日	計
美術館	132	108	240
郷土の森博物館	190	117	307

運営時間帯



(3) 建物状況

施設名	①耐震安全性			②老朽化状況				③バリアフリー対応						
	評価	評価内容		評価	評価内容			評価	評価内容					
		耐震診断	耐震補強		建築年度	経過年	大規模改修		エレベータ	車いす用	身障者トイレ	までのスロープ	自動ドア	手すり
美術館	3	不要	—	3	平成12	10	未	3	○	○	○	○	○	○
郷土の森博物館	3	不要	—	2	昭和62	23	未	3	○	○	○	○	○	○

施設名	④環境対応状況							⑤維持管理							⑥吹付けアスペクト	
	評価	評価内容						評価	評価内容						評価内容	
		環境指標		m ² 平均		延床面積(m ²)			維持管理費(千円)		m ² 平均(円)		各所修繕費			
美術館	3	7,795	21,210,974	897	2,721,100	115	3	7,795	32,693	65,624	11,235	4,194	8,419	1,441	3	○
郷土の森博物館	3	6,917	15,615,505	615	2,257,555	89	3	指定管理者制度							3	○

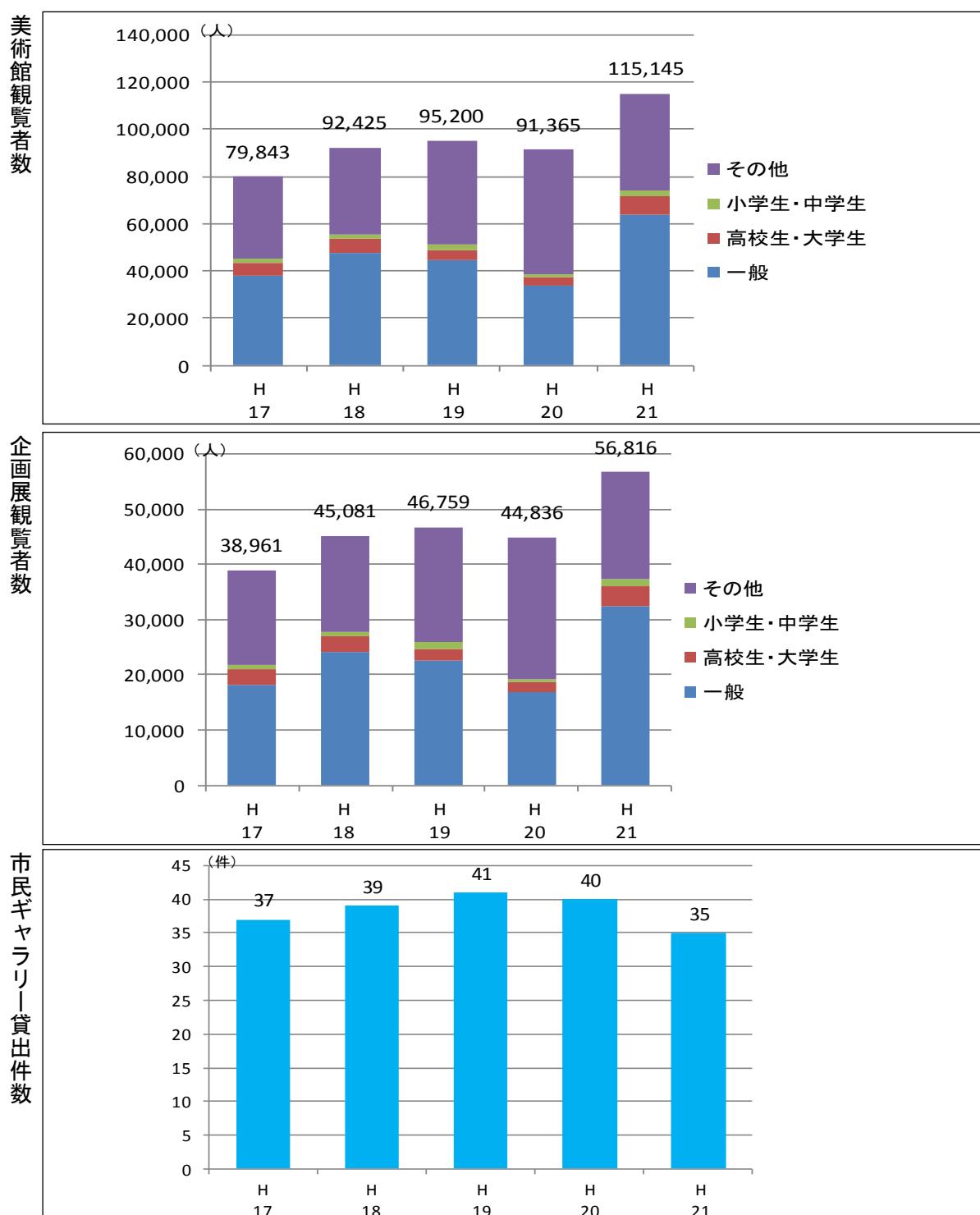
※ 美術館・博物館については、建物状況について特に問題はありません。

(4) 利用状況

① 施設別の利用状況

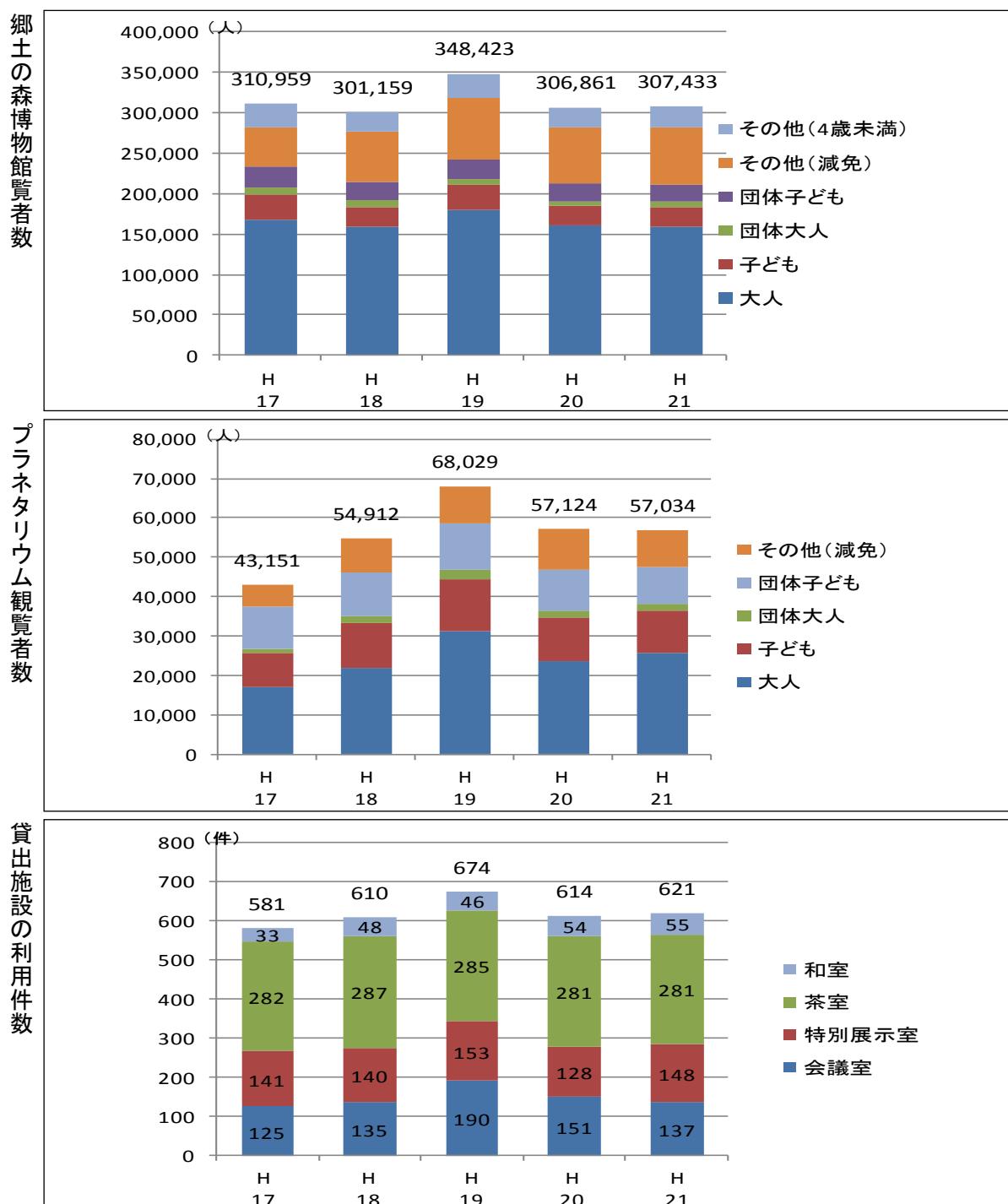
<美術館>

- ・ 美術館観覧者数は、平成 17 年度 7 万 9,843 人から平成 21 年度 11 万 5,145 人まで約 1.4 倍増加しています。
- ・ 企画展観覧者数は、平成 17 年度 3 万 8,961 人から平成 21 年度 5 万 6,816 人まで約 1.5 倍増加しています。
- ・ 市民ギャラリーの貸出件数は、過去 5 年間 35 件～41 件で推移しています。



<郷土の森博物館>

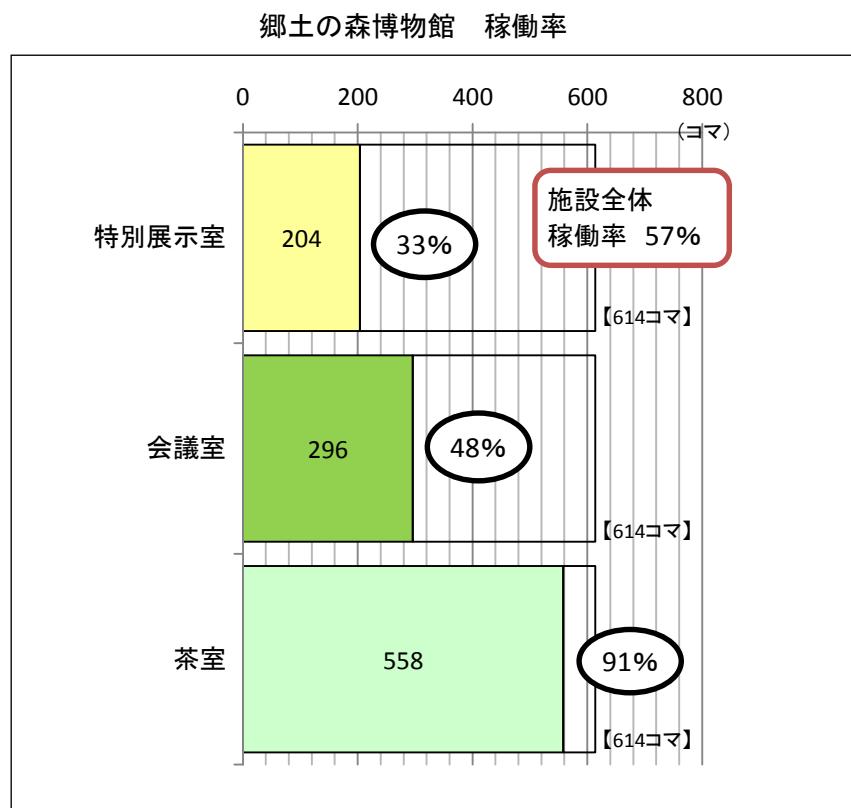
- 博物館観覧者数は、平成 17 年度 31 万 959 人から平成 21 年度 30 万 7,433 人でほぼ横ばいで推移しています。平成 19 年度は、博物館開館 20 周年のため事業規模を拡大したため、例年に比べ多くなっていると思われます。
- プラネタリウム観覧者数は、平成 17 年度 4 万 3,151 人から平成 19 年度 6 万 8,029 人まで約 1.6 倍増加していましたが、平成 20 年度 5 万 7,124 人から平成 21 年度 5 万 7,034 人で、ほぼ横ばいで推移しています。
- 貸出施設の利用件数は、平成 19 年度 674 件から平成 21 年度 621 件でほぼ横ばいで推移しています。



■ 貸出施設の稼働率

- 機能別稼働率をみると、郷土の森博物館は茶室の稼働率が91%と最も高く、次に会議室48%、特別展示室33%です。施設全体の稼働率は57%となっています。

(和室については、旧田中家住宅内見学施設のため、把握に含めない)



出典：府中文化振興財団「平成21年度事業報告」

(5) 運営状況

① 運営形態

- ・ 美術館は、市直営にて管理運営を行っています。
- ・ 郷土の森博物館は、財団法人府中文化振興財団が指定管理者として管理運営を行っています。

	直営	指定管理者
美術館	●	—
郷土の森博物館	—	財団法人府中文化振興財団

② 運営人員

- ・ 美術館の運営人員として、11人が従事しています。内訳は、市職員（一般）が4人、市職員（学芸員）が6人、嘱託職員が1人となっています。
- ・ 郷土の森博物館の運営人員として、12人が従事しています。内訳は、指定管理者職員（一般）が5人、指定管理者職員（学芸員）が7人となっています。

	美術館	郷土の森博物館	(人)
市職員（一般）	4		
市職員（学芸員）	6		
嘱託	1		
指定管理者職員（一般）		5	
指定管理者職員（学芸員）		7	
合計	11	12	

(6) コスト状況

① コスト及び収支状況

- ・ 美術館の平成 21 年度の 1 年間の支出は、4 億 5,144 万円です。4 億 5,144 万円のうち、施設管理にかかるコストは 1 億 969 万円（24%）、事業運営にかかるコスト（人件費、運営・企画業務委託料等）は 2 億 9,466 万円（65%）、減価償却相当額は 4,708 万円となっています。年間の収入は、3,758 万円（支出の 8% 相当）となっています。
- ・ 郷土の森博物館の平成 21 年度の 1 年間の支出は、4 億 4,035 万円です。4 億 4,035 万円のうち、施設管理にかかるコストは 598 万円（1%）、事業運営にかかるコスト（人件費、指定管理料等）は 3 億 6,796 万円（84%）、減価償却費相当額は 6,640 万円となっています。年間の収入は、11 万円となっています。

施設別行政コスト計算書（平成 21 年度）(千円)

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		美術館	郷土の森博物館	合計
施設にかかるコスト	各所修繕費	11,235	5,984	17,219
	光熱水費	32,693	0	32,693
	建物管理委託費	65,624	0	65,624
	その他委託費	0	0	0
	土地・建物以外賃借料	0	0	0
	使用料	139	0	139
	車両・備品購入費	0	0	0
	施設にかかるコスト計	109,691	5,984	115,675
事業運営コスト	職員人件費	77,578	0	77,578
	嘱託職員人件費	3,686	0	3,686
	再任用職員人件費	0	0	0
	指定管理料	0	241,303	241,303
	負担金補助及び交付金	33,865	98,749	132,614
	運営・企画業務委託料	59,157	27,909	87,066
	その他物件費	120,377	0	120,377
	事業運営にかかるコスト計	294,663	367,961	662,624
現金収支を伴うコスト 計		404,354	373,944	778,298

【収益の部】

使用料	27,462	0	27,462
その他の収入	10,122	108	10,231
現金収支を伴う収益 計	37,584	108	37,693

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

減価償却費相当額	47,082	66,402	113,484
----------	--------	--------	---------

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	451,436	440,346	891,782
収支差額	413,851	440,238	854,089

図 美術館トータルコスト

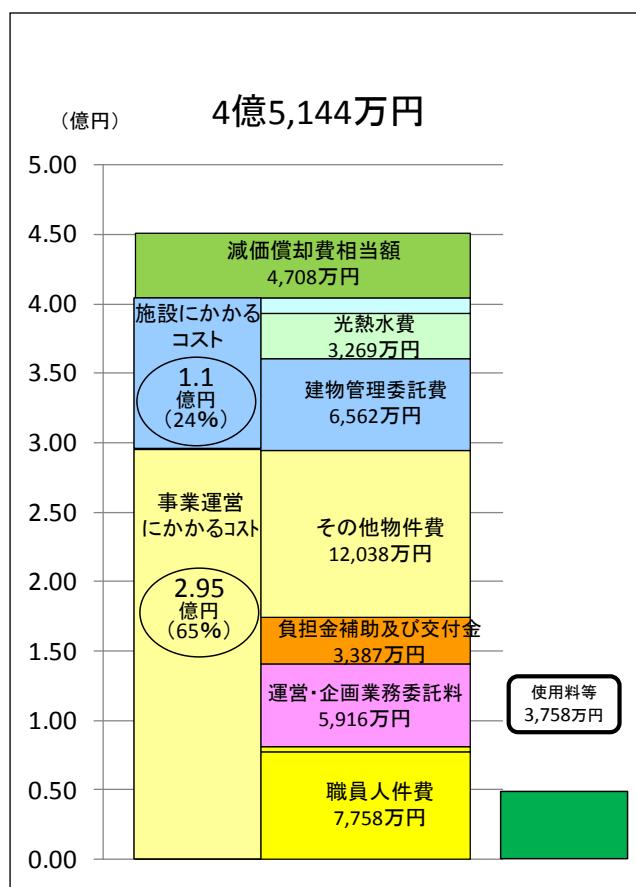
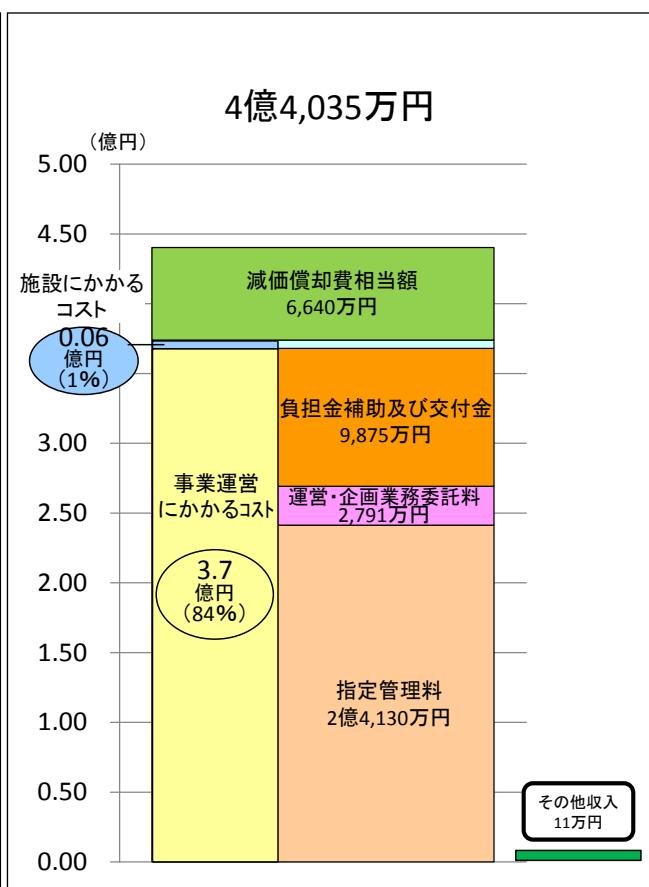


図 郷土の森博物館トータルコスト



※指定管理者制度導入施設については、指定管理料の中に「光熱水費」及び「建物管理委託費」等を含んでいます。

※郷土の森博物館は、利用料金制のため、施設使用料は指定管理者の収入となっているため、グラフに表れていません。

2-9 体育館

(1) 概要

- ・ 体育館には、総合体育館・地域体育館 7 施設及び生涯学習センタースポーツ室があります。
- ・ 主催事業としてスポーツ教室・スポーツ大会などを実施しています。
- ・ 総合体育館は、体育室や武道場、弓道場などの体育諸室のほかにも、会議室や研修室などの集会機能も備えた総合体育施設となっています。地域体育館には、体育室のほかに会議室等があります。
- ・ 生涯学習センターは、天井開閉式の温水プールや体育室といった体育施設のほかにも、講堂や研修室、宿泊施設なども保有する総合学習施設です。

	体育館	生涯学習センター
設置目的 ・根拠法	市民にスポーツ及びレクリエーションの普及を図り、心身の健康と豊かな市民生活の向上に寄与するため、体育館を設置する。 【府中市立体育館条例】	市民の生涯学習の振興を図り、市民生活の充実に寄与するため、生涯学習センターを設置する。 【府中市生涯学習センター条例】
事業内容	・主催事業の開催 (スポーツ教室等の開催) ・貸館事業 (施設の貸出)	・生涯学習事業 (各種セミナー等の開催) ・貸館事業 (施設の貸出)
所管	文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課	文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課
使用料	・有料	・社会教育関係団体、自治会、老人クラブ、福祉団体、青少年団体は、3ヶ月に2単位まで免除

施設一覧

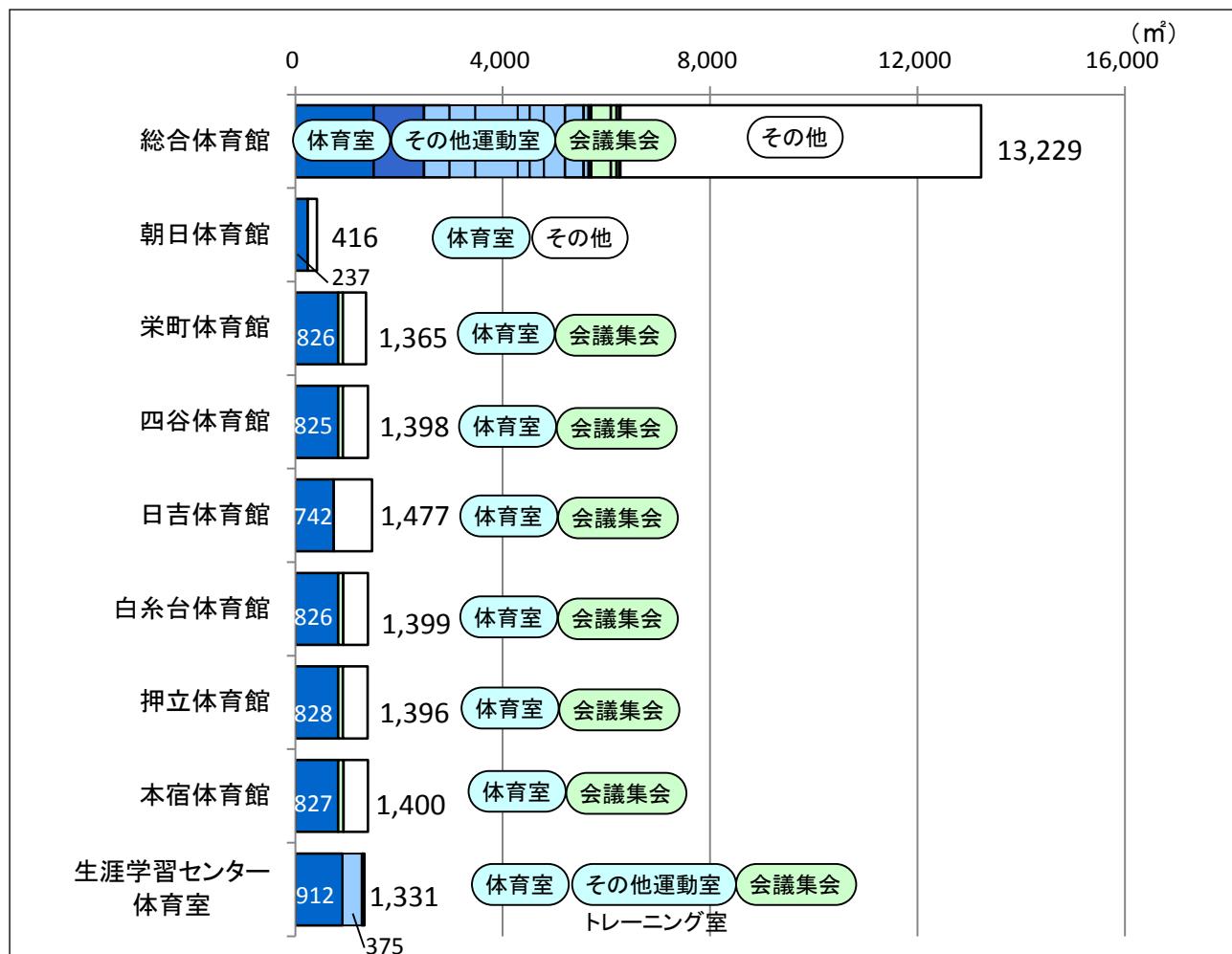
施設名	建築年度		延床面積 (m ²)	併設施設			具体的内容
				温水プール	図書館	その他	
総合体育館(第1体育室棟) (第2体育室棟・管理室棟)	S46	1971	13,229	—	—	—	第1体育室、第2体育室、第1武道場、第2武道場、弓道場、卓球室、相撲場、会議室ほか
地域 体育 館	朝日体育館	S47	1972	416	—	—	体育室、指導室
	栄町体育館	S58	1983	1,365	—	—	体育室、会議室
	四谷体育館	S60	1985	1,398	—	—	体育室、会議室
	日吉体育館	S60	1985	1,477	—	—	東京競馬場施設だが、地域体育館に準ずる施設として市民が利用
	白糸台体育館	S60	1985	1,399	—	—	体育室、会議室
	押立体育館	S61	1986	1,396	—	—	体育室、会議室
	本宿体育館	S62	1987	1,400	—	—	体育室、会議室
生涯学習センター	H4	1992	1,331	●	●	●	体育室、温水プール、学習施設、図書館、宿泊施設

(2) 施設状況

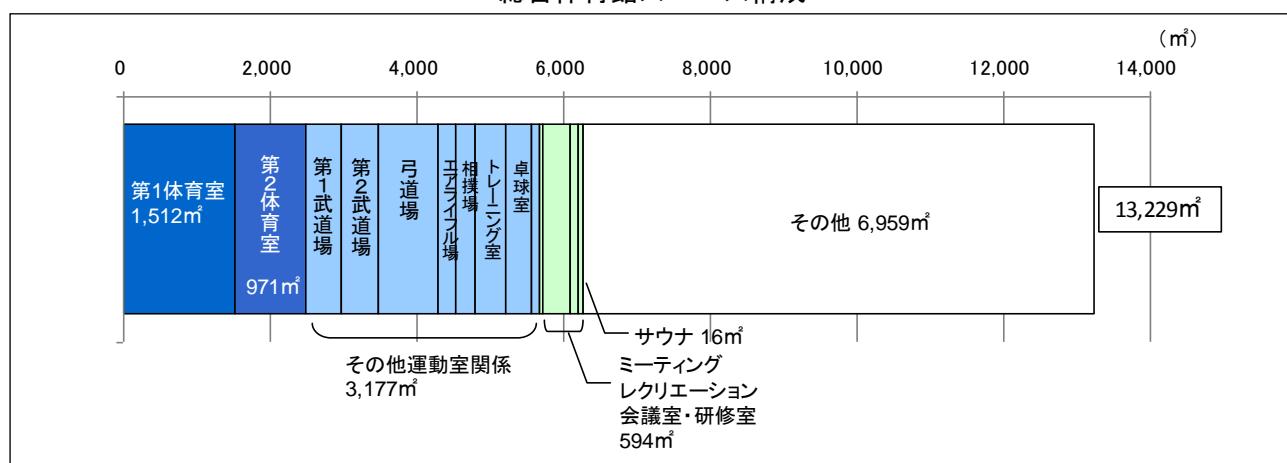
① 施設規模（延床面積）及びスペース構成

- 体育館の施設規模は、朝日体育館の 416 m²から総合体育館の 1万 3,229 m²となっています。
- スペース構成は、最も規模の大きい総合体育館には、2つの体育室に加え各種運動室があり、その他に会議室等があります。他の地域体育館には、体育室と会議室等があります。
- 生涯学習センター体育室には、体育室に加え、トレーニング室とミーティング室があります。

体育館規模



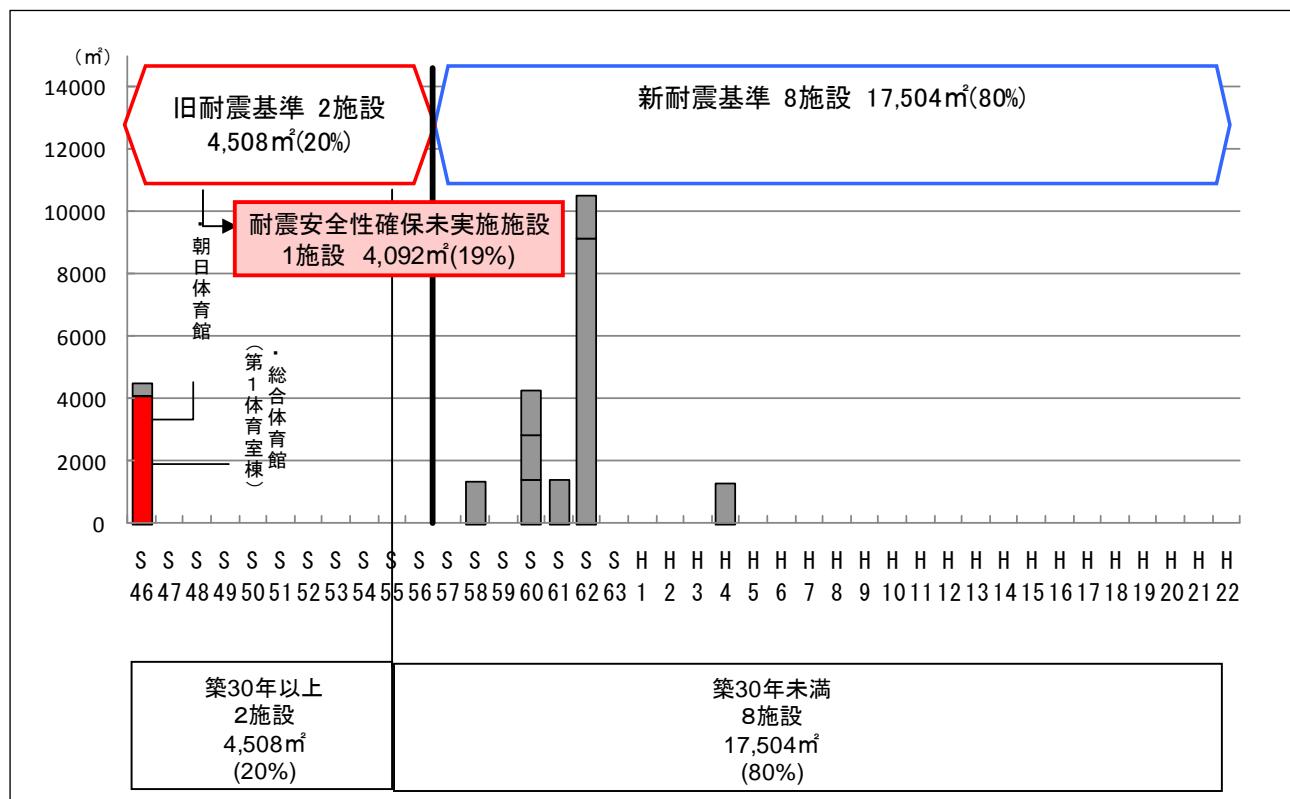
総合体育館スペース構成



② 建築年度

- 総合体育館第1体育室棟・朝日体育館は昭和56年以前に建築された旧耐震基準の施設で、2施設で床面積の合計が $4,508\text{ m}^2$ となっています。その他は昭和57年以降に建築された新耐震基準の施設で、床面積の合計は $17,504\text{ m}^2$ （8施設）で、全体の80%を占めます。なお、総合体育館については棟の建築年度の違いで2施設として表記しました。

築年別整備状況（体育館）



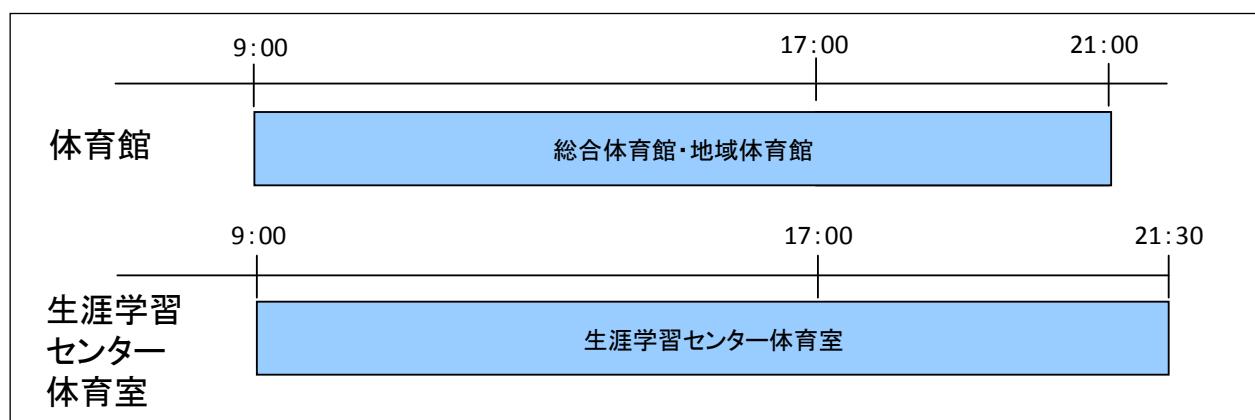
③ 運営日数、運営時間

- 年間の運営日数は、総合体育館は 315 日、地域体育館は 323 日、生涯学習センターは平日 206 日、土日祝日 115 日で計 321 日となっています。
- 運営時間については、生涯学習センター体育室が 9:00~21:30、その他の体育館が 9:00~21:00 となっています。基本的な利用時間区分は、午前、午後 1、午後 2、夜間の 4 区分で、全日での利用も可能です。

運営日数

	平日	土日	計
総合体育館	199	116	315
朝日体育館	242	117	359
その他地域体育館	206	117	323
生涯学習センター	206	115	321

運営時間帯



(3) 建物状況

施設名	①耐震安全性			②老朽化状況				③バリアフリー対応					
	評価	評価内容		建築年度	評価内容			評価	評価内容				
		耐震診断	耐震補強		評価	平成22	大規模改修		車いす用エレベーター	身障者トイレ	までのスロープ	道路から入口	自動ドア
総合体育館 (第1体育室棟)	2	○	—	1	昭和46	39	未	3	○	○	○	○	○
総合体育館 (第2体育室棟・管理室棟)	3	○	—	2	昭和63	22	未	3	○	○	○	○	○
朝日体育館	3	不要	—	1	昭和47	38	未	2	—	—	—	○	○
栄町体育館	3	不要	—	2	昭和58	27	未	2	○	○	○	○	○
四谷体育館	3	不要	—	2	昭和60	25	未	2	○	○	○	○	○
日吉体育館	3	不要	—	2	昭和60	25	未	2	○	○	○	○	○
白糸台体育館	3	不要	—	2	昭和60	25	未	2	○	○	○	○	○
押立体育館	3	不要	—	2	昭和61	24	未	2	○	○	○	○	○
本宿体育館	3	不要	—	2	昭和62	23	未	2	○	○	○	○	○
生涯学習センター体育室	3	不要	—	3	平成4	18	未	3	○	○	○	○	○

施設名	④環境対応状況							⑤維持管理							⑥吹付け アスペスト	
	評価	評価内容						評価	評価内容						評価内容	
		延床面積 (m ²)	環境指標	m ² 平均	伴う燃料等の使用量 (MJに)	換算CO ₂ 排出量 (kg)	伴う燃料等の使用量 (kgに)		延床面積 (m ²)	維持管理費(千円)	m ² 平均(円)	光熱水費	委託費	建物管理委託費		
総合体育館 (第1体育室棟)	3	13,229	13,555,204	589	1,024,697	45	3	13,229	27,782	46,856	5,763	2,100	3,542	436	3	不要
総合体育館 (第2体育室棟・管理室棟)	3	上記に含む					3	上記に含む					3	不要		
朝日体育館	3	416	198,362	7	477,314	17	1	416	617	4,644	366	1,485	11,175	881	3	○
栄町体育館	3	1,365	788,278	30	577,379	22	3	1,365	2,546	3,531	709	1,865	2,586	520	3	不要
四谷体育館	3	1,398	746,212	29	533,592	21	3	1,398	2,446	3,528	954	1,749	2,523	683	3	不要
日吉体育館	3	1,477	—	—	—	—	3	1,477	—	—	—	—	—	—	3	○
白糸台体育館	3	1,399	889,600	34	635,883	24	1	1,399	2,798	4,127	1,527	2,000	2,950	1,091	3	○
押立体育館	3	1,396	867,732	34	621,393	24	3	1,396	2,680	3,435	695	1,919	2,460	498	3	○
本宿体育館	3	1,400	918,238	36	656,062	26	3	1,400	2,847	3,613	830	2,034	2,581	593	3	○
生涯学習センター体育室	3	生涯学習センターに含む					3	生涯学習センターに含む					3	○		

1m ² 当たりの平均値	767,313	32	1m ² 当たりの平均値	1,889	3,158	491
平均値の1.4倍(+40%)	1,074,239	45	平均値の1.4倍(+40%)	2,645	4,422	688

■評価結果「1」の施設

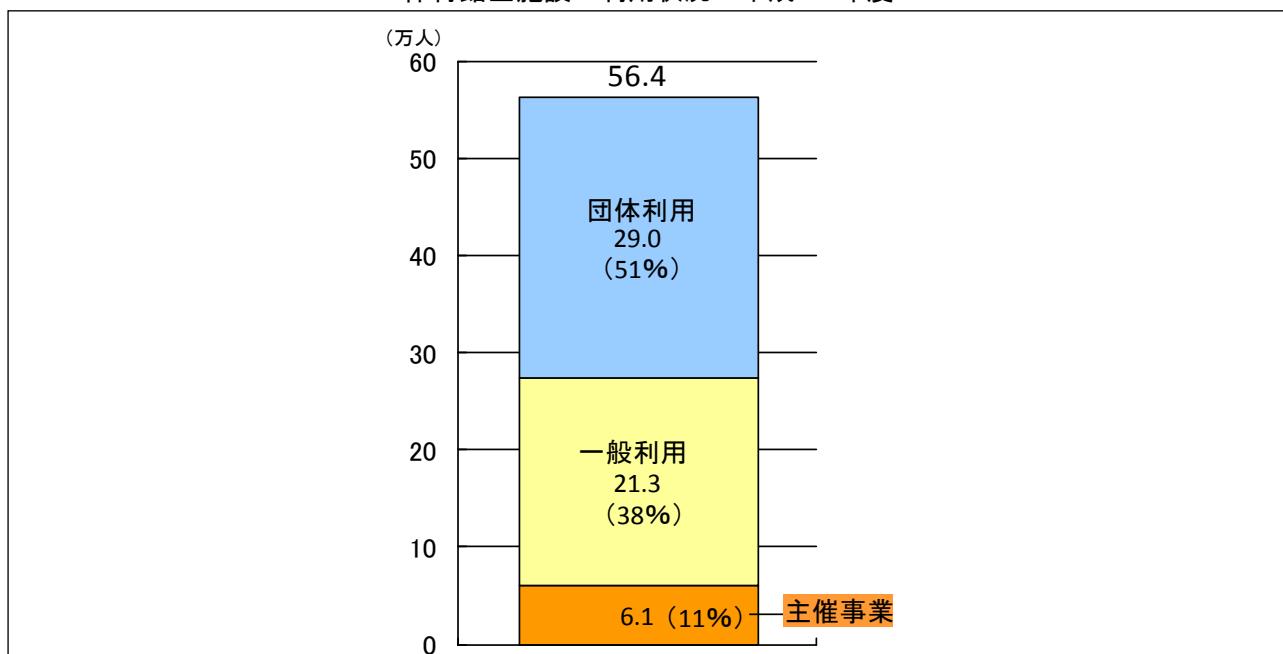
	2 老朽化状況	5 維持管理
該当施設	・総合体育館 ・朝日体育館 ・白糸台体育館	
今後の対応等	・今後、建替え等の検討が必要	

(4) 利用状況

① 全施設の利用状況

- 平成 21 年度の体育館全施設合計の利用者数は 56 万 4,155 人です。その内主催事業によるものが 6 万 824 人 (11%) です。その他一般利用が 21 万 3,425 人 (38%)、団体利用が 28 万 9,906 人 (51%) となっており、団体での利用が半数を超えております。

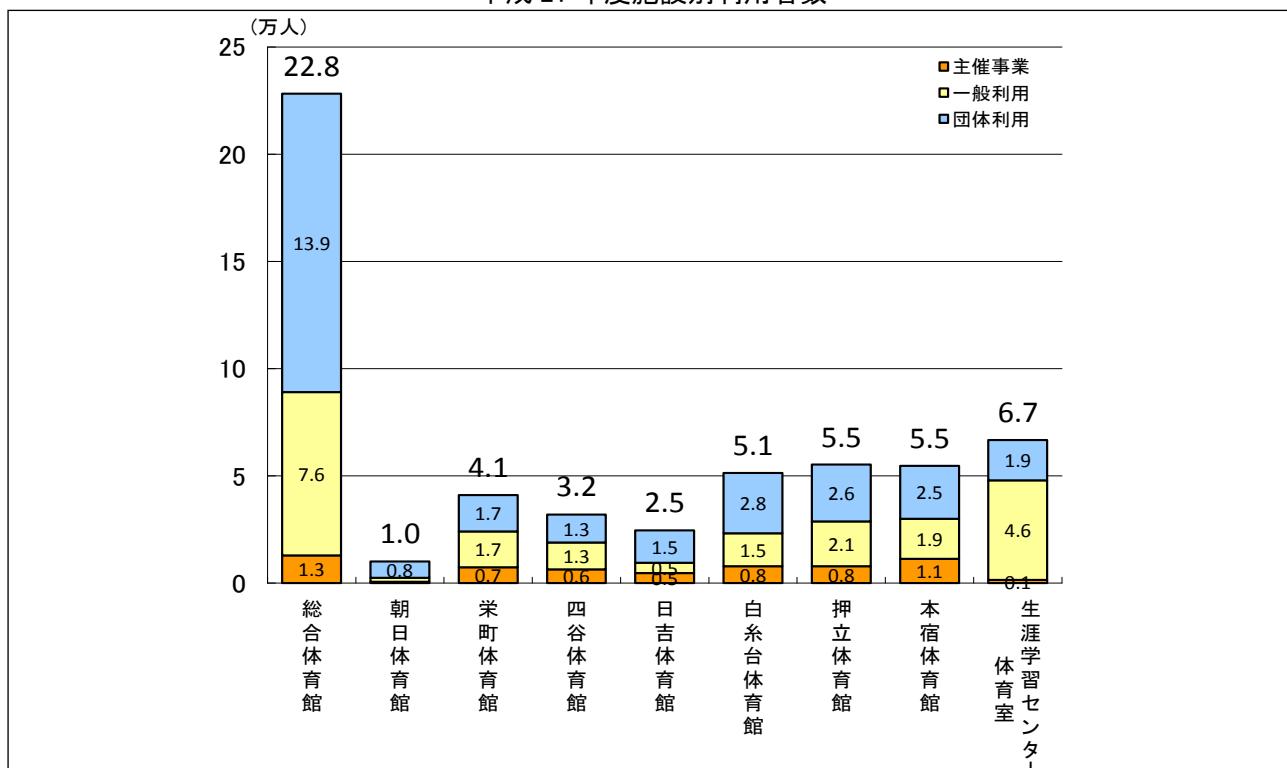
体育館全施設 利用状況 平成 21 年度



② 施設別の利用状況

- 施設別の利用者数は概ね施設規模に即した数値で、総合体育館が 22 万 8,216 人、地域体育館が 1 万～5 万人程度、生涯学習センタ一体育室が 6 万 6,755 人となっています。なお、四谷体育館は工事のため、平成 21 年 8 月から 9 月まで体育室のみ休館しました。

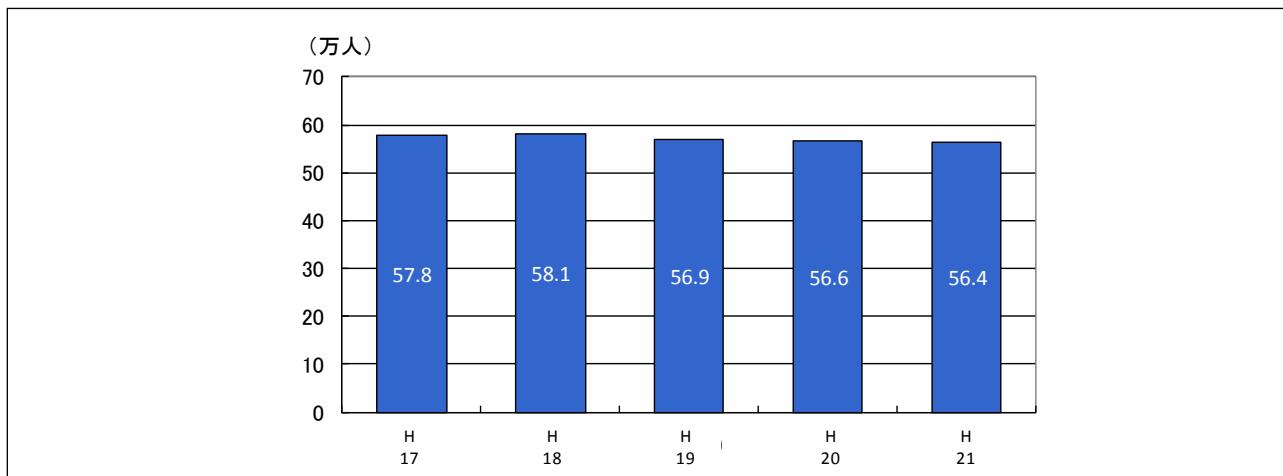
平成 21 年度施設別利用者数



③ 全施設利用状況の年推移

- 体育館全施設合計の利用者数及び利用者数の年推移をみると、平成 18 年度の 58 万 625 人をピークに若干減少傾向にあり、平成 21 年度は 56,4155 人となっています。

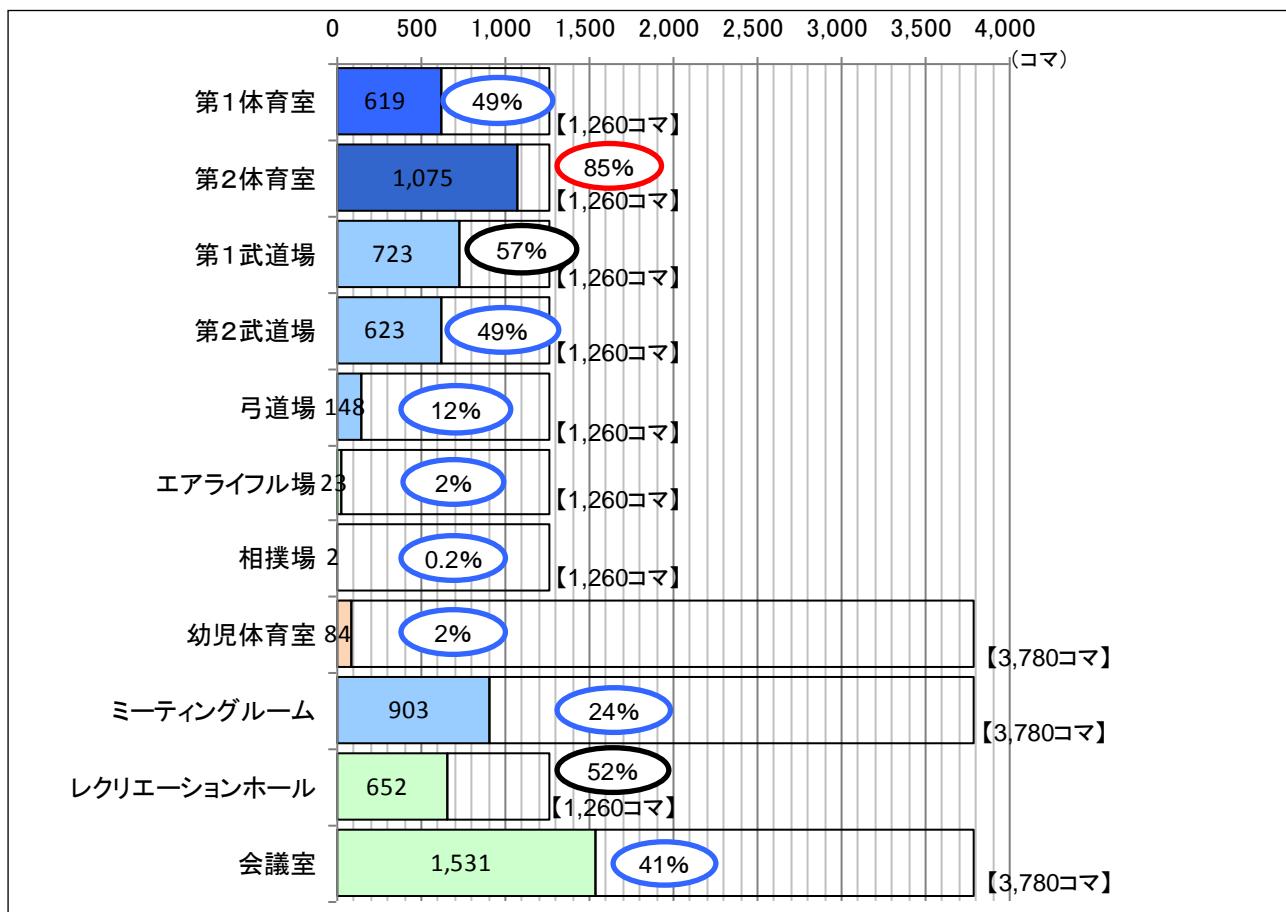
体育館全施設 利用状況推移



④ 部屋別の貸切利用の割合（総合体育館）

- 総合体育館の部屋別に貸切で利用された割合をみると、第 2 体育室が 85% と高くなっている他は、ほとんど 50% 前後及び 20% 以下が大半となっています。

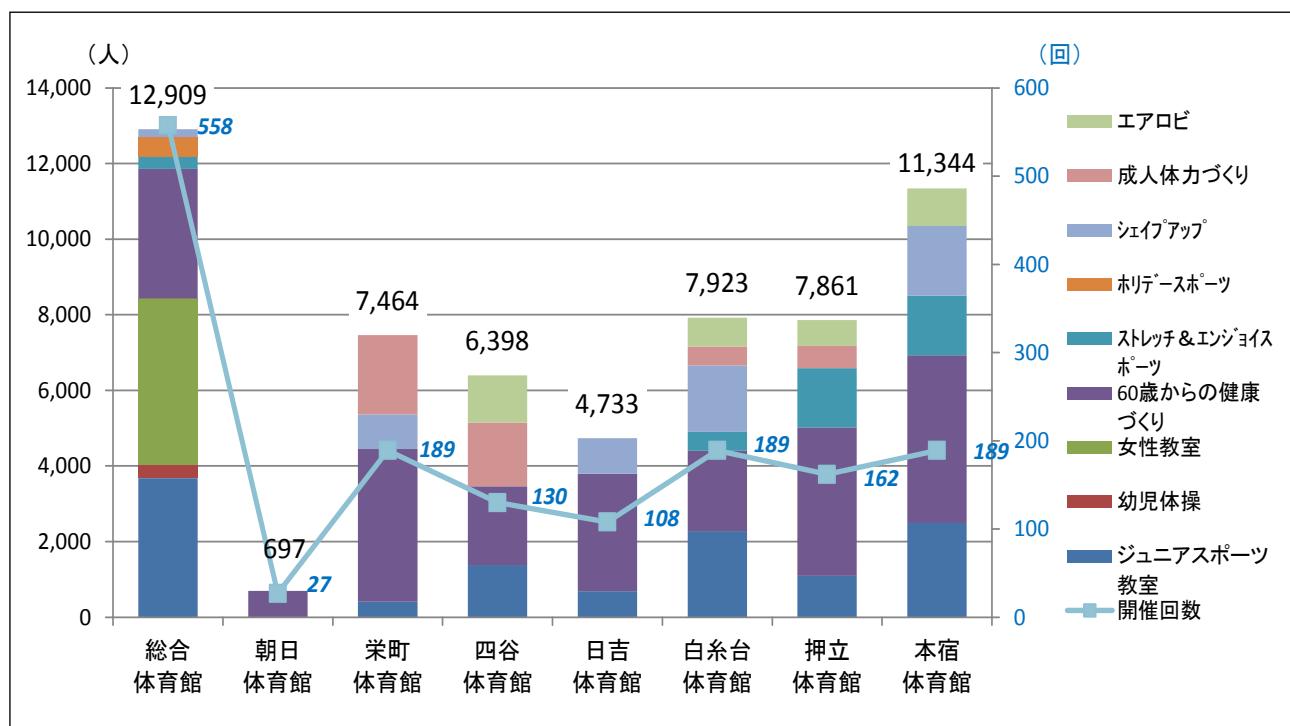
総合体育館 部屋別の貸切利用の割合



⑤ スポーツ活動事業（自主事業）の実施状況

- 各体育館では、貸館事業のほかにスポーツ活動事業として、自主事業を開催しています。
- スポーツ活動事業の延参加者数は、総合体育館で1万2,909人、地域体育館は朝日体育館の697人から本宿体育館の1万1,344人まで、各体育館の施設規模や事業内容等によって参加者数に違いが出ています。
- スポーツ活動事業としては、60～75歳を対象とした「60歳からの健康づくり教室」や小学生（総合体育館では小・中学生）を対象とした「ジュニアスポーツ教室」、40～60歳を対象とした「中高年健康体操教室」などがあります。

スポーツ活動事業（自主事業）の実施状況



(5) 運営状況

① 運営形態

- ・ 体育施設のうち、総合体育館は市直営で管理運営を行っていますが、一部事業については運営の委託をしています。地域体育館については、管理及び事業の運営を委託しています。
- ・ なお、生涯学習センタ一体育室については、複合施設である生涯学習センターの運営の中で業務を行っています。

	直営	業務委託
総合体育館	●	一部の事業運営委託
地域体育館	—	管理・事業運営委託

② 運営人員

- ・ 施設別の運営人員は、総合体育館が職員 19 人（土日・祝日 16 人）、地域体育館は職員 1 ~ 2 人で運営しています。
(人)

		総合 体育館	朝日体 育館	栄町体 育館	四谷体 育館	日吉体 育館	白糸台 体育館	押立体 育館	本宿体 育館
平日	市職員	4							
	嘱託	1							
	再任用	1							
	臨時	1		2					
	その他	12	1		2	1	2	2	2
	合計	19	1	2	2	1	2	2	2
土日・祝日	市職員	2							
	嘱託								
	再任用								
	臨時			2					
	その他	14	1		2	1	2	2	2
	合計	16	1	2	2	1	2	2	2

③ 人員配置時間帯

- ・ 総合体育館は、9:00～17:15まで、平日は職員 7 人・その他職員 12 人、土日・祝日は職員 2 人・その他職員 14 人で運営しています。17:15～21:00までは、平日・土日・祝日ともその他職員 7 人で運営しています。
- ・ 地域体育館は、平日・土日・祝日とも 9:00～21:00までその他職員 1 人～2 人で運営しています。

		9:00	17:15	21:00
総合 体育館	平日			
		職員 7人 その他職員 12人		その他職員 7人
地域 体育館	平日			
		その他職員 1~2人		
	土日 祝日			
		その他職員 1~2人		

(6) コスト状況

① コスト及び収支状況

- 全施設の平成21年度年間支出は、3億9,531万円となっています。そのうち、施設にかかるコストが1億3,344万円(34%)、事業運営にかかるコストが1億3,743万円(35%)、減価償却費相当額が1億2,444万円(31%)となっています。
- 使用料等収入は5,067万円となっています。

施設別行政コスト計算書（平成21年度（2009年度）

(千円)

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		総合体育館	朝日体育館	栄町体育館	四谷体育館	日吉体育館	白糸台体育館	押立体育館	本宿体育館	合計
施設にかかる コスト	各所修繕費	5,763	366	709	954	0	1,527	695	830	10,844
	大規模修繕費	0	0	0	5,229	0	0	0	0	0
	光熱水費	27,782	617	2,546	2,446	0	2,798	2,680	2,847	41,717
	建物管理委託費	46,856	4,644	3,531	3,528	0	4,127	3,435	3,613	69,733
	その他委託費	0.0	375	375	375	0	375	375	375	2,250
	土地・建物以外賃借料	0	99	99	99	0	99	99	99	595
	使用料	0	0	0	15	0	15	15	15	60
	車両・備品購入費	861	0	1,500	0	0	249	309	88	3,008
施設にかかるコスト計		81,262	6,102	8,762	12,647	0	9,190	7,607	7,867	133,437
事業運営コストにかかる コスト	職員人件費	31,031	0	0	0	0	0	0	0	31,031
	嘱託職員人件費	6,506	0	0	0	0	0	0	0	6,506
	再任用職員人件費	3,347	0	0	0	0	0	0	0	3,347
	臨時職員人件費	992	0	0	0	0	0	0	0	992
	運営・企画業務委託料	25,725	0	10,246	10,269	2,602	11,380	10,266	10,246	80,737
	その他物件費	7,338	570	1,408	974	421	1,323	1,081	1,698	14,812
	事業運営にかかるコスト計	74,939	570	11,654	11,243	3,023	12,704	11,347	11,945	137,425
現金収支を伴うコスト 計		156,201	6,672	20,416	23,890	3,023	21,894	18,955	19,812	270,862

【収益の部】

使用料	28,537	569	4,019	2,832	0	3,744	4,291	4,214	48,207
その他の収入	2,144	50	84	38	0	38	75	36	2,464
現金収支を伴う収益 計	30,681	619	4,103	2,870	0	3,782	4,366	4,250	50,671

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

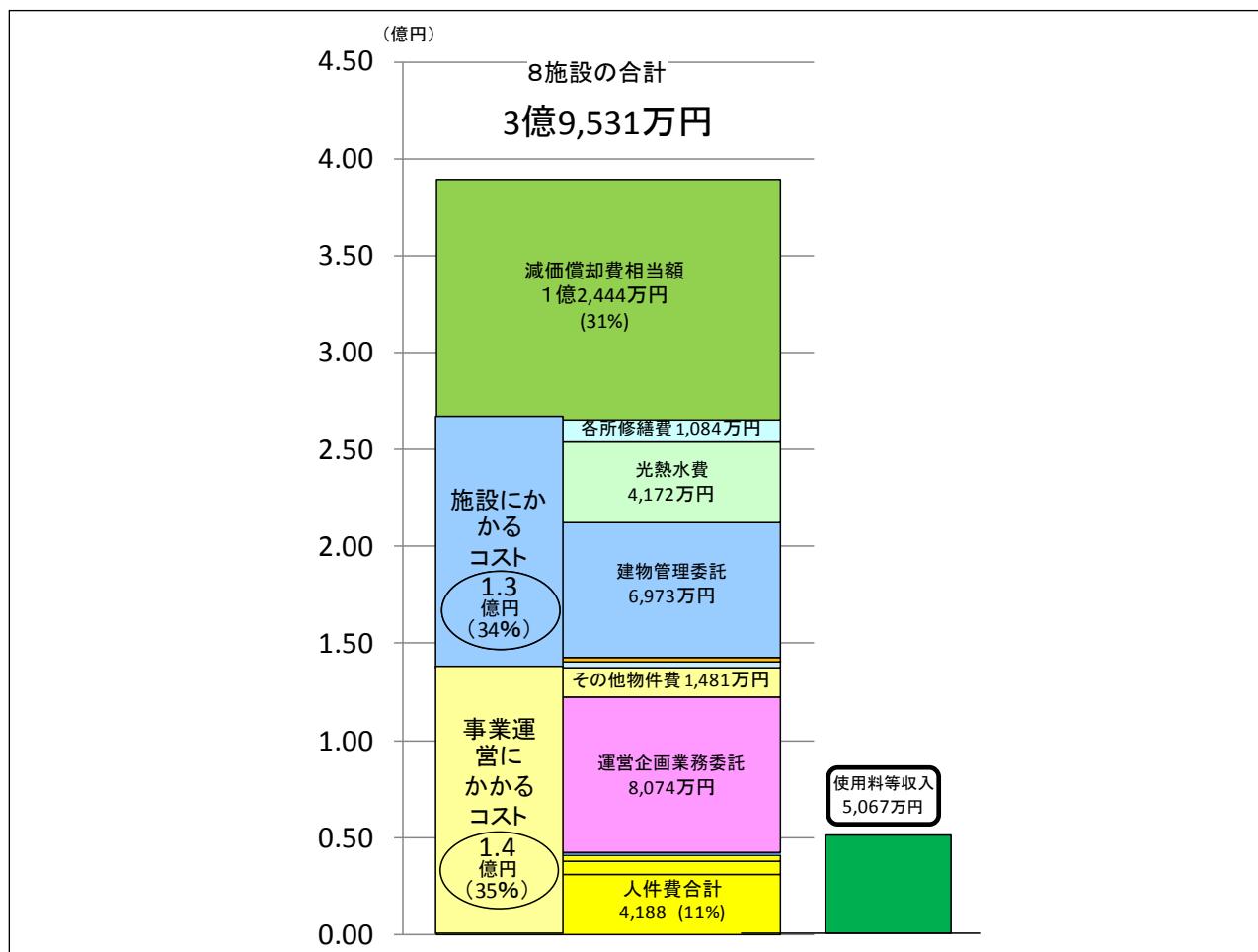
減価償却費相当額	79,900	2,510	8,246	8,447		8,452	8,434	8,454	124,443
----------	--------	-------	-------	-------	--	-------	-------	-------	---------

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	236,101	9,182	28,662	32,336	3,023	30,345	27,389	28,266	395,305
収支差額(ネットコスト)	205,420	8,563	24,559	29,467	3,023	26,564	23,023	24,015	344,633

※日吉体育館は、市所有施設ではないため、施設にかかるコストがかかっていない。

全施設トータルコスト（平成 21 年度）

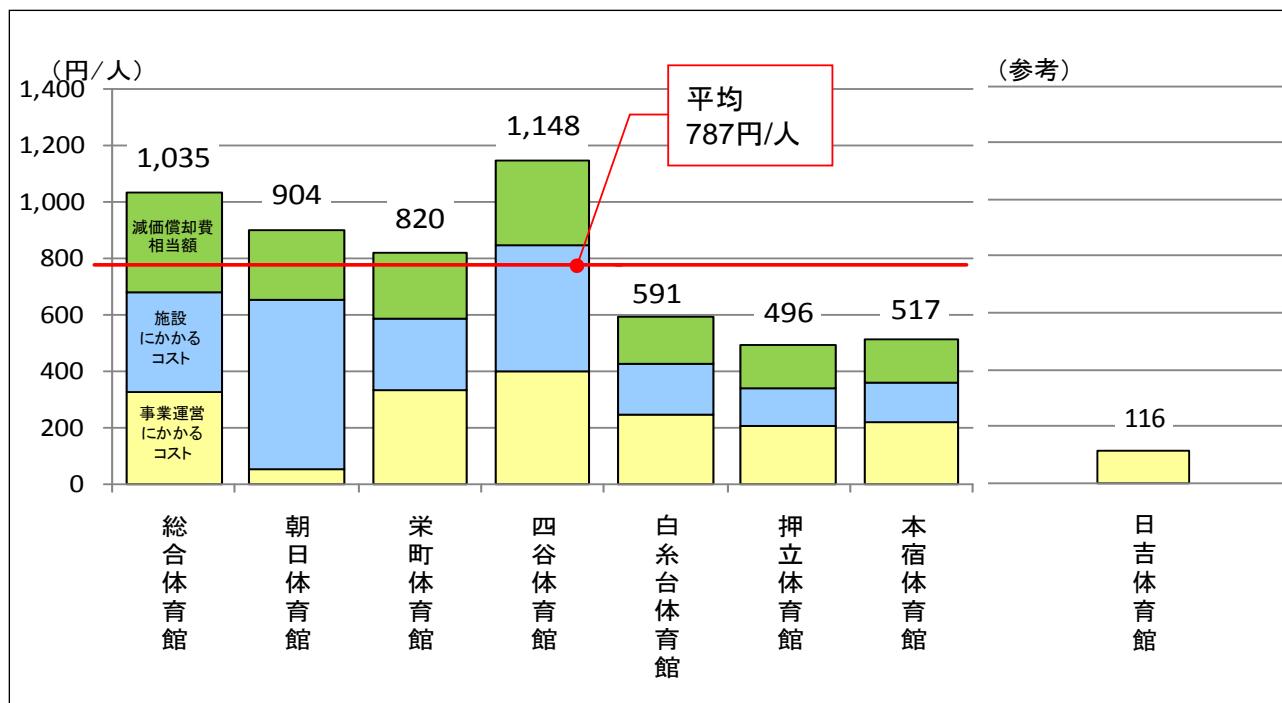


② 利用当たり総コスト／床面積当たり総コスト

a) 利用者 1 人当たり総コスト

- 施設別（日吉体育館を除く）に利用者 1 人当たりの総コストをみると、四谷体育館が最も高く 1,148 円／人、押立体育館が最も低く 496 円／人、全施設の平均は 787 円／人となっています。

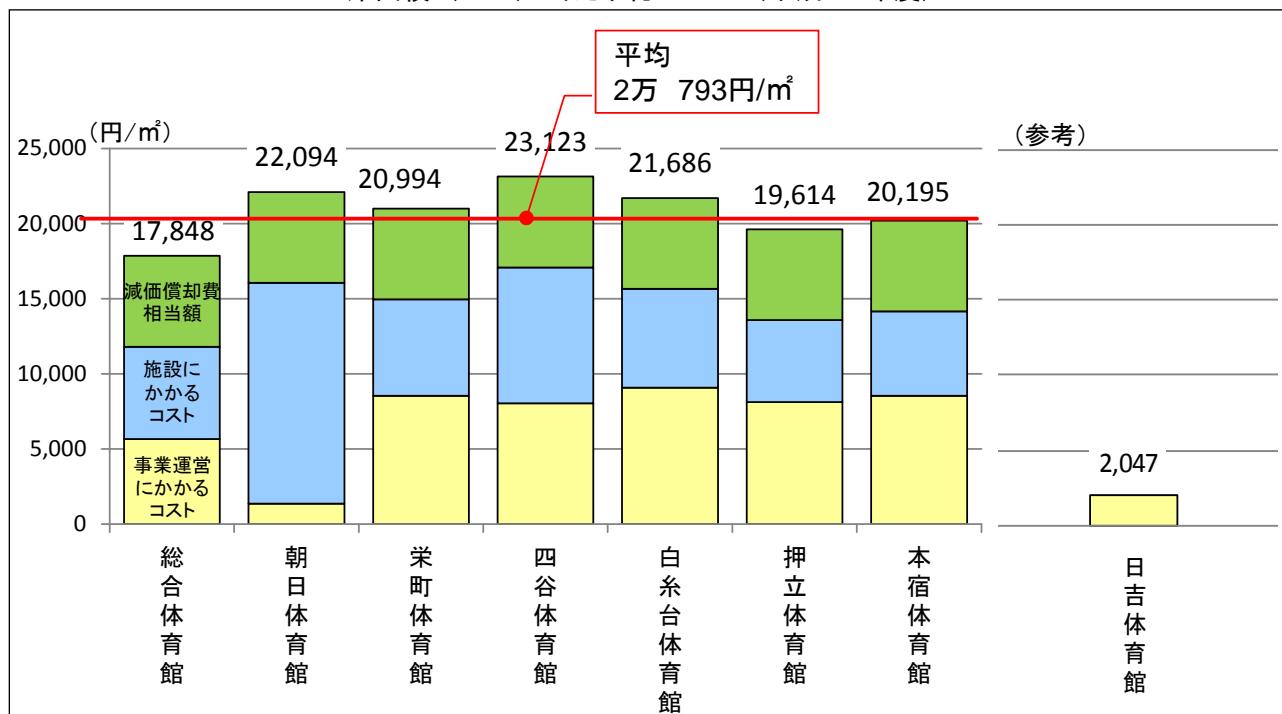
利用者 1 人当たり総コスト（平成 21 年度）



b) 床面積 (1 m²) 当たり総コスト

- 床面積 (1 m²) 当たりのコストをみると、四谷体育館が最も高く 23,123 円／m²、総合体育館が最も低く 17,848 円／m²、全施設の平均は 20,793 円／m² となっています。

床面積 (1 m²) 当たり総コスト（平成 21 年度）



2-10 プール

(1) 概要

- 府中市には、屋外プールとして、市民総合プール、市民プールのほかに地域プール5施設及び美好水遊び広場があり、また屋内プールとして生涯学習センター温水プールがあります。
- 市民総合プールには観覧席付公認競泳用プール・流水プール・幼児用プール・ウォータースライダーがあります。市民プールにはナイター設備があり、ナイター実施期間には夜間も使用することができます。地域プールには一般プールと幼児用プールがあります。美好水遊び広場にはめがね橋やジャンプシャワーといった遊具があり、子どもが水と親しめる施設となっています。
- 生涯学習センターは、天井開閉式の温水プールを保有する総合学習施設です。

プール	
設置目的 ・根拠法	市民の体育及びレクリエーションその他社会体育の振興を図るため。 【府中市体育施設条例】
事業内容	・プールの管理運営
所管	文化スポーツ部 生涯学習スポーツ課
使用料	・有料

施設一覧

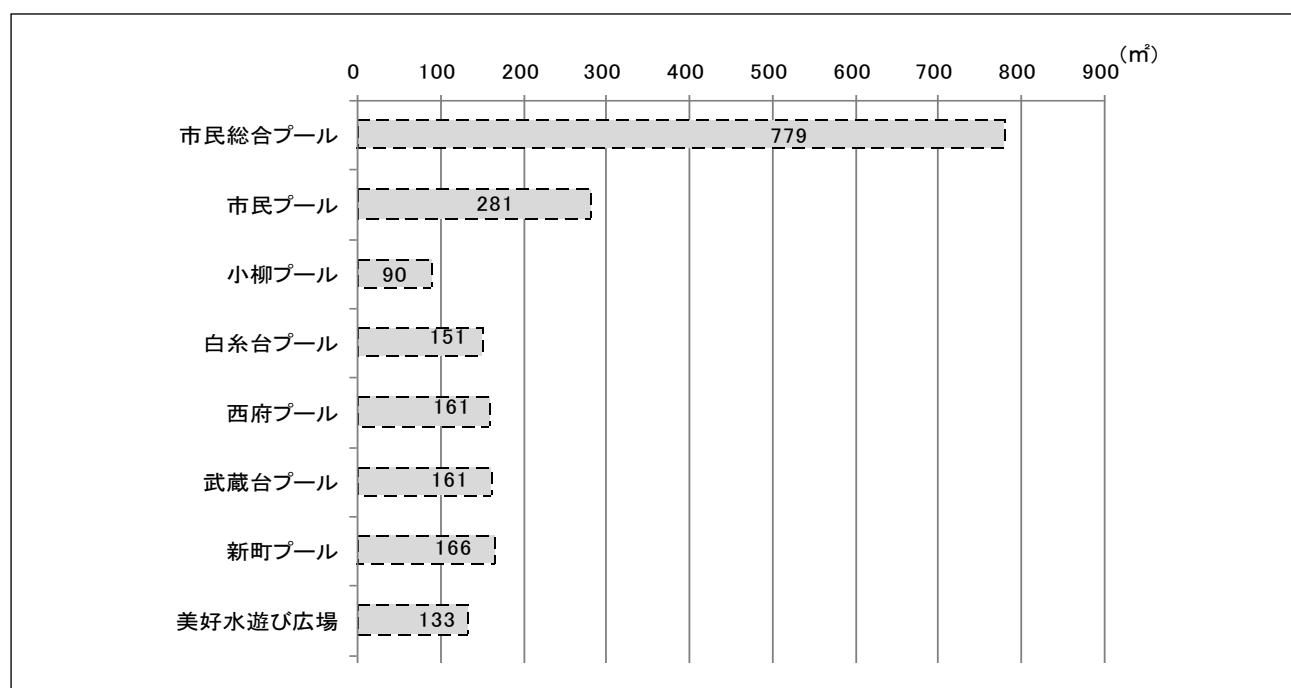
施設名	管理棟等の 建築年度	管理棟等の 延床面積 (m ²)	併設施設			具体的内容
			体育室	図書館	その他	
市民総合プール(観覧席) (更衣室)	S46	1971	779	—	—	観覧席付公認競泳プール(50m×20m) 流水プール・幼児用プール ウォータースライダー
	S60	1985		—	—	
地域 プ ー ル	市民プール	S53	1978	281	—	一般50mプール・ナイター設備
	小柳プール	S51	1976	90	—	一般25mプール・幼児用プール
	白糸台プール	S59	1984	151	—	一般25mプール・幼児用プール
	西府プール	S59	1984	161	—	一般25mプール・幼児用プール
	武藏台プール	S59	1984	161	—	一般25mプール・幼児用プール
	新町プール	S60	1985	166	—	一般25mプール・幼児用プール
美好水遊び広場		H2	1990	133	—	めがね橋・ジャンプシャワーほか遊具
生涯学習センター温水プール		H4	1992	—	●	●
					体育室、指導室、温水プール、図書館、宿泊施設	

(2) 施設状況

① 施設規模（延床面積）

- ・ プールの管理棟等の施設規模は、市民総合プールの 779 m²が最大で、市民プールが 281 m²、その他の地域プールは 90～166 m²となってています。

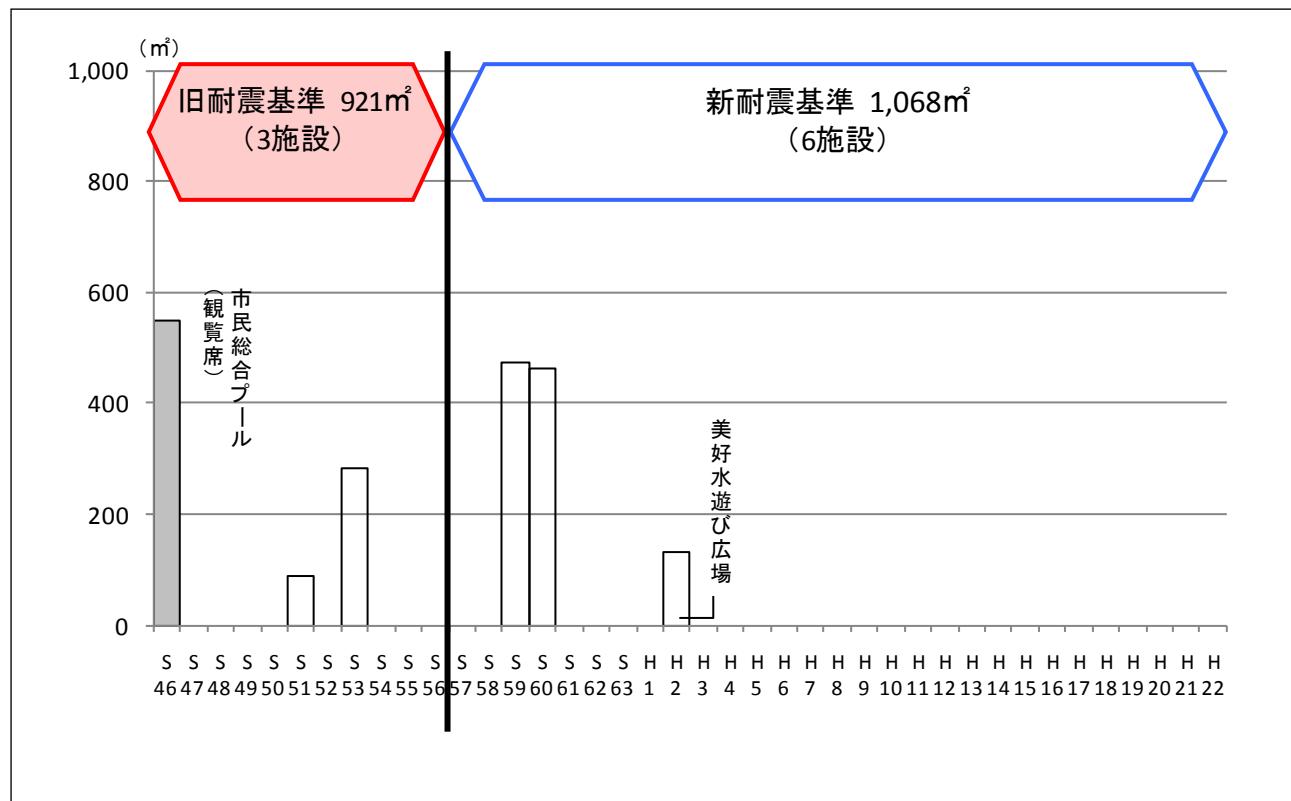
施設規模



② 建築年度

- ・市民総合プール（観覧席）・小柳プール・市民プールは昭和 56 年以前に建築された旧耐震基準の施設で、3 施設で床面積の合計が 921 m² となっています。その他は昭和 57 年以降に建築された新耐震基準の施設で、床面積の合計は 1,068 m² (6 施設) で、全体の 54% を占めています。なお、市民総合プールについては棟の建築年度の違いで 2 施設として表記しました。

築年別整備状況（プール）



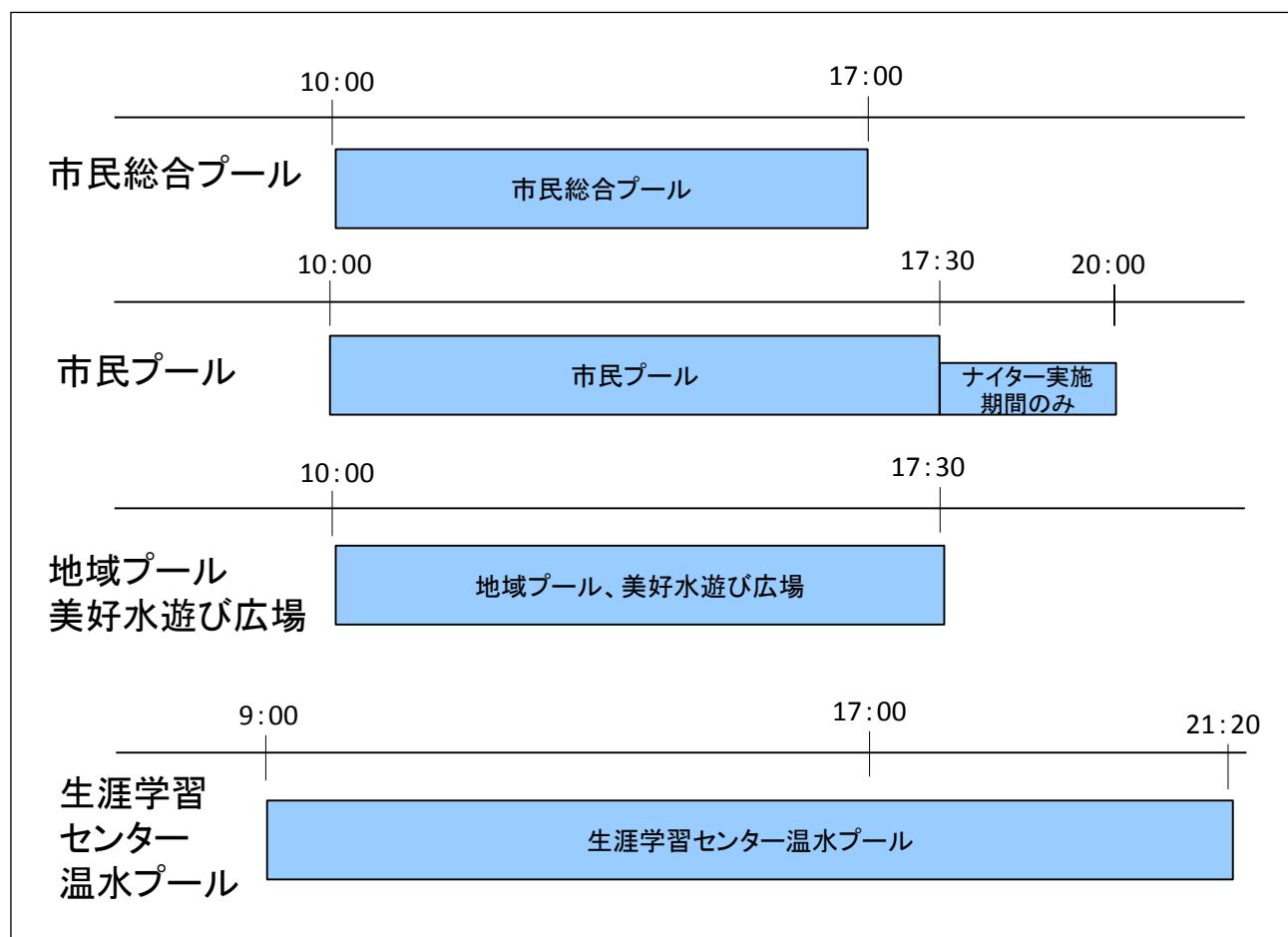
③ 運営日数、運営時間

- 年間の運営日数は、市民総合プールは 48 日、市民プール及び美好水遊び広場は 42 日、その他地域プールが 40 日となっています。生涯学習センター温水プールは 1 年間を通して開いており、平日 205 日、土日祝日 114 日で計 319 日となっています。
- 運営時間について、市民プールにはナイター設備があり、ナイター実施期間は 10:00~20:00、期間外は 10:00~17:30 となっています。市民総合プールは 10:00~17:00、その他地域プール及び美好水遊び広場は 10:00~17:30 となっています。生涯学習センター温水プールは 9:00~21:20 と最も運営時間が長くなっています。

運営日数

	平日	土日	計
市民総合プール	31	17	48
市民プール・美好水遊び広場	28	14	42
その他地域プール	26	14	40
生涯学習センター温水プール	205	114	319

運営時間帯



(3) 建物状況

施設名	①耐震安全性		②老朽化状況				③バリアフリー対応							
	評価	評価内容		建築年度	評価内容		評価	評価内容						
		耐震診断	耐震補強		平成22 経過年	大規模改修		エレベーター	車いす用	身障者トイレ	までのスロープ	道路から入口	自動ドア	
市民総合プール (観覧席)	1	未		1	昭和46	39	未	1						
市民総合プール (更衣室)	1	未		2	昭和60	25	未	1	-					
市民プール	3	不要	-	3	昭和53	32	平成19	3	2	-	○			
小柳プール	3	不要	-	3	昭和51	34	平成19	3	2	-	○	○		
白糸台プール	3	不要	-	2	昭和59	26	未	2	-	○	○			
西府プール	3	不要	-	2	昭和59	26	未	2	-	○	○			
武蔵台プール	3	不要	-	2	昭和59	26	未	2	-	○	○			
新町プール	3	不要	-	2	昭和60	25	未	2	-	○	○			
美好水遊び広場	3	不要	-	2	平成2	20	未	2	-	○				
生涯学習センター温水プール	3	不要	-	3	平成4	18	未	3	○	○	○	○	○	○

施設名	④環境対応状況						⑤維持管理						評価内容	対策実施		
	評価	評価内容					評価	評価内容								
		延床面積 (m ²)	環境指標	m ² 平均	延床面積 (m ²)	維持管理費(千円)		m ² 平均(円)	各所修繕費	建物管理委託費	各所修繕費	評価内容				
市民総合プール (観覧席)	3	779	773,412	41	992,826	53	3	779	7,712	2,605	9	9,899	3,344	11	○	
市民総合プール (更衣室)	3	上記に含む					3	上記に含む					3	○		
市民プール	3	281	262,349	12	932,663	43	3	281	2,843	778	595	10,108	2,766	2,115	3	○
小柳プール	3	90	38,767	3	430,741	33	1	90	2,254	197	404	25,049	2,189	4,493	3	○
白糸台プール	3	151	150,119	7	994,821	46	1	151	2,098	778	404	13,903	5,156	2,678	3	○
西府プール	3	161	138,084	6	860,339	37	1	161	1,468	778	297	9,149	4,847	1,850	3	○
武蔵台プール	3	161	164,095	7	1,021,126	44	1	161	1,459	196	884	9,079	1,220	5,502	3	○
新町プール	3	166	147,854	6	892,085	36	1	166	2,002	197	604	12,079	1,189	3,647	3	○
美好水遊び広場	3	133	101,650	4	766,017	30	1	133	2,058	196	754	15,509	1,477	5,681	3	○
生涯学習センター温水プール	3	生涯学習センターに含む					3	生涯学習センターに含む					3	○		
1m ² 当たりの平均値						924,772	45	1m ² 当たりの平均値						11,399	2,981	2,057
平均値の1.4倍(+40%)						1,294,681	63	平均値の1.4倍(+40%)						15,958	4,173	2,880

■評価結果「1」の施設

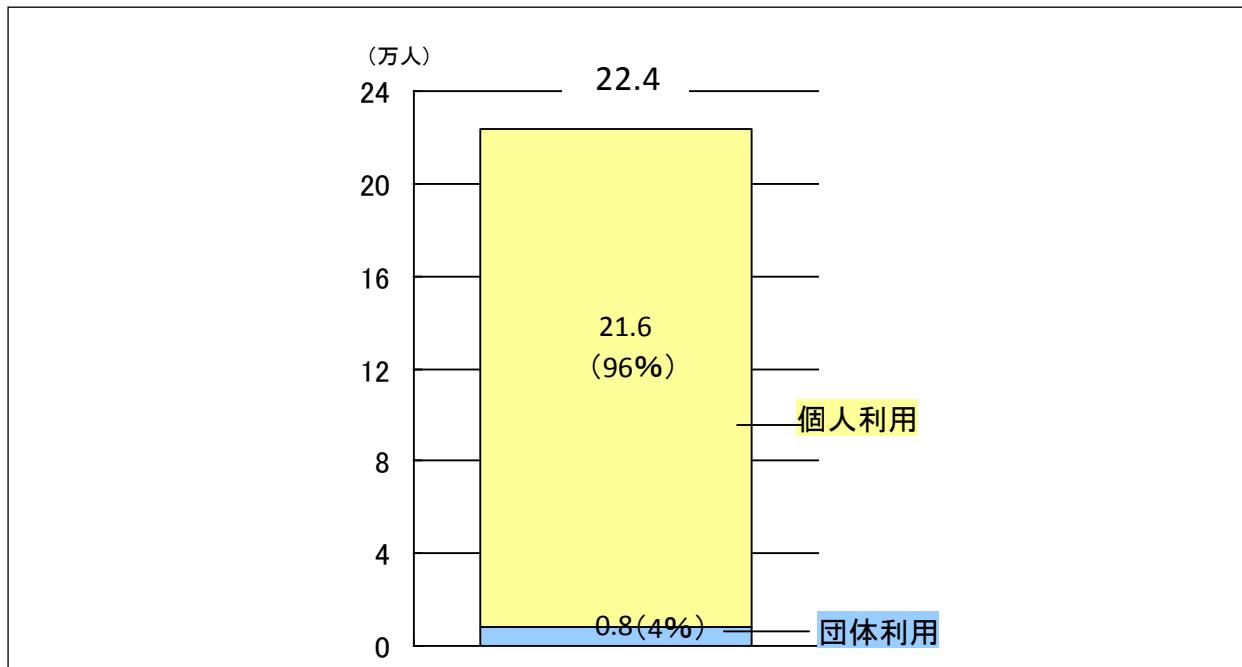
	1 耐震安全性	2 老朽化状況	3 バリアフリー対応	5 維持管理
該当施設	・市民総合プール	・市民総合プール	・市民総合プール	・小柳プール ・白糸台プール ・西府プール ・武蔵台プール ・新町プール ・美好水遊び広場
今後の対応等	・早急に耐震安全性の確保が必要	・今後、建替え等の検討が必要。	・全ての項目について対応が必要	

(4) 利用状況

① 全施設の利用状況

- ・ プール全施設の利用件数は 22 万 3,741 人で、をみると、個人利用が 21 万 5,632 人（96%）でほとんどを占めています。団体利用は 8,109 人（4%）となっています。

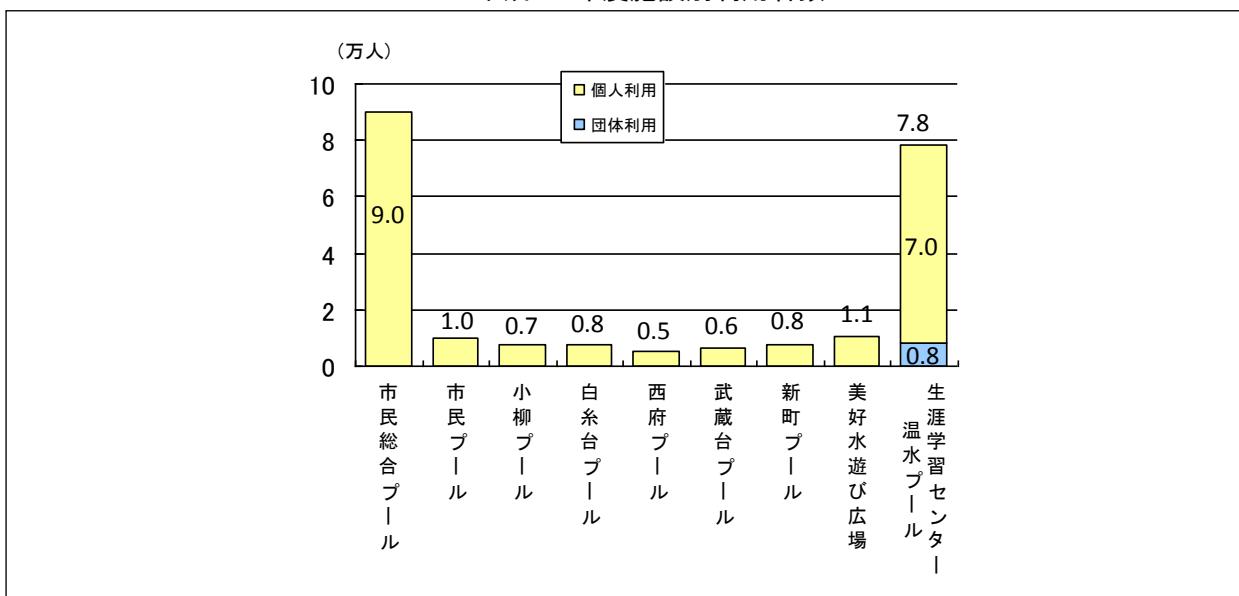
平成 21 年度施設別利用者数



② 施設別の利用状況

- ・ 施設別に直近の利用件数をみると、規模の大きい市民総合プールが 9 万 239 人、年間を通じて運営している生涯学習センター温水プールが 7 万 8,396 人、地域プールが 5,000～1 万人前後となっています。生涯学習センター温水プールを除き、個人利用となっています。

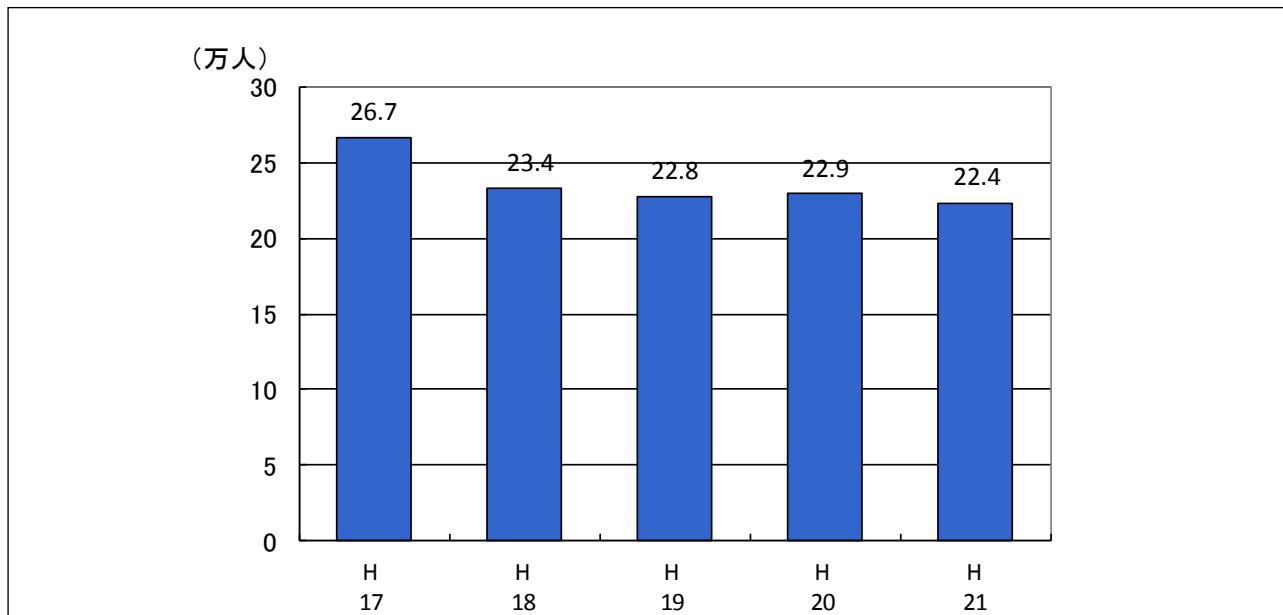
平成 21 年度施設別利用者数



③ 全施設利用状況の年推移

- 全施設合計の利用者数の年推移をみると、利用件数は若干減少傾向にあり、平成 17 年度が 26 万 7,032 人から、平成 21 年度は 22 万 3,741 人となっています。

プール 全施設利用者数推移



(5) 運営状況

① 運営形態

- プールは、業務委託で運営・企画を行っている。生涯学習センター温水プールは、生涯学習センターとして管理運営されているため、運営形態、コストの分析対象からは外すこととします。

	直営	管理業務委託
市民総合プール	—	●
市民プール・美好水遊び広場	—	●

② 運営人員

- 施設別の運営人員は、市民総合プールが職員 44 人（土日・祝日 58 人）、その他地域プールは職員 9～11 人で運営しています。

		市民総合 プール	市民プー ル	小柳プー ル	白糸台 プール	西府プー ル	武藏台 プール	新町プー ル	美好水遊 び広場
平日	市職員	0	0	0	0	0	0	0	0
	嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0
	再任用	0	0	0	0	0	0	0	0
	臨時	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	44	11	9	9	9	9	9	9
	合計	44	11	9	9	9	9	9	9
土日・祝日	市職員	0	0	0	0	0	0	0	0
	嘱託	0	0	0	0	0	0	0	0
	再任用	0	0	0	0	0	0	0	0
	臨時	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	58	13	11	11	11	11	11	9
	合計	58	13	11	11	11	11	11	9

③ 人員配置時間帯

- 市民総合プールは、10：00～17：00まで平日44人、土日・祝日58人で運営しています。
- 市民プールは平日11人、土日・祝日13人で運営しています。
- その他地域プールは平日9人、土日・祝日11人（美好水遊び広場は9人）で運営しています。
- 生涯学習センター温水プールは、平日6人、土日・祝日7人～8人で運営しています。

人員配置時間帯

	9:00	10:00	17:00	17:30	18:00	20:00	21:20	22:00
市民総合 プール	平日		その他職員 44人					
	土日 祝日		その他職員 58人					
市民 プール	平日		その他職員 11人			ナイト実施期間のみ		
	土日 祝日		その他職員 13人			ナイト実施期間のみ		
地域 プール	平日		その他職員 9人					
	土日 祝日		その他職員 11人（美好のみ9人）					
生涯学習 センター 温水プール	平日		その他職員 6人					
	土日 祝日		その他職員 7～8人					

(6) コスト状況

① コスト及び収支状況

- コストデータのある全8施設の平成21年度年間支出は、1億4,100万円となっています。そのうち、施設にかかるコストが6,416万円(46%)、事業運営にかかるコストが6,524万円(46%)、減価償却費相当額が1,160万円(8%)となっています。
- 使用料等収入は1,796万円となっています。

施設別行政コスト計算書（平成21年度）

(千円)

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		市民総合 プール	市民プール	小柳プール	白糸台 プール	西府プール	武蔵台 プール	新町プール	美好水遊び 広場	合計
施設にかかる コスト	各所修繕費	9	595	404	404	297	884	604	754	3,951
	大規模修繕費	7,525	3,063	3,063	3,063	0	6,213	6,213	0	29,138
	光熱水費	7,712	2,843	2,254	2,098	1,468	1,459	2,002	2,058	21,895
	建物管理委託費	2,605	778	197	778	778	196	197	196	5,724
	その他委託費	0	398	354	345	360	355	342	358	2,512
	土地・建物以外賃借料	0	54	54	54	54	54	54	54	375
	車両・備品購入費	0	0	46	64	17	371	49	17	565
	施設にかかるコスト計	17,850	7,730	6,372	6,805	2,974	9,531	9,460	3,437	64,160
に事業 かかる 運営	運営・企画業務委託料	22,960	8,243	4,868	5,425	5,430	5,450	5,418	4,799	62,592
	その他物件費	1,114	219	219	218	218	219	218	218	2,643
	事業運営にかかるコスト計	24,075	8,461	5,087	5,643	5,648	5,668	5,636	5,016	65,235
現金収支を伴うコスト 計		41,925	16,191	11,459	12,448	8,622	15,200	15,097	8,453	129,394

【収益の部】

使用料	14,219	850	438	432	327	445	497	610	17,817
その他の収入	0	54	8	36	9	26	6	0	139
現金収支を伴う収益 計	14,219	904	446	468	335	471	503	610	17,956

II. 現金収支を伴わないもの

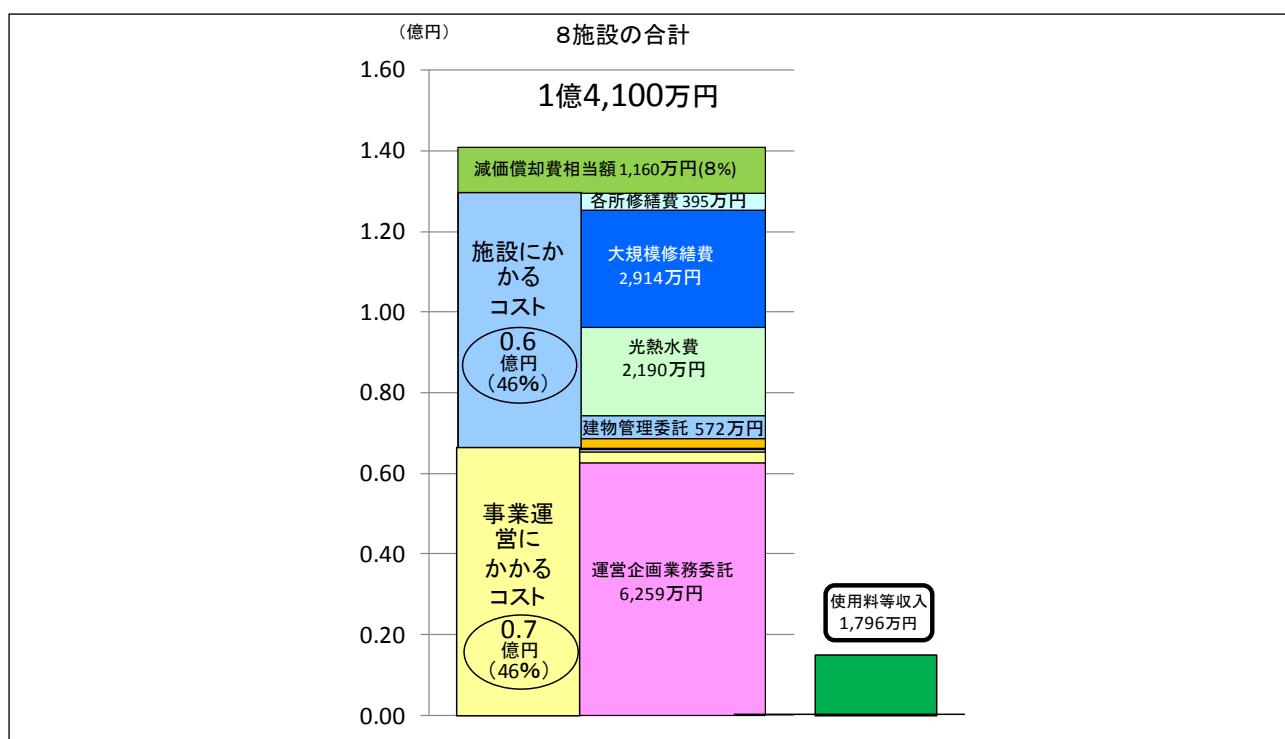
【コストの部】

減価償却費相当額	4,705	1,699	544	911	969	971	1,001	802	11,602
----------	-------	-------	-----	-----	-----	-----	-------	-----	--------

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	46,630	17,890	12,002	13,359	9,591	16,170	16,098	9,255	140,996
収支差額	32,411	16,986	11,557	12,891	9,256	15,699	15,595	8,645	123,040

全施設トータルコスト（平成 21 年度）

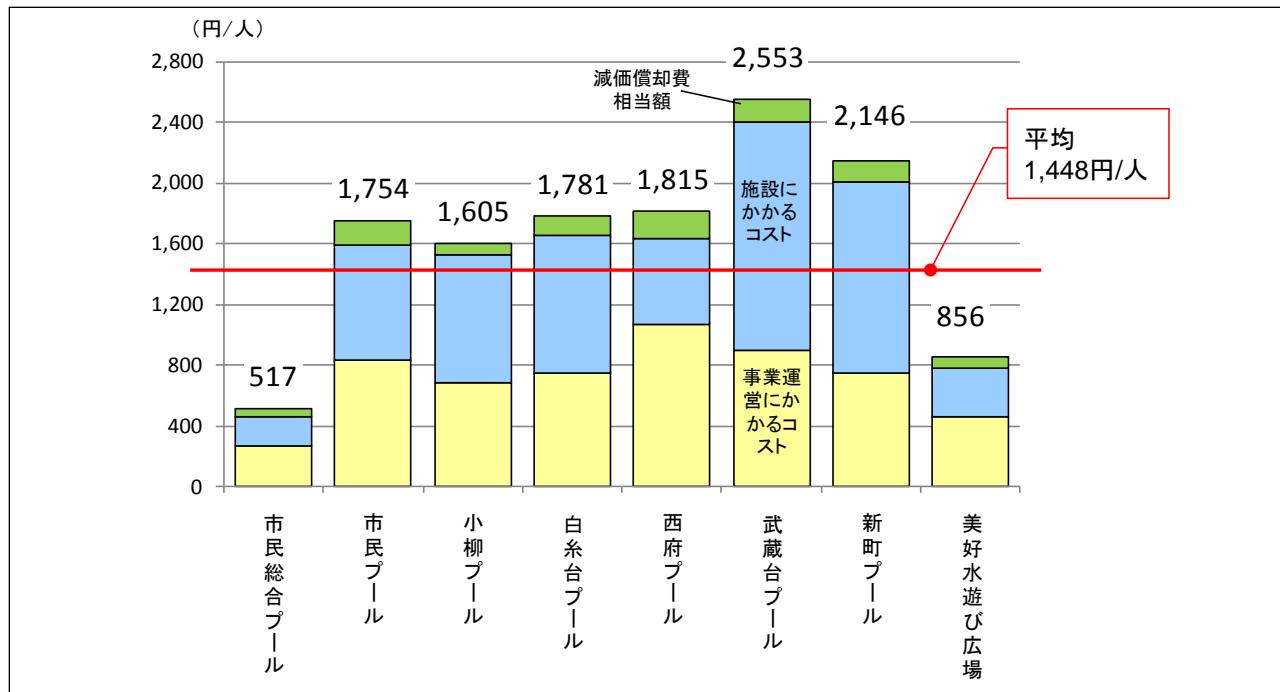


② 利用当たり総コスト／床面積当たり総コスト

a) 利用1人当たり総コスト

- 施設別に利用1人当たりの総コストをみると、武藏台プールが最も高く2,553円/人、利用者の多い市民総合プールが最も低く517円/人となっています。8施設の平均は1,448円/人となっています。

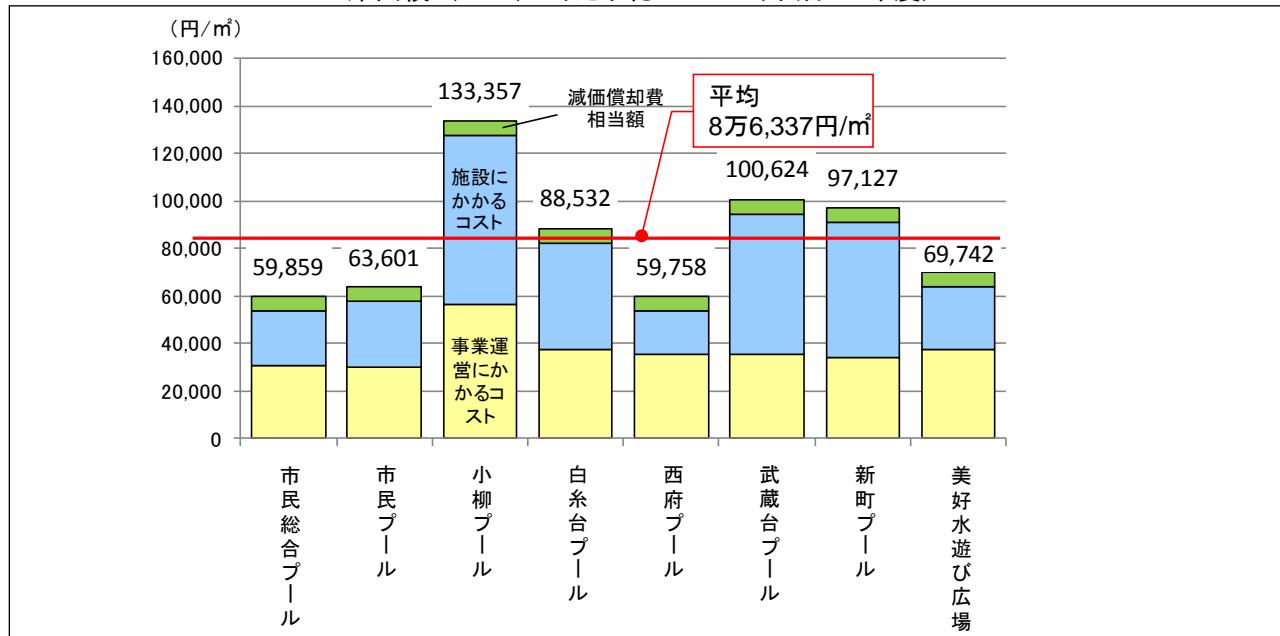
利用1人当たり総コスト（平成21年度）



b) 床面積（1m²）当たり総コスト

- 床面積（1m²）当たりのコストをみると、小柳プールが最も高く13万3,357円/m²、西府プールが最も低く5万9,758円/m²となっています。8施設の平均は8万6,337円/m²となっています。

床面積（1m²）当たり総コスト（平成21年度）



2-11 その他産業施設など

(1) 概要

- 府中市の広域施設には、男女共同社会の実現のための活動支援の場である「スクエア21・女性センター」や、市内のNPOやボランティア団体の活動・交流の拠点である「府中NPO・ボランティア活動センター」、市内の外国人の支援・交流の場である「国際交流サロン」といったコミュニティ施設があります。
- また、市内の中企業への支援等を目的とした「工業技術情報センター」、市の観光情報の発信の場としての「観光情報センター」があります。

	設置目的・根拠法	事業内容
スクエア21・女性センター	市民に女性問題に関する学習の機会並びに交流及び活動の場を提供し、女性を取り巻く問題の解決及び男女共同社会の実現に寄与するため 【府中市女性センター条例第一条】	<ul style="list-style-type: none"> 交流及び諸活動の促進及び援助に関する相談・支援 講演、講座等の開催 図書び資料等の情報提供 情報誌等の発行
府中NPO・ボランティア活動センター	市民、企業及び市との連携によるまちづくりを目指し、市内で継続的に社会貢献活動を行うNPO・ボランティア団体の活動・交流の拠点 【府中NPO・ボランティア活動センターの管理及び運営に関する要綱】	<ul style="list-style-type: none"> NPO・ボランティアに関する情報提供 相談事業 市民活動啓発講座等の開催
国際交流サロン	市内在住の外国人が暮らしやすい地域づくりを目指し、市民自らが主体となって進める支援・交流の拠点 【府中市国際交流サロンの管理及び運営に関する要綱】	<ul style="list-style-type: none"> 日本語学習会、児童学習支援の開催 文化交流、講演会等の開催 外国人向けの情報提供、日常生活のアドバイス・相談
工業技術情報センター	市内中小企業の製品開発や、技術革新を助長すすとともに、製造技術の向上と販路開拓を支援し、もって市内中小企業の振興を図るため 【府中市工業技術情報センターの管理及び業務に関する要綱】	<ul style="list-style-type: none"> 技術相談:専門の技術相談員による技術情報相談指導 知的財産権取得支援、先行調査支援及び情報提供 工場実地技術指導 技術講習会等の開催
観光情報センター	観光客の誘致を図り、にぎわいと魅力のあるまちづくりを推進するため 【府中市観光情報センターの管理及び運営に関する規則】	<ul style="list-style-type: none"> 市内の観光情報の収集及び提供 観光に係る相談及び案内 市内の観光資源の開発 観光宣伝用ビデオの作成及び放映

施設一覧

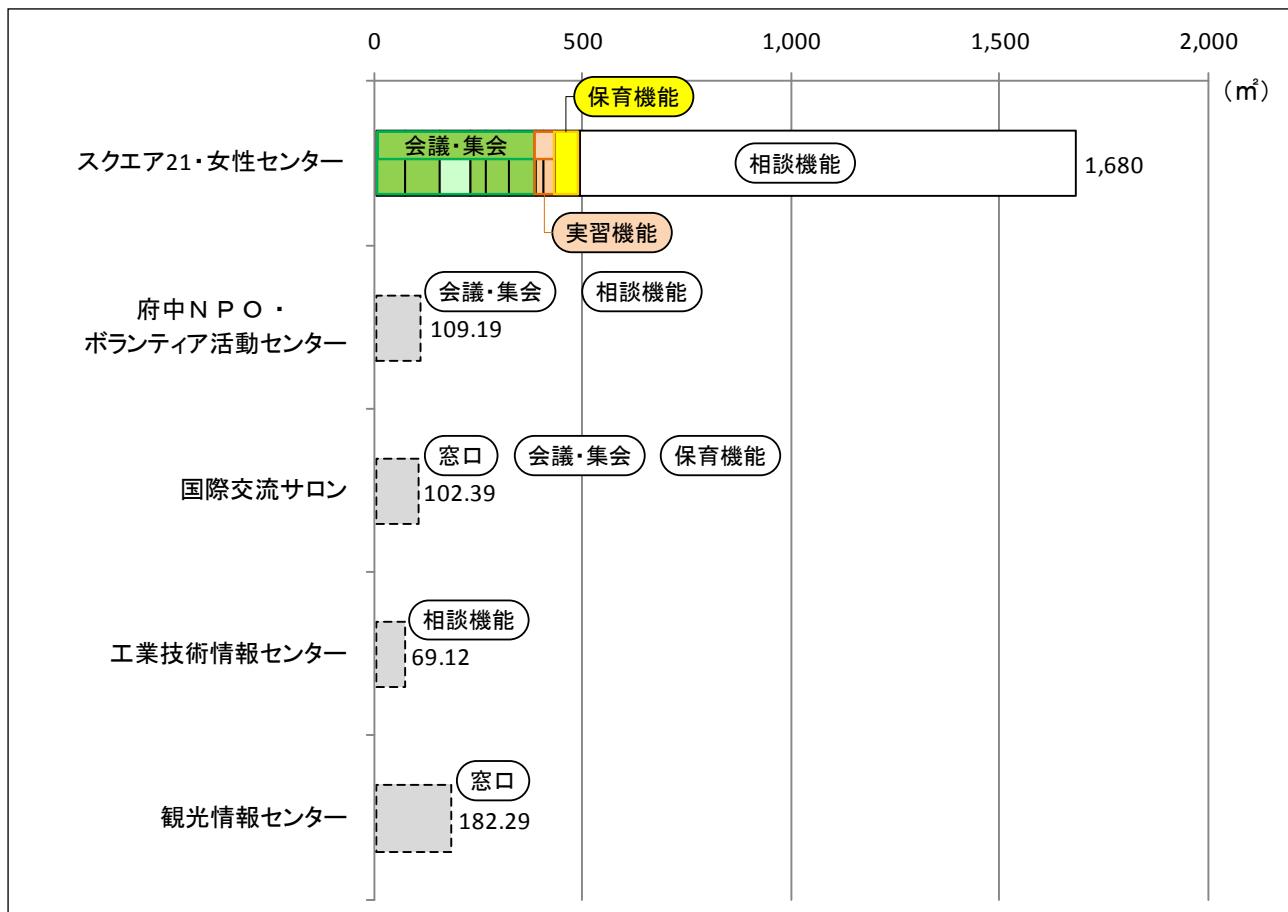
施設名	建築年度		延床面積 (m ²)	保有機能		備考
				会議・集会	相談窓口	
スクエア21・女性センター	H6	1994	1,680	●	●	
府中NPO・ボランティア活動センター	S55	1980	109	●	●	府中グリーンプラザ内
国際交流サロン	H3	1991	102	●	●	市役所府中駅北第2庁舎内
工業技術情報センター	H3	1991	69		●	市役所府中駅北第2庁舎内
観光情報センター	H17	2005	182		●	

(2) 施設状況

① 施設規模（延床面積）及びスペース構成

- スクエア21・女性センターには、会議室や学習室、和室等の会議・集会機能と、工芸室等の実習機能、保育機能、相談室があります。
- 府中NPO・ボランティア活動センターは、NPOやボランティア団体の活動の拠点とするために、ミーティングルームやメールボックス、コピー機等の事務機器スペースがあります。
- 国際交流サロンには、市内在住の外国人を支援するための拠点施設として、受付カウンターや、外国人向け情報紙等の閲覧コーナー、談話のできるスペースがあり、また小さな子どもを持つ外国人でも日本語学習会に参加できるように、託児室を併設しています。
- 工業技術情報センターには、市内中小企業者を対象とした、技術情報相談のためのスペースや技術専門図書等の閲覧コーナーがあります。
- 観光情報センターには、市の観光情報の発信の場として、パンフレット等の配布及び販売、市の観光に関する展示コーナーなどがあります。

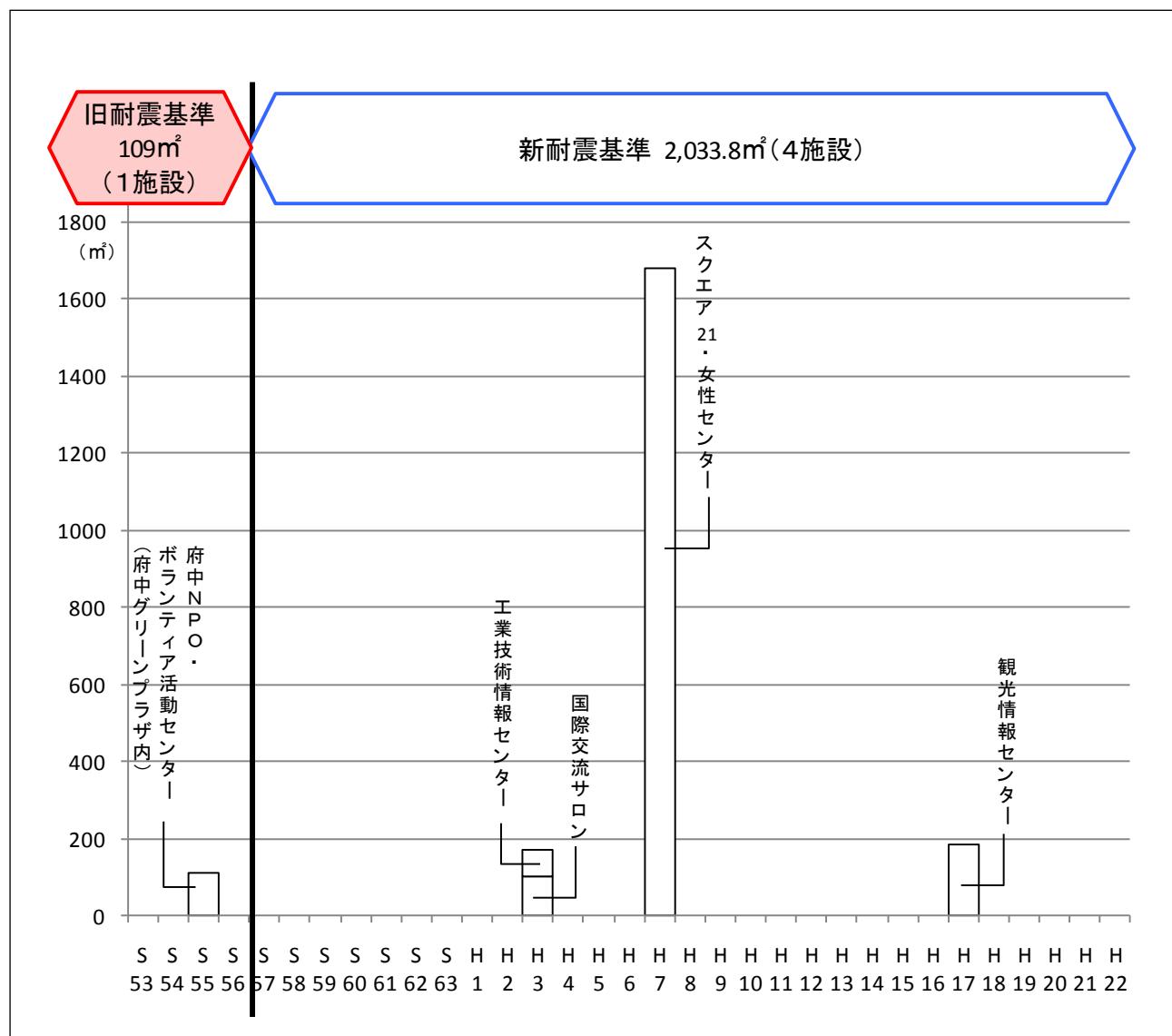
スペース構成



② 建築年度

- ・府中N P O・ボランティア活動センターは、府中グリーンプラザ（昭和55年築）内に設置されており、建築後30年を経過しています。
 - ・府中N P O・ボランティア活動センターがある旧耐震基準の府中グリーンプラザは、平成22年度に耐震診断調査を行いました。

築年別整備状況（その他産業施設）



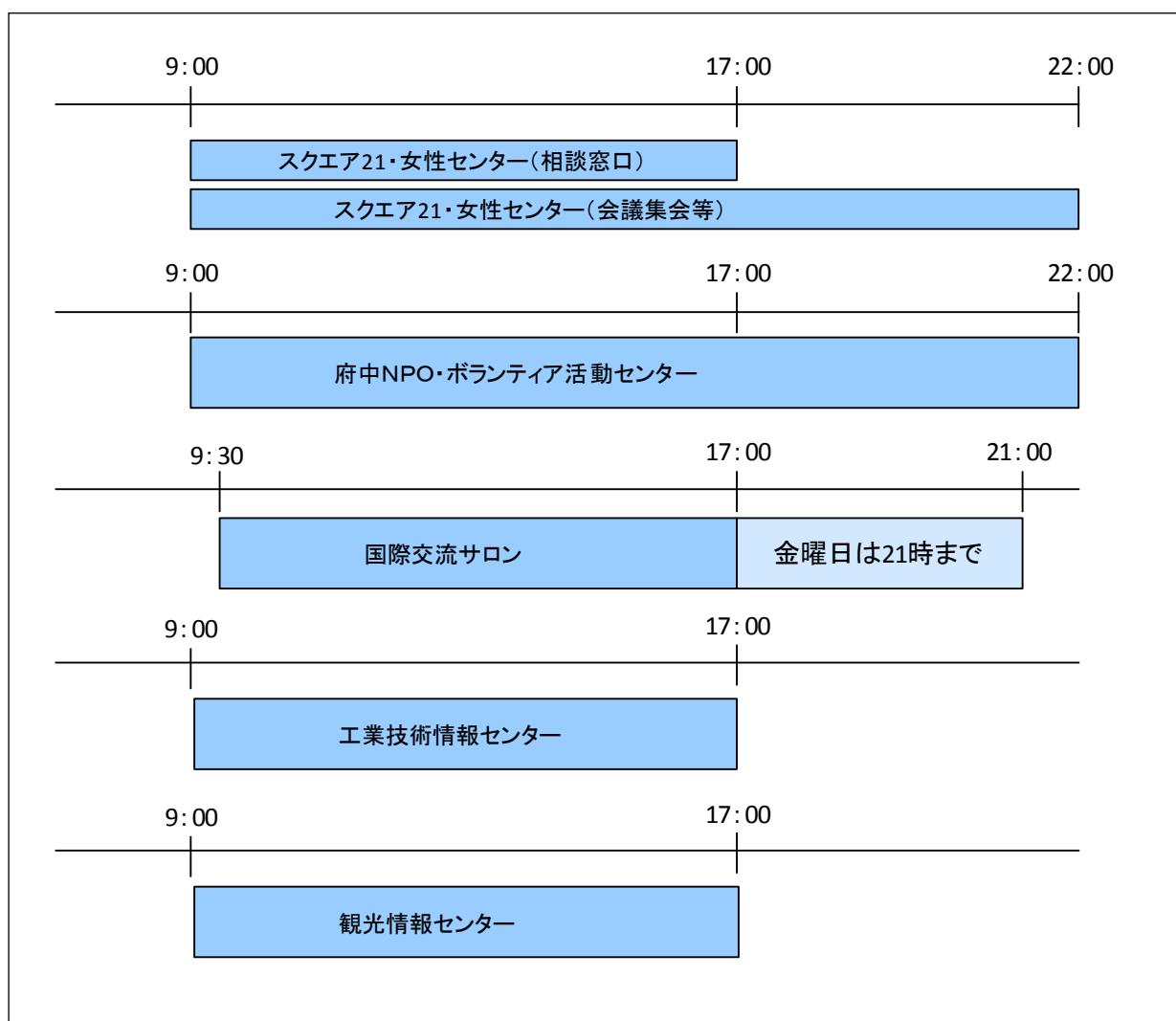
③ 運営日数、運営時間

- ・スクエア21・女性センターは平日、土日ともに9:00～21:00まで開館しています。ただし、相談窓口は平日の17:00までです。
- ・府中NPO・ボランティア活動センターは平日、土日の9:00～22:00まで開館しています。ただし、相談等のスタッフの受付は平日の19:00までです。
- ・国際交流サロンは平日の9:30～17:00までです。毎週金曜日は夜間に学習会等を開催し、21:00まで開館しています。

運営日数

	平日	土日	計
スクエア21・女性センター	230	105	335
府中NPO・ボランティア活動センター	222	115	337
国際交流サロン	242	0	242
工業技術情報センター	240	0	240
観光情報センター	196	115	311

運営時間帯



(3) 建物状況

施設名	①耐震安全性		②老朽化状況				③バリアフリー対応									
	評価	耐震診断	耐震補強	評価内容		建築年度	経過年	平成22	平成22	評価内容		までのスロープ	道路から入口	自動ドア	手すり	点字誘導ブロック
				評価	評価					評価	評価					
スクエア21・女性センター	3	不要	—	3	平成6	16	未		3	○	○	○	○	○	○	
府中NPO・ボランティア活動センター	2	○		1	昭和55	30	未		3	○	○	○	○	○	○	
国際交流サロン	3	不要	—	3	平成3	19	未		3	○	○	○	○	○	○	
工業技術情報センター	3	不要	—	3	平成3	19	未		3	○	○	○	○	○	○	
観光情報センター	3	不要	—	3	平成17	5	未		2	—	○	○	○	—	○	

施設名	④環境対応状況						⑤維持管理						評価内容	対策実施		
	評価	評価内容					評価	評価内容								
		環境指標		m ² 平均				維持管理費(千円)		m ² 平均(円)						
延床面積(m ²)	伴う燃料等の使用量(MJ)	(tCO ₂ 排出量)	(kgCO ₂ 排出量)	伴う燃料等の使用量(KJ)	(kgCO ₂ 排出量)	評価	延床面積(m ²)	光熱水費	委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	評価内容		
スクエア21・女性センター	3	1,680	1,506,563	58	896,764	35	1,680	2,621	15,294	743	1,560	9,103	442	3 ○		
府中NPO・ボランティア活動センター	3	(府中グリーンプラザに含む)					3	(府中グリーンプラザに含む)					3	○		
国際交流サロン	3	(市役所府中駅北第2庁舎に含む)					3	(市役所府中駅北第2庁舎に含む)					3	○		
工業技術情報センター	3						3						3	○		
観光情報センター	3	182	177,817	6	975,465	33	3	182	1,385	2,345	194	7,596	12,865	1,067	3 ○	

■評価結果「1」の施設

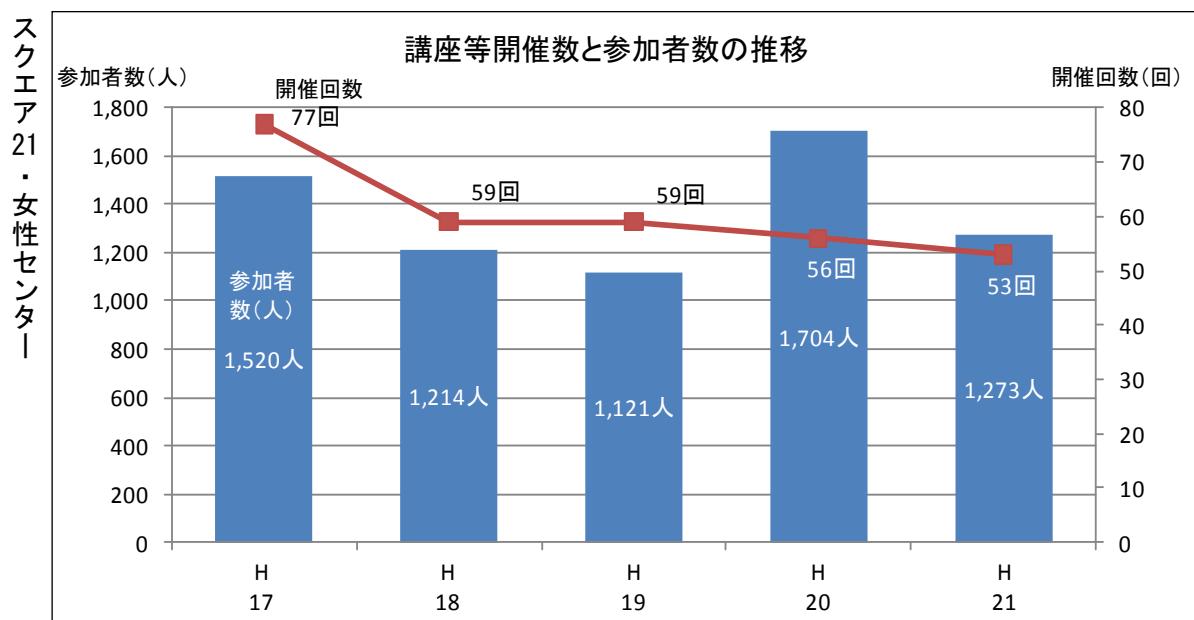
2 老朽化状況	
該当施設	・府中NPO・ボランティア活動センター
今後の対応等	・今後、建替え等の検討が必要。

(4) 利用状況

① 施設別の利用状況

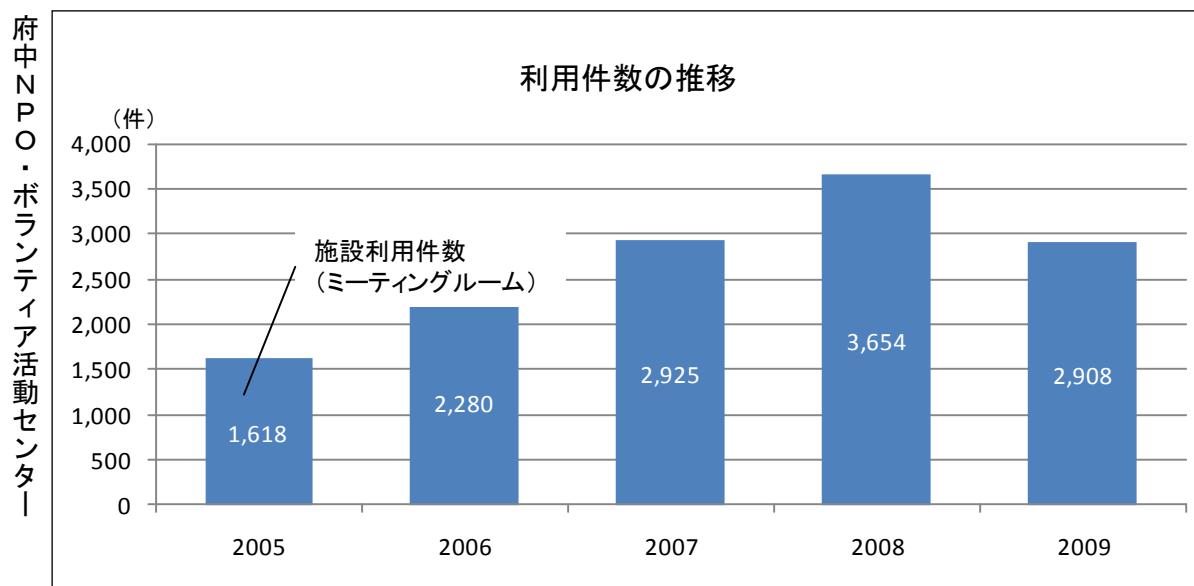
<スクエア 21・女性センター>

- 平成 21 年度の講座等主催事業の開催日数は、年間 53 回で、延べ 1,520 人が参加しました。最近 5 年間の開催回数及び参加者数は、減少傾向です。



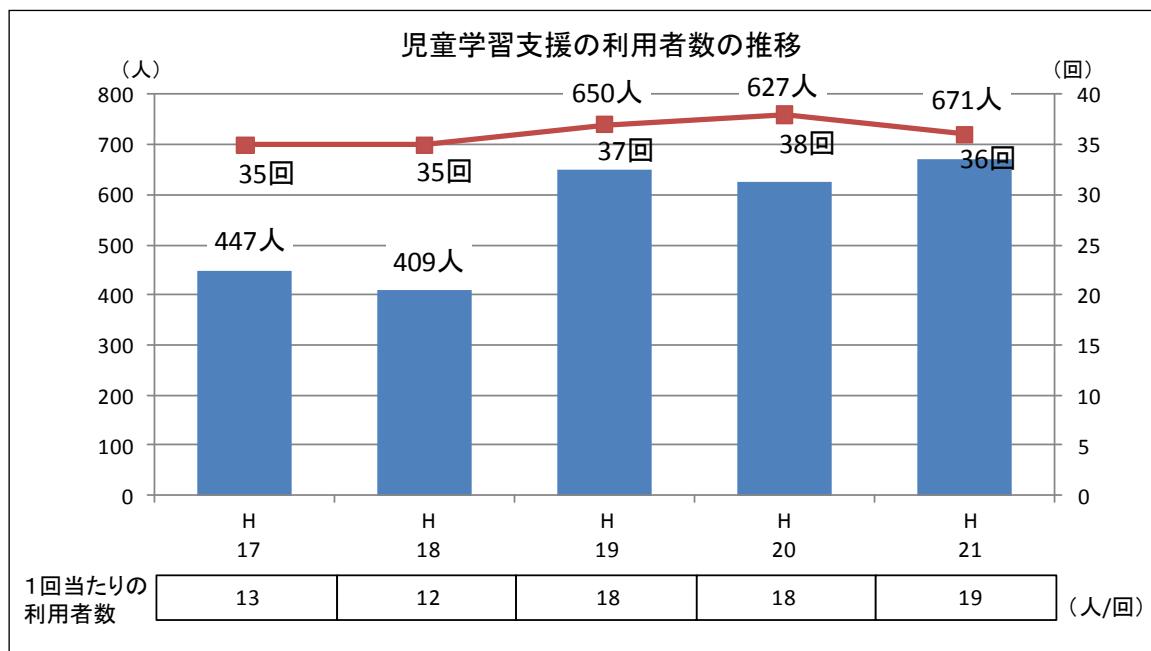
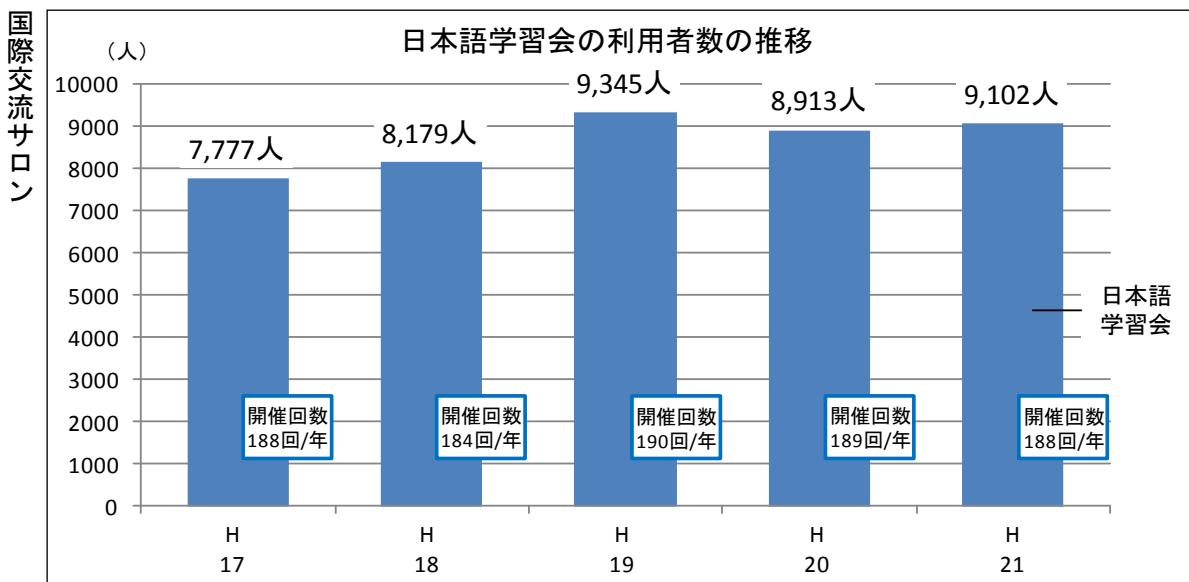
<府中NPO・ボランティア活動センター>

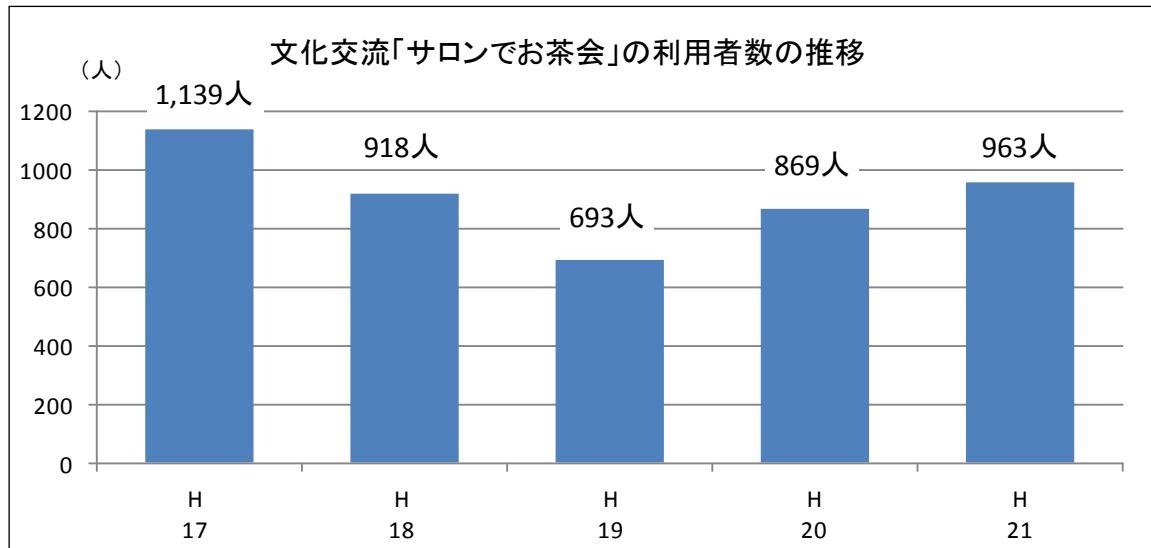
- 平成 21 年度の施設の貸出件数については 2,908 件です。最近 5 年間の施設の貸出件数は、増加傾向です。また、NPO・ボランティアなどの市民活動の進め方や、NPO 法人の設立などについての相談を実施しており、平成 21 年度の相談件数は 2,698 件です。



<国際交流サロン>

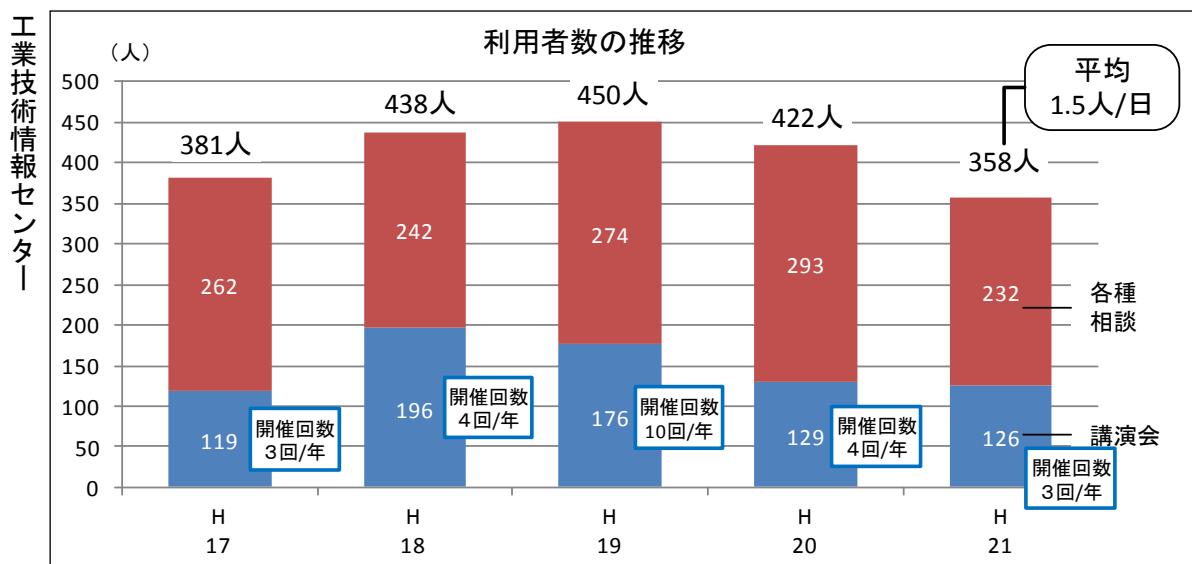
- 市内在住の外国人を対象とした市民ボランティアによる日本語学習会、日常の日本語会話能力が十分でない児童・生徒を対象に、学校の教科の補習をする児童学習支援、外国や日本の文化を体験しながら交流する、「サロンでお茶会」等の利用があります。
- 日本語学習会や児童学習支援は、最近5年間では参加者数が増加傾向にあります、文化交流は減少傾向にあります。





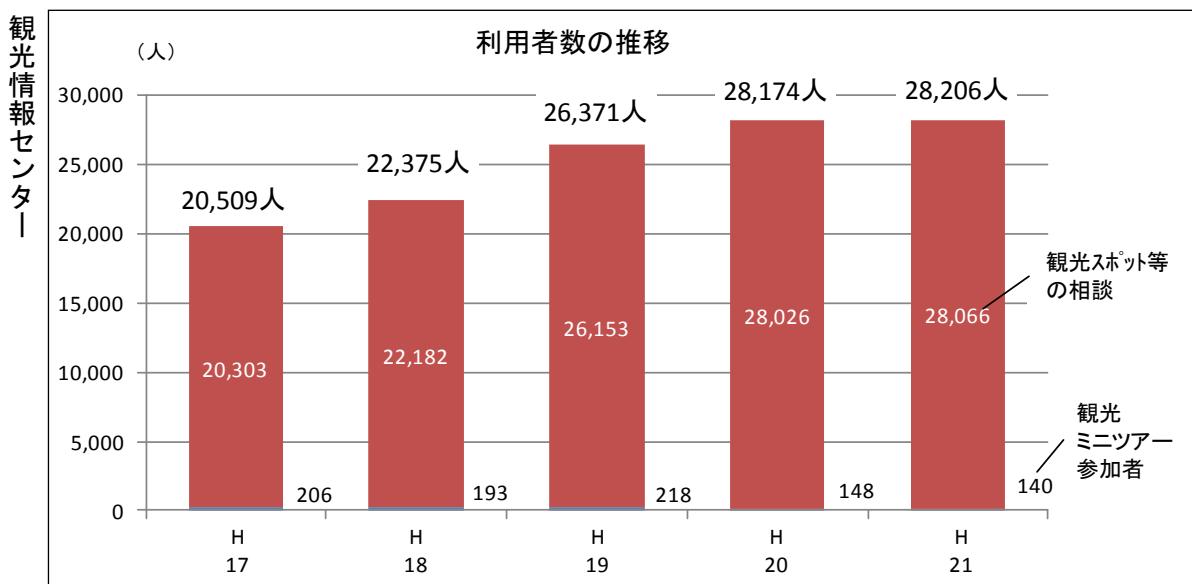
<工業技術情報センター>

- ・ 中小企業等への技術支援等の各種相談と当該施設が主催する講座等への利用があります。
- ・ 各利用を利用者数で把握すると、各種相談は2009年度で年間232人で、平成20年度からは利用者数が減少しています。
- ・ 講座の開催は、年間約3～4回開催しており、2009年度は年間で延126人が参加しています。



<観光情報センター>

- ・ 観光案内ボランティアが実施する観光ミニツアーの、平成 21 年度の参加者は 140 人です。
- ・ 名所、旧跡などの観光スポットの紹介や案内相談は、平成 21 年度で年間 2 万 8,066 人と、開館 1 日当たり 90 人に利用され、最近 5 年間では、利用者数が増加しています。一方、観光ミニツアーの参加者数は減少傾向にあります。



(5) 運営状況

① 運営形態

- 直営で施設の運営を行っているのは、スクエア 21・女性センター及び工業技術情報センターです。
- 府中NPO・ボランティア活動センターの運営について、「府中市NPO・ボランティア活動及び協議の推進に関する指針」の中で、「公平性の観点から第三者機関による運営が望ましい」とされていたことから、平成 21 年度より委託業者が運営を行っています。
- 国際交流サロン及び観光情報センターは委託業者が運営を行っています。

	直営	業務委託
スクエア 21・女性センター	●	—
府中 NPO・ボランティア活動センター	—	●
国際交流サロン	—	●
工業技術情報センター	●	—
観光情報センター	—	●

② 運営人員

- スクエア 21・女性センターの運営人員には、施設運営だけでなく、各種事業の企画・運営のための人員も含んでいるため、他の施設よりも人員数が多くなっています。
- 市役所北第 2 庁舎内の国際交流サロン及び工業技術情報センター、また府中グリーンプラザ内の府中NPOボランティア活動センターについては、建物全体で施設管理を行っているため、施設管理業務はほとんど発生しません。

	スクエア21・女性センター	府中NPO・ボランティア活動センター	国際交流サロン	工業技術情報センター	観光情報センター
市職員	4人				
嘱託職員	2人			3人	
再任用職員			1人		
臨時職員	8人		2人		
その他	11人	2人			1人
合計	25人	2人	3人	3人	1人

(6) コスト状況

① コスト及び収支状況

- スクエア 21・女性センターの平成 21 年度のトータルコストは 8,883 万円です。そのうち、事業運営にかかるコストが 5,751 万円 (65%)、施設にかかるコストが 2,117 万円 (24%)、減価償却費相当額が 1,015 万円 (11%) です。
- 府中N P O・ボランティア活動センターの平成 21 年度のトータルコストは 978 万円です。そのうち、運営・企画業務委託料が 910 万円 (93%)、各所修繕費が 2 万円、減価償却費相当額が 66 万円 (7%) です。
- 国際交流サロンの平成 21 年度のトータルコストは 629 万円です。そのうち、人件費が 387 万円 (41%)、運営・企画業務委託料が 180 万円 (29%)、減価償却費相当額が 62 万円 (10%) です。
- 工業技術情報センターの平成 21 年度のトータルコストは 1,073 万円です。そのうち、事業運営にかかるコストが 942 万円 (88%)、施設にかかるコストが 90 万円 (8 %)、減価償却費相当額が 42 万円 (4 %) です。
- 観光情報センターの平成 21 年度のトータルコストは 934 万円です。そのうち、事業運営にかかるコストは 431 万円 (46%)、施設にかかるコストは 392 万円 (42%) です。事業運営にかかるコストのうち、411 万円は運営・企画業務委託料です。

施設別行政コスト計算書（平成 21 年度）(千円)

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		スクエア21・女性センター	府中N P O・ボランティア活動センター	国際交流サロン	工業技術情報センター	観光情報センター
施設にかかるコスト	各所修繕費	743	20	0	0	194
	大規模修繕費	0	0	0	0	0
	光熱水費	2,621	0	0	0	1,385
	建物管理委託費	15,294	0	0	0	2,345
	その他委託費		0	0	21	0
	土地・建物以外賃借料	2,511	0	0	680	0
	車両・備品購入費	0	0	0	195	0
	施設にかかるコスト計	21,169	20	0	896	3,924
	職員人件費	31,031	0	0	0	0
	嘱託職員人件費	1,526	0	0	8,327	0
事業運営にかかるコスト	再任用職員人件費		0	2,969	0	0
	臨時職員人件費	6,629	0	901	0	0
	指定管理料	0	0	0	0	0
	負担金補助及び交付金	6,456	0	0	0	0
	運営・企画業務委託料	1,419	9,100	1,800	57	4,110
	その他物件費	10,452			1,037	201
	事業運営にかかるコスト計	57,513	9,100	5,670	9,421	4,311
現金収支を伴うコスト 計		78,682	9,120	5,670	10,317	8,235

【収益の部】

使用料	856	0	0	0	0
その他の収入	64	194	0	0	98
現金収支を伴う収益 計	920	194	0	0	98

II. 現金収支を伴わないもの 【コストの部】

減価償却費相当額	10,147	660	618	417	1,101
----------	--------	-----	-----	-----	-------

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	88,829	9,779	6,288	10,734	9,336
収支差額	87,909	9,586	6,288	10,734	9,238

2-12 福祉施設

(1) 概要

- 府中市には、高齢者福祉施設として、特別養護老人ホーム、通所介護施設及び介護予防推進センターがあります。
- 特別養護老人ホームよつや苑及びあさひ苑には、高齢者在宅サービスセンターが併設されており、特別養護老人ホーム、短期入所生活介護、通所介護に関する事業を行っています。
- しみずがおか高齢者在宅サービスセンターは、通所介護に関する事業を行っています。
- 介護予防推進センターは、介護予防の講座及び研修等を行っています。
- 障害者福祉施設として、心身障害者福祉センターがあります。
- 地域の福祉活動の拠点施設として、ふれあい会館があり、社会福祉協議会とシルバー人材センターの2つの事務所が置かれています。ふれあい会館の4つの会議室は、福祉活動を目的としている市民及び団体が使用でき、福祉団体は市に登録することにより、無料で会議室を利用できます。

高齢者福祉施設一覧

施設名	建築年度		延床面積 (m ²)	併設施設
特別養護老人ホームよつや苑	H3	1991	4,542	よつや苑高齢者在宅サービスセンター
特別養護老人ホームあさひ苑	H5	1993	6,637	あさひ苑高齢者在宅サービスセンター
しみずがおか高齢者在宅サービスセンター	H6	1994	2,921	東府中駅南自転車駐車場
介護予防推進センター	H17	2005	1,838	高倉保育所

障害者福祉施設一覧

施設名	建築年度		延床面積 (m ²)
心身障害者福祉センター「きずな」	S57	1982	3,605

その他福祉施設一覧

施設名	建築年度		延床面積 (m ²)
ふれあい会館	H2	1991	2,409

(2) 福祉サービスの状況

府中市の高齢者福祉施設の状況

平成22年4月1日 :市が保有する施設

			第8地域	第6地域	第7地域	第5地域	第4地域	第3地域	第2地域	第1地域	備考	
	人口	14,934人	26,537人	31,436人	18,768人	31,758人	40,224人	42,938人	38,239人			
	面積	271ha	248ha	413ha	244ha	227ha	394ha	594ha	539ha			
	人口密度	55.1人/ha	107.0人/ha	76.1人/ha	76.9人/ha	139.9人	102.1人/ha	72.3人/ha	70.9人/ha			
	高齢者人口	2,638人 (18%)	4,965人 (19%)	6,074人 (19%)	3,899人 (21%)	4,928人 (16%)	8,436人 (21%)	7,460人 (17%)	6,375人 (17%)			
	要支援者数	1,767 人										
	要介護者数	5,668 人										
	ふれあい会館 (1)	・市民及び市内の福祉団体の活動の場 ・地域福祉活動の拠点施設	指定管理					ふれあい会館				
	仕事 シルバー人材センター (1)	・働く意欲を持っているおおむね60歳以上の方を対象に特技や経験に応じた「就労の場」を提供	民営					シルバー人材センター				
	交流 娯楽 高齢者福祉館 (11)	・高齢者の健康増進や娯楽に関する事業を行う施設 ・浴場や健康コーナー、大広間を有する	府中市	四谷文化センター	西府文化センター 片町文化センター	住吉文化センター	武蔵台文化センター	中央文化センター	新町文化センター	是政文化センター 押立文化センター	白糸台文化センター 紅葉丘文化センター	
	相談・調整 地域包括支援センター(7)・在宅介護支援センター(5)	・高齢者とその家族のための、総合相談窓口	府中市									
	相談・調整 業務委託	よつや苑	府中市									
	通所 介護予防推進センター(1)	よつや苑	民営									
	通所 要支援認定者通所施設(28)	よつや苑	民営									
				遊・府中 ウイング	いぶき リンリン	ピース ブラザ 白樺	西府町 鳳仙寮	ももたろう はんの木 たのしい家 恵仁会病院	泉苑	なごやか 緑苑 けやきの里 元気俱楽部 ハナリニック	府中 若松の風 安立園 フルーバー ふれあいの里 ファミリー府中 なごやか府中	しみずがおか あさひ苑
	通所 要介護認定者通所施設(24)	よつや苑	民営									
				遊・府中 ウイング	いぶき リンリン	ピース ブラザ 白樺	鳳仙寮	ももたろう はんの木 たのしい家 恵仁会病院	泉苑	なごやか 緑苑 けやきの里 元気俱楽部 ハナリニック	府中 クローバー ふれあいの里 ファミリー府中 なごやか府中	しみずがおか あさひ苑
	入所 短期入所施設(12)	よつや苑	民営									通所介護・通所リハ・認知症通所の事業者を記載
				ウイング	ピース ブラザ 介護予防推進センター	鳳仙寮		泉苑	緑苑 安立園	ふれあいの里 ファミリー府中	あさひ苑	
	入所 入所施設(25)	よつや苑	民営									介護予防推進センター・短期入所生活・短期入所療養の事業者を記載
				みんなの家 ウイング	フローレンスケア聖蹟桜ヶ丘	ピース ブラザ	たのしい家 ヘルスケア	東苑	らら京王 東府中 テンマーク INN府中	こもれび家族 ふれあいの里 グランダ府中 白糸台	あさひ苑	
				えがおの家	未来俱楽部 府中	ニチイのきらめき	ヘルスケア	東苑	らら京王 東府中 テンマーク INN府中	こもれび家族 ふれあいの里 グランダ府中 白糸台	あさひ苑	老人保健施設・有料老人ホーム・認知症高齢者グループホーム・特別養護老人ホーム等の事業者を記載

府中市の障害者福祉施設の状況

平成22年4月1日

■ 市が保有する施設

(3) 利用状況及び運営状況

【高齢者福祉】

施設内容	施設名	主な対象
特別養護老人ホーム	あさひ苑	要介護1以上
	信愛緑苑	
	たちばなの園白糸台	
	鳳仙寮	
	よつや苑	
	信愛泉苑	
	安立園	
認知症対応型共同生活介護 グループホーム	こもれび家族	要支援2～要介護
	グループホーム府中	
	えがおの家 西府	
	たのしい家 武蔵府中	
	みんなの家 府中	
有料老人ホーム	ニチイホーム東府中	おおむね65歳以上 (施設によって異なる)
	デンマークINN府中	
	ポンセジュール白糸台	
	グランダ府中白糸台	
	くらら京王東府中	
	未来倶楽部府中	
	ニチイのきらめき府中	
	ヘルス・ケア・ヴィラ府中	
通所介護事業者 (デイサービス)	フローレンスケア聖蹟桜ヶ丘	介護認定者
	パナソニックエイジフリー 府中デイセンター	
	あさひ苑高齢者在宅サービスセンター	
	茶話本舗デイサービス 府中若松の風	
	デイサービスセンターなごやか東府中	
	デイサービスセンターなごやか府中	
	デイサービスセンター クローバー	
	しみずがおか高齢者在宅サービスセンター	
	デイサービス元気倶楽部	
	デイサービスももたろう	
	介護センター はんの木	
	鳳仙寮デイサービス	
	シルバーエイジクラブ“白樺”	
	アビリティーズ・デイサービス西府町	
	たのしい家むさしふちゅう	
	デイサービスセンター遊・府中	
	よつや苑高齢者在宅サービスセンター	
	わの会デイサービスりんりん	
	泉苑ケアセンター	
	デイサービス府中	
	デイサービス けやきの里	
	安立園在宅ケアセンター	

	施設内容	施設名	主な対象
高齢者福祉	通所リハビリテーション事業者	ファミリー府中	介護認定者
		ふれあいの里	
		ピースプラザ	
		府中恵仁会病院通所リハビリステーション	
		ウイング	
		総合在宅支援センター いぶき	
	認知症対応型通所介護 (デイサービス)	あさひ苑高齢者在宅サービスセンター	介護認定者
		しみずがおか高齢者在宅サービスセンター	
		よつや苑高齢者在宅サービスセンター	
		わの会デイサービス第二りんりん	
		泉苑ケアセンター	
		安立園在宅ケアセンター	
	短期入所生活・療養介護 (ショートステイ)	あさひ苑高齢者在宅サービスセンター	介護認定者
		信愛緑苑	
		たちばなの園白糸台	
		鳳仙寮	
		よつや苑高齢者在宅サービスセンター	
		信愛泉苑	
		安立園	
		ファミリー府中	
		ふれあいの里	
		ピースプラザ	
	介護老人保健施設	ウイング	要介護1以上
		ファミリー府中	
		ふれあいの里	
		ピースプラザ	
	地域包括支援センター ・在宅介護支援センター	ウイング	
		府中市地域包括支援センター	高齢者とその家族
		地域包括支援センター泉苑	
		地域包括支援センターよつや苑	
		地域包括支援センターあさひ苑	
		地域包括支援センター安立園	
		地域包括支援センターしみずがおか	
		地域包括支援センターかたまち	
		しんまち在宅介護支援センター	
		緑苑在宅介護支援センター	
		鳳仙寮在宅介護支援センター	
		さくらんぼ在宅介護支援センター	
		南町在宅介護支援センター	
	介護予防推進センター	介護予防推進センター	介護認定を受けていない65歳以上

【障害者福祉】

	施設内容	施設名	主な対象	
障 害 者 福 祉	地域活動支援センター	心身障害者福祉センター「きずな」	身体障害、知的障害、障害児	
	地域生活支援センター	地域生活支援センター「プラザ」	精神障害	
		地域生活支援センター「あけぼの」	身体障害、知的障害	
	障害福祉サービス事業所	障害者支援施設「みづき」	身体障害	
		府中はるみ福祉園	知的障害	
		府中共同作業所	身体障害	
		梅の木の家共同作業所	精神障害	
		ギャロップ	精神障害	
		童里夢工房	精神障害	
		レスポワール工房	精神障害	
		ワークショップさかえ	精神障害	
		コットンハウス、フレンズ	精神障害	
		わかまつ共同作業所	精神障害	
		プロジェクト「やきのもり」	精神障害	
		障害福祉サービス事業所	障害者支援施設「みづき」	身体障害
		(入所)	第一府中寮	知的障害
		ひまわり	知的障害	
	コスモス	知的障害		
	きすげ	知的障害		
	せんげん	知的障害		
	アメニティ府中	知的障害		
	府中あらたま寮	知的障害		
	グループホーム「みち」	精神障害		
	けやきの樹	知的障害		
	ひばりの里	知的障害		
	森の時計	知的障害		
	グループホーム「てんてる舎」	精神障害		
	グループホーム「マリム」	精神障害		
	グループホーム「ロードハイツ」	精神障害		
	チロリン村	知的障害		

(4) 建物状況

【高齢者福祉施設】

施設名	①耐震安全性			②老朽化状況				③バリアフリー対応								
	評価	評価内容		評価	評価内容				評価	評価内容						
		耐震診断	耐震補強		建築年度	経過年	平成22	平成22		車いす用エレベーター	身障者トイレ	までのスロープ	道路から入口	自動ドア	手すり	点字誘導ブロック
よつや苑	3	不要	—	3	平成3	19	未		3	○	○	○	○	○	○	○
あさひ苑	3	不要	—	3	平成5	17	未		3	○	○	○	○	○	○	○
しみずがおか高齢者在宅サービスセンター	3	不要	—	3	平成6	16	未		3	○	○	○	○	○	○	○
介護予防推進センター	3	不要	—	3	平成16	6	未		3	○	○	○	○	○	○	○
ふれあい会館	3	不要	—	2	平成2	20	未		2	○	○	○	○	○	○	○

施設名	④環境対応状況								⑤維持管理								⑥吹付けアスベスト		
	評価	評価内容								評価	評価内容								評価内容
		環境指標		m ² 平均				延床面積(m ²)	伴う熱量等の使用に(MJ)	(t換算CO ₂ 排出量)	伴う熱量等の使用に(KJ)	(kg換算CO ₂ 排出量)	延床面積(m ²)	維持管理費(千円)	光熱水費	委託費	建物管理	各所修繕費	
よつや苑	3	4,542	4,456,240	223	981,192	49	3												3 ○
あさひ苑	3	6,637	5,343,863	264	805,162	40	3												3 ○
しみずがおか高齢者在宅サービスセンター	3	2,921	6,930,320	330	2,372,585	113	3												3 ○
介護予防推進センター	3	1,838	1,843,197	76	1,002,828	41	3												3 ○
ふれあい会館	3	2,409	2,176,732	85	903,452	35	3												3 ○

【障害者福祉施設】

施設名	①耐震安全性			②老朽化状況				③バリアフリー対応								
	評価	評価内容		評価	評価内容				評価	評価内容						
		耐震診断	耐震補強		建築年度	経過年	平成22	平成22		車いす用エレベーター	身障者トイレ	までのスロープ	道路から入口	自動ドア	手すり	点字誘導ブロック
心身障害者福祉センター「きずな」	3	不要	—	3	昭和57	28	平成9	13	3	○	○	○	○	○	○	○

施設名	④環境対応状況								⑤維持管理								⑥吹付けアスベスト		
	評価	評価内容								評価	評価内容								評価内容
		環境指標		m ² 平均				延床面積(m ²)	伴う熱量等の使用に(MJ)	(t換算CO ₂ 排出量)	伴う熱量等の使用に(KJ)	(kg換算CO ₂ 排出量)	延床面積(m ²)	維持管理費(千円)	光熱水費	委託費	建物管理	各所修繕費	
心身障害者福祉センター「きずな」	3	3,605	4,617,276	211	1,280,723	59	3												3 ○

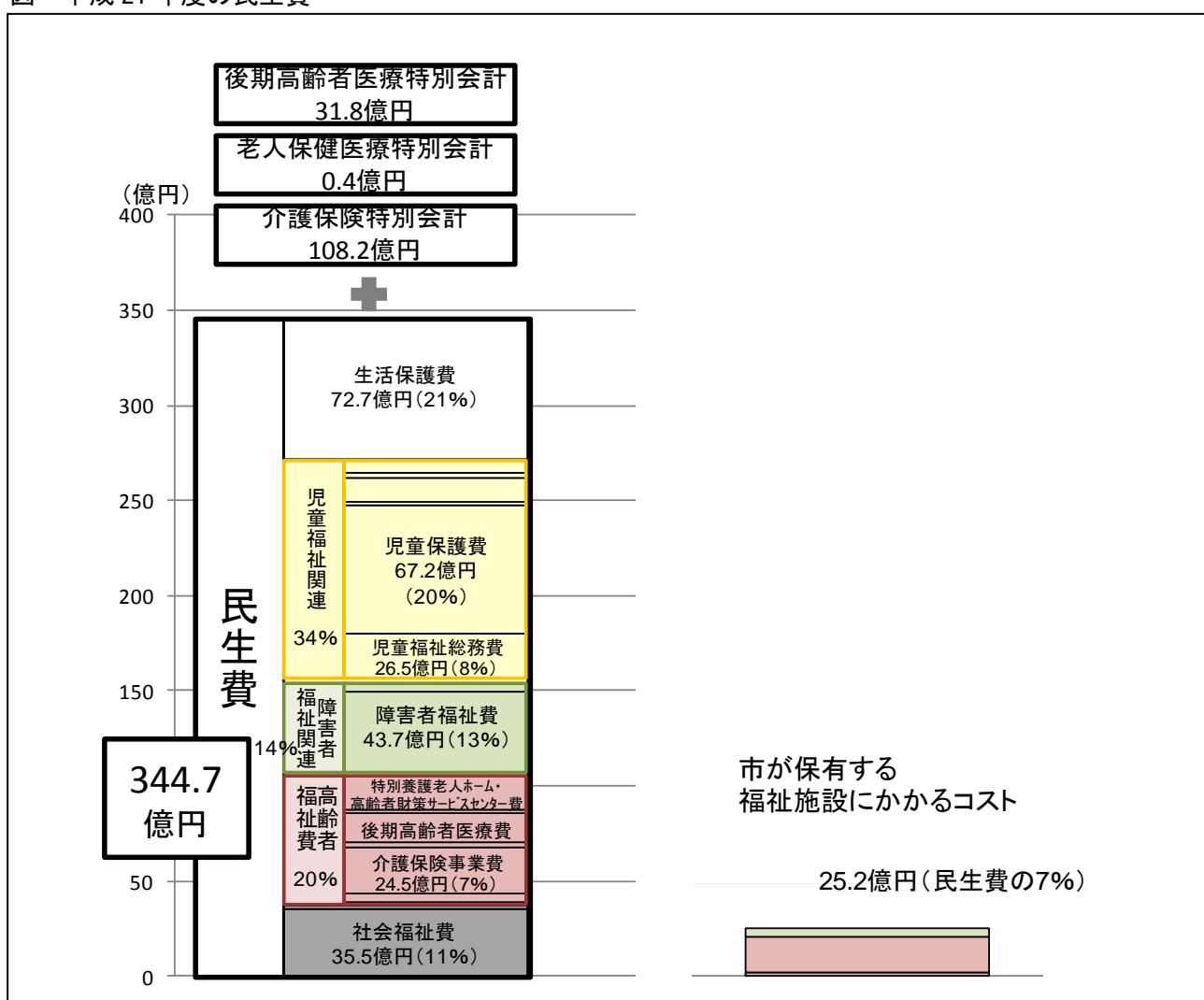
(5) コスト状況

① コスト及び収支状況

【民生費の把握】

- 府中市の平成 21 年度の民生費は 344 億 6,757 万円です。
- 内訳は、社会福祉費が 35.5 億円 (11%)、高齢者福祉費が 68.8 億円 (20%)、障害者福祉関連が 48.3 億円 (14%)、児童福祉費が 118.1 億円 (34%)、生活保護費が 72.7 億円 (21%) となっています。
- このうち、市が保有する施設でかかるコストは、特別養護老人ホーム・高齢者在宅サービスセンター費、ふれあい会館管理運営費、介護予防推進センター管理運営費、心身障害者福祉センター費の 25.2 億円で、民生費の約 7 %となっています。

図 平成 21 年度の民生費



【施設別トータルコスト】

- 特別養護老人ホームは、4.46億円～5.52億円です。内訳は、指定管理料と減価償却費相当額となっています。
- 高齢者在宅サービスセンターは、1.96億円～2.45億円です。内訳は、指定管理料と減価償却費相当額となっています。なお、よつや苑及びあさひ苑の高齢者在宅サービスセンターの減価償却費相当額については、それぞれの特別養護老人ホームの減価償却費相当額に含まれています。
- 心身障害者福祉センターは、4.69億円です。内訳は、各所修繕費、指定管理料、減価償却費相当額となっています。
- 介護予防推進センターは、2.01億円です。内訳は、指定管理料、減価償却費相当額となっています。
- ふれあい会館は、2.97億円です。内訳は、負担金補助及び交付金、運営・企画業務委託料、指定管理料、減価償却費相当額となっています。

施設別行政コスト計算書（平成21年度）

(千円)

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】	特別養護老人ホーム		通所介護事業者			心身障害者 福祉センター	介護予防 推進センター	ふれあい 会館	合計
	よつや苑	あさひ苑	よつや苑 高齢者在宅 サービスセンター	あさひ苑 高齢者在宅 サービスセンター	しみずがおか 高齢者在宅 サービスセンター				
コ か 施 ス か 設 ト る に	各所修繕費	0	0	0	0	0	5,642	0	0
	光熱水費	0	0	0	0	0	0	0	0
	建物管理委託費	0	0	0	0	207	0	0	207
	施設にかかるコスト計	0	0	0	0	207	5,642	0	5,849
コ 事 ス か 運 ト る 営	運営・企画業務委託料	0	0	0	0	0	0	65,624	65,624
	指定管理料	418,252	512,313	195,818	244,575	194,825	441,478	189,592	2,221,169
	負担金補助及び交付金	0	0	0	0	0	0	0	192,814
	事業運営にかかるコスト計	418,252	512,313	195,818	244,575	194,825	441,478	189,592	2,479,606
現金収支を伴うコスト 計		418,252	512,313	195,818	244,575	195,032	447,120	189,592	282,753
									2,485,455

【収益の部】

分担金・負担金	312,860	464,149	147,229	174,699	112,247	153,199	4,014	0	1,368,396
使用料	0	0	4	89	0	154	0	10,005	10,252
現金収支を伴う収益 計	312,860	464,149	147,234	174,788	112,247	153,353	4,014	10,005	1,378,649

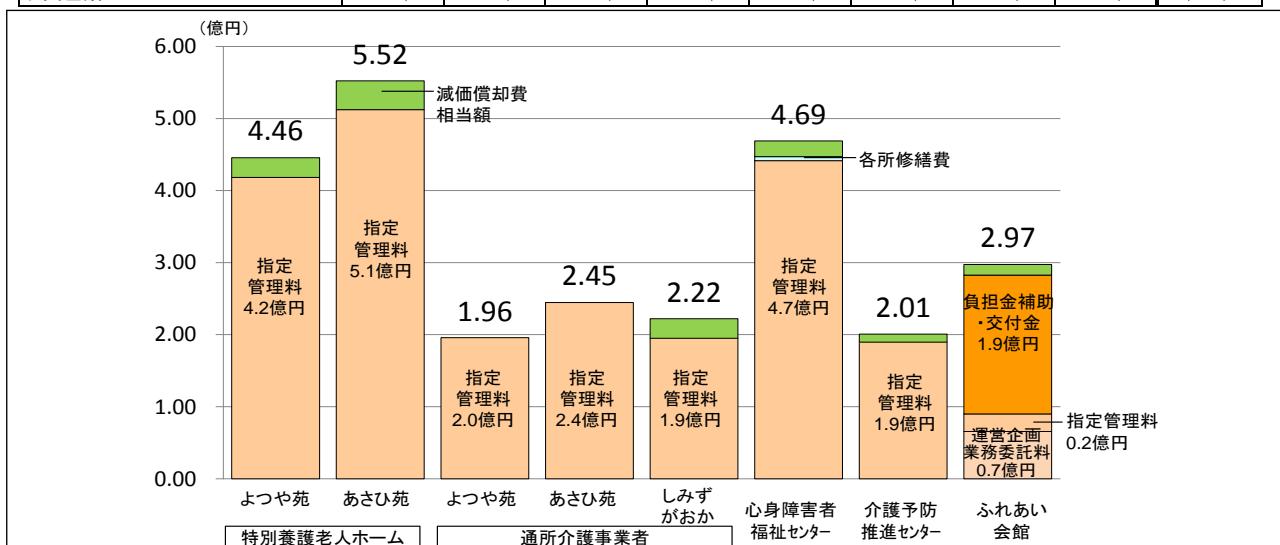
II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

減価償却費相当額	27,432	40,087	0	0	26,984	21,775	11,102	14,552	141,933
----------	--------	--------	---	---	--------	--------	--------	--------	---------

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	445,684	552,400	195,818	244,575	222,016	468,896	200,693	297,305	2,627,388
収支差額	132,824	88,251	48,585	69,787	109,769	315,543	196,680	287,300	1,248,740



2-13 給食センター・教育センター

(1) 概要

① 給食センター

- 府中市には、小学校 22 校、中学校 11 校の市立学校があり、そのうち小学校 3 校を除く 30 校において給食センター方式による学校給食を実施しています。小・中学校の児童・生徒に、安全でおいしいバランスの取れた給食を提供することにより、日常生活における食事について正しい理解と望ましい習慣を養うとともに、健康の増進を図っています。
- 給食センターは、第一学校給食センター、第二学校給食センター、学校給食洗浄センターにより構成されます。給食には地元産野菜も使用するほか、試食会を開催するなど食育の推進にも努めています。また、野菜くずや残菜は専門業者に処理を委託し、処理された残菜は粉末状の生成物（コンポスト）となっています。

② 教育センター

- 教育センターは、学校教育についての総合施設で、一部は公民館としての機能を持ち、会議・研修会に利用することができます。1 階には教育相談・就学相談・けやき教室・電話相談室など、2 階には研修室・会議室、3 階には科学教室・パソコン学習室などの施設があります。

施設一覧

施設		住所	建築年度		延床面積 (m ²)
給食センター	第一学校給食センター	南町3丁目1番地	S45	1970	1,680
	第二学校給食センター	南町3丁目5番地	S50	1975	1,365
	学校給食洗浄センター	南町3丁目5番地	H5	1993	2,331
教育センター		府中町1丁目32番地	S56	1981	3,719

(2) 施設状況

① 施設規模

- ・ 給食センターは延床面積計 5,376 m²、教育センターは延床面積 3,719 m²です。
- ・ 第一学校給食センター及び第二学校給食センターは築 30 年を超えていました。

a) 給食センター

- ・ 小学校 19 校を対象とする第一学校給食センターは 13,000 食、中学校 11 校に給食を供給する第二学校給食センターは 7,000 食の調理能力を有しています。

b) 教育センター

- ・ 教育センターには、第 1 会議室、第 2 会議室、第 3 会議室、研修室、映写室があります。

教育センターの施設規模

	第1会議室	第2会議室	第3会議室	研修室	映写室
定員	30人	30人	30人	30人	30人

② 運営日数、運営時間

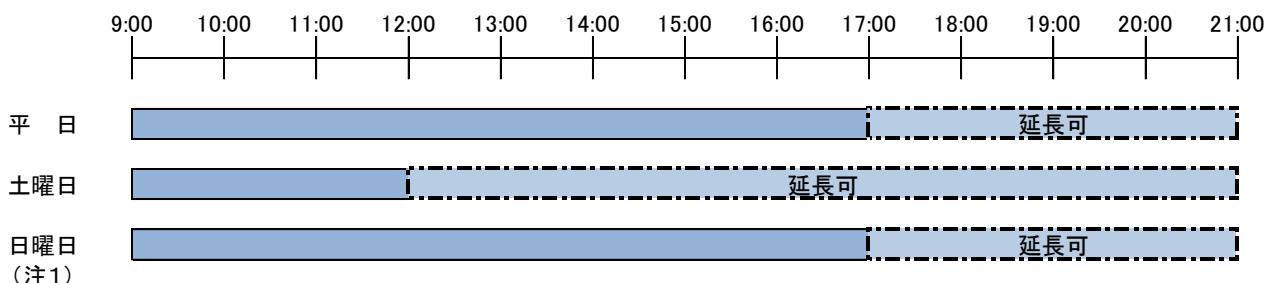
a) 給食センター

- ・ 平成 21 年度は、第一学校給食センターが 190 日、第二学校給食センターは 193 日稼働しました。

b) 教育センター

- ・ 教育センターは、平日 9:00～17:00、土曜日 9:00～12:00 に開館しています。会議室、研修室、映写室は、日曜日の 9:00～17:00 にも利用できます。また、教育委員会が必要と認めるときは、会議室、研修室、映写室は 21:00 まで利用可能とされています。

教育センターの運営時間



(注1)会議室、研修室、映写室のみ

(注2)教育委員会が必要と認めるときは21:00まで利用できる

③ 利用料金

a) 給食センター

- ・ 給食センターの運営については、府中市が施設の管理運営費、人件費及び光熱水費等を負担し、保護者が食材料費を学校給食費として負担しています。

学校給食費（月額）

	低学年	中学年	高学年	教員・その他
小学校	3,600円	3,800円	4,000円	4,400円
中学校		4,400円		4,800円

b) 教育センター

- ・ 教育センターの会議室、研修室及び映写室を使用し、市民が生活文化の向上を図るため、公民館としての事業を行う場合は無料、その他の事業で使用する場合は有料となっています。
- ・ 使用する際の申込みは、社会教育登録団体などは2か月前から、その他は1か月前からの受付となっており、電話または直接、教育センターに申し込みます。

教育センター使用料

	午前 (9:00～12:00)	午後 (13:00～16:30)	教育委員会が認めるとき 夜間 (17:30～21:00)	教育委員会が認めるとき 全日 (9:00～21:00)
第1会議室	550円	1,000円	1,300円	2,500円
第2会議室	550円	1,000円	1,300円	2,500円
第3会議室	500円	850円	1,100円	2,200円
研修室	550円	1,000円	1,300円	2,500円
映写室	300円	550円	700円	1,400円

(注)市外料金は上記使用料のそれぞれ倍額

(3) 建物状況

① 給食センター

施設名	①耐震安全性			②老朽化状況				③バリアフリー対応						
	評価	評価内容		評価	評価内容				評価	評価内容				
		耐震診断	耐震補強		建築年度	平成22	大規模改修	大改後の経過年		車いす用エレベーター	身障者トイレ	までのスロープ	道路から入口	自動ドア
第一学校給食センター	1	未		1	昭和45	40	未		3	—	—	—	—	—
第二学校給食センター	1	未		1	昭和50	35	未		3	—	—	—	—	—
学校給食洗浄センター	3	不要	—	3	平成5	17	未		3	—	—	—	—	—

施設名	④環境対応状況						⑤維持管理						⑥吹付け アスベスト		
	評価	評価内容				評価	評価	評価内容				評価内容	評価内容		
		延床面積(m ²)	環境指標	m ² 平均	評価	延床面積(m ²)	維持管理費(千円)	m ² 平均(円)	評価内容	対策実施	評価内容				
第一学校給食センター	3	1,680	8,485,000	159	5,050,595	95	3	1,680	31,349	14,726	9,803	18,660	8,765	5,835	○
第二学校給食センター	2	1,365	12,384,000	900	9,072,527	660	3	1,365	32,555	11,965	7,965	23,850	8,765	5,835	○
学校給食洗浄センター	3	2,331	5,729,000	571	2,457,743	245	3	2,331	31,479	20,432	13,601	13,505	8,765	5,835	○
1m ² 当たりの平均値				4,947,545	303	1m ² 当たりの平均値				17,742	8,765	5,835			
平均値の1.4倍(+40%)				6,926,563	425	平均値の1.4倍(+40%)				24,839	12,271	8,169			

■評価結果「1」の施設

	1 耐震安全性	2 老朽化状況
該当施設	・ 第一学校給食センター ・ 第二学校給食センター	・ 第一学校給食センター ・ 第二学校給食センター
今後の対応等	・ 早急に耐震安全性の確保が必要	・ 今後、建替え等の検討が必要

② 教育センター

施設名	①耐震安全性			②老朽化状況				③バリアフリー対応						
	評価	評価内容		評価	評価内容			評価	評価内容					
		耐震診断	耐震補強		建築年度	平成22	大規模改修		車いす用エレベーター	までのスロープ	道路から入口	身障者トイレ	自動ドア	手すり
教育センター	1	未		2	昭和56	29	未	3	○	○	○	○	○	○

施設名	④環境対応状況						⑤維持管理						⑥吹付け アスペスト	
	評価	評価内容					評価	評価内容					評価内容	
		延床面積(m ²)	環境指標	m ² 平均	燃料等の使用量	C02排出量		燃料等の使用量	C02排出量	各所修繕費	建物管理委託費	各所修繕費		
教育センター	2	3,917	8,485,000	230	2,166,160	59	3	3,917	8,235	19,467	2,643	2,102	4,970	675

■評価結果「1」の施設

	1 耐震安全性
該当施設	・ 教育センター
今後の対応等	・ 早急に耐震安全性の確保が必要

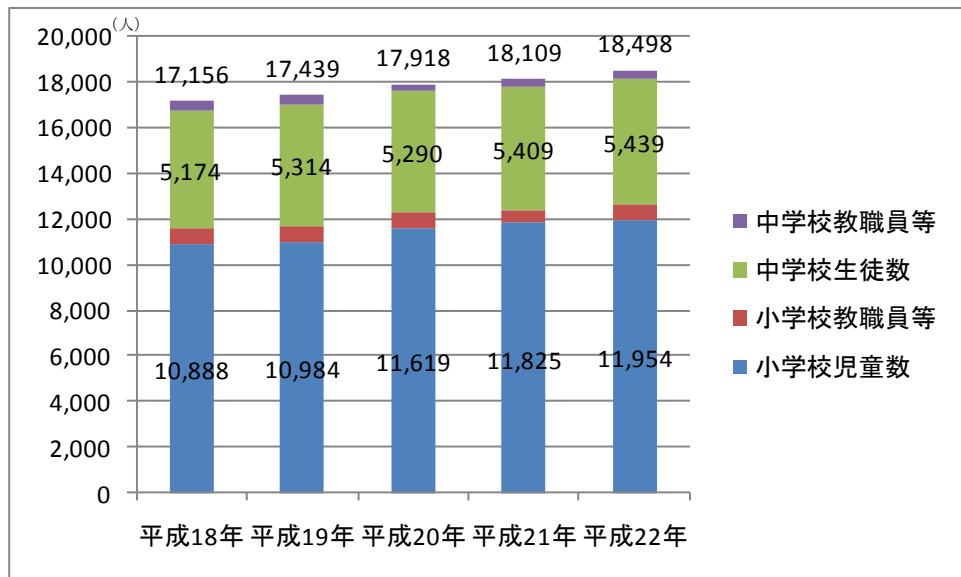
(4) 利用状況

① 利用の推移

a) 給食センター

- ・ 給食数は平成 22 年 5 月 1 日現在で小学校 12,684 人、中学校 5,814 人、合計 18,498 人です。
- ・ 給食数の推移をみると、小学校児童数、中学校生徒数の増加に伴い、増加しています。

給食数の推移（各年 5 月 1 日現在）



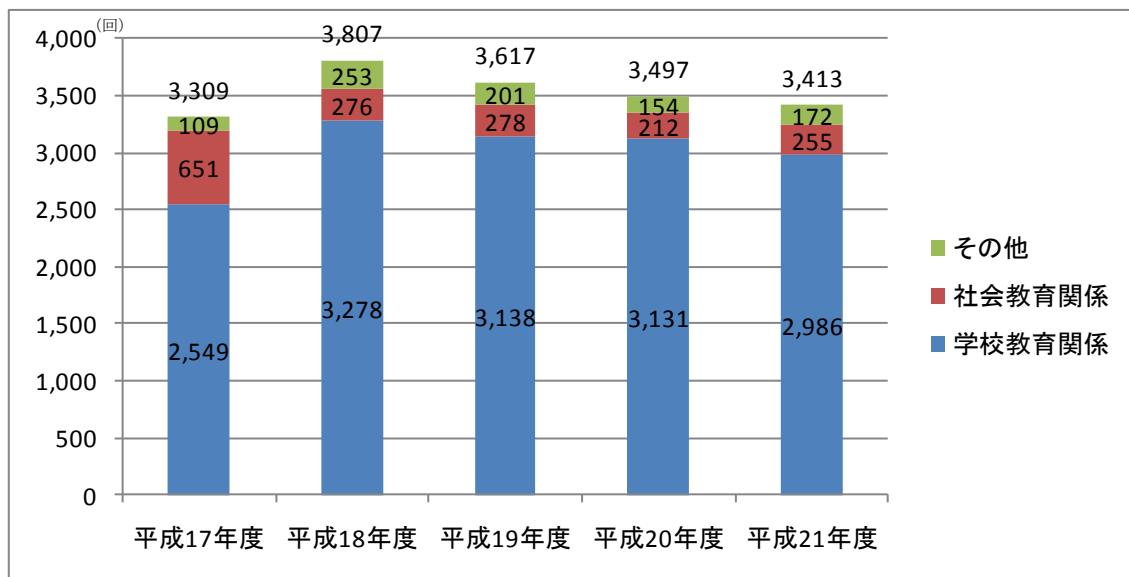
出所：教育部学務保健課データ

b) 教育センター

- ・ 教育センター（貸出施設）の利用回数は、平成 21 年度は 3,413 回でした。
- ・ 利用区分別には、学校教育関係 2,986 回、社会教育関係 255 回、その他 172 回でした。
- ・ 時間別には、午前 1,315 回、午後 1,309 回、夜間 789 回でした。

- 利用区分別の利用回数の推移をみると、平成18年度をピークに学校教育関係の利用回数が減少したため、全体でも減少しています。

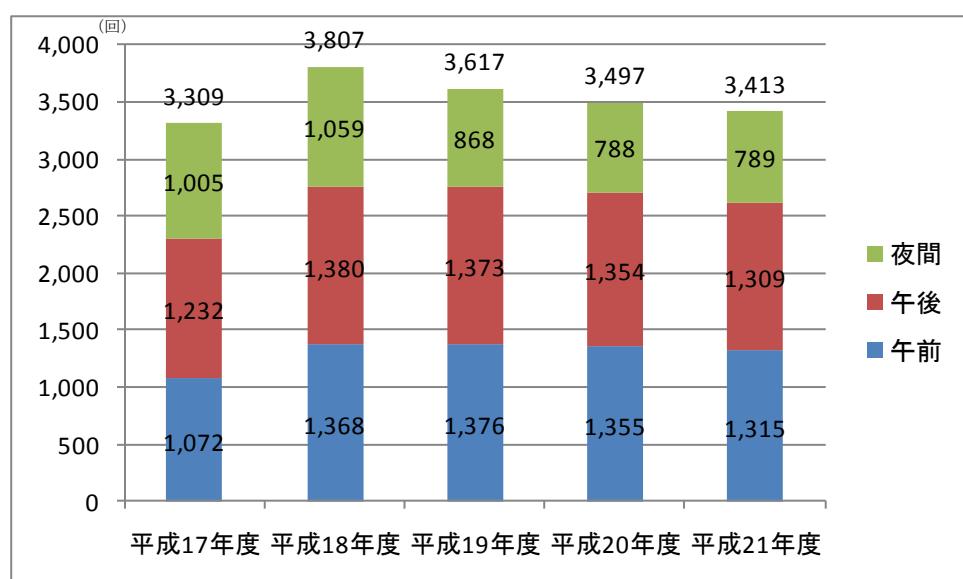
教育センター利用回数の推移



出所：教育委員会教育部指導室データ

- 時間別の利用回数の推移をみると、夜間の利用が平成18年度をピークに大きく減少しています。

教育センターの時間別利用回数の推移



出所：教育委員会教育部指導室データ

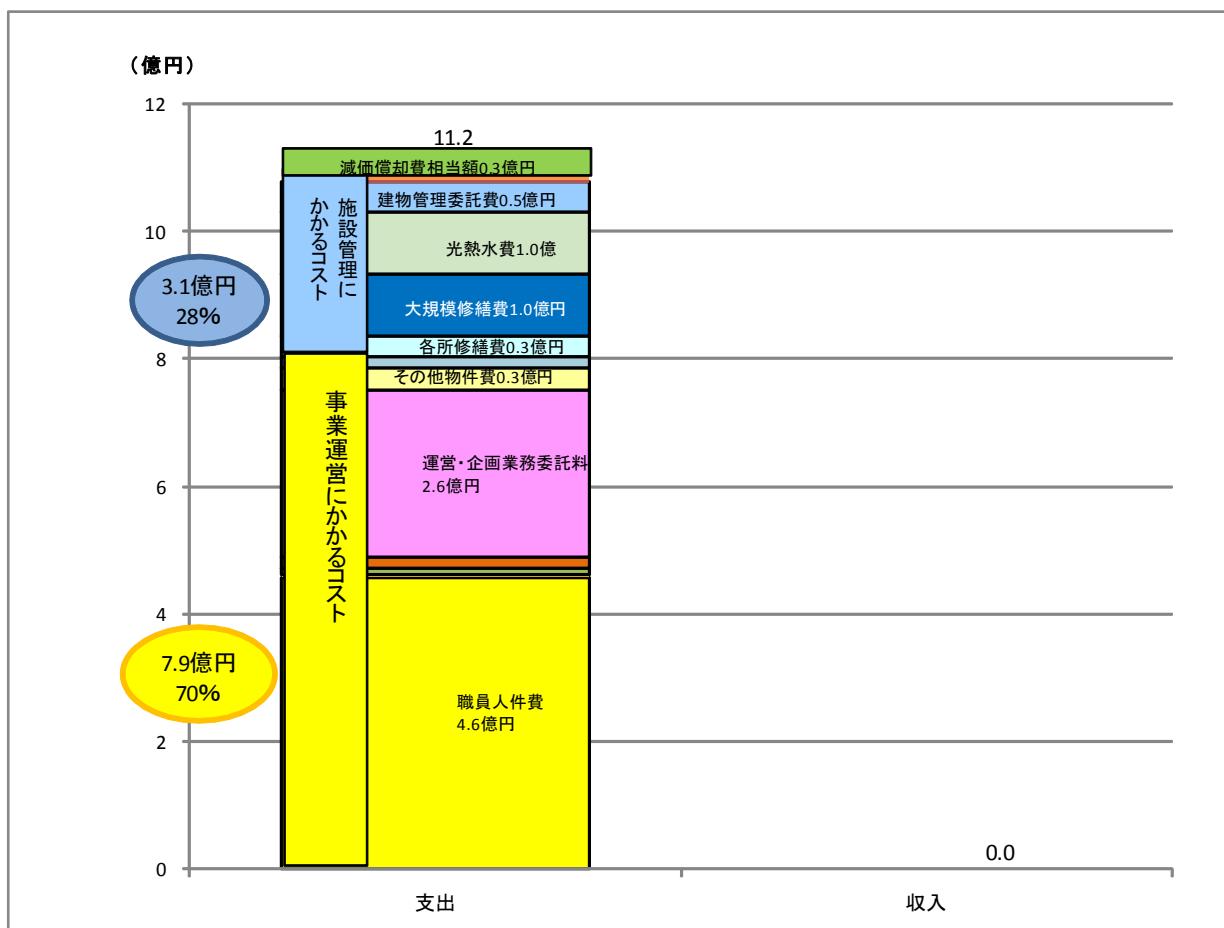
(5) コスト状況

① コスト及び収支状況

a) 給食センター

- ・ 給食センターの年間トータルコストは11億2,067万円です。
- ・ 年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（大規模修繕費、光熱水費等）は3億855万円（28%）、事業運営にかかるコスト（職員人件費、運営・企画業務委託料等）は7億8,648万円（70%）、減価償却費相当額は2,563万円（2%）です。
- ・ 給食センターの収入は、年間31万円です。

トータルコスト（給食センター、平成21年度）



行政コスト計算書（給食センター、平成 21 年度）

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】 (千円)

コストの部		給食センター
施設管理コストにかかるコスト	各所修繕費	31,369
	大規模修繕費	98,721
	光熱水費	95,384
	建物管理委託費	47,122
	使用料	4,627
	車両・備品購入費	14,008
	その他委託費	17,323
	管理にかかるコスト計	308,554
か事業運営にかかるコスト	職員人件費	457,707
	嘱託職員人件費	5,043
	再任用職員人件費	9,935
	臨時職員人件費	17,289
	運営・企画業務委託料	262,157
	負担金補助及び交付金	5
	その他物件費	34,344
	運営にかかるコスト 計	786,480
現金収支を伴うコスト 計		1,095,034

【収益の部】

その他の収入	314
収益 計	314

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

減価償却費相当額	25,634
----------	--------

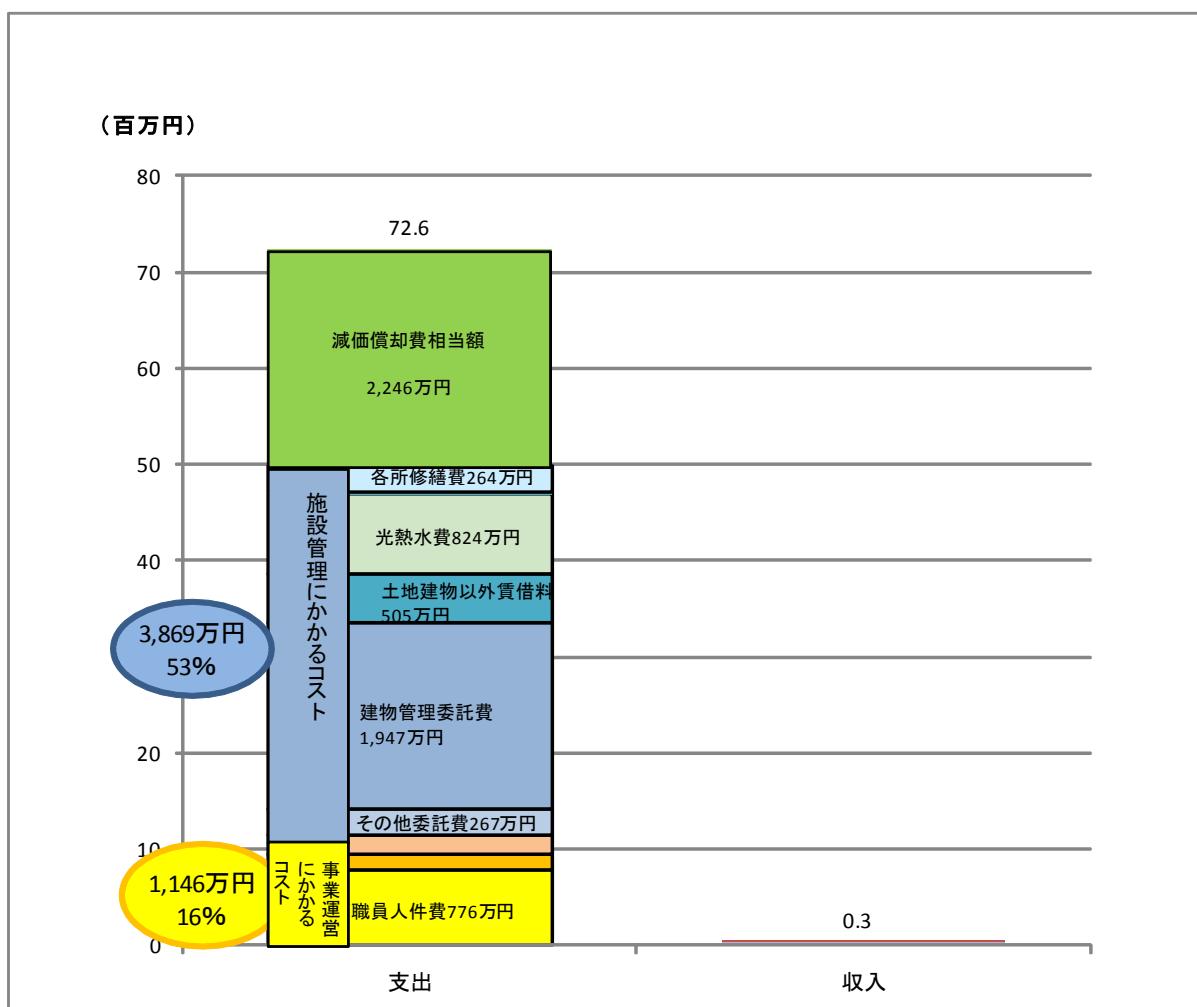
III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	1,120,668
收支差額	1,120,354

b) 教育センター

- 教育センターの年間トータルコストは7,262万円です。
- 年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（建物管理委託費、光熱水費等）は3,869万円（53%）、事業運営にかかるコスト（職員人件費、その他委託料等）は1,146万円（16%）、減価償却費相当額は2,246万円（31%）です。
- 教育センターの収入は、年間28万円です。

トータルコスト（教育センター、平成21年度）



行政コスト計算書（教育センター、平成 21 年度）

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】 (千円)

コストの部		教育センター
施設管理にかかるコスト	各所修繕費	2,643
	大規模修繕費	314
	光熱水費	8,235
	建物管理委託費	19,467
	土地建物以外賃借料	5,049
	車両・備品購入費	314
	その他委託費	2,668
	管理にかかるコスト計	38,690
かかる事業運営にかかるコスト	職員人件費	7,758
	臨時職員人件費	1,763
	その他物件費	1,941
	運営にかかるコスト 計	11,462
現金収支を伴うコスト 計		50,152

【収益の部】

使用料	183
その他の収入	103
収益 計	286

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

減価償却費相当額	22,463
----------	--------

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	72,615
收支差額	72,329

2-14 その他のスポーツ施設

(1) 概要

- 生活の中にスポーツを取り入れ、自発的・継続的に活動を行い、より健康的に暮らすことを目的とした「スポーツの生活化」を推進するため、野球場、陸上競技場、庭球場、サッカー場などのスポーツ施設を設置しています。

その他のスポーツ施設一覧

	施設名	住所	建築年度	
野 球 場	市民球場	寿町2丁目19番地	S57	1982
	郷土の森第一野球場(府中市民第一野球場)	是政6丁目2365番地	S43	1968
	郷土の森第二野球場(府中市民第二野球場)	是政6丁目27番地先	S42	1967
陸上競技場	市民陸上競技場	寿町2丁目20番地	S59	1984
庭 球 場	寿町庭球場	寿町2丁目7番地	S30	1955
	郷土の森庭球場(府中市民庭球場)	是政6丁目2365番地	S43	1968
	武蔵台庭球場	武蔵台2丁目2番地	S44	1969
	小柳庭球場	小柳町6丁目10番地	S51	1976
	押立庭球場	押立町1丁目27番地	S54	1979
	四谷庭球場	四谷1丁目63番地	S54	1979
	栄町庭球場	栄町1丁目1番地	S56	1981
	住吉庭球場	住吉町2丁目30番地	S60	1985
	若松庭球場	若松町3丁目28番地	S60	1985
	西府庭球場	西府町4丁目2番地	S61	1986
	日新庭球場	日新町5丁目26番地	S61	1986
	日新第二庭球場	日新町2丁目14番地	S62	1987
	紅葉丘庭球場	紅葉丘3丁目14番地	S61	1986
	紅葉丘第二庭球場	紅葉丘2丁目24番地	S62	1987
サッカー場	平和の森庭球場	浅間町1丁目8番地	H1	1989
	朝日サッカー場	朝日町3丁目7番地	H11	1999
	郷土の森サッカー場(府中市民サッカー場)	是政6丁目27番地先	S44	1969

(2) 施設状況

① 施設規模

a) 野球場

- 野球場ごとの利用種目は以下のようになっています。
- 平成 24 年度に市民球場の芝生整備等が計画されています。

野球場の利用種目

施設名	硬式	準硬式	軟式	ソフト
市民球場	●	●	●	
郷土の森第一野球場(府中市民第一野球場)			●	●
郷土の森第二野球場(府中市民第二野球場)			●	●

b) 陸上競技場

- 陸上競技場は、日本陸連 4 種公認全天候型トラック（1 周 300 メートル）と観覧席、夜間照明施設、会議室も備えています。ジョギング、ウォーキングの利用もできます。

c) 庭球場

- 庭球場は市内 15 か所に 36 面あります。各施設の構造、面数は下記の通りです。

庭球場の構造及び面数

施設名	構造				面数
	クレイ	砂入り人工芝	全天候	ナイター	
寿町庭球場		●			2面
郷土の森庭球場(府中市民庭球場)	●			●	4面
武藏台庭球場	●			●	3面
小柳庭球場		●		●	5面
押立庭球場		●			2面
四谷庭球場		●			2面
栄町庭球場		●		●	2面
住吉庭球場		●			2面
若松庭球場		●			2面
西府庭球場			●		2面
日新庭球場		●			2面
日新第二庭球場		●			2面
紅葉丘庭球場		●			2面
紅葉丘第二庭球場		●			2面
平和の森庭球場		●		●	2面

d) サッカー場

- 朝日サッカー場は、大人用サッカー場2面（少年用は4面）が利用可能な全面芝生張り、簡易スタンド付きのサッカー場です。平成23年11月から平成24年度にかけて地盤改良工事、フィールド面整備工事等が計画されています。
- 郷土の森サッカー場は、芝生張りと人工芝が各1面ずつのサッカー場です。

サッカー場の構造及び面数

施設名	構造	面数
朝日サッカー場	芝生張り	2面 (少年用は4面)
郷土の森サッカー場 (府中市民サッカー場)	芝生張り 人工芝	各1面

② 利用申込・利用料金

a) 野球場

- 野球場を利用する際には、団体（チーム）登録をした上で、公共施設予約システムより申し込みます。
- 野球場は、9:00から終了時間までを2時間ごとに区切った「コマ」の単位で貸し出しています。
- 施設使用料は下表の通りです。

野球場の施設使用料（1時間当たり）

施設名	市内		市外	
	施設使用料	夜間照明料	施設使用料	夜間照明料
市民球場	3,200円	4,000円	6,400円	12,000円
郷土の森第一野球場(府中市民第一野球場)	500円	2,400円	1,000円	7,200円
郷土の森第二野球場(府中市民第二野球場)	250円	—	500円	—

b) 陸上競技場

- 陸上競技場の利用形態には、貸切予約、団体予約、個人利用があります。
- 貸切利用の予約は、利用日の3か月前から1か月前までに市役所文化スポーツ部生涯学習スポーツ課施設係で行います。
- 20人以上で陸上競技場の開放日を利用する場合、割引料金で利用できます。受付期間は、利用日の1か月前から1週間前までで、予約の受付は市役所文化スポーツ部生涯学習スポーツ課施設係で行っています。
- 1か月前までに貸切予約がなかった日は個人利用の日となります。個人利用の場合は、当日、陸上競技場の券売所で利用料を支払うことになるので、予約は必要ありません。

陸上競技場の利用料金

区分	単位	料金
貸切予約	1時間当たり	1,200円
団体予約	1時間当たり	500円
個人利用	1回	50円

(注)市外利用者は倍額

c) 庭球場

- 庭球場を利用する際には、事前に登録した上で、個人またはクラブ名義で公共施設予約システムより申し込みます。
- 庭球場は、9:00から終了時間までを2時間ごとに区切った「コマ」の単位で貸し出しています。
- 施設使用料は各施設共通です。

庭球場の施設使用料（1時間当たり）

市内		市外	
施設使用料	夜間照明料	施設使用料	夜間照明料
400円	650円	800円	1,300円

d) サッカー場

- サッカー場を利用する際には、事前に団体登録をした上で、公共施設予約システムより申し込みます。
- サッカー場は、9:00から終了時間までを2時間ごとに区切った「コマ」の単位で貸し出しています。
- 朝日サッカー場の使用料金は、市内・市外共通です。
- 郷土の森サッカー場の使用料金は、芝生張り、人工芝共通です。

朝日サッカー場の使用料金（1時間当たり）

利用面	一般チーム	少年チーム (小・中学生)
全 面	2,000円	1,000円
2分の1面	1,000円	500円
4分の1面	利用不可	250円

郷土の森サッカー場の使用料金（1時間当たり）

市内	市外
800円	1,600円

(3) 建物状況

施設名	①耐震安全性			②老朽化状況				③バリアフリー対応					
	評価	評価内容		評価	評価内容			評価	評価内容			点字誘導ブロック	
		耐震診断	耐震補強		建築年度	平成22	大規模改修		車いす用エレベーター	身障者トイレ	までのスロープ	道路から入口	
市民球場	3	不要	—	2	昭和57	28	未	2	○	○	○	○	
市民陸上競技場	3	不要	—	2	昭和59	26	未	2	○	○	○		

施設名	④環境対応状況						⑤維持管理							⑥吹付けアスペクト	
	評価	評価内容					評価	評価内容						評価内容	
		延床面積(m ²)	環境指標	m ² 平均	延床面積(m ²)	維持管理費(千円)		m ² 平均(円)	評価内容	評価内容	評価内容	評価内容	評価内容		
市民球場	3	7,510	1,239,381	50	165,031	7	3	7,510	6,076	20,979	2,014	809	2,793	268	3 ○
市民陸上競技場	3	2,362	934,917	36	395,831	15	3	2,362	2,861	7,471	1,324	1,211	3,163	561	3 ○

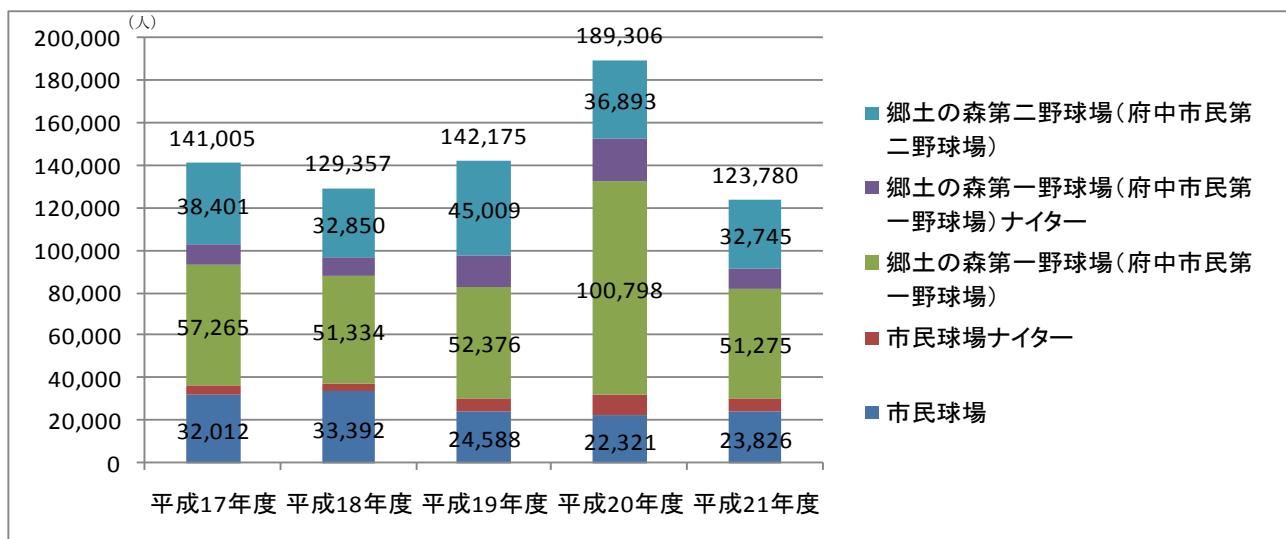
(4) 利用状況

① 利用の推移

a) 野球場

- 野球場は、平成 21 年度は、12 万 3,780 人が利用しました。
- 利用者数は、平成 20 年度に郷土の森第一野球場の利用者数の増加に伴い 18 万 9,306 人まで増えましたが、平成 21 年度には例年並みの利用者数に戻りました。

野球場の利用者数の推移

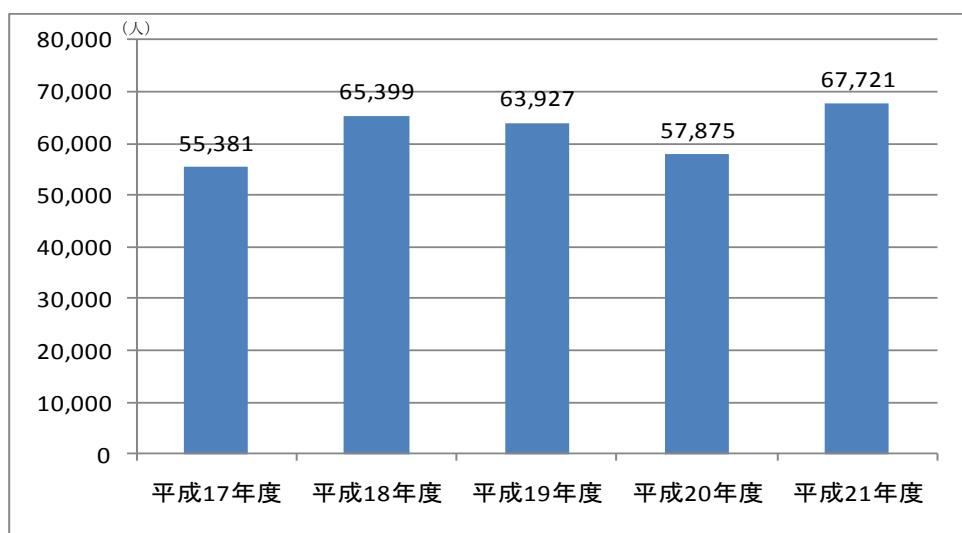


出所：文化スポーツ部生涯学習スポーツ課データ

b) 陸上競技場

- 陸上競技場は、平成 21 年度は、6 万 7,721 人が利用しました。
- 利用者数は、平成 18 年度をピークに減少傾向にありましたが、平成 21 年度は増加に転じました。

陸上競技場の利用者数の推移

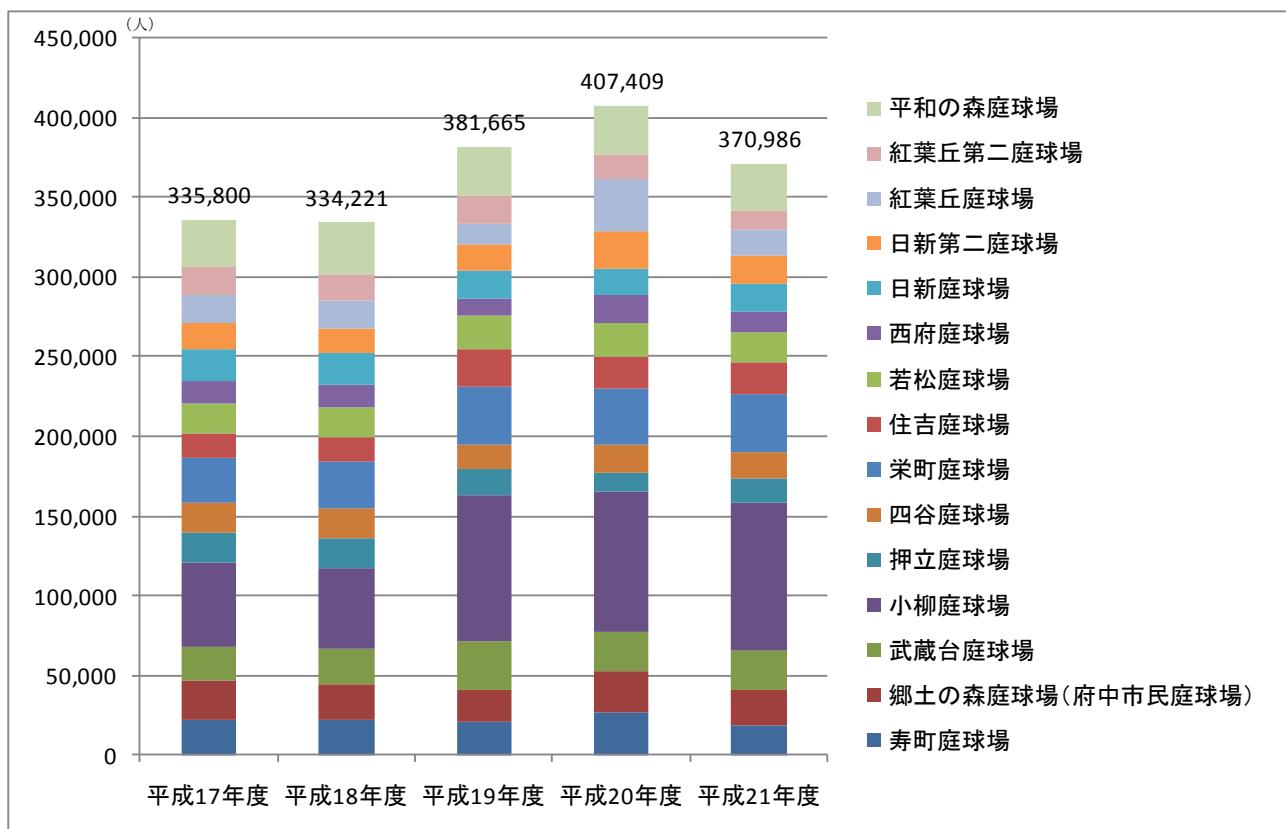


出所：文化スポーツ部生涯学習スポーツ課データ

c) 庭球場

- 庭球場は、平成 21 年度は、37 万 986 人が利用しました。
- 利用者数は、平成 20 年度に 40 万 7,409 人まで増加した後、平成 21 年度に減少に転じました。

庭球場の利用者数の推移

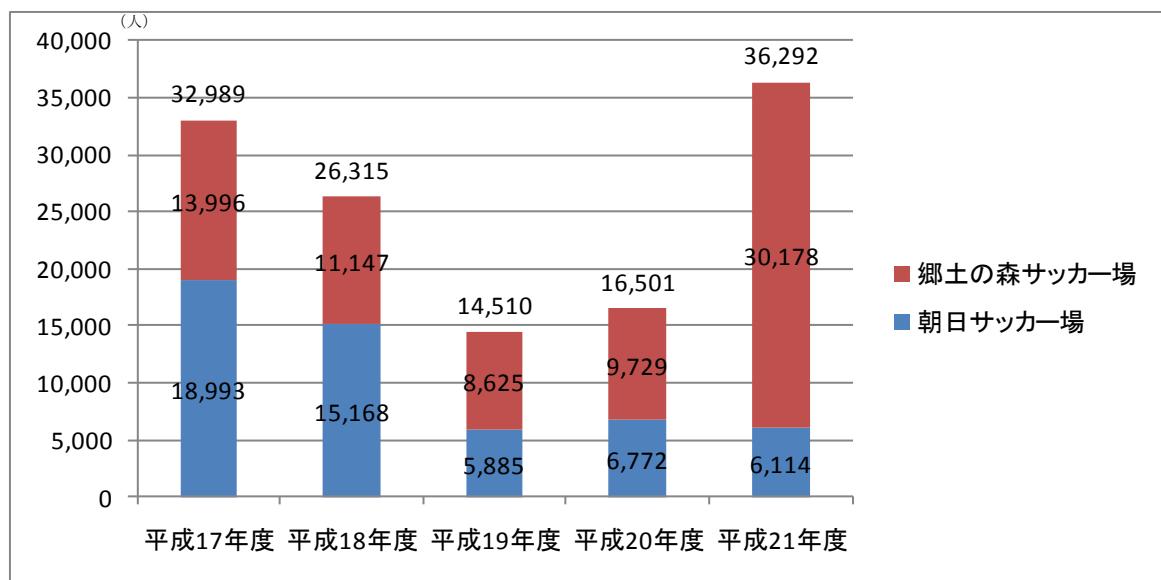


出所：文化スポーツ部生涯学習スポーツ課データ

d) サッカー場

- ・ サッカー場は、平成 21 年度は、36,292 人が利用しました。
- ・ 利用者数は、予約システムの導入により、計算方法が変更されたため、それ以前と単純に比較することはできませんが、ここ数年はほぼ横ばいで推移しています。

サッカー場の利用者数の推移



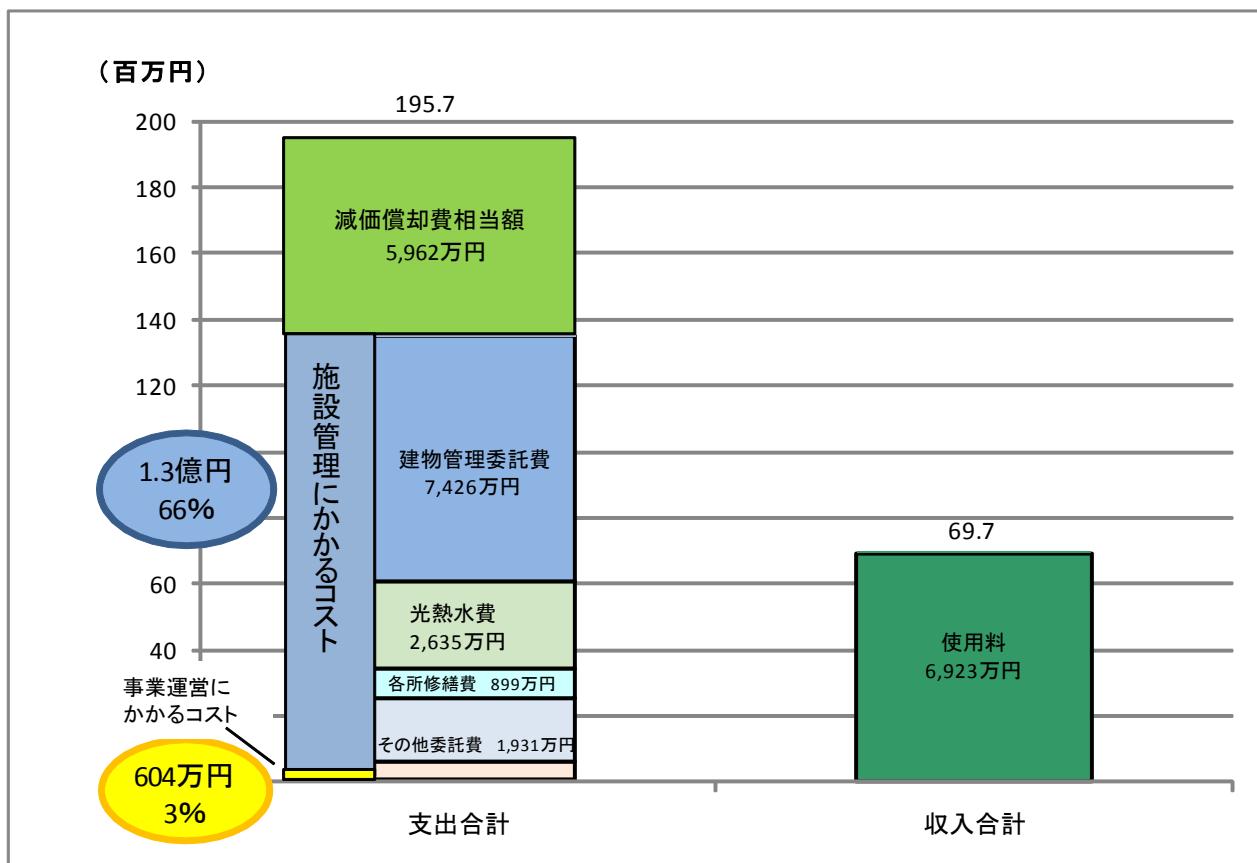
出所：文化スポーツ部生涯学習スポーツ課データ

(5) コスト状況

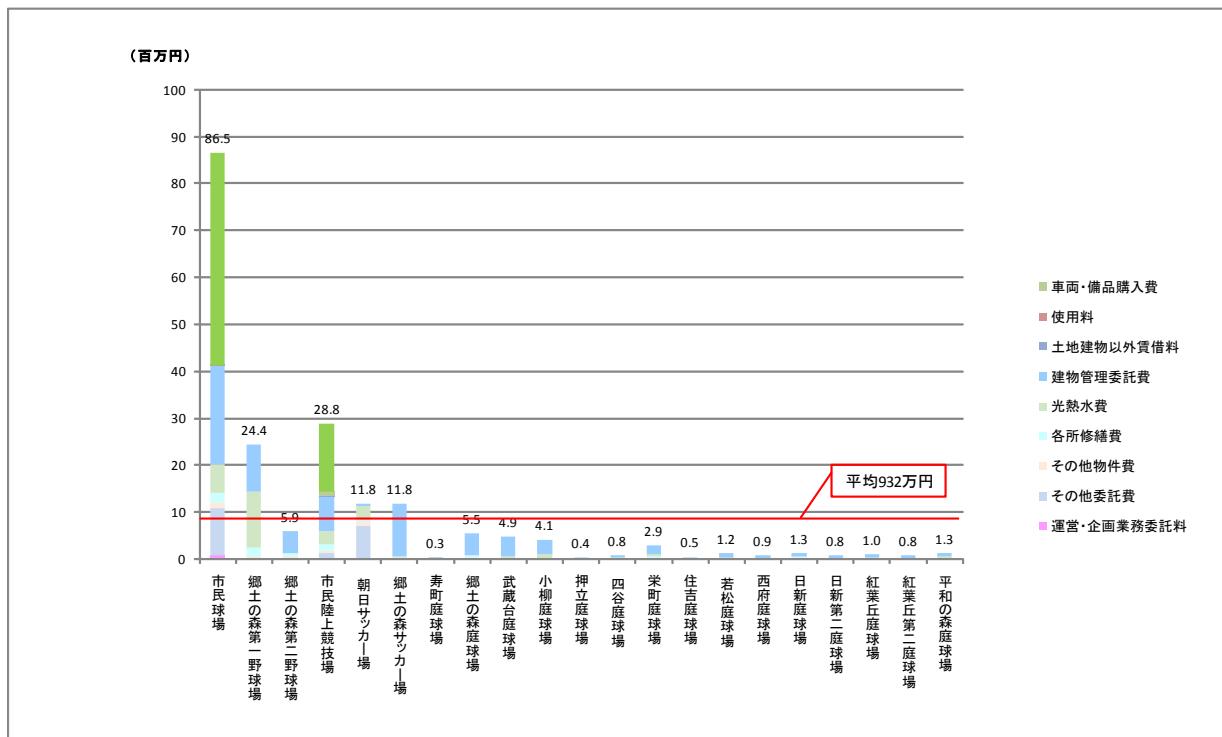
① コスト及び収支状況

- 21 施設の年間トータルコストは、1億9,568万円です。
- 年間トータルコストのうち、施設管理にかかるコスト（建物管理委託費、光熱水費等）は1億3,002万円（66%）、事業運営にかかるコスト（その他委託料、その他物件費等）は604万円（3%）、減価償却費相当額は5,962万円（31%）です。
- 21 施設の収入は、年間6,971万円、1施設当たり332万円です。
- 施設別のトータルコストでは、寿町庭球場が31万円と最も低く、市民球場が8,655万円と最も高くなっています。1施設当たりの平均は932万円です。

トータルコスト（その他のスポーツ施設、平成21年度）



施設別トータルコスト（その他のスポーツ施設、平成 21 年度）



施設別行政コスト計算書（その他のスポーツ施設、平成 21 年度）

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】

コストの部		市民球場	郷土の森第一野球場	郷土の森第二野球場	市民陸上競技場	朝日サッカーフィールド	郷土の森サッカーフィールド	寿町庭球場
施設管理にかかるコスト	各所修繕費	2,014	1,926	632	1,324	632	437	88
	光熱水費	6,076	11,867	156	2,861	2,861	67	15
	建物管理委託費	20,979	9,922	4,515	7,471	337	11,225	132
	土地建物以外賃借料	0	0	0	123	0	0	0
	使用料	15	0	0	0	0	0	0
	車両・備品購入費	0	0	0	967	0	0	0
	その他委託費	10,001	34	0	1,256	7,245	0	0
管理にかかるコスト計		39,085	23,749	5,303	14,002	11,075	11,728	234
かかる事業運営にかかるコスト	職員人件費	0	0	0	0	0	0	0
	嘱託職員人件費	0	0	0	0	0	0	0
	再任用職員人件費	0	0	0	0	0	0	0
	臨時職員人件費	0	0	0	0	0	0	0
	運営・企画業務委託料	839	0	0	0	0	0	0
	その他物件費	1,268	633	633	493	725	37	70
	運営にかかるコスト計	2,107	633	633	493	725	37	70
現金収支を伴うコスト計		41,192	24,382	5,936	14,495	11,800	11,765	305

【収益の部】

使用料	12,633	5,957	1,146	5,421	583	2,316	1,879
その他の収入	236	0	0	123	121	0	0
収益計	12,870	5,957	1,146	5,544	704	2,316	1,879

II. 現金収支を伴わないもの 【コストの部】

減価償却費相当額	45,358	0	0	14,266	0	0	0
III. 総括							
コストの部合計(トータルコスト)	86,550	24,382	5,936	28,761	11,800	11,765	305
収支差額	73,680	18,426	4,790	23,217	11,096	9,449	-1,574

I. 現金収支を伴うもの
【コストの部】

(千円)

コストの部		郷土の森庭球場	武藏台庭球場	小柳庭球場	押立庭球場	四谷庭球場	栄町庭球場	住吉庭球場
施設管理にかかるコスト	各所修繕費	518	137	0	0	92	345	0
	光熱水費	0	336	909	0	128	483	0
	建物管理委託費	4,515	4,323	3,114	298	547	1,899	423
	土地建物以外賃借料	0	0	0	0	0	0	0
	使用料	0	0	0	0	0	0	0
	車両・備品購入費	0	0	0	0	0	0	0
	その他委託費	0	0	0	0	0	97	0
	管理にかかるコスト計	5,033	4,796	4,022	298	766	2,824	423
かかることにかかるコスト	職員人件費	0	0	0	0	0	0	0
	嘱託職員人件費	0	0	0	0	0	0	0
	再任用職員人件費	0	0	0	0	0	0	0
	臨時職員人件費	0	0	0	0	0	0	0
	運営・企画業務委託料	0	0	0	0	0	0	0
	その他物件費	421	70	70	70	70	70	70
	運営にかかるコスト計	421	70	70	70	70	70	70
現金収支を伴うコスト計		5,454	4,867	4,093	368	837	2,894	494

【収益の部】

使用料	4,301	3,011	8,448	1,848	1,730	4,114	1,642
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0
収益計	4,301	3,011	8,448	1,848	1,730	4,114	1,642

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

減価償却費相当額	0	0	0	0	0	0	0
コストの部合計(トータルコスト)	5,454	4,867	4,093	368	837	2,894	494
収支差額	1,153	1,856	-4,355	-1,480	-893	-1,220	-1,148

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】

コストの部		若松庭球場	西府庭球場	日新庭球場	日新第二庭球場	紅葉丘庭球場	紅葉丘第二庭球場	平和の森庭球場	合計
施設管理にかかるコスト	各所修繕費	223	0	447	0	126	56	0	8,994
	光熱水費	18	19	18	18	14	18	485	26,348
	建物管理委託費	838	673	647	604	660	510	624	74,255
	土地建物以外賃借料	0	0	0	0	0	0	0	123
	使用料	0	0	0	0	0	0	0	15
	車両・備品購入費	0	0	0	0	0	0	0	967
	その他委託費	97	97	97	97	97	97	97	19,312
	管理にかかるコスト計	1,176	789	1,208	719	897	681	1,206	130,016
かかることにかかるコスト	職員人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
	嘱託職員人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
	再任用職員人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
	臨時職員人件費	0	0	0	0	0	0	0	0
	運営・企画業務委託料	0	0	0	0	0	0	0	839
	その他物件費	70	70	70	70	70	70	70	5,197
	運営にかかるコスト計	70	70	70	70	70	70	70	6,035
現金収支を伴うコスト計		1,246	859	1,279	790	968	752	1,277	136,051

【収益の部】

使用料	1,831	1,588	1,714	1,740	1,864	1,333	4,128	69,226
その他の収入	0	0	0	0	0	0	0	481
収益計	1,831	1,588	1,714	1,740	1,864	1,333	4,128	69,707

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

減価償却費相当額	0	0	0	0	0	0	0	59,624
コストの部合計(トータルコスト)	1,246	859	1,279	790	968	752	1,277	195,675
収支差額	-585	-729	-435	-950	-897	-581	-2,851	125,968

2-15 保健センター

(1) 概要

① 保健センター

- ・ 保健センターは、昭和 52 年 10 月に、市民の総合健康管理を図るための施設として開設されました。当時の名称は医療センターでしたが、平成 17 年 7 月に東京都から現在の保健センター分館を購入し、保健衛生の充実を図るとともに、名称を保健センターとしました。
- ・ 保健センターでは、府中市医師会・歯科医師会の協力を得て休日夜間診療を実施するほか、20 歳以上を対象として、総合健康診査（人間ドック）や健康増進事業（トレーニング）を行っています。
- ・ 母子保健室においては、乳幼児・1 歳 6 か月児・3 歳児の健康診査や、ポリオの予防接種を行っています。また、はじめてのパパママ学級など母子保健事業の充実を図っています。

② 保健センター分館

- ・ 保健センター分館は、成人保健事業・母子保健事業の事務室があり、保健衛生事業の拠点となっています。
- ・ 保健相談や各種がん検診・骨粗しょう症の検診を行っています。

施設一覧

	住所	建築年度		延床面積 (m ²)
保健センター	府中町2丁目25番地	S52	1977	3,640
保健センター分館	府中町1丁目30番地	S50	1975	1,978

(2) 施設状況

① 施設規模（延床面積）

- ・ 保健センターの延床面積は3,640 m²、保健センターフィラーマンの延床面積は1,978 m²です。
- ・ いずれも築30年を経過しています。

② 運営日数、運営時間

- ・ 保健センター及び分館の運営時間等は下表の通りです。

保健センター及び分館の運営時間等

運営時間	平日8:30～17:00
健康度測定	火曜日・水曜日の指定日(月4回程度)13:00～16:00
運動指導	祝日、年末年始を除く毎日 9:00～11:30 13:00～15:30(健康度測定日を除く) 16:00～18:30(健康度測定日を除く) 19:00～21:30(火曜日・金曜日)
夜間診療(内科、小児科)	毎日19:30～22:00
休日診療(内科、小児科)	日曜日、祝日、年末年始 9:00～11:30、13:00～16:00
休日診療(歯科)	日曜日、祝日、年末年始 9:30～12:00、13:00～16:30

③ 利用料金

- ・ 保健センターの利用料金は下表のように設定しています。

保健センターの利用料金

		市民	市内在勤者	市外者
総合健康診査	Aコース	16,000円	24,000円	48,000円
	Bコース	11,000円	17,000円	35,000円
健康増進事業	健康度測定	2,000円	3,000円	9,000円
	トレーニング	300円	400円	900円

(3) 建物状況

施設名	①耐震安全性			②老朽化状況				③バリアフリー対応					
	評価	評価内容		評価	評価内容			評価	評価内容			点字誘導ブロック	
		耐震診断	耐震補強		建築年度	経過年	大規模改修		エレベーター	車いす用	身障者トイレ	道路から入口までのスロープ	
保健センター	1	未		2	昭和52	33	平成2	20	3	○	○	○	○
保健センターフィラーミー	3	○	不要	3	昭和50	35	平成8	14	3	○	○	○	○

施設名	④環境対応状況						⑤維持管理						⑥吹付けアスペスト			
	評価	評価内容				評価	評価内容				評価	評価内容	評価内容			
		延床面積(m ²)	環境指標	m ² 平均	評価	延床面積(m ²)	維持管理費(千円)	m ² 平均(円)	評価内容	評価内容	評価内容	評価内容				
保健センター	3	3,640	3,632,674	161	997,987	44	3	3,640	10,073	18,322	7,592	2,767	5,034	2,086	3	○
保健センターフィラーミー	3	1,978	1,726,912	76	873,060	38	3	1,978	5,474	9,956	4,126	2,767	5,034	2,086	3	○

■評価結果「1」の施設

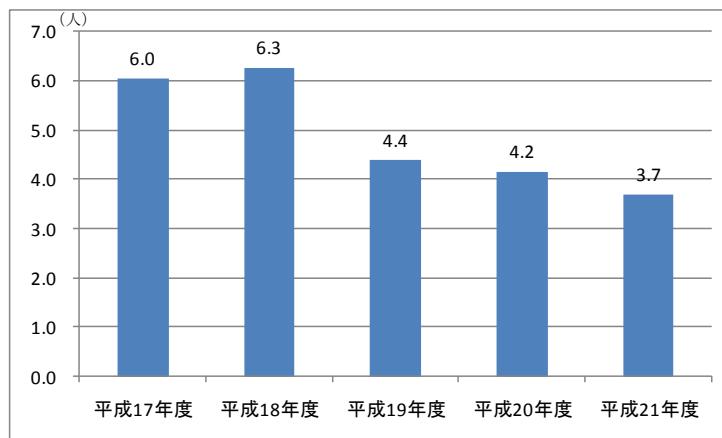
	1 耐震安全性
該当施設	・ 保健センター
今後の対応等	・ 早急に耐震安全性の確保が必要

(4) 利用状況

① 利用の推移

- ・ 保健センターでは、20歳以上の方を対象に、生活習慣病の予防と健康増進のため、健康度測定や運動実践指導等の健康増進事業を行っています。
- ・ 保健センターにおける健康度測定は、平成21年度は44日実施し、163人受診しました（1日平均3.7人）。
- ・ 1日平均受診者数は、平成18年度をピークに減少傾向にあります。

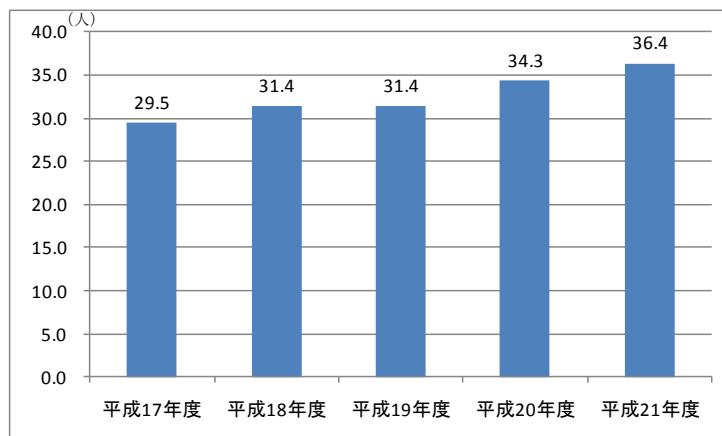
健康度測定の受診者数の推移（1日平均）



出所：府中市事務報告書（平成17年度から平成21年度）

- ・ 健康度測定後、医師による総合判定を行い、判定の結果、要治療と判定された場合は、トレーニング室を使用した運動実践等を行います。また、必要に応じて運動実践指導も行います。
- ・ 保健センターでの運動指導は、平成21年度は329日実施し、11,968人受診しました（1日平均36.4人）。
- ・ 1日平均受診者数は、増加傾向にあります。

トレーニング室を利用した受診者数の推移（1日平均）



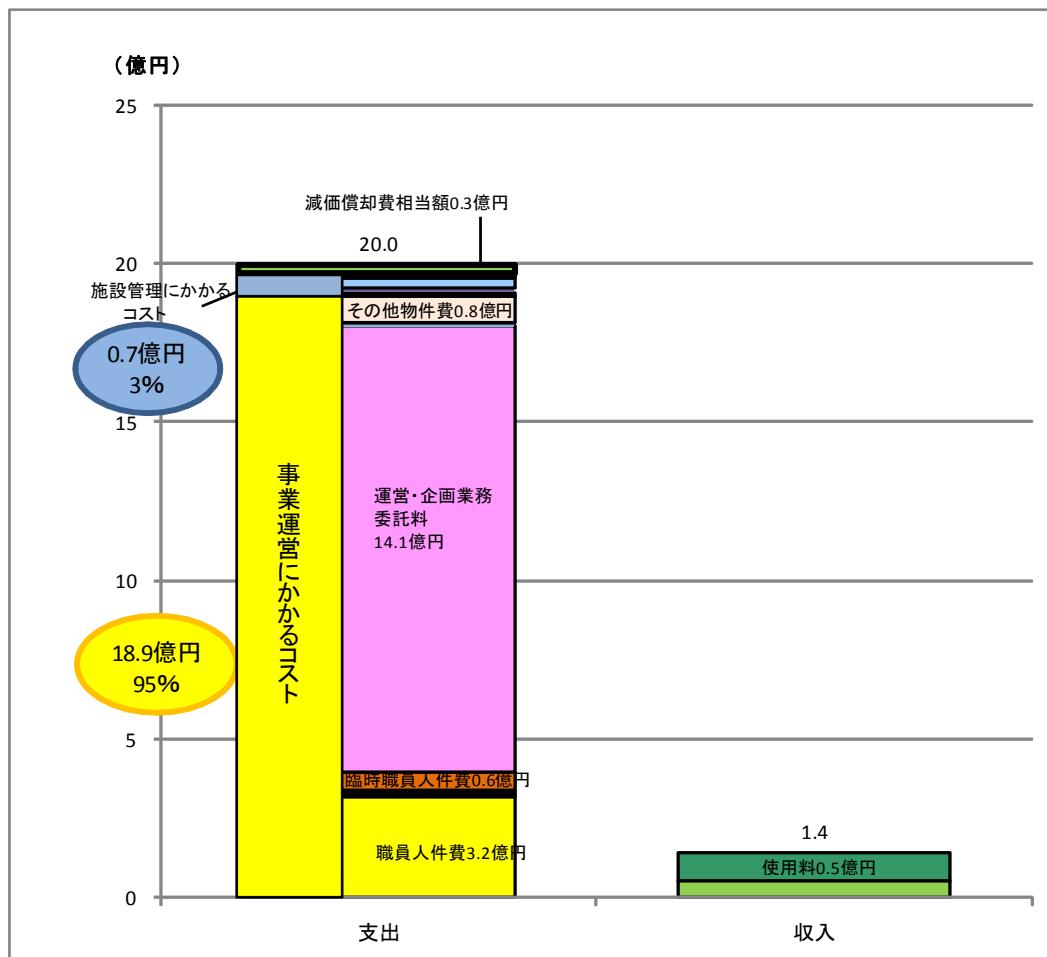
出所：府中市事務報告書（平成17年度から平成21年度）

(5) コスト状況

① コスト及び収支状況

- ・ 保健センター（分館含む）の年間トータルコストは、19億9,570万円です。
- ・ 年間トータルコストのうち、施設管理にかかるコスト（建物管理委託費、光熱水費等）は6,715万円（3%）、事業運営にかかるコスト（運営・企画業務委託料、職員人件費等）は18億9,461万円（95%）、減価償却費相当額は3,394万円（2%）です。
- ・ 保健センター（分館含む）の収入は1億4,240万円で、支出の7%の水準となっています。

トータルコスト（保健センター（分館含む）、平成21年度）



行政コスト計算書（保健センター（分館含む）、平成 21 年度）

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】 (千円)

コストの部	保健センター (分館含む)
施設管理にかかるコスト	各所修繕費 11,718
	光熱水費 15,546
	建物管理委託費 28,278
	土地建物以外賃借料 5,250
	公有財産購入費 4,560
	その他委託費 1,798
	管理にかかるコスト計 67,151
かかる事業運営コスト	職員人件費 318,068
	嘱託職員人件費 11,246
	再任用職員人件費 8,479
	臨時職員人件費 58,504
	運営・企画業務委託料 1,406,466
	負担金補助及び交付金 8,218
	その他物件費 83,631
運営にかかるコスト 計 1,894,611	
現金収支を伴うコスト 計 1,961,763	

【収益の部】

使用料	50,850
その他の収入	91,553
収益 計	142,403

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

減価償却費相当額	33,935
----------	--------

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	1,995,697
収支差額	1,853,294

2-16 子ども家庭支援センター「たっち」

(1) 概要

- ・ 子ども家庭支援センター「たっち」は、子育てに関する情報の提供や子育ての相談に応じることにより、子育て家庭の育児不安を解消すること、子育てをする保護者の精神的不安を緩和させることで児童虐待を防止すること、子育て家庭や子どもたちと交流する活動、地域の身近なコミュニケーションの場を通じた児童の健全な発達を支援するとともに母子の孤立を防ぐこと等を目的に設置されています。
- ・ 子ども家庭支援センター「たっち」は、18歳までの子どものいる家庭や子ども自身からなど、子育てのあらゆる相談への対応や子育てに関するサービス、情報提供を行っています。
- ・ 0歳から就学前の親子を対象にした屋内ひろばとして「交流ひろば」が開設されており、「交流ひろば」では遊具を利用した親子の触れ合いの場の提供や、親子が楽しく参加できる催しや講座を開催しています。
- ・ 子育てで悩んだときにいつでも気軽に相談できる施設として、相談員を配置するほか、子育てに関する書籍や雑誌などを用意して子育ての情報提供を行っています。
- ・ また、1歳から就学前の子どもを育児する親のリフレッシュのために、子どもの一時預かりも実施しています。
- ・ さらに、仕事や家庭の都合で育児の手助けをして欲しい人（依頼会員）と心身ともに健康で子育てに意欲と理解があり育児の手助けをしたい人（提供会員）が、お互いに助け合い育児のサポートを行う会員の相互援助活動としてファミリーサポートセンターを運営しています。

施設一覧

	住所	建築年度	延床面積 (m ²)
子ども家庭支援センター「たっち」	宮町1丁目50番地「くるる」3階	H16	2004 1,368

(2) 施設状況

① 施設規模（延床面積）

- 子ども家庭支援センター「たっち」は延床面積 1,368 m²です。

② 運営日数、運営時間

- 子ども家庭支援センター「たっち」の運営日及び運営時間は下表のとおりです。

子ども家庭支援センター「たっち」の運営時間

事業	利用日	利用時間
子育て・家庭の総合相談		10:00～20:00
交流ひろば	年末年始及び「くるる」休館日以外	10:00～17:00
リフレッシュ保育		10:00～17:00

③ 利用料金

- 子ども家庭支援センター「たっち」の交流ひろば及びリフレッシュ保育の利用に当たっては利用登録が必要です。
- ファミリーサポートセンターの会員登録には、事前に説明会または講習会への参加が必要とされています。
- リフレッシュ保育の定員は1時間当たり8人で、利用料金は下記のように設定されています。

リフレッシュ保育の利用料金（1時間当たり）

	市民	市外の方で親族（親・兄弟）が市民の方
1人目	800円	1,000円
2人目	400円	500円
3人目以降	200円	300円
利用予約受付 開始日	利用を希望する日の 2か月前の1日から	利用を希望する日の 1か月前の1日から

(3) 建物状況

施設名	①耐震安全性			②老朽化状況				③バリアフリー対応							
	評価	評価内容		評価	評価内容			評価	評価内容						
		耐震診断	耐震補強		建築年度	平成22	大規模改修		エレベーター	車いす用	身障者トイレ	までのスロープ	道路から入口	自動ドア	手すり
子ども家庭支援センター「たつち」	3	不要	—	3	平成16	6	未	3	○	○	○	○	○	○	○

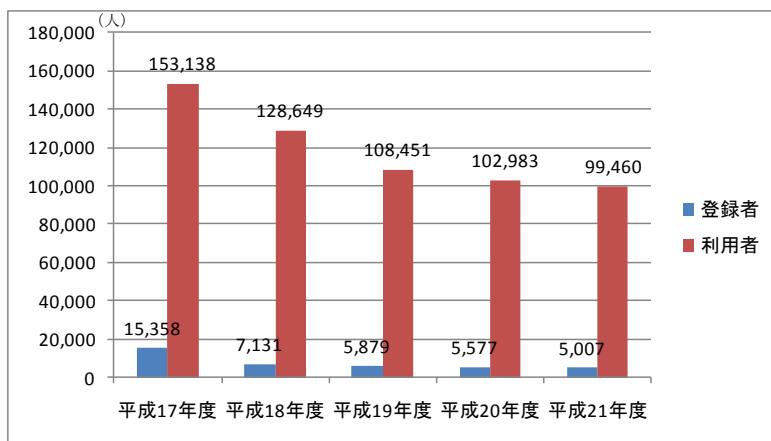
施設名	④環境対応状況					⑤維持管理							⑥吹付け アスペスト			
	評価	評価内容				評価	評価内容						評価内容	評価内容		
		環境指標	m ² 平均	延床面積(m ²)	光熱水費		建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費					
子ども家庭支援センター「たつち」	3	1,368	2,823,585	109	2,063,421	80	3	1,368	5,502	9,629	1,070	4,021	7,037	782	3	○

(4) 利用状況

① 利用の推移

- 子ども家庭支援センター「たっち」の交流ひろばは、平成 21 年度は 5,007 人が登録し、99,460 人が利用しました。
- 登録者数及び利用人数は、年々減少しています。

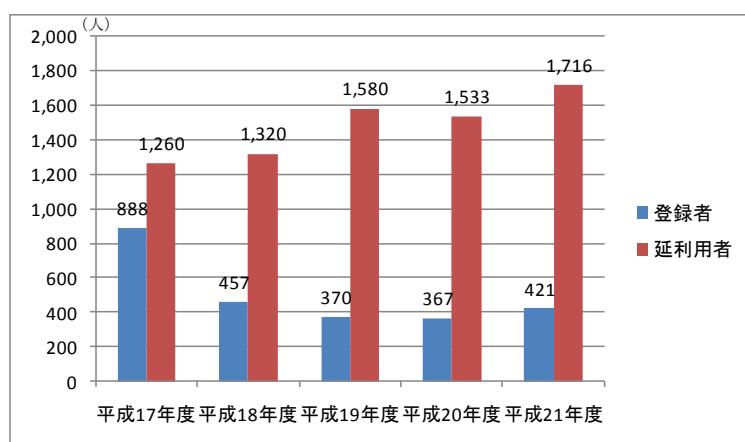
交流ひろばの登録者、利用者数の推移



出所：府中市事務報告書（平成 17 年度から平成 21 年度）

- 子ども家庭支援センター「たっち」のリフレッシュ保育は、平成 21 年度は 421 人が登録し、1,716 人が利用しました。
- 登録者及び延利用者数の推移をみると、登録者数は減少が続いていましたが、平成 21 年度に増加に転じました。延利用者数は増加基調にあります。

リフレッシュ保育の登録者、延利用者数の推移



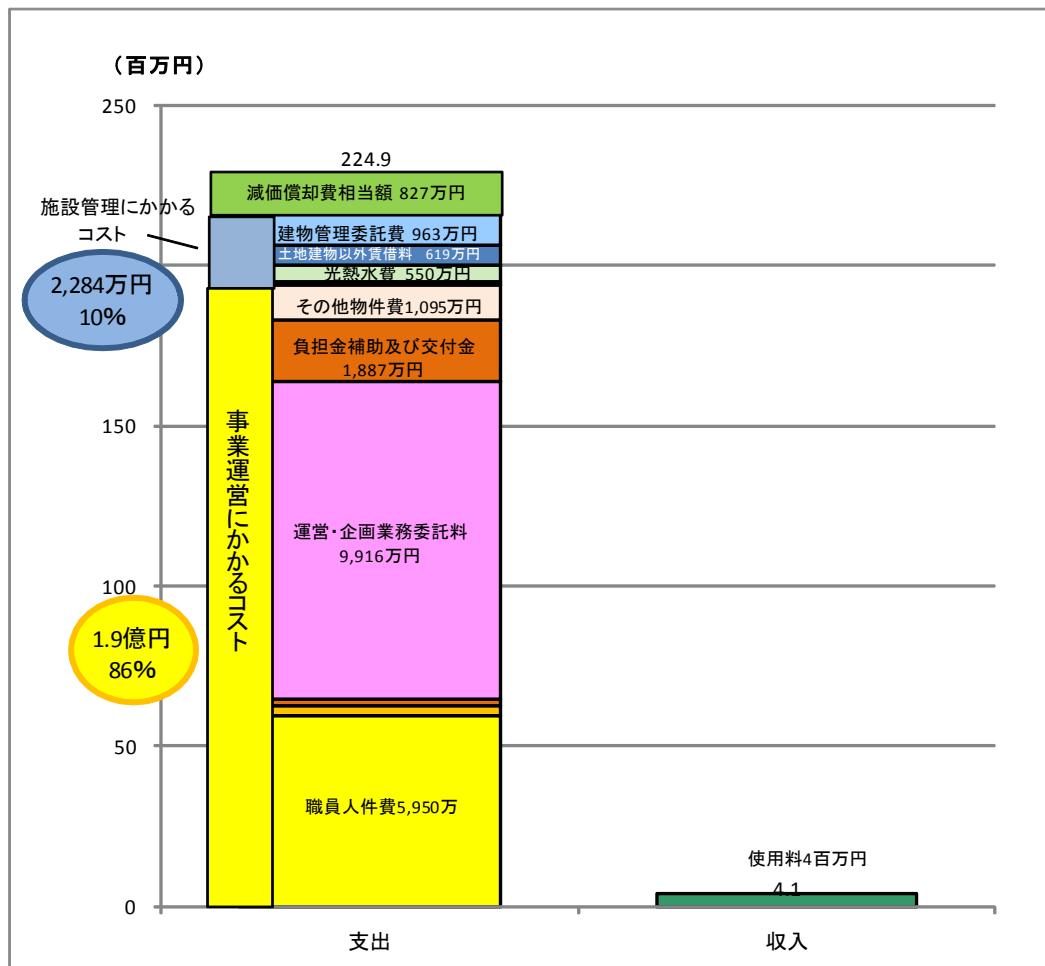
出所：府中市事務報告書（平成 17 年度から平成 21 年度）

(5) コスト状況

① コスト及び収支状況

- 子ども家庭支援センター「たっち」の年間トータルコストは2億2,487万円です。
- 年間トータルコストのうち、施設管理にかかるコスト（建物委託管理費、土地建物以外賃借料等）は2,284万円（10%）、事業運営にかかるコスト（運営・企画業務委託費、職員人件費等）は1億9,376万円（86%）、減価償却費相当額は827万円（4%）です。
- 子ども家庭支援センター「たっち」の収入は410万円です。

トータルコスト（子ども家庭支援センター「たっち」、平成21年度）



行政コスト計算書（子ども家庭支援センター「たっち」、平成 21 年度）

I. 現金収支を伴うもの
【コストの部】 (千円)

コストの部		子ども家庭支援センター「たっち」
施設管理にかかるコストにかかるコスト	各所修繕費	1,070
	光熱水費	5,502
	建物管理委託費	9,629
	建物賃借料	17
	土地建物以外賃借料	6,185
	公有財産購入費	384
	その他委託費	52
	管理にかかるコスト計	22,839
	職員人件費	59,502
	嘱託職員人件費	3,303
事業運営にかかるコストにかかるコスト	臨時職員人件費	1,988
	運営・企画業務委託料	99,159
	負担金補助及び交付金	18,866
	その他物件費	10,947
	運営にかかるコスト 計	193,764
	現金収支を伴うコスト 計	216,603

【収益の部】

使用料	4,102
収益 計	4,102

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

減価償却費相当額	8,265
----------	-------

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	224,869
収支差額	220,767

2-17 市営住宅

(1) 概要

- 市民の居住環境の向上と生活の安定を図るため、市営住宅を管理・運営しています。
- 市営住宅は、一定の基準を満たす家族向けに府中市が整備・供給する住宅です。市営住宅は、一般募集と、障害者世帯割当募集に分けて、空き家が生じた際に年に1度、入居者を募集しており、応募者が空き家の戸数を上回った場合は、抽選により入居者を選定しています。

市営住宅一覧

住宅名	所在地	建築年度		戸数 (戸)	延床面積 (m ²)
市営第一武蔵台住宅	武蔵台1丁目5番地	H9	1997	40	3,861
市営第二矢崎町住宅	矢崎町2丁目16番地	H2~4	1990~92	54	4,449
市営第二の二本町住宅	本町3丁目18番地	S41	1966	21	766
市営第三本町住宅	本町4丁目7番地	H5	1993	41	3,644
市営第四栄町住宅	栄町3丁目13番地	H6	1994	43	4,080
市営第五是政住宅	是政5丁目15番地	H7	1995	33	2,641
市営第六若松町住宅	若松町4丁目35番地	H17	2005	22	1,638
市営第七西府町住宅	西府町3丁目10番地	S36	1961	20	730
市営第八新町住宅	新町2丁目44番地	H10	1998	32	2,353
市営第九新町住宅	新町2丁目44番地	H11	1999	21	1,489
市営第十南町住宅	南町3丁目30番地	H8	1996	27	2,355
市営第十一美好町住宅	美好町2丁目51番地	H20	2008	40	2,819
市営第十二北山町住宅	北山町3丁目17番地	—	—	改築中	改築中
市営第十三四谷住宅	四谷3丁目43番地	H14	2002	43	3,157
市営第十四分梅町住宅	分梅町5丁目23番地	S44	1969	24	1,112
市営第十五四谷住宅	四谷3丁目43番地	S45	1970	20	934
市営第十六小柳町住宅	小柳町4丁目17番地	S46	1971	24	1,099
市営第十七小柳町住宅	小柳町4丁目17番地	S47	1972	24	1,099
市営第十八小柳町住宅	小柳町4丁目17番地	S48	1973	24	1,204
市営第十九分梅町住宅	分梅町5丁目27番地	S49	1974	24	1,216
市営第二十是政住宅	是政3丁目15番地	H元	1989	14	1,020

(2) 施設状況

① 施設規模（延床面積）

- 市営住宅は、改築中の市営第十二北山町住宅を除き、20棟 591戸で延床面積は計 41,668 m²、うち築 30 年以上が 9 棟 195 戸で延床面積は計 9,180 m²あります。
- 改築中の市営第十二北山町住宅は、平成 23 年度に 26 戸供給される予定です。
- また、市営第七西府町住宅の改築が平成 23 年度より予定されています。

② 申込資格

- 市営住宅の申込資格は下記の通りです。
 - 市内に住んでいること（障害者世帯割当は、申込者及び障害者が市内に引き続き 3 年以上居住していること）
 - 同居する親族がいること
 - 世帯の所得が所得基準内であること
 - 現に住宅に困っていること
 - 申込時から入居までの間に市税等の滞納がないこと
 - 申込者（同居親族を含む）が暴力団員でないこと

所得基準額

家族数	一般区分	特別区分
2人	0円～2,276,000円	0円～2,948,000円
3人	0円～2,656,000円	0円～3,328,000円
4人	0円～3,036,000円	0円～3,708,000円
5人	0円～3,416,000円	0円～4,088,000円
6人	0円～3,796,000円	0円～4,468,000円
7人	0円～4,176,000円	0円～4,848,000円

(注)特別区分は以下の世帯に適用される

- ①心身障害者を含む世帯
- ②60歳以上の世帯（経過措置あり）
- ③原子爆弾被爆者を含む世帯
- ④海外からの引揚者を含む世帯
- ⑤ハンセン病療養所入所者等を含む世帯
- ⑥小学校就学前の子どもがいる世帯

- なお、市営第十二北山町住宅では、家族、障害者世帯のほか、60歳以上または障害者などの単身者の入居も募集しています。

(3) 建物状況

施設名	①耐震安全性			②老朽化状況				③バリアフリー対応									
	評価	評価内容		評価	評価内容			評価	評価内容								
		耐震診断	耐震補強		建築年度	平成22	経過年		大規模改修	平成22	大改後の経過年	エレベータ	車いす用	身障者トイレ	道路から入口までのスロープ	自動ドア	手すり
第一武藏台住宅	3	不要	—	3	平成9	13	未			3	○	—	○	—	○	—	—
第二矢崎町住宅	3	不要	—	2	平成2	20	未			2		—	○	—	○	—	—
第二の二本町住宅	1	未		1	昭和41	44	未			1	—	—	—	—	—	—	—
第三本町住宅	3	不要	—	3	平成5	17	未			3	○	—	○	—	○	—	—
第四栄町住宅	3	不要	—	3	平成6	16	未			3	○	—	○	—	○	—	—
第五是政住宅	3	不要	—	3	平成7	15	未			2		—	○	—	○	—	—
第六若松町住宅	3	不要	—	3	平成17	5	未			3	○	—	○	—	○	—	—
第七西府町住宅	1	未		1	昭和36	49	未			1	—	—	—	—	—	—	—
第八新町住宅	3	不要	—	3	平成10	12	未			3	○	—	○	—	○	—	—
第九新町住宅	3	不要	—	3	平成11	11	未			3	○	—	○	—	○	—	—
第十南町住宅	3	不要	—	3	平成8	14	未			3	—	—	○	—	—	—	—
第十一美好町住宅	3	不要	—	3	平成20	2	未			3	○	—	○	—	○	—	—
第十二北山町住宅(改築中)																	
第十三四谷住宅	3	不要	—	3	平成14	8	未			3	○	—	○	—	○	—	—
第十四分梅町住宅	3	○	不要	1	昭和44	41	未			2		—	○	—	○	—	—
第十五四谷住宅	3	○	不要	1	昭和45	40	未			2		—	○	—	○	—	—
第十六小柳町住宅	3	○	不要	1	昭和46	39	未			2		—	○	—	○	—	—
第十七小柳町住宅	3	○	不要	1	昭和47	38	未			2		—	○	—	○	—	—
第十八小柳町住宅	3	○	不要	1	昭和48	37	未			2		—	○	—	○	—	—
第十九分梅町住宅	3	○	不要	1	昭和49	36	未			2		—	○	—	○	—	—
第二十是政住宅	3	不要	—	2	平成1	21	未			2		—	○	—	○	—	—

施設名	④維持管理							⑤吹付け アスベスト	
	評価	評価内容						評価 内容	評価内容
		延床面積 (m ²)	光熱水費	建物委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費		
第一武蔵台住宅	3	3,861	0	756	1,609	0	196	417	3 ○
第二矢崎町住宅	3	4,449	0	864	49,704	0	194	11,171	3 ○
第二の二本町住宅	3	766	0	0	176	0	0	230	3 ○
第三本町住宅	1	3,644	0	1,375	155	0	377	43	3 ○
第四栄町住宅	3	4,080	0	1,375	1,217	0	337	298	3 ○
第五是政住宅	1	2,641	0	63	2,221	0	24	841	3 ○
第六若松町住宅	1	1,638	0	1,237	304	0	755	186	3 ○
第七西府町住宅	1	730	0	0	821	0	0	1,125	3 ○
第八新町住宅	3	2,353	0	624	306	0	265	130	3 ○
第九新町住宅	3	1,489	0	624	478	0	419	321	3 ○
第十南町住宅	1	2,355	0	35	1,312	0	15	557	3 ○
第十一美好町住宅	3	2,819	0	1,237	0	0	439	0	3 ○
第十二北山町住宅(改築中)									
第十三四谷住宅	1	3,157	0	1,511	895	0	479	283	3 ○
第十四分梅町住宅	3	1,112	0	26	531	0	23	478	3 ○
第十五四谷住宅	3	934	0	26	18	0	28	19	3 ○
第十六小柳町住宅	1	1,099	0	26	1,076	0	24	979	3 ○
第十七小柳町住宅	3	1,099	0	26	16	0	24	15	3 ○
第十八小柳町住宅	1	1,204	0	23	4,247	0	19	3,526	3 ○
第十九分梅町住宅	1	1,216	0	32	1,460	0	26	1,200	3 ○
第二十是政住宅	3	1,020	0	21	311	0	21	305	3 ○

1m ² 当たりの平均値	0	237	1,605
平均値の1.4倍(+40%)	0	332	2,246

■評価結果「1」の施設

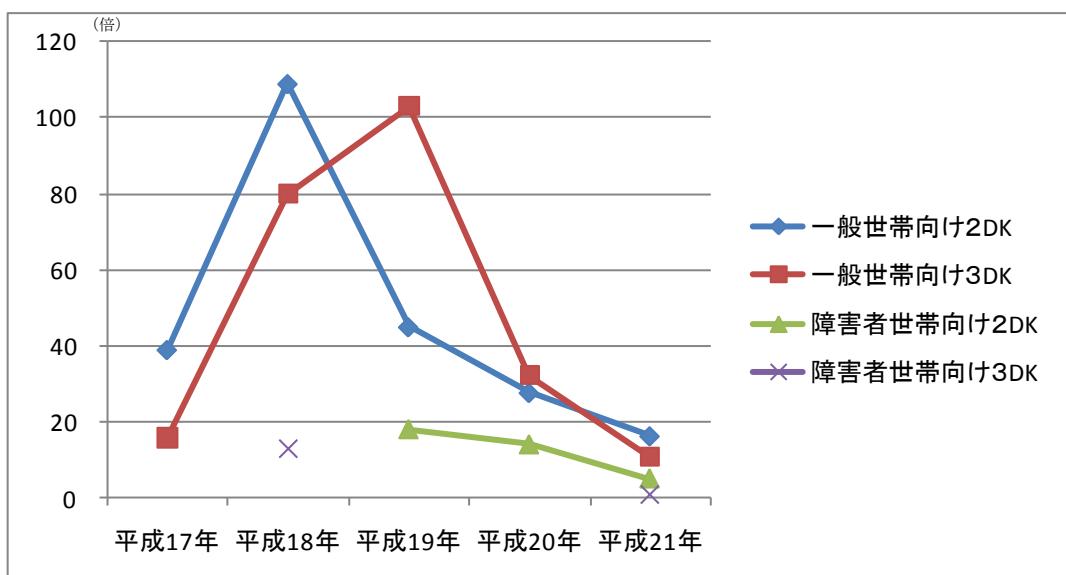
	1 耐震安全性	2 老朽化状況	3 バリアフリー対応	4 維持管理
該当施設	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第二の二本町住宅 ・ 第七西府町住宅 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第二の二本町住宅 ・ 第七西府町住宅 ・ 第十四分梅町住宅 ・ 第十五四谷住宅 ・ 第十六小柳町住宅 ・ 第十七小柳町住宅 ・ 第十八小柳町住宅 ・ 第十九分梅町住宅 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第二の二本町住宅 ・ 第七西府町住宅 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第三本町住宅 ・ 第五是政住宅 ・ 第六若松町住宅 ・ 第七西府町住宅 ・ 第十南町住宅 ・ 第十三四谷住宅 ・ 第十六小柳町住宅 ・ 第十八小柳町住宅 ・ 第十九分梅町住宅
今後の対応等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早急に耐震安全性の確保が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後、建替え等の検討が必要 ・ 建築年度が近接しており、更新時期が重なる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路から入口までのスロープ設置が必要 	

(4) 利用状況

① 利用の推移

- 空き家に関しては、平成 21 年は、一般世帯向け 2DK 住宅 12 戸の募集に対し 196 人の応募（倍率 16.3 倍）、3DK 住宅 17 戸の募集に 182 人の応募（倍率 10.7 倍）、障害者向け 2DK 住宅 1 戸の募集に対し 5 人の応募（倍率 5.0 倍）、3DK 住宅 1 戸の募集に 1 人の応募（倍率 1.0 倍）がありました。
- 倍率の推移をみると、一般世帯向け 2DK 住宅は平成 18 年（109.0 倍）、3DK 住宅は平成 19 年（103.0 倍）、障害者向け 2DK 住宅は平成 19 年（18.0 倍）、3DK 住宅は平成 18 年（13.0 倍）をピークに低下しています。なお、障害者向け 2DK 住宅は平成 17 年及び平成 18 年、3DK 住宅は平成 17 年、平成 19 年及び平成 20 年には募集がありませんでした。
- 市営住宅への入居を希望する方が多い中、既存入居者の居住年数の長期化等の影響により入居が困難な状況となっていますが、限られた管理戸数の中で適切に住宅を提供できるよう努めています。

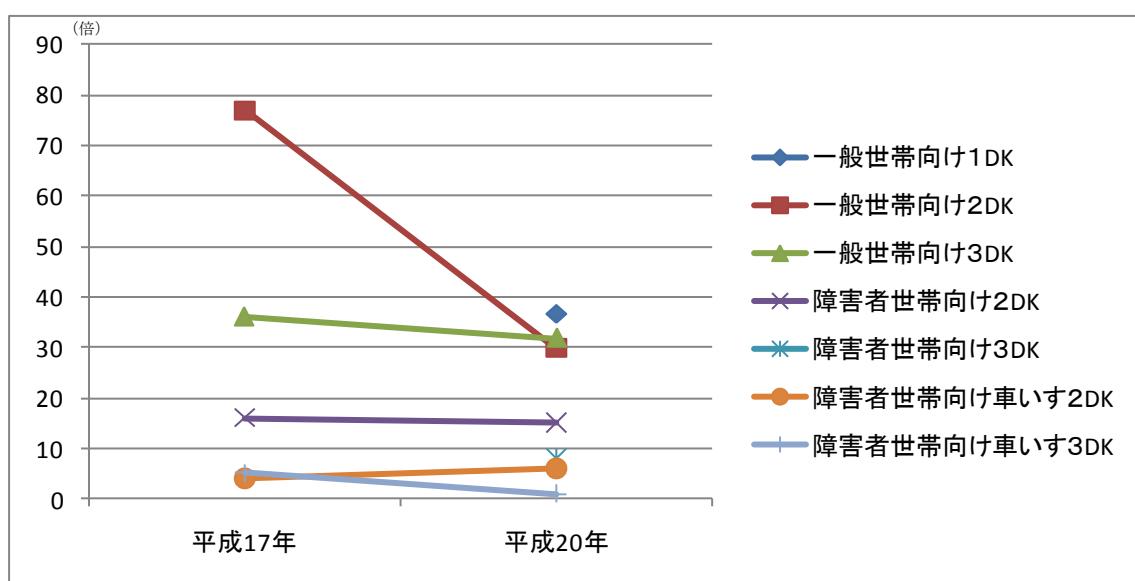
空き家の応募倍率の推移



出所：府中市事務報告書（平成 17 年度から平成 21 年度）

- 新築については、平成 17 年に市営第六若松町住宅（8 戸）、平成 20 年に市営第十一美好町住宅（19 戸）の募集がありました。
- 平成 17 年に入居者を募集した市営第六若松町住宅においては、一般世帯向け 2DK 住宅 1 戸の募集に 77 人の応募（倍率 77.0 倍）、3DK 住宅 4 戸の募集に 144 人の応募（倍率 36.0 倍）、障害者世帯向け 2DK 住宅 1 戸の募集に 16 人の応募（倍率 16.0 倍）、車いす 2DK 住宅 1 戸の募集に 4 人の応募（倍率 4.0 倍）、車いす 3DK 住宅 1 戸の募集に 5 人の応募（倍率 5.0 倍）がありました。
- 平成 20 年に入居者を募集した市営第十一美好町住宅では、一般世帯向け 1DK 住宅 3 戸の募集に 110 人の応募（倍率 36.7 倍）、2DK 住宅 8 戸の募集に 238 人の応募（倍率 29.8 倍）、3DK 住宅 4 戸の募集に 127 人の応募（倍率 31.8 倍）、障害者世帯向け 2DK 住宅 1 戸の募集に 15 人の応募（倍率 15.0 倍）、3DK 住宅 1 戸の募集に 8 人の応募（倍率 8.0 倍）、車いす 2DK 住宅 1 戸の募集に 6 人の応募（倍率 6.0 倍）、3DK 住宅 1 戸の募集に 1 人の応募（倍率 1.0 倍）がありました。
- 両住宅の応募倍率を比較すると、障害者世帯向け車いす 2DK 住宅以外は、平成 17 年に入居者を募集した市営第六若松町住宅の方が、平成 20 年に入居者を募集した市営第十一美好町住宅よりも高い応募倍率でした。

新築住宅の応募倍率の推移



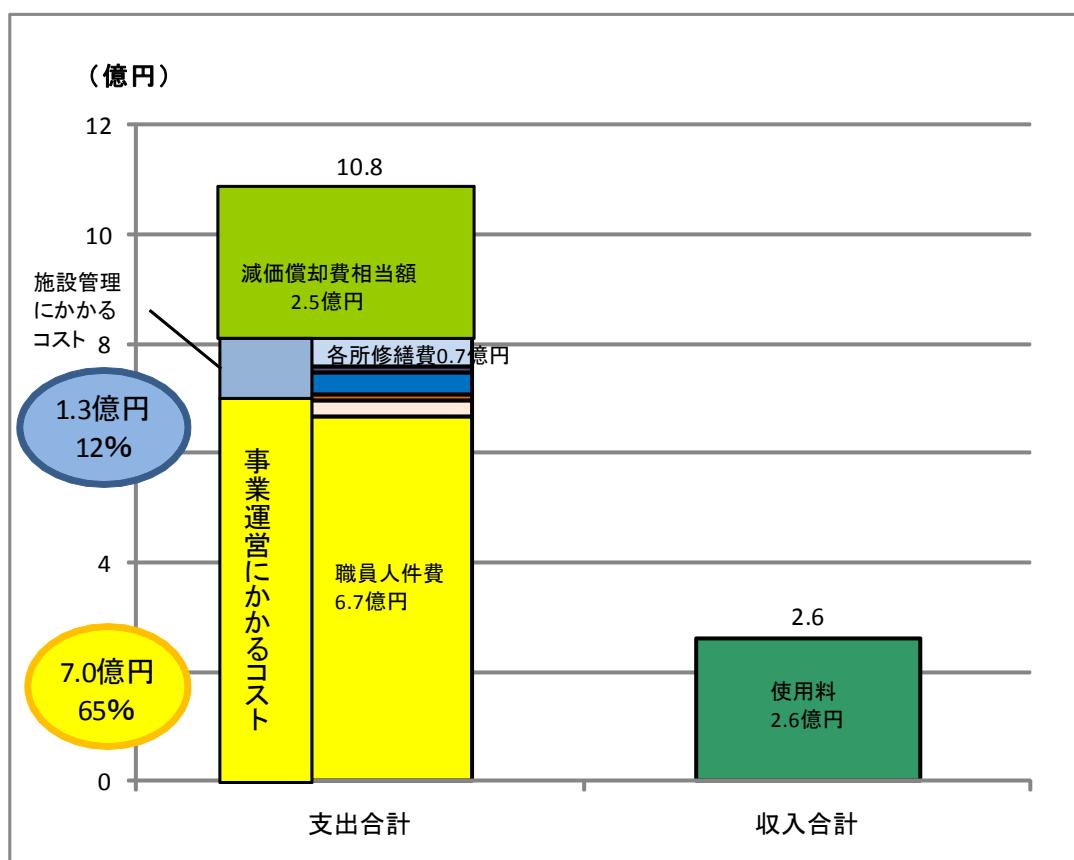
出所：府中市事務報告書（平成 17 年度、平成 20 年度）

(4) コスト状況

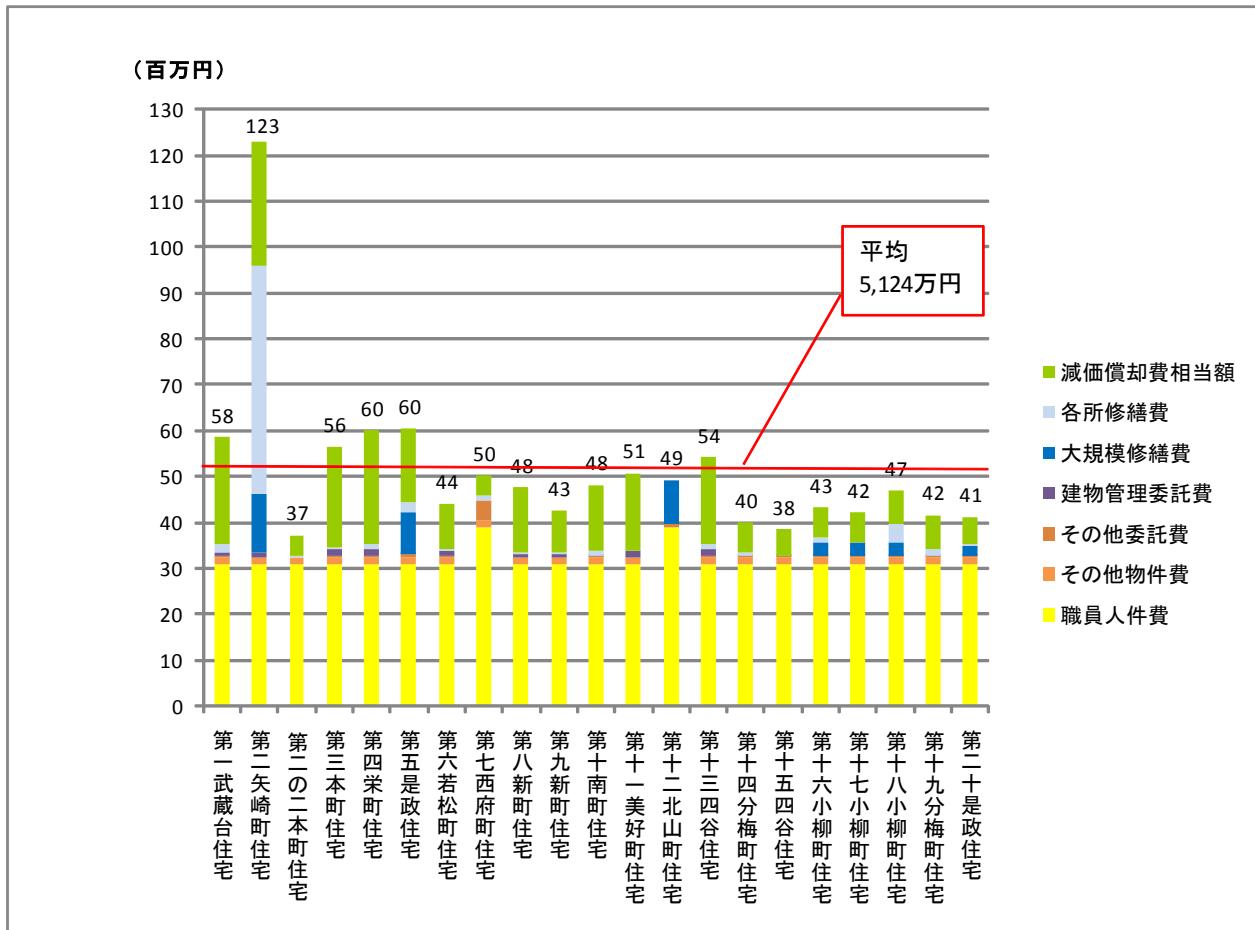
① コスト及び収支状況

- 市営住宅 21 施設の年間トータルコストは、10 億 7,593 万円です。
- 年間トータルコストのうち、施設管理にかかるコスト（各所修繕費、大規模修繕費等）は 1 億 2,832 万円（12%）、事業運営にかかるコスト（職員人件費、その他物件費等）は 6 億 9,594 万円（65%）、減価償却費相当額は 2 億 5,167 万円（23%）です。
- 市営住宅の収入は、年間 2 億 6,092 万円、1 施設当たり 1,242 万円です。
- 施設別のトータルコストでは、第二の二本町住宅が 3,727 万円と最も低く、第二矢崎町住宅が 1 億 2,286 万円と最も高くなっています。1 施設当たりの平均は 5,124 万円です。

トータルコスト（市営住宅、平成 21 年度）



施設別トータルコスト（市営住宅、平成 21 年度）



施設別行政コスト計算書（市営住宅、平成 21 年度）

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】

コストの部		第一武蔵台住宅	第二矢崎町住宅	第二の二本町住宅	第三本町住宅	第四栄町住宅	第五是政住宅	第六若松町住宅	第七西府町住宅	第八新町住宅	第九新町住宅	第十南町住宅	(千円)
施設管理にかかるコスト	各所修繕費	1,609	49,704	176	155	1,217	2,221	304	821	306	478	1,312	
	大規模修繕費	0	12,915	0	0	0	9,159	0	0	0	0	0	
	建物管理委託費	756	864	0	1,375	1,375	63	1,237	0	624	624	35	
	その他委託費	322	0	0	399	259	528	193	4,708	0	0	130	
	管理にかかるコスト計	2,687	63,483	176	1,928	2,851	11,971	1,734	5,528	930	1,102	1,476	
	職員人件費	31,031	31,031	31,031	31,031	31,031	31,031	31,031	38,789	31,031	31,031	31,031	
コストの部	その他の物件費	1,444	1,469	1,433	1,457	1,457	1,445	1,433	1,421	1,445	1,433	1,433	
	運営にかかるコスト計	32,475	32,500	32,464	32,488	32,488	32,476	32,464	40,210	32,476	32,464	32,464	
現金収支を伴うコスト計		35,162	95,983	32,640	34,416	35,339	44,447	34,198	45,738	33,406	33,566	33,940	

【収益の部】

使用料	27,252	27,670	3,851	25,008	23,697	13,283	11,131	1,156	19,211	10,078	13,606	
収益計	27,252	27,670	3,851	25,008	23,697	13,283	11,131	1,156	19,211	10,078	13,606	

II. 現金収支を伴わないもの 【コストの部】

減価償却費相当額	23,323	26,874	4,627	22,011	24,641	15,954	9,895	4,407	14,212	8,994	14,226	
----------	--------	--------	-------	--------	--------	--------	-------	-------	--------	-------	--------	--

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	58,485	122,857	37,267	58,427	59,979	60,401	44,092	50,144	47,618	42,559	48,168	
収支差額	31,233	95,187	33,416	31,420	36,282	47,118	32,962	48,989	28,407	32,481	34,560	

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】

コストの部		第十一美好町住宅	第十二北山町住宅	第十三四谷住宅	第十四分梅町住宅	第十五四谷住宅	第十六小柳町住宅	第十七小柳町住宅	第十八小柳町住宅	第十九分梅町住宅	第二十是政住宅	合計
施設管理にかかるコスト	各所修繕費	0	0	895	531	18	1,076	16	4,247	1,460	311	66,854
	大規模修繕費	0	9,450	0	0	0	2,737	2,737	2,737	0	2,207	41,942
	建物管理委託費	1,237	0	1,511	26	26	26	26	23	32	21	9,881
	その他委託費	0	1,037	204	269	322	269	269	269	322	140	9,640
	管理にかかるコスト計	1,237	10,487	2,609	826	366	4,108	3,048	7,276	1,814	2,678	128,316
	職員人件費	31,031	38,789	31,031	31,031	31,031	31,031	31,031	31,031	31,031	31,031	667,167
コストの部	その他の物件費	1,443	0	1,457	1,432	1,421	1,433	1,433	1,433	1,433	1,421	28,774
	運営にかかるコスト計	32,474	38,789	32,488	32,463	32,452	32,464	32,464	32,464	32,464	32,452	695,940
現金収支を伴うコスト計		33,711	49,276	35,097	33,289	32,818	36,572	35,512	39,740	34,277	35,130	824,256

【収益の部】

使用料	15,114	205	24,280	5,695	4,162	5,382	6,386	4,685	6,303	12,761	260,915	
収益計	15,114	205	24,280	5,695	4,162	5,382	6,386	4,685	6,303	12,761	260,915	

II. 現金収支を伴わないもの 【コストの部】

減価償却費相当額	17,029	0	19,068	6,716	5,643	6,636	6,636	7,275	7,346	6,160	251,672	
----------	--------	---	--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	---------	--

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	50,740	49,276	54,166	40,005	38,460	43,208	42,148	47,014	41,623	41,290	1,075,928	
収支差額	35,626	49,071	29,886	34,310	34,299	37,826	35,762	42,330	35,320	28,529	815,013	

2-18 都市施設

(1) 駐車場・自転車駐車場

① 概要

- 府中市は屋内駐車場として、府中駅南口駐車場と平和島競艇場立体駐車場を保有しています。
- 自転車駐車場として、府中駅北自転車駐車場、西府駅北自転車駐車場、西府駅南自転車駐車場、東府中駅南自転車駐車場を保有しています。

② 施設状況

- それぞれの収容台数は、府中駅南口駐車場が 425 台、平和島競艇場立体駐車場が 955 台、府中駅北自転車駐車場が自転車定期利用 2,187 台・自転車一時利用 227 台、西府駅北自転車駐車場が自転車定期利用 256 台・自転車一時利用 195 台・バイク (125cc 以下) 10 台、西府駅南自転車駐車場が自転車定期利用 217 台・自転車一時利用 195 台・バイク (125cc 以下) 9 台、東府中駅南自転車駐車場が自転車定期利用 992 台・自転車一時利用 167 台・バイク (50cc 以下) 定期利用 8 台・バイク (50cc 以下) 一時利用 2 台です。

施設一覧

	駐車場名	駐車収容台数
駐車場	府中駅南口駐車場	425 台
	平和島競艇場立体駐車場	955 台
自転車 駐車場	府中駅北自転車駐車場	自転車定期利用 2,187 台 自転車一時利用 227 台
	西府駅北自転車駐車場	自転車定期利用 256 台 自転車一時利用 195 台 バイク (125cc 以下) 10 台
	西府駅南自転車駐車場	自転車定期利用 217 台 自転車一時利用 195 台 バイク (125cc 以下) 9 台
	東府中駅南自転車駐車場	自転車定期利用 992 台 自転車一時利用 167 台 バイク (50cc 以下) 定期利用 8 台 バイク (50cc 以下) 一時利用 2 台

③ 建物状況

施設名	①耐震安全性			②老朽化状況				③バリアフリー対応							
	評価	評価内容		評価	評価内容				評価	評価内容					
		耐震診断	耐震補強		建築年度	経過年	大規模改修	大改後の経過年		エレベータ	車いす用	身障者トイレ	道路から入口までのスロープ		
														点字誘導ブロック	
府中駅北自転車駐車場	3	不要	—	3	平成3	19	未		3	—	—	—	—	○	—
平和島競艇場立体駐車場	3	不要	—	2	昭和60	25	未		2			○	—	○	—
東府中駅南自転車駐車場	3	不要	—	3	平成6	16	未		3	—	—	—	—	○	—
府中駅南口駐車場	3	不要	—	3	平成7	15	未		2	○		○	○	○	—
西府駅自転車駐車場	3	不要	—	3	平成20	2	未		3	—	—	—	—	○	—

④ 運営時間

運営時間

	駐車場名	運営時間
駐車場	府中駅南口駐車場	24 時間 入場：8:00～22:00 出場：8:00～23:00
	平和島競艇場立体駐車場	9:20～17:30
自転車 駐車場	府中駅北自転車駐車場	24 時間 地階部分の入出は 6:00～23:00
	西府駅北自転車駐車場	24 時間
	西府駅南自転車駐車場	24 時間
	東府中駅南自転車駐車場	24 時間 地階部分の入出は 6:00～23:00

⑤ 利用料金

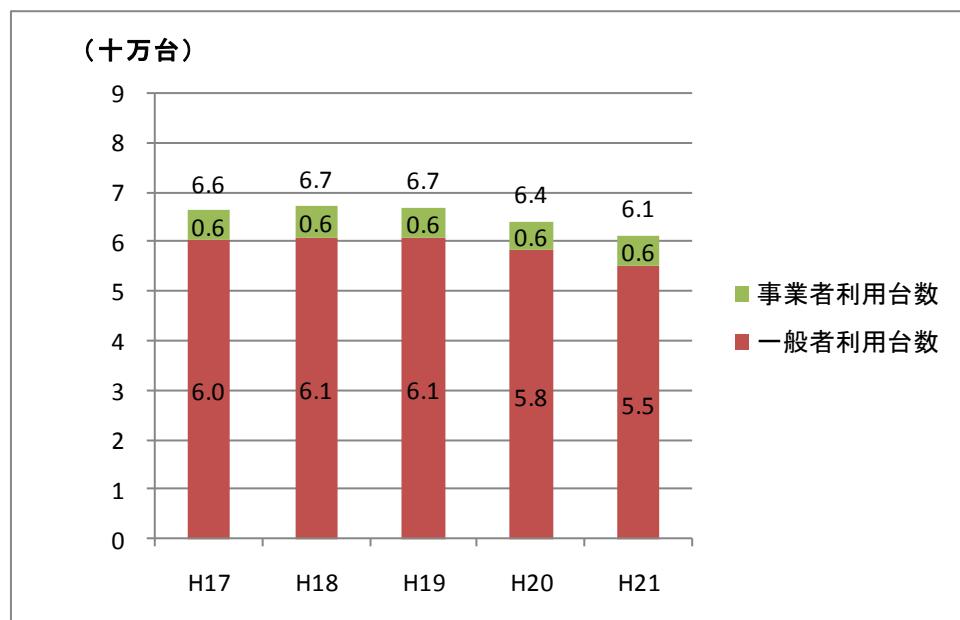
利用料金

	駐車場名	利用料金
駐車場	府中駅南口駐車場	1 時間 400 円、以降 30 分毎に 200 円加算 平日は利用料金が最大 1,200 円 23:00～翌 8:00 は 30 分ごとに 50 円 市民で身体障害者手帳の所持者は 1 回 1 時間分が無料
	平和島競艇場立体駐車場	自場開催（平日）500 円／日、（日・祝日）1,000 円／日 場外販売日 500 円／日
自転車 駐車場	府中駅北自転車駐車場	・定期：自転車 1,600 円～2,000 円 ・一時利用：自転車 100 円
	西府駅北自転車駐車場	・定期：自転車 1,600 円～2,000 円 バイク 2,500 円～3,000 円 ・一時利用：自転車 100 円 バイク 150 円～200 円
	西府駅南自転車駐車場	・定期：自転車 2,000 円 バイク 2,500 円～3,000 円 ・一時利用：自転車 100 円 バイク 150 円～200 円
	東府中駅南自転車駐車場	・定期：自転車 1,600 円～2,000 円 バイク 2,500 円 ・一時利用：自転車 100 円 バイク 150 円

⑥ 利用状況

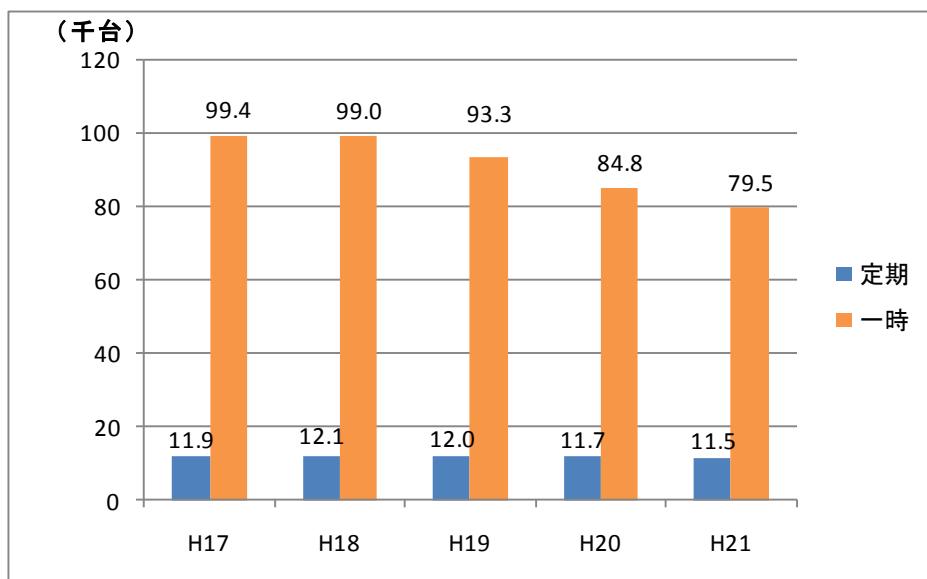
- 平成 21 年度の府中駅南口駐車場利用状況は、一般利用台数 55 万台、事業者利用台数 6 万台です。
- 平成 17 年度から平成 19 年度まで横ばいで推移していましたが、平成 19 年から平成 21 年にかけて、駐車場利用台数は 67 万台から 61 万台に微減しています。

府中駅南口駐車場利用状況



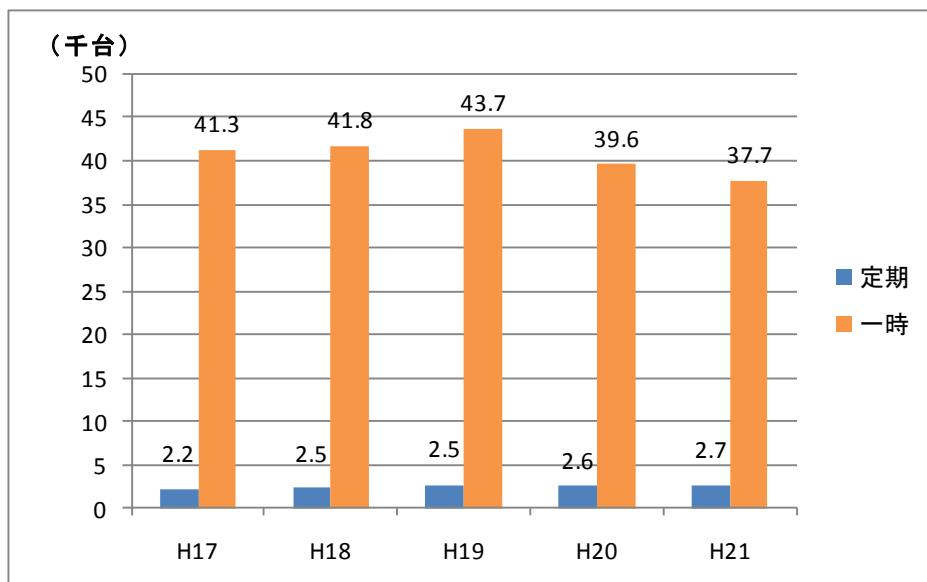
- 平成 21 年度の府中駅北自転車駐車場の利用状況は、定期利用台数が 1.2 万台、一時利用台数が 8 万台です。
- 平成 17 年から平成 21 年にかけて、定期利用台数は横ばいですが、一時利用台数は 9.9 万台から 8 万台に減少しています。

府中駅北自転車駐車場利用状況



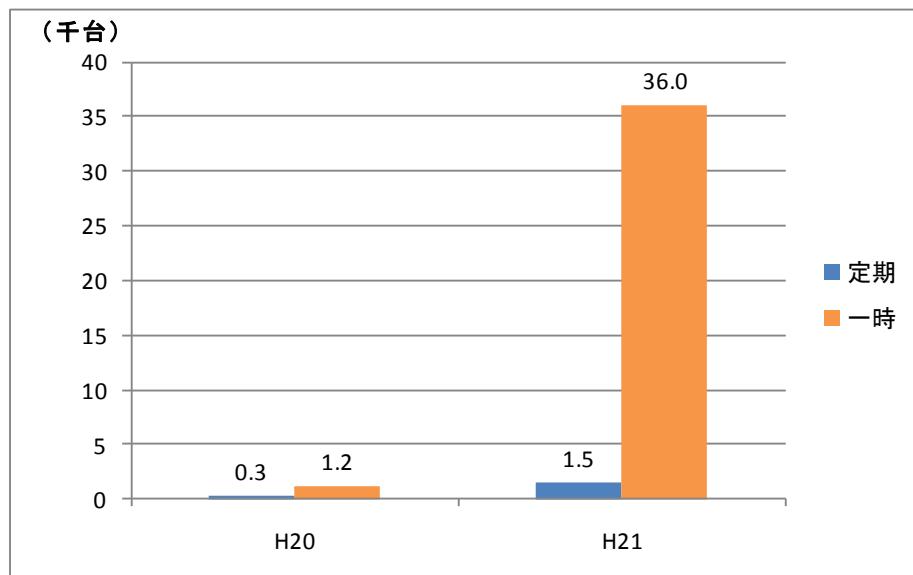
- 平成 21 年度の東府中駅南自転車駐車場の利用状況は、定期利用台数が約 2,700 台、一時利用台数が 3.8 万台です。
- 平成 17 年から平成 21 年にかけて、定期利用台数は微増しています。一時利用台数は、平成 19 年度をピークに減少傾向にあります。

東府中駅南自転車駐車場利用状況



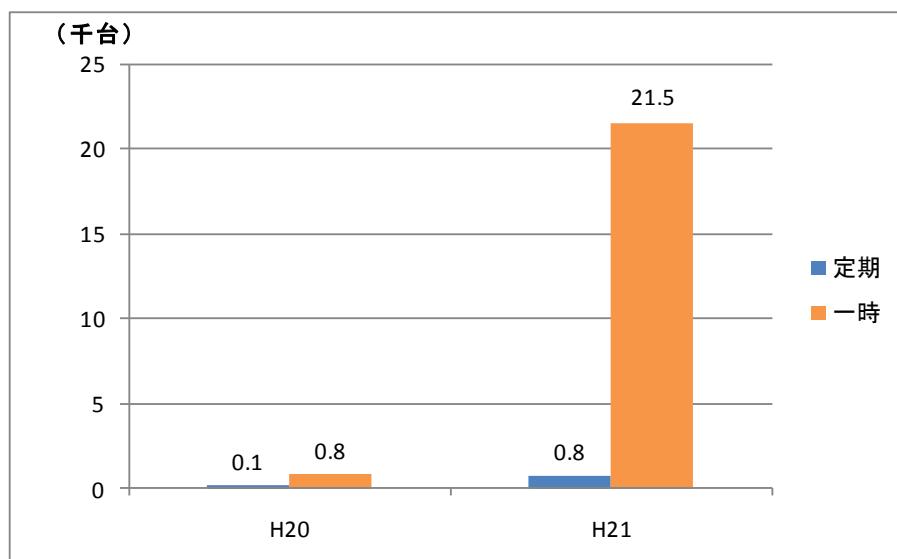
- 平成 21 年度の西府駅北自転車駐車場の利用状況は、定期利用台数が約 1,500 台、一時利用台数が 3.6 万台です。
- 平成 21 年 3 月に開設されたため平成 20 年度の利用台数は少ないですが、平成 21 年度の一時利用台数は約 3.6 万台と多くなっています。

西府駅北自転車駐車場利用状況



- 平成 21 年度の西府駅南自転車駐車場の利用状況は、定期利用台数が約 800 台、一時利用台数が 2.2 万台です。
- 平成 21 年 3 月に開設されたため平成 20 年度の利用台数は少ないですが、平成 21 年度の一時利用台数は約 2.2 万台と多くなっています。

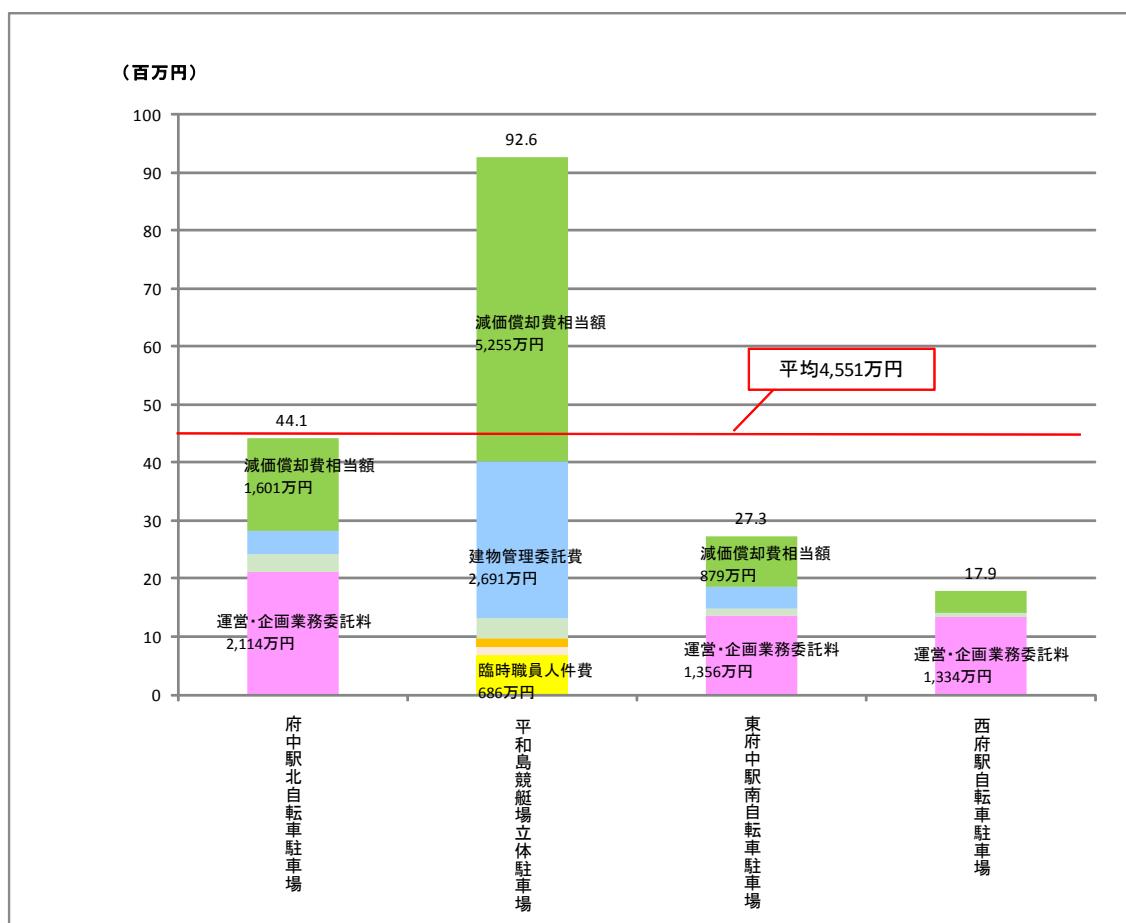
西府駅南自転車駐車場利用状況



⑦ コスト状況

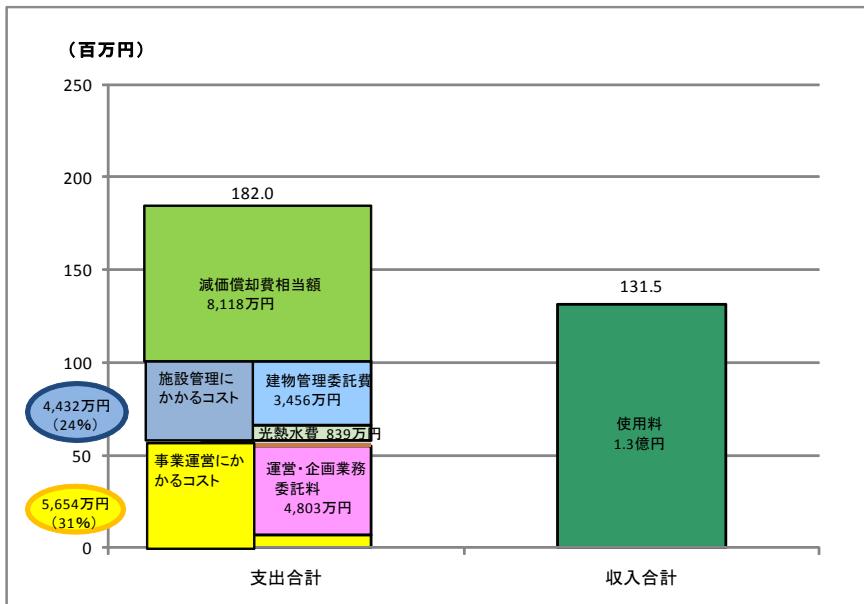
- 府中駅北自転車駐車場のコストは4,415万円、平和島競艇場立体駐車場は9,265万円、東府中駅南自転車駐車場のコストは2,731万円、西府駅自転車駐車場のコストは1,795万円です。
- 府中駅南口駐車場は、府中市駐車場管理公社が指定管理者として運営していますが、その運営にかかるコストはすべて駐車場の利用料金でまかなわれているため、市が支出するコストは発生していません。
- 平均コストは4,551万円です。

施設別支出合計（駐車場・自転車駐車場、平成21年度）



※平和島競艇場立体駐車場は面積が広いため、個別の取得価格から減価償却費相当額を算定しています。

トータルコスト（駐車場・自転車駐車場、平成 21 年度）



行政コスト計算書（駐車場・自転車駐車場、平成 21 年度）

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】

コストの部		府中駅北自転車駐車場	平和島競艇場立体駐車場	東府中駅南自転車駐車場	西府駅自転車駐車場	合計
施設	各所修繕費	0	1,371	0	0	1,371
光熱水費	2,978	3,497	1,236	683	8,394	
建物管理委託費	3,899	26,913	3,729	16	34,557	
管理にかかるコスト計	6,877	31,781	4,965	699	44,323	
事務	臨時職員人件費	0	6,864	0	0	6,864
運営・企画業務委託料	21,138	0	13,555	13,341	48,034	
その他物件費	117	1,457	0	72	1,646	
運営にかかるコスト計	21,255	8,320	13,555	13,413	56,544	
現金収支を伴うコスト計	28,132	40,102	18,520	14,112	100,867	

【収益の部】

使用料	26,274	87,547	7,919	9,802	131,542
収益計	26,274	87,547	7,919	9,802	131,542

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

減価償却費相当額	16,012	52,548	8,787	3,835	81,182
----------	--------	--------	-------	-------	--------

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	44,145	92,650	27,308	17,947	182,049
収支差額	17,871	5,103	19,389	8,146	50,507

(2) 宿泊施設（市外）

① 概要

- ・府中市は、市外に宿泊施設を2つ設置しています。
- ・市民保養所やちはは、市民に休養の場を提供し、健康の増進を図る目的で設置されています。
- ・八ヶ岳府中山荘は、府中市立学校の教育活動や教育の振興等を図る目的で設置されています。

② 施設概要

- ・やちはには客室が13室あり、そのうち12室が和室、1室が洋室です。
- ・八ヶ岳府中山荘には42室あり、そのうち32室が12.5畳の和室、4室が10畳の和室、4室が8畳の和室、1室が6畳の和室、1室が洋室です。
- ・やちはの近くにはスキー場があるほかテニスコートも備えています。八ヶ岳府中山荘の近くには森があるほか、牧場、ゴルフ場、テニスコート、スキー場などがあり、ハイキングやスポーツなどが楽しめます。

施設一覧

施設名	住所	客室数
市民保養所 やちは	長野県南佐久郡佐久穂町 大字八郡 2049 の 150	<ul style="list-style-type: none">・和室（10畳と4.5畳の2間） 12室・洋室 1室
八ヶ岳府中山荘	山梨県北杜市高根町大字清里 字念場原 3545 の 1	<ul style="list-style-type: none">・和室（12.5畳） 32室・和室（10畳） 4室・和室（8畳） 4室・和室（6畳） 1室・洋室 1室

③ 建物状況

施設名	①耐震安全性			②老朽化状況				③バリアフリー対応								
	評価	評価内容		評価	評価内容			評価	評価内容							
		耐震診断	耐震補強		建築年度	経過年	大規模改修		エレベーター	車いす用	身障者トイレ	までのスロープ	道路から入口	自動ドア	手すり	点字誘導ブロック
市民保養所やちほ	3	不要	—	2	昭和60	25	未	2	○				○			
ハケ岳府中山荘	3	不要	—	1	昭和47	38	未	2	○	○			○			
施設名	④環境対応状況						⑤維持管理						⑥吹付けアスペクト			
	評価	評価内容				評価	評価内容				評価内容	評価内容	評価内容	評価内容		
		環境指標	m ² 平均		評価	延床面積(m ²)	維持管理費(千円)	m ² 平均(円)		各所修繕費	建物管理委託費	各所修繕費				
市民保養所やちほ	2	2,443	5,431,400	287	2,223,614	117	3	指定管理者制度				3	○			
ハケ岳府中山荘	2	4,442	5,132,000	213	1,155,231	48	3	4,442	11,650	29,458	3,188	2,623	6,631	718	3	○

■評価結果「1」の施設

	2 老朽化状況
該当施設	・ハケ岳府中山荘
今後の対応等	・今後、建替え又は大規模改修の検討が必要

④ 利用料金

- やちほの宿泊料金は、市民、姉妹都市住民及び友好都市住民、市内在勤者とその家族は、大人2人以上で3,000円、大人1人で5,500円、子ども1,500円です。その他の方は、大人2人以上で5,000円、大人1人で7,500円、子ども2,500円です。
- やちほの休憩料金は、市民、姉妹都市住民及び友好都市住民、市内在勤者とその家族は、大人200円、子ども100円です。その他の方は、大人600円、子ども300円です。
- ハケ岳府中山荘の宿泊料は、市民、姉妹都市住民及び友好都市住民は、大人2人以上で800円、大人1人で1,200円、子ども400円です。市内在勤者とその家族は、大人2人以上で1,200円、大人1人で1,800円、子ども600円です。その他の方は、大人2人以上で3,000円、大人1人で4,500円、子ども1,500円です。
- ハケ岳府中山荘の休憩料金は、市民、姉妹都市住民及び友好都市住民は、大人100円、子ど

も 50 円です。市内在勤者とその家族は、大人 200 円、子ども 100 円です。その他の方は、大人 400 円、子ども 200 円です。

やちほの利用料金

利用区分	1 室の利用人数	宿泊料金	休憩
市民、姉妹都市住民及び友好都市住民、 市内在勤者とその家族	大人 2 人以上	3,000 円	200 円
	大人 1 人	5,500 円	200 円
	子ども	1,500 円	100 円
その他	大人 2 人以上	5,000 円	600 円
	大人 1 人	7,500 円	600 円
	子ども	2,500 円	300 円

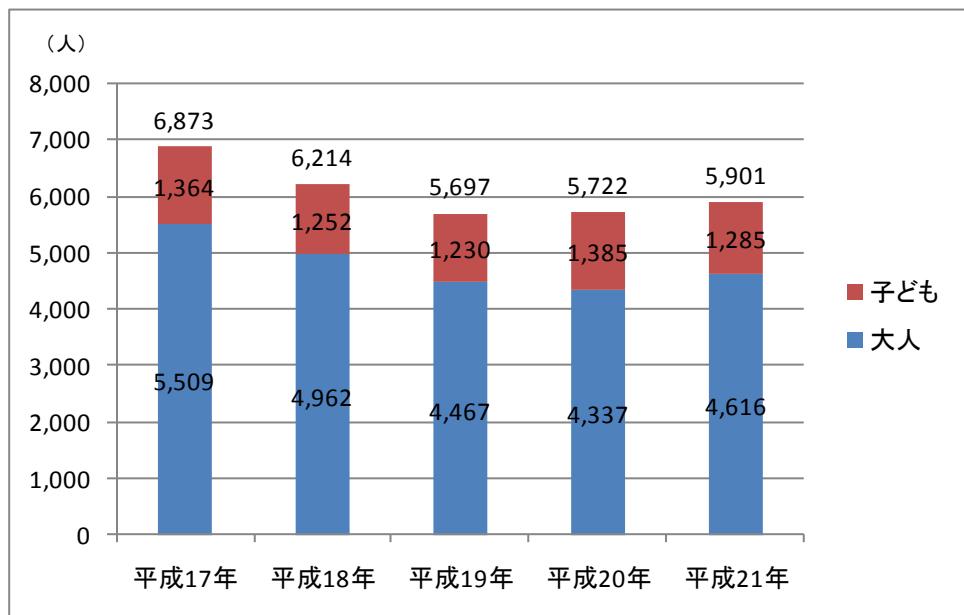
八ヶ岳中山荘の利用料金

利用区分	1 室の利用人数	宿泊料金	休憩
市民、姉妹都市住民及び友好都市住民	大人 2 人以上	800 円	100 円
	大人 1 人	1,200 円	100 円
	子ども	400 円	50 円
市内在勤者とその家族	大人 2 人以上	1,200 円	200 円
	大人 1 人	1,800 円	200 円
	子ども	600 円	100 円
その他	大人 2 人以上	3,000 円	400 円
	大人 1 人	4,500 円	400 円
	子ども	1,500 円	200 円

⑤ 利用状況

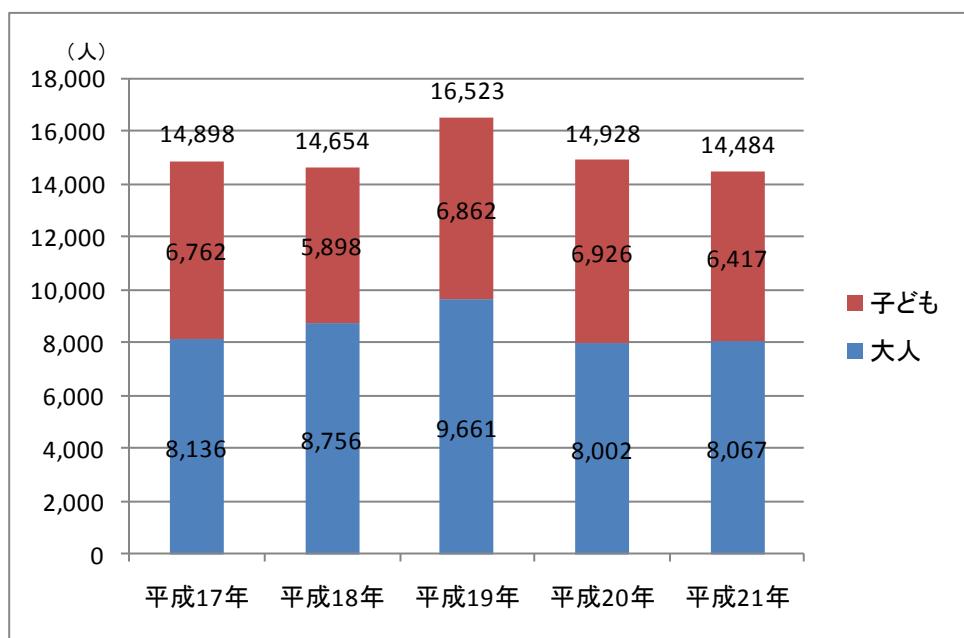
- 平成 21 年度のやちほの利用者数は、大人 4,616 人、子ども 1,285 人の、合計 5,901 人でした。
- 平成 21 年度の八ヶ岳中山荘の利用者数は、大人 8,067 人、子ども 6,417 人の、合計 14,484 人でした。教育施設として設置され、市立学校のセカンドスクール等で利用されることもあり、子どもの利用者数が多くなっています。
- やちほは平成 19 年度に利用者数が減少しその後微増しているのに対し、八ヶ岳中山荘は平成 19 年度の利用者数が多く、他の年はほぼ同じ人数になっています。

やちほの利用者数



出所：府中市平成 22 年度統計書

八ヶ岳府中山荘の利用者数

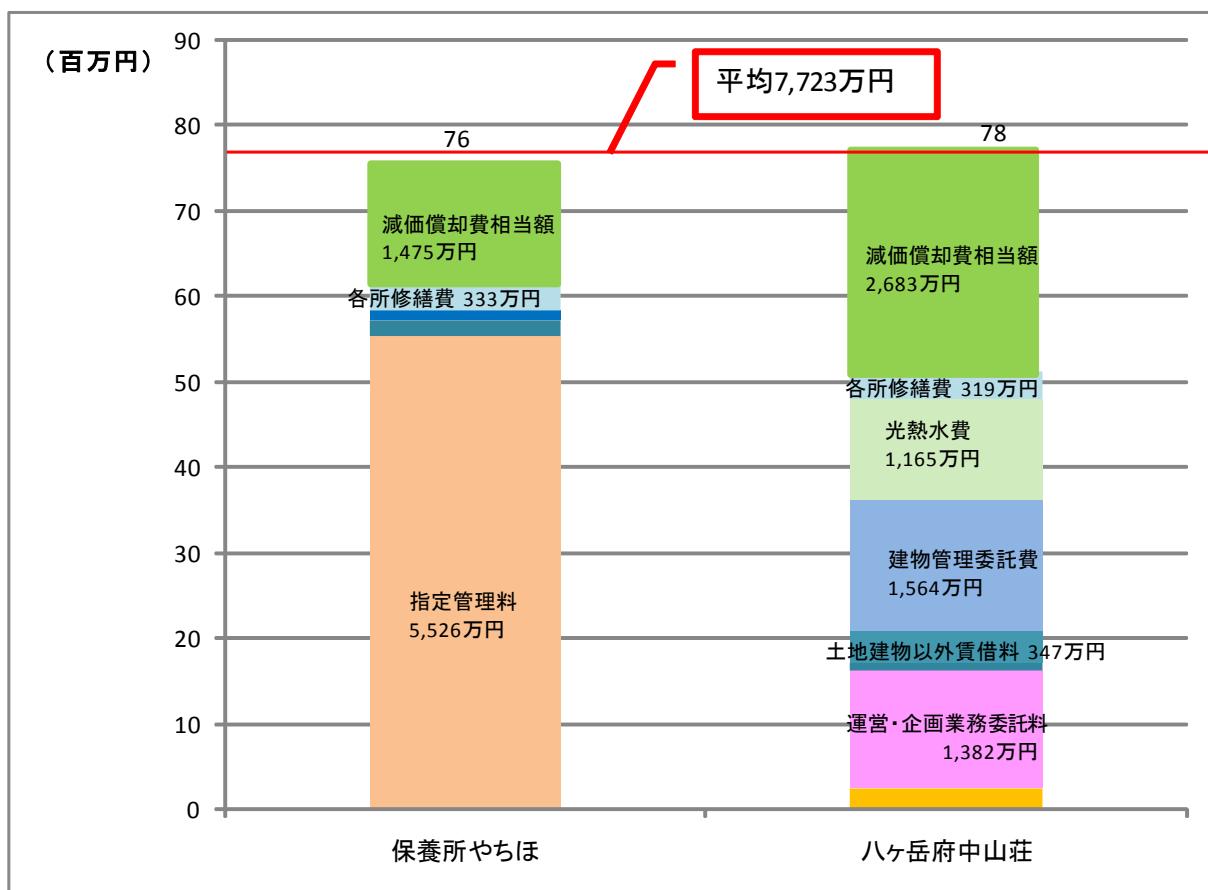


出所：府中市平成 22 年度統計書

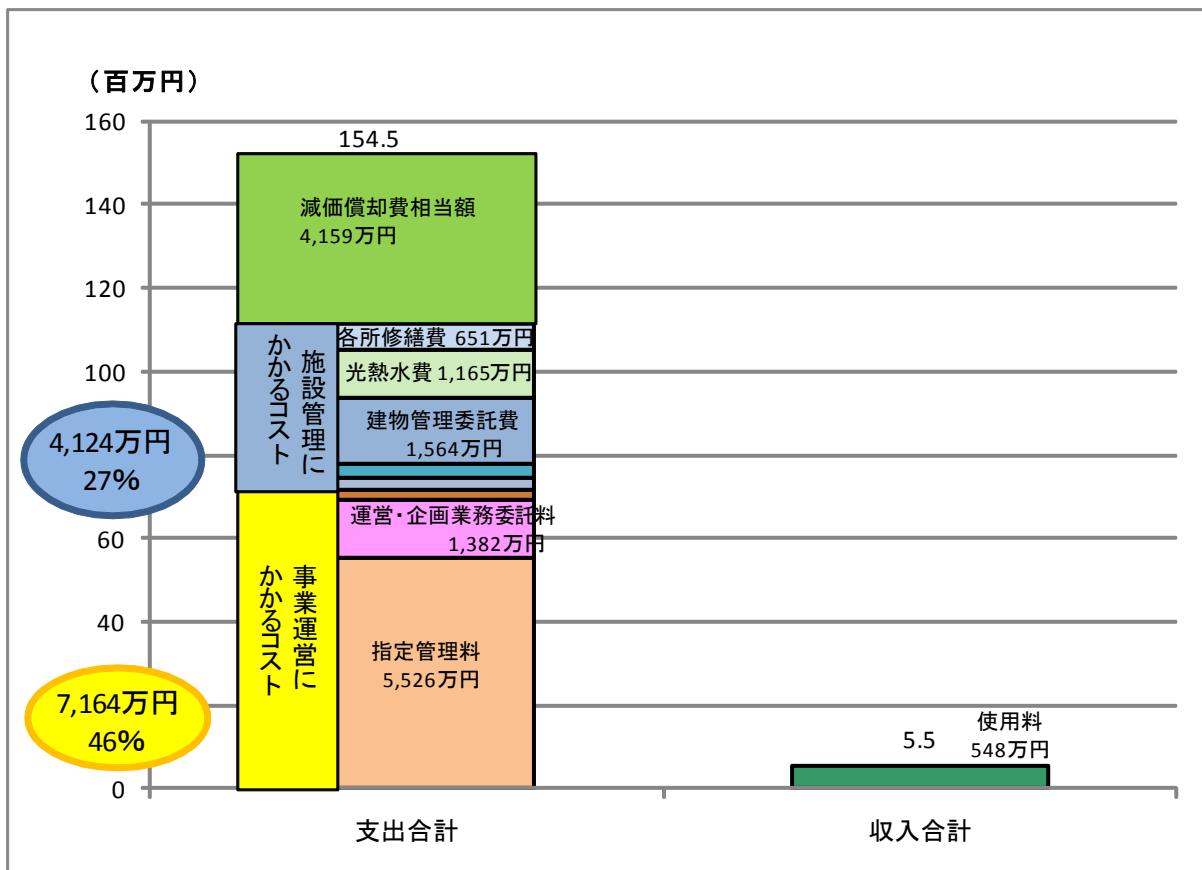
⑥ コスト状況

- やちほの平成 21 年度のコストは 7,639 万円で、そのうち 5,526 万円を指定管理料が占めます。
- 八ヶ岳府中山荘の平成 21 年度のコストは 7,808 万円で、そのうち建物管理委託費が 1,564 万円、減価償却費相当額が 2,683 万円を占めます。
- 平均コストは 7,723 万円です。

施設別支出合計（宿泊施設、平成 21 年度）



トータルコスト（宿泊施設、平成 21 年度）



行政コスト計算書（宿泊施設、平成 21 年度）

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】

コストの部		保養所やちほ	ハケ岳府中山荘	合計	(千円)
施設管理にかかるコスト	各所修繕費	3,326	3,188	6,514	
	光熱水費	0	11,650	11,650	
	建物管理委託費	0	15,635	15,635	
	土地賃借料	1,215	0	1,215	
	土地建物以外賃借料	0	3,472	3,472	
	車両・備品購入費	1,668	1,083	2,751	
	管理にかかるコスト計	6,209	35,029	41,238	
コストにかかる運営費用	指定管理料	55,255	0	55,255	
	事業運営・企画業務委託料	0	13,824	13,824	
	負担金補助及び交付金	0	40	40	
	その他物件費	172	2,352	2,524	
	運営にかかるコスト 計	55,427	16,216	71,643	
現金収支を伴うコスト 計		61,636	51,245	112,881	

【収益の部】

使用料	0	5,475	5,475
収益 計	0	5,475	5,475

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

減価償却費相当額	14,753	26,832	41,585
----------	--------	--------	--------

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	76,389	78,077	154,466
収支差額	76,389	72,602	148,991

※指定管理者制度導入施設については、指定管理料の中に「光熱水費」、「建物管理委託費」等を含んでいます。

※市民保養所やちほは利用料金制のため、施設使用料は指定管理者の収入となっており、収益の部の使用料には表れていません。

2-19 環境・衛生施設

(1) 府中の森市民聖苑

① 概要

- 府中の森市民聖苑は、通夜・告別式・火葬・法要などがすべて行える施設です。
- 市民聖苑は府中市民専用の施設で、①死亡時に府中市において、住民基本台帳または外国人登録原票に登録されていた人の火葬または葬儀を行う方、②死亡時に市民以外であった人の火葬または葬儀を行う方（喪主）が、府中市民である方（ただし、死亡した人から見て配偶者または2親等以内の親族である市民に限ります）、③その他災害等により市長が特に必要と認める時、に利用できます。
- 宗教宗派の制限はありません。

② 施設状況

- 式場を4つ、火葬室を6基、待合室を5室、告別室を2室、収骨室を2室、靈安室を2室、法要室を4室備えています。
- 式場は50人用から140人用まで、法要室は30人用から60人用まで備えており、様々な規模の葬儀に対応することができます。

施設の内容

区分	内容	
式場	第1式場	90人用（椅子席） 祭壇を常設
	第2式場	90人用（椅子席） 祭壇を常設
	第3式場	140人用（椅子席） 祭壇を常設
	第4式場	50人用（椅子席） 祭壇を常設
火葬室	6基	
待合室	5室（30人用、和室18畳）	
告別室	2室	
収骨室	2室	
靈安室	2室	
法要室	法要室	30人用 会席用（椅子席）
	法要洋室	60人用 会席用（椅子席）
	法要和室1	30人用 会席用（和室24畳）
	法要和室2	30人用 会席用（和室24畳）

出所：府中の森市民聖苑 案内

③ 建物状況

施設名	①耐震安全性			②老朽化状況				③バリアフリー対応						
	評価	評価内容		評価	評価内容			評価	評価内容					
		耐震診断	耐震補強		建築年度	平成22	大規模改修		車椅子用エレベータ	身障者トイレ	道路からのスロープ	自動ドア	手すり	点字誘導ブロック
府中の森市民聖苑	3	不要	一	3	平成8	14	未	3	○	○	○	○	○	
施設名	④環境対応状況						⑤維持管理						⑥吹付け アスベスト	
	評価	評価内容						評価内容						評価内容
		延床面積 (m ²)	環境指標	m ² 平均	C O	燃 料 料	燃 料 料	延床面積 (m ²)	維持管理費(千円)	m ² 平均(円)	各所修繕費	建物管理委託費	各所修繕費	評価内容
府中の森市民聖苑	3	9,872	22,057,289	949	2,234,328	96	3	9,872	44,096	160,240	4,755	4,467	16,232	482

④ 利用時間

- 式場は、通夜を行う場合、15:30～21:00まで利用できます。告別式を行う場合、8:30～15:00まで利用できます。
- 火葬室は、10:30～17:00まで利用できます。
- 霊安室は、使用許可を受けた時間から火葬開始時間まで利用できます。

利用時間

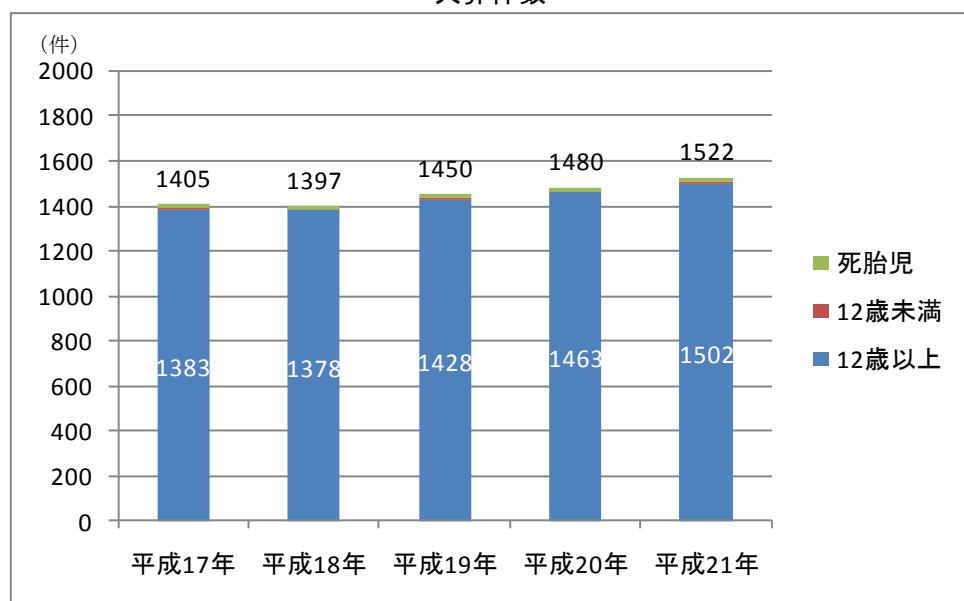
区分		利用時間
式場	通夜	15:30～21:00
	告別式	8:30～15:00
火葬室		10:30～17:00 (ただし、火葬開始時から火葬終了時まで)
霊安室		使用許可を受けた時間から火葬開始時間まで (式場を使用する場合は、終了時間に変更があります)

出所：府中の森市民聖苑 案内

⑤ 利用状況

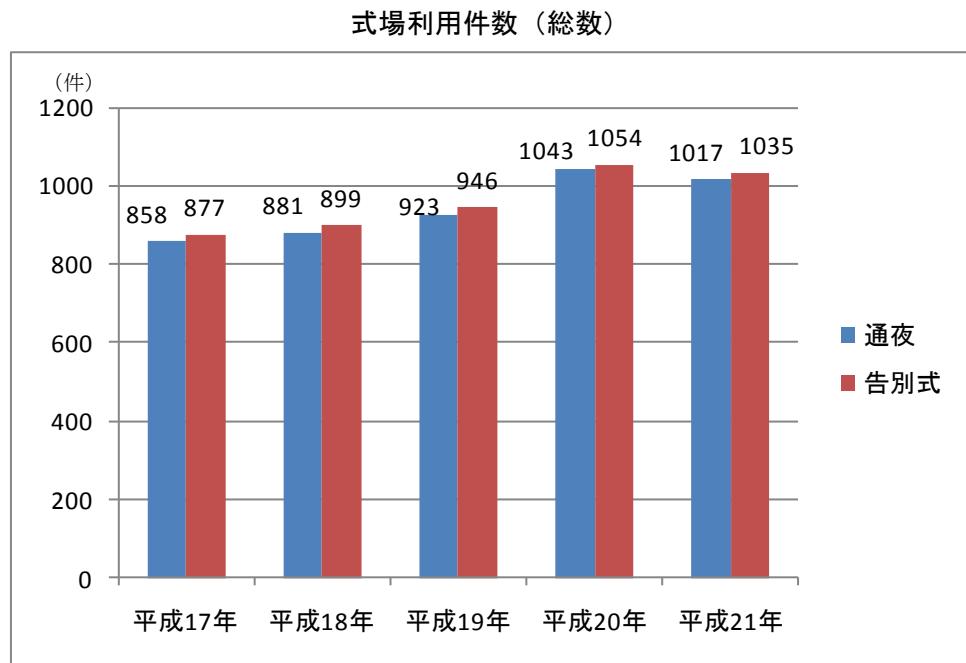
- 平成 21 年度の火葬件数は 1,522 件で、そのうち 12 歳以上が 1,502 件、12 歳未満が 4 件、死胎児 16 件です。平成 18 年度から微増を続けています。

火葬件数

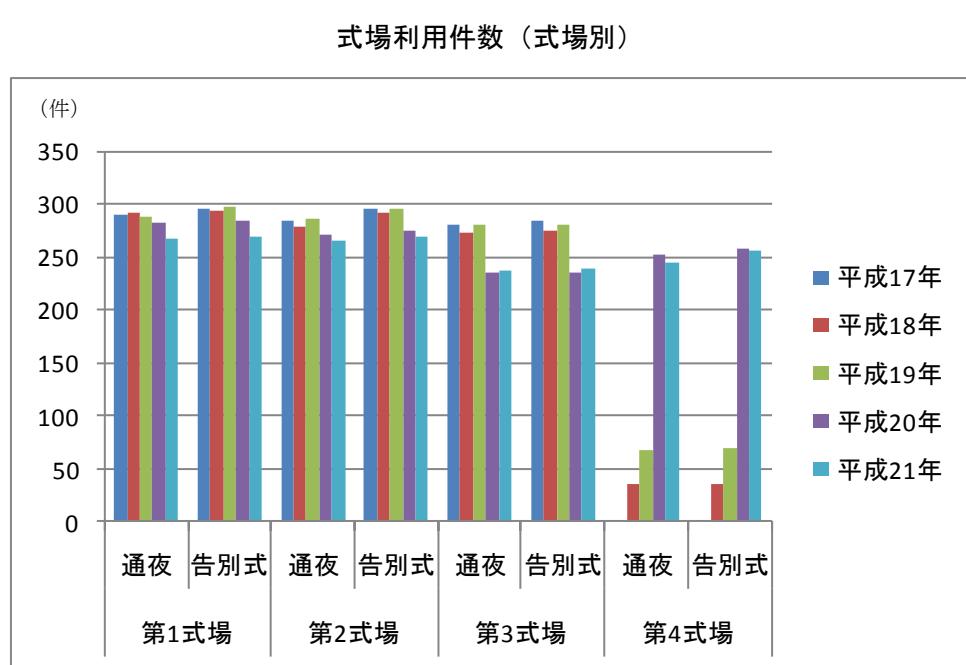


出所：府中市統計書（平成 17 年度～平成 21 年度）

- 平成 21 年度の式場利用件数は通夜が 1,017 件、告別式が 1,035 件です。平成 17 年度から微増を続けています。
- 式場別では、第 1 式場は通夜 267 件、告別式 270 件、第 2 式場は通夜 266 件、告別式 270 件、第 3 式場は通夜 238 件、告別式 239 件、第 4 式場は通夜 246 件、告別式 256 件です。平成 18 年に利用を開始した第 4 式場の利用件数は、平成 20 年から伸びています。



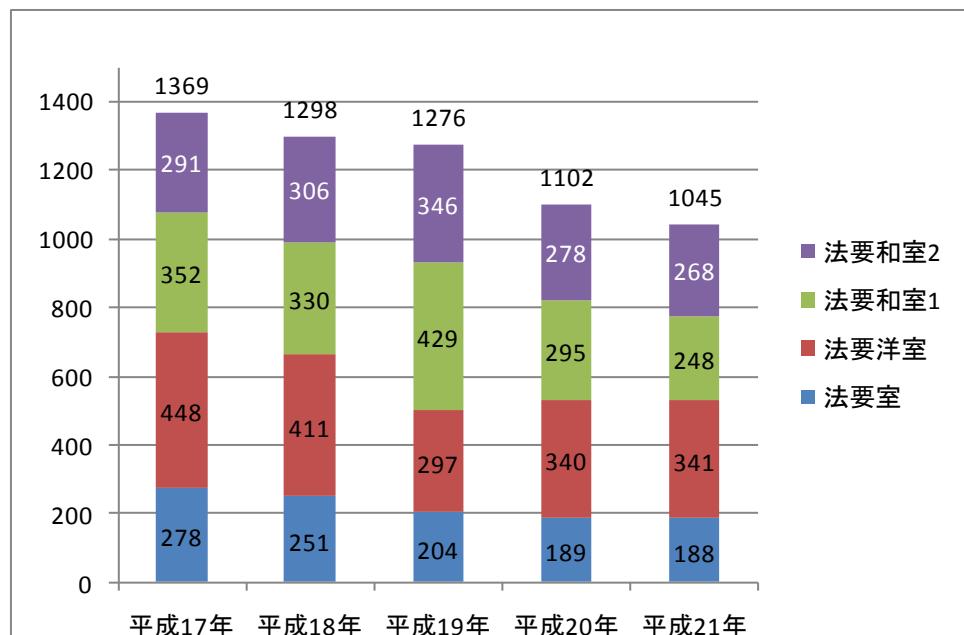
出所：府中市統計書（平成 17 年度～平成 21 年度）



出所：府中市統計書（平成 17 年度～平成 21 年度）

- 平成 21 年度の法要室利用件数は 1,045 件で、そのうち法要室が 188 件、法要洋室が 341 件、法要和室 1 が 248 件、法要和室 2 が 268 件です。
- 法要室の利用は平成 17 年度から減少を続けています。

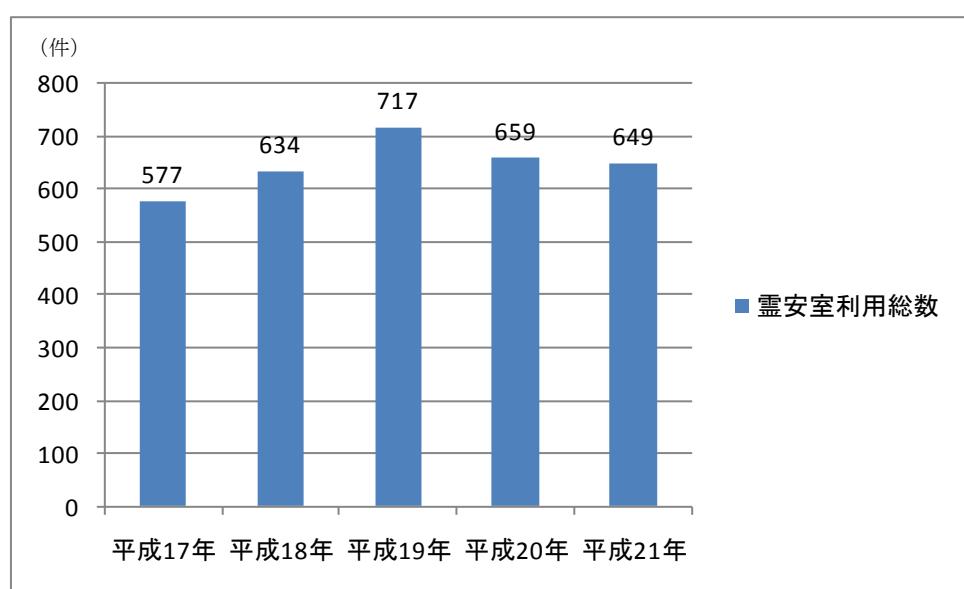
法要室の利用件数



出所：府中市統計書（平成 17 年度～平成 21 年度）

- 平成 21 年度の靈安室利用件数は 649 件です。平成 19 年をピークに微減しています。

靈安室利用件数

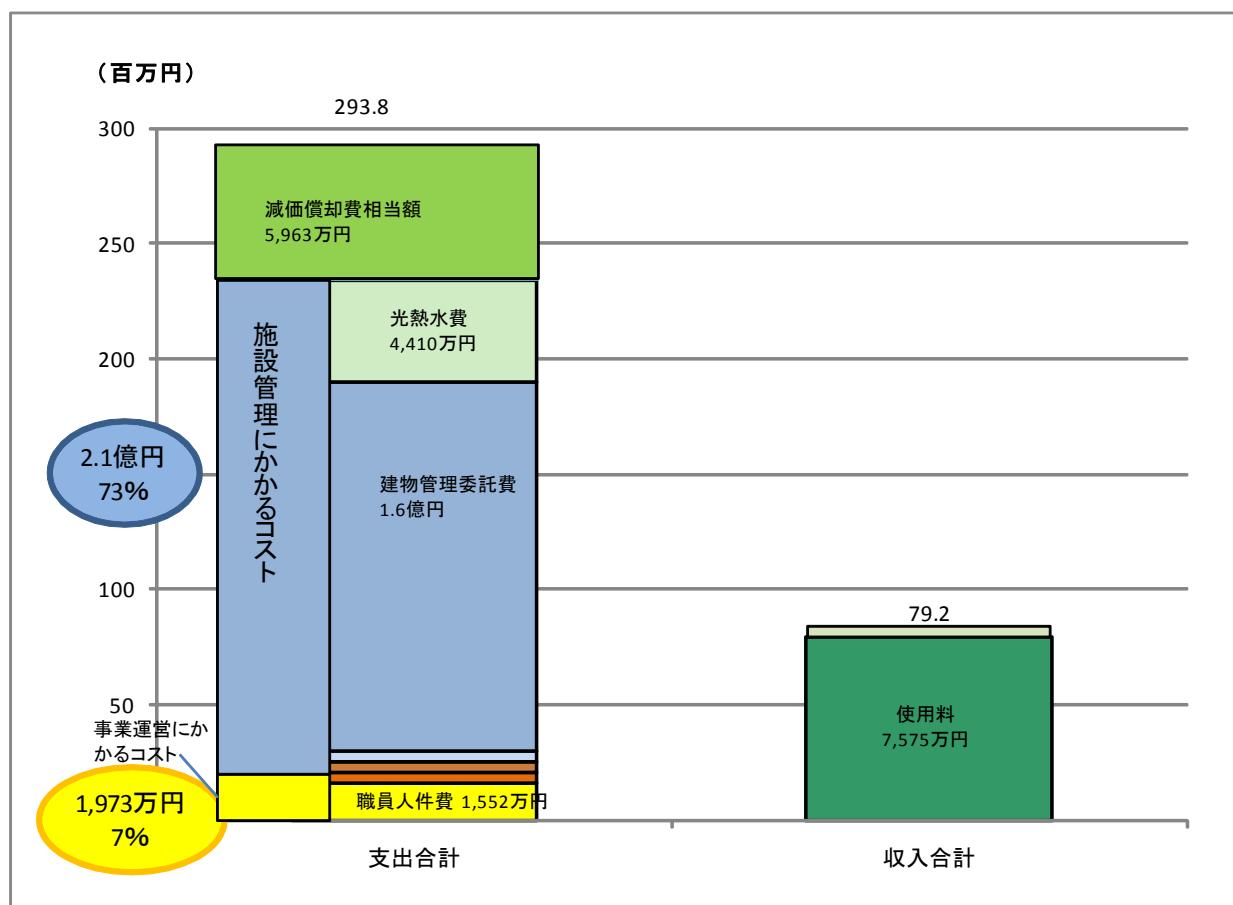


出所：府中市統計書（平成 17 年度～平成 21 年度）

⑥ コスト状況

- 平成 21 年度のコストは 2 億 9,381 万円です。
- 内訳は、職員人件費 1,552 万円、建物管理委託費 1.6 億円、光熱水費 4,410 万円、減価償却費相当額 5,963 万円です。
- 使用料等の収入合計は 7,922 万円です。

府中の森市民聖苑トータルコスト（平成 21 年度）



行政コスト計算書（府中の森市民聖苑、平成 21 年度）

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】

コストの部		(千円)
		府中の森 市民 聖苑
か か る コ ス ト	各所修繕費	4,755
	光熱水費	44,096
	建物管理委託費	160,240
	土地建物以外賃借料	279
	車両・備品購入費	40
	その他委託費	5,040
	管理にかかるコスト計	214,450
に 事 業 ス か 運 ト る 営	職員人件費	15,516
	その他物件費	4,215
	運営にかかるコスト 計	19,730
現金収支を伴うコスト 計		234,180

【収益の部】

使用料	75,745
その他の収入	3,479
収益 計	79,223

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

減価償却費相当額	59,627
----------	--------

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	293,807
収支差額	214,584

(2) リサイクルプラザ

① 概要

- リサイクルプラザは、市内で収集されたビン、カン、粗大ごみ、プラスチック類やその他不燃ごみ等を処理する総合的なリサイクルの拠点施設です。
- 資源棟、第二保管棟、計量棟があります。
- 3台の集じん・脱臭設備が、ゴミから出る粉じんや臭気をフィルタと活性炭に吸着させ、きれいな空気にしています。
- 屋上緑化、太陽光発電、太陽光集光、太陽光温水、雨水利用などを用いており、環境に配慮した施設となっています。

② 施設状況

- 処理能力は1日（5時間）あたり49.5トンです。
- 布団処理ラインは1日（5時間）あたり0.3トン、粗大・不燃ごみ処理ラインは17.7トン、その他プラスチック製容器包装処理ラインは13.1トン、びん処理ラインは9.2トン、缶等金属処理ラインは9.2トンです。

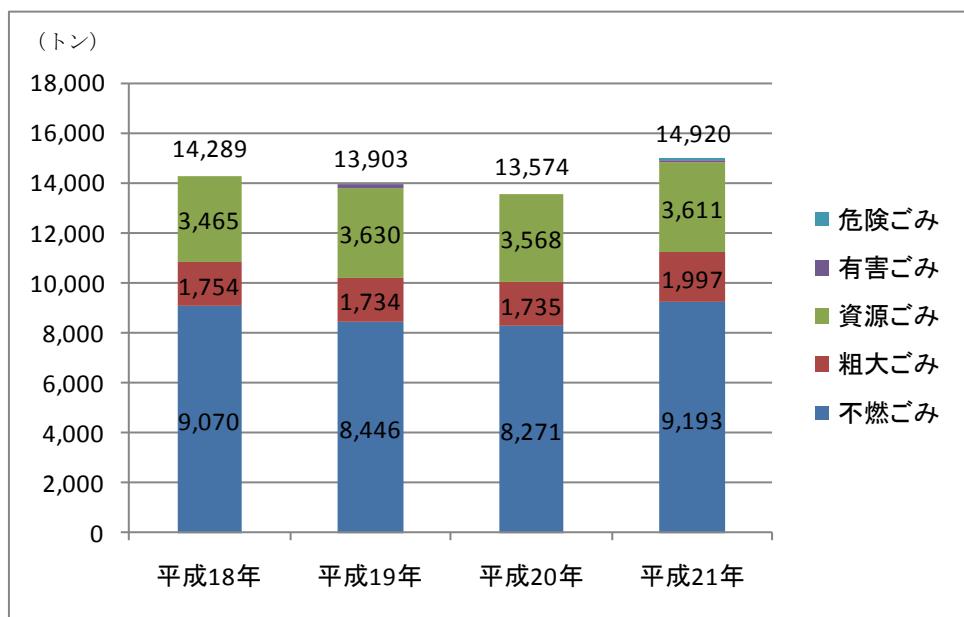
布団処理ライン	布団用破碎機（低速2軸回転式）	0.3 t /5 時間
粗大・不燃ごみ処理 ライン	低速回転式破碎機（低速2時回転式）	17.7 t /5 時間
	高速回転式破碎機（横型高速回転式）	
その他プラスチック 製容器包装処理 ライン	容器包装用破袋機（1軸揺動式）	13.1 t /5 時間
	容器包装用選別機（風力選別式トロンメル）	
びん処理ライン	No.1 びん受入コンベヤ・コンテナ反転装置（ローラーコンベヤ及び2連式コンテナ反転装置）	9.2 t /5 時間
	びん類選別装置（高速画像処理式（ドリンクびん、一升びん、プランデーびん）	
缶等金属処理ライ ン	缶用破袋・除袋機（高速刃物式）	9.2 t /5 時間
	鉄・アルミプレス機（2）（油圧3方締式）	

出所：府中市リサイクルプラザ 案内

③ 利用状況

- 平成21年度のリサイクルプラザへのごみの搬入量は、不燃ごみ9,193トン、粗大ごみ1,997トン、資源ごみ3,611トン、危険ごみ11トン、有害ごみ108トンの、合計14,920トンです。
- ごみの搬入量は、平成20年度まで微減していましたが、平成21年度でやや増加しています。

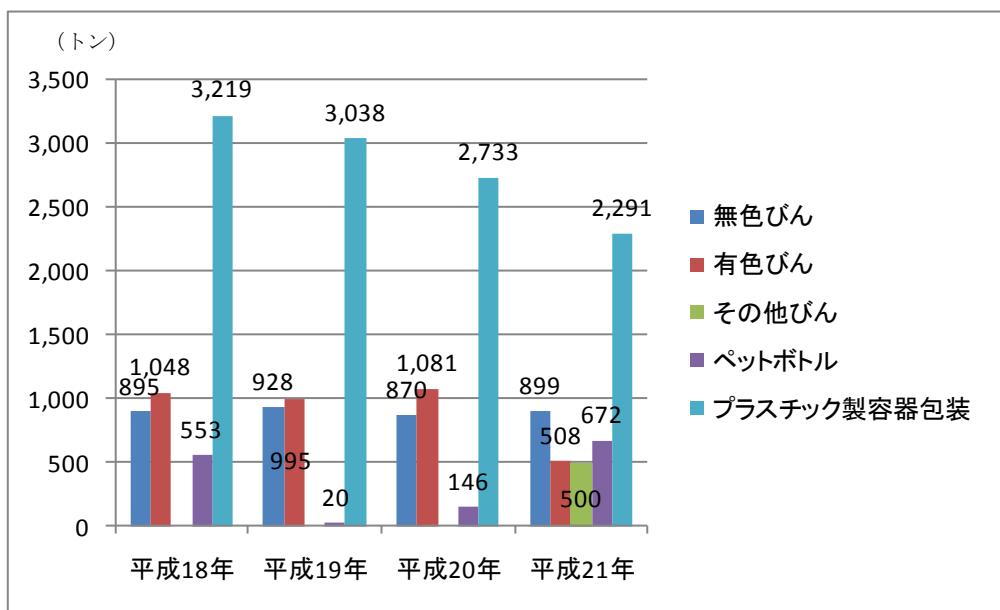
リサイクルプラザ搬入量



出所：府中市事務報告書（平成 18 年度～平成 21 年度）

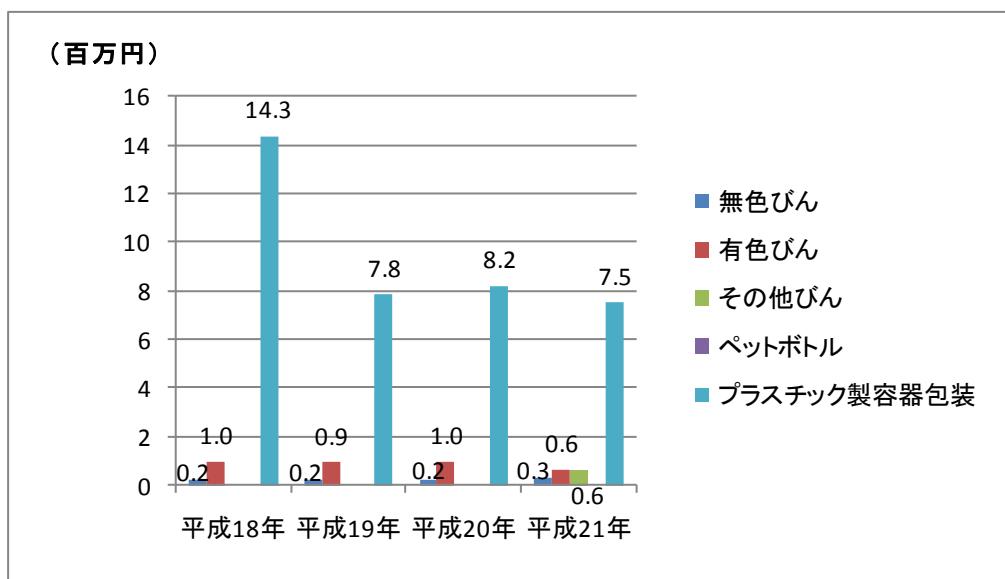
- 平成 21 年度の処理委託にかかる資源の回収量は、無色びん 899 トン、有色びん 508 トン、その他びん 500 トン、ペットボトル 672 トン、プラスチック製容器包装 2,291 トンです。
- 平成 21 年度の処理委託にかかる資源の処理委託金額は、無色びん 29 万円、有色びん 64 万円、その他びん 60 万円、ペットボトル 0 円、プラスチック製容器包装 753 万円です。

処理委託回収量



出所：府中市事務報告書（平成 18 年度～平成 21 年度）

処理委託金額

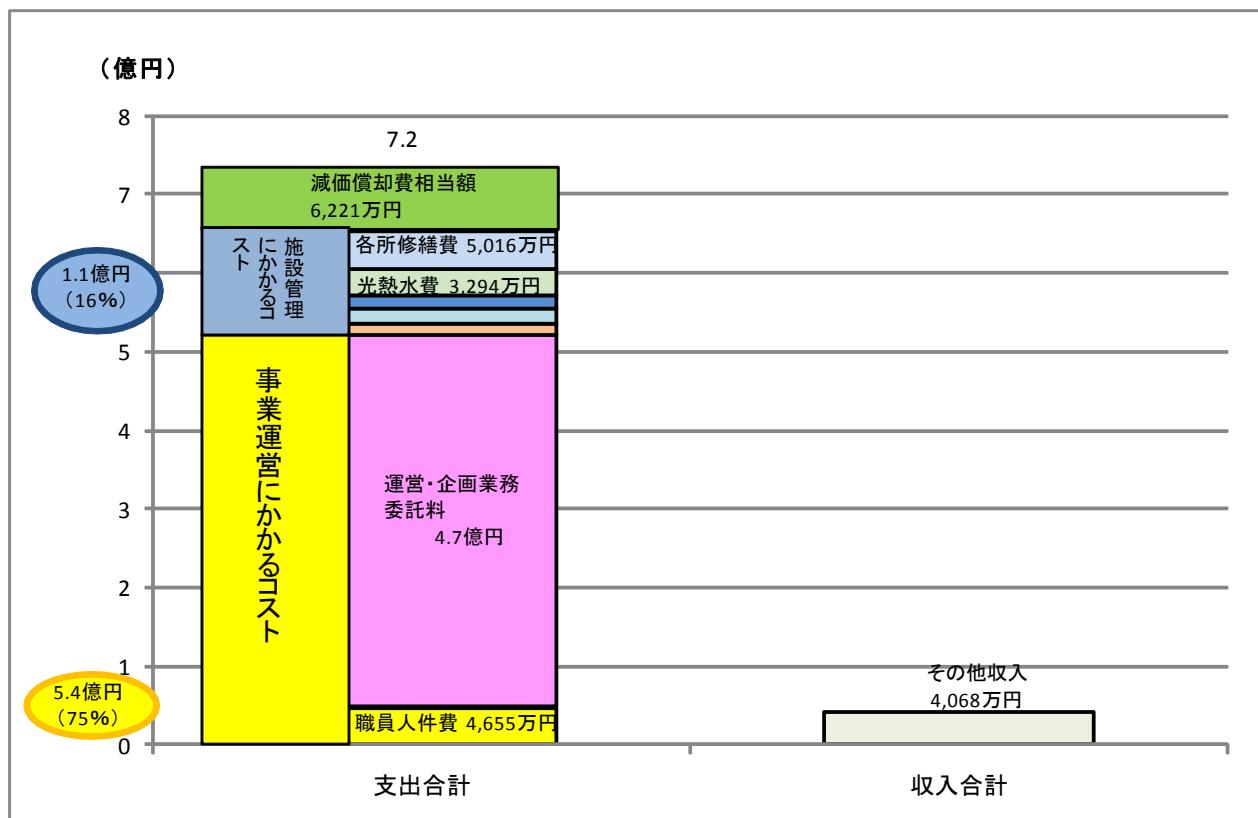


出所：府中市事務報告書（平成18年度～平成21年度）

④ コスト

- 平成21年度のリサイクルプラザの総コストは、7.2億円です。そのうち、運営・企画業務委託料が4.7億円と、65%を占めます。
- その他の収入は4,068万円です。

トータルコスト（リサイクルプラザ、平成21年度）



行政コスト計算書（リサイクルプラザ、平成 21 年度）

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】 (千円)

コストの部		府中市リサイクルプラザ
施設管理にかかるコスト	各所修繕費	50,155
	光熱水費	32,939
	建物管理委託費	15,715
	公有財産購入費	9
	その他委託費	15,798
	管理にかかるコスト計	114,617
事業運営にかかるコスト	職員人件費	46,547
	臨時職員人件費	2,423
	運営・企画業務委託料	471,938
	その他物件費	18,667
運営にかかるコスト 計		539,575
現金収支を伴うコスト 計		654,191

【収益の部】

その他の収入	40,677
収益 計	40,677

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

減価償却費相当額	62,212
----------	--------

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	716,403
収支差額	675,726

2-20 市庁舎

(1) 概要

- 府中市には、市庁舎として西庁舎、東庁舎、北庁舎からなる市役所と、府中駅北第2庁舎があります。
- 業務取扱時間は、月曜日から金曜日の 8:30～17:00 と、第2・4土曜日の 8:30～12:00 となっています。なお、土曜日の取扱業務は住民票の写しの交付や各種証明書の発行、市税の収納など一部に限られており、すべて市役所1階総合窓口課、または出納課で受け付けています。
- 第2庁舎には、文化スポーツ部や地区整備推進本部などの部署があるほか、国際交流サロンや工業技術情報センターが設置されています。

(2) 施設状況

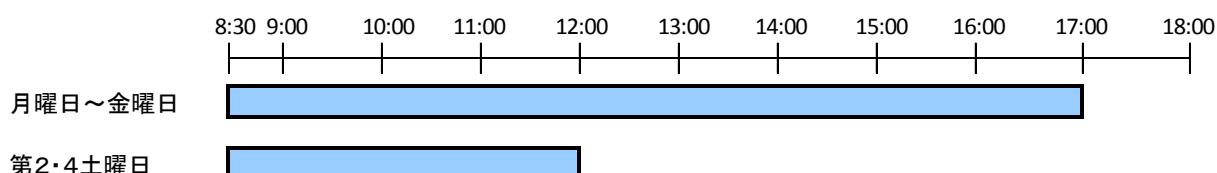
① 施設規模（延床面積）

- 延床面積は合計 31,047 m²で、市役所が 21,686 m²、第2庁舎が 9,362 m²となっています。
- 市役所は築 50 年を超えており、新庁舎建設事業が検討されています。

② 運営日数、運営時間

- 月曜日から金曜日と、第2・4土曜日（市役所の一部）は開庁しており、それ以外の土曜日・日曜日、祝日及び年末年始は閉庁となっています。

開庁時間



(3) 建物状況

施設名	①耐震安全性			②老朽化状況				③バリアフリー対応							
	評価	評価内容		評価	評価内容			評価	評価内容						
		耐震診断	耐震補強		建築年度	平成22	経過年		大規模改修	平成22	エレベーター	車いす用	身障者トイレ	までのスロープ	道路から入口
市役所	2	○		1	昭和34	51	未	3	○	○	○	○	○	○	○
府中駅北第2庁舎	3	不要	—	3	平成3	19	未	3	○	○	○	○	○	○	○

施設名	④環境対応状況							⑤維持管理							⑥吹付け アスベスト	
	評価	評価内容						評価	評価内容						評価内容	
		環境指標		m平均		評価	維持管理費(千円)		m平均(円)							
		延床面積 (m ²)	伴う熱量等の使用量 (MJに)	(t換算2CO合計出2)	伴う熱量等の使用量 (kJに)		光熱水費	委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費				
市役所	3	21,686	54,618,310	2,937	2,518,645	135	3	21,686	60,330	98,976	38,089	2,782	4,564	1,756	3 ○	
府中駅北第2庁舎	3	9,362	6,696,033	263	715,261	28	3	9,362	10,681	31,820	2,673	1,141	3,399	286	3 ○	

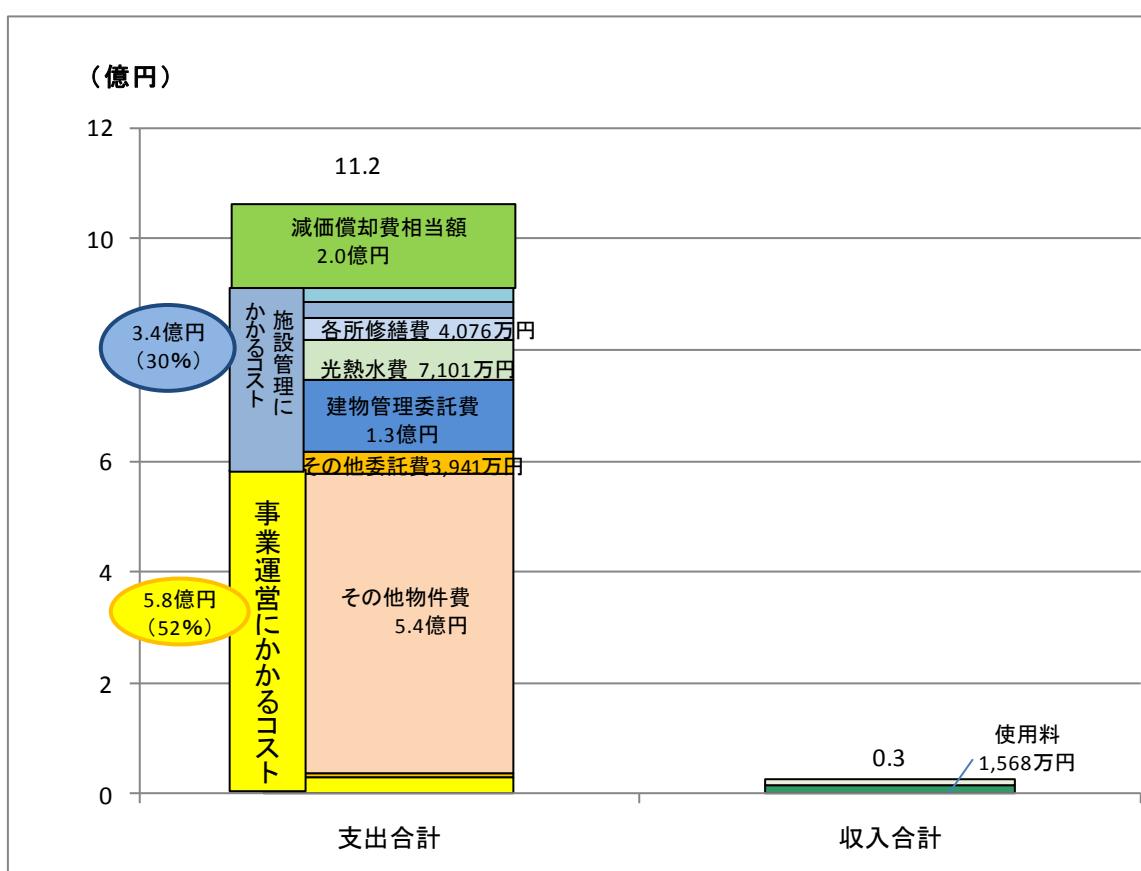
■評価結果「1」の施設

	1 耐震安全性	2 老朽化状況
該当施設		・ 市役所
今後の対応等		・ 今後、建替え等の検討が必要

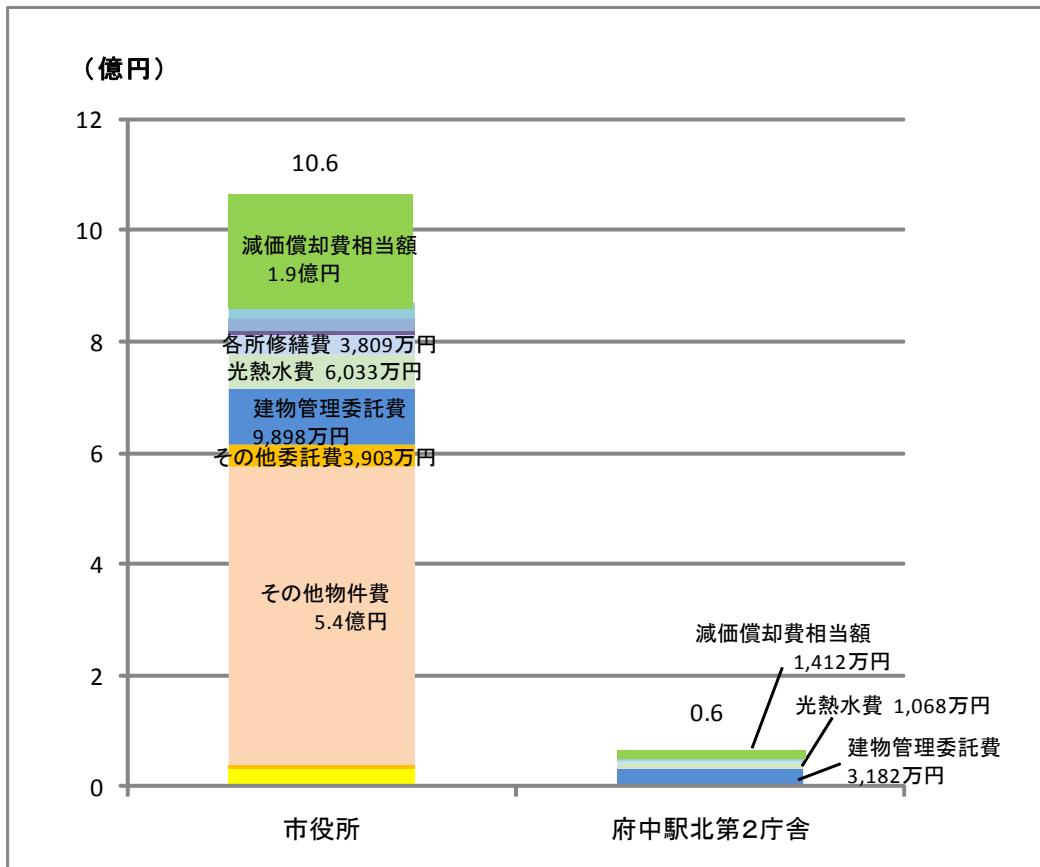
(4) コスト状況

- 市庁舎の年間トータルコストは11億1,819万円です。
- 年間トータルコストのうち、施設管理にかかるコスト（建物管理委託費、光熱水費等）は3億3,952万円（30%）、事業運営にかかるコスト（人件費、その他物件費等）5億7,703万円（52%）、減価償却費相当額は2億164万円（18%）です。
- 収入は、年間2,725万円です。
- 施設別にみると、市役所がトータルコストの大部分を占めており、第2庁舎のコストは建物管理委託費と光熱水費がほとんどになっています。

トータルコスト（市庁舎、平成21年度）



施設別トータルコスト（市庁舎、平成 21 年度）



行政コスト計算書（市庁舎、平成 21 年度）

I. 現金収支を伴うもの

【コストの部】

コストの部	市役所	府中駅北第2庁舎	合計
施設管理コストにかかるコスト	各所修繕費	38,089	2,673
	大規模修繕費	23,317	0
	光熱水費	60,330	10,681
	建物管理委託費	98,976	31,820
	土地建物以外賃借料	26,266	1,531
	車両・備品購入費	6,432	0
	その他委託費	39,029	378
	管理にかかるコスト計	292,438	47,083
か事業運営にかかるコスト	職員人件費	31,031	0
	運営・企画業務委託料	6,656	0
	その他物件費	538,870	476
	運営にかかるコスト 計	576,556	476
現金収支を伴うコスト 計	868,995	47,558	916,553

【収益の部】

使用料	15,679	0	15,679
その他の収入	3,821	7,752	11,573
収益 計	19,501	7,752	27,252

II. 現金収支を伴わないもの

【コストの部】

減価償却費相当額	187,525	14,116	201,641
----------	---------	--------	---------

III. 総括

コストの部合計(トータルコスト)	1,056,520	61,674	1,118,194
収支差額	1,037,020	53,922	1,090,942

第4章 地域ごとの公共施設を通じた公共サービスの実態

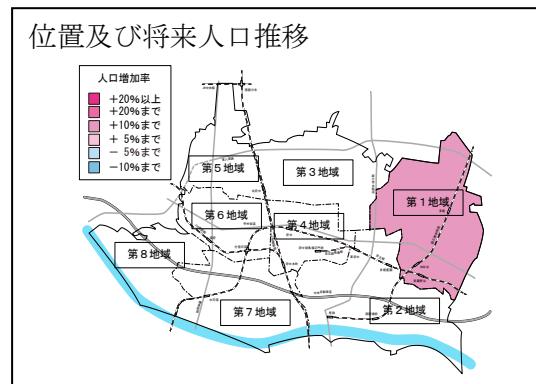
公共施設のマネジメントの方向性を検討するためには、用途ごとの実態把握だけでなく、各地域の人口や地域特性を把握した上で、地域における公共施設の整備状況と利用・運営状況を整理し、地域の視点から改善の方向性を検討する必要があります。

ここでは、地域ごとに配置され、地域において重要な役割を果たしている文化センター、学校に焦点を当てます。

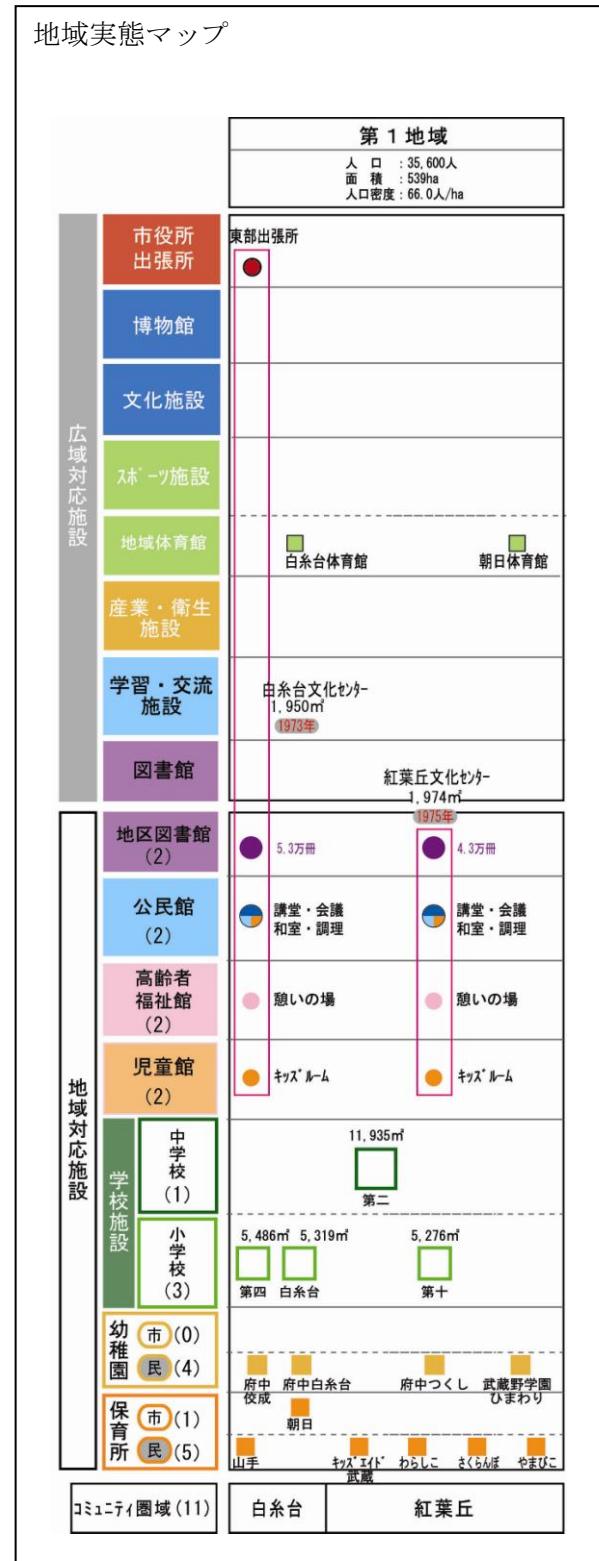
1. 第1地域

(1) 人口・地域特性

- 市の北東側に位置し、多磨霊園や公園が多く緑豊かです。東京外国語大学などの大規模施設や多磨・武蔵野台・白糸台などの駅があります。駅周辺及び甲州街道沿いには業務・商業施設もあり、その他は低層住宅地になっています。
- 人口の状況は市全体と同様で団塊ジュニアが多く、今後20年で約12%増加します。少子高齢化は進行し、年少人口は実数でやや減少します。

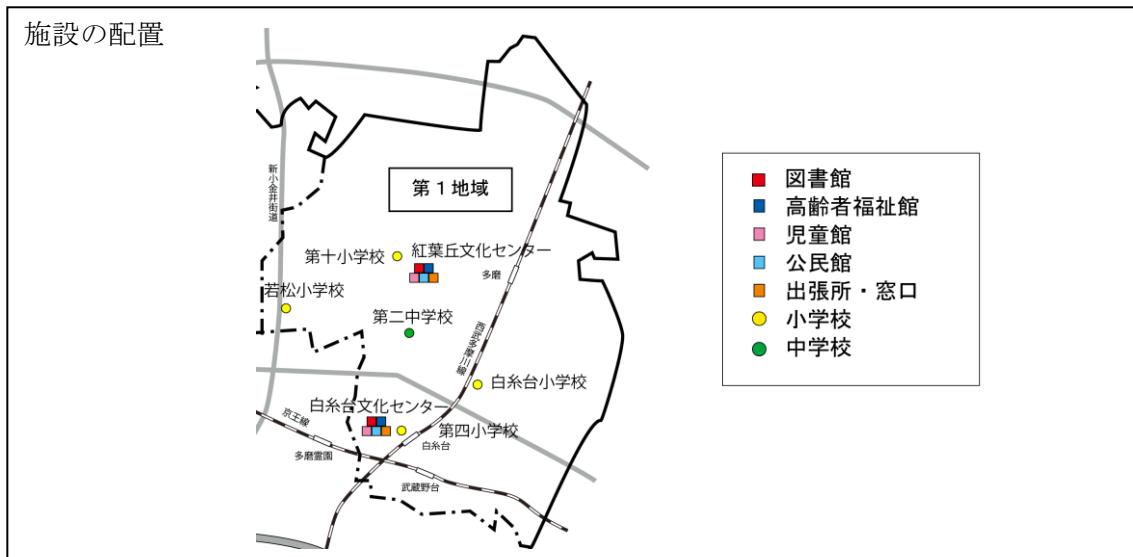


第1地域	総人口 (市総人口 に占める割合)	年少人口 (地域総人口 に占める割合)	生産年齢人口 (地域総人口 に占める割合)	高齢人口 (地域総人口 に占める割合)
2010年	38,239 (15.6%)	5,465 (14.3%)	26,399 (69.0%)	6,375 (16.7%)
2030年	42,985 (15.5%)	5,202 (12.1%)	28,582 (66.5%)	9,201 (21.4%)



(2) 施設の状況

- ・ コミュニティ圏域には紅葉丘と白糸台の一部が含まれており、文化センターでは白糸台文化センター、紅葉丘文化センターがあります。
- ・ 小学校は白糸台小学校、第十小学校、若松小学校（学区の一部）、第四小学校（学区の一部）、中学校は第二中学校があります。



(3) 利用・運営状況

- ・ 白糸台文化センターは出張所機能も有しており、文化センターの中でも最も利用者数が多くなっています。
- ・ 小学校・中学校ともに学級数は20学級前後となっており、児童・生徒数も551～787人と比較的規模が大きな学校となっています。しかしながら、小学校ではいずれの学校においても今後5年間で児童数の減少が見込まれています。

(4) 今後の方向性

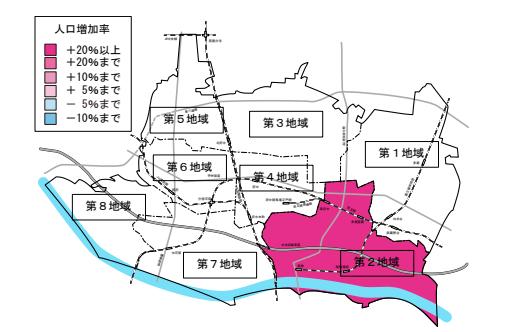
- ・ 文化センターについては、利用者数が多いことから、サービスの充足状況について確認とともに、利用状況に応じた施設のあり方、今後の高齢化にむけたサービス・施設の検討が必要です。
- ・ 学校においては、今後長期的にみた場合、年少人口の微減が想定されるため、児童・生徒数の減少の可能性もあることから、学校施設の有効活用の検討も必要となります。

2. 第2地域

(1) 人口・地域特性

- 市の南東部に位置し、多摩川など自然に恵まれた地域です。地域の北西部に住宅団地が立地しており、建替えが予想されている団地もあります。また、多摩川沿いの工場跡地では中高層集合住宅の建設が進行しています。東府中・多磨霊園・競艇場前・是政などの駅があり、東府中駅や多磨霊園駅周辺、甲州街道沿線には商業施設が立地しています。是政駅周辺には工場や事業所が立地しています。
- 人口の状況は団塊ジュニアが多く、今後20年で26.7%増加することが予測され、高齢化率は高まるものの、全ての年齢層で人口が増加します。

位置及び将来人口推移

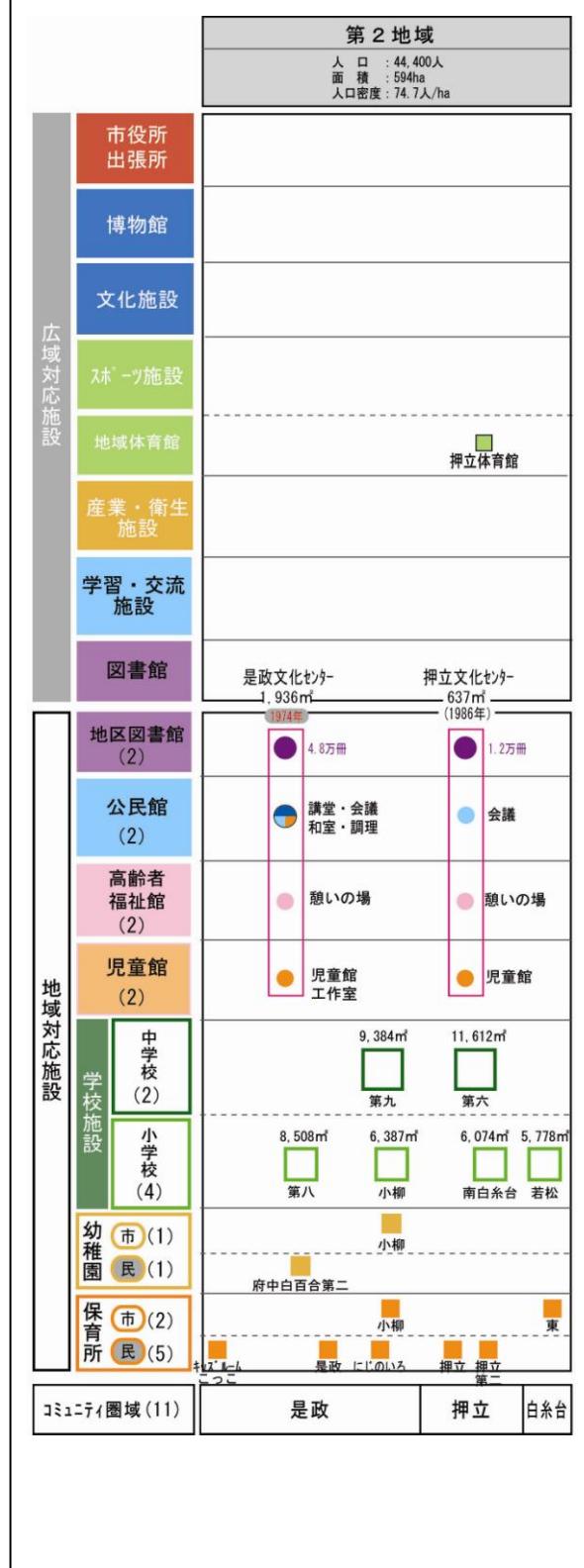


第2地域	総人口 (市総人口 に占める割合)	年少人口 (地域総人口 に占める割合)	生産年齢人口 (地域総人口に 占める割合)	高齢人口 (地域総人口に 占める割合)
2010年	42,938 (17.5%)	6,027 (14.0%)	29,451 (68.6%)	7,460 (17.4%)
↓ 2030年	54,402 (19.6%)	6,887 (12.7%)	35,843 (65.9%)	11,672 (21.5%)

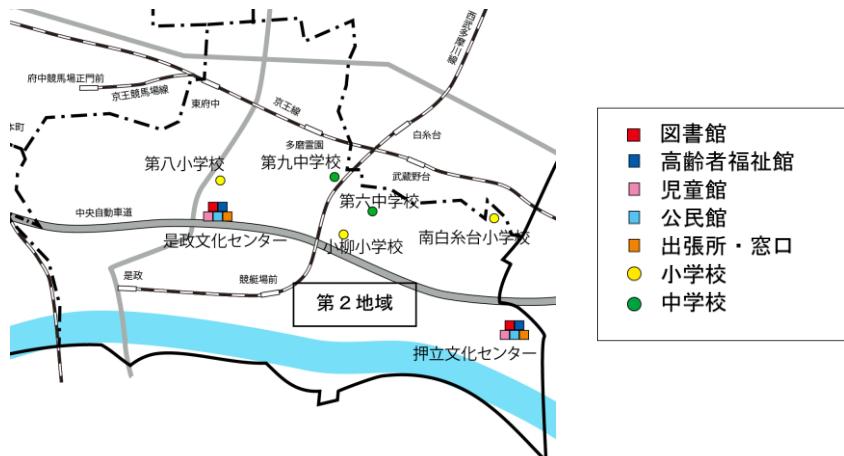
(2) 施設の状況

- 文化センターでは押立文化センター、是政文化センターがあります。
- 小学校は南白糸台小学校（学区の一部第1地域）、小柳小学校、第八小学校、中学校は第六中学校（学区の一部第1地域）第九中学校があります。

地域実態マップ



施設の配置



(3) 利用・運営状況

- 押立文化センターは地域センターとして整備されたものが文化センターとして位置づけられたものであり、規模も小さく、諸室も他の文化センターほどは揃っていません。一方、主催事業は他と同等の回数実施されているものの、利用者数は他と比較すると少なく、結果として、単位当たりコスト（利用者、利用件数、延床面積）が割高となっています。是政文化センターは平均的な施設構成ですが、施設利用者数や施設の稼働率は他よりやや低めです。
- 小学校の学級数は 20 学級前後となっており、児童数も 562～821 人と比較的規模が大きな学校となっています。中学校は 12 学級、16 学級と、小学校に比べて規模が小さめです。今後 5 年間でいずれの学校においても、児童数・生徒数は横ばいもしくは増加が見込まれています。

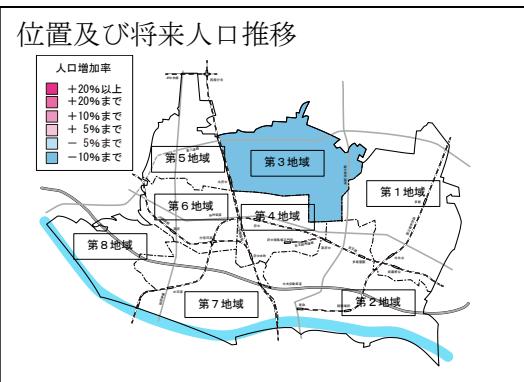
(4) 今後の方向性

- 文化センターは、地域内に 2 施設あることから、他の施設と比較するとやや利用が少ないですが、今後各年齢層で人口が増加する地域であることから、ニーズの把握とともにそれに応じた施設のあり方を検討する必要があります。

3. 第3地域

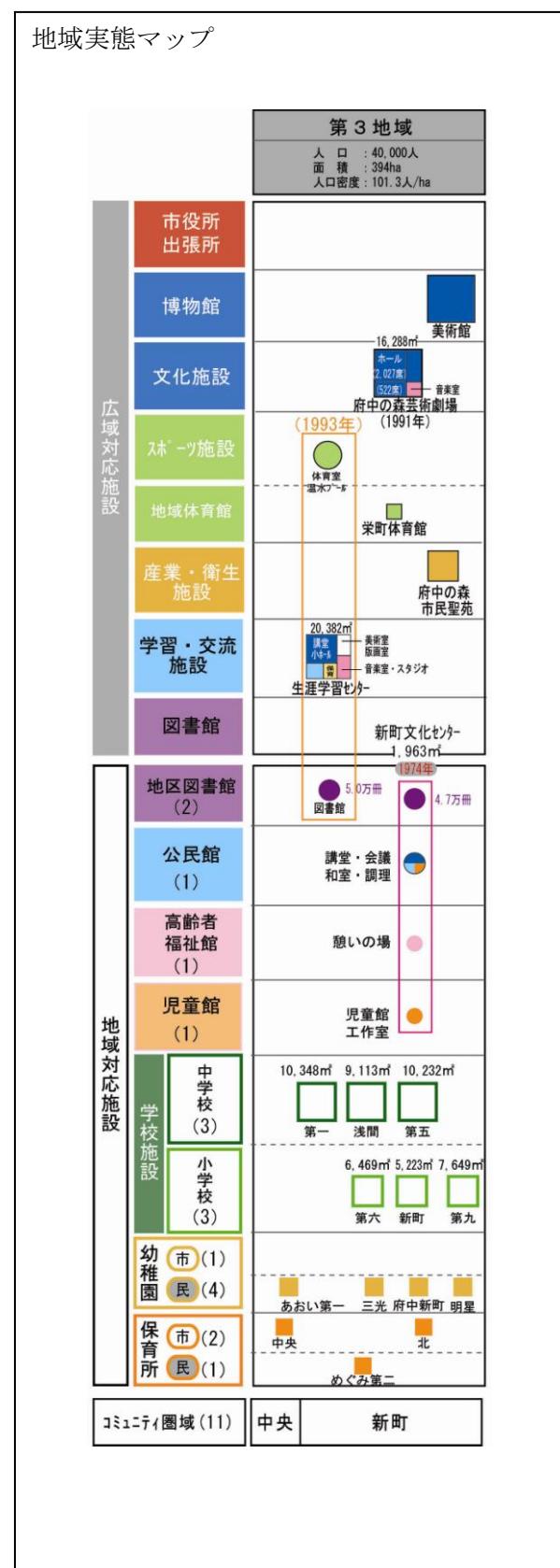
(1) 人口・地域特性

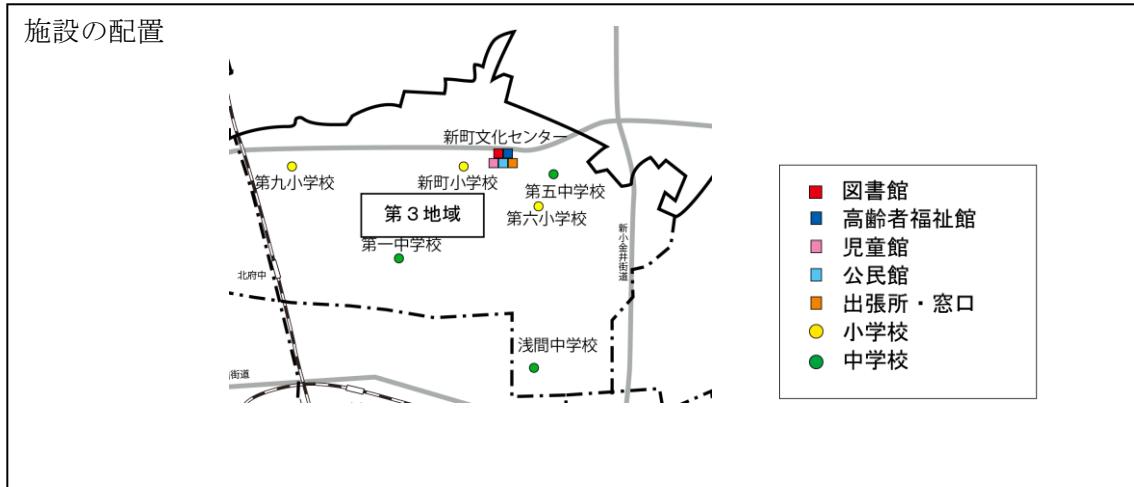
- 市北部に位置し、比較的早くから市街化された地域です。東京農工大学、府中刑務所、航空自衛隊府中基地などの公共公益施設や、府中の森公園などの緑地があり、その他は大部分が低層住宅地です。
- 人口の状況は市内で最も高齢化が進行しており、今後は人口減少とともに、高齢化の進行が予測されます。



(2) 施設の状況

- 文化センターでは新町文化センターがあります。
- 小学校は第六小学校、新町小学校、第九小学校、中学校は第五中学校、第一中学校（学区の一部第5地域）、浅間中学校（学区は第1地域、第2地域、第4地域にまたがる）があります。





(3) 利用・運営状況

- 新町文化センターの施設規模、構成は平均的です。利用状況についても利用者数、利用件数、稼働率ともに平均的です。一方、建物管理や運営企画の委託費がやや高めであるため、利用当たりコストが高めとなっています。
- 小学校の学級数は、12 学級 340 人の新町小から 26 学級 940 人の第六小学校まで規模に差があります。中学校は 14~19 学級、495 人から 610 人と比較的同規模です。今後 5 年間で小学校においては新町小学校、第六小学校で児童数の減少が見込まれます。

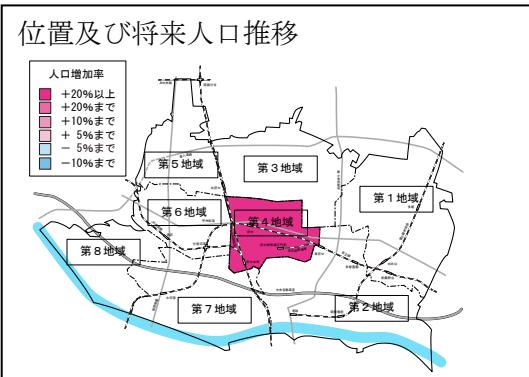
(4) 今後の方向性

- 文化センターは、今後は人口の減少、高齢化の進行により、施設の利用状況が変化する可能性があります。また、比較的地域の端に立地しており、高齢化が進む中、地域の住民の利用しやすさの点からも配置の見直しや、地域のニーズに応じた施設のあり方について、今後検討すべき課題となる可能性があります。
- 学校については、今後長期的にみた場合、市内で最も年少人口の減少が想定されるため、施設の有効活用の方法など、学校施設のあり方の検討が必要です。

4. 第4地域

(1) 人口・地域特性

- 中心部に位置し、商業地域や公共施設が集積しています。幹線道路沿いではマンション開発が進んでいます。
- 市内で最も人口が増加しており、働く世代が多くなっています。今後20年で人口は3割増加し、年少人口も増加します。

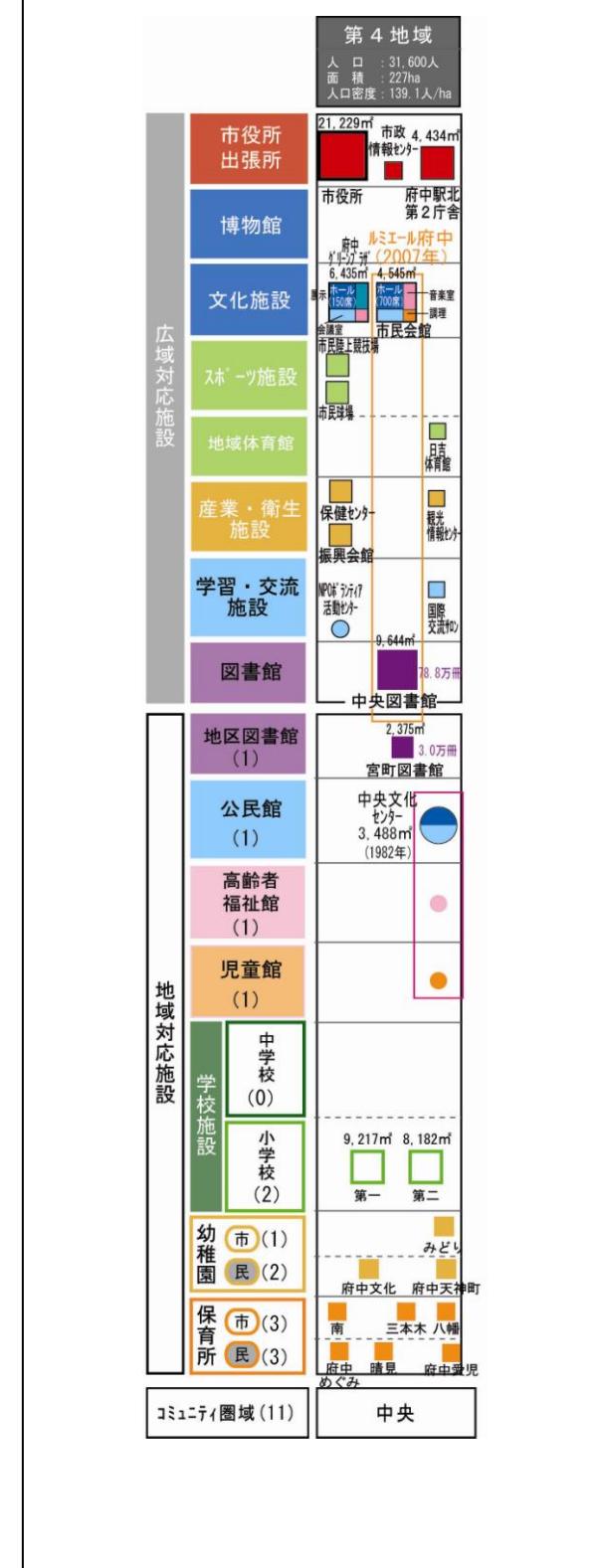


第4地域	総人口 (市総人口 に占める割合)	年少人口 (地域総人口 に占める割合)	生産年齢人口 (地域総人口に 占める割合)	高齢人口 (地域総人口に 占める割合)
2010年	31,758 (13.0%)	3,687 (11.6%)	23,143 (72.9%)	4,928 (15.5%)
↓	10,545	1,209	6,004	3,332
2030年	42,303 (15.2%)	4,896 (11.6%)	29,147 (68.9%)	8,260 (19.5%)

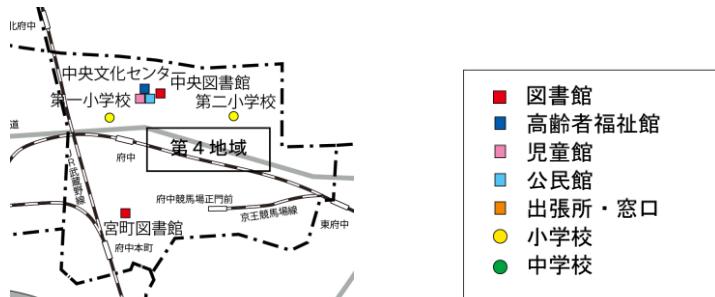
(2) 施設の状況

- 文化センターでは中央文化センターがあり、中央図書館があります。
- 小学校は第一小学校（学区の一部は第3、第6地域）、第二小学校（学区の一部は第3地域）があり、中学校は域内にはないですが、4つの中学校の学区となっています。

地域実態マップ



施設の配置



(3) 利用・運営状況

- 中央文化センター、中央図書館、市役所本庁、市政情報センターがあり、地域だけでなく、広く利用者が集まっていることが想定されます。
- 小学校の学級数は 22 学級と 27 学級と比較的規模が大きく、今後 5 年間では児童数の大きな変動は見込まれていません。

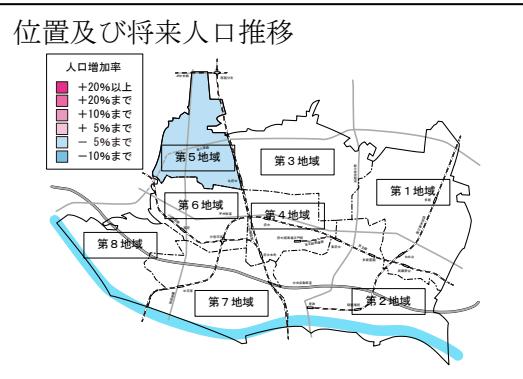
(4) 今後の方向性

- 今後は人口の増加が見込まれることから、市域の中心としての役割とともに、地域住民へのサービス提供の視点から、必要な機能・サービス、施設規模を検討する必要があります。

5. 第5地域

(1) 人口・地域特性

- 市北西部に位置し、多摩総合医療センターなどの公益施設のほか、東芝府中工場など工場・事業所が多く立地しています。住宅地の大部分は低層住宅地です。
- 第三地域同様、市内では高齢者化が進んでいる地域であり、今後は人口が増加する地域が多い中で、人口が減少し高齢者層のみ増加します。

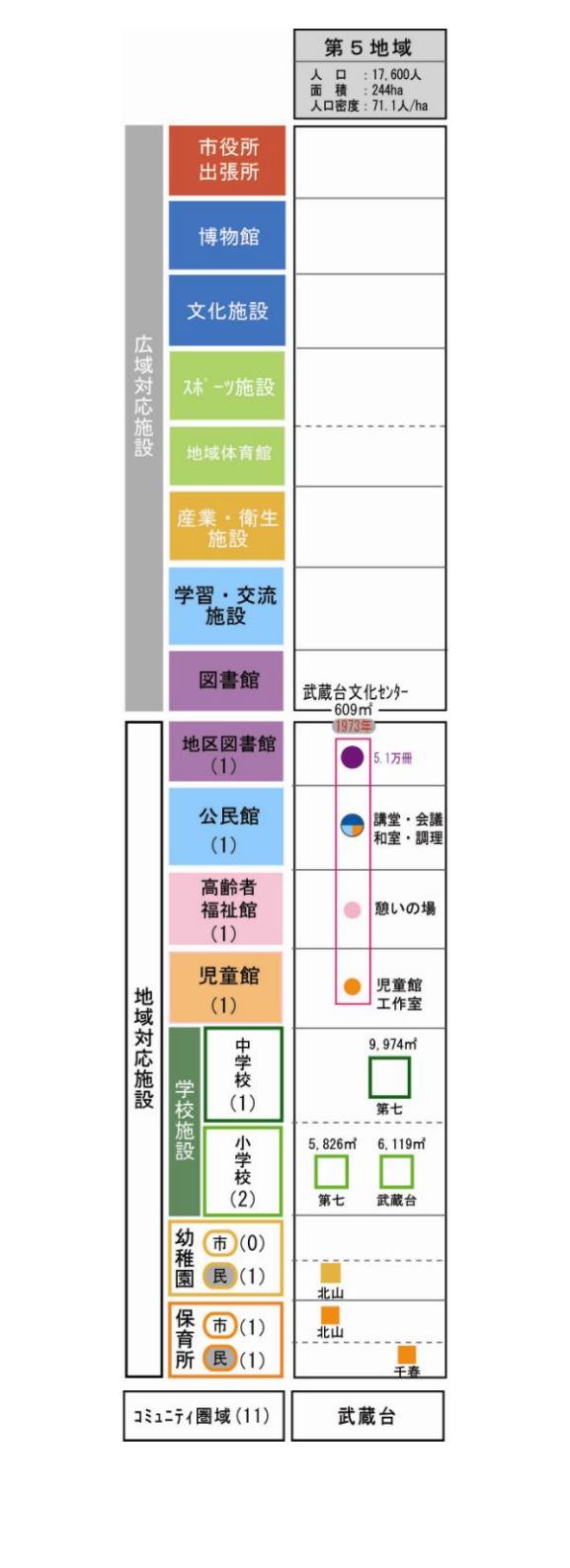


第5地域	総人口 (市総人口 に占める割合)	年少人口 (地域総人口 に占める割合)	生産年齢人口 (地域総人口に 占める割合)	高齢人口 (地域総人口に 占める割合)
2010年	18,768 (7.7%)	2,643 (14.1%)	12,226 (65.1%)	3,899 (20.8%)
↓	△ 936	△ 348	△ 786	↑ 198
2030年	17,832 (6.4%)	2,295 (12.9%)	11,440 (64.2%)	4,097 (23.0%)

(2) 施設の状況

- 文化センターでは武蔵台文化センターがあります。
- 小学校は第七小学校、武蔵台小学校があり、中学校は第七中学校があります。

地域実態マップ



施設の配置



(3) 利用・運営状況

- 他の地域と比較して人口が少ないこともあり、武藏台文化センターの利用者数は平均を下回っており、結果として利用当たりコストが高めに出ています。
- 小学校の学級数は 13 学級と 11 学級であり、中学校も 9 学級と比較的規模が小さくなっています。今後 5 年間では、3 校中 2 校において児童・生徒数の減少が見込まれます。

(4) 今後の方向性

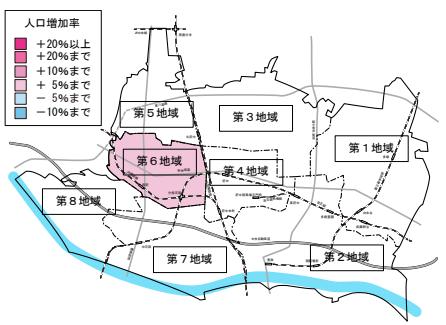
- 今後は人口の減少や高齢化が見込まれることから、中長期的には、学校施設の有効活用や高齢者向けのサービスなど、地域のニーズに応じた必要な機能・サービス、施設規模を検討する必要があります。

6. 第6地域

(1) 人口・地域特性

- 市の西側に位置し、西府・分倍河原の駅があり、分倍河原駅周辺や甲州街道沿いには業務・商業施設が立地しています。それ以外の区域は中低層の住宅地が広がり、築44年の府中日鋼団地では建替えが予想されます。
- 人口の変動が少なく、今後は高齢化が進みます。

位置及び将来人口推移

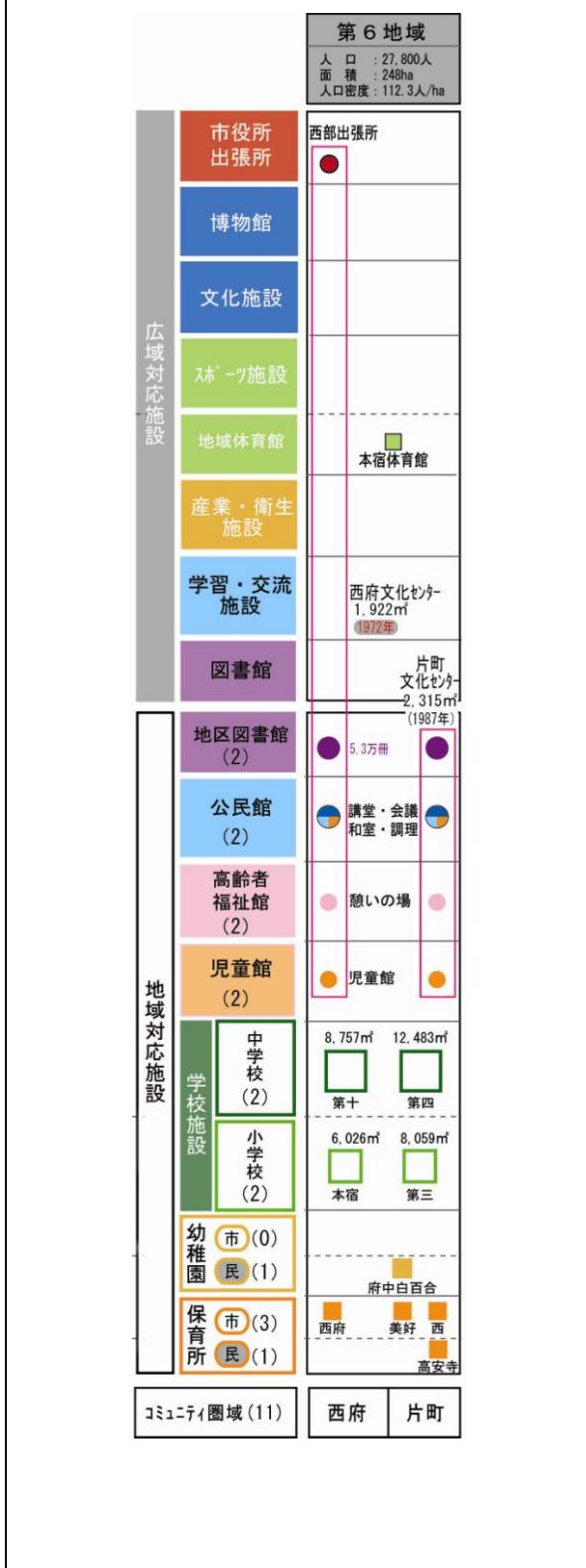


第6地域	総人口 (市総人口 に占める割合)	年少人口 (地域総人口 に占める割合)	生産年齢人口 (地域総人口に 占める割合)	高齢人口 (地域総人口に 占める割合)
2010年	26,537 (10.8%)	3,887 (12.8%)	18,185 (68.5%)	4,965 (18.7%)
↓ 2030年	26,806 (9.7%)	2,947 (11.0%)	17,848 (66.6%)	6,012 (22.4%)

(2) 施設の状況

- 文化センターでは片町文化センターと地域の境に西府文化センターがあります。
- 小学校は第三小学校（学区は第2、第4、第7地域にまたがる）、第五小学校（学区の大半は第8地域）、本宿小学校（学区の半分は第5地域）があり、中学校は第四中学校、第十中学校があります。

地域実態マップ



施設の配置



(3) 利用・運営状況

- 片町文化センターは最も新しい施設であり、市の中心部に近いことから、利用者数が多くなっています。西府文化センターは出張所機能を有していることから全体の利用者数は多くなっていますが、他の機能については平均的な利用者数となっています。
- 小学校の学級数は 19 学級から 25 学級であり、中学校は 8 学級と 20 学級です。今後 5 年間では学区が第 5 地域にまたがる本宿小学校で児童数の減少が見込まれますが、第三小学校、第十中学校では増加が見込まれています。

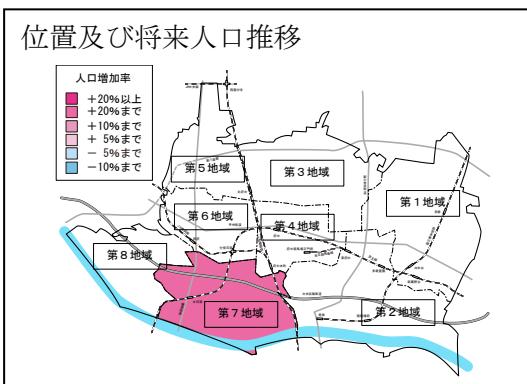
(4) 今後の方向性

- 中長期的には年少人口が減少し高齢化が進むことから、学校においては、今後 5 年間で児童生徒数が増加する学校もありますが、人口の変化を見込んで学校施設の有効活用や高齢者サービスの充実等を検討する必要があります。

7. 第7地域

(1) 人口・地域特性

- 市の南部に位置し、中河原駅やサントリー武蔵野ビール工場があります。中河原駅や鎌倉街道沿いには業務・商業施設が立地し、多摩川沿いを中心に工場跡地から集合住宅へと土地利用転換が進んでいます。
- 今後も若い世代の流入により人口が増加します。



第7地域	総人口 (市総人口 に占める割合)	年少人口 (地域総人口 に占める割合)	生産年齢人口 (地域総人口に 占める割合)	高齢人口 (地域総人口に 占める割合)
2010年	31,436 (12.8%)	4,714 (15.0%)	20,648 (65.7%)	6,074 (19.3%)
↓ 2030年	37,516 (13.5%)	4,557 (12.1%)	25,322 (67.5%)	7,636 (20.4%)

(2) 施設の状況

- 文化センターでは住吉文化センターがあります。
- 小学校は住吉小学校、矢崎小学校（学区の一部は第7地域）、南町小学校があり、中学校は平成19年に改築された第三中学校（学区の一部は第2、第4、第6地域）があります。

地域実態マップ



施設の配置



(3) 利用・運営状況

- 住吉文化センターの利用者数は平均を下回っていますが、利用件数は多く、結果として利用件数当たりコストが低めに出ています。
- 小学校の学級数は 12 学級から 19 学級であり、中学校は 15 学級です。今後 5 年間で南町小学校での児童数の減少、住吉小学校での児童数の増加のほかは大きな変動は見込まれていません。

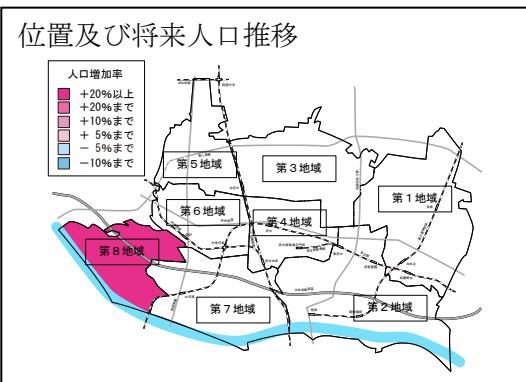
(4) 今後の方向性

- 中長期的には働く世代の増加により、他の地域と比較して高齢化の進行は緩やかであるものの、実数として高齢者は増加し、年少人口は減少することから、こうした人口構成の変化を踏まえた公共施設の機能の検討、施設の配置を検討する必要があります。

8. 第8地域

(1) 人口・地域特性

- 市の南西部に位置し、多摩川沿いでは工場から集合住宅などへの土地利用転換が進んでおり、他の地域でも農地から宅地への転用が進んでいます。日本電気府中事業場があります。
- 人口規模は小さいが、人口の伸びが大きく、今後20年で人口は3割弱増加し、高齢者と働く世代が増加します。

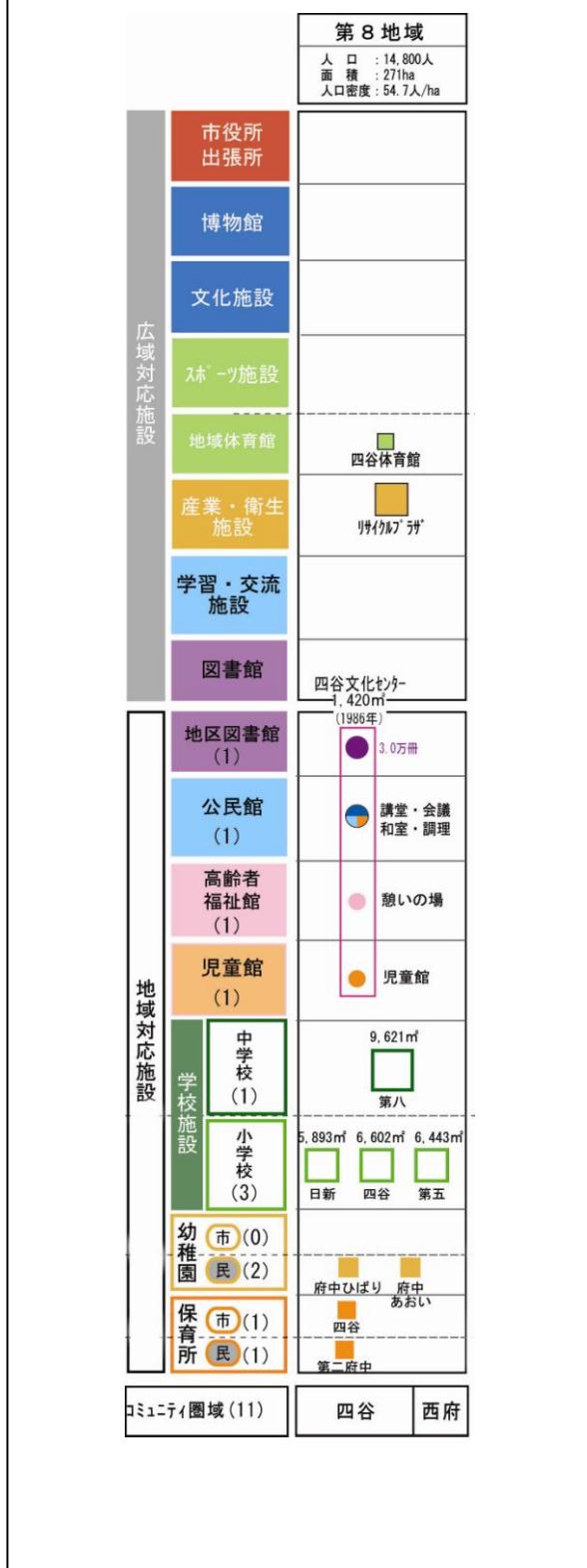


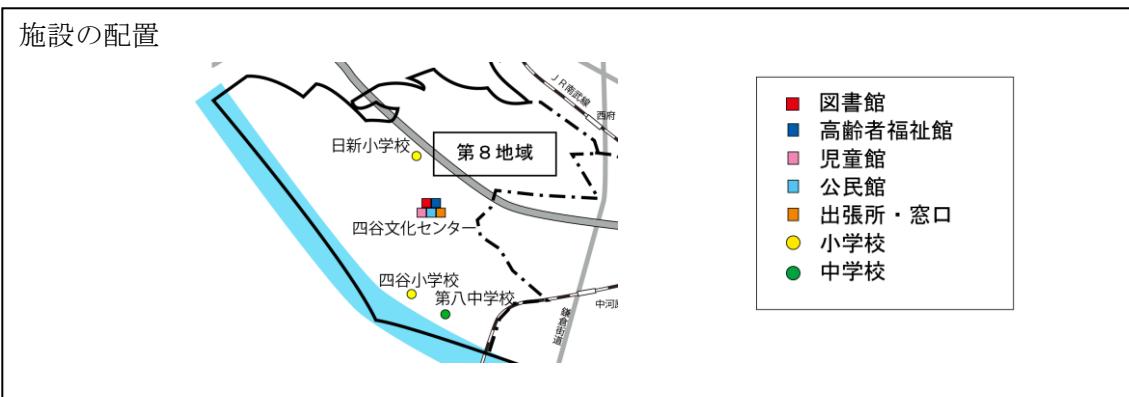
第8地域	総人口 (市総人口 に占める割合)	年少人口 (地域総人口 に占める割合)	生産年齢人口 (地域総人口に 占める割合)	高齢人口 (地域総人口に 占める割合)
2010年	14,934 (6.1%)	2,491 (16.7%)	9,805 (65.7%)	2,638 (17.7%)
↓ 2030年	19,032 (6.9%)	2,157 (11.3%)	13,238 (69.6%)	3,637 (19.1%)

(2) 施設の状況

- 文化センターでは四谷文化センターがあります。
- 小学校は四谷小学校（学区の一部第7地域）、日新小学校があり、中学校は第八中学校（学区の一部第7地域）があります。

地域実態マップ





(3) 利用・運営状況

- 四谷文化センターは地域センターとして整備されたものが文化センターとして位置づけられたものであり、規模が小さく、増改築工事が2ヵ年にわたり行われました。
- 小学校の学級数は19学級と13学級であり、中学校は14学級です。今後5年間での第八中では生徒数の増加が見込まれています。

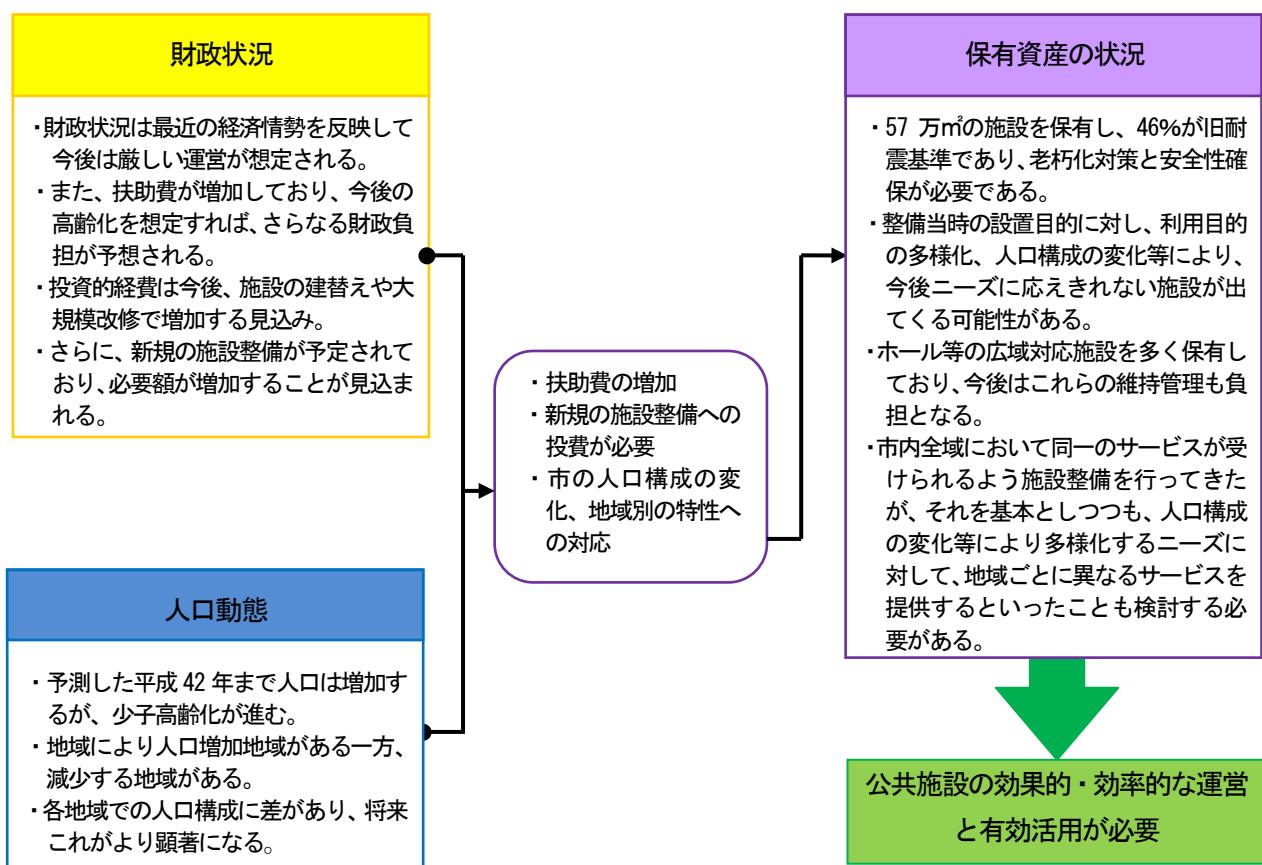
(4) 今後の方向性

- 現状、人口規模が他の地域と比較すると人口規模が小さいですが、中長期的には働く世代の増加により、人口が増加し、実数として高齢者は増加し、年少人口は減少することから、こうした人口構成の変化を踏まえた公共施設の機能の検討、施設の配置を検討する必要があります。

第5章 今後の公共施設のあり方

この白書では、人口、財政といった公共施設のマネジメントを検討する上での条件を整理したうえで、用途別 の建物状況、利用状況、運営状況やコスト状況、地域ごとの実態などから、公共施設の現状把握や分析を行いました。市の公共施設は築 30 年を経過した施設が多く、今後は建替えや大規模改修が必要となることが想定されます。これまで他市と比較すると比較的良好な財政状況でしたが、最近の経済状況を踏まえれば、今後は厳しい行財政運営が迫られることが想定されます。こうした中で、今後施設の管理に要するコストの増加が見込まれることから、計画的に財源を確保し、他の施策への影響を考慮しながら建替えや改修等を進める必要があります。

また、管理運営にあたっても、これまでの枠組みにとらわれず、民間活力の活用はもとより、施設の利用ニーズへの対応や人口動態・人口構成を踏まえた施設の機能・配置のあり方を検討する必要があります。



公共施設の今後のあり方の検討にあたっては、次のような視点が重要になると考えられます。

① 中長期的なマネジメント

公共施設のマネジメントに当たっては、ライフサイクルコストの概念が重要となります。従来、施設の必要性に応じ、施設整備を進めてきましたが、これからは厳しい財政状況を踏まえれば、施設整備から維持管理、修繕まで含め、施設の所有や管理にかかるコストのコントロールが必要になります。事後保全から予防保全への移行や施設の長寿命化なども検討が必要です。施設整備においても一時に資金需要が発生する従来型の直接整備保有する方法ではなく、PFI や施設の借上げ等もライフサイクルコスト縮減や平準化の観点から有効です。また、人口の変化や住民ニーズ、時代のニーズの変化にハード面・ソフト面で対応できる中長期的な視点でのマネジメントが必要になってきます。

② 財政への影響を踏まえたマネジメント

施設の老朽化が進んでいることから、今後施設の維持・更新に要する費用は増加する見込みです。現状、公共施設の整備や修繕に要している投資的経費は直近で47億円、平成14年からの平均で年間35.75億円となっており、これを上回るコストが必要となる試算結果となっています。これに加えて、新規投資も予定されております。

こうした公共施設にかかるコストの実態を踏まえ、これが財政に与える影響を勘案して、施設マネジメントの方向性を考える必要があります。さらに、持続的な行財政運営を可能とするために、財政支出の平準化や財源の見通し等の財政上の取り組みと並行して、施設の維持・更新を検討する必要があります。

③ 施設の実態・公共サービスのニーズに応じたマネジメント

公共施設のあり方を検討するためには、利用の実態を十分に把握したうえで、今後必要な機能や配置、サービスを検討する必要があります。

例えば、文化センターなど施設の整備から時間が経過している施設も多く、設置当初は想定していなかったニーズが今後増えていくことが予想されます。市図書館全体の書庫としての機能を持つ中央図書館と、取り寄せサービスで資料を提供する地区図書館の機能分担なども、利用者側に立った検証も定期的に行う必要があります。また、市内全域において同一のサービスが受けられるよう施設整備を行ってきましたが、人口構成の変化が予想されることから、今後は地域のニーズに応じた公共サービスが一層求められるようになると考えられます。

④ 実施体制を想定したマネジメント

今後の公共施設のあり方を検討するには、これまでの施設の枠にとらわれず、全庁的・総合的な視点で望ましい方向性を検討する必要があります。全体の公共施設マネジメントの方針とともに、個別の施設の計画との整合や複合化を推進する場合には、関係部署間の調整を図っていくことも重要となります。こうしたことを円滑に推進するには、調整や合意形成を図る府内推進体制の確立が必要となります。

⑤ 市民や民間事業者との協働によるマネジメント

今後、限られた財源を多くの公共施設の維持・更新に優先順位をつけて分配していくことになります。一部の施設については、統合やサービス内容の見直しも必要になる可能性があります。こうした方向性については、市民とともに合意形成を図る必要があります。

一方、すでに図書館や文化センター等の企画や運営では市民参加が進んでいるように、市民が施設の管理や運営の受け皿になることも期待されます。また、民間事業者に対しては、PFIや指定管理者制度をはじめとしたPPPの観点から、民間事業者が有する資金や技術・ノウハウの活用が期待されます。

今後上記の視点に基づき、具体的には、次の8つの事項について総合的に検証し、公共施設の有効活用を図っていく必要があります。

財産の有効活用に関する検証項目	① 使用形態・利用形態の見直し等による効率的利用	<ul style="list-style-type: none"> 各部門横断的利用 利用機能の見直し 他用途への転用 遊休施設の外部利用 	⑤ 建物のライフサイクルを通じた効率化等	<ul style="list-style-type: none"> 整備方針の見直し 優先度判定 (建替・改修の判断) (事業方針等の判断) 維持管理コスト削減
	② 保有形態の見直し等による効率化	(新規整備時・継続整備時) <ul style="list-style-type: none"> 自ら所有 賃借 	⑥ 集約化・合同化等による効率化	<ul style="list-style-type: none"> 施設の集約化・合同化 統廃合
	③ 運営面の効率化 (業務改善)	<ul style="list-style-type: none"> 自ら運営 一部アウトソーシング 運営の外部化 (指定管理者制度等) 	⑦ 情報化等による効率化	<ul style="list-style-type: none"> IT化による業務の変化 IT化による施設変化
	④ スペースの効率的活用	<ul style="list-style-type: none"> スペースの有効活用 共有化・集約化 	⑧ 予算面	<ul style="list-style-type: none"> 重点投入すべき分野の明確化 評価結果の予算への反映
	① 使用形態・利用形態の見直し等による効率的利用			
	② 保有形態の見直し等による効率化			
	③ 運営面の効率化 (業務改善)			
	④ スペースの効率的活用			

① 使用形態・利用形態の見直し等による効率的利用

施設の実際の利用状況を踏まえ、想定していた利用の目的や利用方法が異なる場合、施設そのものの利用方法や機能の見直し、必要に応じてニーズの高い用途への転用等を検討します。

② 保有形態の見直し等による効率化

施設の性質等から法制度上の制約、利用運営上の制約等がない場合、必ずしも市が保有する必要がない施設については、民間施設等を賃貸することも公共施設の維持・更新のコストを低減するための方策として検討します。

③ 運営面の効率化 (業務改善)

運営の効率化や運営方式についても、各種制約がない場合は、民間事業者のノウハウを活かすための業務委託だけでなく、その施設を利用する市民や団体、ボランティアとの協働といった、様々な可能性を検討します。

④ スペースの効率的活用

施設内の各スペースの利用状況を踏まえ、稼働の低い諸室を稼働の高い諸室の機能に転換したり、集約することにより、施設を有効活用することを検討します。

⑤ 建物のライフサイクルを通じた効率化等

建物のライフサイクルコストの視点から、個々の施設の修繕や更新の計画を策定する際には、時期、整備内容等について最も適した計画を検討します。

⑥ 集約化・合同化等による効率化

利用状況の低い施設等を集約化することにより、管理・運営にかかる人材を集約させることが可能となり、また空いた施設を他の用途に振り向けることも可能となるなど、施設の集約化・合同化を検討します。

⑦ 情報化等による効率化

IT等の導入により業務の内容や業務方法が改善され、人員の効率化が期待できます。また、こうしたソフト面でのITの導入は、必要とする施設の構成や内容にも影響することから、これらを総合的に検討します。

⑧ 予算面

①～⑦までの検討を通じ、重点投入すべき分野の明確化が図られます。こうした検討・評価の結果の優先順位を予算配分に反映させる仕組みや考え方を整理します。

府中市公共施設マネジメント白書

発 行 日 平成23年3月

編集・発行 府中市政策総務部政策課

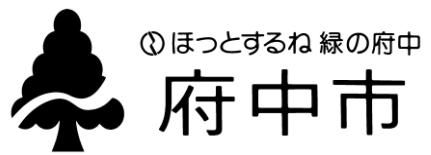
〒183-8703 東京都府中市宮西町2丁目24番地

電 話 042-364-4111（代表）

042-335-4010（直通）

FAX 042-336-6131

ホームページ <http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>



府中市

①ほっとするね 緑の府中